子どもの参加でより良いまちに！
Soft
Speaking Out From Tohoku

2014 年　国連子どもの権利条約採択 25 周年、日本批准 20 周年

HOV

Hear Our Voice 9

～子ども参加に関する意識調査 2014～

Save the Children JAPAN

公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン

目次

はじめに …… 1

「Hear Our Voice 9 ～子ども参加に関する意識調査 2014～」アンケート…… 2
子ども 岩手県山田町 …… 2
子ども 岩手県陸前高田市 …… 4
子ども 宮城県石巻市 …… 6
おとな 岩手県山田町 …… 8
おとな 岩手県陸前高田市 …… 10
おとな 宮城県石巻市 …… 12

「Hear Our Voice 9 ～子ども参加に関する意識調査 2014～」結果（速報） …… 14
Ⅰ. 調査概要…… 14
Ⅱ. 結果概要…… 15
Ⅲ. 質問項目および集計結果…… 16

調査にご協力くださった学校一覧…… 28

子どもたちの声 …… 30
岩手県山田町…… 31
岩手県陸前高田市…… 43
宮城県石巻市…… 71

おとなの声…… 160
岩手県山田町…… 161
岩手県陸前高田市…… 170
宮城県石巻市…… 183

はじめに

セーブ・ザ・チルドレンは、国連公認の国際子ども支援 NGO です。すべての子どもにとって、生きる・育つ・守られる・参加する「子どもの権利」が実現されている社会を目指し、世界約 120 ヶ国で活動を展開しています。教育や栄養改善、保健衛生などの支援活動のほかに、災害発生時や人道危機時には緊急支援活動も行っています。

2011 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災では発生直後から、セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン（以下 SCJ）は緊急支援活動を開始し、2014 年 12 月現在、岩手・宮城・福島の 3 県において復興支援活動を展開しています。避難所では安心・安全な遊び場「こどもひろば」を開設し、学校再開後は、学用品配布や給食・バス支援、奨学金支援、放課後の子どもの遊び場・居場所づくりのため、公園復旧や学童保育サポート等を行っています。これらを通じて被災地域の子どもと家族の日常性の回復を目指すと同時に、2011 年 5 月からは地域の復興に向け、子ども参加によるまちづくり事業 ″Speaking Out From Tohoku (SOFT)～子どもの参加でより良いまちに！～″を始動しました。地域の一員である子どもたちが声をあげ、参加することで、より良いまちづくりを目指しています。

この SOFT の一環として、2011 年 5 月から 6 月にかけて、岩手・宮城両県 5 地域の小学 4 年生～高校生約 1 万 1 千人を対象に実施した「Hear Our Voice 1～子ども参加に関する意識調査～」では、被災地域の子どもたちの約 9 割が「自分のまちのために、何かしたい」、約 8 割の子どもたちが「自分のまちを良くするために、人と話をしてみたい」と回答し、子どもたちの多くが自分たちの住む地域の復興に向けたまちづくりに自ら参加したいと考えていることが明らかになりました（※1）。

この結果を受け、2011 年 6 月下旬から、岩手県山田町、岩手県陸前高田市、宮城県石巻市の 3 地域で「子どもまちづくりクラブ」を開始し、小学 5 年生～高校生の子どもたちが定期的に集まって、子ども同士だけでなく地域の方や行政、専門家とも話し合いながら地域の復興に向け、さまざまな活動をしています。岩手県山田町では町の魅力を発信するための地域カルタの制作、復興拠点エリア内に建設予定の施設の企画・デザイン。岩手県陸前高田市では、復興のシンボル「ミニ『あかりの木』」の制作、市長をはじめとする政策決定者との定期的な意見交換。宮城県石巻市では、子どもたちが企画・デザインした石巻市子どもセンターの完成、商店街の活性化に向けた活動。子どもたちはまちづくりに取り組み、地域の復興に向け一歩一歩、歩んでいます。

震災から 4 年がたち、子どもたちがこのように地域の復興に取り組む中、SCJ は本調査を継続的に実施していくことで、地域の子どもやおとなの子ども参加に関する意識を把握し、子ども参加によるまちづくりの促進につなげようと考えています（※2）。2012 年には岩手、宮城の 3 地域の子ども 1 万 5 千人を対象に「Hear Our Voice 7 ～子ども参加に関する意識調査 2012～」を実施し（※3）、今回の調査でも、同地域の約 1 万 4 千人の子どもたちの声が集まりました。子どもたちが地域の復興に参加することについてどのように考えているのか、ぜひ耳を傾けてください。

最後になりましたが、本調査に参加してくれた子どもたち、実施にあたりご協力いただいた行政、学校、地域関係者、関係団体のみなさまに、厚く御礼申し上げます。

※1 「Hear Our Voice 1」 の詳細はこちら http://www.savechildren.or.jp/scjcms/sc_activity.php?d=434

※2 2013 年 12 月～2014 年 11 月の活動をまとめた SOFT 中間報告書④『Future』はこちら http://www.savechildren.or.jp/jpnem/jpn/pdf/SOFT_Future_2014.pdf

※3 「Hear Our Voice 7」 の詳細はこちら http://www.savechildren.or.jp/scjcms/sc_activity.php?d=969

※4 その他 SOFT の活動についてはこちら http://www.savechildren.or.jp/scjcms/sc_activity.php?c=30

子どもアンケート
岩手県山田町

子どもの参加でより良いまちに！
Soft
Speaking Out From Tohoku

山田町に住んでいるみなさんへ

今、国や県、みなさんのまちで、復興にむけた話し合いや計画がどんどん進んでいます。山田町は、みなさんが今住んでいて、これからも大きくなる場所なので、復興にむけた話し合いや計画に、子どもたちが参加したり、子どもたちの意見も取り入れてほしいとセーブ・ザ・チルドレンは考えています。

そこで、今回みなさんが、山田町の復興についてどのように考えているかを教えてもらい、それをまとめて国や県、政治家などおとなの人に伝えたいと考えています。ぜひ、みなさんのご協力をおねがいします！

◆ あなたが答えたことは他の人にはわかりません。
名前を書く必要はありません。このアンケートから、あなたに迷惑がかかることもありません。
◆ あなた自身が答えてください。
あなたの代わりに、他の人が答えることはしないでください。

1. あなた自身について教えてください。 ※当てはまる**番号**に〇をしたり、書いたりして下さい。

（1）性別　1 男　2 女　3 答えたくない

（2）学年
1 小4　2 小5　3 小6　4 中1　5 中2　6 中3
7 高1　8 高2　9 高3　10 高4

（3）あなたの住んでいる地区を教えて下さい。（わからない人は、まわりのおとなに聞いてみてください。）

1 大沢地区　2 山田地区　3 織笠地区　4 船越・田の浜地区
5 大浦・小谷鳥地区　6 豊間根地区　7 その他（　　）

2. （1） あなたは、山田町の復興に**かかわりたいと思いますか**？　1 はい　2 いいえ

（2） 「はい」の人は、
そのために**どんなことをしたい**ですか？
※当てはまる**番号**に**いくつでも**〇をしてください。

番号に〇

1	まちの片付け
2	仮設住宅での手伝い
3	地域の行事への参加
4	まちづくりの活動に参加
5	まわりの人をはげます
6	募金
7	復興計画/復興状況について知る
8	復興について子ども同士で話し合う
9	復興についておとなと話し合う
10	復興について意見を発信する
11	震災を語り継ぐ
12	その他（　　）

（3） 「いいえ」の人は、
その**理由**を教えてください。
※当てはまる**番号**に**いくつでも**〇をしてください。

番号に〇

1	勉強でいそがしい
2	部活でいそがしい
3	バイトでいそがしい
4	何かしようと思っても移動する方法がない
5	かかわる機会がない
6	復興にかんする情報がない
7	一緒にできる仲間がいない
8	子どもにできることがない
9	何をしたらいいか分からない
10	特にやりたくない
11	その他（　　）

ウラ面にも質問があります

3. （1）あなたは、山田町の復興のために**何かしたことがありますか**？

1 はい	2 いいえ

（2） 「はい」の人は、
そのために**どんなことをしたい**ですか？
※当てはまる**番号**に**いくつでも**○をしてください。

番号に○

1	まちの片付け
2	仮設住宅での手伝い
3	地域の行事への参加
4	まちづくりの活動に参加
5	まわりの人をはげます
6	募金
7	復興計画/復興状況について知る
8	復興について子ども同士で話し合う
9	復興についておとなと話し合う
10	復興について意見を発信する
11	震災を語り継ぐ
12	その他（　　）

（3） 「いいえ」の人は、
その**理由**を教えてください。
※当てはまる**番号**に**いくつでも**○をしてください。

番号に○

1	勉強でいそがしい
2	部活でいそがしい
3	バイトでいそがしい
4	何かしようと思っても移動する方法がない
5	かかわる機会がない
6	復興にかんする情報がない
7	一緒にできる仲間がいない
8	子どもにできることがない
9	何をしたらいいか分からない
10	特にやりたくない
11	その他（　　）

4. 山田町の復興について、あなたがおとなに伝えたいことを自由に書いてください。

5. あなたは、**あなたの意見や行動が山田町の復興に良い影響を与えることができると思いますか？**

1 はい	2 いいえ

6. あなたの周りで、「心配な状況にいる」と思う子どもたちは、**震災前と比べて増えていますか？**

1 増えている	2 変わらない	3 減っている

「増えている」と答えた人は、どのような「心配な状況にいる」子どもたちが増えましたか？

7. セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンの以下の活動のうち、**あなたが実際に活動に参加したり、支援を受けたものはありますか？**※当てはまる番号に**いくつでも**○をしてください。

1 避難所での「こどもひろば」	2 学用品配布(文房具、ランドセル)
3 学校備品配布（キーボード等）	4 防災備品配布（防災ずきん等）
5 子どもまちづくりクラブ	6 夢実現プロジェクト(スポーツ・文化活動支援)
7 学童での活動	8 その他（　　）

アンケートはこれでおわりです。ありがとうございました。

Save the Children JAPAN

子どもアンケート
岩手県陸前高田市

子どもの参加でより良いまちに！
Soft
Speaking Out From Tohoku

陸前高田市に住んでいるみなさんへ

今、国や県、みなさんのまちで、復興にむけた話し合いや計画がどんどん進んでいます。陸前高田市は、みなさんが今住んでいて、これからも大きくなる場所なので、復興にむけた話し合いや計画に、子どもたちが参加したり、子どもたちの意見も取り入れてほしいとセーブ・ザ・チルドレンは考えています。

そこで、今回みなさんが、陸前高田市の復興についてどのように考えているかを教えてもらい、それをまとめて国や県、政治家などおとなの人に伝えたいと考えています。ぜひ、みなさんのご協力をおねがいします！

◆ あなたが答えたことは他の人にはわかりません。
名前を書く必要はありません。このアンケートから、あなたに迷惑がかかることもありません。
◆ あなた自身が答えてください。
あなたの代わりに、他の人が答えることはしないでください。

1. あなた自身について教えてください。 ※当てはまる**番号**に〇をしたり、書いたりして下さい。

（1）性別　1 男　2 女　3 答えたくない

（2）学年
1 小4　2 小5　3 小6　4 中1　5 中2　6 中3
7 高1　8 高2　9 高3　10 高4

（3）あなたの住んでいる地区を教えて下さい。（わからない人は、まわりのおとなに聞いてみてください。）
1 矢作地区　2 横田地区　3 竹駒地区　4 気仙地区　5 高田地区
6 米崎地区　7 小友地区　8 広田地区　9 その他（　　）

2. （1） あなたは、陸前高田市の復興に**かかわりたいと思いますか**？　1 はい　2 いいえ

（3） 「はい」の人は、
そのために**どんなことをしたい**ですか？
※当てはまる**番号**に**いくつでも**〇をしてください。

番号に〇

1	まちの片付け
2	仮設住宅での手伝い
3	地域の行事への参加
4	まちづくりの活動に参加
5	まわりの人をはげます
6	募金
7	復興計画/復興状況について知る
8	復興について子ども同士で話し合う
9	復興についておとなと話し合う
10	復興について意見を発信する
11	震災を語り継ぐ
12	その他（　　）

（3） 「いいえ」の人は、
その**理由**を教えてください。
※当てはまる**番号**に**いくつでも**〇をしてください。

番号に〇

1	勉強でいそがしい
2	部活でいそがしい
3	バイトでいそがしい
4	何かしようと思っても移動する方法がない
5	かかわる機会がない
6	復興にかんする情報がない
7	一緒にできる仲間がいない
8	子どもにできることがない
9	何をしたらいいか分からない
10	特にやりたくない
11	その他（　　）

ウラ面にも質問があります

3. （1）あなたは、陸前高田市の復興のために**何かしたことがありますか**？

1　はい	2　いいえ

（2）「はい」の人は、
そのために**どんなことをしたい**ですか？
※当てはまる**番号**に**いくつでも**○をしてください。

番号に○

1	まちの片付け
2	仮設住宅での手伝い
3	地域の行事への参加
4	まちづくりの活動に参加
5	まわりの人をはげます
6	募金
7	復興計画/復興状況について知る
8	復興について子ども同士で話し合う
9	復興についておとなと話し合う
10	復興について意見を発信する
11	震災を語り継ぐ
12	その他（　　）

（3）「いいえ」の人は、
その**理由**を教えてください。
※当てはまる**番号**に**いくつでも**○をしてください。

番号に○

1	勉強でいそがしい
2	部活でいそがしい
3	バイトでいそがしい
4	何かしようと思っても移動する方法がない
5	かかわる機会がない
6	復興にかんする情報がない
7	一緒にできる仲間がいない
8	子どもにできることがない
9	何をしたらいいか分からない
10	特にやりたくない
11	その他（　　）

4. 陸前高田市の復興について、あなたがおとなに伝えたいことを自由に書いてください。

5. あなたは、**あなたの意見や行動が陸前高田市の復興に良い影響を与えることができると思いますか**？

1　はい	2　いいえ

6. あなたの周りで、「心配な状況にいる」と思う子どもたちは、**震災前と比べて増えていますか**？

1　増えている	2　変わらない	3　減っている

「増えている」と答えた人は、どのような「心配な状況にいる」子どもたちが増えましたか？

7. セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンの以下の活動のうち、**あなたが実際に活動に参加したり、支援を受けたものはありますか**？※当てはまる番号に**いくつでも**○をしてください。

1　避難所での「こどもひろば」	2　学用品配布（文房具、ランドセル）	
3　学校備品配布（キーボード等）	4　防災備品配布（防災ずきん等）	
5　子どもまちづくりクラブ	6　夢実現プロジェクト（スポーツ・文化活動支援）	7　学童での活動
8　仮設集会所の設置	9　ミニ「あかりの木」	10　その他（　　）

アンケートはこれでおわりです。ありがとうございました。

Save the Children JAPAN

子どもアンケート
宮城県石巻市

子どもの参加でより良いまちに！
Soft
Speaking Out From Tohoku

石巻市に住んでいるみなさんへ

今、国や県、みなさんのまちで、復興にむけた話し合いや計画がどんどん進んでいます。石巻市は、みなさんが今住んでいて、これからも大きくなる場所なので、復興にむけた話し合いや計画に、子どもたちが参加したり、子どもたちの意見も取り入れてほしいとセーブ・ザ・チルドレンは考えています。

そこで、今回みなさんが、石巻市の復興についてどのように考えているかを教えてもらい、それをまとめて国や県、政治家などおとなの人に伝えたいと考えています。ぜひ、みなさんのご協力をおねがいします！

◆ あなたが答えたことは他の人にはわかりません。
名前を書く必要はありません。このアンケートから、あなたに迷惑がかかることもありません。
◆ あなた自身が答えてください。
あなたの代わりに、他の人が答えることはしないでください。

1. あなた自身について教えてください。 ※当てはまる**番号**に〇をしたり、書いたりして下さい。

（1）性別　1 男　2 女　3 答えたくない

（2）学年
1 小4　2 小5　3 小6　4 中1　5 中2　6 中3
7 高1　8 高2　9 高3　10 高4

（3）あなたの住んでいる地区を教えて下さい。（わからない人は、まわりのおとなに聞いてみてください。）
1 石巻地区　2 河北地区　3 河南地区　4 桃生地区　5 雄勝地区
6 北上地区　7 牡鹿地区　8 その他（　　）

2. （1） あなたは、石巻市の復興に**かかわりたいと思いますか**？　1 はい　2 いいえ

（4） 「はい」の人は、
そのために**どんなことをしたい**ですか？
※当てはまる**番号**に**いくつでも**〇をしてください。

番号に〇

1	まちの片付け
2	仮設住宅での手伝い
3	地域の行事への参加
4	まちづくりの活動に参加
5	まわりの人をはげます
6	募金
7	復興計画/復興状況について知る
8	復興について子ども同士で話し合う
9	復興についておとなと話し合う
10	復興について意見を発信する
11	震災を語り継ぐ
12	その他（　　）

（3） 「いいえ」の人は、
その**理由**を教えてください。
※当てはまる**番号**に**いくつでも**〇をしてください。

番号に〇

1	勉強でいそがしい
2	部活でいそがしい
3	バイトでいそがしい
4	何かしようと思っても移動する方法がない
5	かかわる機会がない
6	復興にかんする情報がない
7	一緒にできる仲間がいない
8	子どもにできることがない
9	何をしたらいいか分からない
10	特にやりたくない
11	その他（　　）

ウラ面にも質問があります

3. （1）あなたは、石巻市の復興のために**何かしたことがありますか**？

1 はい	2 いいえ

（2）「はい」の人は、
そのために**どんなことをしたい**ですか？
※当てはまる**番号**に**いくつでも**○をしてください。

番号に○

1	まちの片付け
2	仮設住宅での手伝い
3	地域の行事への参加
4	まちづくりの活動に参加
5	まわりの人をはげます
6	募金
7	復興計画/復興状況について知る
8	復興について子ども同士で話し合う
9	復興についておとなと話し合う
10	復興について意見を発信する
11	震災を語り継ぐ
12	その他（　　）

（3）「いいえ」の人は、
その**理由**を教えてください。
※当てはまる**番号**に**いくつでも**○をしてください。

番号に○

1	勉強でいそがしい
2	部活でいそがしい
3	バイトでいそがしい
4	何かしようと思っても移動する方法がない
5	かかわる機会がない
6	復興にかんする情報がない
7	一緒にできる仲間がいない
8	子どもにできることがない
9	何をしたらいいか分からない
10	特にやりたくない
11	その他（　　）

4. 石巻市の復興について、あなたがおとなに伝えたいことを自由に書いてください。

5. あなたは、**あなたの意見や行動が石巻市の復興に良い影響を与えることができると思いますか**？

1 はい	2 いいえ

6. あなたの周りで、「心配な状況にいる」と思う子どもたちは、**震災前と比べて増えていますか**？

1 増えている	2 変わらない	3 減っている

「増えている」と答えた人は、どのような「心配な状況にいる」子どもたちが増えましたか？

7. セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンの以下の活動のうち、**あなたが実際に活動に参加したり、支援を受けたものはありますか**？※当てはまる番号に**いくつでも**○をしてください。

1 避難所での「こどもひろば」	2 学用品配布（文房具、ランドセル）
3 学校備品配布（キーボード等）	4 防災備品配布（防災ずきん等）
5 子どもまちづくりクラブ	6 夢実現プロジェクト（スポーツ・文化活動支援）
7 学童での活動	8 給食配布（おにぎり、ジュース等）　9 石巻市子どもセンター
10 公園づくり（鹿妻第5公園、蛇田団地北公園、大橋南公園、さくら公園）	11 その他（　　）

アンケートはこれでおわりです。ありがとうございました。

Save the Children JAPAN

おとなアンケート
岩手県山田町

Save the Children JAPAN

1.「あなた自身」のことについてお聞きします。（ご回答いただいた方がわかることはありません。）
※それぞれの質問に対して、当てはまる**番号に１つだけ○**をしてください。

（1）性別

１ 男	２ 女

（2）年齢

１ 19 歳	２ 20～29 歳	３ 30～39 歳	４ 40～49 歳	５ 50～59 歳
６ 60～69 歳	７ 70～79 歳	８ 80～89 歳	９ 90 歳以上	

（3）居住地域

１ 大沢地区	２ 山田地区	３ 織笠地区
４ 船越・田の浜地区	５ 大浦・小谷鳥地区	６ 豊間根地区

（4）居住形態

１ 仮設住宅	２ 賃貸（県補助あり）	３ 賃貸（自己負担）
４ 持ち家	５ 親戚・知人宅	６ その他（　　）

2. あなたは、**地域の子どもが復興にむけた山田町のまちづくりに参加すること**をどう思いますか？
（1） 当てはまる**番号**に１つだけ○をしてください。

１ 大変良いと思う	２ 良いと思う	３ あまり良いとは思わない
４ まったく良いと思わない		

（2） そう思う理由をご自由にお書きください。

3. あなたは、**地域の子どもたちが山田町の復興に関わることに協力したい**と思いますか？
※当てはまる**番号**に１つだけ○をしてください。

１ 大変そう思う	２ そう思う	３ あまりそう思わない	４ まったくそう思わない

4. あなたは、**地域の子どもたちが山田町の復興に関わることに協力していますか？**
※当てはまる**番号**に**1つだけ**○をしてください。

1　はい	2　いいえ

（2）「はい」を選んだ人は、
具体的に**どのようなことをしています**か。
※当てはまる**番号**に**いくつでも**○をしてください。

1	子どもに復興やまちづくりの情報を提供する
2	復興やまちづくりについて子どもと話し合う
3	子どもに復興やまちづくりの活動を紹介する
4	復興やまちづくりに関わる子どもの活動に参加する
5	子どもが復興やまちづくりの活動に参加できるよう送迎する
6	その他（　　）

（3）「いいえ」を選んだ人は、
その**理由**を教えてください。
※当てはまる**番号**に**いくつでも**○をしてください。

1	家事が忙しい
2	仕事が忙しい
3	子育てや介護が忙しい
4	経済的に余裕がない
5	精神的に余裕がない
6	家族の理解がない
7	その他（　　）

5. あなたは、**地域の復興について子どもの意見を聞いている**と思いますか？
※当てはまる**番号**に**1つだけ**○をしてください。

1　大変そう思う　　2　そう思う　　3　あまりそう思わない　　4　まったくそう思わない

6. あなたは、**ふだんから**子どもの意見を聞いていると思いますか？
※当てはまる**番号**に**1つだけ**○をしてください。

1　大変そう思う　　2　そう思う　　3　あまりそう思わない　　4　まったくそう思わない

7. セーブ・ザ・チルドレンは 2011 年 3 月の震災後から、いろいろな活動をしてきました。下記の活動の中からどれについて知っていますか？当てはまる番号に**いくつでも**○をしてください。

1　避難所での「こどもひろば」	2　学用品配布(文房具、ランドセル)
3　学校備品配布（キーボード等）	4　防災備品配布（防災ずきん等）
5　子どもまちづくりクラブ	6　夢実現プロジェクト(スポーツ・文化活動支援)
7　学童での活動	8　その他（　　）

8. あなたの周りで、「心配な状況にいる」と思う子どもたちは、震災前と比べて増えていますか？

1　増えている　　2　減っている　　3　変わらない

（1）「増えている」と答えた人は、どのような“心配な状況にいる”子どもたちが増えましたか？

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

おとなアンケート
岩手県陸前高田市

Save the Children JAPAN

1.「あなた自身」のことについてお聞きします。（ご回答いただいた方がわかることはありません。）
※それぞれの質問に対して、当てはまる**番号に１つだけ〇**をしてください。

（1）性別

１ 男	２ 女

（2）年齢

１ 19 歳	２ 20～29 歳	３ 30～39 歳	４ 40～49 歳	５ 50～59 歳
６ 60～69 歳	７ 70～79 歳	８ 80～89 歳	９ 90 歳以上	

（3）居住地域

１ 矢作地区	２ 横田地区	３ 竹駒地区	４ 気仙地区	５ 高田地区
６ 米崎地区	７ 小友地区	８ 広田地区	９ その他（　　）	

（4）居住形態

１ 仮設住宅	２ 賃貸（県補助あり）	３ 賃貸（自己負担）
４ 持ち家	５ 親戚・知人宅	６ その他（　　）

2. あなたは、**地域の子どもが復興にむけた陸前高田市のまちづくりに参加すること**をどう思いますか？
（1） 当てはまる**番号**に１つだけ〇をしてください。

１ 大変良いと思う	２ 良いと思う	３ あまり良いとは思わない
４ まったく良いと思わない		

（2） そう思う理由をご自由にお書きください。

3. あなたは、**地域の子どもたちが陸前高田市の復興に関わることに協力したい**と思いますか？
※当てはまる**番号**に１つだけ〇をしてください。

１ 大変そう思う	２ そう思う	３ あまりそう思わない	４ まったくそう思わない

4. あなたは、**地域の子どもたちが陸前高田市の復興に関わることに協力していますか？**
※当てはまる**番号**に**1つだけ**〇をしてください。

1　はい	2　いいえ

（2）「はい」を選んだ人は、
具体的に**どのようなことをしています**か。
※当てはまる**番号**に**いくつでも**〇をしてください。

1	子どもに復興やまちづくりの情報を提供する
2	復興やまちづくりについて子どもと話し合う
3	子どもに復興やまちづくりの活動を紹介する
4	復興やまちづくりに関わる子どもの活動に参加する
5	子どもが復興やまちづくりの活動に参加できるよう送迎する
6	その他（　　）

（3）「いいえ」を選んだ人は、
その**理由**を教えてください。
※当てはまる**番号**に**いくつでも**〇をしてください。

1	家事が忙しい
2	仕事が忙しい
3	子育てや介護が忙しい
4	経済的に余裕がない
5	精神的に余裕がない
6	家族の理解がない
7	その他（　　）

5. あなたは、**地域の復興について子どもの意見を聞いている**と思いますか？
※当てはまる**番号**に**1つだけ**〇をしてください。

1　大変そう思う　　2　そう思う　　3　あまりそう思わない　　4　まったくそう思わない

6. あなたは、**ふだんから**子どもの意見を聞いていると思いますか？
※当てはまる**番号**に**1つだけ**〇をしてください。

1　大変そう思う　　2　そう思う　　3　あまりそう思わない　　4　まったくそう思わない

7. セーブ・ザ・チルドレンは 2011 年 3 月の震災後から、いろいろな活動をしてきました。下記の活動の中からどれについて知っていますか？当てはまる番号に**いくつでも**〇をしてください。

1　避難所での「こどもひろば」　　2　学用品配布(文房具、ランドセル)
3　学校備品配布（キーボード等）　　4　防災備品配布（防災ずきん等）
5　子どもまちづくりクラブ　　6　夢実現プロジェクト(スポーツ・文化活動支援)　　7　学童での活動
8　仮設集会所の設置　　9　ミニ「あかりの木」　　10　その他（　　）

8. あなたの周りで、「心配な状況にいる」と思う子どもたちは、震災前と比べて増えていますか？

1　増えている　　2減っている　　3　変わらない

（1）「増えている」と答えた人は、どのような“心配な状況にいる”子どもたちが増えました　か？

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

おとなアンケート
宮城県石巻市

Save the Children JAPAN

1.「あなた自身」のことについてお聞きします。（ご回答いただいた方がわかることはありません。）
※それぞれの質問に対して、当てはまる**番号に１つだけ〇**をしてください。

（1）性別

１ 男	２ 女

（2）年齢

１ 19 歳	２ 20～29 歳	３ 30～39 歳	４ 40～49 歳	５ 50～59 歳
６ 60～69 歳	７ 70～79 歳	８ 80～89 歳	９ 90 歳以上	

（3）居住地域

１ 石巻地区	２ 河北地区	３ 河南地区	４ 桃生地区	５ 雄勝地区
６ 北上地区	７ 牡鹿地区	８ その他（　　）		

（4）居住形態

１ 仮設住宅	２ 賃貸（県補助あり）	３ 賃貸（自己負担）
４ 持ち家	５ 親戚・知人宅	６ その他（　　）

2. あなたは、**地域の子どもが復興にむけた石巻市のまちづくりに参加すること**をどう思いますか？
（1） 当てはまる**番号**に１つだけ〇をしてください。

１ 大変良いと思う	２ 良いと思う	３ あまり良いとは思わない
４ まったく良いと思わない		

（2） そう思う理由をご自由にお書きください。

3. あなたは、**地域の子どもたちが石巻市の復興に関わることに協力したい**と思いますか？
※当てはまる**番号**に１つだけ〇をしてください。

１ 大変そう思う	２ そう思う	３ あまりそう思わない	４ まったくそう思わない

4. あなたは、**地域の子どもたちが石巻市の復興に関わることに協力していますか？**
※当てはまる**番号**に**1つだけ**○をしてください。

1　はい	2　いいえ

（2）「はい」を選んだ人は、
具体的に**どのようなことをしています**か。
※当てはまる**番号**に**いくつでも**○をしてください。

1	子どもに復興やまちづくりの情報を提供する
2	復興やまちづくりについて子どもと話し合う
3	子どもに復興やまちづくりの活動を紹介する
4	復興やまちづくりに関わる子どもの活動に参加する
5	子どもが復興やまちづくりの活動に参加できるよう送迎する
6	その他（　　）

（3）「いいえ」を選んだ人は、
その**理由**を教えてください。
※当てはまる**番号**に**いくつでも**○をしてください。

1	家事が忙しい
2	仕事が忙しい
3	子育てや介護が忙しい
4	経済的に余裕がない
5	精神的に余裕がない
6	家族の理解がない
7	その他（　　）

5. あなたは、**地域の復興について子どもの意見を聞いている**と思いますか？
※当てはまる**番号**に**1つだけ**○をしてください。

1　大変そう思う　　2　そう思う　　3　あまりそう思わない　　4　まったくそう思わない

6. あなたは、**ふだんから**子どもの意見を聞いていると思いますか？
※当てはまる**番号**に**1つだけ**○をしてください。

1　大変そう思う　　2　そう思う　　3　あまりそう思わない　　4　まったくそう思わない

7. セーブ・ザ・チルドレンは 2011 年 3 月の震災後から、いろいろな活動をしてきました。下記の活動の中からどれについて知っていますか？当てはまる番号に**いくつでも**○をしてください。

1　避難所での「こどもひろば」　　2　学用品配布(文房具、ランドセル)
3　学校備品配布（キーボード等）　　4　防災備品配布（防災ずきん等）
5　子どもまちづくりクラブ　　6　夢実現プロジェクト(スポーツ・文化活動支援)
7　学童での活動　　8　給食配布（おにぎり、ジュース等）　　9　石巻市子どもセンター
10　公園づくり（鹿妻第5公園、蛇田団地北公園、大橋南公園、さくら公園）　　11　その他（　　）

8. あなたの周りで、「心配な状況にいる」と思う子どもたちは、震災前と比べて増えていますか？

1　増えている　　2　減っている　　3　変わらない

（1）「増えている」と答えた人は、どのような“心配な状況にいる”子どもたちが増えましたか？

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

「Hear Our Voice 9 ～子ども参加に関する意識調査 2014～」結果（速報）

（2014 年 11 月 20 日現在）

国際子ども支援 NGO セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン（以下 SCJ）は、東日本大震災復興支援事業の柱の一つとして、2011 年 5 月より子ども参加によるまちづくり事業“Speaking Out From Tohoku（SOFT）～子どもの参加でより良いまちに！～”を実施しております。本事業を通じて、地域の復興やまちづくりに対し、地域の一員である子どもたち自身が声をあげ、社会に参加することで、より良いまちをつくることを目指しています。

2011 年、岩手・宮城県 5 地域の小学 4 年生～高校生約 1 万 1 千人を対象に「Hear Our Voice 1～子ども参加に関する意識調査～」（※1）、2012 年には岩手・宮城県 3 地域の同約 1 万 5 千人を対象に、「Hear Our Voice 7～子ども参加に関する意識調査 2012～」（※1）を実施しました。その結果、被災地域の子どもたちの約 9 割（2011 年度調査）、約 7 割（2012 年度調査）が自分たちの住む地域の復興に向けたまちづくりに、自ら進んで参加したいと考えていることが明らかになりました。

SCJ は、本調査を継続的に実施していくことで、地域の子どもやおとなの子ども参加に関する意識を把握し、子ども参加によるまちづくりの促進につなげようと考えています。本調査結果を通じて、約 1 万 4 千人の子どもたちが、地域の復興に参加することについてどのように考えているのか、ぜひ子どもたちの声に耳を傾けてください。

本調査に参加してくれた子どもたち、実施にあたりご協力いただいた行政、学校、地域関係者、関係団体のみなさまに、厚く御礼申し上げます。

※1 「Hear Our Voice1～子ども参加に関する意識調査～」 http://www.savechildren.or.jp/scjcms/sc_activity.php?d=434

「Hear Our Voice7～子ども参加に関する意識調査 2012～」 http://www.savechildren.or.jp/scjcms/sc_activity.php?d=969

Ⅰ．調査概要

1．調査の目的

本調査は、東日本大震災後の地域の復興に子どもが参加することについて、子ども自身がどのように認識しているかを把握するために実施した。その一方で、子どもが復興に参加するためには、おとなのサポートが必要であるため、復興における子ども参加へのおとなの意識を知るために、おとなに対しても調査を実施した。

2．調査の状況

・調査地域 ： 岩手県山田町、岩手県陸前高田市、宮城県石巻市 （「子どもまちづくりクラブ」実施地域）

・調査対象 ：

子ども…対象地域内にある学校に通う小学 4 年生～高校生、合計 16,810 人

（小学校 54 校、中学校 26 校、高校 14 校、特別支援学校 4 校 ：計 98 校）

※実施した学校一覧は詳細レポートに掲載予定。

おとな…対象地域内にあるすべての世帯、合計 72,233 世帯

・調査方法 ：

子ども…小中学校は教育委員会を経由し文書箱にて送付、高校は直接送付し、教師のガイダンスによる自記式で回答。特別支援学校については、必要に応じて教師のガイダンスを丁寧に行い、自記式で回答。

おとな…自治体の協力のもと対象地域全世帯に配布し、各世帯の中で 19 歳以上の 1 名が自記式で回答。

・調査期間 ： 2014 年 9 月 1 日～10 月 10 日

・有効回答数 ： 子ども 13,957 件、おとな 3,687 件

Ⅱ．結果概要

1．子どもの結果について

子どもの調査結果の概要については下記の通り。詳細はⅢ以下を参照。

① 約 7 割の子どもたちが「自分のまちの復興に関わりたい」と回答し、子どもたちは 2011 年度、2012 年度の調査と同様に地域の復興に関わりたいと考えている。2012 年度の調査結果と比べ、「復興に関わりたい」と回答した子どもの割合は若干（2.6%）減ったが、関わりたくない理由として「勉強もしくは部活で忙しい」が多く、震災前の子どもの学校生活が徐々に回復しつつあることが原因であると考えられる。

② また「復興に関わりたい」という意識は高いが、「実際に関わった」という子どもの割合が少ない結果となった。

③ 今回の調査では「復興のためにどんなことをしたいか」の選択肢として「まちづくりの活動に参加」「震災を語り継ぐ」という選択肢を増設したが、これらの項目を選択した子どもが多い。

④ 「関わりたくない」「関わっていない」理由の中で「何をしたらいいか分からない」、「関わる機会がない」が突出しており、2012 年度の調査結果と同様の傾向が見て取れる。これは未だ、子どもが復興に関わることについての情報や機会の提供が少ないことが原因だと考えられる。

⑤ SCJ の「子ども参加によるまちづくり事業の活動に参加した」子どもの方が、「復興に関わりたい」、「実際に関わった」双方について割合が高い。

⑥ 「復興についておとなに伝えたいこと」については、2012 年の調査に比べて「特になし」「ありません」と答える子どもが増えた。

⑦ 「復興についておとなに伝えたいこと」について「特になし」「ありません」以外の記述をする子ども、すなわち自分のまちの復興についておとなに具体的に伝えたいことがある子どもの方が、「子どもの意見が復興に良い影響を与えることができる」と思う割合が高い。

2．おとなの結果について（※2）

おとなには次の 5 つの質問に回答してもらった。

2．あなたは、地域の子どもが復興に向けたまちづくりに参加することをどう思いますか？
3．あなたは、地域の子どもたちが地域の復興に関わることに協力したいと思いますか？
4．あなたは、地域の子どもたちが地域の復興に関わることに協力していますか？
5．あなたは、地域の復興について子どもの意見を聞いていると思いますか？
6．あなたは、ふだんから子どもの意見を聞いていると思いますか？

① 2および3について、大多数が肯定的な回答をしており、子どもが復興に向けたまちづくりに参加することについて、概ね肯定的な印象を持っていることが分かった。

② しかし4については約 7 割の人が「いいえ」と答えている。その理由として、「周りに子どもがいない」、「年齢や健康上難しい」といった理由の次に、「機会がない、協力の場がない」「情報がない」「協力の仕方が分からない」が多い。一方で「はい」と答えた人は、「復興やまちづくりについて子どもと話し合う」「子どもに復興やまちづくりの情報を提供する」「復興やまちづくりに関わる子どもの活動に参加する」等の形で協力している。

③ 6については肯定的な回答が過半数であった。しかし5については、肯定的な回答がかなり少なくなっており、子どもが復興に向けたまちづくりに参加することは良いと考えおり、ふだんから子どもの意見は聞いていると考えているものの、実際には復興に関する子どもの意見は十分には聞いていないと言える結果になった。

※2 調査の制約について

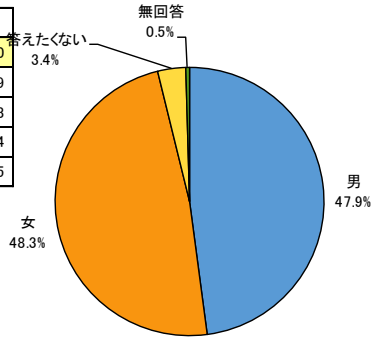
おとなの調査を行うにあたって、標本調査に必要となる上記調査地域の成人人口の名簿などの個人情報が一 NGO では入手不可能であったため、自治体の協力を得て、全世帯を対象とした郵送調査を実施した。しかしながら、回収率が低く、調査結果にポジティブ・バイアス（肯定的先入観）がかかっている可能性が否めないため、おとなの調査結果はあくまでも参考事例として紹介するにとどめる。

Ⅲ. 質問項目および集計結果

1. あなた自身について教えてください。

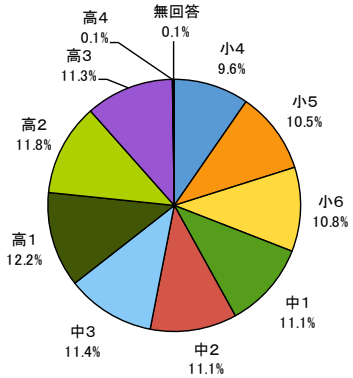
(1)性別

	調査数	%
全 体	13957	100
男	6686	47.9
女	6737	48.3
答えたくない	471	3.4
無回答	63	0.5



(2)学年

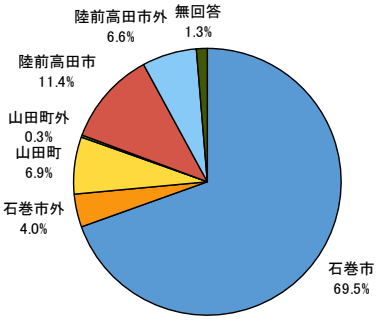
	調査数	%
全 体	13957	100
小4	1342	9.6
小5	1465	10.5
小6	1508	10.8
中1	1543	11.1
中2	1547	11.1
中3	1586	11.4
高1	1705	12.2
高2	1652	11.8
高3	1576	11.3
高4	14	0.1
無回答	19	0.1



※3:「高4」については、下記の注記を参照

(3)地域

	調査数	%
全 体	13957	100
石巻市	9702	69.5
石巻市外	559	4.0
山田町	965	6.9
山田町外	37	0.3
陸前高田市	1590	11.4
陸前高田市外	921	6.6
無回答	183	1.3



※4:「石巻市外」「山田町外」「陸前高田市外」については下記の注記を参照

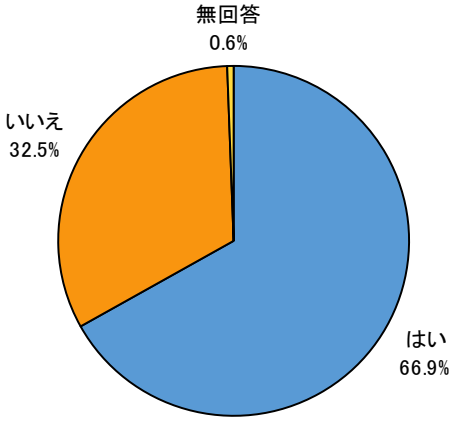
※3 定時制課程の高校が 2 校含まれているため、「高 4」という選択項目がある。

※4 今回の調査は主に石巻市・山田町・陸前高田市の学校で実施したが、各市町に在住していながら、各市町外の学校に通学している児童・生徒がいるため、隣接市の学校でも実施した。もう一方で、隣接市に在住しながら各市町内の学校に通学している子どもや隣接市内の学校での実施の際に隣接市に在住している子どもも本調査に参加したため、このような子どもの属性は「石巻市外」「山田町市外」「陸前高田市外」としている。

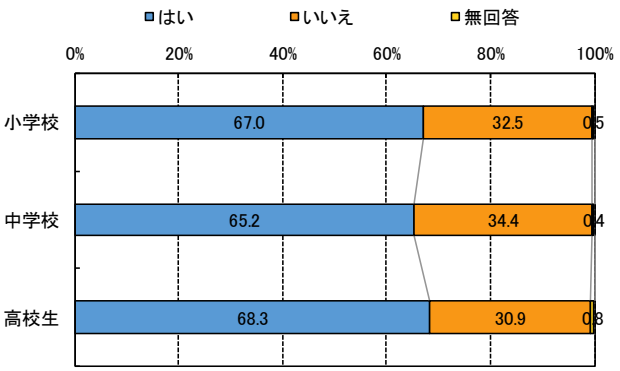
2－(1)． あなたは、自分のまちの復興にかかわりたいと思いますか？

9,333 人(66.9%)の子どもが「はい」と回答した。小中高別では、高校生が小中学生に比べ、やや「はい」の割合が高く、男女別では女子の方が男子に比べ、13%程度「はい」の割合が高い。

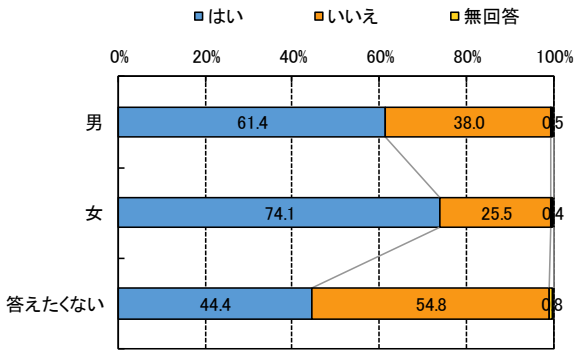
	調査数	%
全 体	13957	100
はい	9333	66.9
いいえ	4542	32.5
無回答	82	0.6



■小中高別



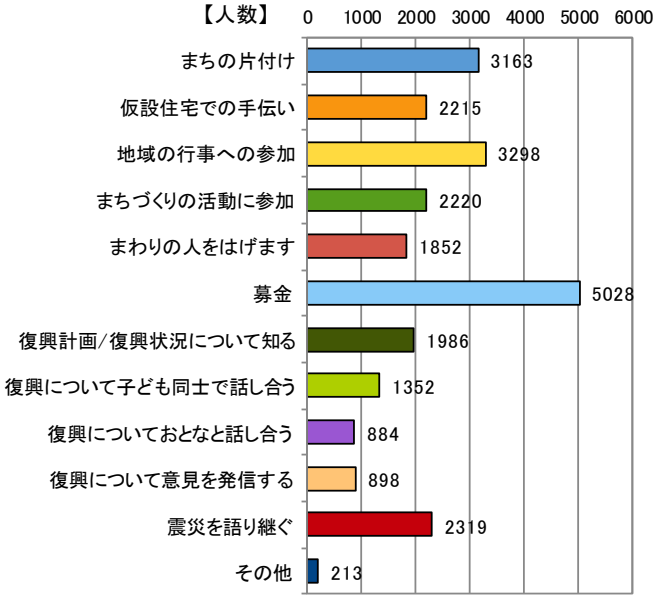
■男女別



2－(2)． 「はい」の人は、そのためにどんなことをしたいですか？(複数回答)

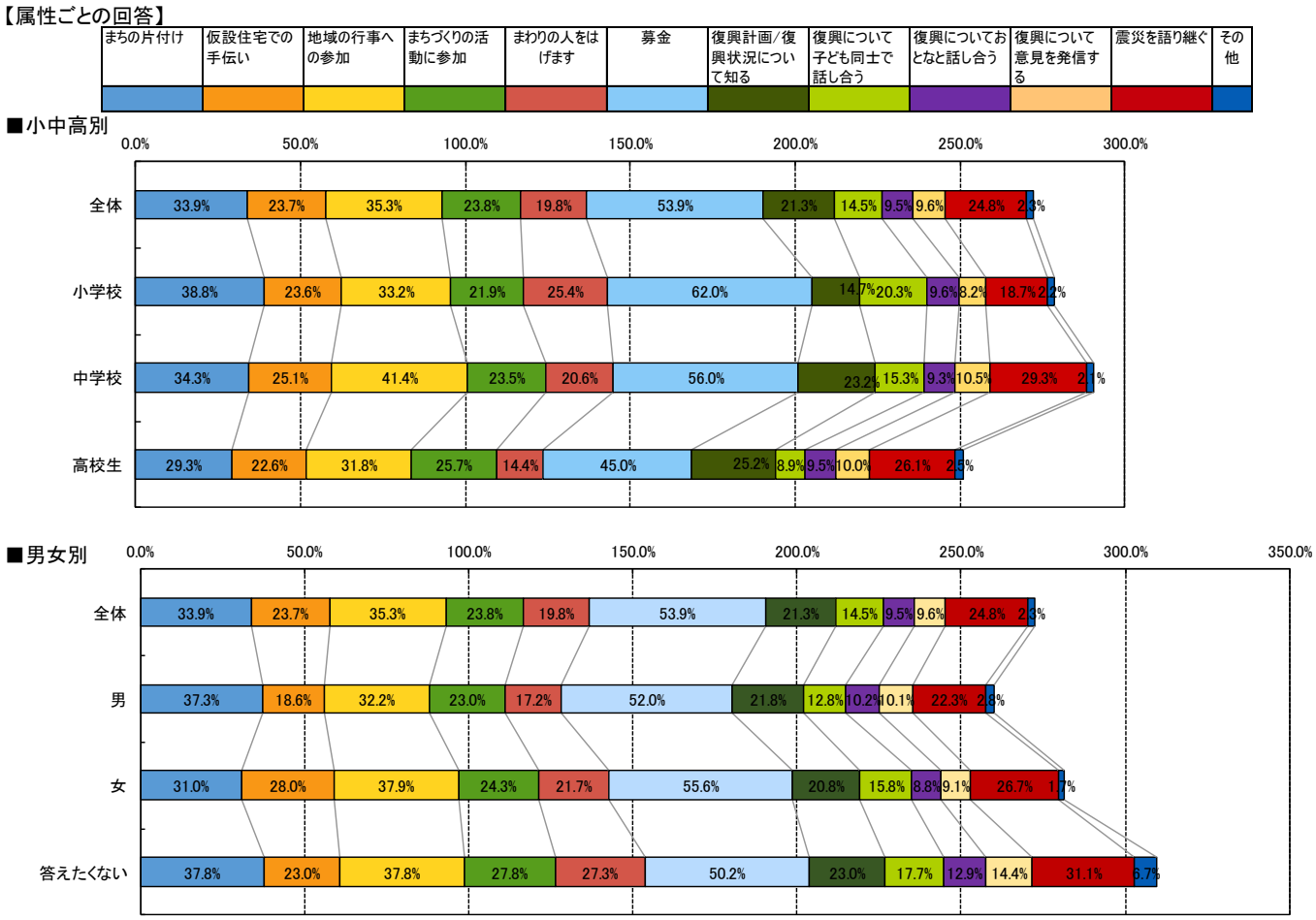
「募金」、「地域の行事への参加」「まちの片付け」が多かった。今回の調査では「まちづくりの活動に参加」「震災を語り継ぐ」という選択肢を増設したが、いずれの項目も子どもの 4 人に 1 人が選択している。復興に関わる選択肢においては、小学生は「復興について子ども同士で話し合う」ことを、中高生は「復興計画を知る」ことを望んでいる。

	調査数	%
全 体	9333	100
まちの片付け	3163	33.9
仮設住宅での手伝い	2215	23.7
地域の行事への参加	3298	35.3
まちづくりの活動に参加	2220	23.8
まわりの人をはげます	1852	19.8
募金	5028	53.9
復興計画/復興状況について知る	1986	21.3
復興について子ども同士で話し合う	1352	14.5
復興についておとなと話し合う	884	9.5
復興について意見を発信する	898	9.6
震災を語り継ぐ	2319	24.8
その他	213	2.3
無回答	79	0.8



＊複数回答のため、% 合計は 100%を超えている。

【属性ごとの回答】

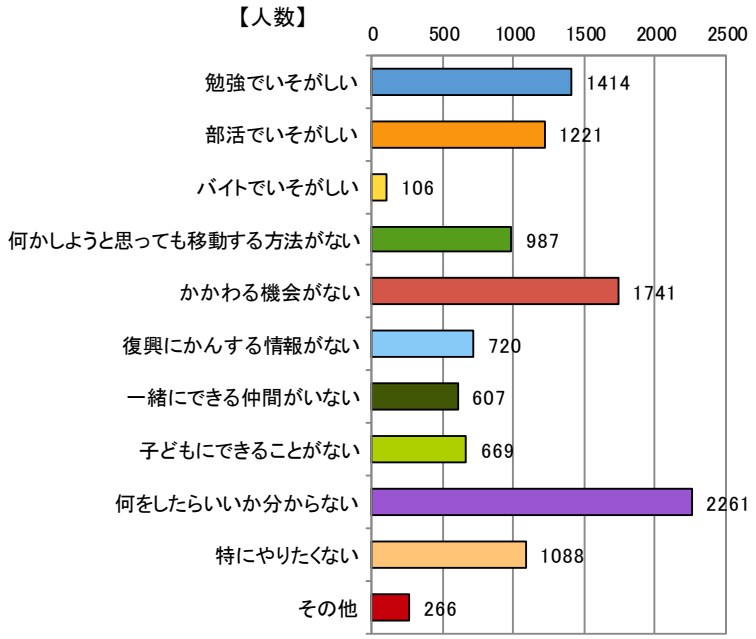


2－(3). 「いいえ」の人は、その理由を教えてください。(複数回答)

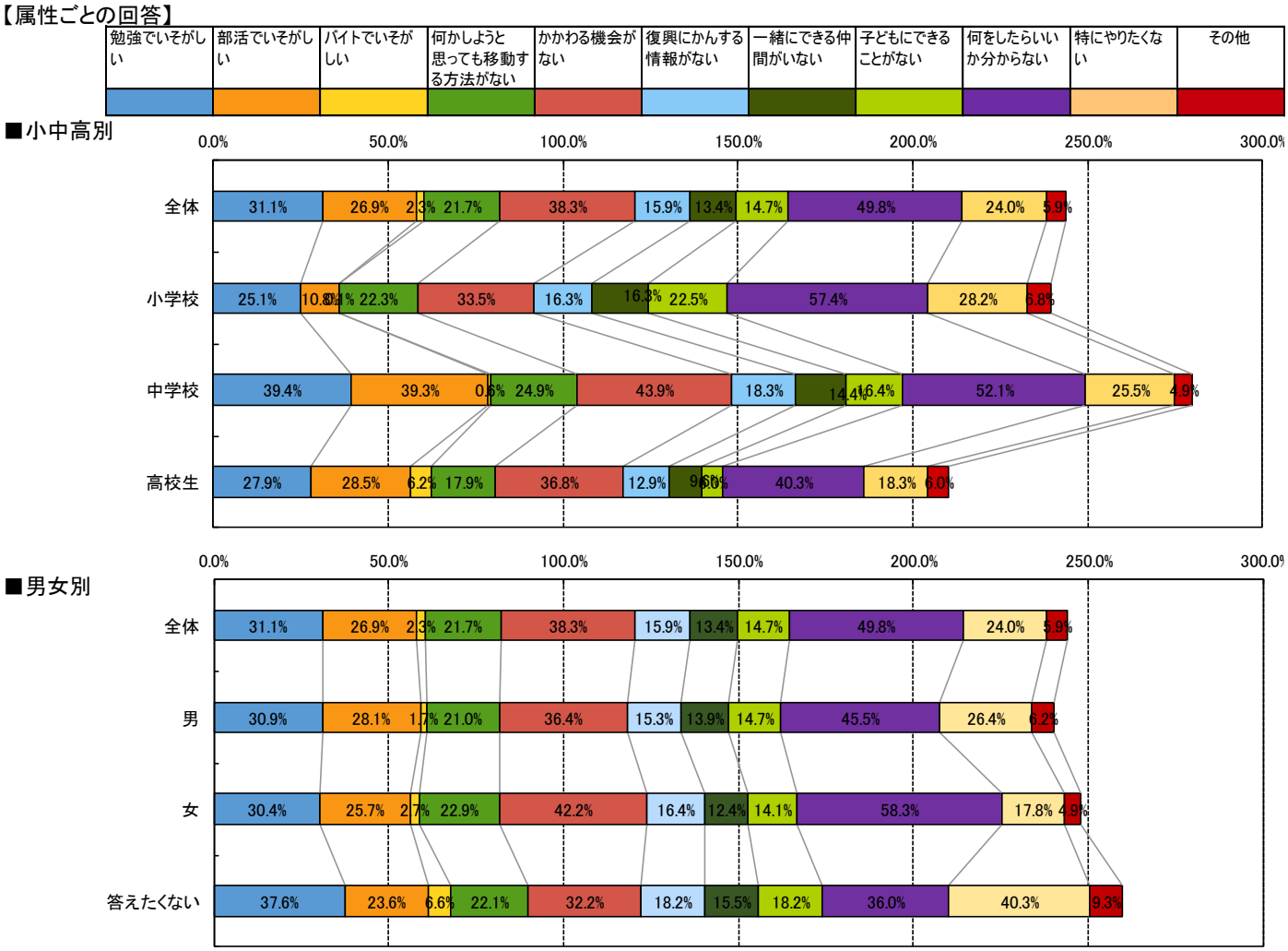
「何をしたらいいか分からない」、「かかわる機会がない」が突出しており、2012 年度の調査結果と同様の傾向が見て取れる。これは未だ子どもが復興に関わることについての情報や機会の提供が少ないことが原因だと考えられ、することが分からないために子どもたちの参加意欲がそがれている可能性がある。また、次いで「勉強でいそがしい」、「部活でいそがしい」が多かったが、「いそがしい」については、特に中高生で選択した割合が高い。これも 2012 年度と同様の傾向であり、震災前の子どもの学校生活が徐々に回復しつつあることが原因であると考えられる。

	調査数	%
全 体	4542	100
勉強でいそがしい	1414	31.1
部活でいそがしい	1221	26.9
バイトでいそがしい	106	2.3
何かしようと思っても移動する方法がない	987	21.7
かかわる機会がない	1741	38.3
復興にかんする情報がない	720	15.9
一緒にできる仲間がいない	607	13.4
子どもにできることがない	669	14.7
何をしたらいいか分からない	2261	49.8
特にやりたくない	1088	24.0
その他	266	5.9
無回答	97	2.1

＊複数回答のため、% 合計は 100%を超えている。



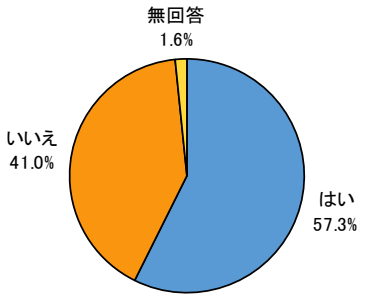
【属性ごとの回答】

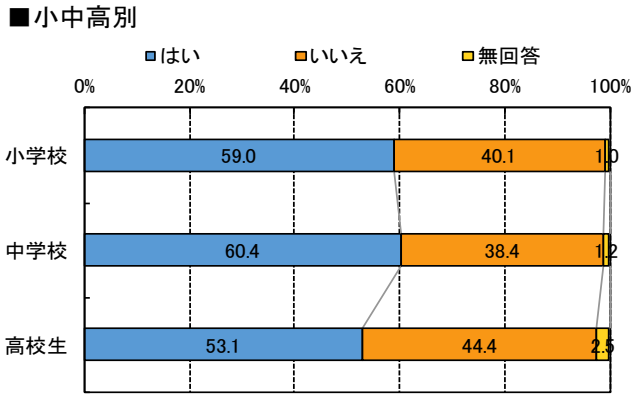


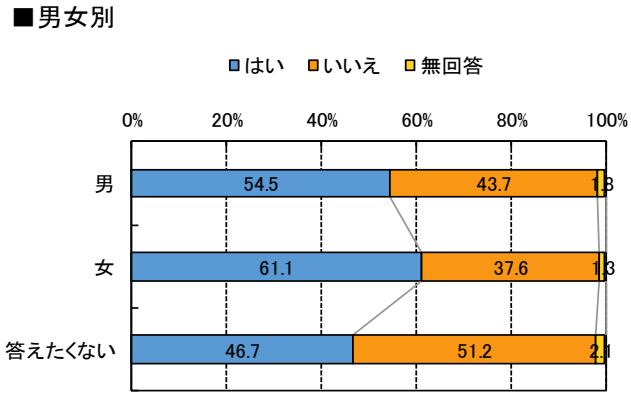
3－(1)．　あなたは、自分のまちの復興のために何かしたことがありますか？

8,004 人(57.3%)の子どもが「はい」と回答した。実際に自分のまちの復興のために「何かした」と答えた子どもの割合は、2－(1)で「何かしたい」と答えた子どもの割合に比べ 9.6%少なくなった。

	調査数	%
全　体	13957	100
はい	8004	57.3
いいえ	5729	41.0
無回答	224	1.6



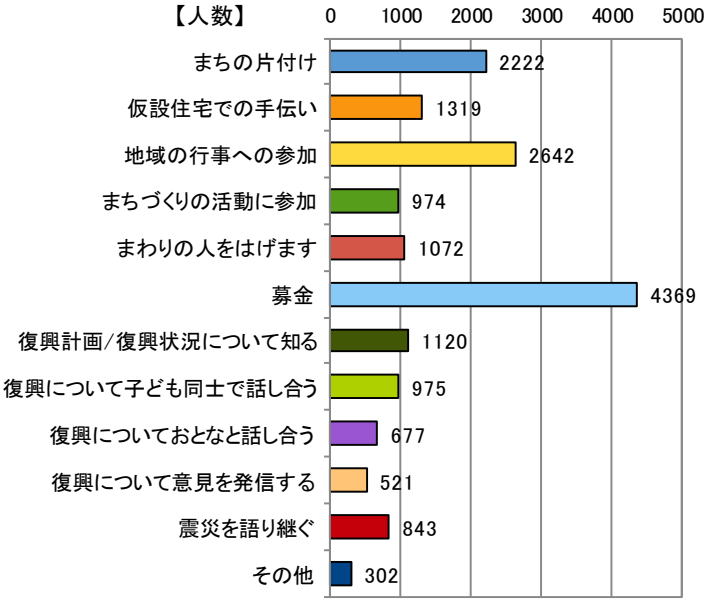




３－（２）．「はい」の人は、そのためにどんなことをしましたか？（複数回答）

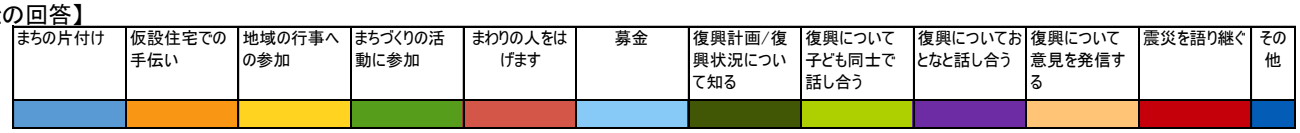
どの年代でも「募金」が多かった。一方で、２－（２）の回答で比較的多かった「復興状況/計画について知る」の割合が7.3%低くなっている。

	調査数	%
全　体	8004	100
まちの片付け	2222	27.8
仮設住宅での手伝い	1319	16.5
地域の行事への参加	2642	33.0
まちづくりの活動に参加	974	12.2
まわりの人をはげます	1072	13.4
募金	4369	54.6
復興計画/復興状況について知る	1120	14.0
復興について子ども同士で話し合う	975	12.2
復興についておとなと話し合う	677	8.5
復興について意見を発信する	521	6.5
震災を語り継ぐ	843	10.5
その他	302	3.8
無回答	38	0.5

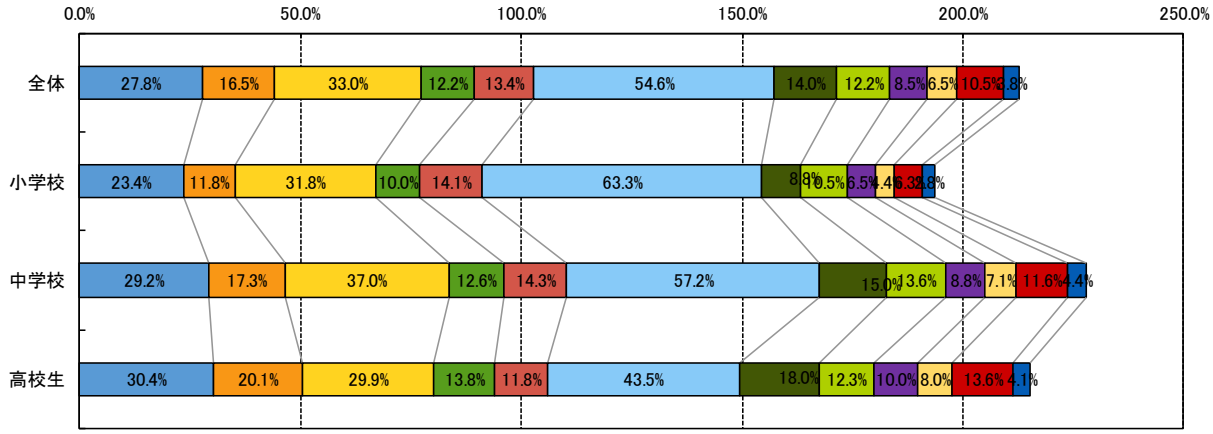


＊複数回答のため、% 合計は 100%を超えている。

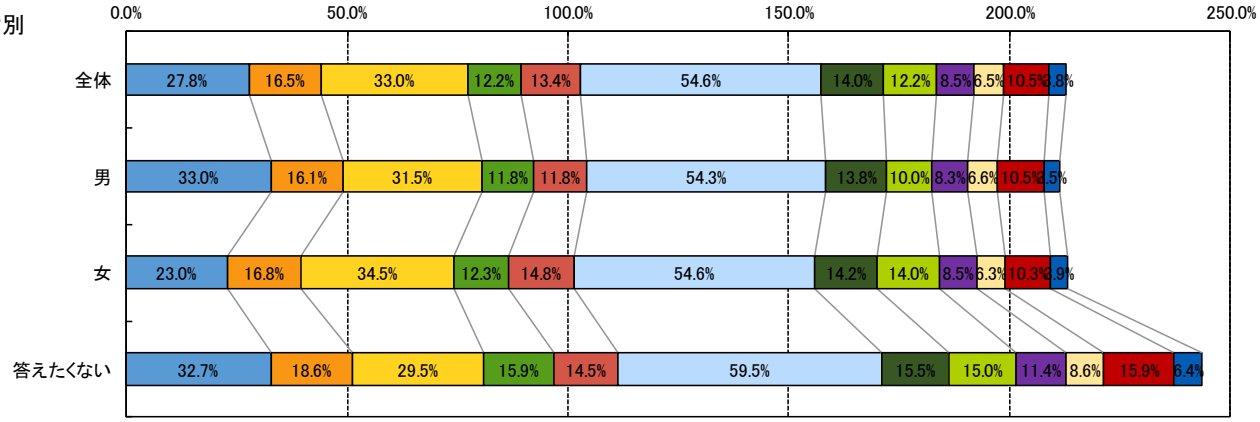
【属性ごとの回答】



■小中高別



■男女別

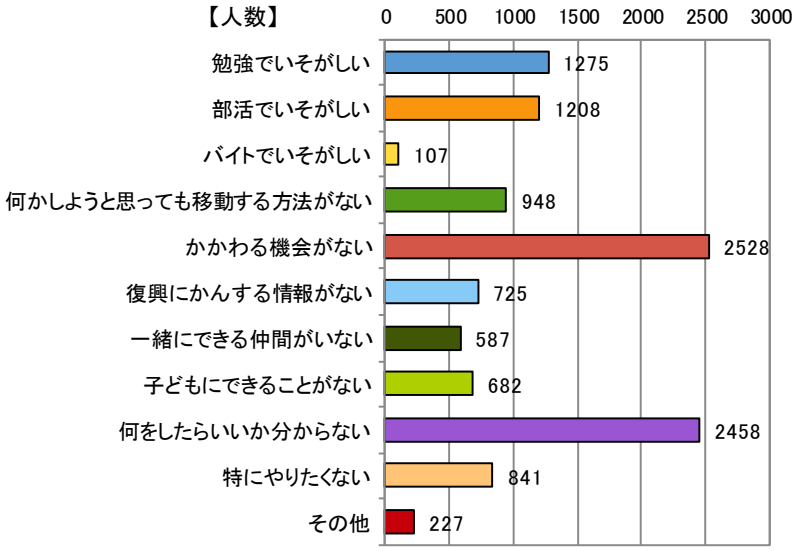


＊３－（２）で「はい」と回答した場合、限定条件に基づく質問として本来であれば「そのためどんなことをしましたか？」ときかれるべきであったところ、「そのためにどんなことをしたいですか？」と誤記があった。しかし、質問の並び上、３－（１）に関連してきかれていることが推測できるため、従来の質問内容に対しての回答が含まれると判断した。

3－(3). 「いいえ」の人は、その理由を教えてください。(複数回答)

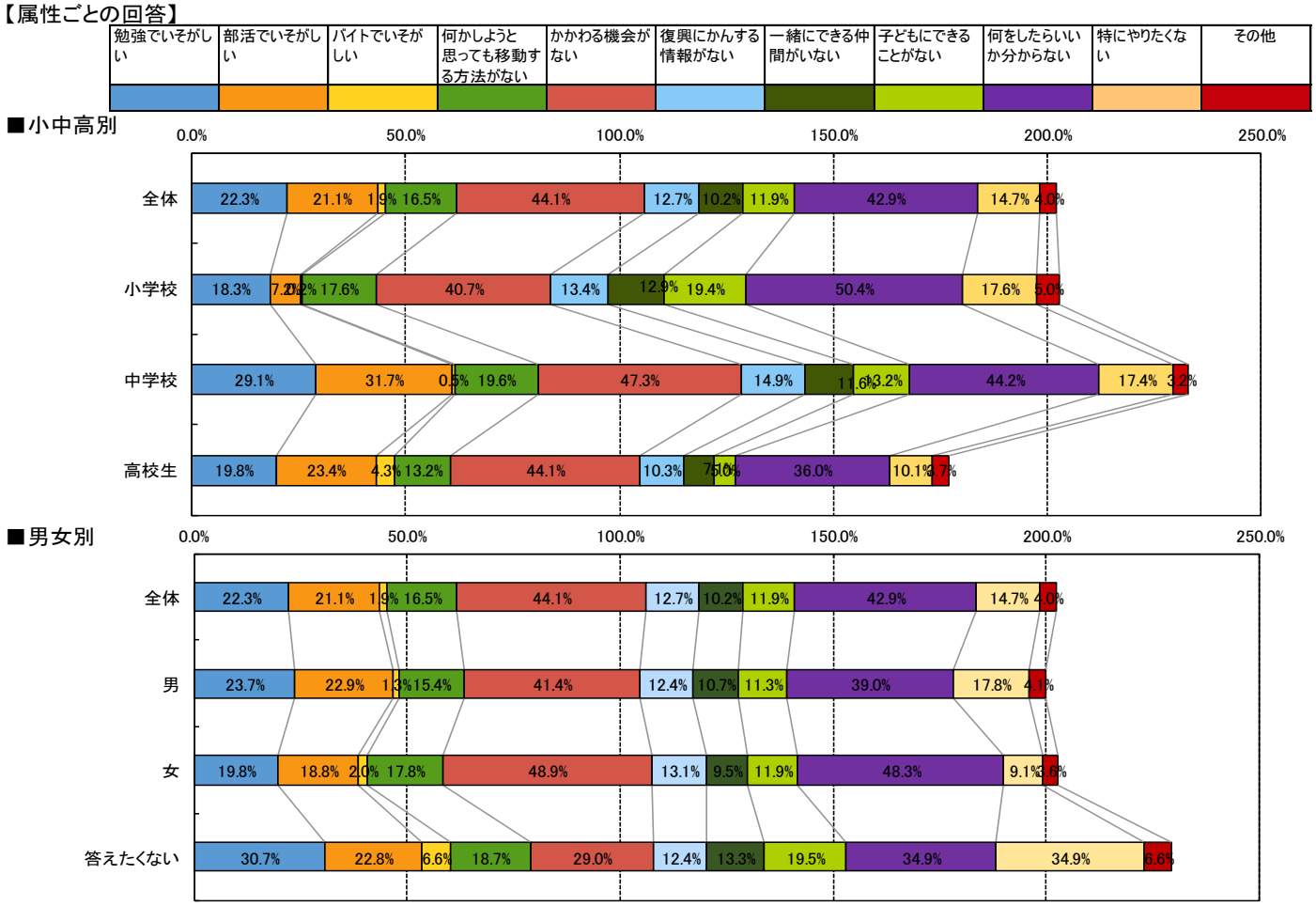
「かかわる機会がない」、「何をしたらいいか分からない」がほぼ同じで突出している。子どもが復興についての情報や機会がないために関わることができないのは、2－(3)と同様に子ども参加を阻む主要因と考えられる。次いで「勉強でいそがしい」、「部活でいそがしい」が多く、特に中高生は小学生に比べ「忙しい」割合が高い。「何かしようと思っても移動する方法がない」については、震災の影響で交通手段が不十分であるため、子どもたちが思うように参加できていない可能性があるといえる。

	調査数	%
全 体	5729	100
勉強でいそがしい	1275	22.3
部活でいそがしい	1208	21.1
バイトでいそがしい	107	1.9
何かしようと思っても移動する方法がない	948	16.5
かかわる機会がない	2528	44.1
復興にかんする情報がない	725	12.7
一緒にできる仲間がいない	587	10.2
子どもにできることがない	682	11.9
何をしたらいいか分からない	2458	42.9
特にやりたくない	841	14.7
その他	227	4.0
無回答	243	4.2



＊複数回答のため、% 合計は 100%を超えている。

【属性ごとの回答】



4.　自分のまちの復興について、あなたがおとなに伝えたいことを自由に書いてください。

自由回答には8,058人の子どもたちの声が寄せられた。内容については特に、施設やインフラ整備、自分のまちの現在・未来の姿、被災地への支援に関する感謝、復興における子ども参加といった内容が多く見られた。
以下、寄せられた回答の中からいくつか抜粋し、記載する。（誤字・脱字もそのまま転記。）

- 広いグランドを使って、おもいっきり走ったり、遊びたいし、野球がしたい。（陸前高田市・小 6・男）
- ぼくの家のちかくに公園がないのでどうろであそんでいます。だから公園を作ってほしいです。（石巻市・小 6・男）
- 街を高台の方につくるのは良いと思うけど、津波で助かった木を切ってしまうのは、あまりしてほしくないです。高台につくるなら、しぜんを利用してつくってほしいです。（陸前高田市・中 1・男）
- 山田町には、いままで自分がしらなかったたてものがたくさんたつようになりました。工事がすすんで、私は公園などのひろばが少なくなった気がします。緑やあそぶところを確保しながら、復興してほしいです。（山田町・中 2・女）
- 海がそばなので、震災のこともあると思いますが、早く泳いだりしたいです。あと、陸前高田も復興が進めばいいなと思いますが、今の広田も私は好きです。（陸前高田市・中 1・女）
- 震災を語りつぐのは、悪いこととは思わないけど、港の方に被災した建物など、わざと残しておくことは、震災で家族や親戚の人を亡くした人たちにとっては。良い気分はしないと思います。※ぼくも実際に家族を亡くしているので…。（石巻市・中 1・男）
- 新しい建物を建てるのも観光客とかが増えて、良いことだと思います。しかし、震災前にあった思い出の場所がある人もいて、その建物が店が復活するのも待っている人がいると思います。私もその1人です。昔のも建てれるようにして頂きたいです。（陸前高田市・高 3・女）
- 大変かもしれないけど、町のふっこうだけでなく、人の心も支えられるようにできるようにしてほしいです。大人が怒ったり、感情の変化も子供にも分かるし、ある意味困ります。（石巻市・中 1・女）
- 大人だけが大変じゃないこと。子供がいくら元気でいても、どこか悲しいことや辛いことがある。（石巻市・高 1・女）
- 「がんばっぺ」っていうけど、じゅうぶんみんながんばってるよ。いうなら「がんばってるね」とかがいい。（石巻市・小 4・女）
- 自分たちも学校などでがんばっているからおとなの人にもがんばってほしい。（山田町・小 6・男）
- 「自分はいいや」ではなく、「自分がやらなければいけない」。積極的に参加してほしいです。私たち子供だけでは、やはりやりたくてもできないことがたくさんあります。ですので、大人の力を必要なのです。（石巻市・中 1・女）
- 本当に、真実のことを知りたいです。子供だからと真実を隠されては困ります。高田の復こうは進んでいるのですか。子供たちが遊べるしせつや公園のけんとうは？私のわがままですが、少し、高田の未来が心配です。被災地は、今後どのように使われていくのか…。子どもは未来の希望といわれることがありますが、正直、どうしていいか、わかりません。子どもたちこそ、伝えていかないと、ダメなのでは？子どもまちづくりクラブに入れば分かりますか？（陸前高田市・中 2・女）
- 子供達はもっと色々知りたいです。今どんな状況で復興にはどれぐらいかかって、現状はこうで、原発の影響はこれぐらいあって、もうきっと住むことは不可能で。とか、そういうことをもっと知りたいです。（石巻市・中 3・女）
- おとなは子どもが復興のためにできることはないというけど、子どもだって子ども同士で話し合ったり、復興がどれくらい進んでいるのかを知ったりもできます。次のせだいに語り継ぐことだってできます。子どものしてんでしか分からないこともあると思います。ぜひ、子どもも復興にかかわらせてください。（石巻市・小 5・女）
- 子ども達にもできることは、たくさんあると思います。すべて、大人達が背負うのではなく子ども達にもやることはできるから、ボランティア活動などをもっと増やしてほしい。（山田町・中 2・男）
- いくら復興に関わりたいと思っても、子どもだというだけでいろいろ言われます。復興にたずさわりたいと思うのは子どもの方が人一倍強く思っているはずです。それをわかってください。おねがいします。（石巻市・中 3・男）
- 私たちが次の世代の子供たちに震災を語り継ぐ人だと思うので、経験したことを子供たちに伝えたいと思います。

（山田町・高 1・女）

- 私は震災で多くの大切なモノを失いましたが、新しく出来た大切なモノもあります。それもこれも復興の為にいろいろな事を助けてもらったからです。ありがとうございます。（石巻市・高 1・女）
- いつまでも被災者のままではいけないと思う。全国の皆様のあたたかい支援にはとても感謝しているけど、それに甘えてばかりではいけないと思う。（石巻市・高 3・女）

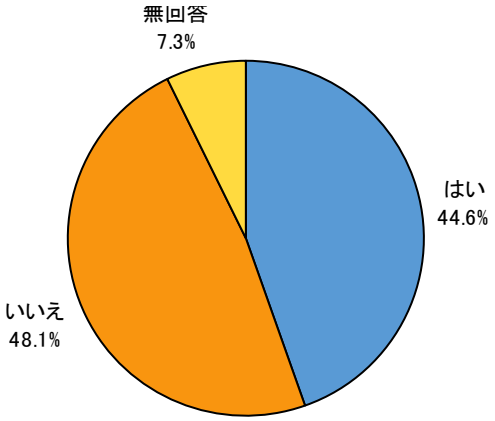
＊この質問に対して寄せられた子どもたちのすべての声を、後日 SCJ のホームページにて公開予定。 → http://www.savechildren.or.jp

なお、本質問において、過去の調査結果と比べて「特になし」「ありません」と回答した子どもの割合が大幅に増えたことは特筆すべき点である。

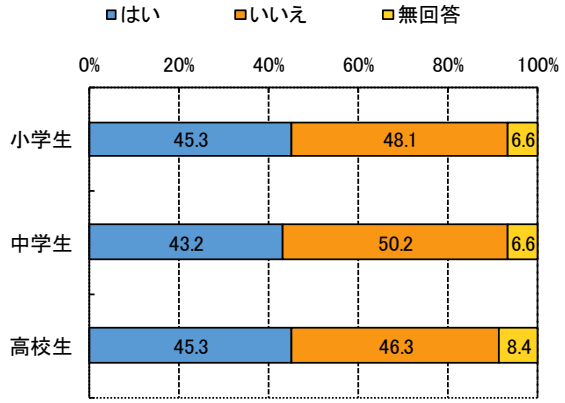
5. あなたは、あなたの意見や行動が自分のまちの復興に良い影響を与えることができると思いますか？

6,225 人（44.6%）の子どもが「はい」と回答し、「いいえ」と答えた 6717 人（48.1%）よりも若干少なかった。

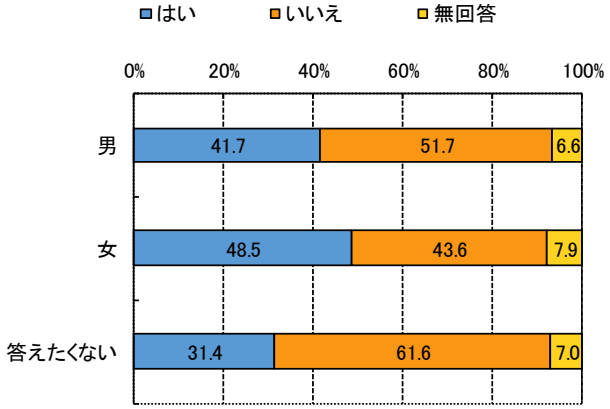
	調査数	%
全　体	13957	100
はい	6225	44.6
いいえ	6717	48.1
無回答	1015	7.3



■小中高別

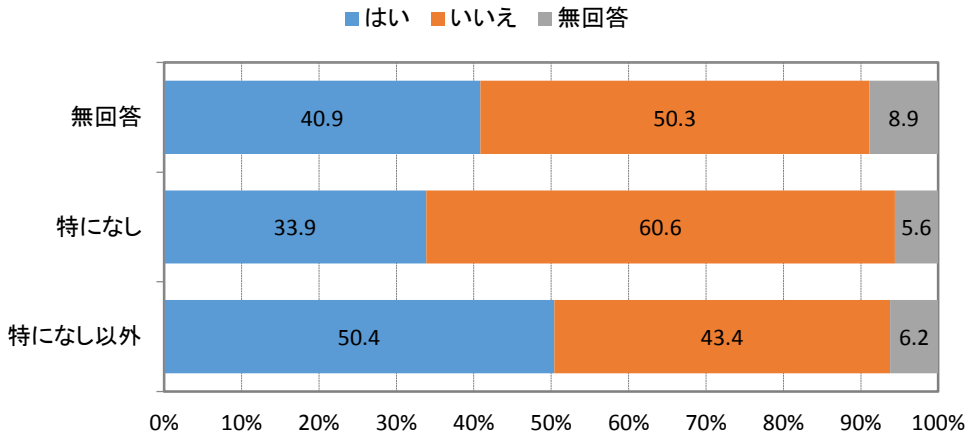


■男女別



なお、「自分のまちの復興について、おとなに伝えたいこと」の自由記述において、2012 年度の調査結果に比べて「特になし」「ありません」と答える子どもが増えたことは前述のとおりだが、この傾向の背景を探るために、4の回答内容と、上記5の子ども参加の復興への影響（復興プロセスにおける子どもの自己効力感）の相関関係を調べた。その結果、「特になし」「ありません」以外の記述をする子ども、すなわち自分のまちの復興についておとなに具体的に伝えたいことがある子どもの方が、「子どもの意見が復興に良い影響を与えることができる」と思う割合が高かった。もう一方で、2012 年度の調査結果よりもおとなに具体的に伝えたいことがない子どもが増えたのは、子どもがおとなに伝えても自分のまちの復興に影響力がないのではという復興プロセスにおける自己効力感の低下が要因となっている可能性が懸念される。

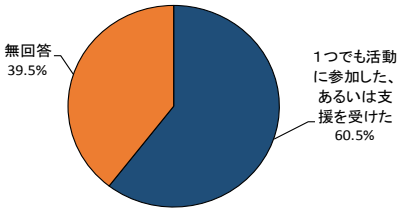
■４の回答内容別の５の自己効力感の回答



6. セーブ・ザ・チルドレンの活動の中であなたが実際に参加したり、支援を受けたものはありますか？

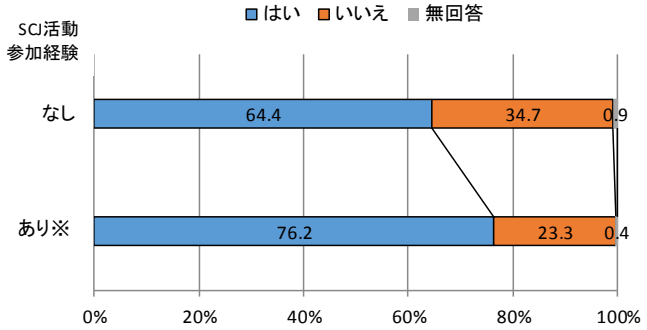
調査に回答した子どもたちのうち、8440 人（60.5%）の子どもが、1 つでも「セーブ・ザ・チルドレンの活動に実際に参加したり、支援を受けた」と回答した。もう一方で無回答だった子どもについては、質問に対して何かしら回答がなかった子どもに加え、セーブ・ザ・チルドレンの活動に実際参加していないと認識している子どもも含まれている。

	調査数	%
全 体	13,957	100
1つでも活動に参加した、あるいは支援を受けた	8,440	60.5
無回答	5,517	39.5

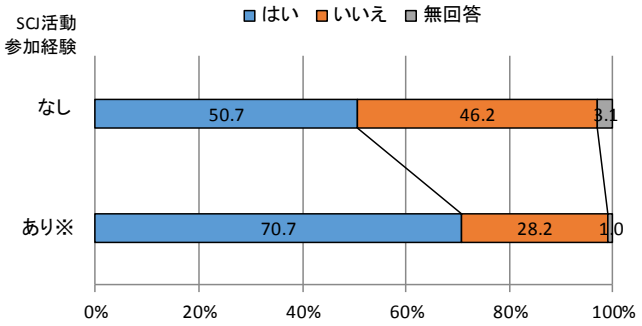


さらにセーブ・ザ・チルドレンの活動参加のうち、特に「子どもまちづくりクラブ（※5）」「石巻市子どもセンター」「ミニ『あかりの木』」などの子ども参加によるまちづくり事業への活動参加と、復興への参加についての相関関係を調べた。「子ども参加によるまちづくり事業に参加した」と回答した子どもは、2－（1）で「復興にかかわりたい」および3－（1）で「復興のために何かしたことがある」と回答した割合が、活動参加について無回答の子どもよりも、それぞれ 12.8%、20.1%ほど高かった。

■2-(1) あなたは、自分のまちの復興にかかわりたいと思いますか？



■3-(1) あなたは、自分のまちの復興のために何かしたことがありますか？



※SCJ活動のうち、「子ども参加によるまちづくり事業」参加者のみ

＊上記グラフの無回答の回答者の中には、無回答者に加えセーブ・ザ・チルドレンの活動に参加していないと認識している子どもも入る。また上記のSCJ活動参加経験ありと回答した子どもは「子ども参加によるまちづくり事業に参加した」ことがあると回答した子どものみを比較対象としている。

※5 「子どもまちづくりクラブ」は地域の一員である子どもたち自身が復興に向けたまちづくりに取り組む活動。2011 年度の調査で明らかになった子どもたちの声を受け、2011 年 6 月下旬より開始した。岩手県山田町、岩手県陸前高田市、宮城県石巻市の 3 つの地域で、小学校 5 年生～高校生のメンバーが、定期的に集まり、子ども同士だけでなく地域の方や行政、専門家とも話し合いながら、地域の復興に向け、さまざまな活動をしている。

調査者：公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン

【お問い合わせ先】
公益社団法人　セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン　仙台事務所
担当：津田／東日本大震災復興支援事業部副部長兼プログラムマネージャー
〒980-0804　宮城県仙台市青葉区大町 1-3-7　横山ビル 2F
TEL：022-263-4561　FAX：022-263-4562、E-mail：soft@savechildren.or.jp

調査にご協力くださった学校一覧

※学校種別、五十音順

岩手県山田町

小学校

- 荒川小学校
- 大浦小学校
- 大沢小学校
- 織笠小学校
- 轟木小学校
- 豊間根小学校
- 船越小学校
- 山田北小学校
- 山田南小学校

中学校

- 豊間根中学校
- 山田中学校

高校

- 岩手県立宮古工業高等学校
- 岩手県立宮古高等学校
- 岩手県立宮古商業高等学校
- 岩手県立宮古水産高等学校

特別支援学校

- 岩手県立宮古恵風支援学校

岩手県陸前高田市

小学校

- 小友小学校
- 気仙小学校
- 高田小学校
- 竹駒小学校
- 広田小学校
- 矢作小学校
- 横田小学校
- 米崎小学校

中学校

- 気仙中学校
- 第一中学校
- 高田東中学校
- 横田中学校

高校

- 岩手県立大船渡高等学校（全日制・定時制）
- 岩手県立大船渡東高等学校
- 岩手県立高田高等学校

特別支援学校

- 岩手県立気仙光陵支援学校
- 児童養護施設「大洋

宮城県石巻市

小学校

- 鮎川小学校
- 飯野川第一小学校
- 飯野川第二小学校
- 石巻小学校
- 稲井小学校
- 大街道小学校
- 大川小学校
- 大須小学校
- 大原小学校
- 大谷地小学校
- 雄勝小学校
- 開北小学校
- 鹿妻小学校
- 門脇小学校
- 鹿又小学校
- 釜小学校
- 北上小学校
- 北村小学校
- 向陽小学校
- 須江小学校
- 住吉小学校
- 貞山小学校
- 中里小学校
- 中津山第一小学校
- 中津山第二小学校
- 東浜小学校
- 広渕小学校
- 二俣小学校

- 蛇田小学校
- 前谷地小学校
- 万石浦小学校
- 湊小学校
- 桃生小学校
- 山下小学校
- 寄磯小学校
- 渡波小学校
- 和渕小学校

中学校

- 青葉中学校
- 飯野川中学校
- 石巻中学校
- 稲井中学校
- 大須中学校
- 雄勝中学校
- 荻浜中学校
- 牡鹿中学校
- 門脇中学校
- 河南西中学校
- 河南東中学校
- 河北中学校
- 北上中学校
- 住吉中学校
- 蛇田中学校
- 万石浦中学校
- 湊中学校
- 桃生中学校
- 山下中学校
- 渡波中学校

高校

- 石巻市立女子高等学校（人文コース・生活コース）
- 石巻市立女子商業高等学校
- 宮城県石巻北高等学校（飯野川校含む）
- 宮城県石巻工業高等学校
- 宮城県石巻好文館高等学校
- 宮城県石巻西高等学校
- 宮城県水産高等学校

特別支援学校

- 石巻市けやき教室

子どもたちの声

4. 自分のまちの復興について、あなたがおとなに伝えたいことを自由に書いてください。

（誤字・脱字もそのまま転記。判読できない文字は●で表記。）

＊この質問において、過去の調査と比べて「特になし」「ありません」等と回答した子どもの割合が大幅に増えました。紙面の都合上、過去の調査と同様に、「特になし」「ありません」以外の回答を掲載しています。

山田町……P.31

陸前高田市……P. 43

石巻市……P. 71

小学４年生

・仕事にはいってえらい人になりたい。
・早くさいしょの山田になってもらいたいです。
・どうろを作るのではなくぼうちょうていを作ってください。
・みんながえがおになってほしいです。
・みんながもっとえがおになってほしい。
・もっといい活動をしてみたいです。
・まえよりぼうちょうていをまえよりたかくしてほしい
・もっとスムーズにふっこうのことをしてほしい。ひさいした地きにいろいろなことをしてあげたらいいと思う
・ぼくたち子どもが遊ぶ所がないので公園を作ってほしい！
・前の山田に早くもどってほしいし、店やこうえん子どもが遊べるところなどがほしい！あとストレスをはっさんするとこがほしい（あそべるとこがないからストレスがたまっている。
・ちいきのみなさんにあん心できるような町にもどしてください。
・どうしたらいいんですか。
・ふっこうをがんばってください
・ふっこうじょうほうは、こうほしかのってないから子ともがあんまりみていない人が多い子どもにもつたえてほしい！！こう事がみているとこうれいしゃやお年よりがやっているから若い人もちゃんと手伝ってふっこうといえるから若い人もやってほしい！若い人はちがうしごとではなく工事かんけいをしてほしい
・公園がすくないから作ってほしい
・たてものが多くなってほしい
・たてものが多く
・公園のトイレがこわいことがおきたから。
・つなみがくる前の町は人がいっぱいですでもつなみがきたらへってしまいました。私みんなかなしんでいます。そのことで、ビルおうちがながされます。そのことについてどんなふうにふっこうしていけばいいと思いますか。
・ふっこうを進めるために、いろんな活動をがんばってしていてすごいと思います。いろんな人が、元気になるようなイベントなどにも、いろんな人がさんかすれば、もっとふっこうが進むと思います。
・もっとあそびたい
・もっと明るい町にしたい。
・にぎやかな町になってほしい。おまつり。かくやすおもちゃ。
・しぜんがいっぱいの山田町になってほしい。お店がたくさんふえてほしい。
・小さくていいので、カフェがほしいです。早く山田商店がいが、早くもどってほしいです。
・ねだんをさげてほしい。
・お店がいっぱいできてほしいです。山田町全体がもとにもどってほしいです。にぎやかになってほしい。学校全部新しくなってほしい。
・しんさい前の山田にもどってほしい
・がらくたをはやくひろってほしい。
・にぎやかな町になってほしい。
・遊園地をつくってほしい。
・今はおもいつきません
・ひがいをうけたたてものが気になるので、こうえんにするか広場などにしたらどうでしょうか。
・あそぶ場所がほしいです。
・公園が大沢にないのでたててほしいです。
・公園とかの遊ぶ場所をふやしてほしい。店をふやしてほしい。
・遊ぶ場所がほしい。
・あそぶ場所が、すくないです。大沢にお店があんまりないし、とくに浜川目の人は大沢のぶとうストアとかにいくから、たいへんです。家をたてる場所をふやしてほしい。
・もうちょっとウニや、カキをふやしてほしい。
・山田町のふっこうがんばってください！

小学５年生

・震災前の山田町みたいにして下さい。
・きれいな町にしてほしい。
・美しい山田にしてください。
・みんながあんしんできるような山田町にしてほしい
・おちこんでいる人をはげましてあげてください
・みんなが元気になる山田町にしてほしいです。
・ふっこうしてほしい。元の元気な町になってほしい。
・早くふっこうしてほしい
・早く復興してほしい。
・早く元の山田にもどってほしい
・高い所に公園を作ってください。
・ぜひ公園を作ってください。
・メルヘンなゆうえんちをつくってください。ちいさなどうぶつにふれあえるどうぶつえんをつくってください。
・昔のくじら館のような公園をつくってください
・子どもたちが自由に遊べる広くて遊具のある公園をつくってください。お願いします
・あそべる所を作ってくってほしい。・前にあった、パークゴルフを作っほしい
・昔のような町にもどりたい。
・復興は進んでない。早期復興を！！鯨と海の科学館再建を！
・津波前は公園があったけど津波後は公園がなくて、こまっている
・昔のような公園をつくってほしい
・みんなで遊べる公園や遊園地ができてほしい。
・公園を船越につくってください。（サッカーゴールつき）・あそぶとこをつくってください。
・ぜひ公園・だがしやのような子どもたちがたのしくできるようなところがほしいです。
・くじら館を作ってほしいです。山田に無料であそべるゆうえんちを作ってほしいです。ぜひ、いつでも無料であそべるスケート場を作ってほしいです。お願いします。
・あそぶ（こうえん・ひろい）・しんさいがあってかいようスポーツができなくなった（海のスポーつ
・くじら公園とくじら館をふっ活させてください。
・公園ができてほしい。
・ぜひ、みんなで元気に遊べる公園を作ってください。私たちは遊ぶ場所がなくてとってもこまっています。ぜひ作ってくださいお願いします。
・くじら館をまたつくってください
・まえにあったくじら館のような所を作ってください。・サッカーやバスケットができる公園を作ってください。・夏に入れる大きなプールを作ってください。・スケートリンク場を作ってほしいです。・ゆうえん地を作ってほしいです。
・公園を作ってほしい。くじら館を作ってほしい
・大きな公園がほしい　・本屋さんがほしい　・みんながリラックスできるところがほしい
・長林に公園をつくってください。（ブランコをいっぱい・長いローラーのすべり台）
・みんなが遊べる公園を作ってほしいです　お父さんやお母さんのきゅうりょうをあげてほしいです
・公園を作ってほしい。
・公園をつくってください。
・公園のある町にしてください。
・●対して無だなお金を使わないでほしい
・「早く復興してほしい」と大人は言うけど、自分自身で、何か、やっている人は少ないし、ほとんど、言っているだけなのが、おかしいと思います。なにもできないわけではないと思います。
・みがるにぼきんをしたらいい。
・一日でもはやく復興してしんさい前のすてきな山田町になってほしいと思った。一人一人の心のきずを早く元どおりにしてあげたい。
・山田町カルタ大会をやってほしい
・早く復興して、前のような山田にもどってほしい。
・もっとごみをひろおう
・できるだけ早く復興してほしいです。
・がんばってください。
・山田町の復興は進んでいるので、もっと協力してほしい。
・海や山をきれいにしてぼくもおとなになったら仕事をするようにがんばるのであなたたちもがんばってください。
・もっとがんばってほしい
・山田町は自然がきれいだから元気だしてください

・山田町は全然ふっこうすすんでいっていないので、もっと安全に工事をすすめてほしいです。
・ふっこうがんばってください。
・1秒でもはやいふっこうをねがっているのでがんばってください！
・公園や遊ぶ場所をふやしてほしい。これからもがんばってください。
・こうじをするときに、どんな行事をするのかみんなにつたえてから、やってほしい。
・分かりません。
・山田町の復興をみんなで協力してがんばることを伝えたい
・わからない。
・震災前よりももっとよりよい山田町にしたい。
・全く有りません！！！！！
・山田は自然が豊かなので、復興するとしても、自然を大切にしてほしい。
・分からない
・ちゃんともとの山田町にもどしてほしい
・復興っていっても、ないも進歩していないと思う。できることがあったら、何かしたいと思う。
・山田町が明るく楽しい町になってほしいということ。13
・町を少しでもはやくふっこうさせるため、自えい隊の人をたくさん町のふっこうにやくだててください
・考えたことがない
・どうろをわけわからないようにしないでほしい。
・これから、津波が来る所には、家を建てない方がいいと言うけど、それだったら家が建てられる土地が少なくなくなると思うからいつ元のような家に住めるか心配。
・家もいっぱい立ってほしいけど、何個か、遊べる空地がほしい
・前のように、家がいっぱいたってほしいし、にぎやかな山田町にもどってほしいです。
・もっとお店などがたってほしい。
・だれでも入れるし設をふやしてほしい。
・募金、まちの片付けを先にした方がいいと思う。・山田の名産などを使った新商品をつくったらいいと思う。
・山田にも、イオンのような大きい店など、いろいろなお店があると便利。
・元が家だった所を早く整びしてまた家をたてて、たくさんの人が来るようにしたい。町をきれいにしてほしい。お店をふやして、にぎやかにしたい。きれいでにぎやかで環きょうのいい町にしたい。
・ていぼうがないと津波がいつくるか心配。放送をやなぎ沢の山田病院うら仮設にたててほしい。（聞こえないから）
・もっと、お店がいっぱいあってほしい。もっと通れる道があってほしい。
・最近は家も建ってきたし、地面もきれいになってきました。がんばってください。
・震災では、多くの家や命を失ったけど、今みんなが復興に向かってすすんでいること。
・こう事をすすめてほしい。
・つらい事があっても、いっしょに協力してがんばりましょう。
・家が建てられるか。土地がほしい。
・今のぼく達に色々なことを伝えてください。
・復興のためにがんばってください。
・かさ上げをはやくしてほしい
・店をたてるのにがんばれ
・前より山田をにぎやかにできたらいいと思うから。
・花屋さんを作って町をきれいにしたい。
・山田町にゲームセンターをつくってほしい。・山田町に大きなスポーツてんをつくってほしい。
・山田町にドラを使ってほしい。
・山田町に野球場をもっとつくってください（2ヵ所か1ヵ所）
・山田町にイオンを作ってほしい。
・山田町を元気づけてほしいし大がたスポーツてんをつくってほしい。

小学６年生

・がれきてっきょがんばれ
・早く、しん災前と同じような山田町になってほしい。
・みんなが笑顔になれるような山田町にしてください。
・店をたててください（ゲオ）
・観光し設を建ててほしい。
・祭をしたい。ショッピングセンターを作ってほしい
・大浦に建物を建ててほしい（ローソンなど）

・コンビニを多くしてください。
・もっと山田町の復興を手伝いたい。お店を建ててほしい
・もっとみんなが楽しめるお店を作ってほしい。・復興の手助けをしたい。
・お店を建ててほしい
・大きいお店、子どもが遊べる場所、観光
・早く復興してほしい。
・マストにあるものを売っているお店を建てたい
・キャラクタが増えたら良いと思う。
・１分、１秒でもはやく前の山田町にもどしてほしい
・お仕事をがんばってください。
・まだおおくの人がかせつじゅうたくにいるからマンションをふやしてほしい
・山田町を復興させるためにがんばってください。
・山田町が少しでも早く復興できるようにがんばってください。
・子どもが遊ぶ場所がほしい。
・復興作業がんばってください
・地域の人に役立てるような活動をしたい
・山田町を復興するために、もっといろいろなことをやったり、募金をちょっとでもいいから入れたらいいと思う。
・公園がほしい
・今を一生けん命生きて、人生を大切にしよう！今、ダラダラしている人、つなみで死んだ人にもうしわけないぞ！
・せっかく国からお金をもらっているのだからそのお金を復興につかってほしい
・自分たちも学校などでがんばっているからおとなの人にもがんばってほしい
・復興についての活動は、せめて小、中くらいの時しか手伝えない。できるかぎりの事をしていたい。
・はやく、もっと復興してほしい。
・中学校に行くまでの通学路を早く開通してほしいです。静かに勉強できる所と、本をたくさん読みたい。
・子どもたちの意見を聞いてほしい。いろんな意見を発信したい。
・にぎやかな山田町にして、楽しくしたい。がんばってください。
・汽車がとおってほしい。
・高校になるまでに汽車が通っていてほしい。
・復興活動をがんばってください。
・くじけずがんばって
・少しでも復興できるのだったら、自分も協力したいと思う。
・みんながあかるく過ごすために、家をつくたらいい。
・ひさいした人たちのための活動を増してほしい
・わたしも手伝いたいです。
・わたしも、町の片付けなどに参加したいと思っています。
・親とかにはしっかりはたらいとほしいから国からもっと支えんなどをしてほしい
・ゲーセンを作ってほしい
・「カキ」が有名だから、それに関わるポスターなどを作ってほしい。
・もっと子どもが遊ぶ場所をふやしてほしい！！（公園など）これからもセーブの仕事がんばりますので、１日でも早いふっこうをよろしく無お願いします。
・「もっと公園ほしい」
・町の人が集まって話のできる場所をふやしてほしい。・店を増やしてほしい。・遊び場がほしい。
・子どもの意見などもとりいれたふっきゅうのしかたをしてほしい
・前よりにぎやかにしてほしい
・遊ぶ場所をつくってほしい
・お祭り広場が早く完成してほしい
・はやくふっこうしてもらいたい。
・しんさい前の町にできればなおしてほしい
・元の山田町にもどってほしい
・子供が気軽に集まれる場所がほしい
・あまりない
・子どもが遊べる場所や店を建ててほしい
・もりどを早くおわらせてもらいたい
・山田町を早く片付けてほしい。ボランティアを増やした方がよいと思う。
・町をはやくなおしてほしい
・子どもには復興のためになにもできないと思います。
・復興っていっても、３年目で、復興がはじまったので、友達とこまっていたりしていた。
・元の山田町にしてほしい。みんなが安心してくらせる町にしてほしい。
・子どもには復興のためになにもできないと思う。
・平和な山田町にしてほしい。

・まだ、山田につなみとかでやられた建物があるから、それを見るとあのときのことを思いだすから早くこわしてほしい。
・ごみひろいをがんばるのでみんなもげんきを出してください
・今のように子どもまちづくりクラブをもっとよりよいものにしていくためにいっぱい意見を出したいです！！（れんより）
・これからも、復興をして、がんばってください。
・イベントなどをもっとしてほしい。
・町の店をもっとほしい！
・これからも復興に向かってがんばってほしい
・もとの町にもどってほしい
・ほそうがまだの、でこぼこの道があるので、そこを通りやすいようにほそうしてほしいです。
・遊び場がすくない。・公園をふやしてほしい。・子どものお金で買える店がほしい。・できれば、ゆうぐがいっぱいな公園を作ってほしい
・子供があそべる場所があまりないので、公園などをつくってほしい。
・まだ仮設住たくに住んで、不安な人や、不便な生活をおくっている人が多いので住たくやマンション、アパートなどをたてた方が安心できるしいいと思います。
・こわす物はこわす、残す物はのこす。メリハリをつけた方がいいと思う。
・たてものをたてるだけでは復興にならないと思う。
・がんばってください。
・がれきをてっきょしてほしいです。・草をとってほしいです。・人のやくにたついろんなたてものをたててほしいです。・もっと安全にくらせるようにしてほしいです。
・頑張って下さい
・草がはえているのでぬいてほしい。
・草がはえすぎているのでとってほしい
・自分は野球をやっています。ぼくはないもできないから野球でがんばるので一緒にがんばりましょう！！
・公園を大沢にもつくってほしいです。
・山田にも遊べるようなお店を作ってほしい。
・海でおよぎたいので、大沢も泳げるようなところがほしい！！
・山田の町に、みんなかがふれあえる場所を作ってほしい。
・震災前よりかっきあふれる山田町になるようにがんばってください。
・大沢に公園を作ってほしい。
・「前」の山田にするのではなくて、「新しい」山田にするようにがんばってください。
・みんなでだんけつ
・震災前よりもきれいですみやすい町にしてほしい。
・みんなが幸せになるように復興をしてほしい。できるだけはやくしてほしい
・みんなでがんばりましょう。
・公園などの子どもが遊べる場所をつくってほしい
・がんばってください。
・海の中のがれきをとってほしい。
・子供達が遊べる場所をつくってほしい。
・山田町にいろいろなお店をつくってにぎやかにしてほしい。（アベイル、イオン、GU など）
・大型商業しせつを作ってほしい。・いこいの場がほしい。（公園など）

中学１年生

・復興がけいかくどおり進んでいるかおしえてほしい。
・しっかりと復興の目をむけてほしい。
・山田町の復興のためにがんばってください。
・仮設住宅に住んでいる人たちのこうえい住宅への移住を早く終わらせてほしい。このままだと仮設に住んでいる人たちの不安がつのるばかりです。
・山田の復興に向けて工事などをするのはいいけど工事の音がうるさい
・山田町が震災前の町にできるだけはやく戻るようにしてほしい。
・遊ぶ場所をつくってほしい。
・また、元の山田町にもどれるようにしてください
・おとなの意見だけでなく、子どもの意見にも、耳をかたむけて、しっかり聞いてほしい。
・みんながんばってます。
・子供の意見も聞いた方がいいと思う。
・仮設ではないところを増やしていく
・復興のために子どもの意見をいれてほしい。

・つりのエサのはんばいきを柵のまえにつくってほしい
・大人だけの意見でなく、子供の意見をたくさん聞いた方が、今よりもっと良くなる。復興に役立つと思います。
・小さい子供からお年寄りまでが不自由なくくらせるところをつくってほしい。→・大きな公園・服屋さん・飲食店・ざっか屋か（プレハブではなく）
・私達はもう、前を見て進めると思う。だから、自分にももっと、活動に参加させてほしい。
・遊び場をつくってほしい。
・もっとみんなが住みやすい様に復興してほしい。
・海水浴ができる場所を増やしてほしい。
・町民一丸となって協力しあっていく
・こうえんなどの遊ぶ場をつくってほしい
・もっとゴミの片付けをしたほうがいい。
・山田町の復興に向けてがんばって下さい。
・店ばかりではなく、家なども建ててほしい。
・これからも復興にむけて、頑張ってほしい。
・災害公営住宅の建設がおくれているから、計画通りやってほしい。
・ゆっくりと山田がもとどおりになっていて安心感がでてきた。
・復興だけでなく、未来の町づくりもしていったら良いと思う。（もともとの町に戻すだけでなく、もっと進んだ環境づくりをしたら良い。）
・もっと山田町の復興についての情報がほしい。子どもでもできることはあるから、町民全員でできることをして、新しい山田町を作っていきたい。山田町で行われる行事は、いろいろな人が楽しめていいと思う。
・早く復興できるようにしてほしい。
・もっと山田町の復興をはやくしてほしい。
・じゆうに遊べる体育かん。・イオンがほしい。・セブンイレブン・世界遺産・ちゅうかがい
・ごつごつとした岩、変な形に折れまがっている鉄の棒、鉄、あとはこまかいガラスの破片とがっていたり、大きなガラスの破片などをとりのぞいてほしい。
・復興が進んでいるので続けてほしい。
・一刻も早く町がきれいに整備されて復興してほしい。
・一ぽずつあゆんでいこう
・頑張って下さい
・かさあげしたら、いっぱいお店を作ってほしい
・もっと家をたてればいいと思う。
・子ども達が安全で楽しく遊べる公園があってもいいと思う。
・協力して復興してほしい。
・店をたくさん作り、明るく、もりあがる山田町にしいほしい
・子どもの意見も取り入れろ
・自分達が出来る事
・住宅を増やしたほうがいい。
・自分の仕事でいそがしいのは分かるけれど、ちゃんと、山田町のためにできることをしてください。
・早く復興してほしい。山を切りくずして新しい山田をつくるのもいいけど、やっぱり震災前の山田が恋しいなと思う。
・おとなが復興について何をしているのかが分からない。
・ゆっくりでも復興させてほしい。
・子どもの意見ももっと尊重してほしい。・もう少し早く復興計画をすすめてほしい。・安心安全で楽しい暮らしやすい町をつくるためにも町民の意見が必要。だから意見箱のようなものがあってもいいと思う。
・山田町はこのひ災したえん岸部の中で一番復興が進んでいないと思う。
・山田町は、10 年後、完全にふっこうするといっていたが震災の後をすこしのこしてほしい。
・今の山田町の復興の状況について知りたい。
・がんばってください。
・先に堤防や防波堤を直してほしい。人口が減っていると思う。
・ぼくたち子供も復興にかかわりたい。
・楽しめる所をつくってくれてありがとうございます。
・山田町をもっとにぎやかにさせること。
・少しずつ復興してきているので、子供達が遊ぶ公園などをつくってほしい。
・少しでも早く復興してほしい。子どもの事も考えたまちづくりをしてほしい。周りの困っている人のことをしっかりとみてほしい。
・子どもだって、震災からの復興のことを考えているから、一緒に、そのことについて、話していきたい。
・夜、道が暗いから街灯をつけてほしい。みんなが安心して生活できる町にしてほしい。

・山田町を元に戻して、さらに、山田町を元気にさせてほしい。
・山田の大人の人がいろいろな行事で子供達を楽しませてくれて、本当にありがたいです。
・山田町が震災前のように明るい町に復興するまでまだまだ時間がかかると思うので頑張って事業に取り組んでください。
・公共の場をふやしてほしい。
・これからも復興のための工事などをがんばってください。
・がんばれ！！
・がんばれ
・子どもでもできる山田町の復興に関するものを何か作ってほしい。
・ゆっくりでいいから、しっかりと復興をすすめていってほしい。
・私は中1だけど、てつだえることは、おてつだいをしたいです。まわりの、かせつの人などをはげましたい！
・子供が思っていてもなかなか言えない事などを伝える事
・自分はあまり復興のためにしていないかもしれないから、あまり言えないけど、もうちょっと力を入れてほしいなと思います。
・早く復興してくれればいい。
・早く復興させたい
・復興に時間はかかるけど、自分にできることはやりたい。

中学２年生

・１日でも早く復興するようにがんばりましょう。
・復興までに時間がかかりますが、がんばってください。子供も応援しま～す。
・なるべく高い方に家を建ててください。
・もっと情報がほしい。
・がんばってください。
・もう一度、きれいな山田町を見たい。
・お祭りのきかんをながくしてほしい。
・がんばれ
・かさ上げする土地にある人の家はどうなるの？仮に引っ越すとしてもそのお金はだれが出すの？
・お金を山田に落としてもらう。山田に来てたのしんでくれる物をつくる。
・もっとがんばれ。金をむだずかいしない方がいい
・早く復興させろ
・いつになったらなおんの一
・はやくなおして。
・震災前の町にもどしてほしいなと思います。
・もう少し店を増やしてほしい。
・いつ町が復興するのか。
・わからない
・早く道路や建物を再建してほしい。
・もっと子供の気持ちを知ってたすけてほしい。
・今まで以上に頑張ってほしい
・がんばってください。
・山田町の復興のために、いろいろ考えてくれたりありがとうございました。
・山田町の復興のために、いつも、お仕事おつかれ様です。
・山田町には、いままで自分がしらなかったたてものがたくさんたつようになりました。工事がすすんで、私は公園などのひろばが少なくなった気がします。緑やあそぶところを確保しながら、復興してほしいです。
・元の山田町に戻ってほしい。
・にぎやかに山田町にもどってほしい！
・がんばってください。
・山田の中心部ら辺にていぼうつくらないと、こえたら次は長さきまでくると思う
・早く復興してほしい
・できるだけ、はやく復興がすすむようにがんばってください。
・がんばってください。
・元の山田にもどってほしい。
・他の県、市町村と比べ、山田は復興が遅れているように感じます。少しでもいいので、復興に向けて協力した方が良いと思います。
・土地などはだんだん変わっているけど、どんどん子供たちの遊べる場が減って、自由にあそべない。
・神興が通りやすいような道路をつくってくださいおねがいします。

・復興にむかってがんばってください。
・本屋が欲しい。交通手段を増やして欲しい。
・本が少ないから、本がほしい
・山田町に図書館を作ってほしい。
・本屋がほしい。・でんしゃをとおしてほしい。
・震災を乗り越えてみんなでがんばっているということをアピール。
・山田に図書館をつくってほしい。・授業で使ったり、部活で道具が足りない。・電車をとおしてほしい。
・図書館など、地域の人が喜ぶような建物を建ててほしい
・山田に本屋さんや図書館がほしいです。・みんながたのしめる学校にたくさん本がほしい。・電車をとおしてほしい。
・山田に、本屋、図書館がほしい。・教育にもう少しお金をかけてほしい（グランド整備、学校をきれいにしてほしい）。・電車を通してほしい。・町をもっときれいにしたい！
・たくさん本を読みたいので、たくさんの本がある図書館や、本屋があればいいと思う。・学校にも、おもしろい本がたくさん欲しい。・電車を通してほしい。
・図書館が欲しい。・学校にももっと本がほしい。
・いろいろと整備してほしい。
・山田に図書館や、いろいろな物をつくってほしい。・学校をきれいにしてほしい。・山田に、もっと大きなたてものをつくってほしい。・学校をでかくしてほしい。・電車を通してほしい。・町をきれいにする活動などの機会をもっと増やしてほしい。
・図書館か本屋がいい。・電車を通してほしい。
・教育に対してもっとお金をつかってもらいたい。（具体的に、学校の設備をととのえてほしい）そして、まず、どんなことよりも、仮設じゅうたくですんでいる方をはやく、しっかりとした家にすまわせてあげてほしい。
・本屋がほしい。電車を出してほしい。
・電車を通してほしい。・バスの本数をもっと増やしてほしい。
・図書館がほしい。・本屋がほしい。・電車
・図書館や本屋がほしい。・学校をもっときれいにしてほしい。・電車を作ってほしい。
・山田町に本屋さんや図書館がほしい。学校をみんなできれいにしてほしい。電車をつくってほしい。
・子ども達にもできることは、たくさんあると思います。すべて、大人達が背負うのではなく子ども達にもやることはできるから、ボランティア活動などをもっと増やしてほしい。
・りっぱなイスがほしい（すわったら、ジァージなどがすぐボロボロになるから）。電車がほしい。
・海の所の島まで橋をつなげたらいいと思うし、たのしそうだから、かんこう客が来ると思う。
・図書館がほしい。・給食がいい。・公園がほしい。・電車があってほしい。・バスの運行を増やしてほしい。
・山田と豊間根のあいだにまちをつくってほしい。ファミレスをつくってほしい。げすいや川をもっときれいにしたほうがいい。でんしゃをかならずはしらせてほしい。
・とりあえず電車を通してほしい。
・Ms エクスポつくってほしい。・もっと盛えてほしい。・スポーツ用品や楽器がほしい。
・図書館をおいてほしい。建物をもっと建ててほしい。
・学校を図書館に新しい本がほしいです。
・美術室の机を新しくしてほしい。
・商業施設を建築してお客さんを呼んだら山田町は少し活発になると思う。本屋さんがあればいいと思う。

中学３年生

・いっぱいいろいろなみせやゲーセンをつくってほしい
・復興がおそいと思う。
・飲食店などが多いと思う。小学生の子どもたちのために公園をつくったほうが良いと思う。
・がんばれ。
・山田を復興に道びいてくれてありがとうございます。
・おとなが思っているよりも子どもの傷はあさくない。つらいのは大人だけぢゃない。
・子供のためにも、いろいろと考えてほしい。
・安心して暮らせる町にしてほしいです。
・もっと復興してほしい。
・住みやすい町にしてほしい。
・鉄道を早く整備して電車を通してほしい。
・早く、片付けてほしい。
・早く工事をすすめてほしい
・子どもが非行に走っている様子を見ることがある。（特に中2生）→子どもが自由に遊べる場がほしい。

・はやくふっこうしてほしい
・なかなか、復興という、復興が、すすまないなか、山田に、どのような施設ができるのか、最終的な山田の姿を、マップなどに、あらわして、知ったりも、したたいです。
・子どもにできることはかぎられていますが精一杯できることからがんばっていこうと思います。
・山田町の復興は１人１人の意見が支えとなって進んでいくので協力していきたいです。
・おとなが子供に語りついでいくべき
・もっとよりよい山田町を作ってほしいです。
・かさあげのため町の工事が広く行われていますが、今の時点で道が分かりづらく、復興のためにとはいえ困ることが多いと思いますけど、自分たちもできる範囲で手伝っていきたいです
・宮古とかの隣町も復興が遅いと思う。
・震災前よりも、すばらしい山田町にしてほしい！！！
・復興をもっとはやくしてほしい
・子どもの遊び場がほしい
・復興が最近急速に進んできているから、がんばってほしい。
・もう少し、子供のことも考えてほしい。子供のすごしやすい環境も整えてほしい。
・頑張ってください
・お金の無駄使いはやめましょう。
・復興が少しでも早くできるようがんばって下さい。
・復興のための工事など、がんばってほしい。
・あまり森林伐さいしないでほしい
・ふっこうをすすめる。・ちいきのぎょうじをふやす。
・１日でもはやい復興を目指してがんばってください。
・頑張ってください。
・ふつーの山田にもどる
・はやく復興させてほしい。
・森林を切りすぎないようにしてほしい
・早いペースで進んでいると思います。私にも出来ることがあったらやっていきたいです。
・これからも、町のふっこうのために、がんばってほしい
・どこまでいけば復興なのか分からない。
・もっと周りの人の気持ち、考えてほしい。
・色々と頑張って下さい。
・僕たちにまかせてください！！
・お金がたりない。
・山田の行事にでる
・がんばってほしい
・遊べる場所がほしい。・お店がほしい。
・今復興について、山田町が、どのような事をしているのか知りたい。
・がんばって下さい
・あそべる場所をつくってほしい。公園とか
・山田町に必要な物をしっかりと見つけていってほしい
・無駄なお金は使わないでほしい。
・お金の使い方を考えてほしい。・復興住宅をできるだけ早くつくった方がいいと思う。
・復興が進んでいると思います。早く、もとの山田町に戻ってほしいです。
・復興状況や今後の山田町がどう変わっていくのかをくわしく教えてほしい。よくわからない状態だと自分もどんなことをして復興に関わればいいかわからないから。
・先を考えて、予算の組み立てや工事着工をしてほしい。
・これからもがんばってください。
・がれきをはやく全部処分してほしい。
・子どもたちの意見もしっかり聞いてより町づくりをしてほしい。
・あまりむだなことにお金を使わないでほしい。
・がんばって下さい。
・がんばってください。
・がんばってください。
・まだ完璧に復興したわけではないので復興のためにお金を使ってほしいです。
・復興しているのかどうか変わらないので、もっと分かるように活動してほしい。・お金は復興するためだけに使ってほしい。
・いつも頑張ってくれてありがとうございます。汽車が再開してほしい。
・町づくりをがんばってください。・山田線をふっ活させてほしいです。
・町の詳しい復興状況を、もっと公にするべき。まちづくりクラブに参加していても、町のことがもう少し詳しくわからないと、どんなものが必要で、何をするべきかわからない。（まちづくりクラブ以外でも）子どもにも、力はある。もっと活躍できる場を。

・子どもにもできることがあるなら、機会をつくってほしい。
・復興していないところがある。
・道路をなおしてほしい

高校１年生

・今の山田町にとって復興に大切なものは祭りだと思うのでこれからもつづけていってほしい。
・復興をみんなで頑張りましょう
・みんなで復興させるため、声がけをしたい。
・あまり復興がすすんでないと思う。
・私たちが次の世代の子供たちに震災を語り継ぐ人だと思うので、経験したことを子供たちに伝えたいと思います。
・復興についてもっと関心を持ってほしい。
・行事などをふやす。
・早く復興がすすめばいいと思う。
・急がずに、ゆっくりでもいいので復興できるようにがんばっていきましょう。子ども達にしんさいをかたりっていきましょう。
・自分も力になれるように頑張ります。
・復興が全然進んでいないと思う。
・復興が全然進んでないと思う。
・早期復興
・復興の作業がんばってください
・少しでも早く震災前の生活ができるようにしてほしい。
・早く山田線を開通させてほしい
・計画的に復興作業に取り組んで下さい。
・復興作業がんばってください！！
・元気で笑顔でいてください。
・仕事をがんばって下さい。
・山田線の開通。・防波堤の修理。
・住民が本当に安心して住めているのか聞きたい。
・店をたくさんつくれば、人がたくさん来ると思う。建物つくるより、がれきを無くすべき
・知識が少ないのであまりわからないけど、これからもがんばってください！
・良りよい町にできるように頑張ってください
・できれば、汽車を走らせて、通学したい。
・学生が参加しやすい活動を増やしてほしい。
・子どもの話も聞いてほしい。
・もう少し子どもが生活しやすい環境を整えてほしい。
・順調にすすんでいると思います。
・なかなか進まない。でも最近になって進んだと思う。卒業までに汽車がとおってほしい。
・がんばって工事をしてください。
・復興の状況をもっと教えてほしい。
・山田の復興のために頑張ってほしい。
・復興のスピードがおそいと感じる。特に災害公営住宅については建設が全然進んでなくて自分自身も仮設住宅にまだ住んでいるので早く建設してほしい。
・はやく山田がもとの姿に戻ってほしい。汽車が走ってほしい（通学などで使う人がいるので）。前のように海でたくさんあそびたい。
・NPO のような問題を起こさないでほしい。
・今は、着実に復興は進んでいると思いますが、まだまだだと思うので、もっと「復興」というものが目に見えてほしいし、子ども達にできることがあったら声をかけてほしいです。
・復興が進んでいるように見えない。将来も仮設住宅にすむのかと心配になっている。
・優先順位を考えて、復興を早くすすめてほしい。
・汽車がいい。バス通辛すぎ。
・安心してはやく暮らしたい。仮設からはやくでたい。
・防波堤をもっとしっかりしたものに作りなおしてほしい。
・１年に１度の祭りをさらにみんなでもり上がっていきたい！
・岩手の、そして山田町の自慢である自然を破壊しないでください。
・復興計画や復興状況がどのようになっているのかわからない。
・轟木と協力する
・復興にむけ自分もがんばります。
・復興の状況がわからない
・高い場所やまだ建てていない場所にコンビニなどを建てる。
・花を育てる
・もっとはやく復興してほしい。
・がんばっぺす

高校２年生

・早く堤防を作ってほしい。
・かせつじゅうたくの人にあたらしい家をあたえてあげたい
・もっといろいろな所に目をむけてほしい
・子供達の意見
・がんばっぺす
・少しでも山田の復興のためにがんばっていきたい。
・もっと、子どもの意見も反映してほしい。きいておわりではなく、ちゃんと、行動にうつすことをしてほしい。
・もう少し明るく元気になれるよう、山田の復興を手伝ってほしい。
・行事をふやして、にぎやかにしてほしい。
・今よりも子どもからお年寄りまで過ごしやすい町になってほしい。
・山田線の復活の見込みはないのか？
・山田線の復活の見込みがないのなら期待させないで下さい。
・早く山田線を復旧してほしいです。はっきり言うと、復興道路にお金を使うより、山田線の復旧のためにお金を使ってほしいです。
・はやく家がほしい
・早く家がほしい。
・バスが少ない（宮古間）→交通機関。・町の良さを活かした街の復興をしてほしい（道路や建物の場所など）
・祭りなどは、町全体が一つになれるものでとても良いと思う。
・通学時のバスがいつも混雑しているため、汽車を復旧させてほしい
・活動の予定や結果などをもっとわかりやすく示してほしい。
・とりあえず汽車をとおしてほしい。トイレ付きバスとか無駄なことをせずに。復興予算の無駄遣いも止めてほしい。
・「復興」という言葉だけ使っても何も変わっていない気がします。町をもと通りにするために、どんなことをすればもと通りになるのか。どう震災を後世に伝えていくのか。やっぱり目に見える「復興」が進んでほしいです。そのために、私も協力したいです。どんな町にしていくかは町民一人ひとりのアイディアが必要だと思います。
・大変だと思うけど、これからも頑張ってほしい。
・子どもが生き生きと自由に楽しく生活できるような環境にしてほしい。
・必要ないものを建設しないでほしい。沿岸部にたてものをたてないでほしい。家をくなした人のためにおうちをたててやってほしい。
・地域によって復興状況にむらがある気がする。
・高台に移転するのはいいけど、山などを伐り崩すのは見ていて環境破壊という意味で不安になる。山田の景観的にも緑はどこかに残してほしいし、ふやしてほしい。
・織笠大橋に歩道がほしい。わざわざ遠回りしていた橋が津波で破壊され織笠大橋を歩いてわたる人がいて危険だ。
・子どもにもわかるようにおしえてほしい
・早く線路を治してほしい
・様々な方達が支援に来たり本当に感謝です。
・お疲れ様です。
・頑張りたいと思います。

高校３年生

・祭りをもっとせいだいにしてほしい
・がんばろう。
・がんばってほしいと思う。
・がんばっぺし、山田！！
・がんばっぺし、山田！！
・Yooooo！！！！
・yeaher
・お祭りでやっていることを色々な町でひろうする。
・被災地の復興を、今よりも早く進めてほしい。
・いっぱい募金してほしい
・早めの復興
・かさ上げ工事はあまり意味がないと思った
・いたるところに店が再び建てられ、一見するとかなりの復興を見せたように思えますが、一方で津波によって破壊された建物もいたるところで見られますし、いまだ多くの方が仮設住宅での暮らしを送っているところを見ると、復興している、とは言いきれないと思います。

・ない。復興などの金でギャンブルや高級車を買っている
ようではなに言っても無意味
・早く復興を進めてほしい
・金の使い方

高校生（学年記入なし）

・はやく復興してほしい。

岩手県
陸前高田市

小学４年生

・海でまたおよぎたいです。
・陸前高田市はつなみやじしんがおおいちくだからあまりお金をつかわないでください。
・みせがいっぱいたててほしいです。まえみたいにしてほしいです
・あんまりうめたてしないでくらさい
・町にひろいこうえんを作ってほしい。かわいいおみせを作ってほしい
・前の町とにた町にしてほしい。
・高田におみせをつくってほしいです。
・今の家がある場所からいどうしたくない。海で泳ぎたい、すなはまがほしい
・サッカーのスタジアム・運動ができるこうえん・大きなスポーツ店
・ゲオ。虫がいるの
・しぜんをこわさないでさいがいをうけた所に楽しい所をつくる。
・どこでもいいからふん水場をつくってほしい。
・こうえんや私たちがあそべる所を作ってほしいです。あとは、またみんながえがおになれるばしょを作ってほしいです。
・公園とえいがかんをつくってほしい。
・まちにじゅうたくももっとつくってほしい。ラウンドワンをこのまちにつくってほしい。ディズニーランドをつくってほしい。きょだいプールをつくってほしい。
・しぜんをもっとふやしてほしい。
・小しでもいいので、森は残して下さい。
・ちかくにあるこいの池をもう一どつくりなをしてください。
・小学校の近くに公園をつくってほしい
・はやくもとの町に直してほしいです。
・図書館をいっぱいつくってほしい。ふもん寺のあたりに公園がほしい。ながれるプールがほしい。松原えんの辺りにコンビニがほしい。
・前の陸前高田市にしてほしい。海がみえるようにしてほしい。
・公園を作ってほしい。プールを作ってほしい。
・前の町でいいので1日でも早く、もどしてください。
・トイザラスを作ってほしい。海と貝のミュージアムを作ってほしい
・子どもが楽しめるゆう具がほしい。おとなも子どもも楽しめる場所がほしい。
・なるべく子どもがあそべるような公園がほしい　プールがほしい
・いっぱいたてものを作ってほしい。
・たくさんの遊具のある公園・海と貝のミュージアムを作ってほしい・プールを作ってほしい
・公園を作ってほしい。図書館を作ってほしい。
・高田町に野球じょうを使ってください
・いろいろなたてものなどをたててとかいみたいにしてほしい
・ジャングルにまったくにているしせつをつくってほしい。０円のゲームショップをつくってほしい
・子どもたちの校園をできればつくってもらいたい。
・復こうがんばって下さい。
・子どもたちの楽しめる場所を作ってください
・子どもたちの楽しめる場所を作ってください。
・もけいやさんをつくってほしい　でっかいこうえんをつくってほしい
・公園やたてものをつくってほしい。しょくぶつをもっとうえてほしい。ローラースベリ台をつくってほしい。ししたに
・公園を作ってほしい。植物園や自ぜんなどを感じられる場所を作ってほしい。プールを作ってほしい。前ほどでなくてもよいのでいろいろふっこうしてほしいです。
・ホテルをいっぱいつくってほしい。・プールをつくってほしい。・ゆうえんちをたくさんつくってほしい。

・公園を作ってきっさ店を作ってほしい・できるだけとかいにしてほしい。ゆうえんちをつくってほしい。
・お店をいろんなところに1けんでもたててほしい。・住たくをたくさんたててほしい。
・山をあまりくずさないでほしい
・子どもが遊べる所を少しでもいいからつくってほしい。
・もっと近くに遊ぶ場所がほしい。お年よりの人たちにもっと元気をあたえたい。
・早くしんさい前の、町になってほしい。
・気仙町に早くお店やすむところをつくってほしい
・たくさん家やお店をたててほしい。
・店や住たくとかを建ててほしい。
・できるだけ早く復興してください
・高田病院ににゅういんしているおとしよりの人たちに、しえんや、なにかよろこばせてあげたらいいんじゃないんですか。
・木を切り、家を建てるのは、いいが、木をあまり切らないでほしい。
・昔のような平和な陸前高田市にしてください
・子どもにできることは、あるんですか。・できるだけ復興にかんする情報をください
・復興にむけてあつい日も働いていただいてありがとうございます。たなばたは、昔から読いてきて高田市内の人を楽しませてきたのでやめないで読けてほしいです。
・陸前高田市のふっこうのためにはたらいている人たちへがんばってください
・リプルを作り直してください。
・まちの片付けやいろんなことをがんばってください。
・はやくがれきをかたずけてしんさい前の高田市にもどってほしい。
・陸前高田を前の町にもどしてください
・しんさいにまけずにがんばる。
・工事の人は、かたずけやいえをたててもらいたいし復興よろしくおねがいします。
・陸前高田市のために、はやく、前の高田市みたいに、なってほしい。
・しんさいより、町がどんどんちょっとずつかわっていってすごいなと思いました。
・きれいな町をつくっている。
・工事の人は復興のためにがんばっているけれど、音がうるさくてイヤだ。速く服（ブランド）のみせやけせんぬまのイオンみたいなみせをつくってほしい
・すごくたかいたかだいを 20 こぐらい作ってほしい。
・早くみせや家を作ってほしい
・がれきなどをかたずけてきれいな町をとりもどしてください！！
・工事の人に感しゃしています。陸前高田の市が高台になっていくのでうれしいです。
・みんな手伝ってほしい
・なんで広田にお店やさんを作らないんですか？
・がんばってください！！（がんばっぺし！！）
・陸前高田市のふっこうの手伝つだいたい。
・子どもの意見をつけくわえて、年を気にせず周りの人みんなが好むような場所にしたいです。
・しんさい前のきれいな町にもどしてください
・「ふっこうに、もえろ！」
・どのようなことをして、ふっこうにつなげているのかを考える。
・少しずつでもみんなでぼきんをしてほしいです
・ふっこうのためにやっていること
・かせつじゅうたくにすんでいる人たちは部屋数とかいろんなことがふべんだと思うのでできるだけ早く新しい家を作ってあげるとかぶっしをおくったりとかをしてあげるといいと思います。
・りくぜんたかたしのふっこうをしたいのでどうぞよろしくおねがいします。
・りくぜんたかたがふっこうするのでふれしいですありがとうございます。
・できるだけはやくふっこうしてください
・がんばってください。
・少しかできないけどよろしくおねがいします
・しえんで、えんぴつや消しゴムなどをしえんしてくれたおかげで、学校でじゅじょうができた。
・ボランティアの人などが食べものなどいろいろなことをしてくれてありがとうございました。
・しんさいでなくなった人やけがをした人がいるけれど、悲しまないで、ください。あなたのまわりにそのなくなった人はいます。
・ふっこうして前のにぎやかな陸前高田市になってきているのでうれしい。

・大きな公園がほしい。
・こまっている人をしえんしてあげるべきだと思う。
・しんさいのときに食べものやのみものをもってきてくださりありがとうございました。
・大きな図書館や本屋さんなどやうんどうかてきるばしょをつくってほしい。←いなかのまま松をもう一回うえてほしい。なるべくしぜんのもの木なとはきったりしてほしくない。めい物のりょうが少なくなってきた。→（米崎のばあいはりんご）。みんなが明るく元気になれるばしょをつくってほしい→カフェ、広場、こうえん、あそべる川
・大人は陸前高田市のふっこうでいそがしいと思っています。子どもも勉強や部活でいそがしいので陸前高田市のふっこうはできないと思います。
・じえいたいの人が校庭にテントのおふろをつくってくれたおかげでおふろが使えなくてこまることがなくなりました。今もかんしゃしています。
・大人にはとってもおせわしてもらっているのでつぎはわたしたちが大人の人におんがえしをしたい。
・しんさいまえの米崎と同じようになってほしい。
・がれきのかたづけ、町づくりのためのぼ金などを中心にがんばってほしい。わけは子どもだけじゃ少しのことしかできないけれど大人と子ども、協力してやればできると思ったから。
・ふっこうがどんどん進んでいて前の陸前高田市にもどってきているのてありがとうございます。
・かいしゃのひとたちが町をつくっている。
・プールがあってほしい。
・公園がきてほしい。しょうてんがいがもとのようにできてほしい
・中学校にプールが出きるようになりたい。・空から、食べものが落ちてくるようになりたい。・じしんなどが、出ないようにする。（震災）
・前のような陸前高田市にしてほしい。・公園を作ってほしい。
・家がいっぱいたってほしい
・きれいな町になってほしい。・公園ができてほしい。
・わたしは近くに公園などの遊んだりする場所がほしいです。
・家や店がたくさんのにぎやかにしてほしい。
・商店がいを作ってほしい。・にぎやかにしてほしい。
・海がほしい、服やさんがほしい、道の駅がほしい、すな浜がほしい。
・松の木をふやしてほしい（高田松原に）。・公園がほしい。
・買い物がすきなので、お店をたくさんふやしてほしい。これからもがんばってください。
・お店がいっぱいなところにしてほしいです。

小学５年生

・がれきのかたつけをがんばってほしい。
・早くもとの町にもどしてほしい
・もとの町にもっどってほしい。
・早く、もとの町にもどしてほしい。
・前みたいにもどしてほしいし、公園とかの遊び場がいっぱいほしい。
・バッティングセンターを作ってほしい。
・また震災前のように町がもとどおりになってほしい！いろんな人のためになる事をしてほしい！
・もっと町をキレイにしてほしいです。
・テニスコートや体育館などを作ってほしい。
・もっといっぱい建ものを立ててください
・みんなが手つだう
・野球せんもんの店
・あそびばかいっぱいあるといい
・山をけずってばかりじゃ、動物の住む場所がなくなってしまう。土地が、必要なら、かさあげしたところに建てるか、マンションやアパートを建てればいい。けど、家を建てるのを、ゆうせんするのはいいと思う。
・もとの町にもどしてほしい。・明るい町にしてほしい。
・町を救うために、自分も大人も募金活動をしたい。
・はやく復興して、周りが、家や店があればいいなぁて思いました。あと、サッカー場を作ってしばか人工しばにしてほしい。
・がんばれ
・野球場
・震災前と同じ高田市になってほしい
・草かりをしてほしい（理）かさあげするときにこまると思うし、見ていて少しきたない。もしかしたら、草のすきまからしん災で見つかってないものが発見できるかもしれない。

・ほかの震災で復興を待ってる人たちのためにがんばって下さい！
・広い公園を作ってほしい。
・公園や高台（ひなん場所）
・球場やこうえいをつくってほしい。
・ふっこうをさいゆうせんにして欲しい
・イベントを何かふやしてください。
・森の前をふっかつさせてほしい
・がんばってください
・いろいろな行事にせっきょくてきにさんかしてほしい。
・もとどうりになってほしい
・ぼくも復興の手伝いを少しでもがんばるのでおとなもがんばってください。
・かさ上げするのは良いと思うけど高くやろうとしすぎると思います。
・キッズワールドクラブをまた、もう一度はじめてください。
・がれきがなくなり、きれいな町になってほしい。「楽しい町に」
・キッズワールドクラブが楽しかったので、また、やってほしいです！
・高田の今をしらせる。（発信など）
・老人（高れい者）のお手伝い
・タバコをすわないでほしい。すってしまうとわるい空気が体内に流れ込んで、体にえいきょうをおよぼし、もし、それが、復興事業に関わっている、おじさん達にえいきょうすると具合を悪くして、復興にたずさわってる人が減っていき、復興がおそくなってしまうから。
・また昔みたいに、またにぎやかな町になってほしいです。
・こっちがひさいした時に、広島などからボランティアがきたので、広島などがひさいしたら、岩手県からもボランティアにいった方がいいと思う。一本松は、いらない。
・キッズワールドクラブがとても楽しかったので、またやってほしいです。
・子どもでも、ボランティア活動をして、みんなを安心させたい。・ボランティア活動をしたい。・子どもの事を考えてほしい。
・けんか七夕をこれからもずっと続けてほしい。・一本松のレプリカをもっと本物っぽくしてほしい。
・でんとう行事だから、らい年もけんか七夕をやって、みんなに喜んでもらいたい！！・にぎやかな町にしたい。
・家が少しずつたっています。
・もっといろいろな祭りをふやしてほしい。・高田町以外でもいろいろな地区でやってほしい。
・花火大会をやってほしいです。理由は見ているだけでも楽しいから。
・けんか七夕は私たちが大人になっても続けていってほしい。いろいろな復興のイベントをもっとたくさんやってほしい。
・がんばれ、ファイト！！！
・子どもができることを増やしてほしい。
・復興と言ってもぜんぜん復興していない
・私は、陸前高田市の復興にはボランティアの人達などしえんに来ている人のほかに地域の人も復興のために協力できる機会があればいいと思います。
・ユニークな、陸前高田にしてほしい。
・もっとサッカーができるかんきょうにしたいです。
・土地をかさあげしたら、元のような町になればいいと思う。
・だんだんがれきがなくなっていいね。
・１日でも早くふっこうを進めてほしい。
・しんさいのつらさをつたえてほしいです。
・家での、ひなんの道具をそろえたらいいのではないか。
・最近、店が増えてきましたが、一つの場所にまとまっているので、もうちょっと別々に建てて、より多くの人が使いやすくしてほしい。
・もっと子どものアイディアや意見を聞いてほしいです。
・今、ここは。100％中、どれくらい復興しているのですか？
・もっともとの陸前高田にしてほしい
・周りを見て行動するのもいいがたまには自分のじょうきょうもみてみたら少しでも良くなると思う。
・陸前高田市を人がたくさん住んでにぎやかな市街地にしたい
・陸前高田をもっときれいな所にしてほしい。
・奇せきの一本松にかかっているお金を建物の再建などに少し使うと良いと思います。
・松原球場をもう一度作ってほしい。

・復興する町の方にお金をかけた方がいいと思う。
・もっと子どもも復興に関われる活動を増やしてほしい。
・子どもの意見も少し聞いた方がいいと思う。
・復興できるようにがんばってください
・かさ上げをしても道から海が見えるようにしてほしい
・みせをいっぱいつくって、町をにぎやかにしたい。
・楽しくできる街をつくってほしい。すぐひなんできるようにしてほしい。かっき的な街にしてほしい。街のシンボルを作ってほしい。
・バッティングセンターをつくってほしい。・球場をつくってほしい。・町をもっと明るくしてほしい。・店をいっぱいたててほしい。
・バッティングセンターを作ってはしい。・球場を作ってはしい。
・募金をがんばりたい。バッティングセンターを陸前高田に作ってほしい。家を移動して遊ぶところをふやしたい。
・広くてきれいな球場、公園を作ってほしい。
・バッティングセンターを作ってほしい
・球場を作ってほしい（3個）。バッティングセンターを作ってほしい。スポーツ店をたくさん作ってほしい。町のシンボルを作ってほしい。
・球場がほしい。なんでもいいから野球にかんするものがほしい。
・しょうてんがいがたくさんあってお祭りがたくさんあってほしい。おおきなたいいく会やとしょかんがほしい（えいがかんも）。ゲオがほしい。イオンを3～4かいだてにしてほしい。お年寄りのくらしやすい市にしてほしい。
・がんばって、元にもどるようにしてもらいたいし、子どもたちのためにも、もっとお金をかけてください。みんなが不自由しないようにしてください。校庭にかせつ住宅が建っていて4年ぐらい自由にできないので、はやくかせつ住宅をてっきょしてください。そのために、みんなの住む、スペースをかくほしてください。
・早く広い校庭を使いたい。
・コンビニほしーい！！デッカイプールほしー！！文ぼうぐ店ほしー！！広ーい公園ほしー！
・バトミントンせんようの体育館がほしい
・校庭を早く広くしてほしい。
・50m のていぼう（壁）をつくってほしい。米崎にも店が増えてほしい。
・もっと店をたててください。プールがほしい（しみん）
・大きな店を作ってほしい。しみん体育館を作ってほしい。
・お年寄りにばっかりお金をかけないで、地いきのみんなが楽しめるしせつをたててください。学校のこうていにかせつじゅうたくがたっていて、自由にあそべないので、できるだけはやくかせつじゅうたくをなくしてください。
・広い公園をたててほしい。高田にいろいろなお店をたててほしい。
・はやくこうていをつかいたい。みんなでたのしくあそべるところをたててほしい。きれいでひろいおみせをたててほしい。
・いろいろなお店がほしい。
・仮設住宅がなくなって、広い校庭にしてほしい。
・高田市のかさあげをもっと早く進めないとまたつなみがきてしまうかもしれない。
・遊ぶ場所がほしい
・陸前高田市を、また、にぎやで、ガレキや、いやなものがない、町にしてほしい。このような町にするには今から、10 年 20 年先になるかもしれないけど、がんばって、このような、明るい町にしてほしい。
・ぼくの家を川や海のないつなみの来ない高い（山のないところ）ところにぼくにも家を作らせてください。
・高田まつばらをふっこうさせたいです。
・復興が進んでほしい
・にぎやかな町を作ってほしい
・いろんな支援を受けて、自分はすくわれました。ありがとうございました。
・速くグランドを作ってほしい
・仮設をなくしてほしい。・がれきをなくしてほしい。
・家をたくせんたててください。
・広い校庭がほしい
・元にもどしてほしい。・家を建ててほしい。
・ひどいけれどだれもいない仮設住宅はてっきょしてほしい。広い校庭で遊びたい。
・もとのすがたにもどってほしい。
・いつまでも住んでいたい町にしてほしい。人がたくさん来る町にしてほしい。
・遊ぶ場所をつくって下さい。
・高田が早くもとのようにもどるようにしてほしいと思います。

小学６年生

・子どもだけの、無料バスをはしらせてください
・うしなった自然をとりもどす。
・家がほしい。子どもの遊び場がほしい
・公園をつくってほしい　海でおよげるようにしてほしい・子どものあそびばをつくってください。
・はやく道路をきれいにしてほしい
・できるだけ復興住宅を早くつくってほしい。
・緑を少しでものこしてほしい。
・早く明るい町にしてほしい
・はやく、復興してほしい。泳げる海がほしい。
・震災前の町みたいなになってほしい。
・子どもが楽しめる遊び場（公園）を作ってほしいです。しんさい前の行事をまたやりたい
・子どもが楽しめる物を建ててほしい・お店を早く建ててほしい
・しん災前にあった行事を復活させたい。
・家を早く建ててほしい
・いろんな店が立てれるように、どうろをなおしてほしい。
・公園をもっとつくってほしい。（遊具がたくさん）
・たてものがたくさんたってほしい
・しん災前のように海を再開してほしい。公園を作ってほしい
・ありがとうございます。
・はやくうめたててほしい
・もっと店などをたてて、まちをにぎやかに、あかるくしてほしい。
・道路をきちんと直してほしい。店を増やしてほしい。
・来年は七夕が下のほうでできないので、はやく下のほうで七夕がやりたい。あまり山をくずさないでほしい。
・ゲームセンターやおもちゃうりばのついたもとのマイヤやリプルがいい。
・Ｂ＆Ｇを早く作ってほしい。（プール）・かさ上げしても意味ないと思う。・陸前高田市はあんなに金を使ってだいじょうぶなのか？
・道路とかをなおすんじゃなくて、どうせかさあげするんだからまず、がれきをてっきょしてほしい。１本松のレプリカのお金をふっこうのお金につかった方がよかったと思う。
・早く海のまわりを安全にしてほしい。
・もっと買い物できるとことか、便利なところをつくってほしい
・ぼくも、おとなになったら、ふっこうのためにぼくが、できるかぎりのことをしたいと思います。
・死者をなくす。
・はやくかさあげ工事をおわらせてください。
・子どものためにも、早くふっこうをすすめてほしい！
・復興をもう少し早く
・復興はまだ終わっていない。
・公園を作ってほしい
・子どものことも考えて高田のふっこうを考えてほしい。
・できるだけ、はやくしてほしい
・みんなががんばってくれて、ありがとうございます。そのおかげて今生きられています。
・できるだけはやく、復興したいです。
・高田にベルトコンベアーをつくってくださりありがとうございます。
・前の陸前高田市みたいになるように復興をがんばってほしい。
・私になにかできることがあるなら、おしえてください！！
・近くに高台があって子どもの遊び場をできるだけつくってほしい。
・陸前高田市をきれいにしてくれてありがとうございました。
・行事などの人は、復興のためにがんばってください。
・もっと遊び場を増やしてほしい・はやく気仙地区のかさ上げをして、七夕がまた出来るようにしてほしい！！
・震災前と比べて、とても復興してきた。いつになったら、完全に復興できるのか。
・いそがなくてもいいので、震災前の町にもどしてほしいです。
・速く店や公園をつくってほしい。
・早く復興をできるように仕事をがんばってください。
・いそがしい中、復興をやってくれてありがとうございます。
・私たちは震災にあって大切な人などを亡くしたけど、自分達も復興のために協力したいと思います。
・昔のようなにぎやかな高田市に早くなってほしい。
・いつも町のごみ拡いをしてくれてありがとうございます。

・陸前高田の町が復興してほしいと願っている。
・早くもとの町にもどってほしいのでがんばってください
・陸前高田をにぎやかで明るい所にしてほしい。
・お店をふやしてほしい
・広田町にも、大きなお店がほしい。
・しえんがありがたい。
・早く復興を進めてください。
・神戸のように復興してほしい。
・まちの片付けや仮設住宅での手伝いなどをしてみんな明るい広田になる？
・海でおよぎたい。公園でもう1度あそびたい。
・はやくなおしてほしい
・子どもには高田かおおふなとにいく方法がない
・早めの復興をおねがいします。
・遊ぶところ　ゲームセンター
・仮設住宅での手伝いやまちの片付けをがんばってください。
・2、3年前までは、あまりかたづいていなかったけれど、ボランティアの人たちなどの協力でこんなにかたずきました。ありがとうございます。
・子供の遊べる場所をいっぱいつくってほしい
・一人一人が復興に関わることをすれば、もっと復興すると思います。
・これから、いろいろなことが復興していくこと
・津波がきて3年たつけどもう田んぼやがれとかがなくなって、陸前高田市はかさ上げも始まってきたこと。
・土地、道路、堤ぼうの整備
・おとなたちには、がんばってほしいし、ぼくもちゃんとお手伝いしたいです。
・陸前高田の仮設住宅の人達の手伝いや、復興のための話し合いなどに、参加していきたいです。できることからやっていきたいです。
・復興のために、たくさんの活動をしていて、すごいと思います。私たちもなにか、役に立ちたいと思いました。
・これからもがんばってください。これからもっと復興していくようにがんばってください。
・私はお金のことはよくわからないからだけど、なんかいも考えるよりもやってみたほうがいいので、いいことならどんどんやってください。あと、私以外にも町の人の声を聞いたほうがいいし、どんなことがあっても自然を守ってください。
・陸前高田市復興につたえたいことは、私たちのためにありがとうを伝えたいです。
・陸前高田は震災があってもみんな震災に負けずがんばっていると思います。
・道路などのわきがゴミでよごれているのでもう少しきれいにしたいと思います。
・みんなが、町づくりの活動とかに参加しては、どうですか。
・震災を知らない人にしっかり語り継ぎながら、復興していけばいい
・あそぶところがほしい。
・復興も大切だけどそのために山を切ったりしてしまったら、高田の豊かな自然がきえてしまうから両方大切にしてほしい
・今の陸前高田市はまだ、何もないと思うけど、1年後には、コンビニなどが建っていると思う。
・ホテルなどの建物があるのもいいけど、もっと子供たちがあそべるところ、友達と遊べるところがほしいです。
・子どもが遊べる所を増やしてほしいです。
・いろいろな地いきに、もっと木々が増えるといい。
・自然を残して、いい町をつくってほしい。
・自然もできるだけ残しながら、いろいろな建物を建ててほしい。
・山をあまりきらないでほしい。
・もっと山を残しながら、家を立ててほしい。じしんに強い家にしてほしい。かせつの中の人をしえい住たくにはやくいどうして、広い校ていをとりもどしてほしい。
・地域の行事など、手伝いできるものがあれば、手伝おうと思っています。
・復興の作業ありがとうございます。これからも、がんばってください。
・いろいろな行事をもっと増やしてほしいです。復興のためのいろいろなことをたくさんの人でやる
・町のがれきなどのしょりをありがとうございます。
・いろんな人が住みやすい町にしてほしいです。
・だんだん復興してきたのでこれからもがんばってください。
・ぼきんや、まちの片付けをしたらいいと思う。
・子どもの遊べるところを少しつくってほしい。

・今でも、仮設住宅に住んでいる人がいるので、土地を確保してほしい。遊ぶ場所がほしい。
・復興のために、活動をがんばってください。
・前の震災のことをわすれて前をむいて歩いていけばいい。
・ボランティア活動などで、けがをしないようにがんばってください。
・復興作業がんばってください。
・高田市のとちは平らなので大船渡市みたいにさかのような町にしてほしい
・自然破かいしないでほしい。
・速く復興できるように、大人から子どもまでボランティアをできるようにして、町などをきれいにしていきたい。
・いつもふっこうなどをしていてありがとうございます。ぼくもなにができるかかんがえてみたいです。
・１本松に何十億とちまちまお金をつかうより、ひさいした人、自然をとりもどすためにお金をつかってください。しんさいでつかいものにならなくなったもの（●くしん、タビックなど）はこわしてください。
・できるだけ、１日でも早いふっこうを期たいしています。
・はやく復興できるようにがんばって下さい。
・物を送って支援するのもいいと思うけど、人が直接行って、イベントなど大変かもしれませんが、そのほうが元気づけられると思う。
・うみのちかくにいろいろやってもしぜんの力には、かてないからむだなことをするな！なんでそんなかちめがないのに、むだなことをするんだ。それに木をいっぱいきって、どうぶつがすめなくなるかもしれないから、それもかんがえてやれ。
・岩手で一番ひがいにあったから、岩手では、ふっこう一ばんすすんでないと思ったけど思っていたより、すすんでいたのでよかったです。
・一本松とかに何億も金をかけないでふっこうに金をいっぱいつかって下さい。ということ。
・早く、高田の立派な球場で野球をしたり、公園などで自由に遊びたいので、早く、かさ上げ工事をして、たくさん建物をたてて下さい。高田小の前にある災害復興住たくは、津波が来るかもしれないので、ほかの高台にたてて、高田小の前にあるものをこわして下さい。
・松の木に何万もかけないで家を早く建ててほしい。
・みんなでぼきんしましょう
・グランドが早く使えるようにしてほしい。・仮設住たくの人のために、住む家やアパートなどをたくさん作ってほしい。
・いろいろ不便なところもあるので、建物を建てていってほしいです。そして、グランドが使えない学校もあるので、使えるようにしてほしいです。
・前の町と全く同じ町をつくってほしい。
・またグランドを使いたいです。
・早く広いグランドで運動をしたいです。
・みんなが集まるような町にしてほしい。前にあった行事をしてほしい。
・広いグランドを使って、おもいっきり走ったり、遊びたいし、野球がしたい。
・速く校庭を使えるようにしたい。・水泳大会が出来るようにしたい。
・早くグランドを使わせてほしい。・もっと自然を増やしてほしい。
・早く学校の校庭をつくってほしいです。・たくさんの店を出してにぎわえるようにしてほしいです。・海で遊べるようにしてほしいです。
・かれきをかたずけてほしい。・校庭の仮設をかたずけてほしい。
・米崎にあるイオンをもっと大きくしてほしい。もっと店を増やしてほしい。（仮設ではなく）
・関わるきかいを増やしてほしいと思います。・もっと周りの人に理かいされるようにした方がいいと思います。（出来るかぎり）
・災害こうえい住たくを増やしてほしい
・震災を語り継ぐ事は必要ないと思います。それよりも、自分の命を守る方法を教えたほうがいいと思います。
・じしんに強い町が出来てほしい。
・陸前高田が笑顔であふれる工夫をして欲しいです。そのために、小学生にできることがあれば言って欲しいです。
・震災などで悲しむ、苦しい思いをしている人々を見たくない
・少しでもはやく復興できるようにしてほしいです。
・かさ上げされてしまうけど、元の高田に戻ってほしいです。募金やまちの片付けなどは自分でもやっていきたいです。

中学１年生

・陸前高田市は少しずつ復興しています。でもいつ同じような災害が起こるかわからないので、各家庭で避難場所の確認などをしてほしいです。
・自然豊かな陸前高田！！
・早く高田の街をつくってほしい
・早く高田が前のように戻るように、がんばってほしい。
・市へ…図書館ができるのは決きょくいつなんですか？子どもの意見きくのも大切すぎるんですが、今をになっている世だいの人たちの意見はじゅう分にきけているんですか？
・あんまりがれきとかかたずかれてないし、れんがやガラスなどのろしゅつがあったりくずれたりしている
・これからも地域の活動を続けてください
・はやく復興してほしい。
・はやく復興してほしい。
・これから復興にかかわってくるのは、私たちなので、頑張りたいです！
・もとはやく復興してほしい。
・ぼきんやふっこうについてともだちとはなし、そのいけんを市長やおとなにはなしてふっこうをどうしていくかをもういっかいみなおしていただきたいとおもいます。
・みんなで楽しめる所をつくったほうがいい。・コンビニがありすぎ。・土地を作った方がいい。・高田がつまらない。
・いろいろとお店を作ってもとの陸前高田市にしてほしい。
・セーブの活動で活し合ったときにでたあんなど。
・仮設に住んでいる人が、もとのように暮らせるようにしてほしいです。・木などをたくさんたおさないでほしいです。
・コンビニが同じ地域に多すぎると思う。・仮設住宅の人のために家を建てる所をつくってほしい。・山とか、けずったりしてもいいけど、緑は減らさないでほしい。
・みんなが遊べるような公園などをつくればいいと思います。
・大人は、復興が進んでないというが、自分は何年たっても元の高田に戻るなら文句は言えない。
・復興があまり進んでいないように思います。はやくかさ上げなどの工事を進め前のようになってほしいです。
・まえみたいに、にぎやかで活気あふれる商店街にしいほしいです。
・復興のためにトラックがたくさんはしっていて歩くのが大変です。・一中に仮設だけどグランドができてうれしいです。
・一本松についてですが、観光客がきてくれているのはいいことだと思いますが、一本松より、ひなん所をつくったり、別の場所にお金を使ってほしいと思います。
・高田の復興に協力とかしてみたいけど、まだ具体的になにをすればいいか、いいかわからないけど、自分にできることがあったら、ぜひ協力したいです。
・個人で復興の手伝いをすることは「まだ子どもだから」と断られる。子どもでも何かを配ることは出来るので、断る理由にしてほしくない。
・高れい者や大人だけにとって住みやすいまちではなく、子どもの居場所もつくってほしい。
・もっと早く復興して、陸前高田の人々が笑顔で元気に過ごせるようにしてほしい。
・かさ上げを早めに終わらせて、店（家も）をたくさん（前みたいな）建ててください。
・はいきょをとりこわしてほしい。
・街を高台の方につくるのは良いと思うけど、津波で助かった木を切ってしまうのは、あまりしてほしくないです。高台につくるなら、しぜんを利用してつくってほしいです。
・はやくガレキをしょぶんしてほしい
・高い所に家をつくってほしい。
・はやく復興して、みんなが安して、くらせる、町づくりをして、ほしいです。
・出来るだけ復興にかかわりたいです。
・早くもとの町に近い状体にしてもらいたい
・ぼきんをできるだけしてほしい。
・りっぱな町にしてください。
・バスケができる場所をつくってほしい（自主練をするといっても、仮設の人、ゴールを買えない人は自由な練習ができないから）。
・もっと祭りや行事を増やしてほしいと思う。
・公園を作って欲しい。
・次は、つなみがくるとわかったらすぐにげられるようにしてほしい
・少しでも、はやく建物を建ててほしい。

・はやくしんさいまえの町にもどしてほしい
・ラウンド1、ゲオ、ぴょんぴょんしゃ、マック、プール、えいがかん、こうえん、まんさいどう、ボーリングしょう
・子供が行ける施設（図書館、広場、公園等）があってほしい。若者が楽しめる施設（服屋、雑貨、文房具屋等）
・ゲオがあったのでゲオがほしい。ブックストアがほしい。ハニーズなどの服を買う所がほしい（女の子用の）
・はやく前みたいに、町がもどおりになるようにしたいです。私も、やれることがあればやりたいです。
・店がたくさんほしい。
・ご楽施設がほしい
・体育館
・マクドナルドがほしいです。
・マックがほしい。吉野屋などの料理店がほしい。
・ゲームセンターをつくってほしい。スケート場、えいがかん、まんがきっさ、ゲオも、ラウンドワン、まんさいどう、ぎんだこ、ミスド、ケンタッキー、マック
・遊び場や、住める場所などを作ってほしい。
・まんさいどう、ゲオ、ゲーセン、こどもたちが楽しめるしせつがほしいです。こどもどうしで、いくことがなくなっている。
・ゲオ、大きいイオン、マクドナルド、野球場をたててほしい。
・ゲオ、えいがかん
・ゆっくりでもいいので復興に向けて活動を広めていってください。
・ぜいたくだけど、子どもの遊べる場所（イオンモールとか公園）など、食べる場所（マック、ビックリドンキー、ココス、ミスタードーナッツなど）があれば助かる。
・動物がほしい
・お店がほしい
・いろいろな楽しいお店がふえてほしい。みんながたのしめる。
・森の減少
・店がほしい。防はていをつくってほしい。
・店をたくさんつくって下さい。
・近くに大きなスーパー、施設がほしい。
・ラウンドワンつくってください
・辛せです。なんとか生きてます。
・ゲオ、映画館、イオン（大きい）、音楽専門店などがほしい
・仮設に住んでいる人は勉強できるところが少ないので、勉強場所をかくほしてほしいです。
・子どもが楽しめる所、（安全で遊べる所など）つくってほしい
・公園を作ってほしい。バスケが自由に出来る所を作ってほしい。竹駒に大きな道路をもっと作ってほしい。毎日じゅうたいしている。
・子どもの遊ぶ場所を地区ごとにほしい
・復興には、まだ時間がかかると思うけど、みんなで協力して、少しでも早く、前のような、陸前高田に戻れるように頑張って行きましょう。
・新しく建つ家はいつ建つのか
・無駄なことはしないように。
・前の陸前高田よりもっと良い陸前高田にしたい
・今高田の復興は 100%のうち何%ぐらいまできているか知りたい。最終的に復興の目標は何なのか。
・復興がんばってください。
・小さい子どもたちの遊ぶ所を増やしてほしい。
・大きな店がたくさんある、都会みたいな町にしてほしいのと、町の中に、木とか自然がくさんあるようにしてほしい。
・オリンピックが東京で行われて復興が後回しになってしまうのでできるだけはやくもとのようにもどしてほしい。ベルトコンベアーを使ってモノレールをつくってほしい。
・小さい子ども達で、しん災の事が頭にあって悩んでいる子達やおとしよりに、手紙やイベントをやった方が、みんなが楽しめると思います。
・早く復興して、震災前よりたくさんお店を建てて、便利な町にしてほしい。震災前のようにまた、海で泳げるようにしてほしい。また、自然を植えてほしい。
・もう少し速く家を建てほしい。家で学習する時間が少なすぎる。（スクールバスのため）あまり、集中して家での学習に取り組めない。
・子どもも遊べる所が近くにほしい。
・子どもにできることは、まず募金だと思います。そして、てい防などの設計などは、大人の人たちに早く進めてもらいたい。
・これからもずっとけんか七夕を続けてほしい。１日でも早く復興して、高田に住みたい。

・もっと店を増やしてほしい。家がもう、流されないように家を安全なところに建ててほしい。高台を増やしてほしい。
・伝統けんか七夕を続けてほしい。
・これからも、復興にむけてがんばってください。
・子どもに仕事をさせてほしい。もっと遊ぶ場所をふやしてほしい。
・かさ上げ作業を早く進めてほしいです。・住みやすいまちを作ってほしい。
・公園など楽しく遊べる所があればいいと思います。
・大人どうしがもっと話し合うべきだと思う。話し合ったものを行動にあらわす。
・できるだけ早く、店・家などができて、住みやすい高田町にしてほしいです。そして、人口が増えるようにしてほしいです。
・はやく、町が復興して、にぎやかになってほしい。
・前の陸前高田市よりもよりよい町にしてほしい。
・子どもたちが安心して、のびのびと遊ぶ場所が少ない。
・がんばれ。自分は子どもでなにもできませんが大人ががんばってほしい。
・復興という言葉じゃなく実行
・町の様子は大分良くなったと思うけど、「復興」ではなく、まだ「復旧」だと思う。大人だけでなく子どもの力も貸りてほしい。
・一本松に1億円をかけてもいいけれど、もっとお金を復興のために使えると思う。
・少しでも早く復興していけばいいと思います。
・自分たちで考えるより、いろいろな人から聞いたりすればいいと思う。考えすぎ
・子どもたちにこんなことがあったんだってつたえたい
・もうちょっと遊び場がほしい
・がんばってください。
・もっと子どもやお年よりが楽しめるような場所をつくってほしい。・楽しいイベントを増やしてほしい。
・復興の工事がんばってください。
・こどもの集まれるしせつや、公園をたくさんつくってほしい
・前の陸前高田市のように、お店もたくさん、人もたくさんなにぎやかなまちにまた戻ってほしていです。
・店がもう少しほしいです。
・いろいろ大変かと思いますが、頑張って下さい！！私たちも勉強がんばります。
・高田市民が住みやすい町になるようにしてほしい。
・なるべく震災前と同じ町にしてほしい。
・一本松のレプリも大事だが、1億 5000 万円という費用があればもっと違う考え方もあったのでは？（スーパーやがれき処理
・被災地のまちづくり、がんばって下さい。
・海がそばなので、震災のこともあると思いますが、早く泳いだりしたいです。あと、陸前高田も復興が進めばいいなと思いますが、今の広田も私は好きです。
・高田市がどうなるかもっと知りたい。
・もう少し復興に関する情報を発信してほしい。
・前の町よりもバリアフリーで子ども達が遊べる所などを作ってほしいし、仮設の人達の住める所などを作ってあげてほしい。
・一本松だけじゃなく、もっと他のものにお金をかけた方がいいと思います。たとえば仮設のことやお店など、一本松を修理したって復興はできないんじゃないですか。
・今回の地震で親が亡くなった子はたくさんいるから、子どもを大切にしてほしいです。
・大人だけの意見で復興をすすめずに、子どもの意見も聞いて役立ててほしいです。
・木などをうえたい。道路などのせい備。
・少しでも早く、町がもとどおりになるように、がんばってください。・子どもの意見などもさんこうにして、町づくりを行ってほしいです。
・復興に関わらいんじゃなくて、行事とかには、少しは参加した方が良いと思う。
・平和＋豊かな町を作って下さい。
・何年かかってもいいけど少しでも早く復興してほしいです。
・なぜたくさんの木を切るのか、切た分だけ植えたほうがいいと思う。そうしないと動物たちのすみかがなくなるから。
・復興は大切なことだけれど、いつまでも震災だとさわぐのはやめてほしい。・子どもはこのままでもじゅうぶん楽しい。
・1日でも早く工事が進み豊かな生活へと戻りたい。

・震災で多くの人の家が流されたので、少しでもはやく仮設住宅に住んでいる人に楽になってほしいです。
・山をけずっていて、木がなくなり、土しゃ災害が起こるかもしれないので、けずり終わった山にまた木を植えるなどをしていった方がいい。
・はやく遊べる公園、大きなスーパーなどを近くに作ってほしい。
・陸前高田市土地が高くなって、また津波が来たら人を守れるような土地にしてほしい。（人が笑顔になれるような街にしてほしい）
・始めて日本に来て、陸前高田の小学校などでお母さんとお母さんの友達のバンドと一緒にみんな（仮設住宅で住んでいなかった時の人々）の前で「上を向いて歩こう」を歌いました。

中学２年生

・がんばりましょう。
・中学生の私たちでもできることをみつけて、復興に関わっていきたいです。
・がんばってください。
・復興がすこし、ずつ進んでいること。
・店や遊ぶ場所を増やしてほしい。
・早く復興してほしい。
・１人１人ができる事を実行していきましょう。
・かさ上げを早くしてほしい。
・できることを手伝っていきたいです。
・前の駅前通りなどに戻ってほしいです。
・もっと手伝えることがあったら手伝いたい。
・本当に、真実のことを知りたいです。子供だからと真実を隠されては困ります。高田の復こうは進んでいるのですか。子供たちが遊べるしせつや公園のけんとうは？私のわがままですが、少し、高田の未来が心配です。被災地は、今後どのように使われていくのか…。子どもは未来の希望といわれることがありますが、正直、どうしていいか、わかりません。子どもたちこそ、伝えていかないと、ダメなのでは？子どもまちづくりクラブに入れば分かりますか？
・頑張れ。
・前にガレキがあるところにジュースの缶が捨ててあるのを見ました。その缶は、新しいもので、津波で流されてきたものではなく、だれかが捨てたものだと思います。そのようなポイ捨てを何度もみたことがあるので、対策をとってほしい。
・親を無くして（もちろん子どもを無くしてもある）悲しみであふれて、少しグレてしまっていて、それを見た大人が、この子はダメなんだ。こんな子なんだと思わないでほしいです。本当は心から優しい子。一人一人に物語りがあるのだから、私の大切な友を悪く思わないでほしい。
・１日でも早く復興するために、自分にできることをする。
・自分も Save に参加しているから、スタッフさんと、協力して、高田のさいけんについてもう一度考え直したい。
・楽しく生活できる環境をつくって下さい。
・がんばってください。
・土地のカサ上げより防波堤などをもっとつくってほしい
・がんばってください。
・元の町の風景を少し作ってほしい。・がんばってください。
・募金や片付け
・これから頑張ってください。
・復興のためにおとなの方は陸前高田や東日本大震災の出来事を日本中に広めてほしい。ボランティアにきている人々に感謝の気持ちを込めてほしい。
・今までより明るい陸前高田に！
・何か違うまちづくりの活動をしたい。
・かさ上げをはやめに終わらせてほしい
・がんばってください。
・子どもたちの遊ぶ場所をていきょうしてほしい。
・ムダな税金を使わないで、町かさ上げして早く家を（安全）建てて仮せつ住宅にいる人を開放してほしい。あわよくば 30 年以内にしてあげてほしい。
・復興するためには、私たち子どもの意見が必要だと思います。なので、将来しっかり市を継いでも復興に向かってもとの町に届せるように協力したい。
・できる限り私も復興のためになることをしていきたいと思います。
・僕たちも協力していきます。
・子どもの夢を叶えられるような環境をつくってほしい
・大人だけが考えるのではなく、子どもたちの意見も聞いたほうがよりよい町になると思う。わたしも、陸前高田市の復興に役立っていきたいと思う。

・これからの復興にたずさわれるようにがんばります。
・かさ上げをなるべく早く終わらせてほしい。
・ふっこうのためにがんばってほしい。
・私も復興の支えになれるように協力していきたいです。
・遊ぶ場所を作ってほしい
・震災直後よりもお店が増えてきてうれしいです。もっといろいろな建物ができてほしいです。
・もっと復興を早めて欲しい
・震災前よりもいい街にして、みんなで協力して文化を守っていく所にしたい。
・これまでの街より、住んでいてよかったと思える街にしてほしい。
・陸前高田市は自然と人が調和している市なのであまり伐採をしないほうがいい。
・お互いに頑張りましょう。
・仮設ではなく普通の家を建てる土地ってあるんですか。無かった場合はどうするんですか。
・高田市の復興を願っています
・一緒に頑張りましょう。
・がんばってください。
・Fight です。
・私達もがんばります。
・頑張ろう
・もっとできるだけ早く進んでほしい。
・もっと遊ぶ所が欲しい。
・復興に向けて頑張ってほしい。
・もっと店を増やしてほしい。
・復興しよう。
・高田市民が協力しあい、高田を一早く復興させましょう。
・がんばってください。
・大自然に囲まれた大都会にしてほしい。
・姉歯橋を復旧してほしい。
・がんばれ。
・がんばってください。
・観光地をつくってほしい
・もっと子どもたちの遊べるところをつくってほしい
・もっと他の市民や、いろいろな人の意見を聞いてから、復興をすすめてほしい。
・早く高台を作ったりして、家を建ててほしい。復興へのスピードを上げてほしい。
・「復興、復興」言ってますが、復興って本当に進んでますか？
・震災前よりまいい陸前高田市にしてほしいです。
・とってもいい町にしてほしい。
・みんなで協力してがんばりましょう。
・がんばって復興工事をしてほしい。
・地域のために復興を一日でもはやくすすめよう
・子どもは笑顔が一番！！です。
・どんな場所が欲しいかアンケートを。風力発電機を造るべき。
・大人だけの意見ではなく、子どもの意見も、ぜひ復興するためのアイデアとして聞いてほしい。「あんな場所がほしい」「こんな所があったらいいな」など、アンケート実施とかしてみたらいいと思います。
・がんばってください。
・あんまりいそいでも、くずれれば終わりですよ。
・もっと、皆が集まるような場所がほしいです。
・震災で感じた思いを忘れないでほしい。
・もっと、みじかに店があればいいと思う。
・もっと早くしてほしい。
・もっと早く
・被災地をもとにもどすのではなく、前より良い町にしてほしい。
・次につなげていかなければならないこと
・お仕事がんばって
・陸前高田市は今もまだ復興中です。大人の方達も本当に苦労していると思います。ですが…早く、１日も早く陸前高田市をまたにぎわいある、笑顔あふれる町にしてほしいです。そして、高台移転などで、不安も心配もない、安心・安全な暮らしができるように心から祈っています。
・仕事、これからもがんばってください。
・復興に関わっていない人も、募金や手伝いなど簡単なものでもやった方がいい。
・がんばって下さい。
・店が少ないため行きたいところが遠い。
・小どもたちの意見をもっと取り入れた方がいい。
・復興について子どもがかかわることができる機会を増やしてほしい。

・高台移転のために森林がどんどん消えています。おかげで動物も森から出て町にまで入ってしまっています。自然のことも考えてください。
・もっと夢を持って、子ども達の意見もききながら復興していってほしい！
・津波では、流された人や物などが多くあるので、人が流されないように、もっとみんなで声をかけあって、たかだいにひなんするべきだと思う。あと「ぼうはてい」はいみがないから、高くしない方がいいと思う。高くしたところで、波がきているか、そのじょうきょうがわからない。
・早く昔の陸前高田を取りもどしたい。
・陸前高田市を復興できるよう協力してがんばりましょう。
・今、ショッピングセンターなどがつくられ、不便ではないんですが、震災前みたいな、まちがいいなと思います。
・復興はなかなか進まないと思いますが、頑張ってください。
・少しずつですが、陸前高田はおとなの方々のおかげで、復興に近付いています。ありがとうございます。
・いつも頑張っていただき、ありがとうございます。これからも、この町をよくしていってください。
・全然進んでいない。ただの税金のむだだと思う。
・僕達はもう子どもじゃない
・前よりも、より良い陸前高田市になってほしい。
・もっと子どもにもできる支援を増やしてほしい
・くわしい復興状況について知りたい。
・将来、今の子供か、出来る仕事場を増やしてほしいです。
・復興はまだかかると思いますが。1つ1つがんばっていってください。
・一緒にがんばっぺし
・銀だこやサーティーワン、ケンタッキー、ミスタードーナッツ、ゲームセンターなどのお店が入っているショッピングモールを建ててほしいです。・バッティングセンターを建ててほしいです。

中学３年生

・復興を早くして、きれいな町を取り戻したい。
・図書館を建設してほしい。・元通りではないけど、また綺麗な町にしてほしい。
・募金箱などをおいてほしい。
・竹駒にコンビニしかできない。
・大変だと思いますが復興のために頑張ってください。
・家を失った人達がたくさんいるので、その人達が安心して暮らすことができるように優先させてほしい。
・建築などを復興のためにがんばってほしい
・復興のために、また、ミニコンサートを開きたい。
・陸前高田市は今後、どのように復興していき、どんなものができるのかを知りたいです。
・元の高田には戻らなくても、「ここが私の故郷です。」と自まんできるような笑顔あふれる町にしたい。
・復興するために、まず人を思い大切にする心を持って、町を活発にしていきたいです。
・あそぶところをつくってほしい。
・遊ぶ所をたくさんつくってほしい
・少しでも復興の力になるために、小さなことから頑張ります。
・もっと店を増やしてほしい。イオンを2階以上にしてほしい。
・遊ぶところをふやしてほしい。お店をたくさん建ててほしい。
・陸前高田の復興について、私は、もっとまちの片付けやゴミひろいをしていきたい。
・自転車や歩きで安全に行けるどうろがほしい
・陸前高田が速く復興するように私も手伝いたい。
・町のごみ拾いをしたい。
・安全な遊べる環境
・震災前よりももっと過ごしやすい町にしてもらいたいと思います。
・仮設住宅ではなく、もっとしっかりとした住む場所がほしい。
・子どもたちにも分かりやすいように復興の計画を伝えてほしい。
・もっと子ども通しで話し合いそれをまとめて大人と話し合う時間がほしいです。他の地域の方の震災体験談をきく時間もほしいです。それを語り継いでいきたいです。
・大人だけでなく、子どもにもわかるように情景を教えてほしい。
・復興に近づけるようこれからもがんばりましょう。
・人離れを防ぐ方法を何か考えてください。

・震災前のような考え方の見直し。
・高田の良いところは自然だと思います。その自然をあまり失くさないで下さい。良いところをつぶさないで下さい。
・人間は自然の力にはかなわない。
・復興のためにお金を使って欲しい。一本松にお金をかけすぎだと思います。頑張って下さい。私も応援しています。
・いろいろ支えてくれてありがとうございました。
・もう少し子どもたちの意見も聞いた方がいいと思う。私たちも復興の力になれるよう、頑張ります。
・仮設に住んでいない人や、空いている仮設にいれたりして、中学校や小学校の校庭を使えるようにしてほしい。
・一緒にがんばっぺレ
・以前よりも住みやすく快適で、なおかつお同じような事が起こらないような工夫をほどこした街にしてほしい。
・将来自分たちが大人になったら、陸前高田市の復興にたずさわりたい。昔の陸前高田を忘れないでほしい。何年、何十年たっても。
・少しでも、自分が復興の力になれるように頑張りたいです。
・地域の行事を参加していきたいです。
・だれもが安心して、くらせる町にしてほしい。
・陸前高田の町をよりはやく復興させたい。
・将来仕事をするためにこの街を出ていくと思うけど、いつかは帰ってきて、高田を復興させたい。
・子ども達の遊ぶ場所
・子どもちたちもかなしい思いをしている。
・何をするのも行動が遅い
・これからもよりよいまちづくりのためにがんばりましょう。
・多額の費用をかけている割りには、そこまで復興が進んでいない。
・大人の意見ばかり聞くのではなく、今後の高田をつくっていく若者達に意見を求めればいいと思う。
・様々な意見を自由に発表できる場がほしい
・がんばってください。
・できるだけ早く仮設住宅からでたい。ムダな所にお金をかけすぎている。
・復興について色々あると思いますが、がんばってください。
・自分の意見を尊重して、まず大人から復興にかかわってほしい。
・「復興といっても大して復興していない現実」と言いたい。
・復興が第一かもしれないけれど、地域行事もやめないで大切にしていってほしい。
・陸前高田市の復興のためにがんばってほしい。
・子どもたちが集まれる場所がほしい。・スポーツが思いっきりできる体育館やグランドがほしい。
・知らない間にいろいろ進んでたり、決まったりしているので、子どもたちには状況を教えたり相談してほしい。
・今の復興は、どのくらい進んでいるのでしょうか。・どのくらいで完全に復興するのでしょうか。
・陸前高田市を早く安心できる町にしてほしいです。
・もっと地域での交流が増えるように行事や色々な交流をしたい
・１日でも早く多くの人達が仮設住宅から抜けてほしいです。
・がんばってください。
・子どもの将来をもっと考えてほしい
・地域の行事をもうちょっと増やしてほしい。
・私たちがもっと復興にかかわれるようなことをしてほしい。
・盛り土をして、果たして意味があるのか、土台は不安定ではないだろうか。高田の一本松はこのままでは、風化してしまう。経済にあまり関わっているとはいえない。何か、新しい何かをつくらなければならない。また、全国に発信していかなければならない。今の私達の状況を。
・はやく、もとのふるさとにもどれるようがんばって下さい。
・店を増やす
・たくさんの人がどんどんお金を使えるようにする行事を広いてほしい。
・今の事だけではなく、100 年後など未来の事を考えてほしい。
・がんばってください。
・今の状況を知る
・子どもの中にも復興についての意見をもっている人たちがいるので、ぜひはなしをきいてもらいたいです。
・もっと、中学生や高校生の話しを聞いてほしい。

・もっと詳しく、高田市のことについて情報を流してほしい。なぜなら、私たちは子どもでは、あるけど高田市の復興を願う一人だから。情報を聞いて、復興のために何をやるか。というのを考えるのも大切だと思う。
・子どもが喜ぶ行事を何かやったらいいと思う。お祭りなど地域で盛り上げるような行事をしてほしい。
・うごく七夕とけんか七夕は毎年やってください！！13
・もっと道路を直してほしい。海を一番きれいにしてほしい。
・義援金をもっと真検に考えて、利用してほしい。本当に復興しようとしているのかがわからない。
・正直なところ、土地のかさあげは必要ないのではないかと思う。・被災していないところで忘れかけられているのではないかと思う。・支援をして下さったところにお礼の気持ちを伝えたい。
・町の復興を頑張っていきたいです。
・あまり子どもの遊び場がない。
・前のような活発な街にするために、復興の仕事を精一杯がんばってほしい。
・震災を知らない人達に語り継ぎ、このことを忘れないでいてほしい。・震災前より良い町になるように、復興してほしい。
・今どれくらい、復興計画通りに進んだのかを知りたいです。
・中学生・高校生が出来る事とは、なんですか。
・子どもたちにも知る機会をあたえてほしい。
・いたるところに歩道をつけてほしい。
・観光地を一本松だけではなく、ほかにも、ほかの地域の人が目をひくようなものがあるといいと思います。
・子どもからしたら現状がどのようになっているのかわからないので知りたい。
・工場などを作るのではなく、お店などの人々が働き、活発になるような所をたくさん作ってほしい。
・特にタバコを少なくして、その金をいろいろ使ってほしい
・がんばってください。
・がんばりましょう
・復興を早くするためにも、子どもでもできることを伝えてほしい。
・「がんばれ！！高田！！」
・早く復興できるように精一杯努力を尺くして下さい。

高校１年生

・人口が減ってきているが、新しい街は元の街より活気が感じられる街になってほしい。
・まだ復興にはほど違いので、時間はかかるけど、頑張ってほしいと思います。
・復興はだんだんとはしてきているが、いつ復興するのかというあせりが出てきている。
・これからの陸前高田市をつくっていくのは私たちだと思うので、自分ができることはたくさん行っていきたいです。
・むだなお金を使いすぎていると思う。復興は進んでいると思う。
・がんばりましょう
・仮設住宅に住んでいる人がもっと安心してくらせるところを早くつくってほしい。
・陸前高田市が一番復興が遅れていると思う。もう少し頑張ってもらいたい。
・できるだけ早く復興できるようにしてほしい。
・もっと店が必要。行く場所が限られている。食品や衣服だけでなく、娯楽もほしい。
・自分たちも少しでも何かできることがあればしようと思うので、大人の人たちも無理せずに頑張ってください。
・BRT で高田高校前をついかしてほしい。
・今やっている復興活動が被災した人達にとって役立っているのか、役立っているのなら継続してほしいし、役立っていないのなら変えた方がいい。
・これからもがんばってほしい。
・高田市での多くの行事ができているのはとても良く、復興しつつあるが、仮設住宅の問題がありまだ復興しきれていないと思います。仮設住宅に住んでいる人々はとても苦労しているのでそこをどう解決するのか考えてほしい。
・私たちは何をするべきですか。
・地域ごとに交流する機会を増やすべきだと思う。
・中学生や高校生の意見を取り入れて欲しい。
・何をすれば「復興」になるのかが、良く分からない。
・もう少し工事などをするのを早くしてほしかった。
・少しずつでもいいのでみんなで頑張っていきましょう。

・みんなでがんばっぺし！！
・がんばっぺし！！
・逆に伝えてほしい。
・平らで広い、公園や広場がほしい。
・復興に近づいているので、これからも頑張ってください。
・もっと子供たちが復興にかかわれる機会をつくってほしい
・今、どこでどのくらい復興が進んでいるのかをまとめたものをもっと住民に伝えるべきだと思う。（費用なども）
・子供の遊び場が少ないこと。・高校生の遊び場が少ないこと。
・現在の復興状況について市の人が知れるようにしてほしいです。
・頑張れ！
・復興にかかわることができれば私も何かしたていです。
・今僕にできることはかぎりなく少ないので、これからも復興に向けて頑張ってほしいです。
・もっと遊べ場所がほしい。
・住みやすい町にしてほしい
・若干 15 歳ですが、頑張って生きてます。
・がんばって下さい。
・もっと復興を早められるなら、早くしてほしい。
・陸前高田市の復興計画は良いと思うが、他の県や地方の会社・企業を使うのにではなく、もっと積極的に地元の企業をサポートしていけば、高田の復興は進むと思う。そして、高田市にも利益が生まれてくるのだと思う。
・震災前のような陸前高田市に戻すのもその通りだと思うが、「新しい陸前高田市」というのを、作るのも、地元住民の活気づけのためにも良いのではないかと思う。
・震災前のときと比べて、今の高田は順調に復興を進められていると思う。だから、このまま順調に復興を進めてほしい。
・高田に行くたびに、被害の大きさを痛感します。全世代がまた幸せに元気に生活できるようなまちへ再生させましょう。
・復興のために積極的に活動を進めてほしい。
・遊ぶところをつくってほしい
・小さい子どもたちが元気にあそべる場所もほしい。・高校生も気軽にいける勉強をする場所もほしいと思っている。
・頑張りましょう。
・みんなが良いと思えるようにする。
・もっと頑張って欲しい
・ここまで復興できて、ありがたいと思う。
・これから高田がどのようになっていくのか、もっと私たちにも教えてほしい。復興していく際、子どもたちが遊べる公園を増やしてほしい。
・復興の手助けのため今できることを努力していく。
・かさあげが進められているので、未来の街がどうなるのか気になる。早く復興してほしい。
・しっかりと話し合って復興の目度を立ててほしい。
・復興はとてもありがたいです。復興の順番（建物）などを考え直した方がよかったと思うます。
・テレビで津波の映像をながすのは良くないと思う。
・できるだけ早めに復興を。
・遊べる場所をふやしてほしい
・他の県から人が集まるようなものを作ればいいと思う。
・まだ完全に復興しているわけでもなく、設備などもしっかりしていないので、ボランティアなどに参加していきたい。
・広い公園などを建ててほしい。
・高田の土地を盛り上げた後に、どのような町を創っていくのか…そして、どのような人を招くのか…、どのように町を活性化するのが、楽しみですな。
・一本松にそこまでお金をかける意味を知りたいです。わざわざ一本松にお金をかけなくてもいいと思う。土を運ぶ機械が地震で落ちてくるかもと心配。
・山を削った分自然を増やしてください。・防波堤をはやく直してください。
・今、本当にするべきことを行って欲しい。
・後世に伝えるため、私たちをもう少し頼ってほしい。
・防波ていの整備を行ってほしい。
・自分も大人の人達にとって、被災した人達にとっての行動ができるように頑張っていこうと思っているので、完全復興を目指して頑張って下さい。
・みんなで協力して、復興を進めて行きましょう。
・運動不足な子供建達の遊び場（外で）、また運動できるような体育館など造ってほしい。
・復興がすこし遅れているのではないかと思うので、もう少し急ぎめで、早く復興してほしいと思います。

・町の人に元気を与えられるようにがんばってください。
・地域の店が活気づくように陸前高田市という大きな規模でお祭りをするといいと思います。
・陸前高田市の復興のためにできることはなんでもしようと思います。
・復興にたずさわりたいが、高田の人が実際何に困っているかなど分からない。情報が少ないので参加する機会がない。やらなければいけないことがあるのにできないというのはもどかしい。
・復興はまだまだ時間がかかりますが、自分たちもそうですが、一人一人小さな事から少しでも高田の復興のためになるように協力していきましょう。
・復興は確かに進んでいるけど、大きく見て、まだ復興したとは言えないので、豊かな暮らしを取り戻せるような計画・活動をしたいし、してほしい。
・いつになったら復興するんですか？子ども達もいつかは大人になるんです。働く場もないし不便だし…。このままのペースだと地元から若い人が減ってしまうのでは…？
・そもそも震災前から過疎地になっていて、震災でさらに人口が減っているので、復興にはあまり期待できない。
・片付けや施設の整備などが進み、だんだん戻ってきている状態になったけれど、まだまだたくさんの課題があると思います。地域の活性化も、もちろんたど思いますが、道路整備などのインフラについて、もう少し頑張ってほしいです。
・将来自分も故郷のために、復興に携わる職に就いて復興の手助けをしていきたいと思います。
・復興に向けて、がんばりましょう
・お金のつかい方を考えたほうがいいと思う。
・もっと様々な地域から人を集めて作業などをしたら良いと思います。
・震災の時にとても大きな被害があって大変な所なので自分にできるささいな事で行動に移していけば復興につながると思います。
・ゆっくりでいい、ゆっくりでいいので、除々に復興していけたら良いと思う。仮設住宅の人達をいっこくも早く安心のすまいにいどうさせてあげたい。
・あまりにも復興が進んでいないと思います。・子供の方が大人よりも自由な発想をするので参考にしてみてはいかがでしょうか。
・被害にあっていない人に、震災のことを忘れないでほしいし、他人事だと思わないでほしい。
・もっとボランティアの機会を増やしてほしい。
・復興は早く進めたほうが良い思います。
・海のうめたてだけはしないでほしい。いくら復興っていっても海にだって生き物がいるんだから考えてほしい。あとは、早くもとの高田にもどしてほしい。
・陸前高田市の今の状況が分からないのでやりたくても何をしたら良いのか分かりません。積極的に今現在の復興の様子を発信してほしいです。
・つらい事もあると思いますががんばってください。
・いち早く市街地の復興をし、また活気のある高田にしないとだめだと思う。あのさびしい市街地を変えなくてはいけない。
・これから多くの時間をかけて少しずつ町は元のような姿に変わっていくと思うけど、このような事が二度と起きないように次の世代に語りついでいってほしいです。
・また復興までほど遠いと思うのでがんばってください。
・高台に家などを建てた方が良いと思う。
・前進
・陸前高田は他の自治体に比べて最も街並みが戻っていないと思います。土地をほそうしたり環境整備をして頂きたいです。
・もう一度津波がきても、住民全員が助かる町をつくってほしいです。町を再び新しく建てていくのなら、同じ失敗をくり返さない町にしてほしいです。
・陸前高田市がどのようになったら「復興」したと言えるのかがよくわかりません。
・復興復興ってみんな言うけれど結局のところそれが何なのか分からない。おとなは知っているのですか。
・子どもも参加しやすい復興の活動を増やしてほしい。
・頑張って下さい。
・当初の計画より、すでに2年もの計画の遅れがでているので、大変だとは思うけど早く進むようにがんばってほしい。
・おつかれさまです。
・店とか商業施設の心配をする前に、高台移転をすすめてほしい。仮設住宅という小さな所にすんでストレスがたまった人がギャーギャー討論しても良い結果はうまれないと思う。

・できることだけでいいから、やってほしい。
・子供にしかできないことを教えて欲しい。
・震災のことを思いだしたくない方もいると思いますが、もしまた同じような事がおこった時のことを思って頭のかたすみにでも覚えておいてほしいです。
・おとながまず動いてこどもにアピールをしてほしい。
・何をしたいかはまだ良くわかりませんが、少しでも人のためになることをしたいと思っています。そして、１日でも早く復興して、より良い町を作っていきたいと思っています。私のようにいやなことをすぐ忘れる人以外に、何かいろんなことを気にして、暗いなにかをかかえている人にも、少しばかり役に立つことをしたいです。
・生活を苦にするようなことはしないでほしい。
・“復興”とは何を指しますか？
・陸前高田は日々片付けも進んで暗闇だった街に明かりが出てきて、復興しているように見えるけど、実際、これからどのように復興が進んで暮らしが安定するのかとかは全然分かっていないので不安な人はたくさんいると思います。だから、「未定」という言葉に頼らないで、これからの復興の見通しを明らかにしてほしいと思います。
・色々な人の意見があると思いますが、第一は人の命をあの震災のようなことで亡くさないことです。うめたての問題で複雑でしょうが、頑張って下さい。自分が出来ることはやってみせます。
・復興を政府まかせにしないで、自分たちでできることを少しでも増やしていったほうがいいと思います。
・復興があまり進んでないので進んでほしい。
・状況についてくわしく話を聞きたい。
・旧市街地に明かりがあればいいと思う。
・小さい子に震災の恐ろしさを教え、その対策を伝える。
・今、最優先にやるべきことを考え実行していくのが一番良いことだと思います。
・高田出身の方々が少しでも早い復興を願っていると思うので、早めに復興をお願いします。
・言ったり、書いたりしているだけじゃ意味がないと思う。行動しなきゃだめだと思う。
・私はあまり関わりがないので、良く分かりませんが、陸前高田市の住民の人と話し合いをし、今何をすべきかを明確するべきだと思います。
・現在も仮設住宅などで暮らして居い人が多いです。高台移転などを行い、仮設住宅の人も早く不自由のない生活をさせてほしいです。
・震災前よりも良い町になるようにがんばってください。
・店を作ってほしい
・少しでも早く、また前よりも良い町をつくってほしい。
・僕達の世代が協力できるようになるまで、町が元気になるような活動を続けていって欲しいです。
・１日でも早く復興してほしい。
・スポーツができるところを作ればいいと思う。そうすれば有名なスポーツ選手も来るし、何より子供たちが元気に遊んでいる姿を地域の人たちに見せれば陸前高田市が明るくなると思ったから。また地域全体が参加する体育大会なども開いたらいいと思う。
・何をすれば復興」ということになるのか教えてほしい。
・陸前高田市は今は危ない状況にあるためーはやく復興させるべきだと思います。
・復興するためにとても頑張っていることはすごく伝わってきます。でも復興復興というわりには、その被害にあった人しか動いてないようにも感じます。
・他人事だと思わずに積極的に復旧活動に参加してほしい。
・早く計画を立てて、子どもたちの遊び場をかくほしてほしいし、学校を立ててほしい。
・早く前のような陸前高田市にもどしてほしい。
・世の中の学生たちも復興させようと努力していることを伝えたい。
・大人だけでなく子供の意見もしっかり聞いて活動してほしい。
・復興のためにがんばってくれてありがとうございます。
・あまり高田に行かないので分からないが、復興していっていると思うので一緒に頑張りましょう！！
・陸前高田市に限らず、復興という言葉を軽く使われている気がする。テレビで流れている復興は一部であって全体ではないことを全国の人に知ってもらいたい。
・これからいろいろな施設や建物が建てられると思うが、震災のことを語り継ぐような建物があったほうがいいと思うし、安心できる市にしてほしい。

・私が住んでいる小友町には「千町田」という一面水田が広がる美しい風景がありました。津波が来て一度は失われてしまった「千町田」でしたが、今は元通りになってとてもうれしく思っています。こんなふうに美しい風景を早く取り戻してほしいです。
・一本松に金をかけるなら、学校のせつびや、道路などをととのえてほしい。
・震災から3年近く経って、いろんな所で復興が進んでいるのが目に見えるようになって、とても嬉しい。僕たちも精一杯協力するので、震災前の暮らしを取り戻せるように、頑張って行きましょう。
・町の震災前の風景などの写真が飾ってあるところなどを作ってたりして、地域などの繋がりを大切にしたほうがよいと思う。
・町の復興をしていたたいてありがとうございます。
・一緒に頑張りましょう。
・復興の為のご尽力、感謝致します。
・これからの復興を担っていくのは子供たちなので、どのような状況なのかどうすればいいのかを伝えてほしい。
・市民全員が安心して暮らせる町にしてほしいし、自分でも関わっていきたい。
・陸前高田市のこれからの復興のためには、おとなの意見だけでなく子どもの意見も取り入れたりして、よりよいまちをつくってほしい。
・もっと被災者の立場になって、物事を考えて行動してほしい。本当に必要となっているものから取り組んだりすることで、すべての人の希望はかなえられなくても、多くの人が望む町になると思う。
・イオンなどが出来て、助かりましたが、そういうふうな大手企業に、もっていかれて、前みたいな商店街がなくなってしまったら悲しい。近代の町づくりも良いと思うが、私は、昔ながらの街並みも好きだ。
・できることからやっていかないといけないと思う。
・本当に必要なものにお金をかけてほしい。
・まず仮設住宅に住んでいる人の家を少しでも早くつくってほしい。・復興へのもととなるものを頑張ってつくってほしい。
・今の陸前高田市の復興の様子はあまりよくなってはいないと思います。その様子を表しているのが、陸前高田に作った一本松です。この松は本物ではなく人工の物です。これについてはよいことなのか悪いものであるのかは私には分かりませんが、復興について長期的に見るのならよい観行資源になるのかも知れないと思います。
・これからも復興に向けて行動しなければならない。
・今の中学生や高校生は、自分は何をしたらいいのか、自分には何が復興のためにできるのかがわからないから、何もできない。
・いろいろな視点で考えて、震災前よりも素晴らしい町になるよう頑張ってほしい。
・語り継ぐというので、２．（１）にあったけど、データをつたえるのではなく、物語りのようにして伝えた方が人々に影響を与えると思う。
・一刻も早く復興を完了させ、市の方々が充実した生活を送れることができるように頑張ってほしいです。
・財政や人手の問題で大変だと思う。しかし、今までずっと仮設で住んでいる被災者のためにもがんばり続けてほしい。
・私たちは復興した町を背負っていく世代なので、復興の段階からたずさわっていきたいと考えています。高1なので、自分達に出来ることが何があるのかわかりません。高校生にしてもらいたいことを大人の方から教えて頂けると嬉しいです。
・家が建てられなくて困っている人がたくさんいるから早く土地の整備を終わらせてほしい。
・陸前高田市の人たちで市からの支援が行きとどかないところもまだあるので（道路整備、きけんなところ）してほしい。
・とりあえず、一日でもはやい復興ができるように応援しています。
・住宅、建物の再建の迅速化。・被災した土地の有効的な利用。
・震災前より安全な町にしてほしい。店を増やして欲しい。
・もともと高田市内に住んでいた人も高田市を離れて暮らしている人も多くいますし、高齢化も進んでいくと思うので、少しでも早くかさ上げ工事などが終了させて、人がやってくるような街にしてほしいと思います。
・復興のためのイベントや活動を増やしてほしい。
・早く安心して暮らせる町に戻れるように頑張ってほしいです。

・食べ物や衣類の店を建ててきて、そういうのが増えていてそれでいいと思うけれど、子どもたちが遊べるようなところがないと思う。小学校低学年ぐらいなら公園程度で大丈夫だけど、それより上だとやはり満足できないと思う。なので子どもたちが遊べる場所が欲しいです。自分個人としては、仮設ではない本屋がほしいと思いました。
・変なたてものを作るよりもっとやることがあると僕は思います。
・がんばってください。
・少しでも前の高田にもどるよう頑張って下さい！
・みんなが協力して1日でも早い復興を願う
・少しでも早く元の街に戻してほしい。
・もっと復興への意識をもって1つでも早く作業してほしい。
・ガレキはかたづいたがまだなにも無いまま。高田市をもっとにぎやかにしてほしい。
・大きな防はていを作ってほしい　がれきを全部とってほしい
・募金したお金を有効に使ってほしい。
・陸前高田市のために、他の県や外国から復興にたずさわってくださっているみなさん、本当にありがとうございます。
・ムダな所に金かけずにしてほしい。もっと大事なことがあると思う。
・頑張ってください。
・子どもでもしっかり考えている。
・1日1本みんなで新しい高田を作っていきましょう。
・自分たちも積極的に募金などもしていきたいです。
・陸前高田市の復興を早く急いでほしい
・負けないでがんばってください。
・できるだけ急いで家やアパートなどを建てた方が良いと思う。
・早く復興させてほしい。
・復興をして昔の高田以上の町にできるようにがんばってください
・がんばってください。
・がんばってけらんせ
・むだなところにむだな金をかけないようにしてほしい。税金がむだになる。
・あの3年前の状況からほんの少しずつではあるけども元の活気が戻ってきている。
・市民全員で復興について話合い物ごとをきめてむだなお金をつかわないようにしていってほしいと思った。
・がんばってください。
・この震災を風化させないようにしてほしい。
・少しでも早く復興できるように頑張って下さい。
・納税してんだから復興事業投げだしたりとかはしないで。
・夜くらすぎ・何も無さすぎてつまらない
・がんばれ。
・この震災を忘れないように語り継ぎたい。
・子どもたちが遊ぶ環境がなくて部屋にこもりっぱなしかもしれない
・一本松の管理より優先すべき事があると思います。
・私にもできることがあれば協力したい。
・がんばってください。
・防波ていを、作ってほしい
・できるだけ多くの人でボランティアをして下さい
・がんばれ。
・一緒に頑張りましょう
・子どもたちが安心して住める町づくりをがんばってください。
・情報がなくてわかりません。
・がんばれ
・もっと大船渡みたいに復興が加速化してほしいと思う。
・もとどおりにしてほしい。
・がんばってください
・がんばってください。

高校２年生

・陸前高田が早く復興できるようがんばってください。自分も今できることをがんばります。
・海で泳ぎたい
・お祭りを増やしてほしい
・お祭りがふえたら嬉しい
・自分に何かできることがあれば、どんどん手伝いたいです。・ボランティアもたくさんしたいと考えています。

・こまめにアンケートをとるなどをして、役員の人の意見だけでなく、住民などの意見も聞いてほしい。
・重上げが大事なのは分かるが、山をくずしたりして景色をあまり変えないでほしい。
・もっと子どもたちが出来るようなボランティア活動を増やしてほしい。・もっと笑顔でいてほしい。・思いやりをもってほしい。
・私は、住んでいるところは陸前高田ではないけど、復興のためになにかできることがあるなら力になりたいでい。
・親を亡くした子どもたちが元気に頑張っていることの強さ。
・前の陸前高田市よりももっと良い町にしたい。
・私はあまり被災をしたわけではありませんが、たくさんの方々からたくさんの支援をしてもらいました。感謝の気持ちでいっぱいです。私も何かできることがあったら積極的にやりたいです。
・暮らしやすい町にしてほしいです。
・広場をふやしてほしい。
・私たちが大人になったときに、今までの分頑張りたいです。
・もっとボランティア活動を増やしてほしい。
・学生（高校生）が集まれるところをもっと増やしてほしい。
・大船渡市民で陸前高田にそんなにかかわってません
・コンビニとかはもういいので、復興に役立てて下さい。
・僕たちの意見も聞いてほしい。
・もうちょっとはやく作業をすすめてくれるとうれしいです。
・頑張って！！
・自分たちの年代と協力して復興に向けてとりくむ
・遊ぶ場所をもっとつくってほしい。・道路整備をもっとちゃんとしてほしい。
・早く安全な道路や、運動を作ってほしい。
・元の高田の街並みをとり戻すにはまだまだ時間がかかると思いますが、自分たちにできることを精一杯やりたいです。
・子どもが遊ぶところが必要だと思う。広場や自由に出入りのできる施設など。（勉強できるところ）
・いつもどおりでいれば良い。
・たくさんの人があつまる場所をふやしたい。
・陸前高田市はとても良いところだと思う。だからまた、よい町をこれから少しずつでもつくっていけたら良いと思う。小さなことでもお手伝いしていきたい。
・たいへんだと思いますが、これからも町のためにがんばってください。
・自分は未熟で不器用ですが、手伝えることがあれば言ってほしいです。
・公営住宅を早く建ててほしい。
・広い公園を作ってほしい
・自分たちが働いたり、家族ができたときの、高田の街が想像しにくいところがある。
・木をたくさん切り倒して、土砂くずれ等の災害が心配になる。
・何をしているのか、していくのか。しりたい。
・今の計画や現在の状況を定期的にみんなが分かるように発表してほしい。（回覧板など）インターネットがないところもあるため。
・これからも頑張ってほしい。
・復興が進んで助かっています。ありがとうございます。しかし、もっと学童施設をつくってほしい。
・だれもが暮らしやすく、震災を忘れず復興に向かってほしい。また、七夕などの伝統の行事は今後もずっと続けてほしい。
・やるだけやればいいんしゃないですか
・住宅の復興をしてほしい。仮設に住んでいる人がまだたくさんいて不便が多いから。
・実際に体感しないと本当の苦しみは分からないと思う。現に3年以上たっても変わっているのか分からない。
・かさ上げ頑張って下さい。
・なんでもかんでも「震災」とつなげなくてもいいと思う。
・遊べる所（公園とか）を作ってほしい。
・今頑張れば、いつかは、新しくよみがえったすばらしい陸前高田市という町になると思うので、今後も、復興に向けた活動に力を入れてほしい
・あまり復興が進んでいないと思います。
・復興を進めてほしい。
・中高生なども遊べるカラオケやゲームセンターなど。・市民体育館などを早く使えるようにしたい。
・大人だけの復興だけでなく、将来のためにも私たちも復興に参加してい。

・中学生や高校生にも復興の状況をわかりやすくしてほしい。また、復興に関わる機会を増やしてほしい。
・もっと話し合う機会がほしいし、今後私たちがそのような機会を設けたいときにたくさんの人に参加していただきたいです。震災前の町をもっといっぱい伝えてほしていです。
・目につきにくい所で困っている人にも出来るだけ気を配ってほしいです。
・復興、復旧に向け、新しい建物を建てるのは大賛成ですが、朝早く、夜遅くまで作業するのは止めて欲しいです。睡眠不足になるので、少し考えて欲しいと思います。
・遊べる場所がもう少し充実してくれると嬉しいです（カラオケ等）
・バス運行などいつもありがとうございます。助かっています。仮設住宅を使用している人のマナーが悪いという話をたまに耳にします。竹駒市や大船渡市だけでなく、高田市もそろそろ新しい建物が建ってきてほしいです。
・みんなから愛されている陸前高田が少しでも早く復興ができるようにお願いします。
・復興にもっと興味をもってほしい
・復興に向け力を尽くしてくれてありがとうございます。
・元の町のように少しでも早く復興してほしい。
・一緒にがんばりましょう
・お祭りを増やしてほしい。それが地域の活性化にもつながると思う。
・祭りを増やしてほしい。
・ゲオを建ててほしい
・もっと町を見て行動してほしい。何が必要か考え復興活動していってほしい。
・頑張ってください
・かさ上げ計画でもといた人からお金をとることはばかげていると思う。
・陸前高田市を活気のあふれる町にしてほしい。
・交通手段をもっと増やしてほしい。
・自分も少しは復興に関われる様にがんばりたい。
・安心して生活をおくれるような町づくりをお願いします。自分たちも力になれることがあるなら協力したいです。
・トラックなどで道路がきたなくなって、ランニングなどするとき、土ぼこりがとてもひどい。
・住む所を増やしてほしい。
・陸前高田は復興が進んできていると思うので、頑張ってください。
・いまだにせまい仮設住宅に住んでいる人が多い
・がんばってほしい。
・町をはなれるのは安全かもしれないが、子供にとってはストレスになっている。
・復興は進んでいるが、建物がまだ少ない。
・子どもたちが楽しむための場所が少ない。
・大人だけで話し合わず、子どもたちと話しをし、世代交流も合わせ話し合ったほうが良いのではと思われる。
・復興といっても建物をつくり、町をつくるという段階になっておらず、不安もあると思うので、どのように町づくりをしていくか計画だけでもみんなに話すべきだと思う。
・復興がどのくらい進んでいるのかが分かりません。
・私も協力できるようにがんばりたいです。
・とりあえず震災対策をした方がいいと思う。
・本当に必要なことを優先させるべきだと思います。
・復興状況を学校などにもっと伝えてほしい。
・高台移転をするべき、戻るな
・外部の大企業を沿岸区に進出させたことは文化的な発展につながると思う。
・押しつけの支援は被災者の自立心を奪うだけのものであるから、できるだけやらない方が良い。自らの自尊心やエゴによって行われる支援や同情による支援は相手のためにもならないので、そこを考えて行ってもらいたい。
・今回の震災のことを語り継ぐための何かを残していって欲しい。そして私たちの代から次の代へと行くにつれ薄れていかないようにしたい。
・自分たちにもできる、簡単なボランティアなどを企画して欲しい。
・大変だと思いますが、頑張ってください。
・学校や部活などなかなか忙しくて町づくりもやるのは大切なときもあるますが、でもこれからもの町づくりクラブを通して参加していきたいと思います。「継続は力なり」を目標にがんばります。
・自分たちもガンバリます
・地元の復興に関わりたいと感じている子どもは多くいると思う。そういう人たちを集めて意見をきいてもらえたらうれしいです。

・現在の状況と今後の予定、目標をもっと外に配信すべきだと思う。
・負の遺産を残すな。
・心のケアをする必要があると思う
・陸前高田市は平地のため浸水した地域が広いと聞いています。元の場所に住宅や店などを建てるには地盤の再確認、かさ上げしても大丈夫なのかしっかり行って欲しいです。
・わたしたちもがんばるので大人のみなさんも頑張ってください。
・優先することは何か、考えてください。
・高校生が頑張っているということ。
・仮設住宅にすんでいるので、公営住宅の完成を早くしてほしい。
・復興の作業を早めてほしい。
・ケンカなどをしたら意味がないので、とりあえずは一人一人協力を第一としてがんばっていきましょう。
・頑張ってください
・頑張って下さい
・いろんな意味でがんばってほしい。
・地域を明るくしてほしい
・ガキを何だと思ってんだ。クソ共、大人ぶってんじゃねぇぞ 20 こえたぐれぇで
・工事した後の片付けがトイレだけ残っていたりしているのをなんとかしてほしい。
・元に戻すではなく、元より、よりよい街作りをする
・ちょっと遅いかも。
・子どものころからの防災教育が大切だと思うので、小中学生から、防災教育、応急手当講習を受けられるようにしてほしい。
・自分達が大人になるまでにもとの町にしてほしい。
・震災前と風景がほとんど変わっていないのでがんばってください
・大人のみなさんのおかげで当時よりも良くなってきていると思います。自分もその力になれるよう頑張っていきたいです。
・復興には時間がかかりますが、これからも頑張っていきましょう。僕たち高校生も頑張ります。
・市民との情報共有
・がんばって下さい！
・一緒に頑張りましょう！！
・がんばってください
・みんなで頑張りましょう！！！！！
・もっとお金をかける
・がんばってください
・奇跡の１本松のレプリカに金をかけすぎ
・３年たっても、目に見える変化があまりない
・個人的に一本松はとても大事だとは思いますが、なにより大切なのは人なのでは？まだ仮設にいる人もいる…まずやるべきことは住宅を作ることでは。とそっちょくに思いました。
・復興はいいけれど、まずは復旧を目標にするべきでは？・人を集めなければ大変だということも理解しているが、盛岡や東京のように都会になることが今までの温かくて住みやすくて大好きな気仙地区のままでよいのでは？？
・将来の子供たちのために、しっかりと町の復興をし、震災を語り継ぐことが大切だと思います。
・いつになったら、通学路に街灯ができるのでしょうか。いつになったら、しっかりとした家で暮らせるのでしょうか。現実はものすごく苦しく、大変なものだということを知って下さい。
・早く復興を進めてください
・めげずに頑張ってほしいと思います。
・復興をがんばってください。
・復興、町づくり協力できることあればやりたい。
・高田はまだそんなに復興していないこと
・頑張ってください
・一本松とかいいからその金を復興に回せ
・震災があったことを忘れてはいけない
・これからもがんばってください
・震災があったことを忘れないでほしい。
・早期復興を願います。
・真剣に予算について考えて欲しい
・陸前高田民（大船渡民）は全員ツールド三陸に参加すべきである
・復興してください。
・お店を多くしてほしい。・津波など災害が起きにくくなるような町にしてほしい。・アパートやマンションも建ててほしい

高校３年生

・将来子供が帰ってきたくなる街づくりをしてほしい。
・頑張ろう！
・津波でいろいろなくなっちゃったのに、残った山とかまで壊されるのがやだ。壊すくらいならこのままでいい。このままがいい。
・色んな人との交流を大切にしてほしい。
・ふっこうしてください
・仮設をなんとかしてください
・アウトレットをたててほしい
・安全第一
・がんばって
・恥を知れ！！
・あんまり変わってない気がします。高台を早く、整理してほしい。
・震災から3年目にして、市のスローガンが復興への第一歩っていうことが気にくわない。
・お金の使い方を考えてください
・頑張って復興してほしい
・大人さん頑張って
・もっと語り継がないと
・お金のつかいかたをかんがえた方がいいと思います。
・まあ、がんばれ
・少しずつのペースでも良いので頑張って下さい。
・陸前高田市を活気のあふれる所にしてほしい。
・できるだけ市民の意見を取り入れてほしい。
・老子のしせつばかりでなく小・中・高校生があそべるところをふやしてほしい。
・若い力を信じて
・被災地に住んでいるのに、今自分の町はどうなっているのか分からない。これからどう進み、目標は何なのか私たちにもおしえてほしい。
・もっと住みやすくしてほしい
・前のような町にしていきたい。
・復興に向けて前に進んでほしい
・積極的になってほしい。
・コンビニが多すぎる
・復興状況・計画について、もっと発信してほしい。
・復興計画などもっと詳しく、そして子どもにも分かりやすく説明してほしい。
・毎日復興のために働いてくださってありがとうございます。
・頑張ろう気仙。
・共にがんばりましょう
・共に頑張っていきましょう。
・復興を少しでも進めて、頑張って下さい。
・なるべきはやく、復興の手伝いに参加したいと考えている。
・雰囲気づくりが重要
・ボランティアをする機会を作ってほしい。
・ボランティアの募集など、たくさんしていただければ参加したいと思うので、どんどん、中・高生を中心に募集していただきたいです。
・復興のスピードが他の被災地に比べて遅いと思う。子供の私たちにもできることがたくさんあると思いので、できるだけ携わることのできる環境を作ってほしい。
・私は、来年から岩手を出るので何も出来ませんが、高田が好きなのでがんばってほしい。
・がんばろう
・一緒にがんばりましょう！！
・町からいなくならないでほしい。
・何か行動を起こしたいと考えていても、実際どうやって行動すれば復興にたずさわれるのかが分からない。
・復興がんばってます。
・今は勉強に集中したいです。すみません。
・奇跡の一本松より、町の復興を最優先すべき。・子どもたちの遊び場を！・目にみえてきてはいるが、もっとスピードアップを。・まだ安全に住めるとはいえないが、かさ上げをするのに店を増やすのは…どうだろう？
・学生だけで出来ることもあるが、学生だけではどうにも出来ず大人の力が必要になることがたくさんあるので、まずは復興に少しでも目を向け何が出来るかを進んで考えるべきだと思う。大人が他人まかせにしたら何も変わらない。
・少しでも早く元の状況に戻ってほしいです。他県などからの人に被災地を見学させて状況を伝えることも必要だと思いますが、それよりも建物建築や土地のかさ上げ作業などを行うべきだと思います。

・自分も何かできることをしたい。
・建物建てても意味がない。
・震災時の恐怖や悲しみを若い世代に伝えるべきだ。
・陸前高田市は復興という1つのゴールまでまだまだ時間がかかる。支えてもらわなければ崩れてしまうこの町を自力で立ち上がることができるまで支援を続けてもらいたい。
・一歩ずつでも大事に復興を進めて下さい。
・一本松を残すことがいいことだと思わない。それにお金を費いやすなら他のことにしてほしい。
・遊ぶ場所だったり運動をする場所を作る
・図書館や公園などの公共施設の整備を急いでほしい。
・高校生だって頑張ってる！
・盛土は風化したりして、次に何かおこったときに被害をうけると思う。
・かさ上げは意味があるのか
・全体的に復興が効率良く進んでいないのではないかと思う。
・もう2度と人の命が奪われない街にしてほしい。
・市長と話がしたい。
・あそびば、勉強スペースがほしい！（大船渡住民ですが…）
・復興といっているわりには遅すぎるのではないでしょうか。
・はやくすすめて。3年前と比べて進んでいるとはいえない。
・時間がかかってもいいので、良いまちをつくれればいいと思います。
・復興のために何かしたいけれど、何をすれば分からない中・高校生は多いと思う。もっと子どもたちを頼ってほしい。
・復興するまでの時間が長ければ長いほど、一般市民に迷惑をかけている事を理解してほしいです。
・住宅の建設や物的な復興だけでなく心身の復興もするべき。明確な情報を提示するべき。まだまだ地震におびえている子供はいる。大船渡にもまだまだ苦しんでいる人はいる。
・きっと現在の復興状況や具体的な復興計画を知っている子どもは少ないと思います。自分たちから情報を得ることも必要ですが、ぜひそれを地域住民みんなに知ってもらう機械を作ってほしいです。
・今は何もできないけど、大学に行って勉強して、復興の力になれるような人になって地元に帰ってきたい。
・だんだん復興は進んでいるけれど、不安に思っている人はまだまだたくさんいると思う。
・陸前高田のあの津波によって、何もなくなってしまった平地がさびしいなと思う。次に津波が来たときに大変だとは思うが、何もないのはさびしい。住宅がたてられないから、せめて飲食店などをあの平地にもってくるのはどうだろうか。ずっと何もないままで高田の街がかわいそうだなと思う。
・高田の復興の状況が分からないので何とも言えない。
・同じことをくりかえすような町づくりはしないでほしい。
・嵩上げのスピードを上げるべきだ。
・もし小学校や中学校の通学路がちゃんと整うようになったら、また登校班（それが自転車通学）を作って歩いて欲しい。今はまだ安全とはいえないからしかたないとは思うが、朝の登校はよい運動にもなるし、すれちがった人とあいさつすれば、地元の人との交流にもなる。
・１日も早い復興を望んでいます。ですから、頑張って下さい。
・お金の無駄遣いに気をつけてほしい。
・何十年、何百年先の将来のことを見すえて復興作業をしてもらいたいと思うし、自分も何か役に立てることがあれば参加したい。
・もっと、色々な人の声に耳をかたむけて欲しい。
・復興状況を知り、復興活動に参加する努力をするので、情報をどんどん発信してほしい。
・どういう町にしていきたいのか一緒に考えてみたい。
・一時的な気休めの復興ではなく、何十年も経った後でも、住民の方が過ごしやすい計画を考えてほしいと思います。
・震災で失ったものは戻りはしないが、未来に希望を持ち進んでいくことができます。
・家を失った人たちのために、もう一度家を作ってほしい。
・私も、出来る事は、限られていると思うが、復興に向けて頑張っていこうと思うので、おとなの人たちも頑張ってください。
・早く町を作ってほしい。

・優先順位がおかしい。やるべきことを後回しにしている印象を受ける。義援金、本当に必要な人にわたされているか？使い方誤っていないか？心のケアも必要だけど、まず町の様子が変わらないとだめなのでは？
・次の災害に備えて、一人でも多くの人を救う準備をしてほしいです。
・計画通りに行くことは少ないと思うが、頑張ってもらいたい。
・子どもにできないことをせっきょく的におこなってください
・がんばりましょう！
・災害のつめあとを残しておくのはいいですが、それに何億とお金をかけるより街の復興のために使ってほしい。
・来年から働きます。
・少しずつ頑張っていきましょう！
・もっとお金を有効的につかってほしい。学校などを残すためのお金よりを道路をつくるお金につかってほしい。
・やらなきゃいけない事がここにある！！
・新しい建物を建てるのも観光客とかが増えて、良いことだと思います。しかし、震災前にあった思い出の場所がある人もいて、その建物が店が復活するのも待っている人がいると思います。私もその１人です。昔のも建てれるようにして頂きたいです。
・昔、先生が言っていた言葉ですが、支援してもらうのが当たり前になるのではなく、そのことに感謝して自分に何ができるかを考えて前を向いていきたい。
・高校生や中学生のような子たちにもボランティア活動を募集してみては？
・難しい事をしようとする事なく、身近で出来る小さな事から行っていけば良いと思います。
・これからも残していきたいモノと、いらないモノをしっかり考えた上で保存、処理をしてください。
・津波が来ても大丈夫なような作りにしてほしい。住宅建設の遅さ
・義援金の使い道をもっと真面目に考えてほしい。１本松の保護とか言う前にやらなきゃいけないことが山ほどあると思う。
・町や建物の復興も大事だけど人の心も大事だと思う。
・奇跡の一本松はムダだとしか思えない。あれにお金を使うならもっと他にあるだろう。
・大人には頑張ってほしい。そして自分らも出来ることをしたい。
・子供の遊び場所をもっと増やしてほしい
・首相変更！
・土地のかさ上げ工事をやるなら、たくさんの建設業の人にたのんで早く終わらせるようにしてほしい。・ボランティア等をぼしゅうしているなら、もっとたくさんの人に知らせるようにしてほしい。
・私達高校生も高校生なりに地域の復興を考えて１日でも町が震災前より元気になるようにがんばっていきたいです。
・もっと子供が安心して住みやすいようにしたほうがいい。
・大丈夫！
・同じ地域だけにコンビニや建物を建てないでほしい。米崎のイオン周辺が何もなくて暗い。外灯を建ててほしい。自販機をおいてほしい
・アベノミクスに終止符を。ゴルフやってんな！
・感謝しています。
・ライブしたい
・がんばろう越喜来
・子ども達の走りまわったり、サッカーや野球などのスポーツ、かくれんぼ、おにごっこなどの遊びが出来るような芝生の公園を作ってほしい。もちろん広いし、湖もあるし、水あそびできるふんすいも！！広いのはぜったい！！
・一本松のレプリカなんて作る意味ないから頭おかしい
・書かなくてもわかると思うので書きません
・たいへんだと思う
・アホなことに金つかわないで必要なところに金を回せ。頭固いやつのアイディアばかり採要しているからおもしろくもない場所になって観光客がいなくなる。早く気づけ。
・ていぼうこわすのちょっとはやいんじゃない？
・もうちょっと都会みたいにしてほしい
・皆で協力して一日でも早く復興できるようにがんばりましょう。
・震災前の様に戻ったらいい
・高田以外の地域のことも、もっと知るべきだと思う。
・自分のことばかりでなく、まわりをみてほしい。自分もそうするようにしたい。
・子供についてもうちょっと考えた方がいいと思います。
・大船渡市も被災してますよ。

・若者を好んで減らしているようにしか思えない。
・店をもう少し増やしてほしい
・たばことかに金を使うなら、ふっこうに使ったほうが良い！！
・少しずつでも、復興に援助していきたいと思う。
・もっとがんばれ
・少しずつではありますが、徐々に“復興”という文字が大きくなりそして、実現してきている思います。なので、忙しいけどみんなで少しずつでも元に戻しましょう。そして、忘れないようにしたいあの時を…。
・一本松の保存は本当に必要だったのかどうか。
・震災前の高田市に早く戻ってほしいです。

高校４年生

・最近、ボランティア等が減り、もう風化したかと感じて、非常に心配だ。

高校生（学年記入なし）

・新しい店とかをつくって陸前高田をにぎやかにしたい。
・がんばってください。

小学４年生

・石巻市を片付けて石巻市をきれいにしてください
・石巻市のふっこうがんばってください。
・むりかもしれないけれど、せっきょく的にぼ金など子どもにできる事を考えるといいと思います。
・山つなみがきているところがある。あと子どもでもつなみのことが思いだしてしまう人もいる。みんなはげましあうこと。
・みんなで町をきれいにして、もとの石巻にもどしたい。
・石巻市のふっこうのためにできることはやったらいいと思う。
・つなみのせいで、公園がへっています。なので公園、お店をふやしてほしいと思っています。・いたる所で、まだふっこうされてない所があるので、そこの所を家を使ればいいと思っています。（かせつじゅうたくの人々）
・石巻市の復興のために、がんばってください。
・まちをもっときれいにすればいいと思います。・まわりの人もはげましたらいいと思います。
・これからもふっこうをがんばりましょう。安全を作りましょう。
・すこし、しぜんをのこす。川などをのこしてほしい。「きたかみうんが」などをきれいにしてほしい。公園を作って欲しい。です！
・みんなが楽しめる場所を作ればいいと思います。無料で、たとえば「はげましの場」みたいなのを、作ったらどうですか。という意見です。
・もっと子どもたちが元気に遊べる公園がほしい。
・近くにあるすなばに公園を作ってください。
・公園や広場などを作っていろんな人がつかえる場所を作ったらいいと思う。
・前の石まきみたいにしてほしい
・子どもが使える子どもタクシーを作ってください。
・ごみがふえているんですけどごみはへらせないんですか？
・仮設住宅の子ども達のために楽しいイベントみたいな物も開くといいと思う。・募金を集めて仮設住宅のみんなに分けてあげればいい。・仮設住宅の子ども達のために公園とか遊び場を作ってあげればいい。
・えがおのあふれて、きれいな町にしたい！・公園
・遊ぶところ（公園）を多くしてほしい。・ぼ金活動をたくさんしてほしい。・お店をふやしてほしい。
・ぼきんをしてほしい。地いきの行事へさんかをしたりすると楽しくさんかできるんじゃないからと思いました。
・こうえんやおんすいプールをふやしてください。
・つなみがこないようにしてほしい。
・ゆくえふめい者を早く見つけてほしい。
・オリンピックまでに町がきれいになっているといいですね。
・川にゴミなげられている。
・川がよごれている。
・すすんで行事にさんかする。・しんさいのことをしる。・朝のあいさつ。・ちかくにこうえんを作ってほしい
・ゴミをかたづけて、海をキレイにしてください。
・募金をもっと手伝だう。
・安全にうんてんして、ほしいです。わるいことをしないでほしいです。
・もっとこうえんをつくってほしい。
・たきだしをしたりたらと思う（たくさん）
・遊び場をつくってほしい。
・もっとせっきょくてきにぼきん活どうをおこなってほしい
・みんなのためにも、すぐにでも、ふっこうしてください。心配に思っている、子どもたちがいるからです。
・早く復興をすすめてください。きずついている人達はしんさいのときのものがのこっていると思い出して、かなしい気持ちになると思います。
・どうして、たてものがふっこうされないんですか。
・分かりません。
・工事を増やす
・わかりません。
・わかりません。
・わかりません。
・まちの片付けをがんばればふっこうにちかづく。
・かせつじゅうたくに公園を作る。

・わかりません。
・わかりません
・わかりません。
・しんさいをうけてから、人がなくなったりしているからはげましたり、町づくりの活動にさんかしたりする。
・子どももなにかてつだいたいです。
・わかりません。
・募金とかをしたほうがいい
・わかりません
・はやくどうろを工事してほしい
・わかりません
・わかりません。
・自然をふやす。
・土地を広げて、家を作り、かせつじゅうたくにいる人をいどうする。
・わかりません
・分かりません。
・わかりません
・人をはげましたほうがいい
・わかりません
・がんばって
・ぼきんありがとうございます。
・石巻をどうにかえがおにしてください
・こどもたちがうれしくなり楽しくなるようなところをつくる
・今、石巻はいろんなことがあってたいへんです。だから、わたしたちが出来ることは、何かかんがえてください。
・うみの近くに家をたててほしくない。
・ふっこうじゅうたくをもっと早くたてて！
・がんばってください。
・がんばってください。
・がんばってください
・子どもセンターをもっと作って欲しい。
・公園を作ってほしい。
・子どもの遊ぶ場所をふやしてほしい。
・がんばってください
・もっと、遊び場を作ってほしい。
・仕事がんばれ！！
・がんばって下さい
・がんばってください
・がんばってください
・がんばってください。
・しんさいでこまっている人をたすけてほしい。こどもの楽しい遊びばをつくってほしい。つなみがこないようにしいほしい。
・がんばってください。
・がんばってください！！
・がんばってください。
・がんばってください！（大人の人）もっとお金をためて、つなみがこないようにしてください。（高台）
・がんばってください。
・がんばってください
・もっといろいろなところにぼきんをしてほしい。
・仕事がいそがしくてもがんばってください。子どもの遊び場がほしい。
・公園をつくる
・がんばってください。
・ガンバレ
・みんながまたしんさいで死なないように高いへいを作ってください。
・いろいろがんばってください。遊び場をふやしてください。
・ない！と思ったら、「大人」がんばってください。「大人」さつじんはんをつかまえてほしい（むりだと思う）
・ひさいした人も安全にくらせる市にしてほしい。・もっともっとみんながすみやすく。・市長がてきせつなしじをだしてよりよいまちづくりをしてほしい。がんばってください。
・がんばってください。
・ふこうについて話しあう
・がんばってください
・つなみがこないでほしい
・えがおにしたほうがいいな
・がんばってください
・がんばってください。
・ガイドがんばって下さい。
・がんばってください。ぼくらもできることはやります！
・がんばってください
・がんばってください！
・石巻市にふっこうをつづけてほしい。
・仮設住宅が多すぎて公園などの遊ぶ場しょがないから作ってほしい
・しん号をもっとつけてほしい
・家や人をなくした人たちの心をいやす。
・がんばろう！！
・がんばれー！！！
・ポイステをなくしてほしい。
・これからも、みんなの力を合わせてがんばろう。

・やりたくない。
・ぼきんをしてほしい。（理由）こまっている人をたすけたいから
・ムーリー
・公園をふやしてほしいです
・がんばってくださいおうえんしてます。
・かせつじゅうたくの人が安心して家にもどれるように。
・自分たちが復興をめざしたいならごみをすてないとか、いろいろしてみたらどうですか
・あんしんしてくらせるように、もっとしてください。
・できません
・ゴミをちゃんとゴミ箱にすててほしい
・ゴミをすてないようにしよう
・きれいにしよう！ぼくらのまち
・がんばれ
・こまっている人がまだいるのなら、その人をたすけたいこと。
・がんばれ石巻
・こんど手つだいます。
・「がんばっぺ」っていうけど、じゅうぶんみんながんばってるよ。いうなら「がんばってるね」とかがいい。
・みんながしんさいやひがいのニュースを見ると思いだすからふっこうをはやめてほしい
・なくなった人を見つけてほしい。
・ふっこうスピードをあげる
・できるだけ早くふっこうをしてほしい。
・早く震災があったところを元にもどしてほしい。
・もののねだんをやすくして
・ゲームを学校にもっていっていい。おかしがくえて、ドリンクバーおりよう。
・かせつの人がカードをつくりそれをスーパーなどで見せて安くなる
・復こうのいみがわからない
・さいかいをわすれるぐらいはやくふっこうしてほしい
・がれきとかを早くかたずけてほしい。
・もっと日本をかえるために、もっと働こう！
・まだふっこうをされていないちいきがあるのでこれからも、よろしくおねがいします
・浜や海のゴミひろいをしてくれてうれしかったです。
・ひさいちにもうちょっとお金をまわしてほしい
・震災のきょうふや悲しみ
・楽しい町にしてほしい。・ぼきんをがんばる。
・ずっと笑顔！
・もっといろんなことをして国や県などをはげましていきたいと思いました。
・復興状況について伝えたい。
・早く、明るい石巻にしてほしいです。
・がんばってください
・がんばって
・がんばってみんなで協力してしんさい前のようにしたい
…・ぼきんをして困っている人を助けてほしい。
・ふっこうは大人にまかせます。
・がんばってください
・かせつにいる人たちの家をはやく建ててあげたほうがいいと思う。
・ふっこうがんばってください
・がんばってほしい。
・おうえんしてます。
・がんばって、みんなを笑顔になるようにがんばって下さい。
・おうえんしています。がんばってください。
・がんばってください
・おとながしっかりやってくれてるからいいです。
・子どもたちを、よろこばせてほしい。
・ふっこうは大人にまかせます。
・ぼくたちが、大人になるまで、この石巻の笑い、笑頭をふやしつづけてください
・活どうをもっとふやし町のみんなが笑顔になりいろいろな人びととなかよくしてほしいです。何かてつだえることがあったらてつだいたいです。
・ないけどみんなをたのしませる
・しえんぶっしありがとう。
・もっとがんばってほしい
・石巻の復興にとりくんでほしい
・石巻市は、さいがいにあったけど、おちこまないでふっこうについて、がんばってほしい
・まだ、部のところなどがふっこうが足りないかもしれない。
・ふっこう活動でなにかできることがあるなら手伝わせてください。
・まわりの人とかぼきんをしてくれてありがとうございます
・がんばってほしい
・石巻の復興をすすめてほしい
・ふっこう活動がんばって下さい！
・いそがしい時にたいへんだけどがんばってください
・がんばってください

・わたしたちは、できないけれど、わたしたちの分までがんばってください。
・少しでもはやく復興してほしいです。
・もとのような（それ以上に）石巻になるようにがんばってほしい
・協力してがんばろう
・がんばってください。
・これからもまちの片付けをがんばってください。
・みんな１人１人がきょうりょくして（助けあって）くらせる
・これからもがんばってください。
・かたずけをする
・これからもがんばってください
・石巻の復興をがんばってください。
・復興できるようにがんばってください。
・ふっこうがんばってください。
・まちのかたずけとかがんばってください。
・これからもよりよい石巻をつくってください！！
・出来ることがあったらがんばりたいです。
・こうえんなどに花を植えたりすること
・復興のためになにかをしたい。
・たのしい石巻市にしていきたい
・しんさい前の石巻にしたい。
・がんばってください
・石巻をきれいにして気持ちよくしたいです。
・大人の人たちが、がんばっているところを見て、私たちも、何か手伝えないかと思った。
・石巻市をキレイにしたいです。
・私は今、子どもなので何をしたらいいか分かりません。だけど、おうえんしてるのでがんばって下さい。大人になったら、役にたちたいです。
・わからない
・みなさんががんばってるので、私も、手伝えるところは手伝うのでみなさんがんばってください。
・みなさんちきのためにがんばてくらさい。
・すごくハデなまちがいいとおもう。
・石巻市の復興に、がんばってください。
・わたしはまだ子どもだけど石巻市のためにがんばりたい
・世界中の子どもたちのために少しでも協力してください。
・ふっこうのぼきん協力してください。おねがいします。
・かたずけを手伝ったりしたら良いと思う。
・分からない。
・石巻市の復興は、どのくらい進んでいるのですか？こまっている子どもたちは、まだたくさんいると思います。
・がんばってください
・お家をなくした人におうちをさがしてください
・どうゆうはたらきをしていますか。
・石巻市がどしゃくずれやひがいにあわないでほしい。
・家のまわりやいろいろな場所に公園などを立ててほしい。
・きれいな町にしてほしい
・大人が子どもを守ってほしい。
・おとなが子どものお手本になってほしい
・もっとごみひろいをしたほうがいい
・仮設住宅での手伝い（さしいれなど）をもっとやりたい。
・勉強をがんばっていますよ。
・ふっこうをがんばってください。
・復興の活動をがんばって下さい。
・ごみをそのまますてないでください
・いろいろがんばってます
・できるだけてつだいたい
・復興の手伝いをもっと手伝だいたい！！です。
・いろいろなことをがんばって明るいまちにしてください
・しんさいのことをこころにひめてまえむきにいきましょう
・石巻市ではかせつでくらしている人が多くいます。だから、しえんじゅうたくを作って早く多くの人をふつうの生活にもどした方がいいと思います。
・ゴミをすてない
・石巻市をきれいな市にしたい
・石巻をよごさないでください
・ふっこうがんばってください
・きょうりょくしましょう
・力をあわせて守りましょう、ぼきん
・今はじゅんちょうだからこのままがんばろう！
・できるだけみんなをよろこばせたい！！
・ぼ金をする人がふえてほしい
・何かをしましょう。
・私は、今年の４月にひっこしてきて震災前のことなどはよくわからないけど、なにか地域の行事や私にも手伝えることがあったら、できるだけ協力したいと思います。
・障害のある子も安心して過ごせる石巻市にしてほしいです。特に医療面でのサポートをお願いしたいです。（学校へは安心して行くことができるので）学校へ行かなくなった後、大人になってからのサポートについても心配です。
・公園がない。
・子どもたちでできることがあれば声がけしてほしいです。
・はやく前のようになるといいです

・ぼくんちが道路になるから道路をつくるのをやめて川に橋をつくってほしい。公園をなおしてほしい。
・まわりの人をはげましてほしい。もっとイベントをしてほしい
・なぜとしゃくずれがおきたんですか
・まわりの人をはげましてあげる。募金をしてあげる。
・ボランティアをふやしてほしい。
・すいどうをもっとなおしてほしい。もっとしょうぼうだんをがんばってほしい
・工事をはやくやってはやくもとの町にしてください。・ボランテラのひとがいてくれたこそはやくできました。・私も力協したいです。
・月１回くらい、学校に「やってみませんかぁ～？」という、“おたより”を出したらいいんじゃないですか？
・わたしたちがたすかったけどまだ復興していない人に協力したい
・これからもがんばってほしい。・ボランティアの人にこれからもボランティアをがんばってほしい
・ごらんていあのおかげでまちがきれいになりました
・ぼくたちは助かったボランティアの人のおかげで町がかたづいてかんきょうがよくなった。ありがとうボランティアの人！！
・ぼ金をもっとがんばってほしい
・ふっきゅうさぎょうをがんばってほしいです。
・ボランティアの人たちが募金をもっとふやした方がいいと思います。
・おとなの人たちがいてくれたからがれきとかかたづけれた。
・ぼくたちは助かった消防の人たちがひなんしないとだめというサイレンをならしてくれて助かった消防の人ありがとう
・もっと町をかたづけて子どもたちをよろこばせてほしい。
・もっとまちをもりあげてください。
・ボランティアの人ありがとうございました。
・もっとでんきをなおしてほしい。ボランティアの人をもっとふやしてほしい。
・ぼ金をあつめるためにふうせんと、おかしをつけたしたらどうですか。
・がんばってください。・もっとふっこうのスピードを早めてほしい。
・がんばってください
・もう少し早くふっこうしてほしい。
・早くかせつの人を、ちゃんとした家にすませてください。
・これからもがんばってください。
・ひがいがひどいところにふっこうへきてほしいです。
・ひがいがあった場所にきてほしい
・みなさんふっこうをがんばってください。
・いつも石巻市の復興にまちの片付けとかをありがとう。まだまだまちは復活しているけどまだいろいろあるからがんばってください。
・復こうをもっとがんばってください
・もっとふっこうの行事にさんかしてください。しんさいをわすれないでくださ。ボランティア活動がんばってください
・しんさいのふっこうが進んで、もう、前のくらしになっている人が多いけれども、あのしんさいで、多くの人がなくなっているので、あの事は、わすれないでください。
・ふっこうをもっとがんばってください。
・しんさいのときより、ふっこうしていると思います！ガンバレー！
・ひがいがあるところにふっこうがきてほしい
・ふっこうについてがんばってください！
・もうちょっと町のかたづけをしてください。
・復興してないところもあるからがんばってください
・つなみの来た時にごみやいろいろなものをかたづけてくれてありがとうございます。
・石巻市のふっこうをこれからもがんばってください
・ぼきんはだいじ
・復興がまた進んでないからがんばってください
・じしんのときとてもこわかった。
・ひなんくんれんをしたほうがいいと思います。
・ふっこうの行事にさんかしてください。
・まだまだ復興が進んでいないのでがんばってください
・今までありがとう
・がんばってください
・特にふっこうしてくれて、ありがとうございました。
・いつも、まちの片付け、ごくろう様
・今まで、いろいろなこをしてくれてありがとう
・ふっこうをもっとはやく
・まだ片付けがさらってない所に手伝に行きたい。
・ふこおはすれてほしくない
・復興がんばれ！！
・がんばってください
・つなみをこないようにしてください
・町をかたづけていろんな物をたてて人やかんこう客がふえるようにしてください

・「ひなんかんこく」など、いつもより早く出したほうがいいと思います
・つなみをこないようにして
・ひさいした人がえがおになることをしてあげてください
・がくどうほいくを作ってほしい
・復興とにかく速くすすめて
・プールがあってほしいです。
・いっぱいスポーツができる所にしたいです。
・お店がいっぱいあってほしいです。
・お店がいっぱいあってほしいです。
・大須地区のふっこう
・むだ使いをしないで、ぼ金に使ってほしい。
・むだ使いをしないでほしい。
・かせつじゅうたくの子どもたちも自由に遊べる遊具を作るといいと思う。（ぼ金で。）
・ポイすてをやめたほうがよいと思います。
・必要ない物にお金を使ってほしくないです。理由は、必要じゃない物に使うとむだ使いになるからです。
・ひがいが合った人たちにもひなんくんれんをさせた方が良いと思う。くんれんどうりににげれば少しでも多くの人がたすかると思うから。
・ひさいした子どものために学用品をとどけてほしい。
・2020 年にオリンピックが日本であるから復興が進むか心配
・パチンコやスマホゲームはあんまりしないでください。お金がなくなることはやめてください。
・もう少しぼきんをやる。
・かせつじゅうたくのちかくにこうえんをつくる
・かせつ住たくの人に学校などの行事にさんかしてもらう
・ひさいした人にぼきんをする。
・ポイ捨てをしない
・かせつじゅうたくでフリーマーケットなどをひらけばいいと思う。
・かせつ住たくの人達を元気にするためになにか行事を開けばいいと思います。
・ひさいした子どもたちのためにもっと協力してぼきんをしたりさぎょうしているところに進んでさんかをしてほしい。ひさいしたおばあさんやおじいさんをはげましてほしい
・お金をむだに使ってほしくない。
・まちの片付けをもっと進めた方がいいと思います。
・地いきの行事をもっとふやした方がいいと思う。
・よけいなことにお金を使ってほしくない。
・ぼきんをしてかせつじゅうたくの人たちがこまらないようにしたい。
・かせつの人といっしょに思い出作りをしたら良いと思う。かせつの人やひがいでなくなった方のかなしみをなくすようにいろいろとちいきの方もみんなで笑う。
・集めたお金で家をたてたり、ひがいにあった人に楽しい事をして悲しい事をわすれさせる。
・ひさいした子どもたちに家にもどらせてあげたい。
・もっとふっこうにとりくんだほうがいいと思う
・がんばって働いてほしいです。
・子供が参加できるようなふっこうのためのだんたいがあるといい
・もっと石巻市にふっこうにとりくんたほうがいいと思う。
・どしゃくづれやかかみなりが苦手なのでそうゆうのをふせぐ物がほしい。
・もう二度とつなみがこないように自ぜんを大切にした方がいいと思います
・私はあの時泣かないと決めたけど、やっぱり泣いてしまいました。それから、でかけるときたまに「がんばろう石巻」という文字をおおくみかけました。私は、がんばろうと思いました。
・はやくまちの片付けをいっぱいの人とやったほうがよいと思う。
・せいじか（でんき）をやめてほしい。
・私は、復興について何かをやりたいんですけど子どもができるのをつくってほしい。やりたいです。
・この石巻市がにぎやかになるようにしてほしい。
・ふっこう住宅に当たるかくりつや、ペットが住める家をふやしてほしいです。（少しでもいいです）
・家や店をもっとふやして、安全な町にしたい。
・お店をふやしてほしい
・にぎやかで人と人が話し合ったりして楽しくしたい。家のまわりが安全にくらせるようにしたい。
・安全で楽しい。
・お店をふやしておしい。
・店をふやしてみんなのやくにたってもらう。
・キレイな町にしてほしい店をふやしてほしい
・ぬかずかに、コンビニをけんせつしてほしい・石巻市にきょだいゲームセンターをたててほしい
・きれいなまち・店をふらしておしい・しあわせなまち
・もっとお店をつくってほしい。
・もっと店をふやしてほしい
・お店をたくさん作ってほしい・楽しい（きれい）な町にしてほしい・困っている人を助けてほしい

・かれきでごみのないところ・お店がいっぱいあるところ
・公園を作ってほしいです。
・店をもっとふやしてほしい
・店をふやしてほしい
・きれいな町にしてほしい。・せんせきせんをはやくなおしてもらいたい。・ゴミすて場じゃないところにゴミをすてないで、きれいな町にしてほしい。
・きれいなまち・みんながしあわせになれるまち
・今がしあわせ。
・しらさぎ台に店をたててはしい
・少しでもがれきをなくして、小さい子たちを楽にしてあげてください。
・つなみに強い家をひがいにあった場所に建てた方がいいと思う。
・公園などいろいろなものを作るのは、大変だけどがんばってください
・家など早くたててほしい。
・みんなで石巻市の復こうをおうえんしています。
・石巻のふっこうをおおえんしています。
・家がなくなった所に1か所に公園をつくった方がいいと思います。
・もうつなみがこないようにいのる。
・早く元のすがたにもどってほしい
・夜にあかりをたくさんてらしたり公園をたくさんつくりたい
・早めに家や建物を建ててほしい
・友だちもたいせつ、自分もたいせつ大人もたいせつ。
・石巻の町でくずれたがれきなどをきれいにして、石巻きれいにしようと思う。
・あきらめないでがんばってください。
・石巻市のふっこうがんばってください
・ふっこうをがんばりましょう。
・ふっこうをもっと早くしてください
・町をきれいにしたい
・ふっこうについてしらないのでこれからも考えていきたい
・わたしは、どんどん元どおりの場所を作っていったほうがいいと思います。その理由は、仮設住宅やべつの町にうつってしまった人がいるから、もとにもどして、もとの幸せになると思います。
・いままでは、ふっこうにきょうみがしめさなかったけど、いっしょうけんめいぼきんをあつめている人をみてみんながんばっているから、わたしも大人になったらいろいろな協力をしたい。
・ふっこうのことは、あまりよくしらないのでこれからふっこうのことをよくしっておきたいです。
・石巻市の復興は今は急がしいから。
・勉強や部活でいそがしいけど、できることならやっていきたいと思います。
・はやくゆくえふめいの人を見つけてほしい。
・ふっこうについてあまりしらないのでこれから考えたい。
・これからは少しふっこうについて知っていきたい。
・石巻市の復興について、あまり分からなかったから復興について少し知ってみたいです。13
・復興についてまだわからないのでこれから考えて行きます。
・大震災で石巻やおな川などがつなみで亡くなっちゃたりした人もいるから、もう少し大震災のことを考え直したいです。
・ぼきんははたことがあるけれどほかはまだやっていないからやっていきたい
・復興についてまだ何も分からないから復興にかんするイベントなどをやってもらいたい。
・ふっこうのことはなにもしらないのでこれから知っていきたい
・ふっこうのことが今でもあまりはかっていないのでこれからわかろうとおもいます。
・わたしは、あまりふっこうについてはいらなかったからこれからふっこうについてしりたい
・まだゆくえ不めいの人がいるので、はやく見つけてほしいです。
・ちょとしたこうえんをつくってほしい。
・公園をおおくしてほしい。
・ゆうぐのあるこうえんをつくってほしい。
・みんなで協力して早くふっこうしてほしい。
・公園を作ってほしい。子どもたちが遊べる場所を作ってほしい
・前見たいに、にぎやかな町にしいほしい。
・子どもがあそべる公園を作ってほしい
・かたずけ、ふっこうなど、たいへんだと思いますが、みんながよろこべるまちになるようにがんばってください。
・子どもの遊ぶ所をふやしてください。
・みんなが楽しめることをしてください
・子どもの遊べるところをふやしてください。
・子どもの遊ぶ所などを作ってください
・子どもの遊ぶ遊具をふやしてください。
・片づけなどの手伝いのチラシをください。

・子どもの遊ぶ場所をつくった方がいいと思います。子どもたちは遊ぶ物がないと思うからです
・もっと遊べる場所をふやしてほしい。
・ぼ金を1円でもいいからできるだけしてほしい。
・ぼくは復興ではまだしらない人もいました。だけどぼくはみなさんをきっと笑顔にさせます。
・もっとみんなが楽しいっておもうたてものをつくってください。
・がんばりのメッセージ。がんばれがんばれ石巻市！
・学校にゆうぐをつくってください
・子どもがあそぶばしょをたくさんつくったほうがいいと思います。
・この地区は、子ども人数が大いからもっとゆうぐや遊び場を作ってください。
・子どもたちの遊べる所をたくさんふやしてほしい
・あそべるしせつをふやしてください。
・学校ちかいルートを作ってください
・まだまだ復興されていないばしょがたくさんあるのでふっこうできるばしょからふっこうしてください
・おとなも時間があればふっこうのためになにかかかわってほしい。
・たのしいことをしてほしい
・かせつじゅうたくのてつだいをしましょう
・たばこのすいがら、だばこの箱、かん、おかしのふくろ、ビニールぶくろなどを道を道路になげすてないでください！！
・しんさい前のようになるようにがんばってください。
・何かやろうと思っても何をしたらいいかよく分からないから、子どもにできることを教えてほしい。
・早く震災前のまちにもどしたいです。
・がんばってふっこうしもとのまちにもどしましょう。
・ぼきんをよゆうがあればいれます。
・浜のどこかに公園を作ってほしい
・親友をなくしたので、その親友の分もがんばって生きたいと思います。
・もっと、がんばってほしい
・震災で親をなくした子どももいるので、心をケアするしせつを作った方が良いかもしれないし、復興作業を進めた方が良いと思います。
・しょうほうじのおはかをなおしてほしい。つなみにながされたままになっている。
・しんさい前の石巻市にもどしたい。
・みんなが自分の家、家族の家に住んで、かせつをなくしたい
・みんなが笑っている石巻にしたい。
・きれいな町にする。
・楽しいまち
・悪い事がなく、良い事だけのすてきなかんきょうにしたい。
・楽しく、明るい、元気な町にしたい。
・公園をできるだけふやしたい。
・しんさい前のいしのまきに、もどしてほしい
・もう少し公園をふやしてほしい。
・ゴミをいろいろなところにすてること。
・道をわすれたときに、教える。・公園の草をとる。
・フルーツ公園を作ってフルーツがり。
・町をきれいにしたり、子どもが外で遊べるように公園をつくたほうが、子どもも、外で遊べると思います。
・公園にゆうぐをもっとふやしてほしい。
・こうえんやプールをふやしてほしい
・公園にゴミばこ作ってください。
・町をもっときれいにしてほしい。公園をもっとふやしてください。家をふやしてほしい
・公園をふやしてほしいです。
・市みんプールをたくさん使ってほしい。
・プールを作ってほしい。
・市民プールを作ってほしい。公園をふやしてほしい
・ふっこうをぜんりょくでがんばって下さい。私たちはおうえんをしています。私たちもできることはします。
・みんなの力で復興を進めたいです。
・大きいひなん所をひなん所のないところに作る。理由はひんなん所のない所に住んでいる人はどこにひなんすか分からない人もいるからです。
・つなみやじしんで家がなくなった人にできるだけ伝だいたい
・各地区に1つ、ひなんようのたて物を使った方がいいと思う。それでそのたてものを、ひなん訓練ようにも使った方がいいと思う
・津波がもし来たら高い場所にひなんできる場所を建てるといいと思います。
・みんながえがおになるようにまわりの人をはげました方がいいと思う
・ひなんする場しょを2つか3つつくった方がいい
・もしもの時にひなんをするための所をいろいろなところに作ったほうがいいと思う。

・津波がきたときにひなんする高い建物を作ったらいいと思う。
・つなみがきてもひなんできる大きいビルをつくったほうがいいと思います。
・ひなんする場所をつくったほうがいいと思います。
・いつでもひなんできるように、ひなんじょを作ったら良いと思う。
・山にひなん用のひなん所を作ったらいいと思う。
・ひなんするためのビルなどをたててほしい
・いろいろなところにひなんできる場所をつくったほうがいんじゃないか。
・かせつとか家とか海の近くじゃないところに立てればいいと思う
・みんながすぐひなんできる近いひなん場をつくる。
・つなみやじしんが来たときに、ひなんする場所を作る。
・わたしは、楽しくて明るい町にしたいと思ってます。
・早く町をきれいにしてほしい
・遊ぶ所をふやしてほしい。
・質問です。これから、約5年後には石巻は、しん災前と同じぐらい、栄えている石巻市に復興できますか。
・もっと遊ぶ場所をふやして、きれいな町にしてほしい
・もうちょっとしぜんをふやしてほしい（理由、もっとしぜんをみたい）。・もうちょっとあそぶところをふやしてほしい（理由、もっとたのしくあそびたい）。・もうちょっと道路のこうじをへらしてほしい（理由、下校のときあるきにくい）。
・まだがれきなどが、のこっていると思うので、がんばってください。
・子どもたちがあそぶところがもっといっぱいあってほしい。
・石巻をきれいにがんばってください。
・もっとお店をふやしてゆたかな町にしてほしい
・まだがれきがあるからです。
・だれでも復興について、考えたり、話し合ったりしたほうがいいと思う。
・きゅうしょく配布ありがとうございます
・ふっこうじゅうたくつくるのをがんばってください。
・ふっこうじゅうたくつくるのがんばってください。
・ふっこうじゅうたくをはやくたててほしい。
・支えんをしてくれてありがとうございます。
・近くに公園があったらいいな（公園をじぶんからいって作ってみたい）。ありがとう。学校の先生になりたい。
・ふっこうけいかくとかふどう町のところでそうゆうことをやってほしい。それにふどう町にはこうえんとかあそぶ物がないからふやしてほしい。
・石巻市をもっといい平和の石巻市にしてほしい。
・もっとふっこうがすすんでほしい
・石巻きをきれいにしてくれてありがとうございます。
・八幡神社を、さいかいしてほしい。
・ありがとうございます。
・ありがとうございます。
・もっと早く復興が進んでほしい。
・遊び場所を多くしてほしい
・もっと復こうしてほしい
・これからもあいさつやいろいろなことをしていきたいです
・港ちくに公園をもっとふやしてほしい
・いけをつくってください
・がんばってふっこうをして
・わたしたちにはできませんが、みんなではたらけるばしょ、みんなであつまれるばしょ、おみせ、いえをもっとつくってください。
・ふっこうをすすめて、前のように安全な所にしてほしい。石巻市をみんなでわいわいたのしい町にしてほしい。
・もっと家がたって、にぎやかになってほしい
・はやくしんさい前のようにしてほしい。
・あそぶばしょおたくさんつくってほしい
・お店がふえてほしい
・しんさいまえにもどしてくらさい。
・あそぶばしょをつくってほしい
・まわりに、あそびばをふやして。
・もっと、人がたくさんいて楽しい町にしてほしい
・あぶない所を早くなおしてください。公園をもっと作ってください。
・ふっこうがんばってください
・おみせやこうえんをいっぱいつくって
・早くお店や公園を作ってください
・店をいっぱいにしてほしい。
・もっとあそぶばしょをつくってください
・公園をふやしてほしい。
・きけんな所があるのでそこをきれいに直してほしい
・新しい公園を作ってほしい。
・公園にあるベンチやさくがこわれそうになっていてはやく直してほしい。
・日本のどこかでこまっている人がいるから、ぼきんをする。
・ぼきんを集めて、まずしい人たちにお金をあげる。

・おとなたちだけで、ふっこうの話を進めないでください。子どもも、ちゃんと話にいれてください。ふっこうの話がわたしたち、子どもには、まったくなにも、知らされてませんから、おねがいします。
・まちの片付けを一番やりたいです。
・もっと早くふっこうできないんですか？今つなみがきたらどのようなたいせいをするんですか？ゆくえふめい者をもっとちゃんとさがしてください！！わたしたちがどんないたい目にあったかそうぞうしてください。
・みんなが安全にくらせる地区にしてください。
・おとなのみなさんふっこうのいろんなことがんばってください。
・石巻市には公園がいっぱいあったけど、つなみのせいでなくなった公園とかが、あるので、しんさい前より大くしていきさい。
・いまから石巻をもっと、いい町にしてほしい
・みんな、しえんを、もらいすぎている。もう3年もたっているから自分でやったほうがいい。もらった人たちのほうで、なにかあっても、みんなもらってるのに、たすけに行かない。それがきになるから、なおしてほしい。
・いしのまきにまたつなみがこないようにする
・ボランティア活動でもっと速く復興をさせてほしい
・しんさいで人がすくなくなりましたがたいへんなしごとがつづきますががんばってください
・がんばって下さい。
・今は昔よりたてものが少くなくなってしまったのでお年よりのためにもあき地にお店をつくってほしい。
・がんばって下さい。
・ファイト！！！！
・ありーません
・ファイト！
・オレは、大人につたえていことは、一つあります。それは、ぼ金でーす。
・ぼきんにがんばっていきます。
・このまま
・待にない
・がんばれ……
・がんばって！！
・ぼきんをがんばる

小学５年生

・かせつじゅうたくに住む人に、できるだけはやく家をつくってほしい。なにをしたらいいのかと、家に近いところなら、復興について、参加したい。
・かせつの人たちの家を早くつくってあげてください
・ドンキホーテを石巻に作ってほしいです。
・石巻市に公園を 30 こ作ってください
・みんなが笑顔になれる所をつくってください。
・もう少しキレイに早くふっこうして下さい。後、公園とかも少しふやして下さい。早くふっこうさせるために中学生とかまぜても良いと思います！
・早く復興させるために、たくさんの人の意見をとり入れて下さい！！
・みんなのためにひなんじょをふやしてほしい。
・このごろ公園で遊べるところがないから、公園をつくってください
・みんなが楽しめる広い公園を建ててほしい。
・少しずつ復興に近づけてくれれば嬉しいです。
・いらないかんばんやポスターはごみとしか見えないので捨てて下さい。きたないです。読めません。〈たとえば〉つなみでくしゃくしゃになった紙をはりかえるとか。
・大きな公園を作ってください。遊び場所がほしいです。
・こうえんをつくてくらさい。
・ゲームセンターを前のようにたくさん作ってください。公園の遊具をふやしてください
・子どもたちが笑がおになるように、楽しい公園を作ってほしい！
・かせつ住たくの支えんよりも先に、てっていてきなガレキのてっきょなど石巻全体に目を向けて活動してほしい。
・みなさんが募金していっぱいお金をもらったと思うのですが、それを何に使っているのですか。・私の釜地区に公園をつくってください。
・石巻市でみんなで遊べたり、休めたりできる公園があったほうがよいと思います。
・仮せつ住たくの部屋一つ一つを広くして下さい！！
・死ねと言わないでほしい。
・かせつじゅうたくがたっている公園がある→公園を空き地などにつくってほしい。（アスレチックのようなかんじでとにかくでかいような…）
・でかい公園をつくってください。
・公園を広くしたり多くしたりしてほしい。
・ぼくたちのために、いろいろありがとうございます。機会があったら、手伝います。
・石巻市にゲームセンターをつくってほしい。
・広い公園を作ってください。

・広い公園を作ってほしい。
・でっかい公園をつくってください。
・楽しい場所を作ってほしい。
・物のねだんをやすくしてほしい。
・大人だけでなにもかも、できると、思わないで、ください。
・大人だけではなく、子どもにもいろいろてつだわしてもらいたい　かせつじゅうたくの人にいろいろなものをあげたい
・住む場がない人に、家を作ってあげたい。
・石巻市は仙台市のように人が多い市には、できないかもしれないけど震災前にできるだけもどりもとの石巻市もどしてほしい。
・募金したい
・石巻市は少しずつ復興が進んでいます。
・前のようになってほしい
・石巻市で、住む所がない人などがいないようになるといいと思います。
・外で遊ぶ、歩いていける、広い公園があるといいと思う。
・いまよりもっと明るい石巻市になってほしい。
・カビや、こけが、ある店をとりこわして、きれいな市にすればいいと思います。
・自分的には、公園（あそぶ場所がない）から公園をつくってほしい。
・震災前のように、みんなが元気に明るい町に戻したいと私は思っています
・かせつじゅうたくはいいのですが子どもがあそぶばしょがへってそとてあそぶこがへってます。
・募金をしたいです
・近くにあそぶしせつか広場があるといい
・石巻市がしんさい前の町にもどってほしい。
・石巻市はしんさいで公園や子どもの遊ぶ場がありません。なので公園をつくってほしいです。
・公園にふっこうじゅうたくをいっぱい建ててほしくないです（理由、あそべないから）
・大きい公園がほしい
・募金してはやく石巻市が良りよいまちになってほしい
・道路の整備をしてほしいです。
・道路の整備や広い公園がほしいです！
・子どもの気持ちをもっと大切にして欲しい。・近くに友達がいない子どものために、ふれあい広場てきな物があったらいいと思う。
・どうろをきれいにしてほしい
・家がなくなったところの草かりしてください
・石巻の復興のためにがれきをかたづけとてもいい石巻にしたいです。川開きまつりもずっとつづいてほしいです。
・町をきれいにしてください。
・もっとみせをふやしてください。
・たくさん店もっとふやしてください。
・家がつなみで流された所が、草や雑草できたないので、きれいにしてほしい。
・北上川にかけてあるはしが、ガタガタだから、直してほしい
・立町の店を増やしてほしい
・なくなったこうえんをまたちがうばしょにつくってほしい。
・石巻市をゆたかにしてください
・はやく町とかをきれいにして、前みたいにしたいです。
・石巻をしんさい前と同じようにしたい。
・バッチ
・もっと大型店をいっぱい、いろんな所に作ってほしい。
・きれいにしてほしい。
・子どもたちでどういうかつどうがあるんですか。また、どういう活動をするんですか。
・強いじしんなどがきたら、できるだけ山の方ににげる。
・悲しいのは大人だけじゃなく、子どもも悲しんでいるので、みんなで協力すればいい。
・みんなで協力すればいい
・自分たちの市をしんさい前ぐらいきれいにしよう
・バッティングセンターをふやしてほしい
・たて物をたててほしい
・早く町をきれいにしたい
・がんばれ！
・がんばって下さい。
・復興するのをがんばってください
・子どもも、ボランティアをさせて下さい。
・ぼきんじょをいっぱいつくる。
・ぼきん所を作り、ぼきんをして、復興させればいいと思います。
・震災前のような楽しい石巻市にもどしたい。
・配布で家がなくてこまっている人に物を配布した方がいい
・子どもにとってはこうえんがかせつになってる
・震災を全国をまわって話す人がいい。
・ふっこうを早く行ってほしい
・まちの片付けやぼきんをしたほうがいいと思う。
・早く家を作ってほしい。
・はやく復興してほしい

・子どもが遊べるところをつくって下さい。
・はやくも復興して、キレイなまちをつくってほしい。
・しんさい前よりも楽にすごせるような街づくりをしたい。
・震災でこわれた場所を直してください。
・復興の手伝いや片付けや募金をしているので、私もやりたいです。
・ガレキをかたずけてゲームセンターやコンビニのお店をいっぱいふやしてほしいのでおねがいします。
・分からない
・がれきをはやくなくしてほしい
・震災の事を忘れたい
・全部元どおりにならなくてもいいから少しでも良い町にしてください
・がんばってください。がれきをてっきょしてゲームセンターなどつくってください
・石巻市らしい石巻市にしてください。
・みんながえがおでいられるまちにしてください。
・元気ある人たちが住む石巻市にしてほしい・大きい公園やあそぶところを作って欲しい
・店をいっぱいつくてください。
・どこにでも、つなみからにげられるたて物があったらいい。
・木など自然をふやしてほしいです。
・明るく楽しい街にしいほしい
・石巻を明るくしてほしい。
・だれでもがすみやすいようにしてほしい。
・しん災があった時の写真をてんじする、館みたいなのを建ててほしい。
・きれいな町にして下さい。
・ぼくは楽のしい町にしてみんなが悲しくならないようにする。
・てつだうということはできないど、がんばってください。
・早く石巻市を直して！！
・すこしでもいいからはやくふっこうがすすんでほしい
・少しずつ復興へ進んでいると思うので、もともとの産業など、またできるようがんばってください。
・てつだってはあげたいけどなにをすればいいと思う
・復興をするのは、大変だけどがんばってください。
・１つずつ終わらせればいい。
・もっと役にたってほしい。
・がんばっぺ！！石巻
・石巻を復興するには、どうすればいいのかな～
・意見もふまえたりも子どもたちの気持ちを考えてください。
・みんなが気持ち良く住める石巻になったらいいです。
・みんな同じ人間だからたすけあうのは大事。
・復興のためにまちづくりの活動やまちの片付けをしたりして復興のためにがんばってくださってありがとうございます。これからもがんばって下さい。
・ひがいにあった人の幸さ。
・石巻市の復興で、おとなでも子どもでも、石巻市を復興をできることがないか
・わかりません
・１年でもはやくもとの石巻にもどってほしい
・みんなを幸わせいする。
・色々な活動してくれてありがとうございます。
・ぼ金をたくさんしたほうがいいと思います。
・心配な状況にいる人を助けてあげてください。
・木などがおちていないこと
・おがつの復興を手つだってください。
・少しでもはやく人を助けてあげてください。
・子どもにやさしくしてください
・まだつなみのあとなどあればそこにすんでいる人たちがはやくもどれるようにしてください。
・やさしざがあふれそうなくらいやさしいとこがいいと思います。
・しえんなどしてくださってありがとうございます。
・しん災で家がなくなったりした人たちのために、かせつじゅうたくなどをつくったのがいいと思います。
・まだ、ひさいした所が全部直っていないのにお金の問題や色々なことをせっきょく的にしないのか。
・大変だと思うけどがんばってください。
・石巻市のまきはいまでもいてたのしいのでこのままでいいとおもう。
・まだ、復興されてないところがあるのでそこを復興してほしい。
・がんばってください。
・もっといろいろな場所の復興をしてください。
・震災でおばあさんの家が流されて、新しい家を建てようとしています。でも、まだ土地にも手を出していません。
・復興をもっと早くしてほしい。
・まだ、仮設住宅でくらしている人たちがいっぱいいるので、その人たちがもっとすみよいくらいをできるようにしたらいいと思います。
・まだ信号が動かないないところがあるから直してほしい。

・町で、がれきを見なくなったので、良いです。
・だんだつなみを受けた地域がよくなっている。
・まだ、つかまってないふしん者をつかまえてほしい。
・まだ、家の一かいがぐちゃぐちゃでかたずいていないからできるだけしてほしい。
・はやく石巻をいいところにしてください。
・がれきの山をかたづけてほしい
・たくさん支えんをしてもらってとても助かります。
・いろいろな物をしえんしてもらってとてもたすかりました。
・いつもぼくたちのためにいろいろ仕事をしてくれてありがとうございます。
・いろんなものをしえんしていただきありがとうございます
・家がたつのはたのしみたけどできれば、はやくたってほしい。「はやくたってほしいなあ」と思います。
・子どもでも復興のためになにか一つはできることがある
・仮設住宅で住んでいる人に、祭りなどの行事などをするといいと思う。
・公園が少ないから、りっぱな公園がほしい。
・ちかくに大きな公園を作ってほしい。
・私が大人になったら、石巻の役に立つ人になりたいと思っています。
・大きなこうえんを作ってほしい
・近くの広場に大きな公園を作ってほしい。
・ふっこうのため、みんなのためにがんばりましょう。
・公園をつくってほしい
・つなみでなくなった人を早く見つけてほしい
・子どもでも復興のてつだいできるよ
・できることがあれば伝つだう。
・石巻市は大きくなりすぎて復興が遅い！東松島市はすぐに復興した。なぜなら東松島市はしつれいですが小さく、市の復興はやい。そこが石巻市のけってん。
・公園のゆうぐをふやしてほしい。
・遊具を増やしてほしい。
・こうえんがかせつ住たくがきてから使えなくなりました。東こうえんだけなら分かるけど中央こうえんもかせつがたっているので遊び場がほとんどなくなりました。どちらかあけてください。
・もっと近くに遊び場を増やしてほしい
・ひろい公園とゆうぐをふやしてほしい。コンビニをふやしてほしい。
・ひろいこうえんをふやしてほしい。
・もう少しほかの県と協力して、みんなで助け会い、ほかの県と友にがんばる。
・公園にかせつが立っているのでふやしてほしい
・子供達が自由に遊べる場所を作ってほしい。
・みんなで遊べる公園（ゆうぐをつくってほしい）や、お花がふえたらいいなぁと思います。
・復興するならゆうぐをふやしてほしい。
・もっと公園を作ってほしい
・公園やとちをふやしてほしい（かせつじゅうたくのみんなのために）
・公園のゆうぐをふやしてほしい。
・子供センターライツのような所を作ってほしい。
・仕事などでいそがしいとは、思いますが、子どもといっしょにすごす時間などをふやしてほしい。
・いろんな人がつなみでなくたてしまた人やあえなな人たちおふこうおてつだう。
・前まであった公園に、かせつがたって遊べる公園が減ってしまったので、公園を増やしてほしい。
・公園に遊具をふやしてほしい
・公園を増やしてほしい。復興で子供ができることを考えてほしい
・あそびばおふやしてほしい
・がんばってください。広い公園を作ってください。
・いろいろな遊びを作ってほしい。
・子どもたちが遊んだりおとしよりが休める場所を作ってほしい。
・遊び場を増やしてほしい。
・遊ぶ場所をふやしてほしい
・かせつじゅうたくがふえ公園がなくなってしまったので公園を作ってほしい
・みんなで力を合わせて、まだ家族が見つかってない人、ゆくえふめいの人を、助けたいです。（できれば）
・まずは仮設住宅の人をはやく家や町にもどしてあげるべきだと思う原ぱつは、なくてもよいと思うそれでいまだきょうにもかれない子どもや外であそべない子どもかわいそうだと思います。
・いつ何があるかわからないのでそのためにそなえよう。
・もっとはげましたりイベントを多くしたほうがいいと思います。ぼくは明るい町になってほしいのでこうゆうことを増やしてほしいです。
・つなみがきたときすぐにげるようにしてほしい。（にもつをよくよういしておく）
・復興のためにありがとう。
・高学年ボランティアを作りたい。もっとしんけんにつなみにのまれた人を休まずふざけずさがしてほしい。

・仮設で住むとこがない人たちを仮設から出さないでください
・さがすのはいいけどあきらめることもたいせつです
・自分勝手なことですが、しんさいの何ヶ月か後に海にかくにんのため見に行ったら何も手つかずで、がれきがつみあげられてあり、正直、悲しかったです。仕方ないことですが、もう少し何かできることがあったと思います。
・公園を増やしてほしい。
・ぼらんてぃあの人達これからもがんばってください。
・復興にできるかぎりのことをしたいです。
・少しでも石巻市の復興を気にかけるようにしてほしい。・石巻市の子どもだちを、少しでもいいからささえてほしい。
・公園などの遊び場がない。（あけぼの地区）
・石巻の復興のためにがんばってください
・仮設住宅をもっと作ってほしい
・ぼ金を少しでもしてほしい。
・わたしは見るのがつらいけど、まだ、あのときのままのところなど、あるかもしれません
・色々な人を優しい言葉ではげましたい。
・ボランティアをがんばってください。
・石巻市の復興のために何をしたらいいか分からないけど、石巻の復興を願っています、
・家の近くに公園をもっと増やしてください
・しんさい前のようにもどればうれしい
・安全な土地で木や桜などを植えてほしい。・花も植えてほしい（自然を増してほしい）
・ぼくは石巻市立湊小学校で津波を見ました。家の上の屋根の上でひなんしている人も見ました。ぼくの湊の友達で家族がいない人もいます。ボランティアの人を増やしてください。おねがいします。
・仮設住宅の人の家かとちをはやくあたえてほしい
・公園を増やしてほしい
・じしんがきたら放送でよびかけてほしい。
・仮設住宅の人たちが、ふつうの家になってほしい
・子どもができることをかんがえてほしい
・かせつじゃなくてふつうの家がたってほしい
・別なところでもいいので、お祭を再会してほしい
・被災にあった、地区に家やお店を建てると思います
・ていぼうを高くしてほしい。
・いっぱいぼきんをしてほしい
・どんなしごとしてますか
・昔の震災は、どんな、復興のしかただったか
・もっと子どもが遊べる公園を増やせばみんな元気に外で遊ぶようになると思う
・復興が、前よりも進んでいる。
・ぼくは、子どもですが、まちの片付けなどに参加したことがあります。大人の人たちは復興計画を立て実行してくださいそして震災を語り継いでください。
・募金しよう
・子どもも石巻市の復興に加わっていきたいです。
・ポスターなどをかいたり、募金を集めたりして、少しでも、みんなを少しでもはげましたい。
・まちのひとにこえをかける。
・子どもでも、協力できることを、増やしてほしいです。
・がれきなどのかたずけをがんばりましょう
・復興のためぼきんをしている
・街づくりのためにがんばりましょう。
・復興のためにポスターや、プリントなどをくばった方が良いと思います。それで、みんながいろんなことを知ってくれると思います。
・子どもでもかんたんにできることをやりたいので子どもでもできることを増やしてほしい。
・子どもから大人まで、石巻の復興について考えたいです。
・ごみをすてないで、きもちのいいかんきょうにする
・募金をすすんでしよう
・協力してがんばる
・手伝いをしたいので
・町が早く元に戻ってほしい。
・家をいっぱい建て、仮設じゅうたくのにいる人達を一人でも多く減らしたい。
・港町のせいびは、いつ、終わるか。
・子どもと大人がみんなで話し合ってほしい。・じもとの多くの大人、子どもがふっこうについて話し合ってほしい。
・募金をするところが分からない
・いつまでも 3.11 のしんさいを忘れないでいてほしい。
・開北地区に公園がほしい。
・もっと、あそぶところがほしい。
・広い公園はだいたい仮設がたっています。だから、公園がほしいです！
・ひ害をうけたところに家を建てなおさないほうがいいと思う。（未来の人のために）
・早く、復興してほしいです。
・みんなで協力してやる。
・公園にきれいなトイレをつけてほしい。
・もっと遊び場がほしい

・公園をつくってほしい
・できることはすすんで復興の手つだいをする。
・公園や遊び場を増してほしい
・公園を増やしてほしい
・あそび場をもっとたくさん、作ってほしいです。
・津波が来てどの家もなくなって町もなにもなくなってても、だんだん家もたってきてる
・石巻市にでっかいこうえんをつくってください。
・公園がかせつでうまってしまったから、公園をつくってほしい。
・公園を作ってほしい。
・地域の募金を進んでしてほしい。
・近にプールを作ってほしい
・公園を作ってほしい
・公園を作ってほしい。アートトラックの復興チャリティイベントをおこなってほしい。
・こうえんをつくってほしい
・ぶっし
・公園をもとにもどしてほしい。
・１回でもいいから手伝いたい。
・公園をふやして、子どもたちが遊べるところがほしい
・車イスがスムーズに通れるようにしてほしい。だんさをないように通路を作ってほしい。
・がんばれ
・みんなでがんばろう石巻市
・がんばってください。
・かせつ住宅の人を、ふつうの家に、住ませてあげたい。
・せつやくをしてほしい
・早くまちをきれにしてください。
・がんばってください
・石巻の復興、がんばってください。
・せつやくしてほしい
・復興するために、おとなもこどもも協力する。
・まちをきれいにするには、どうしたらいいかな。・募金で人々を喜ばせよう。
・がんばってくださ～い…
・がんばってください。
・みんなとぼ金をして、お金がなくて復興の作業ができない人たちをたすけてあげたい。
・みんなで協力してがんばることが必要だと思います。
・お金の支援や住宅復興の手伝いを積極的に行ないすすめる。
・子ども達が自由に遊べる場所やしせつをつくってほしい
・南浜町がしんさい前よりにぎやかにしたいです。
・みんなが明るくて、やさしい石巻市にしてください。
・大人たちでへいぜんとみている人たちにしんさいをあじわってもらい、ぼきんなどまちの片付けなどをすすんでやってもらいた。
・がれきがのこっている所を全部しょりしてください。
・ていぼうをもっと強化してほしい。
・たて物を立ててほしい。
・復興を手伝だってくれる人を増してやしてもとの石巻市にちかずける。
・女川をもとにもどしてほしい。
・町の片付けを、やってくれてありがとうございます。
・募金をしてほしい。
・飯野川の北上川をきれいにしてほしい。
・おとなと子どもで、良いかんきょうを協力して考えましょう。
・石巻市の復興のためにがんばって下さい。
・つなみに強い町にしてほしい
・がんばってほしい
・前の石巻市よりいい石巻市に変えてほしい。
・みんなが協力してきれいな石巻市にしてください
・地域の行事への参加などは、子どもだけでは参加できないのでおとなにも協力してほしいです。
・石巻の復興のための募金や町の片付けなどに参加してみたい。
・高い所をふやしてほしい。
・町を広くしたい
・ひなんじょかわかりやすくしたりしたい
・たのしく安全な町にしてほしい。
・この市がもどらなくてもいい。でもこの市を新しくしてほしい。
・震災に強い町を作ってほしい。
・楽しい町にしてほしい。
・今度は自分が、あたらしい町にしたい。
・地しんに強い町にしてほしい。
・じしんにつよい町をたててほしいです。人がいっぱいくる町にしてほしいです。
・地しんに強い町
・じしんにつよい町づくりをしてほしい。
・公園等を増やしてほしい。
・自分がおとなになるまでに 3.11 の行え不明者がいなくなってほしい。
・市民、全員で新しい町作りを進める。

・じしんのときよりも地区をきれいにしてほしい。
・あたらしい町を作ってほしい
・ひなん訓練を今より多いしてほしい。
・まえのような街作りをしてほしい
・町をひろくしてほしい
・自分がなんでもなくても他の人がきずついてたらみんなのことをはげます。世界人の人がみんなで協力してなんでもやる。
・人がいっぱいくる町がいい。もっと高いていぼう
・しんさいを見る人が来るんじゃなくて、前みたく明るく、にぎやかな町だと思って来てほしい。
・地しんやつなみのいしきをつよくする
・じしんが来たときにちゃんとにげれる場所を作ってほしい。
・前より豊かな町にしてほしい
・たくさん人が来るような、新しいまちづくりにもはげんでほしい。
・平和で、じしんに強い町作りにしたい。ゆくえふめい者や死者なども多かったので、だれか一人でも死んだらいやだから、じしんについても、知る
・仮設住宅がふえて店、コンビニがへるから、店やコンビニをたててほしい
・子どもにしんさいのおそろしをうけついでいきたい
・「もっと募金活動しましょう」など広げてほしいしもくとうの時ちゃんと笑わないでなくなった人の事をおもしろい気持ちでしてほしくないです。
・復興活動がんばってください
・ふっこうがんばってください。
・ひがいに合った人を助けたい。
・もっと公園をふやしてほしい
・じしんをかんじたらすぐにげらせろ
・土地のせいびをしてください
・いろいろくれて、うれしいし「ありがとう」をいままでくれた人みんなに、いいたい。
・がんばってください。
・がんばって下さい！！
・がんばってください。
・復興の手伝いを進んでやってほしい
・よしたかくんのおばあさんが「またがんばりましょう」といっていて、本当にそうなったと思いました。
・震災でショックをうけた人たちをはげます。
・みなさんの復興は石巻市をかえていきます。なのでがんばりましょう
・仕ごとをがんばってください。
・復興がんばってください。
・がんばってください！おうえんしてます。
・がんばってください。
・がんばってください
・とりあえずがんばれ。（けっぱれ）
・がんばってください
・がんばてください
・まちの片付け、がんばってください。おうえんしてます！
・おとなの人はすごくがんばっているから私もがんばります。
・片付けがんばってください
・あきらめたらそこで試合終りょうです。
・ファイト
・がんばってください
・話しをきいてください
・がんばってください
・がんばってください！
・がんばってください！！
・ぼくたちではできないのでおねがいします。（がれきてっきょ）
・がんばりましょう
・がんばってください。
・復興活動でいそがしいかもしれないけどがんばれ！！
・がんばってください。
・がんばってください。
・がんばろう。
・私は、復興のことでやくだてることがあるのか分かりませんが参加をしてみたいです。
・私は、まだ小5なのでぼきんくらいしかできないけれど、まだガレキがあるところを少しずつでもてっきょして、元どうりの石巻市にもどってほしいです。
・もっと子ども達もふっこうにさん加させたらいいと思う。
・復興がぜんぜん進んでいない。
・はやく復興できるようにがんばってください
・復興がぜんぜん進んでない
・子どもだけでもできる何か復興につながることを考えてほしい
・みんなで協力して昔の石巻にもどそう！
・体に気をつけてがんばりましょう
・前は、がれきがたくさんあって石巻が破めつ条体だったけど復興が進んで良く（きれいに）なったように思います。

・東北のお店に、募金箱をもっと増やしたらいいと思います。
・がんばってください。
・がんばってください。
・これからも復興に向かってがんばってください
・いつかは復興するから、おせんゴミのはいち場所などでいやいや言わないでほしい。それとふっこうじゅうたくの数、増やしたらどう。たくさん困ってる人いるから。
・ありがとうございます
・自分がもってる夢をあきらめないでがんばってください。
・ありがとうございます。
・みんなが協力すれば、復興に1日でも早くいけると思うから大人とも協力したいです。
・元気になってください。
・いい生活をできるようがんばってほしい
・復興住たくをたててほしい
・子ども地のなやみを聞いてあげる。
・むりをしないでほしい
・がんばってほしい
・復興がんばってください。
・がんばってほしい
・仮設の人がふつうの家でくらせるように、がんばってもらいたい。
・いえがながされないようにつくってほしい。
・なにか、もっとひがい地で復興のための行事、募金などたくさんのボランティア活動を、やったほうがいい、やりたい。
・家がなくなった人とかもいて親がいなくなった人子供がいなくなった人もいてかわいそうだなぁと思った。自分は幸せだなぁと思った。
・学校の委員会などに、こういったものを加えればいいと思う。・私もこの活動をしたいので、ふやしてほしいです。
・一日でも早く復興できるようにがんばってください。
・石巻市の復興について大人に伝えたいことは募金をする場所をもっとふやし石巻市の復興につなげてほしい。
・無し
・電車を全部通してほしい
・早く公営じゅうたくを建てた方が良い
・食べ物などをめぐんでくれたことを感しゃしています。
・町のごみやかんを見つけたら拾って片付けをもっとしてほしい。
・でこぼこの道を直してほしい
・町のごみやがれきを減してほしい。
・早く日本が震災の前のすがたにもどってほしいです。私の同級生がみつかってないのでたくさんの人がみつかってほしいです（ゆくえが分からない人）
・これからもっと、復興住たくをたくさん建ててほしいです
・家がだんだん立ってきていていいなと思った。
・町をなおしてくれてありがとうございます。
・家がつなみで無くなった人がかせつ住宅などにすめてよかったです。
・ひさいした学校などもまた新しく始まってよかったと思います。
・毎の方が復興してきて良かった。
・だんだん、まちが片付いてよかったと思います。
・前は、家が少なかったけど、家が増えていてすごいな。と思いました。
・だんだん町が直っているから良いと思います。
・仮設住たくの人の家を建てたほうがいい。
・もっとあんぜんにしてほしい
・がれきが少なくなった所がいいと思います。
・3年前のしん災のすがたのまま、直ってほしい
・まだ家が見つからない人に家をプレゼントできたらいい
・仮設住宅へのしえんぶっしがあったので良いと思う。
・たくさん、復興していてよかった。
・復興をがんばってほしい
・東日本のほとんどが復興してよかった。
・募金活動をすすんで活動をする
・だんだん復興して来ていいなと思ってる。
・みんながんばってかたづけて、町がきれいになっていいと思った。
・地しん前よりも、復興が進んでいて良いと思う。
・復興で少しでもまわりの人をはげまして元気になてほしい。
・家とか作ってほしい
・つなみのひがいにあった人のやくにたつ
・子どもたちやおとしよりのために何ができることをしたい。
・どんなことがあってもあきらめないこと。
・分からない
・分からない
・わからない
・分からない
・新しい家をふやしてほしい。

・今もまだ家がなくて困っている人たちがいるから、できるだけたくさんの人がすむ場所のことに困らないように仮設住宅を増やしてもらいたい。
・わからない
・家をふやしたい
・はやく家をたてたいので、住宅地の整備をしてほしいです。
・日和がおかに、店をたてて、ほしい。
・復興の手つだいをしてくれてありがとう
・家をたくさん建てればいいと思う。なぜなら、まだ仮設住宅に住んでいる人もいるから。
・これからの石巻をより良い市にしていきたい。
・めんどくさいといってかかわらないでかわいそうな人達のためにしたらいいと思う。
・しあわせはかんたんにつかめない。しあわせはみんなでつかむものだ
・できる事があればやりたいです
・復興のためにみんなでごみひろいをしたらいいと思います
・復興のためにぼ金をしたいです
・私達でも復興するよう努力しますので、大人の方がたもよろしくお願いします。
・町のかたずけをもっとする。
・みんなでちからを合わせてがんばりましょう
・大きな公園があるといい。子どもも、ほしがるような物を置いている商店街にしてほしい。
・バイトなどもいいけど、たまにはきちんと復興に参加してほしい
・東京とかのビルを建てるよりも先に、東北の復興を先にしてほしい。
・おもいつかない
・これからも石巻のためにがんばってください
・もっと、いろんな人が、復興するために、活動した方がいい。
・まだ仮設住宅に住んでいる人がいるので家をたててください。
・あきらめないで復興をがんばろう
・もっと石巻がにぎやかになるようにがんばって下さい。
・できるかぎり、ゆくえふめいの人を助けてあげてください。
・震災前の町にもどってほしい。震災前よりもっといい町になってほしい
・石巻市がもとにもどるようにがんばってほしい
・震災からもがんばって野理をしています
・少しずつ町がふっこうしている
・石巻の復興がんばって下さい！
・しんさいがあってまちがめちゃくちゃになってしまったので私は、早く町がきれいになってほしいです。
・仙石線を早くかいつうしてください。新しい公園を作ってください。ゴミがないきれいな所に住みたいです。
・復興にもっと力をいれてほしい。早くしんさい前のようにもどしてほしい。遊び場所があまりないので、公園からかせつをへらすか、公園をふやしてください。
・公園が仮設でいっぱいだから、公園を増やしてほしい。サッカー場を増やしてほしい。
・石巻市のかんきょうをよくしてほしい。・遊びばがほしいです。
・かせつじゅうたくに住んでいる人たちに速く家を作ってあげてください。・あそび場がないのでふやしてください。・かどのわき小学校を残してください。
・募金をしてほしい。・仮設住宅にしえんぶっしをあげてほしい。・公園をふやしてほしい。・野球場を作ってほしい。
・石巻の良いところを生かしてほしい。思いっきり遊べる公園がほしい。もっと、ふっこうの活動を計画してほしい。
・公園をふやしてほしい
・町を斤付けをした方がいいと思います。町をきれいにすると、気持ちいいからです。・公園があまりないので、公園を作ってください。
・かせつにすんでいる人のためにアパートやマンションを作ってください、大きな野球場を作ってください。
・まだ歩道がでこぼこな所があるのでなおしてほしいです。もっと、たくさん公園をふやしてほしいです。
・石巻市の人の家がない人のために、募金をしてもらいたいと思います。
・早く仙石線を開通させてください。公園を増してください。
・前の石巻市にもどしてほしい。かせつにすんでいる人にちゃんとした家をたててほしい
・まだ、石巻の中で復興が進んでないところに、支援ぶっしや、家がない人に、できるだけ早く家を建ててほしいです。・公園に全部仮設が建っていて遊べないので、あき地に、公園を作って下さい。
・工場しているところがいっぱいあるので早く終わらせてください。北上地区の工場を早くおわらせてください。水おし地区に公園を作くってください。

・東日本大震災にあった県をできるだけ早く復興させてください。・今仮設住宅に住んでいる人たちが家に住めるようにしてください。・遊びばがへってきているのでふやしてください。
・町に広がっているがれきの山を取ってください。店とかいっぱい増やしてください。水押に公園を作ってください。海のゴミをとって、きれいな海にしてください。
・公園をふやしてほしい
・震災をふりかえり、災害時にひがい者が少しでも減るように、もう一度たしかめて、安全な町にしたい。
・まちのかたづけをいっぱいすること
・みんなの公園かたづけをすること。（ペットボトル、あき
・いつしん災が来てもいいように、防災グッズをそろえておきたい。
・大人に、がんばって石巻の復興をしてほしいし、子どもでもなにかできることを探して、それをしてほしい。
・もうちょっとらくにくらしたい
・津波がまたきてもあきらめないで復興をがんばってもらいたいです。がんばろう北東
・伝えたいことがない
・石巻市の復興ねがって、復興のために私は何かできることはないかと思っています。
・まちの片付けや、ぼきんを少しずつでもやっていく。
・できることがあればやります。
・こどもでも出来ることがあればなんでもてつだいます。
・子どもでも、できることが、あったら、したいと思う。
・石巻が震災前のように変わってほしい。
・最新ロボットよりまず復興
・これからもがんばって復興を続けてください。
・あそぶ所を増やしてほしい
・むずかしいアスレチックを作ってほしい
・もちろん、ないと思うけど、ぜったい体に悪い工場をつくらないでほしい。みんなをしあわせにしてほしい。大きい公園を桃生つくってほしい。学校に、アスレチックなどをつくってほしい
・人がいっぱいいてほしい。高学年でもあそべるアスレチックがあってほしい
・むずかしいアスレチックを作ってほしい
・遊ぶところをつくってほしい
・たのしいアスレチックをつくってほしい
・秋休みを。１週間ぐらいつくってほしいです。
・遊ぶとこをふやしてほしい
・あまりたばこのゴミをすてないこと。そのへんで、ビールをのみながらあるかず、カンはゴミばこにすてること
・アスレチックを作ってください。
・学校をたてなおしてほしい。・体育館を広くしてほしい。
・だれでも入れるプールをつくってほしい
・新しいたてものをつくるのでなくもとの町にしてほしいです。
・しんさいで子どもの遊ぶところがないのがしんぱいです。とくに体力がつかなくなるなど
・早く震災前のすがたにもどしてほしい。
・復興といっても、何をどのようにしているのかこどもには分らない。ぎえん金はどのようにつかわれているのか分らない。
・考えるだけじゃなくて、実行にうつしてください
・しごとだけじゃなくふっこうのことも考えて下さい
・早く安全な町に直してほしい。
・誰でも入れる、プールや公園などを作ってほしい。
・あき地を、そのままにしておかず、早めにもち主を見つけて、子供たちの遊び場にする。（理由）石巻地区には、だいだい、５つぐらいしかないので、増やすか、あきちに、保育園、児童クラブなど、作って行けば、近くだから、便利だと思う。
・これからもがんばってください
・もう、ひさい地とよばれたくない。
・大人と子どもたちが協力しあって、復興をしたい。
・だれも住んでいない家てっきょ
・震災と比べて復興してきていると思う。
・子供にも、復興の手伝いの参加ぼしゅうなどすればいいと思う。
・空き地などになっているところに建てものを作る。
・しんさいでこわれたところおなおしてくれてありがとうございます。
・石巻地区がづま、へびた、大橋さくら公園以外に公園を作ってほしい。
・自分たち子供たちはやれることは、やりますが、子供には出来ないたいへんなさぎょうはおとなが手伝っだってください
・がれきそうじやこうじをしてくれているのでうれしいです
・公園などできれいな花のかだんをつくってください。
・あそぶばしょがほしい。
・どんどんきれいになっている
・トンネルのちかくにあるセブイレブの前のどうろに、あるところにしんごうとおうだんほどうをつくってほしい。

・家族の中でおばあさんおじいさんももっと笑顔にしたい。
・店をふやしてほしい
・公園の遊具をふやしてほしい。
・公園がたくさんある。
・家とがを多くしてほしい
・色々な店などがもっとほしいと思います！（イオンみたいな店）
・セブンイレブンの前に（トンネルの近くの）しんごうとおうだんほどうつけてほしいです。
・あそぶところをふやしてほしい
・家を増してほしい
・店をふやしてほしい。
・１人の子がよれるばしょ、いじめられている子などがあつまってあそべるばしょがほしい。
・店をふやしてほしい。
・道路を直してほしい。
・えがおがたえない町にしてほしい
・昔の石巻市のすがたを少でもとりもどしてほしい。・市や町の人達に笑顔を届けたい。・復興住宅を増して市の人々に利用してほしい。
・子供が楽しく遊べるところを作ってほしい
・おとなだけでなく子どもも参加したらいいと思う
・北上町にもいろいろなお店を建ててほしい
・まえの石巻市のようにしたい。・キレイな石巻市にしたい。
・きれいで安全な町にしてほしい
・おとなのはげまし
・ぼ金をもっとやって復興を手伝いたい。・仮設に住んでいる人のお手伝いをたくさんしてほしい。・まちの片付けをやりたい。
・もっとみんながすごしやすい町にしてほしい。・遊べる場所やお店をもっと作ってほしい。
・事件や事故のない石巻市
・大人に感しゃをして、子どもたちでにぎやかなまちにしたい。
・3.11 の震災を生かしてじしんに強いたてものを増してほしい。・ひなん場所も増してほしい。・ぼ金活動に参加したい。
・復興をがんばってください
・店を少しでもふやしたい
・公園を作ってほしい
・遊び場を１かしょでも作ってほしい。
・町をキレイにしてほしい。
・安全な海にしてほしい（ガレキなし）。・楽しくて、自然を使っかイベントをやってほしい。
・いそいで復興してほしいです。
・ぼきんをしていろいろな国をすくいたい。
・学校や中学校をふやしてください。
・公園とサッカー場がほしい
・新成地区には、子どもが多いため、かせつのちゅうしゃじょうや、どうろであそんでいます。なので、サッカーをしてもいい大きな公園を作ってください。※新成一丁目
・みんなでえがをみせあいましょう。大きな公えんをつくってほしい。
・サッカー場を作ってもらいたい。
・石巻市の人たちにたのしいしせつをつくってほしい。
・遊ぶ場所や、かせつの人をアパートや県えいじゅうたくにひっこしさせてあげたい。あたらしいのをつくるよりふっこうしたほうがいい
・道路をりっぱに直してほしい。
・ちいきの公園の遊具を増やしてほしい！！
・ぼくは早くいろいろなまちの片付けをしたいです。いつもぼくはやってもらっているのが多いから自分でやりたいです。
・日本は、復興することを中心にしたらいいと思います。それと、小学校がなくてこまっている小学生を助けてください。だってぼくたちも仮せつにいましたが、５年生になって本校舎にもどれた気もちをあじわってもらいたいからです。
・復興じゅうたくをつくってほしい
・公園や遊具を増やしてください。・楽しいしせつを作ってください。
・公園を増やしてほしい
・ゆうえんちがあればいい。
・自然だけでつくった自然公園を家の近くにつくってほしい。・悲しい気持ちになっている子供たちとふれあえるところをつくってほしい。
・がんばっていろいろな町があるといいと思います。あそびばをふやしてほしい。
・まちの人たちの手伝いをしたり町のみんなのために募金をはじめる。
・公園があったらいいな（キャッチボールができる所）。タワーがあったらいいな。
・公園を増やしてほしい。
・ざっそうが多いので、かたずけたりしてほしいです。あと、公園をふやしたり、ゆうぐを多くしてほしいです。

・公園がたくさんあったらいいです。
・だいぶんふっこうしてきましたが、まだ心が、きずついている人がいます。なので、その心をまだいためている人々にいろいろな、行事、遊ぶ所ろ、などを作ってほしい。おとしよりでも楽しく遊べる所。
・もうちょと買い物をあるといい。
・道路をなおしてほしい。
・公園をふやしてほしい。・がいとうをふやしてほしい。
・家の近くに、いっぱいあそべるこうえんがあったらいいな。・安全な道ろを作ってほしい。
・石巻市に図書館がほしいです。
・公園をいっぱい作ってください。・でこぼこ道を減らしてください。
・子どもがおもいっきり遊べるような公園などをつくってほしいです。
・室内で遊べるところを作ってほしい。・花や植物を植えて、きれいな町にしてほしい。
・もっと店がいっぱいできたらいいな。もっと公園やしせつをふやしてほしい。
・ゆうぐ公園などをふやしてほしい。
・遊ぶ場所をふやしてほしい（公園）
・公園や遊び場みたいなものを、増やしてほしいです。
・しんさいで、子どもの遊び場がないので公園を増やしてほしいです。
・自由にくつろげて、遊具がたくさんある公園やしせつ。
・海岸ふ近に、木がたくさんあったけれど、ないから、木をうえてほしい。・公園が、あまりなくて、そとでそんなにあそべないから、公園をつくってほしい。
・いろいろなことを伝っだいたい
・ふっこうへがんばって、行こう
・１日少しずつでいいので石巻市のふっこうをしてほしい。
・しんさいで元気を失っても、元気を出してがんばってください。
・募金を、して、町に、公園、ぼうはていなどを使って、つなみのたいさくを立てる。
・募金や、活動をして、やくだてるようにしたい。
・石巻市の復興をなるべくはやくしましょう。
・地域のごみひろいを、しましょう。
・片づいてないガレキを、てっきょしてほしい
・もっとはやくふっこうをしてほしい。
・けい画的に復興をしてほしい。
・むだな事にお金を使わないで復興のことに使えば良いと思います。
・がれきの片づけなどももっとしてほしい。
・まだあたり前にできない地区があったらしえんしてあげてほしいです。
・また、このようなことにならないためのたいさくなどを考えてほしい。（防波ていなど）
・もうすこしあそぶ場所や公園を増やしてほしい。
・募金に協力したほうがいいと思います。
・まだふ自由な生活をしている人のために手伝をしてあげたい。
・おとなは子どもが復興のためにできることはないというけど、子どもだって子ども同士で話し合ったり、復興がどれくらい進んでいるのかを知ったりもできます。次のせだいに語り継ぐことだってできます。子どものしてんでしか分からないこともあると思います。ぜひ、子どもも復興にかかわらせてください。
・私は、復興は、手伝う人も手伝わない人もいるかもしれないのでみんな復興に手をかしてほしいです。
・仮設住宅でくらしている人が、ふつうのせまくない家でくらせるように、ちゅうせん会の数を多くしたりしてほしい。
・周りの人をはげましあいましょう。
・ぼきんをやって人々を助けてあげたい。
・町の片付け。・募金
・募金をしましょう。
・コンビニなどにあるぼ金をなるべくしたい。
・子ども達が実さいにつなみや地しんを体験しているので大人の方にもはげましてもらい、大人の人もいやだと思うから、皆ではげまし合った方がいいと思います。
・募金活動はだれにでもできるからぜひやってほしいです。
・まちの片付けをすればすこしは復興に近ずいていると思う。
・地域の行事へ参加したり募金をしたりして石巻の人たちを元気にしたいです。
・募金をしたらいいと思います。
・しんさいをうけた人達以外にも石巻市の復興の手伝いをしていただきありがとうございます。

小学６年生

・ちゅう車場が少ない
・ぼくたちも鼓笛などで復興しているので、がんばってください。
・街でごみなどが落ちていたら、拾って、ごみ箱に捨てる。
・遊ぶ場所がかぎられています。遊ぶ場所を少しでもいいのでおねがいします。
・大人も子どもも、つらい思いとかしてると思うけど、だんだん復興してきて、とてもうれしいです。支援してくれた、みなさんありがとうございます。
・まだ、しんこくなじょうきょうの人たちもいるので、色々な行事に参加して、みんなを勇気づけたいです。（自分はふっこうについてまだまだだなーと思ったのでがんばりたい。）
・笑顔がたくさんあふれる町にしたい。
・みんなでがんばろう
・ぼくの家のちかくに公園がないのでどうろであそんでいます。だから公園を作ってほしいです。
・復興のためにいろいろしていただきありがとうございますこれからもよろしくおねがいします
・公園を増やしてください。
・しんさいで子どもはこう思っていて、ふっこうでは、こうおもってたんだよということ
・遊べる場所を増やしてください
・自然を増してください
・私たち小学生も復興に向けて頑張るので、大人の人も復興に向けてがんばって下ださい。・後、色んな所に、公園など子供が楽しく遊べる場所など作ってください。
・今まで、色々な支援をうけて、今生きてるんだなと、このアンケートをしてじっかんしました。 本当にありがとうございます。
・子どものためにこうえんをつくってください。
・ボランティアなどいろいろしてくれてありがとうございます。
・子供もがんばっているのに、大人達がずっとへこんでたら、だめだと思います。がんばりましょう。
・自分の相談事を聞いてほしい。遊び場がほしい。今までの支援をありがとうございました。
・いつもぼくたちのためにありがとうございます。
・遊べるばしょをもうすこしふやしてください。
・もうこないと思わないで震災を語り継いでほしい
・家族がなくなってしまった人や、震災でいやな思いをした人たちと話して心のケアが必要な人もいるので、話し合った方がいいと思います。
・学校のためにいろんなことをしてくれてありがとうございます。大人がいなければ給食もたべれないし、秋まつりもできなかったです。公園をつくってください。
・家からすこし歩いたらまわりには、家や公園などがぜんぜん無い
・東日本でひさいしたみなさん大切な人が亡なっても空からみまもっています。元気にいきましょう。
・まちづくりをがんばってください（特に公園）
・前の石巻市に近づいていけるようにしてほしい。
・お店を山の方に、増やしてほしい（須江の方に）。公園を山の方に、増やしてほしい（須江の方に）。
・店をもっと増やしてください
・ひさいした人のために喜ばせたい。大きな公園がほしい。
・募金活動をしてみたい！・公園を作ってほしい。
・復興はすすんでいると思うけど公園があんまりないしあったとしても青葉神社とかだし草がいっぱいだからせいびしてほしい
・石巻に住んでいる人が全員しん災のいやな気持ちをわすれる町にしたい。でもちょとは、しん災のこともこしたい。
・がんばってほしい
・今は、しんさいで、ひがいを受けたけど、しんさいの前と同じように、にぎやかになってほしい。
・地域の人と協力、はげましあって仲良くしていきたい。町や地域をきれいにしたい。公園などを増やしてほしい。公園が増えれば、みんなで遊ぶきかいが増えると思うからです。
・広い公園がほしい。何かできることがあれば教えてほしい。
・まだまだ、石巻市には東日本大震災でなったがれきがたくさんあります。私たち、6年生にできることがあったら手伝うので石巻の復興活動の計画をもっとたててください。もっと、お店がほしい。もっとみどりがほしいです。１人でやると力になっていないけど、みんなでやると力になっている。
・震災前のすがたにもどしたい。・公園を増やしてほしい。・近くに、お店をたててほしい。

・ぼくたちもできることがあったら協力できたら協力します。かせつ住たくの人たちが住める、団地をつくってください。遊ぶ場所が減っているので増やしてください（公園など）
・多くの人は家が残ってふつうに生活してると思うけど、なかにはなんにも、すべて、家族などもぜんぶなくなった人とかもいます。自分勝手にしないで考えたりもしてほしい。せっきょく的にぼきんとかきふとかしてほしいです。
・復興こうえい住たくをはやくたててあげてください。仮設住宅だとストレスがたまると思います。もっともっとにぎやかなもとの石巻にもどってほしい。
・震災後、いろいろな思い出のある建て物がこわされてちがうお店や建てものになっていく…。どんどんこわされていくのは悲しいです。なので震災前にあった建て物、お店として建てなおしてほしいです。
・商店街の店をもっと増やして人がいっぱいいるにぎやかな感じにしてほしい
・ぼくたちもがんばるので、大人の人もがんばってください。ふっこうじゅうたくがもっと多くなれば、いいと思う。
・こうえんがほしい。
・私たちもできるだけがんばりますので、がんばってください。
・ぼくたちもがんばるので、がんばってください。一人だとむり
・みんなが明るく笑顔でくらせる町にしたい。子供が楽しくなるような場所←公園がほしい。運動力も落ちている（しんさいまえより）。震災前よりひっこしした人とかが、よりすみやすくかい適に過ごせる環境
・家を建築した人たちありがとうございます。公園を作ってください。
・公園を増やしてほしい。（大きな）
・早く復興住たくを造るペースを早めてほしい。
・震災でひがいを受けた町を、早くなおしてください
・早くてつぼうを作ってください。
・公園や家をふやして楽しく、にぎやかな町にしたら復興になると思う。それに毎日をたのしくするために、ぶっしを、仮設の人たちにあげる
・もう、しんさいから3年たちます。石巻もしんさい当時にくらべるとだいぶいろいろな物がたったりしていますがまだしんさいがあったときのままのところもあると思う。
・石巻市がしんさいにあって、ガレキなどがいっぱい流れてきて、とても大変なので、ボランティアを集めている場合は、ぜひきょうりょくおねがいします。
・募金箱を通り過ぎていく大人がいるので少しでもいいから募金してほしい
・復興しきんをべつなことにつかわないで下さい。
・ぼくは、スポーツをしていて、あまり復興のためにできることは、ないけど、できるかぎり大人の人の手伝いや、募金もするのでがんばってください
・震災直後より、すごく元気になった人が多いから石巻が明るくなりました。でも、海の近くなどはまだ建物が少なくてさみしいと思いました。なので、早く海へのきょうふ心がなくなればなあと思います。
・仮設を増やした方が良いと思った。
・なにもない所をきれいにしてほしい。
・そうじなどからだんだん手伝だうようにしたい。・地域の人にあいさつをする。
・よけいな物を造ると税が上がるだけなので必要な物を造ってほしい
・もっとまちをきれいにしてほしい。
・支援を受けてあたりまえだと思っている大人の方もいると思いますが、ありがたい気持ちを、わすれないでほしいと思います。
・かげでがんばっている人がいます。
・人ににげることをつたえる。
・今どんな事を手伝えるのか
・今、石巻は、しんさいから3年たってなんとか前の町に戻したいという強いきもちでふっこうにはげんでいます。
・私になにができるか教えてください。ならいごと、とか、来年、中学校だから、来年復興の活動にさんかできないかもしれないので。
・大人のみんなは、「復興」、「復興」と言うけど道路にゴミを捨てたりして、ぜんぜん復興になってない。
・しんさい直後にくらべると良くなっているがまだ直すべき所が多いと思う。公園がほしい。（遊ぶ所がない）
・復興に参加してみたい
・前みたいにはもどれないかもしれないけれど、少しでも前の石巻のように市にしたいと思ってます。
・復興のために力をかしてもやることがみつからない。
・しんさい前の石巻よりしんさいに強く、前よりもっといい石巻にしていってほしい
・とりこわしたりした場所にもっと店や公園などをつくったほうがいいと思う
・しんさいがおきてから、子ども達の遊ぶところが少なくなったこと。

・石巻は、あまり復興している場所は少ないけれどいつかまた震災の前のようにもどると信じていればいいと思います。
・私たちに、出来る事があれば、何でも言ってください。
・もっとはやく、石巻が復興して、震災前のように町が戻ってほしい
・みんなで早くも石巻を復興させたい
・もっともっと石巻がにぎやかになってほしい！！
・もっとみんなが元気になるイベントを開いたらいいと思います。
・もっとよりよいまちにしてほしい
・石巻のふっこうマルシェをふやしたほうがいい。
・この 3.11 は大人なってもわすれず語り継いでいかなければいけない必ず大人から子どもへ子どもから大きくなってまた子どもへと…
・１日でも早い南浜の復興に少しでも協力したり応援できたらなと思います。少しでも早いもとの石巻にもどることを願っています。
・少しでもはやく元の石巻にもどればいいと思っています。なので、そのためにできることを積極的にがんばっていきます。
・復興のために、東京オリンピックなどに費用をかけず、ひ災地の復興を優先し、安心のできる町にしてほしい。（主に「気仙沼」や「福島」「石巻」を中心に）
・いつまでも話だけをしていると、いつ津波がくるか分かんないから、ちゃんとていぼうとかをつくってほしい。
・他の所に比べ、手のつけ方がおそい。石巻市を復興させる気はあるのか？
・前の石巻市に、一日でもはやくもどってほしいので、よろしくお願いします。
・一人だけが頑張るのではなく多くの人が協力しあう。
・もっと子どもが遊べる場所を作ってほしい
・復興活動をもっとがんばって下さい。
・復興をやる事によって地域の人たちに感謝される。
・震災前と同じような町並にしてほしいです。
・１日でも早く前の石巻みたいに、にぎやかにしてください。
・震災はもうわすれられてきているところもあるのでもっとおぼえていてほしい
・石巻市の復興は大変だと思いますが、あきらめないでがんばってください。
・まちの復興をがんばってください。
・まちの片付けをしてほしい
・マイナスでもいいので市の金を使っても復興をしてほしい
・消費税を上げたなら政治だけでなく、震災での被害が大きかったところの復興に使ってほしい。（ゴミの片付け、土地の整備）
・復旧復興を待ち望んでいる人はたくさんいるので、効率の良い仕事ができるようにがんばって下さい。他の都道府県との交流をもっと深めた方が復興により近づくと思います。
・石巻が復興できるよう、がんばって下さい。
・石巻市はどんどん復興に近づいてきているので、私たち子どもでもできることを少しでもふやし、積極的にとりくみたいと思います。これからもがんばっていきましょう！！
・復興を目ざしてがんばってください！！
・環境をよくして、よりよい石巻市にしてください。
・防波ていをそんなに高くしないでください。
・復興作業がんばって下さい。
・復興の仕事をがんばってほしい
・よりよい石巻にしてください。
・復興がんばってください。
・複興がんばってください。
・おかし屋さんをたくさん作ってほしい
・お店をいっぱい作っておしいです。
・自分が一つでもできることは、やってほしい。・１円でもおおく募金をしてほしい。
・コンビニとかにある募金箱にお金を入れたいです。
・はやく原ぱつを取りこわしてほしい
・おとなの人たちだけじゃなくて、私達子どもも、ふっこうに、かかわっていきたいと、私は思います。めいわくでなければ、お手伝いをしたいです。
・東日本大しんさいに集められたぼきんを何に使っているのか
・がんばってください。
・なるべく復こうのために、できるはんいで、例えば、募金や、まちの片付けなどをしてほしい。・次にまたじしん、つなみがきても非常時のときもすぐひなんできるようくんれんを、もっとふやして、まじめにとりくんでほしい。
・周りの大人も、がれきてっきょ作業を手伝ってください。
・安全な所にしてほしい。たとえば「高い所にみんなが安全にひなんできるところ、海に「ぼう波てい」など。
・みんなが安全に、にげられるようになにかつくってください。

・家を高くしてそしていろいろなスポーツで夢をもたせるようなことをしてください。
・津波にも強いビルや高台などを作ってください。
・復興へ向けてがんばってください。できることがあればやっていきたいと思います。
・よく分からないので書けません
・いつでもにげられるところを作ってください。
・にげられるような高い所を作ってください。
・公園そうじをする。・波がこないように石のカベなどを作る・高くて、じょうぶなビル（たてもの）をつくる。
・被害をへらすためにつ波の防ぐためのたいさくをしてください。
・子どもの遊び場をつくって
・キレイないどをつくれば、しんさいのときたすかるから、つくったらいいと思っている。
・いつかやる、いつかやると、復興を後回しにしないで、たしかにすぐできることじゃないけどまずは復興を進めたらいいと思う。
・子どもが遊べる場所を作ってほしい。（金がかかくない）
・もっと活気をいれるとよい、へいとかを水とかあるばしょにとりつける
・高台をふやしてほしいです。
・防災無線をもっと聞こえるようにしてほしい。町造りに専念してほしい
・しごとでたいへんだとおもうけど、ふっこうにてつだってほしい
・私も石巻の復興のために何かしようと思うので、みんなでがんばりましょう。
・１日でも早く復興するようがんばってください
・しんさいで心にきずができた子たちがいると思うから、その子の心のケアをしてほしいです。
・がんばりましょう
・たいへんだとは思うけど、復興にむけてがんばってください
・がんばってください。
・早く復興して明るい石巻市にしたいね。
・東日本大震災のことをわすれないでいてほしいと思う。
・ゴミなどをしょりしてほしい。
・石巻市はおとなの方がいっしょうけんめい復興のためにいろいろなことをしてくれるおかげでだんだん復興してきているから感謝の気持ちを伝えたい。
・私たちの町が少しでも早く元どおりになるなら、できるだけ手伝いたいです。だから、活動を行うときは私たちでもすぐ参加できるように、おたよりなどを作って知らせてほしいです。
・復興についてどのようにしたいのか
・これからも復興に向けてがんばってください。
・早く前の石巻に戻ってほしいですね！
・復興することは、全員でいっしょにがんばって活動した方がいいと思います。
・もっと早く震災前の町に戻してほしいです。
・がんばってください。
・力を合わせて、いっしょにがんばりましょう。
・震災で家をなくした人がたくさんいると思うから、復興住たくをもっとつくたほうがいいと思います。
・復興できるようにがんばってほしい
・「復興」はどのようにしたらいいのか。・子供にできることはあるのか。
・ぼくたちの住める安全な町にしてください
・早く復興させてほしい。
・まだかせつじゅうたくの人がいるので、家を作ってください
・ぼ金や町の片ずけくらいしかできないと思います。それ以外のことはがんばってください
・災害のひどさ。
・がんばってください
・身の回りの人たちにも、もっと復興について考えてもらいたいです。
・しんさい前の町に早くもどしてほしい
・非害にあった人たちを、もっと良い方法ではげましてほしい。
・石巻は、がれきがなくなってきている
・私はまだ子供なので手伝えることは全然ないけど、募金などの協力はするのでがんばってください。
・もう少しだれにでもできる募金活動をふやしてほしい
・できるだけぼきんを多くしてほしい
・石巻市はまだ復興が完全ではないので、おとなの人は、復興がんばってください。
・ぼくたちにできることがあればやります
・みんなが笑顔でいられる市を作りたいです。
・もとの石巻よりももっと良い石巻をつくれるようにわたしもがんばりたいと思います。
・不安な時は、自分に言い聞かせるように「だいじょうぶだよ」と言って下さい。それでも、不安な時は、大好きな人のそばにいて下さい。
・東松島や海に近い方はすごいひがいがありました。

・わたしたちもできるかぎりの事をします。
・おしかのちかくに野球場をつくってほしいです。
・これからもがんばってください
・石巻市のおとなの人は復興についてがんばっているからこれからもがんばって下さい。
・石巻がはやく復興してほしいなと思いました。みんなであそべる公園を作ってほしい
・仕事もあるのに、復興の活動も参加してる人はすごいと思います
・地しんが起きるわけは、プレートがうごくから。プレートがうごくのは、地球おんだん化が進んでいるから。だからせつでんなどをして、地球おんだん化を進めないほしい
・つなみでひがいにあった町にふっこうしてあげたい。じしんでじめんに、ひびが、人いった町にふっこうしてほしい
・募金をしたり震災を語り継ぐ理由は、ぼくは、アメリカ人の友達や知り合いがいるのでその人たちにおしえたいです。
・なるべく早く復興してくださいぼくたちが出きることがあれば…何でもやります。
・石巻市の復興のため「力」を合わせてガンバロウ！！
・3.11 になくなった人に、えがおをおくりたい
・3.11 の東日本大しん災でたくさんの人が亡くなっています。その人たちのためにも速く石巻の復こうをしてほしい
・石巻復興のためにいっしょにがんばりましょう。
・きちんと町づくりや地域の行事に参加したいこと。よく大人に（来なくていい）とか言われるけど、参加して将来どんな大人になりたいとか考える機会が欲しい。
・ぼくは募金かつどうに参加したいです
・早くがれきをてっきょして復旧してほしい
・女川のがれきはほぼ片付けましたか。女川の町をきれいにしてほしい。
・まちの片付けをやってください。
・じしんの片付けなど、手伝いなどいそがしいと思いました。
・早くがれきのてっきょをしてほしい。ぼきんをして、被災した人に分け与えて欲しい
・募金活動をしてほしい。・がれきのてっきょをはやくしてほしい。
・復興について私達、出来ることならなんでもするから大人に出来る限りやってほしいです。
・今、石巻市は少しずつ復興しています。復興しているのは皆さんのおかげです。いつまでも「ひさい者」きどりはやめて、広島に私たちはしえんをしたいです。
・石巻の復興は進んでいます。でも、まだあまり進んでいないところもあります。そのためには、私たちの協力も必要です。なので、私も復興のためにできることをしたいです
・自分は、募金はしていたけど、最近はあまりやらなくなってきました。でも、これからは募金をする所があったら、進んでやりたいと思います。
・自分たちのちいきで、ぼ金を始めればいいと思います。
・石巻市は海に面した町なので、その海をキーワードに復興をがんばってください。
・みんなでがんばろうと伝えたい
・まだ、知り合いや家族の遺体があがっていなかったり、大切な物をながされたり、石巻はだんだん復興してきているけれど、まだ不安や心残りはあると思う。大きな事はできないけれど、私達にもできる、小さな努力をしたい。
・石巻市はだんだんと復興してきているので、今後も石巻のためにがんがってください。
・大人はいろいな手伝いができるけど、子どもは、かんたんな手伝いしかできないけど手伝いをしてみたいです。いろいろな人たちがきて勇気づけられたのでいろいろな人にきてほしなぁと思います。
・まだ手つかずの場所もあるので人数を増やして全体的に復興させたほうがいいと思います。
・最近、雨で土砂災害が続いているので山の整備をしてもらいたい
・表に出ている所はきれいに片づけられていたりするけれど、まわりに見えない、あまり人がいない所は手つかず。もっと、全体を見回してほしいです。
・仮設住宅ではなくーけんやをたててほしい
・石巻の復興のために大人と大人でコミュニケーションをとりあうのは良いけれども、子どもとのコミュニケーションが最近雑になっているような気がする…
・石巻の復興がどこまでいったか。
・子どもでは、車を走らせることができないのでどこにでもいけて子どもよりちしきがある大人の人たちでがんばってください
・石巻市をもっとはってんしてほしい。（とうきょうなどのように）
・仮せつじゅうたくは、やねから水が落ちてくるので（雨もり）、すきまをなくして、やねを二重にした方がいいと思う
・働いている人にいま以上にがんばってもらい給料をたかくしてもらって募金をしてもらう。

・大人にがんばってもらって日本の復興に募金を入れるようにする。
・自分は震災でつなみのすぐ近くにいたけどたすかったこと。
・支援してくれている事はありがたいと思いました。生活用品をととのえるのに車で移動しなくちゃならないので少し便利になったらいいなと思う。
・あまり復旧していないように思います。公営住宅を早く建てて仮設住宅の人たちをよろこばせてほしいです
・復興もいいけど、あんまり言いすぎてはだめだと思う。
・津波などで流されやすいところには津波に強い家を作ってほしい
・よく見るのは道路を直している所で、直すのはいいけど無だだと思う。町や建物を見て泣ている人がまだいると思います。道路を直してその人は喜びますか？それはちがうと思います。
・ペンがほしい。
・復興は大変なことだけど復興の為にがんばってくれているので私も募金もきちんとし、行事に進んで参加してみようと思います。
・今までどうりに、せっしてほしい。
・前あった物を作るだけではなく新しくて津波のことを忘れしまいそうになる面白いお店を作った方が良い。
・ぼくは、復興についてちく内でぼきんすればいいと思います。
・石巻市南境にデパートを作ってほしい。訳（仮設住たくなどが増えているからデパートを作ってほしい）
・文ぼう具等がほしいです（消ゴムなど…。）
・ぼくは、ひなん場所を多くしたほうがいいと思います。前よりは多くなったけどみんなぎゅうぎゅうづめてかわいそうだからふやしたほうがいいと思います
・大人の人は、グループをつくって、ふっこうの手助けをしているけれど、私たち子どもは、何もできない。だから、私たちは小学校全体で、かせつの人と交流の時間がほしい。
・グループなどを作り募金活動などを行い、いろいろな県などを放問する。
・早く復興できるようにしてください
・ちがう国へいって、外国人としゃべりたい。
・復興はいそいでやらなくてもいいので、ゆっくりと復興できるようにしてください。
・学校がつなみにながされた所をしっかりたててほしい。
・もっと緑を増やしてください
・公園を増やしてほしい
・公園にも仮設が増えたから、公園を増やしてほしい。
・子供が体を動かすことができるしせつがあったらいいと思います。
・みんなで遊べる公園を増やしてほしい。
・公園を増やしてほしい。
・公園を増して下さい
・震災後、公園やグランドが少なくなりました。町が復興していくのはうれしいが、遊ぶ所が少なくなって、道路で遊ぶ子やゲームばかりしている子、家でゴロゴロしている子が多くなっていると思う。
・必要のないことでお金を使わないでほしい。募金してほしい。
・仮設が増えて、公園がせまくなったので、もっと広い公園を増やしてほしい。
・公園に仮設住宅が建ち遊ぶところが減った。なので、他のとこに、公園を増してほしい。
・少し、テレビで東日本大震災から～年とか、たくさんの人の命がうばわれているのに一部だけ流さなくてもいいと思う。・あつめられた募金を他の事に使わないで、災害のことに使ってほしい。
・できる限りのことができればいいと思います。まだできることはあると思うので頑張って下さい。
・公園をふやしてほしい
・仮設を１階建てじゃなくて２～３階建てにすれば同じ土地にたくさん人が住めると思う。
・広い公園をふやす。
・公園を増やしてほしい。
・公園を増やして、のびのび遊べる場所がほしい。
・運動ができるしせつをつくってもらいたい
・公園を増やしてください
・洋式のトイレを使ってほしいトイレをいいにおいにしてほしい。サッカーや野球をする場所がほしい。
・子どもの遊べる場所を作ってほしい。
・小さな子供とかでも安全に遊べる遊具を作った方がいいと思います。
・石巻が元の姿を取りもどせるようにがんばってください。
・募金のお金は、何に使われるのかが知りたい。
・公園を増やしてほしい。
・遊ぶ所を増やしてほしい
・あぶないところがあるので直してほしい。
・テレビで復興、震災のことを多く流さなくてもいいと思う。

・仮せつを増すより公園をできるだけ増やしてほしいです。
・これから復興のこととかをいろいやってください
・もっと公園を作ってほしいです。
・がんばってください。
・がんばって、きぼうをもってやっていってほしいです。
・がんばって復興してください
・がんばってください。
・がんばってふっこうについて話し合ってください！お願いします。
・１日でも早くもとの石巻にもどってほしいと思う。そしてわたしもボランティア活動をして協力したい。
・自分にはあまり今、出来ることがあまりないけれど、ちょっとしたことでも手伝いたいです。
・がんばろう。私も、おとなになったら、手伝いたいです。
・公園がすくなくて遊びたいと思う遊具がありません。
・ぼきんしてやくにたつものをつくる
・これからもがんばってください。
・東京でオリンピックをひらくことによって必要になるせつびとかにかけるお金があるななふっこうにつかってほしいと思います。
・みんなが笑っていられる町をがんばってつくってください。
・がれきとか、動かすのとかも、大変でしょうけど復興が早く出来るように、がんばってください！
・震災について、私達に何かできることがあれば、何でもいってください。
・がんばってください
・がんばってください。ぼくも大人になったらやりたいです。
・まちの片付けが大変だと思うけどがんばってください
・まだ、しんさいでひさいしているところがあるから、ぼきんなど、進んでやって、はやくふっこうできるようにしたほうがいい。
・がんばってください
・復興をがんばってください。
・がんばってください。
・子どももおとなも石巻市の復興をのぞんでいると思うのでがんばってください。
・募金をして、町を作りなおす。
・子どもの共用の場所が少ない。
・物をかしてあげたり、いろいろな物をおそそわけしたあげた方がいいと思う。
・公園に仮設住宅がたっていて遊べない。市民プールを作ってほしい。仮設の人がふつうの家に行ってほしい。遊ぶ所をふやしてほしい
・仮設住宅があって、なかなか遊べません。公園は、あるけどボール遊びがダメだったり、小さかったり、遠かったりするので、道路や庭でしか遊べません。ボール遊びができるところがあるといいです
・消費税を下げてください。
・仮設住宅の人が早く新しい家を見つけて、遊べる公園がほしいです。
・復興じゅうたくをもっとつくってかせつにするでいる人を復興じゅうたくにうつる。広いじゅうたくをつくる。
・仮設の人たちが早く復興住宅に入いるようにしてください
・日和山から見ると、まんが館あたりが何にもなくてさびしいからもっとなにかしてほしい。・公園を自由に使いたい。・みんなが安心して住める町にしてほしい。・道路がデコボコで自転車で通るとあぶない
・公園で遊ぶときかせつがじゃまです。はやくかせつのひととかふつうの家にひっこしてほしい
・早く復興をすすめてほしい。（復興住たく）・ぎえん金がほしい。・家も学校（門脇小学校）もないのにここの学校にはぶっしがこない。
・ボール遊びなどができる、広い公園がほしい
・子どもが安全にあそべる公園を作くれ
・おかねをもうちょっとふやしてください。
・復興のために子供だけでなく大人もいっしょに参加して子供の工労を知ってほしい。理由：大人は「ほらいってきなさい！」などばかり言って自分がやってない
・はやくふっこうしてほしい。
・はやく復興住たくをつくって仮設をなくしてください。あそぶところ（公園など）が少ない
・ボール遊びができて自由に遊べる公園がほしい。市民プールがさいかいしてほしい
・仮設の人がべつな場所にうつってくれれは仮設がなくなって公園で遊べるのに…バドミントンが出来ない。バレーボールがしたい。ボールが使えない。公園でおもいっきり遊びたい。公園にかってに木を植えている人がいる。
・おかねがないひとにおかねおあげてほしい
・家の近くにお店がほしい。・公園のかせつじゅうたくの人たちを、ちがう場所にうつしてほしい。・がんばって復興してる人もいるんだから、ぜい金を 5%ぐらいさげてほしい。

・子どもの遊ぶ公園などの場所にかせつじゅうたくが建っていて遊ぶ場所がないので復興じゅうたくなどをはやくたててほしいです。
・早く復興するようにしてほしい
・はやく復興してほしい
・復興を早く進めてほしい。まだ、見つかってない人を早く見つけてほしい。どうして復興を早く進めないのですか？かせつ住居の人ために家をつくってほしい。対応をしっかりしてほしい。
・等にはない
・まだ、仮設住宅にすんでいる人もいます。なので早く仮設の人に家をたててあげてください。
・公園にかせつがたっていて遊びずらい
・公園をふやしてほしい。なぜならかせつで公園がうまってしまってゆうぐのそう音だけでもおこられるので大きくてゆうぐがいっぱいある公園をつくってほしい。
・かせつからはやく住たくにすんでほしいはやくこうえんがふえればいい
・復興じゅうたくをたくさん作ってほしい。
・もうちょっとこうじをはやくしてほしい。公園を多くしてほしい
・がんばって
・復興にたずさわってくださっているのは、ありがたいと思っているのですが、あまりしん災について興味がないし、いやいや活動をするのが気に入りません。
・女川の人たちはぜいたくすぎる。じしんから3年もたっているのに「女川の町にはなんにもない」「なにもしえんしてくれない」とか3年もたってそんなこというのはぜいたくすぎる
・見て見ぬふりをしている大人の人に、復興していない石巻市をみて知ってほしい。
・子どもにできないことの手伝いを、ぜひやってほしい。
・復興をすすめるために募金活動をしたほうがいいと思います。
・わからない
・かんけいないとか、思わないで、ほしい。
・仕事で忙しい人もいるかもいるかもしれませんが少しでも今できる事だけでもやりましょう。
・がんばってください
・いまも、仮設にすんでいる人がいます。電気や、水の使いすぎを、やめましょう。
・復興住宅をつくって、仮設住宅をこわして、遊べる公園をつくってほしい。
・復興をがんばってほしい
・こども達が自由に走りまわれる公園がほしい。
・大人も進んで働けば子どももやろうと思うと思う。誰かのためにやろうと思えばやれると思う。
・遊びば作くれ！
・公園や遊ぶ場所がほしい。
・ひさいした場所建物を建てて、町をにぎやかにしたい
・私達は震災でたくさんのひがいをうけました。友達、家族、たくさんの人が亡くなりました。大人の人は分かっていると思いますが、私達のきずは消えません。そこで、石巻市の復興は、進んで取り組み、私達の笑顔、元気な顔をふやしてください。
・石巻市のふっこうをおねがいします
・さっぱりわからん
・あそぶ場所がないためどうろであそぶ人がいるからスピードをおそくして車をはしらせること
・日本せい紙のすぐちかくの学校らへんを、いろいろたててもらいたい。
・宮城には、何もないので、DVD やなど近くのところにつくってほしい。仙台などみたいに、ビル→お店（服や、ゲームセンター）ゆうえんちなどないので、つくってほしい！そしたら、子ども。大人。みんなが、笑顔になってくれると思う。海の前←宮城にすきまのない高いコンクリートで、つなみがこないようにしてほしい。
・やりたくない人も少しだけでも町のゴミ拾い（片付け）をすれば、もっとキレイになる
・はやくふっこうしたい
・どれくらい手伝えばいいの。
・一日でも早く復興できるようにがんばってください。
・ごみをすてたりしないでください。
・こうえんを増やしてください
・震災前とほぼ同じ生活ができています。それは復興したからだと思います。感謝しています。ありがとうございます。
・復興へのスピードを加速して早くもとの石巻にもどしてほしい
・ごみをすてないでください。
・たまに赤堀にゴミをすてている人がいるからやめたらいいと思う
・これまでがんばってきてる！だから、これからも！
・あまり進んでいない場所があるなら、そこも進めてほしいです。

・工事のお仕事をしてくださっているみなさんありがとうございます！
・家が無い人のために、かせつじゅうたくを作ってほしい。
・ぼきん活動をもっとしてあげる。
・家族や親せきなどでなくなった人もいると思いますがそのえいきょうで笑えなくなってしまった人もいないとは限らないのでその人たちを笑顔にしたい。
・つなみにあった人たちが、まだいるので、新しい家を作ったりして、安全に過ごせるようにしてほしい。
・大川小学校の行方不明の方さがし。・がれきをてっきょしてほしい。・かせつ住宅に入ってる人の家を建ててほしい。
・まだ、がれきがあって復興していないところがあるからがれきをなくした方がいいと思います。
・ふっこうじゅうたくを、もっとはやく、つくってほしい。
・こまっている人が、笑顔になってほしい
・学校を作ってほしい。・家をたててほしい
・震災で大川は、まだ、学校などが、たっていないので一日でも早くできてほしい
・町をふやしてほしい。
・どしゃがあるところをかたづけてほしい
・かいしゃを増してほしい
・このちいきで、まだできてない学校や、色々な建物などが、そこもあるので、協力をしてください。
・仮設住宅にすんでいる人のことを考えてほしい。海にしずんでいるがれきを速くとってほしい
・ひさいした人達は、仕事をなくした方もいてとても困っていると思います。できることがほかにもあるかもしれないので、もう一度がんばってみてください。・津波で家が流され、仮設住宅に住んでいる人がたくさんいます。私は、募金を最低限でも集めれば、少しは力になると思います。
・仕事のできる場所がない人やこれからおとなになる人たちのためになんとかしてほしい。
・仮設住宅の人が早くちゃんとした家にすむこと。
・復興を早くしてほしいし、かせつじゅうたくに住んでいる人に家を作って立てた所入れた方がいいと思います。
・地元に帰れないストレスで自殺をした人がいるとニュースでみました。もうこれ以上自殺する人は、増えてほしくないです。なにか１つでもすれば助けられる人達はたくさんいる。会議も大切ですが、口より体を動かして下さい。子供でも役に立てます。お手伝いしてほしいことがあるなら、子供も協力します。だから、できるだけ早く助けてあげて下さい。
・まだ復興がおわってないところをおわらせてほしい。
・家が仮設住宅でくらしている人に家を作ってほしい。
・石巻市の困っている人になにか声をかけてはげましてほしい。
・大川小の学校を新しく建ててほしい。3.11 のことをわすれないでほしい。家を建てて仮設の人たちに住んでほしい。
・まだかせつ住宅に住んでいる人のためにはやく家をたててほしい。
・学校がそれぞれあった方がいいと思う。理由：まがりしている子どもたちはえんりょなどをして、自分達したい事などが自由にできなくなってしまうと思うから。・仮設住宅をつくったり、家をつくるためのとちをあげたりしたほうがいい。それか、お金がたまるまでかしてあげるなど。
・かべを重ねるといいと思います。
・これは復興にあまり関係がないけれど、あまり、がんばりすぎないように、体調にも気をつけてもらいたい。
・子供が楽しめる場所をつくってほしい。（公共しせつを増やす）。東京などのビルをつくるのに何億もかけるんだったら、災害しえんなどに金を使ってほしい（お金の使い道）。
・川のところにぼうはていをつくったらいいと思う
・てい電意外の災害時に無料で飲める自動販売機があったからつくってほしい。
・石巻市は、しん災で大きなひがいがあります。今は、わすれられているかもしれませんが、まだ復興はあまり進んでいません。石巻市のためにできることをして下さい。子供は限られていますが、大人はできるはずです！！
・石巻の良い所がはやくもどり、もっと復興を重点的に考えてほしい。
・いろいろなしえんをしたいです
・自分達にも協力する機会をあたえてほしい
・今よりもいい町づくりをするようにがんばってください
・はやくガレキをかたづけてすみよい町にしてください
・石巻市がもっともっと復興するように、私も何かできるようにがんばりたいと思います！！
・私は、石巻市を大切にしたいと思います。
・前みたいな自然がいっぱいで人々が気持ち良く生活できるような町にもどりたい。
・今までの石巻よりいい町にしてください
・しんさいの事はもう忘れて、楽しく生きれば思い出すのは3月 11 日だけでいいと思う。
・将来住むために、震災前と似たような石巻にしたい

・私達もお手伝いがしたいです。
・震災のことを自分がおとなになったら自分の周の人々などに自分のけいけんを語りたいと思う。
・どんどん石巻の復興をきょうろくしていきたいです。
・これからも、いろいろな、活動で石巻市の復興を進めていってほしいです。
・今よりもっといい町づくりをしてください。
・まちの片付けや募金活動など私達ができることをやっていきたいと思います。
・前のじょうたいには元らないけど、みんながニコニコしてくらせる場所になってほしい。
・災害に強い石巻にしてほしいです
・災害に強い石巻市にしてほしい。
・早く元どおりにしてほしい
・便利な石巻にしてほしいです。
・みんなの生活のために、べんりなまちにしてほしい。
・尾勝の町を早く元通りにしてほしい。
・前と少しでも同じな自然がいっぱいに石巻にしてほしい。
・がんばって復興を続けてください
・子供たちは大人がいないときもはげましあってひなん生活をしていたこと。
・まだ、がれきが残っている所があるのでより早くきれいな町をとりもどしてほしい。
・これから人数を増やしてもっとがんばってほしい。
・復興がんばれ！
・はやく復興住宅をはやくたってほしいとねがっている
・早くつなみにながされてゆくえふめいの人を見つけてほしい。復興住宅をいっぱい作ってほしい。
・石巻市のために、みんなで「おりづる」をつくったら、ふっこうできると思う。みんな協力してくれる
・がんばれ
・早くもとにもどしてほしい
・子どもはどんなことをして復興にやくだつことができるか。
・復興の様子をもっと知ってほしい
・復興のお金があまっているのはおかしい
・もっと募金をしてほしい
・早くふっこうしてほしい
・石巻市がしんさい前のいつもの石巻市に早くもどってほしい。
・もう少し被災者の気持ちを知ったらどうですか。
・石巻の復興のため、ボランティアとして手伝ってほしい。
・ぼくたちが大人になったら復興を全部（すべて）終わらせて、よりよい地球にしてほしいです。
・ぼくたちが大人になるころには（できれば中3くらいから）みんな復興をすべておわらせてほしい。
・ゴミがないようにしてほしい
・石巻市が私達が大人になったとき完全に復興していること、また人がにぎわっていることを願っています。
・復興した後、元のすがたにもどってほしい。
・復興に協力してくれて本当に感謝しています。これからも石巻市をよろしくお願いします。
・とても感謝しています。ボランティアの人におばあちゃんの家のどろをとってくれてとても助かりました。
・今だに、家が津波で流された人々が仮設住宅にいて、１日でも早く復興住宅がかんせいしてほしい！！
・不安な人とかはだれもいないというのはありえないから、その不安を少しずつでも安心できることができるようなことをしたほうが良いと思う。
・話し合いもいいのですが、やっぱり口を動かすより体を動かしてすこしでもはやくふっこうしてほしいです。
・有名人（スポーツ選手、ジャニーズ）がもっと石巻にくれば、みんなが元気に笑顔になると思います。
・復興はいいことだと思います。もって復興をつずけたいと思います。
・私が2年生のころにたくさんの人から支えんを受けたし、たくさん物をもらったりしてすごく助かりました。なので、次に震災があったときも今回のように助けてもらうと、とてもうれしいです。
・大人がいっぱい復興に協力してほしいなぁと思います。重いにもつを運ぶなど、大人にしかできないことをしてほしいです。
・先生はスケートボードとか、道路でやるなっていうけどどこでやればいいんですか？しかも公園でボールを使ってダメッてどういうことですか？子供の遊びをうばって、楽しいんですか？
・仮せつ住たくの人たちにちゃんとした家を造ってあげてください。
・復興がずいぶん進んできたと思います。しかしまだまだだと思います。
・有名人などに来てもらってはげましてほしい。
・有名人をつれてきてほしい！
・一部は復興していますが、まだ完全に復興していないことをたくさんの人に知ってほしいと思う。

・元気をだして、大人にしかできないことをがんばってください。私たちも、ぼきん活動をできるだけしたいです。
・ぼくたちもできるだけがんばるので、大人はできる事をがんばってください。
・仮設住宅に住んでいる人をはげましてほしい。
・ストレスで病気にならないとはいいきれないので、高れい者には、ストレスがたまらないようなかんきょうをつくってあげる。
・被害にあった人をはげましたい。
・子供も復興のために頑張ってます。
・行方不明者を早く見つけて、震災前の石巻の町よりも、もっとすてきな町にしていきたい。
・行方不明者を早く見つけてほしい。
・・。
・行方不明になっている人達を半年に5回～10 回位やった方がいいと思う。※政治で原発を作る、作らないでさわいでいるけど、安全を最優先したいなら、原発を動かすのを止めて、各家にソーラーパネル（ちく電システム付）のを上げればいいと思う。※・・原発についての意見です
・これからも復興を続けて下さい。
・夜の中には、お金がない人がいるのでそういう人たちのために募金をして人を助けたいです。
・早く仮説住宅の人たちをもとの家にもどしてあげたい。・道路がデコボコで車がはしる時ゆれて運転する人が大変なので早くどうろをなおしてほしい。
・ぽいすてなどをしないでひまな人は復興のためになにかするなどのしてください。
・募金は、どうするんですか。
・まだ復興していない地域に募金をしたい。
・東日本大震災を忘れないで語りついてほしい。
・復興作業がんばってください。
・震災からくらべると、石巻市は、復興していると思います。
・震災に負けないでこれからがんばってほしい。
・もっと地域の行事や活動に参加してほしい
・こわれた家や、がれきを見ると、少し心ぼそくなる。なかなか海で遊ぶ事が出来ない。
・復興のために色々なことを行っていてすごいと思います。
・もっと店とかに募金箱をおいた方がいいと思う。
・仮設のすんでいい期間をのばしたほうがいいと思う。オリンピックも大切だけども1円でもひさいした所に使ってくれてもいいと思う。子どもも大切だけど、お年寄りも大切だと思う。お年寄り全員でなくても何十人かの要ぼうとか話を聞いてくれる人がいてもいいと思う。
・まだまだ石巻市のふっこうは完全とはいいません。ですが、時間がかかったとしても、石巻がきれいで、工場や商業がさかんになってにぎわいのある町になってほしいです。
・石巻の復興作業は大人達にしかできないから、早くとはいわないので、じょじょにがんばってください。私達もできるかぎりのことをしたいと思います。
・津波ができるだけ町にこないように対策を考えてほしい。
・しん災の前よりにぎやか、楽しくしてほしい
・自然さい害はしょうがないからそこからいったん地しんのことはわすれて町や人のことを考えたらいいと思います。
・しん災でいろいろと大人の人たちも大変だったと思いますけど、この震災のことを忘れずに前に進んだ方がいいと思います。
・しん災でまけないようにがんばってください。
・復興ができたらその町はどうなるんですか
・もしも「自分のいるところにつなみがきたら」というそうていでくんれんを学校でして、子どもたちにおぼえさせるべきではないでしょうか？
・早く一しょに伝つだいをして石巻市や女川の復興を伝つだいたい。
・もうちょっと計画をたててほしい
・石巻市、全体が元気になってほしいです。
・石巻市は、いいところだから、きれいにすれば、もっといいところになると思うので、「ボランティア」としてぜひ呼んでください。すぐ、そのばしょにかけつけます。
・募金でもいいからすること
・伝えたいこと…というか質問！子供でも参加できるようなふっこうの手伝いはあるんですか。
・いろんな所の片ずけ・服とかをもっと支えんすること
・町の片づけなどいろいろぼくもがんばりますので、みなさんもがんばってください。
・河南地区は、大じょうぶになってきたので雄勝地区とかに支援をやってください。
・防潮ていをたくさんつくってください。・おがつ地区の復興を進めてください。
・募金箱を増やしてほしい
・早く復興できるように自分ができることは進んでやる。

・最近しんさいのニュースがへってきていますが本当は島などはぜんぜんふっこうしていません。ただテレビでぼ金活動などしてくれている人は心の支えんにもなっていると思います。
・もっとぼきんをふやしてください。
・募金を増やしてほしい
・石巻市を復興するために募金をしてください
・かぞくのいない子どもたちをたすけてください
・もっと大臣などにうったえてほしい（全ったく復興が進んでいる所と進んでいない所などの事で
・仮設じゅうたくを作ったり、復興の計画など、石巻市の復興のために色んな活動をしてくれて、色んな人が助かっていると思います。
・これからも、少しずつ復興に向けて活動していけたら、と思った。
・子供の話を聞いたり、優しくせっしてあげてください
・住んでいる人達やとくにおとしよりの人がもっとらくになるようにしてほしい！
・震災を語り継ぐような建物を作ってください
・復興を早めてほしい
・早く復興してほしい
・がんばってほしい
・復興はそれぞれちがうので私は、石巻の人がもとの生活にもどれるような復興をしてほしい
・にぎやかな石巻市になってほしい
・いざというときのたいさくがある石巻市にしてほしい。
・復興復興というがちゃんと計画てきにやって人や子供にも見をむけて考えて
・はやく復興してほしい。
・協力し合う石巻にしいほしい
・石巻市の復興がんばっているんですよね…おつかれ様です！！石巻市の復興のために子どもができる事ってなんですかね？
・石巻の人を笑顔にしてください。
・石巻駅の商店街のアーケートのお店が増えてほしい。
・前よりも安全で住みやすい町になってほしい。
・にぎやかなまちにしてほしい。
・災害をうける前より良い石巻市にしてほしい
・にぎやかな石巻になってほしい
・がんばってください。
・早く復興してほしい
・楽しく遊べる公園がほしい
・みんなが元気な石巻にしたい。
・早く活気がある石巻市にもどるようにがんばってください。
・仮設住宅の人がもとの場所でいつもどうりにくらせるようにしてください
・石巻市の復興を一日でも早くしてください。
・まだ町の片づけが終わってない所の片づけをがんばってください。
・みんなで協力して今より良い石巻にする。
・いえをたてること
・仮設住たくで協同生活をしている人たちに、みんな楽しめるような公きょうの場をつくってほしい。
・子どもたちが遊べるような場所を作ってほしい。
・石巻市の復興のため、募金をするきかいがあったら協力したいです。
・復興じゅうたくのやちんをやすくしてあげてください。・私たちの学校のゆうぐが3つしかないので、ふやしてくださ。
・近くにバドミントンのクラブてきなものがほしい。
・募金をいっぱいもっとしてほしい。・公園をふやしてほしい。・さいがいにあったちいきにものをくばる。
・おみせをいくつかくつくってほしい。
・自分たちが遊べる大きい場所がほしい。
・石巻市だけじゃなく、しん災でこまっている人がいっぱいいるんだから、もっと早く復興してほしい！・公園をつくってほしい。・遊具を増やしてほしい。
・海岸をきれいにしてほしい。堤防をあまり作らないでほしい
・ひさいした人にいろいろな物をきふしてください。
・桃生町に公園を作ってほしい。
・桃生地区に公園がほしい。
・ふっこうしている人がいるのに中にはみてみぬふりをしているのできちんとかんがえてほしい。学校からのゆうぐをふやしてほしい。たくさんの公園を作ってほしい。
・みんながあそべる公園をつくってほしい
・しんさいで苦しんでいる子どもたちにプレゼントをする。
・桃生町にもっとたくさんのお店を作って欲しい。公園を作って欲しい。
・しんさいでなくなったものを、戻してほしいですね！
・ぼくも、できることなら手伝いたいということです。
・笑顔を忘れないでください。
・がれきなどをかたずけても、ひ害を受けた人の心におったきずは、なかなかなおらないと思う。

・自分たちができることは、まちの片づけなどのことがあるので、ふっこうにかんする行事などは参加するべき。
・ホエールランドを復活してください。
・ホエールランドをもう一どつくってください
・あきらめずにがんばること！！
・ホエールランドをふっかつさせてください
・2020 年までに復興できるようにがんばってください。
・前のようににぎやかで笑顔が絶えない鮎川にしたい。それから店をたくさんつくって便利な町にしたい。ホエールランドをもう一度立ててください。
・大きなゆれがあったら家にはもどらずひなん場所へすぐ逃げる。みんなで協力しあい助け合うこと。
・何年もかせつ住たくにすんでいる人たちがいるのではやく、家を作ってください。
・吉野町に店を作ってください
・私は石巻市の復興のために何かしたいけど、「いつ」「どこで」やっているのか、分からないのでプリントなどで配ふしてほしいです。子どもたちが復興のために何ができるのかが分かれば参加する人も増えると思います。
・早く復興してほしい。
・転校してきたから前の町なみは分からないし、あまりかんたんにできそうな復興のイベントがないため参加することができません。
・3年前の震災のできごとは、だれも予想ができないくらい大きなひがい、又、自分自身も、家もきるものも、大切なものをすべて失った。けしてこのさき忘れられないほど、心もやんだけど、大人の人が前へ進んでいこうと姿に感動した。自分も下をむかず前をむいて歩いていく。
・まだ、湊の方だと、いままであった住宅街ではなくなり、何もない状態だから、建物をつくって、石巻をにぎわせたい。
・仮設住たくの人に、何かをもっと配布した方がいいんじゃないでしょうか。
・災害に強い建物やみんなが過ごしやすい環境を作ってほしいです。
・まだ、がれきがあるところのがれきをどこかでしょぶんしてもっと明るい町にしてください。
・石巻市はとてもいい町です。だから、これからもとてもいい町でいられるようにがんばってください。
・どうとかが、デコボコだからなおしてください。うんどうができるところを、つくって！（バスケットコートとか…）
・イオンなどやテーマパークをふやしてほしい
・公園をつくってほしい
・公園をふやしておしい
・かせつをもっと、ひろくしてほしい。
・どおろがいろいろこうじしているけどぜんぶおんなじにしてほしい。（ちゃんとなおしてほしいキレイに）こうえんをつくってほしい。（大きくしてほしい）
・家がなくなった人が多いのでたくさん家を作るのはわかるが、しんさい前まであったしせつや、公園をふやしたほうがいいと思う。
・ぼきんをして、おなじお店とかをつくってほしい
・公園を作ってほしい
・子どもがあそべるゆうぐをつくってほしい
・セーフ・ザ・チルドレン・ジャパン」さん、石巻市は財政がキケンな所になっているので、石巻の財政状況をよくしてほしい。
・公園などが、少なくなっているので、公園をつくってほしい。
・募金をしてほしい
・がれきや、こわれてしまった建物を全部なくしてほしい。・公園を作ってほしいです。（自由に遊べる場所がほしい。）
・ボールをおもいっきりけれるところを作ってほしい
・野球場を作くってほしい。こうえんを作ってほしい
・次に何かあったときにふせげるようにしてほしい。遊べて広いところを作ってください。
・震災で公園や遊べるとこがとても少なくなったので、増やしてほしい。
・仮設住たくで公園が使えないから、公園を造ってほしい。（広めの！）←石巻地区以内のはん囲
・お店をもっと増やしてほしい！公園などの遊び場をもっと作ってほしい！
・子どもの遊ぶ場所を増やしてほしい
・募金をしてほしい。公園つくってほしい。バスケットゴールをつくってほしい
・募金してほしい。
・観光でおわるな
・がれきのかたづけもだけど、ゆがんだ道路を直してほしい
・もーちょっと遊びばがほしいですー！
・これからも復興のためにどうしていけばいいかを考えこれからもっといい石巻市にしていきたい。
・遊ぶ場所（公園など）を増やしてほしい
・募金箱を増やしてほしい
・早く復興できるように自分ができることは進んでやる。

・公園などをつくってほしい。（大きな）・石巻でたくさんイベントをやってほしい。（お祭りなど…）・歩道を広く安全にしてほしい。
・イベントの開さい、道路の完全せいび
・まだ、行方不明の数がたくさんいるので、行方不明者の方たちが0人になるようにもっともっとそうさくを続けてほしい。
・お祭をもっと増してほしい。
・石巻市のイベントを増やして元気にしてほしい。行方不明者を見つけ出してほしい
・復興のためのイベントをしてほしい。石巻の海の近くとかの町を、もとのようにしたり、せいびしてほしい。
・学校をじょうぶしてほしい。支えんの行事や活動する機会を増してほしい。
・復興イベントを増やしてほしい。
・学校をきれいにしてほしい。・道路をきれいにしてほしい。
・もっと、復興イベントなどを増やしてほしいです。海の近くの、町の土地を高くしたほうがよいと思います。
・もっと道路をまっすぐにしてほしい（でこぼこをなおしてほしい）。行方不明の人を早くさがしてほしい
・イベンとなどもっとあってほしい。
・前までにぎやかな町などがしん災後、変ってしまったところをにぎやかにしてほしい。もとにもどしてほしい。災害があったところでもっとイベントをやってほしい。
・道路の段差をなくしてほしい。
・蛍光とうが、地震などで、落ちにくくしてほしい。
・石巻を前のように、にぎやかにしてほしい
・復興の工事がんばってください。石巻市内のイベントやお祭りなどをもっと行ってほしいです。そうすれば地いきがもっと明るくなり、復興に近づくと思います。私も、できることなら、せっきょく的に活動したいと思います。
・もっとお祭りをしてほしい。・歩道を広くしてほしい。
・もっと石巻に何かしら建ててほしい。
・私たち子供にはできないことがいっぱいあると思うので私たち子供にできないことやってほしいです。お願いします。
・復興はすすんできたけどまだ復興していない部分もあるので元のようになるようにがんばってほしい。
・道路と歩道の段差をなくしてほしい。・歩道のはばをひろげてほしい。
・子どもにはできないことを大人にやってもらいたい。
・色々な支援をいただいたので、恩返しがしたいです。
・私達子供もなにか復興にやくだてることをして、少しでも役に立てるようにがんばります。
・しんさい後よりもだんだんもとどうりになってきたなと思います。それもボランティアの人々がやってくださったからだと思います。本当にありがとうございます。
・僕が大人になったら復興していてください。
・人のやくにたつことならなんでもしたい
・復興について話し合ったり、計画をたてたりして私たちの地いきの復興に関わってくれているおとなの方々、ありがとうございます。私にできることがあればぜひ参加したいです。私にできることは少ないですが、これからもがんばってください。
・私はまだ、どれくらい復興が進んでいるのか分からないし、復興のために、どんなことをしてくれているかも分かりません。なのでその状況が知りたいです。
・ひ害が少ない所の細かいところの復興作業よりも、もっとひ害が多かったところを優先して作業してもらいたい。
・子供の運動不足が多いので、遊具がたくさんある子供がいっぱいあつまるような公園を作ってほしいです。
・もっと公園など遊ぶ所を増やしてほしいそうすれば石巻市がもっとにぎやかになる
・もうすこし子どもが遊ぶ場所を増やしてもらいたい。
・もう少し子どもの遊そび場を増やしてほしい。
・立っぱなたて物をたててほしい。
・みなとちくをきれいなばしょにしてほしい。こどもたちがあそべるばしょを作ってほしいです。
・全員協力してやらないといけないと思う。いち早くふっこうしてほしい。
・子供の交流できる場を増やしてほしい
・復興せいさくについて積極的に取り組まなければじょうきょうは改ぜんしない。
・東京オリンピックより被災地に目を向けて欲しい。安心して生活出来るようにしてほしい。
・子供の事を考えて色々してくれているので感謝しています。
・東京オリンピックの前にしてほしい
・海の方面がまだがれきが残っているのでそれを片付けてもらいたい。
・もっとがんばってください。
・震災前よりもっといい街にしてほしい
・復興復興いいながらやってないじゃないですか。
・「復興」や「がんばろう石巻」っていってるけど、あまり復興していない気がする…。

・復興にもっとかかわってほしい
・はやく復興したい気持ちは分ります。しかし、ぎゃくに言うと、いい風景が復興のせいで、家の前に家が立ち残念な気持ちになる人もいるのではないでしょうか？
・楽しかった石巻を早くとりもどしてください！！
・もう少ししせつを増やしてほしい。
・がんばれ
・早く復興してほしい。・震災前とはちがうけど、もとどおりになってほしい。
・こわれた建物がそのまま。他の市に比べてあまり復興していない気がする。
・復興じゅうたくをもっとたてろ
・もっと石巻市の復興にさん加してほしい
・復興してほしい
・ふっこうがどういうふうにすすんでるのかおしえてほしい
・楽しかった石巻をはやくとりもどしてください！！
・大きいところをふっこしたから細かいところまでなおしてほしい。
・たてものをたててみせをたくさんつくってほしい
・だんだんでいいので復興してほしい。・震災前とはちがうけど、できるだけ震災前に近づけてほしい。
・「がんばろう石巻」とか、言ってなにもやってない
・子どもが口をだすとこじゃない
・ぼくたちもがんばるから大人の人たちもがんばって下さい。
・復興と口で言うだけではなく、ちゃんと実現させてほしい
・ふっこうっていってるけどけっきょくあまり動いていないことは、おかしいと思う。
・石巻のいいところをもっと使ってほしい
・来年中学校に入るから、渡波中学校をできるだけ早く建設してほしいです。
・復興、復興って言ってばかりで何もやってないきがするからやってほしい
・早く石巻市がもとのようになるようにがんばってほしい
・震災前までやっていたお祭りをまたやってほしい。
・東北も、だんだんもとにもどってきたので、この調子でがんばりましょう
・公園をきれいにする。町でごみひろい
・大きな建物をもっと増やしてほしいです。・公園をもっと増やしてほしい。
・石巻が前のように、きれいになってほしいです。
・石巻はぜんぜん復興が進んでいません。それはなぜか、大人がふっこうにきょーみなく、私生活でダラダラしているからなんです。石巻を3年前のように戻してほしいです！！12
・もっとはやく中学校などをたててもらいたい。
・もっとはやく渡中を作ってください。
・早めに中学校を作って下さい
・復興のことをあまり知らないので答えられない。
・なんて書いていいのかわからない。・答えづらい。
・もっと石巻市を復興してほしい
・石巻をもっと明るくしてほしい
・早く元の石巻にしてほしい
・石巻をもとのようにしてほしいです。
・考えたり話し合いもいいですが、実際に行動をして下さい。
・石巻市がおとな、ボランティアの人たちのおかげで石巻市はどんどん復興が進んでいるので毎日復興していってください。
・復興しているところがたくさんあるのでこのちょうしでがんばってください。
・もっと今仮せつ住たくに住んでいる人が新しく住めるところをつくった方がいいと思う。
・雑草がひどいからかってほしい
・復興にかかわってくれて、どうも。
・できるだけ働く
・「復興！」とか「有言実行！」とか言葉だけで、少ししか復興してない。「有言実行！」と言うなら、言葉だけでなく、ちゃんとやってほしい。
・私たちにできることがあれば進んで協力したいです。
・はやく石巻市町がふこうしますように。
・ふっこうについてなにも考えていない大人どもがいるのでその人たちを動かして皆でふっこうしたいです。
・早くさぎょうをはじめてほしい。
・仕事をがんばってください
・仕事をがんばってください。
・めっちゃ長いローラーすべりだいを作ってください。
・公園を作ってください
・もう少し、子どもの遊べる所を、増やしてほしい。
・仕事をがんばってください
・今の人達は、仮設で苦しんでいるので、地いきの人たちをはげましたり、何か、プレゼントをしてあげたり、したらより良い石巻になると思います。
・ちがう県からもらった募金を町の片付けにつかってほしい。
・みんな元気になってほしい。

・渡波中学校がまだ仮せつだからはやくなおしてほしい。・イベントをつくるといいと思う。
・これからも、3.11 の事をわすれずに！
・仕事や色々な事をがんばってください
・色々なしえんをありがとうございました。
・まだこまっている人がいると思うのでぼきんなどににさんかしてほしい。
・かせつに住んでいる人などに家をつくるなどしてほしい
・遊ぶ場所を作ってほしい
・今まで石巻市の復興について考えてくれてありがとうございます。
・遊べるところがほしい
・前の町と同じにしてほしい。あまりあたらしくしないでほしい。新しい町にしないでください。
・もっとぼきんをしてほしい
・はやく、がれきをてっきょしてほしい。
・いろいろと手伝いたい
・みんなで募金ふっこうをしよう。
・復興、がんばってください。
・復興関係の募金をしよう
・あまりないです。
・がんばれ
・ゴミとかをすてないようにする。
・石巻は復興できます。
・前の町にもどしたいって思っていますか。
・感しゃの気もち。「わたしがここにいるのもおとなの人のおかげでもあるから」
・ゴミなど、そとにポイすてはいけない。
・あまりないです。
・がんばってください。
・おとなだけとはいわないが、前よりは、バリアフリーな世の中にしてほしい。車イスに乗っている人にとって道路に大きな段差があると大変だし、道路がせまいとちなんできないから。もっとしょう害者の気持ちになって、まち作りをしてほしい

中学１年生

・公園を作って下さい。福貴浦に！
・ひがいのかるいところから復興していくべき
・復興に向けてがんばって下さい。
・遅い。もう少し急いでくれ。
・住みやすい町にしてほしい。でも、あまり都会すぎないでほしい
・がんばって
・私たち子供も一生懸命頑張りますのでおとなも頑張って下さい。
・石巻の復興に力を尽くしている大人にお礼を言いたい。
・がんばれ。
・がんばれ～！
・復興住たくをできるだけ早く作ってください。
・遊ぶ場所がへったのでふやすために草をかったりしてほしい。
・復興が遅れている
・このまま、良い石巻を築いていきたい。
・ぼ金をしてほしい
・この震災を忘れないで。
・頑張ってください
・復興という言葉で金を募金してもらうんですがその金を秋田県の木をばっさいした。というニュースを見ました。なので募金してもらったお金はちゃんと復興に使ってほしい。
・少しでも安全で安心してくらせるような町になるように、震災前の石巻市よりもっとくらしやすいようにして下さい。
・ひ災地と非ひ災地のにんしきとかがちとうすくないすか？
・私たちでもどんなことが力になるのか、きちんと言ってください。
・お年よりの人が、「もらってあたりまえ」と言っていたのに、私はどうかと思いました。震災のときの気持ちを忘れないでほしいです。
・ていぼうを海とか川の近くに早く建ててほしい。（高く…）
・もっと人を増やす。外人など。復興された地域の人々はほかの地域の復興を手伝うことをすれば。
・早く復興住宅をたててほしい。早く、ていぼうのたかさをあげてほしい。
・早く復興してほしい
・大人は復興について、くわしく知っていると思うので、なにもないです。
・もっと復興に一歩でも近づけるよう皆で頑張っていきましょう。
・何か出来ることがあったら協力しようと思います。
・子供にもできる仕事はあると思うから、そういうことを呼びかけてほしい。
・もっと金かけて、早くなおせ。

・地面のかさ上げなんて時間がかかるだけだからまず復興住宅をつくった方がいい。
・出来るだけ、協力して下さい。
・少しでも復興できればそれで良いです。
・まだ復興にもとずいていない所があると思うので、そう言う所もちゃんと復興していけばいいと思いま
・自分達子供全員が、因まらないようにしてほしい
・もっとがんばってめげずにふっこうをめざしてほしい
・復興が進んでないところにもっと手伝ってほしい
・石巻市の復興ありがとうございます。復興への道は長く、けわしいでしょうが、どうかがんばってください。
・人分の事だけ考えるんじゃなくほの人の事も考えてほしい
・陸前たかた市の一本の松にお金をつかうんだったら石巻市の復興などにつかったほうがいいと思います。
・石巻市の復興を早くといっているけど他の県の手伝ばっかりしていたり全然本気でやっていないから、しっかりやってください。
・なんで復興はおそいの。
・復興に使うお金を勝手に関係のないものにやるのをやめてほしい。復興大臣につたえます。もっと早くこの市、町を復興させてください。
・ぼきんをみんなでしたほうがいい
・おとなの人たち力をあわせて復興に力を入れてほしい。
・自分達にできる事を考え、行動してほしい。
・もうちょっと募金をしてほしい。
・スポーツで石巻を盛り上げたらいいなと思う。テニスコートなどを無料にしてほしい。
・早く復興して！
・みんなの募金が役立つ事をして下さい。
・みんなが、がんばっていると思います。このアンケートを考えた人、がんばってください。
・東北の人だけが復興などと言うのではなく、関東、関西の人たちにも東北のことを考えてほしい。
・東北では、まだまだ震災のことをわすれられない人がいるけど関東などの人たちは、もう震災のことをわすれている人たちがいるので、わすれないでほしい。
・石巻は、「こんなにがんばっている！」ということを、他の都道府県や世界の人々に伝えた方が良いと思います。
・もっと、筆記用具がほしいです。もっと、支援をしてあげた方が良いと思います。
・子供から見た震災の観点など…。・津波などの体験だん。・しんさいの後、どうなってほしいか…etc…
・なるべくゴミを道にすてないでください。
・もっと、人をはげましてください（震災）
・小しでもほうしゃのうをへらすこと
・自分も被災した側だけど自分より心がきずついた人がいるかもしれないから
・みなさんは 3.11 の日じしんやつなみがあって思い出すだけで涙が出ますよね。これからもお体に気をつけてがんばってください。
・速く復興出来るようにがんばりましょう。
・復興は進んでいるのか
・もっと震災のことを大切にしてほしい
・災害した家とかをなおすこと。
・おとなの人と協力して復興しよう。差別なしで。
・家が無くて、今も仮設でくらしている人がいるのに、動きがおそいと思います。他の地域ではおわっているのに、何で復興が進んでいないのか。
・早く復興するために、がれきの片づけなどをがんばって下さい！！
・３年もたったのにまだふっこうなってない
・辛かった
・これからもいままでのように復興し続けてほしい
・震災から3年が経ったが、仮設住宅に住む方々の後の住み先がまだ決まってなく、こうえい住宅の建設も最近はじまったばっかりなので早急にしてほしい
・早く復興して、きれいな海がみたい。
・だんだんふっこうしてきた中でまだふっこうしてないところがあると思います。そこだけといわずにびょうどうにやってほしいです。
・また震災がきたら、しっかりひなんをして、死者がでないようにしたい。
・外灯を増やしてほしい
・震災のことを言う
・毎にち震災のことをかんがえないで前むきにかんがえる
・自分が言うのも、あれなんだけど人にたよんない事
・大人が的確に指示を出して下さい
・ひがいがおおきかったので復興がたいへんだけどがんばってほしい。ていぼうおはやくつくってほしい
・もう少し、子供のことも考えて公園をつくってあげたりして遊び場を増やしてあげた方がいいと思います。
・石巻の町を昔みたいにきれいな町にもどしてください
・まだ復興していない所があるから、復興できるようにがんばってください。

・だんだん元の石巻に戻ってきてるので、これからも復興などをがんばって下さい！！
・復興のための活動をみんなでしたい。・復興のための活動を行う機会を増やしてほしいです。
・できるかぎりの事はして下さい！
・石巻市をもっときれいにしてください
・できるだけ私たちも募金などに協力するようにするので、がんばってください。
・震災は大変です
・大変ですね。
・がんばれ
・子供にも仕事をわけてほしい
・今できることをやってくだい
・手があいている人は復興にてつだってください。
・まだ、困っている人がいれば協力して助けてあげる。
・かせつ住居でくらしている人のために家をたくさんたててください！
・福島の人が放射能を気にしないで福島に戻れるようにした方がいいと思う。
・がんばれー
・石巻市復興の活動、がんばってください！
・いつも、復興について、たくさんの支えがあったからこそ、ここまでこれたと思います。本当にありがとうございます。
・自分もふこうができたらいいなと思います。
・復興の過程で、忘れ去られる物があるかもしれません。それを忘れず後世に伝えていく事が大切だと思います。
・津波が来そうになったらすぐ高台へ逃げること
・ガンバレー
・復興にむけてがんばってください
・大人たちのおかげで復興が進み、現在の暮らしまでになったのは、大人たちのおかげです。有り難うございました。
・ありがとうございました
・まずは、「人の心」のケアーだと思います。次にがれきだと思います。
・募金をしたお金は今、何につかわれているんですか。
・震災が起こった時より、時間がかかってはいるけど、少しずつ復興してきていると思います。ですがどんどんきれいになっていって、語り継いでいく人が低ると思います。なので大人が子ども達につたえつがないといけないと思います。
・まだ、こわれている橋があるので小さい橋なども、しっかりみてほしい。
・私は、自分が、できることをやっていきたいと思います。なので、みなさんもがんばってください。
・石巻市の復興は、まだ遠いものだと思うが、未来をになう者として、がんばっていきたい。
・働いてくれてありがとうございます
・石巻市をよりよい町にしたいので復興をがんばりたいと思います
・町のそうじなど、いろいろな計画を立て、復興にやくだつことをする。
・移転などの計画で山を整地しているが、そこに住居をつくるとして、いままで、家があった場所はどうするのか。
・何もできないと思って、すぐにあきらめないでください
・「復興復興」とこれまで言ってきても、何も行動にしていないし、だから、復興できないと思います。実際、言葉のみ。本当に復興したいなら、仲間達と協力しあい、行動に移すべき。
・震災から約3年がたったけど、がれきがなくなっただけであまり変わってない気がする
・しんさいのことをわすれずにしてください
・これからの未来を作っていく子供たちのためみんなで協力してがんばっていきましょう。
・新しい物をつくったり、たて物を建てる前に復興を先に
・元の牡鹿に近づくため、一つ一つゆっくりと復興に近づいてほしい。
・みんなで力を合わせて石巻市をとりもどしてください。
・みんなが遊べる所をつくってほしい
・はやく町をなおすために、募金をしたほうがいいとおもいます。
・あそべる所をつくってほしい
・早く復興してほしいと思う
・復興するためには、何が必要か改めて考えてほしい。
・遊び場をつくってほしい
・石巻市は震災でひがいが多かったので、街作りを手伝ってほしい。
・石巻をより活性化してほしい
・口ばっかりであまり復興が進んでいない。
・誰かが動くのをまつのではなく、自分から、行動すべきだと思う。
・できるはんいで無理せず復興がんばってください
・仮設住宅の人が早く家にもどってほしい。
・復興がおそい。・昔と変わってない。・口だけ。・町内とか何もない。・お店少ない＝人がこない。・早くきれいな町にして。・人でにぎわう所にして。

・たくさんの世代が楽しめるような観こう地にしてほしい。（デパート、ブランド、服屋など）
・震災のことを忘れないで、まだ復興していない地域の復興を進めてほしい。石巻から「震災への不安」をなくしてほしい。
・石巻は、すごい事になりました。いまだに見つかっていない方々もいます。私も大切な人をうしないました。私は昔の石巻もどってほしいです。復興活動したいです。ぼきん、ガレキなど
・自分の事も大切だけれど、環境がきたないと、子共にも悪えいきょうだし、大人の人にも悪えいきょうなので、ボランティアさんなどがきたときなどには進んで協力してもらいたい。
・復興していく中で、自分たちが出きることは、していく。海ぞいなど、木などを植えてもいいと思う。協力できることは、していきたい。
・子ども達の中には遊ぶ公園が少なく家の中ですごすのが多いです。だから、公園をもっと増やしてほしいです。ストレスをためさせないためにももっと増やしてほしいです。
・復興の意味をわかっているのか。本当に復興の役に立ちたいと思っている大人が少ない。都合のいいときだけ「震災」「復興」ということばを使ってほしくない。
・子供にできない事がたくさんあるけど、少しでも力になれればいいです。私は、震災前よりもいい町にしたいと思っています。行方不明の人も全員見つけてほしいです。
・震災がおこったということを、語りついでほしい
・わかりません。
・もうこのようなひがいを出さないように海岸側の地域の人たちをできるだけ山の●やつなみが届かないはんいまで、の所に家を作ればいい。
・コンビニなどを作るなら、家がなくなってしまった人のための家を作ってほしい！
・石巻市をもっと盛り上げよう！
・まずは震災の被害にあった人のかんきょうの改ぜんを早くしたほうが良いと思います
・もうすこし、道をきれいにしてほしい
・石巻市を完ぺきにもどすのは無理です、しかし、近来未した都市は出来ると思います。
・復興のスピードを速くし、石巻をよい町にしていきましょう
・あまりない
・いち早く石巻市をもとどうりしてしたい
・「震災を忘れないでほしい」という人がいるけど、震災は忘れられない事なので発言して、「私いい事いっているなぁ」とか思わないでほしい。うざい
・いつさいがいがきてもにげれるようにじゅんびしておく
・震災でまちや家、人々は変わりました。今、みなさんで協力し活動することで一人でも、多くの人を助けてあげられると思います。だから、小さなことからでも始めれば、必ず人々は前より、良くなると思います。
・まだ、全てが、復興した訳じゃないから、もとどうりには、できないと思うけど、震災前みたいに、復興してほしい。
・子どもの意見もきいてほしい。
・ちゃんとしろ。しっかり復興にむけてうごいてる大人もいるのに「復興」とか「協力」とかそれらしい言葉をいうだけでなにもしない大人が多い。言うんだったらちゃんとしろよ。自分の言ったことは守れです。
・募金などをして、１日でも早く、町を取りもどしたいです。人々が安心して生活できるようにしたいです。
・震災前より、いい街にしてほしい。
・しんさい以前に比べて、人が減った。このごろやっと復興してきたと思う。
・仮設住宅に住んでいる人は、たしかに大きな「ひ害」をうけたと思いますが、そちらにお金をかけすぎなような気もする。（※あくまで個人の意見です。）
・もうすぐ震災になって3年半くらいたちます。それでもまだ、ゆくえ不明の人達がまだいっぱいいます。私の父の家族もゆくえ不明になりましたが、信じていればかならず会えると思います。信じることを忘れずにこれからも楽しく生きてほしいです。
・片付ける物を早やめに片付けていった方がいい。
・町だけでなく人の心も立て直してほしい。
・子どもセンターなど、子ども達の遊ぶ場所が増えているのはいい事だと私は思います。
・今、私が疑問に思っている事があります。それは、復興はお金で片付くのか？という事です。現在、私の住んでいる石巻地区にはたくさんの復興住宅が建設中です。しかし、それはひさい者の自立を援助するばかりではなく、その人の先の事までを助けているような気がします。
・復興のためにいろいろなことをしてくれてありがとうございました。
・大人は大人、子供は子供、ではなる、大人と、子供が協力してもっと石巻市や他の所の復興などに取り組んでいった方が良いと思う。
・住めなくなっている人たちに家を作ってほしい
・子共に出来る事は、ないんですか？

・こどもがあそべるようなところをつくったらいいと思う
・できるだけ早く復興させてほしい
・子供たちは大人が復興のために何をしているかが分からない。
・早く片付げろ。
・ありがとう。
・さっさと終わらせろ、うるさいから。
・早く前よりもよく町をしてほしい
・震災で子どもが遊ぶような場所が少なくなっているので、遊ぶ所を増やしてほしい。
・もっとたっていないところのくさをとって花などをうえたらいいと思う
・すばやくしてきれいにしよう
・頑張ってください
・かくじつに安全に復興してほしい
・楽しい町にしてください。
・できることがあれば、何でもいってほしい。
・予計なところでお金を使わないで、本当に必要な部分に、使ってほしいです。
・よりよい石巻にしてほしい
・かたずけをしているときにけがもしないでかたずけをしてください。
・もっと協力性（になってほしい）になると、復興も早くなる
・きちんとふっこうをできるようにがんばってほしい
・大事なやつに使うべき
・むだな金使ってんじゃえー
・がんばってください
・市役所の役員の心がまえから、スタートしなければならない。
・頑張ってください。
・がんばって下さい
・遊び場がまったくない。
・遊び場所がない
・はやく復興して震災前より豊かな町になってほしいです。
・はやく復興してほしいです。
・石巻がはやく復興してほしい。
・復興をもっと早くやってほしい。
・できるだけ早く、復興が進むようにしてほしい。
・早く復興しまえにもどりたい。
・遊び場所がすくない
・遊び場所がない。
・たばこを吸わないように。
・大人がこどもにわできないことをたくさんしてほしい
・語り継いでいけるようにしたい。
・何かいそがしい人でも復興のためにできることはありますか
・鹿妻に「まねきねこ」渡波には「ゲオ」を作ってほしい。遊ぶ場所が少ない。←（セガも宜しくお願いします。）
・早く鹿妻の「TUTAYA」をなおしてほしい。「まねきねこ」をなおしてほしい。
・ラウンドワンがほしい。子どもが遊べるばしょがほしい
・そこまで急がなくてもいいと思う。
・学校などを優先して復興してほしかった。
・石巻市の復興状況は良くなっているのでとてもうれしい。
・自分も頑張ります。
・早く学校を造ってほしい
・がんばって下さい。
・復興復興と言ってるけどこうどうにうつしてほしい
・復興には時間がかかるがきっとできる
・早くもとに戻るようにみんなで協力！
・大人もみなさんも大変だと思いますががんばりましょう！！
・これから、もっと復興にかかわる活動がひろまっていくので、積極的に参加して欲しい。
・石巻の復興が、他の所に比べておそすぎると思う。
・１日でも早く、こわれた町がもとの形に戻り前の暮らしのようにみんなが暮らせるようになりたい。
・仮設ぐらしの人がまだたくさんいるので、アパートやマンションを多くたててほしいと思います。公えい住たくもたってはいますが、まだまだ分からない情報があるので早めにおしえてほしいと思います。
・遊ぶ場所がほしい。
・早く安心して暮らせるまちをつくって下さい。
・校捨とちかくにあるじゃりみちを直してください。渡波新成に公園をつくってください。かずまのツタヤを直してください！！
・募金をしましょう
・さくら公園を直して下さい。
・復興にむけてがんばってください
・４年前の石巻のまちにするために復興優先でがんばってほしい。
・さくら公園をなおしてください。
・石巻市のふっこうをもっともっとひろげる。
・ゴミを捨てるな。

・がんばって
・石巻市にアニメイトを建てて欲しい。石巻市にアニメイトを建てて欲しい。ただそれだけです。
・まだ復興していないところもあるので何か協力できることがあれば協力したいです。
・子供達の遊ぶ広場がほしい
・まだまだ仮設住宅に住んでいる人がたくさんいます。いそがしいと思いますが、早く元の環境に戻れるようにしてください。
・がんばろう。再生させよう。
・まだ、仮設住宅でくらしている人がいっぱいいるので、仮設住宅にくらしている方が少しでも元気になれる事をしたい
・学校の校舎が仮設だから、早く校舎を新しくしてほしい。
・あの時は大変だったんだから、ふざけて冗談は言うな。
・募金をできるだけした方がいいと思います
・道ろのせいびをおねがいします。海をおよげるようにして下さい
・防波提も直ってきているので復興も順調に進んでいると思います。
・もっと復興活動を頑張ってください
・公園ふやして
・しっかりと復興をしてください。
・復興に向けてがんばってください
・女川を一番復興させた方がいい
・車がゆれつかないように道路をなおしてほしいです。
・復興が進んでいる所と進んでない所があるから、そこを伝えたい。
・2020 年のオリンピック準備のせいで、復興が遅れていると聞いていますが、オリンピックも大切だけど、復興の方がはやくした方がいいと思います。豊かな生活が、学力などにもえいきょうしてくると思います。はやくして下さい。
・みんなの友だちやちいきの人たちが亡くなってかなしんでいること。
・まだ、震災のあとが残っており、ほとんどの公園も仮設住宅が建てられ、小さい子が遊ぶ場所が失われていました。なので、公園をふやしてほしい。まだ、海の色も汚く、なので、美しい海を取りもどしてほしいです。
・私は3年生の時に震災にあい、すごい事を体験しおとなのみなさんもこのすごい事を体験したと思います。私は復興についてかかわりたいと思っています。
・震災前みたいに町はきれいにできないと思うけど、もとどおりにならなくていいからどんどん町をなおしていってほしい
・もとの石巻にもどってほしい。そして、もとの生活をしたい。
・年を取った人のいこいの場をつくる前に子どもの事を考えてほしい。
・私は仮設住宅に住んでいるので、早く復興住宅に入りたいと思っています。
・渡波は今、だいぶ復興が進んだけれど、子供達が自由に遊べる公園があまりないので作ってほしい。
・自分にできることから、始めていこうと思うので、一緒にがんばりましょう。
・みんなで力を合わせて頑張っていきましょう。
・もう少し、子供にも今の現状を伝えてほしい。
・市が破産しないように暮会活動に進んで参加して下さい。
・きれいなまちにしてほしい
・きれいな町にしてほしい
・渡波を早く復興させてください。
・早く復興してほしい
・最初からやりなおそばうまくいくと思います
・募金などできることをしたほうが良いと思う
・お金の使い道を考えてほしい。
・むだにお金を使わないでつかわなければいけないところいつかってほしいです。あとのことまで考えて行動してほしいです。
・もっときれいな市にしてほしい。
・１日でも早くふっこうできるようがんばって下さい
・１日でも早く復興してほしい。
・震災で気づついた人も多いけど小どもの笑顔は、消えないので、気持ちの面では、小ども達が活やくできる場所をお願いします。
・困っている人をなくしてほしい。
・今私はどうしたらいいか分からない
・自分たちにできることをやろう。
・やくばがうごいてくれない
・何かつくってほしい
・大人になったらボランティアをしたいです。
・できるだけはやく復興して、もとの石巻にしたい
・災害の多い所にばかり手をかけているようですが、意外に少ない所の方がひつよう。
・復興、復興と言っているけれど実さいあまり復興できていない。

・むだなことにお金を使わず、本当に必要なことに使ってほしい。・少しでも、1円でも2円でも募金をしてほしい。・震災がとらうまになっている小さな子どもなどをはげましてほしい。
・みんな、「がんばれ！石巻」と言っているけど、そう言うならその言ってる人も手伝ってほしい。（近い人は）あと、つなみがきたときに、ひなんばしょが多くあるといい。（ひなんするときだけつかえるばしょだったり）まだ、かせつにすんでいる人のために、すこしでもはやく家にもどしてほしい。（あたらしい）
・ひなん場所のかくにん
・これからも、がれき片づけなどがいそがしいと思いますが、石巻の復興のためにがんばってください。
・まだがれきがあるし、ゆくえふめいの人もいるので、手つだえることは募金くらいしか力になれないけど、がんばってください
・がんばってください。
・未来の事も考えてほしい。
・もうすこし早く復興して仮設にすんでいる人々をふつうの家にかえしたい。
・もっと復興をすすめて仮設に住む人達の新しい土地をていきょうしてあげてほしい
・私たちの世代が復興をがんばります。
・復興は進んでますか？
・だいじょうぶですか？どうしたんですか？
・まちを片付けたい。
・元の石巻よりも1つ上の町を復興しながらつくってほしい。
・子どもたちが遊べる大きい広場がほしい
・金の使い道を考えること。
・より良い石巻市、前の石巻よりもっとはなやかで元気、かっきのあふれる町にしたい！
・ひさいした人の気持ちをもっと考えてより速く建物などをなおしてほしい。
・少しずつ復興してきていること
・無打な事に金を使うな。
・子どもが出来ないことをやってほしい！
・石巻市もみんなのおかげで、復興してきている
・予算をあつめるために募金協力をもっと呼びかけた方がいいと思います。
・他の市の人の力も借りると、もっとはやく復興が進む
・まちの片付けを少しでもする（みんなで）
・どうろをきれいにしてほしい。（ボコボコだから。）
・きれいな町にしてほしい。
・仮設をやめてほしい
・もっとしっかりしてほしい。ぎえん金が届いているのに、ぎえん金を配らないのは犯罪こうい。市民をなめるな。市長こうたい。金で解決するな。市議会はどうなっているんだ。へび田をさかえさせてどうする。他の地区も平どうにしろ。子供だからってなめるな。子供の権利をむだにするな！
・きれいなところにしてほしい。
・はやくふっこしてほしい。ていぼう？を、たかくしてほしい
・他にも苦しんでいる人のためにもボランティアをした方がいい。
・1日でもはやく、復興してほしい。
・復興進んでますよ！
・もっと仮設住たくを建ててほしい
・復興の作業をがんばってください
・がんばろう
・子どものあそぶ所がない
・協力して頑張ってほしい
・復興はかかわるけどいそがしいです。
・はやくふっこうをしてください
・力を合せて石巻市を前の街に戻どそう。
・頑張って！
・街をもりあげる
・復興のために頑張ってくれてありがとうございます。
・石巻市の復興がんばろう
・子供たちのあそびばが少くなくなって、うんどうぶそくなので公園を1つでいいからつくってほしい。
・もっときれいにかたずけてほしい
・少しのお金でもいいので募金しよう。
・なんとか復興にがんばって下さい
・一刻も早く復興できるようがん張って下さい
・元にもどっているのでしんぱいないと思います。
・しえんなどありがとうございます
・しんさいから3ねんたったけどまだしんさいの事で悩んでる人もたくさんいると思うけど、少しでもその事を忘れてほしい。
・復興（元にもどすのは）はながくなると思います。なので今できることをせいいっぱいしていきたいと思います。
・復興のために、どんなことをしたらいいのかがわからない。
・みんなで石巻市の復興をしたい。

・子供のことを考えてください。あぶところ、公園とかが家の近かくになくてあそぶところがない。
・石巻はとっくに復興しているので、いつまでも3年前のことをずるずる引きずらない方がいいと思います。
・お店をもっと増やしてほしい。
・遊ぶ所が全然ない。
・遊び場を少し考えたら？
・石巻市は復興してきていますが、少しでも、震災したときの気持ちを分かってほしいと思います。
・市立病院をできるだけ早く建ててほしい
・石巻の復興のためにぼきんしたり行事に参加してほしい
・部活ばっかで何もできねんだよ
・もっと子どもたちが遊べる場所などをふやていほしい。運動する場所などもふやしてほしい。
・ぼうはていを作ってほしい
・ひがいの多い町を今すぐにふっこうしてほしい
・自然さいがいはいつくるのかわからないもので、こんかいの震災も、そうだったので、復興のためにの活動のときに、しんさいをわすれないための、ポスターをつくってはればいいと思いました。
・仮設住宅の人が安心して住める家を造ってほしい！！（老人を中心に）
・震災のことをかたりついでほしい。
・このことを忘れないでほしい
・もっとボランティアを増やした方がいいと思います。
・変な事にお金を使わないようにしてくださ
・僕は、政治家などは色々と予算ばかりを気にして心配していない。
・もっと、活動的になって下さい。
・がんばってください。
・できるだけ早く復興してください
・復興するためにがんばって下さい。
・子どもに言うまえに自分たちが動け。泣いてるひまがあったら動け。
・子どものことも考えて。公園つくって。
・公園の数や、小さい子どもが遊べる所を増やす。
・復興とか言ってるけど本当は復興とかより東京オリンピックなどのほうにいっていると思う。
・復興って言ってるけど、今まで何やってるの？子どもの遊び場も…。
・遊び場をつくれ！！
・震災を語りつぐのは、悪いこととは思わないけど、港の方に被災した建物など、わざと残しておくことは、震災で家族や親戚の人を亡くした人たちにとっては。良い気分はしないと思います。※ぼくも実際に家族を亡くしているので…。
・ゆいつすくなかった公園が今、仮設住宅で遊べなくなっていて、遊ぶ所をつくってほしい。
・道のひびわれやガタガタを直してください。
・私はしんさいを受けていないので、分からないけれど、今一しょにいる仲間が傷ついているのは分かるので、はげましたりするのは大切だと思います。
・少しずつがんばっていきましょう。
・イジメ問題
・石巻市は3年前の東日本大震災からゆっくり確実に、復興しています。でも石巻市以外の方や、あまり震災を知らない方は、この機会にぜひ知ってください。まだ復興はされてない地域もあります。そのためにみなさんは、石巻市のためにぼ金などを少しでもしてくれれば、石巻市民としてとてもうれしいです。どうかよろしくお願いします。
・早く復興すればいいなとみんな思っているのでよろしくおねがいします。
・こまってる人もいる
・震災のあとがほったらかしの地域がある。基付金が本当に使われいるのか。
・復興活動をがんばって下さい
・復興のために、もっといろんなものを作って、いつか、前みたいな石巻にしてほしいです。
・3月 11 日のあの日からずっと「復興」という言葉をくり返してきたけど、まだ半分も「復興」していないのが現実です。つらい思いをした人の気持ちを考えてください。
・昔にもどってきてはいるが少々復興ではないきがする。こわれていたところを直さず新しいものを次々作っていると思う所がある。
・県、国が復させようとしているのかがわからない。仮設の場所をかんがえたほうがいいと思う。公園をつかっては、よけい市民がうんどうできない。
・まだ行方不明の人がいるから探してほしい。
・石巻市がもっと良い市になるように心がける。
・町をきれいに作っていってください
・できる限りのことをしたい
・がんばってください。
・マジ金ない。こづかいアップ。
・ぼくたちもがんばるので大人の人たちもがんばってください
・がんばるんだ！！

・公園とかを作ってほしい。
・公園などのしせつが少ない。
・石巻市の復興のために、がんばってください。
・土地増やせ！
・早く復興してみんなが自由に遊べるところを作ってほしい。
・復興が遅いのは誰のせいでもなく自分達の意識が弱いからだと思います。
・避難経路の地図などをくばる。
・公園や遊ぶグラウンドなど増やしてほしい。
・がんばってください
・仮設住宅に住んでいる人にです。仮設住宅に住ませてもらっているのに、さむいとか、熱とか言わないでほしい
・まちの片付けの手伝い
・できるだけゴミひろいだけでいいので、やってください
・色んなことをあきらめなでもらいたい。
・震災前よりも、もっと活気のある石巻市にしてほしい
・もっと積極的にボランティアに参加すべき
・大人の人をみて子供が行動したり学んだりするのに、大人が「いやいや」と言ってどーするんですか。そして「ふっこうまだ？」とかいってる大人の人がいるんですけど、それを言ってる人はふっこうにかんしてなにかしてるのか…疑問です。
・いつ復興するんですか？
・たばこのぽいすてやビールのかんのぽいすてをやめて下さい。
・まだまだ、地震などがこわくてふあんな人たちがいること
・頑張ってください。
・復興できるようがんばってください。
・道路が、でこぼこしているのでなおしてほしい。
・いつ復興するんですか
・早く復興させてください。
・仮設住宅が多く、遊んだりできる「公園」で遊ぶ人が震災前と比べてかなり減った。
・子供のあそぶ場所がすくなくなってきている
・少しでも仲良くなりたい
・前の石巻市に戻すのではなく、前の石巻市よりももっと活気づいた新しい石巻市をつくっていきたい。
・お金の使い方。道路をなおすんでねくて道路をつくってほしい。小さい子供、老人が安全に歩ける道路をつくってほしい。湊にもとの姿を戻してほしい。
・もっとスムーズに工じを進めてほしい！・子供の遊べる場所を増やしてほしい！
・前のように明るいところになるにはどうしたら良いのでしょうか。街灯を増やすといいと思います。
・自分が関係ないて思ってほしくない。自も関係あると思ってほしい。みんなのことを考えてほしい、などなど…
・しん災で亡った人が多くいるので命を大切にしてほしい。その人の分まで生きてほしい。
・復興をはやくしてほしい。
・子どもが安心に暮らすことのできる街づくりを進めて下さい。
・あまり、住宅の方の復興が見られなく、さみしいです。また、震災から3年半たっても、家に元れないので早く整えて、帰れるようにしたいです。
・まだ少しだけ復興がおくれているのでもっと考えてほしい
・今、復興が進んでいるかどうか分かりませんが国にはむたなことに金を使わないでほしいと思っています。
・早めに復興の活動をしてほしい
・まだ手つかずの場所があったり、もう十分きれいになっているところの差が大きいです。優先順位や、予算などの問題もあるけれど。手つかずの場所に住んでいる人たちの気持ちも分かってほしい。・まだガラスが散らばっています。小さい子供が見た時、「怖いよー。」と言う時があります。
・思い浮かばない。
・まず交番がほしいです。
・片付けなど少しなことでもやった方がいい。
・あまり、復興のために何かしたことがなかったので、大人の人達に頑張ってほしいです。
・家とかを建て直すのも必要だと思うけど、人のいいたいこととかを聞くのも必要だと思う。
・自分にも復興についてできることがある。
・復興できるようにがんばってください。
・さらちを何かに利用できないのか？
・子どもや家族がなくなってしまったりした人もいると思いますが、前向きにがんばってください！！
・だんだんとうすれてしまっているけれど、きちんと忘れずにけい続して復興のために協力してほしいです。復興頑張って下さい。
・復興はまだまだ進んでいません。一人、一人が自かくをもって考えてほしいです。
・まだ、震災で傷ついている子がいると思うので、良くしてあげて下さい！！

・大地震でまちがくずれてもあきらめず悲しまないで、このことをきっかけに、新しいまちをつくるという気持ちを持って復興に取り組めば、さらに良いまちができると思います。みんなで苦しさを乗りこえていきがんばれば、きっと良いことがおこると思います。
・まだ仮設住宅にすんでいる人がたくさんいると思うので、こうれい者などとの関わりをふやして、みんなが不安なくすごせる町にしてほしいです。
・子供たちがしんさいの時に、こわくなったのでボランティアの人でもいいから、本とか、なわとびとかでもいいから、遊んであげてください。
・復興はしているが、私たちが遊んだり、走ったり出来る公園が近くにありません。全て、仮設が立っています。早く公営住宅の事業を進めて、私たちの公園を１日でも早く元にもどしてください
・子どもでもかかわれる復興を増してほしい。・復興状況などがテレビなどネットでしか分からないので、ネットなどを使わないお年寄りでも分かるように、チラシなどを作った方がいい。
・復興するところにも順番があると思います。津波の被害を受けていたところがガレキのてっきょだけで終わってしまっているところがあって、何もないところを見ると少し不安になります。津波の被害のはんいは広くてそう簡単にはできないと思いますが、少しでも復興していけばいいと思います。
・もっとたくさん復興のためになにかぎょうじとかしたらいいかなと思った。
・完ぺきに復興したとは言いきれないので、少しでも協力してあげるなどをしてみるといいと思います。
・震災前よりも石巻市をみんなで協力して、明るくよりよい市にしていきましょう！これからも頑張ってください！！応援してます！
・石巻市の復興のために募金や片付けなどをもっとやっていきたいです。
・都会じゃなくて被災地に手を入れてほしいです。
・石巻をきれいにして復興してほしいです。
・まだ仮せつ住宅で生活している人が多いのでみんなが１日でもはやく自分の家で生活できるように頑張ってほしいです。
・震災で家をなくした大人や子どもがいるから、自分たちにできることを考えた方が良い。
・私の母の実家が津波で流されました。今だに、おじいさん・おばあさんは、仮設住みではなく、災害住宅にすんでいますが、すごく不便で大変そうです。家に住みたくても、家が全然建たないのでボランティアで人を県外から来させればいいんじゃないですか？
・がんばってください。
・わかんない。
・子供だけで、できる事は子供だけでやりますが、子供だけで、できない事もあるので、その時は、大人の力も必要だと思います！
・いつじしんがきてもいいように準備をしておいたほうがいいと思う。
・今回の復興で前よりも良い町にして、石巻に来る人が増えてほしいと思いました。
・大変かもしれないけど、町のふっこうだけでなく、人の心も支えられるようにできるようにしてほしいです。・大人が怒ったり、感情の変化も子供にも分かるし、ある意味困ります。
・これからも、がんばってほしいです。
・大人になると、ふっこうに協力するためにお店とかを開いたりできるけど、子どもは物理的なことはできないので、大人になるまで、少しでもがんばりたいです。いつもがんばってくれてありがとうございます。
・石巻市全体での行事をもっとふやしたらいいと思う。理由、復興について、知れるきかいがもっとあった方がいいと思うから。
・このことがあったからには、いつきても大丈夫で平気でいられるような市に変えてください。ただ復興するのではなく、新しい市として自分のじまんになるといいです。
・いい石巻にしていっていってください。
・しんさいを忘れさせないために、かたりつげばいいと思う。
・頑張って、復興をめざしてください。応援します。
・東日本大震災でくるしんだ人が多いけど少しでも苦しいことをおもい出したくない人たちに何かしてみたい。
・前のように、石巻がにぎやかになるようにがんばってください。
・子どもではできない事をふっこうにむけて、がんばってください。
・震災前のような石巻にできるように、みんなで協力することが大事だと思う！！
・復興が大人だけでは大変なときは私達にも手伝える事をさせてほしい。
・自分自身についての苦しい思い、悲しい思いを伝えたい。

・町の片付けなども必要だが、心のケアも必要ということ
・なんかしたくてもできない
・みんながんばって復興に向かってやってるから。
・もとの、町の風景にはやく戻ってほしい。
・がれきの片ずけなど、がんばってください。
・復興に向けて毎日少しずつがんばってください。
・震災から3年半がたって、今は、前と比べたら、落ちこんでいる人も減り、町も、復興に向けてがんばっています。私は、１人１人が復興について考えていけば、もっと石巻はよくなると思います。
・中学生になって勉強や部活でいそがしくなり、復興に関わることも少なくなったので、復興のために何かをしたことはあまり無いです。ですが、募金など小さなことでも見つかればやりたいと思います。
・復興のために、みんなで募金やまちの片付けをしていく！！
・震災が起こる前の石巻に戻れるように頑張ってください。
・3年たったのでほとんど復興していると思いますが、復興していないところがあれば進めて復興してください。
・仮設住宅ではなく、家を早く造ってほしい。
・もし、復興の手伝いが出来たらやくにたつようにしたい。
・震災から3年以上たつけど、最近は復興についてとかあまり話題になっていないと思うので戦争と同じようにわすれないためにも、もっと考えたほうが良いと思います。
・お店とかじゃなくてさきに復興をしたほうがいいとおもう。ふべんな、かせつですごすのはたいへんだから。
・ぼきんをして、お金をためることなど。
・おとなの人は復興に向けて様々なことをやっていてすごいなぁと思います。小さなことからでも私達も復興に向けて努力をしたいなぁと思います。みんなで協力すれば、復興も早く進むと思うので、頑張っていきたいです。
・ほぼ復興して、しんさい前と変わらないじょうたいにもどってきていると思う。
・私は、震災はとても悲しいものでひさんなものだし復興にも時間がかかるのでみんなで協力していきたいと思います。
・１日でも早く石巻が復興し、ひさいした方々の心の傷が少しでもいえるようにしてほしいです。
・分かりません。
・子供も大人も怖かったけど、子供は立ち直ってる人もいます。また、立ち直ってない人もいます。立ち直っていない人にはしっかりと話したり、はげましてあげて下さい。
・細かな所の状きょう等を伝えてほしい
・震災を受けて今でも笑顔をなくした子供達に何か笑顔に出きる事をしてほしいです。
・１日の、たった1分で、あんなにふっこうするのに時間がかかるから、もっと私もふくめていろんな人が協力しないといけないと思います。
・復興めざしてがんばりましょう。
・子どもは、大人とちがった震災でうけた心のきず（？）があると思うから、子どもを大人と同じようにあつかうのはしない方がいいと思います！
・震災がたって3年ぐらいなのにまだ復興してないところがあるので、まだ復興していないところを復興できるようにしてほしい。
・あまり、被害をうけなくて、親族の方が亡くなった人の気持ちがよくわからいけどがんばって下さい！！
・子どもがなにか意見を言っても大人が反対すれはその意見はなくなってしまうので、大人がもっと意見を出すなどしてほしい。
・地震と津波について
・子供たちも頑張っているから、大人も頑張っていってほしい。
・震災でたくさんの人が家をなくしているのに、その家がなくなった人達が入居するこうえいじゅうたくをちゅうせんにするのはどうかと思う。
・私達子供ができる事は大人の人たちより少ないです。なので私達の分まで頑張って下さい。
・向陽小の地区の公園に仮せつじゅうたくがたってしまって、家がない人がいるのはしょうがないことだけど、道路であそんだりしているから、小さな子供が遊ぶようなところをふやしてほしい
・まだ、完全に復興していない所があるので、これからは私たちがしていきたいと思います。
・みんな、何かしら復興について手伝った方がいいんじゃないかなと思います。
・今でも！せいしん的にとか！家がない人がいるから！考えて！
・私は、復興に自分でも関われると思った人は積極的にとりくんでほしいし
・もっと復興をいそいだ方がいい。
・国が復興に集中させることが大切だと思います。
・いろいろと復興のために動いてくれてありがとうございます。
・まちの復興をがんばってほしい

・できるだけみんなで協力し合いがんばってください。
・税金のむだにしないでください。
・自分の事より人のことを大切にしてもらいたい
・がんばれ
・震災で流された地域をもとどおりにできるようにがんばってください。
・震災後に、何もない場所にぽつんと咲いた「ど根性ひまわり」があり、それを広め、とれた種からさらに増やしたのは、「がんばろう！石巻」の看板を作った「黒沢」さんであり、ひまわりは今４世までいる。
・色々な活動がしたい
・募金活動をする。
・復興が中とはんぱで他のことが先になってる。
・仮設住宅の人のために復興住宅をできるだけ早く建てて下さい
・復興で手伝えることがあったら協力したい。
・大人だけではなく、子どもたちもしんさいやふっこうの事を考えていると思うので、大人だけなやんでいないことをわすれないでください
・早く復興してほしいと思います。
・３年たって生活するには十分な町にもどりましたがまだがれきなどがのこっている所があるのでそこをはやくかたずけてほしいです
・このようなことがあったら、またこのけいけんをいかしていきたい。
・ぼくがたいへんでもしをこったらひなんするじゅうびをしたほうがいいとおもう
・海の近くには、ほとんど復興していない地区があります。
・頑張って復興させよう。
・ポジティブにがんばってください。
・ぼくは機会があまりないので関わることはできませんが、公務員のみなさんがんばって下さい。
・１日でも早く元にもどるようにして、これからは、川や海の近くに家を建てないでほしい
・命を守っていけるようにがんばってください
・もっと早くふっこうしてほしい
・大人より子供の方がショックを受けてる
・よけいなところに予算を使わないでほしいです。
・ビルがホテルルートインしかない。もっと増やしてほしい。
・震災前よりも、すごくにぎやかで、良い市にしていきたい。
・できるだけのことはやります。
・震災で家をなくして仮設にすんでいる人たちへの手伝いをしたりしてはげましたりしてあげるといいと思う。
・復興状況などをテレビなどでしっかりと教えてほしい。
・石巻が１日でも早く平和な町になるようにがんばってください
・募金をしてあげて。
・おとななのに復興の手伝いをしない人がいるのでおとなは子どもとちがってやれることがいっぱいあるので手伝いをしてほしい
・いろいろな復興なことをしてくれてありがとうございます
・大きな被害を受けた人、周りにいた人が亡くなってしまた。などの悲しみにくっせずこれからも石巻市の復興に向けて頑張ってください。誰もが恐ふにおびえているはずなので、自然災害に負けないようなたてものや街にしてください。
・がんばってください
・特にがんじょうな防波ていを作ってください
・町を元通りにしてほしい
・がんばってください
・もっと子どもでも復興にかかわれるようにしてほしい
・むだづかいしない
・たのしく、いきましょう。がんばってください。
・がんばってください
・もっとはやく復興して下さい。
・一日でも早くあんぜんな町にしてもんだいなどもなくしてほしい
・元の町に戻してほしい。
・今でも仮設住宅でせまっくるしい生活をしている人が多いので、早く災害公営住宅を建設してほしい。楽しむ活動をたくさんしてほしい。
・「自分はいいや」ではなく、「自分がやらなければいけない」。積極的に参加してほしいです。私たち子供だけでは、やはりやりたくてもできないことがたくさんあります。ですので、大人の力を必要なのです。
・ファイトー
・心のケアとか言うけど小さい子があそぶこうえんなどがかせつじゅうたくでうまって、ない
・「まわりの人をもっと良く見て、一緒にがんばろう」と伝えたい。
・復興に、市民の意見をどんどん取り入れてほしいと思います。
・積極的にまちの片付けをしたほうがいいと思う。

・今も仮設住宅に住んでいる人が多い
・まだ、復興していない場所が大沢あるのでもっとキレイにかたずけてほしい。
・募金で集まったお金を何につかっているか知らせてほしい。
・むずかしいと思うけど、元通りの石巻にもどってほしい。少しずつでも。
・１日でも早く復興ができるよう全員が協力できるように工夫してほしい。
・遊園地的なのをつくってほしい。
・皆一人一人協力しあって復興を目指す。
・皆が元気が出るようなしせつなどを作ってほしい
・仮設住宅入居者が支援をうけるのになれてしまい、公えい住宅への移動が進まないと思います。そこを何とかしてほしいです。・仙石線の本数を増やしてほしいです。
・石巻にみんなが楽しめるようなところができてほしい！復興に向けてみんなでがんばっていきたい。
・できるだけ、震災前の姿にもどしてほしい。
・こまっている人たちの手伝いをしてほしい。・ボランティア活動をせっきょく的にしてほしい。
・店をふやしてほしい
・震災でこわれていた部分も復興し、運動する場所も増えました。ありがとうございました。
・１日もはやく復興してもらいたい。
・学校などで募金をすればいいと思います。・町の清そうかつどうをふやす。
・体育
・仮設を無くしてほしい
・きょ大たいくかんがほしい
・魚漁をさかんにする
・復興がんばってください
・石巻にないようなものを作ってほしい
・体育かんを3階だてにしてほしい
・石巻に楽しい場所を造ってほしい。・体育館を大きくしたい。
・公園などの子どもが遊べるような場所をつくってほしい。
・稲井中学校の体育館を大きくしてほしい。
・子どもたちのことをもう少し考えてあげてください。
・みんな楽しくなるように有名人を稲中に呼んでほしい！理由→街中の中学校にはいろんな人（ドリカム…）とかが来ているのに、稲中には誰も来ていないから！
・子供の心のケア、震災のつめあとをすべてなくす。みんなが楽しめる公共の場を作る
・かせつじゅうたくをなくして、家をたてる
・川開きのようなイベントをやってください。ボールで遊べる公園がほしい。
・道路を整備してほしい。行方不明の人を早く見つけてほしい。丈夫な堤防を作ってほしい。
・１日１歩でも少しずつ進めば、必ずもとの石巻に戻ると思う。
・石巻市の復興が早くなるようがんばってください。
・今やれるべきものはやったほうがいいと思います。
・また復興していなかったり、仮設住宅にすんでいる人がたくさんいるので、早く前までのような生活になれるようにしてほしい。
・復興のお手伝いをしたいです。
・子供にも気をかけてあげて下さい。
・どんどん復興していけるよう、復興にかかわっていってください。
・大人や子供みんなが地域の行事へ参加したり、募金などの活動を進んで行ってほしい。
・少しでも早く復興して震災前のように楽しくくらしていきましょう。
・子どもは、心にキズがあってそして、まだなおっていない子どももいます。だから、大人が、その子たちの心のささえになってほしい。
・石巻は、津波がひどく「がれき」がたくさんでて、その影響で大きな公園にがれきがおかれて子供があそべなくなってきている。
・ぼきんよろしくお願いします
・震災から3年半が経ち、石巻の町もだいぶ変わりました。でも海岸ぞいは、まだ
・頑張って一
・復興について、何かやっている人がいるので時間があるときは、復興に役立つことをやってほしいです
・ぼくは、まだ子供なのでできることは限られていますが大人は何でも手伝えるので、復興の行事にもっとかかわりをもった方がいいと思います。
・今、原発を作る、作らないで問題になってるけど、私は原発はいらないのではないかと思います。原発でくるしい思いをして、今も不自由な生活をしている人がいるし、自殺した人だっています。それでも原発が必要であるなら、私は、その原発で作った電気を使う場所に原発を作ればいいと思いました。福島の人たちは、原発の電気を使っていなくて、何も悪くないのに被害が出るなんて、かわいそうだと思いました。

・もっとボランティアなど増やした方がいいと思う
・早めに復興してほしい
・復興住宅の建設を進めてほしい。
・もっと人のことを考えて、協力してほしい。
・震災から4年くらいたった今でもまだみつかってない方々がいるので、早くみつけてあげてください。
・まちの片付け、まちづくりの参加を進んで行うこと、まちの片付けをしなければ、次の事に進めないので、まずは、皆でまちをきれいにして、まちづくりを進んでいけばいいと思う。
・復興について、どんどん、とおざかっているきがします。
・復興のために土地をつくるのはよいですが、あまり自然を減らさないようにしてください。
・前の町にもどせるよう頑張ってください。
・今だに生活が不便な人々もいるので、復興のために皆、協力してくれるような活動をして下さい。皆が安心できる石巻にして下さい。
・復興がはやくすすむようにがんばってほしいです。
・まちの片付けなどを大人にちゃんとしてもらいたいとぼくは思っています。
・なんで、げんぱつがそんなに必要なのか。
・がんばってください
・現状が分からない
・もっと国ぜんたいが動くべき。
・もっと復興に関わってほしい。
・復興のため、がんばってください

中学２年生

・ファイト
・復興のために出来ることをがんばってほしい。
・震災は、絶対に風化させてはいけない。子供の目線で感じたあの日を、もっと発信する場がほしい
・大変な事もたくさんあると思うけど、大人だけでなく、子供にもできることはあると思うから、一緒に頑張りたい
・仮設の人たちが少なくなれるようになってほいと思います。
・まちの片付け頑張ってください。
・頑張ってくれてありがとうございます。
・頑張っていこう。
・頑張れ。石巻
・震災が起きてから被害にあった地域のために、ボランティアなどをしていただき感謝していることを伝えたいです。
・がんばってください。
・子どもはなにげに元気です！
・Fight
・がんばろう。
・東京オリンピックがせまってきているが、石巻、被災地の復興なくしてオリンピックは迎えられないと思う。オリンピックにお金をつかうなら被災地にも。
・中学生でも気軽に楽しめる場所を使ってほしい。
・前より良い石巻になるように頑張ってください。
・私たちがきちんと復興を支えんできるまで、がんばってください
・子供でもできる事があれば手伝いたい。
・前よりもいい石巻にしよー！！
・以前の石巻よりもいい街に！！
・順序を考えて、大人（ひさいしゃ）の言う事をゆうせん的にやった方がいいと思います。
・人とかかわれることに感謝する。
・あそびばをつくってほしい
・災害地域の住民離れを防いだり、もう一度何か建築してほしいと思います。公園を増やしたり植物や道路の整備を1点に集中してやるといいと思います。切れてる電気を変えてほしい。というか絶対やってほしい。
・まだ復興していない所を早く復興させてほしい。
・震災という大きな過去をわすれないよう、語り継ぐ
・復興するために、自分たちが何をしたら良いのかよくわかりません。何をしたら良いのか聞きたい。
・伝えたいことはないですけど、これからも頑張ってください。
・復興マジがんばってください！
・周りがあまり震災のえいきょうがないので、何をやっていいか分からない。
・遊び場を造ってほしい
・支援金の使い方を考えてほしい。
・いろんな人をはげましてほしい
・石巻で川びらきのような大きなお祭りなどを、もっとした方が地域が、活気づいて、県外からも人がきてくれると思いました。また地域の歴史、石巻の歴史をいろいろな人に伝えることも、必要だと思いました。
・支援金をむだに使わないでほしい。
・あんまり、ないです
・何か新しいしせつをたてたらいいと思う

・仮設住宅をもう少し広くつくれれば良いと思う。仮設住宅に入った人たちに小さい金ののべぼうがくばられたことがあったらしいけどそんな物を送るくらいなら現金を送った方がずっとありがたいと思う。
・自分のことを後回しにして、あそんでないで、復興について話しあおう。速くしないと、また、あぶないことになるかもよ。大人がうごかないと、ダメ！！
・被災地のガレキがまだ片付けられていない所があると思うので、まずはガレキを片付ければ良いと思う。
・復興住宅を増やした方が良いと思う。
・地震について、もう少し考えた方が良いと思います。理由は、毎日のように（よしん）が続いてしまうことがあり、「また地震」かと思い、大きな地震がきたときに子供は、よゆうをこいてしまうので、大人が気をくばってほしい！
・色々な人と話してほしい。もっと人とのかかわりを大切にしてほしい。
・震災前の石巻に戻すため、復興活動を続けてほしい
・震災などを忘れないように震災について語り合うと良い
・地震、津波のことを伝えていく。人と人とのつながりの強さ
・金の使い道を考えてください。人の良心を考えて、無駄使わないでください
・お金を別のことに利用してほしい
・堤防をつくるために家を立ち退きされたり、人々が来なく店を閉めなければならなくなった人などが、居るという現状を広めてほしい。少しでも出来ることがあれば、その情報を出してほしい。金を無駄使いする人が出ないようにしてほしい（募金で集まったものなど）
・その行動によっておこるメリット、デメリットを考えて行動してください。
・むだなことにお金をつかわず復興のためにつかった方がいいと思う。
・月日が流れて忘れてくる人が増えてきていると思うから現状など忘れないでほしい。
・もう少し復興をすすめてほしい。
・復興からいつ頃前のように戻れるのかが知りたいです。
・復興のために、震災を語り継ぐことが大切だと思います。
・宿題で怒らないで
・頑張ってください。
・まだ震災についての情報を流していておもい出すことがあり少しいやになる時はある。
・地域の人全員で石巻市を復興できるように取り組んでいきたいということ
・復興をがんばってください。私もがんばります。
・色々な人が住みやすい町をつくってみんなが楽しくなるような町をつくってほしいです。
・復興ガンバッテクださい
・今はない
・ゴミ拾い
・頑張ってください。
・大人が思っている以上に心に傷が残っている人もいる。
・自分から進んで復興作業を手伝うこと。・震災を語りつぐこと。
・東京オリンピックよりまず、目の前にある問題を改善すべきだ。復興住宅で当たらなくて困っている人もいるものに、何年も先のことにしか頭が無いのは、おかしいと思う。
・今、復興のためにできることがあるなら、少しでも参加したい。
・石巻市の復興について子どもでもできることを考えてほしい。
・具体的にどのような「復興」をしたいのか、目標をきちんと指示してから活動してほしい。・「復興」をしたいと国が思ってても、「福島の人は…」「福島の物だから」と、原子力発電の問題などの「差別」をなくしてからじゃないと、支援する方も不安になる。そういう問題もかたづけるべきだ。
・復興を大人たちだけで進めようとしないで子供にもできることをさせてほしい。
・復興のために政府からもらっているお金を、つかわなかったり、まったくどうでもいいことにつかわず、まず石巻の港を人が住んでもだいじょうぶな場所にしてほしい。
・震災を語り継ぐことを忘れないでくらさい
・とくに無い、自分で考えろ！！
・石巻市の復興は他の気仙沼や女川と比べて遅いのでもっと早くしてほしい。
・皆で地域を明るくする。
・皆協力して地域を明るくする
・今からでもやれることはあると思います。
・子ども達はがんばっています。
・がんばろう
・また、このような震災がおこるので、自分で出来ることをして逃げられるじゅんびして！！みんなによびかけしてほしいです。
・市民の意見を大切にし、活動をがんばってほしいです。

・まだ復興が進んでないところには、早く復興できるようにしてあげたい。
・復興頑張って下さい。
・皆で協力する事。もともと住んでいた家に帰りたいと思ってる人がたくさんいる事
・これからも、一緒に頑張りましょう。
・2011 年に起こった、東日本大震災で大変な被災を受けた方々がたくさんいると思います。なので、その人たちを早くはげませるように、色々な活動をしたらいいと思います。
・まだ、震災があって立ち直れていない子供がいるかもしれないし。いろいろな所での復興活動をしている人もいますが、本当にすべてかたがついたわけではないと思うので、頑張ってください。
・助け合いが大事。
・もっと復興について話し合ってほしい。震災のことを絶対に忘れないでほしい。
・がんばろう
・ゆっくり復興しよう
・やろう！と思ったことは、あります。ですが、何をすればいいのか分かりません！！
・きまった人だけが復興のために何かやるのではなく、石巻全員で復興のために何かやった方がいい。
・はかいした建物を少しは残してほしい
・自然を大切にとかいっているけど大人が木とかを切ったりしている。
・私にできる事はありますか？
・はやく家がほしい。・一日も早く、多くの人が仮設から出られるようにしてほしい。・1000 年に1回の地震にそなえてぼうはや土手をつくるより、今すべきことを考えてほしい
・地域によって復興するはやさがちがうからできるだけはやくすすめてほしい。
・はやく石巻市の復興をおわらせてほしい。
・頑張っぺし東北！
・仙台など町の方しか復興する工事が進んでないと思います。たまにはいなかの方も見てほしいです。
・町が全然変わってないのはなぜか？
・牡鹿を復興させるきはあるのか？復興、復興、口だけでは？
・大人と中学生がやろうと思えばできると思います。
・まだまだやることがたくさんあります。・牡鹿を輝かせてください。
・大人と子どもがいっしょに協力し合う
・牡鹿をもっと笑顔にしてください。
・牡鹿をきれいにしてください
・私達子どもでもできる事はあると思うので、協力します！！
・早く進めてほしいです。
・ちょっとずつ復興していきましょう
・立町のアーケードをもっと上手く利用してほしい。駅が近いのだからもっと駐車場をつくってお店も若者が寄りやすい店をつくってほしい。
・自分の住む町はきれいにしたい
・地震、津波は急に来て、町を破壊してしまう。だから、自分たちの大切な町にこうけんすることが大切だ。
・協力する事の大切さを忘れないでほしい。震災を忘れないでほしい
・亀山鉱を何とかしてほしい。
・言葉だけで復興といっても意味がない。しっかり行動にうつしてほしい
・べつに
・津波で家を失った人でまだ仮設住宅に住んでいる方がいるので、復興住宅をはやく建てた方がいいと思う。
・「頑張って復興していきましょう」と伝えたい。
・私は復興の時にいろいろな人にしてもらったの大人になったら自分もやりたい。
・お金の使い道を考えてほしい。
・色んなことが積み重なって忙しいと思いますが、石巻市民のために、町のために頑張ってください。
・復興しているのか、いまいち分からない。
・どこまで復興しているのか分からない。全ての復興がいつ終わるのか分からない。だから、くわしい情報がほしい
・要るものだけつくって下さい。要らないものを増やすより、要るものの設備をととえるべきだと思います。
・住む家を増やし、仮設の人も幸せにくらしてもらいたい
・子供の将来考えてほしい。・お金を使うとき、本当に必要か。・よけいなもの（シャンデリア）買わないで。・技援してくれた人のことを思えばだましたりずるをするはずない
・もっとなにをしたらだれがよろこぶか、被災地や被災者に本当に必要なものは何かをよく考えて復興事業に臨んでほしい。
・お金をムダにしないで欲しい
・復興予算をムダなことに使わないでほしい。建物が直るのが復興とは言えない。人々の笑顔が戻るのが復興。子供と大人との話し合いの場を増やしてほしい。
・防波提を高くしてほしい

・復興予算を関係のないものに使ってほしくない。みんな環境が変わり大変だから復興を最優先にしてほしい。
・お金の使い方の計画をもっと慎重に考えて行ってほしい。
・せっかく皆が出した募金を無駄にしないでほしい。何に復興予算を使っているのかを明確にしてほしい。
・家族をなくしたり、大切な人をなくした人をはげまし、今より分かちあえる石巻を作ってください。悲しんでいる人々が、いつか笑顔に戻ってくれるように。
・せっかく、募金でお金がたまっているのに、パチンコとか、めっちゃいみのないことにつかって、タバコとかお酒とか、飲まくたって死なないから、もっと町とか、学校とかのために使かったほうがいいと思います。
・大人だけの話し合いの中に、子どもの正直な意見を取り入れてください。政府よりも民間人が復興に力を入れていると思います
・復興じゃなくて、まず、復旧からだと思います。自分も含めて、まだ自分の家に戻れず、仮設に住んでいる人がたくさんいます。だから、3年前よりも盛り上げるのも大切ですが、まずは3年前に戻るのが優先だと思います。
・復興はしているが、まだ困っている人がいる。
・復興のお金を無駄使いしないでほしい。
・復興する、復興すると言っていて、被災した地域がこの3年でどのようによくなっているのか子供には伝わっていないと私は思います。
・復興のために色々な方が動いてくれてありがたい。とても感謝してる。だけど、お金の使い道がちがうと思った。たてものをつくるのはいいけど、こわれた学校や、まわりのたてものをなおしてからにしたほうがいい。道もがたがたの所が多い。
・消費税を上げないでほしい
・必要のないものは、あまりつくらないでほしい。・仮設住宅に住んでいる人などが住める土地を早く整備してほしい。
・あまり使われてないところは無くしてほしいあってもしょうがないから
・石巻市を元に戻してほしい。
・必要なものだけをつくってほしい
・復興計画について、スムーズに働してほしいです。
・復興予算を震災地だけにつかってほしい
・今、石巻は復興に向けて頑張っているから、応援してほしい。
・次の世代（私達）が大人になったときに住みやすい市にしてほしい。←しせつなど
・トリコローレ音楽祭などでは、皆笑ってくれるからそういうのをもっとやってほしい。
・復興とばかり言い、人にたよりすぎず、自分たちでもしっかり復興のことを考えてほしい！！
・だんだんと復興は続いていると思いますが中にはまだ前に進めない人もいるので、その人たちのために、自分ができることなら協力したいです。
・石巻は復興していると言えるのか。
・早くみんなが明るく元気になってほしいです。
・意味のないぼうはていなんて、つくらなくていいから、その金を石巻復興にまわして下さい。
・支援などありがとうございます。
・石巻を、もとどおりにしてほしい。
・もっと早く復興してほしい。
・はやくふっこうさせてほしい
・これからも頑張って下さい
・子供が遊べる場所をつくってください。
・子どもが遊ぶ場所を作ってください。
・まだ復興できてない地区などがたくさんあるので募金活動などを増やしてほしい。
・復興のために考えた意見や策は、行動にうつしてほしい。
・まだまだ復興には時間が必要ですが、少しずつしっかりおねかいします
・早く復興してください。
・みんなで協力していきましょう。
・がんばらんでいいけぇゆっくりゆっくりすすんでこーや
・だがしや作ってほしい
・がんばりましょう
・まずは国から資金を集めてください
・復興がんばりましょう
・大変ですが復興がんばりましょう
・豊かな町にしたい
・子どもの気持ちを考えてほしい
・これからももっと大変なことが起こるかもしれないので、いつでもにげれるようなよういをする。
・頑張りましょう。
・なるべく早く復興してほしいです。
・なるべく復興に協力して下さい。
・がんばってください
・がんばってください。
・石巻市の子供は頑張ってます。

・できるだけ早く復興のお手伝いを頑張りましょう。そうすれば、未来に生まれてくる子ども達、自分たちも平和な1日１日を過ごすことができます。どうか、復興のお手伝いをしてくれることを願います。
・人工芝のフットサルコートを作ってください。ご検討よろしくお願いします。学校以外にサッカーする場がないんです。
・お金
・今、町の整備だったり、復興？住宅を作っているけど、私はまず周りの人達が不安から解放されて、活気ある町にするのがいいと思います。仮設に住んでいて復興住宅に早く入りたいけど、町の笑顔がみたいです。
・復興頑張ってください。僕も参加したいですが、勉強をとります。
・がんばってください
・震災が起きて。3年と少しが立ちますが、もう少し、復興について考えてほしいと思います。そして復興がもっと進めばいいと思います。
・直ってきてはいるけど、がれきがひどいところがまだ少しある。緑が少なくなっている。
・感謝の気持ち
・何か建物を建てたりする時はいろんな人の意見をきいてほしい。
・震災時のご支援、本当にありがとうございました。子供に何が少しでもできることがあれば、何らかの形で教えていただけると嬉しいです。
・復興に協力してくれてありがとうございます。
・できるだけはやく、前の石巻に、もどらせてほしい。
・ファイト！！
・募金よろしくおねがいします。
・頑張ってもらいたいです。
・がんばってください
・きちんとがれきを片付けてほしい。
・がんばれ
・募金の協力をお願いします。
・がんばって
・子どもでも復興にたずさわる事ができるのか。
・協力してしよう。
・前と比べて、住みやすい環境に変わってきているので、感謝したいです。
・復興住たくを早く建ててほしい
・僕達は子どもなので何もできませんが、復興をがんばってください。ケガの何いよう、気を付けてください。
・夏が終わりつつある日に、花火などが落ちてたりするので、せいそう活動などをしてほしい
・ありがとうございました。
・頑張ってください。
・何もない
・TV とかでも復興とか言ってるけど、復旧もしていないのに、そんなこと言ってていいんですか？
・復興がんばってください
・学校をつくってほしい
・今の石巻の未来の事を考えてほしい。
・感謝です。
・早く学校を建てて下さい。
・石巻って震災なければ、災害とかあまり全然おきてないよね…。いなかでも都会でもないし、ちょうどがいい感じ。海も山もあって、とてもいい場所。
・くだらないのにお金をかけないで、復興住宅を建築してほしいです。
・ありがとう
・まだ、完全に復興していない
・震災前よりキレイにしてほしい
・どれくらい復興は進んでいるのですか？
・募金をしてまちを復興させよう
・海のほうの道路に電灯をつけてください
・あきらめずに頑張ってください
・子どもが遊べる場所を増やしてほしい。公国に仮設がたっている。→遊んでいると怒られる。
・石巻に人があまりいなくなったので、もう一度町がにぎやかになるように店をつくってほしい。みんながたのしく行けて、近くにあるようなものをつくってほしい。バッティングセンターが石巻に一つしかないのでもう一つくらい増やしてほしい。もう一度、他県の人がきてくれるような観光スポットをつくってほしい
・石巻をもっとにぎやかにしてほしい。・はやくこわれているところを直してほしい。
・今現在どこまで復興しているか分からない。
・大震災は忘れたくても一生忘れられないものです。でも、忘れてはいけないと思う。
・自分に出来ることをして、少しでも復興の力になりたいです。
・今、どこまで進んでいるかが分からない。できるだけ早く復興してほしい。いつまでも仮設校舎はいやだ。
・速くもとの石巻にもどってほしい

・復興が進んでるとこと進すんでない所の差があるんじゃないかと思う。全て、順ちょうに、びょうどうに進めていくべきではないのか？
・小学校とか中学校とか早くつくってほしい。
・お店を増やしてほしい。鹿妻に。
・子どもにもできる復興活動を考えた方がいいと思った。
・早く石巻市をなおしてほしい。・石巻市を楽しくしてほしい。・１人でも多くの石巻市の人達を笑顔にさせてほしい。
・はやくもとの町にもどしてもらいたいです。
・これからも頑張りましょう。
・「復興」と言っても、具体的に何をしていけばいいのかを明確にして、子どもにでもできるような活動を作ってほしい。
・まだ見つかっていない人を早く、探してください。・復興している町としていない町の差が大きすぎると思います。
・道路をきれいにしてほしい
・早く復興を進めて欲しい
・にぎやかなまちにしてほしい
・明るい街にしてほしい。
・女川など被害が大きい所をゆうせんしてやってほしいと思う。
・がんばれば良い事が起きる！！
・いろいろ支援をしてくださってありがとうございました。
・石巻が復興できるようにがんばってください
・震災から約3年たち、震災のことが忘れさられている気がします。だからこそ、震災のことを忘れずに生きていくと同時に、震災の影響で困る人がいなくなるように支援を続けていってほしいと思います。
・たくさん支援してくれてありがとうございます
・道路などがまだ補装されていない場所もあるのでなるべくしてほしい。
・進んでいるようで、あまり変わっていない気がする。巨大な缶を解体したにしても、津波や災害を象ちょうする物を、思い出したくない人の気持ちもわかるが、そういう物を壊すのではなく、広島の原爆ドームのように残すべきだと思う
・もっといろんな人達に支援をしてほしい
・公園とかより早く新しい学校か家を建てください。仮設校舎ではなく本校舎にもどりたいです。
・地区によって復興の進み具合いが違うからなんとかしてほしい。・住んでいる人がいるのに街灯が付いていないのは怖いと思うから、そのへんの整備等もしてほしい。道路とか、のびっぱなしの草とか。
・私も復興のために何かできることを頑張りたいです。
・震災を忘れさせる石巻市にしてほしい。
・私たちの力じゃ何もできないけどがんばって下さい。
・これからも頑張って下さい。
・まだ震災で立ち直れていない子供はいると思うので心のケアをさせていくことで子供たちが笑顔になるんじゃないでしょうか。
・いつまでも支援を受けていてはいけないと思う。仮設にいたってできる事はなにかあると思うので下向きな事ばかり言っているのは良くないと思います。
・せいしん的にダメージをもっている子がいたりする。親にもたよれずネットににげこんでいる。→けいたいをぼっしゅうされ自由をうしなっている。病み期の方が多かったりする。たまにこどくを感じる。将来が不安。
・とりあえず私達子供に家を残してほしい。大人はよくても、のこされた子供が大きくなったとき、何もないのはこまる。けっきょく子供はなにもできない。はやく復興住宅をたててほしい。商店街よりなにより、私達は安心して住める家がほしい。あと、仮設南境第7団地の北集会所でやっていたこども広場。楽しかったのに、近くの心ない大人たちから苦情がきてやらなくなったしまった。仮設の子供たちが集まるゆいいつの場所だった。昼間の大人集会もやめたらどうですか？なぜ子供だけががまんしなければならないのですか？
・小さい子どもから、お年寄りまで、みんなが笑顔で楽しんでくれる行事をもっと、もっと、増やしてほしいです！！（お祭り、ライブなど）
・もっと早く復興してほしい
・子どもまちづくりクラブや子ども会議など、復興のために活動している子どもはたくさんいるということを知って、協力してほしい。
・子供たちは子供たちで元気に活動していますが、安心しきっている訳ではないこと
・復興と言いつつも、今は、土砂災害のことだとかオリンピックのことで、なにもしてない気がするから、復興についての具体的には何をするのか進めてほしいです
・はやく、被災地の町つくりをしてください。・くだらない政治の争いをやめて欲しい
・早く渡中を作ってほしいです
・夜にこうじがうるさい
・がんばれ

・私達が大人になってから安心して生活ができるように、安全な市をつくってください。
・少しずつ復興していると思います。
・公園、体育館（バドミントンができる所）がほしい。←仮設校舎で、練習があまりできない。
・復興への協力をしてくれてありがとうございます。
・元気です。
・がんばって下さい。
・まだ見つけていない家族の死体を見つけてほしい
・募金
・がんばれ
・スポーツのできるしせつをつくってほしい
・復興できるようにがんばってください。
・石巻市を安全にしましょう
・税金をむだに使わないでほしい
・税金をむだに使わないでほしい
・別になにもない
・子どもたちが抱いている不安などを、なるべく和らげてください。・防波堤を作ってください。
・がんばってください
・がんばれ！！
・いろんな人が助けてくれたりしたから復興めざして協力したほうがいいと思います。
・他の地域の大人の人にとくにつたえたいことがあります。原発のガレキてっきょなどに協力してください。
・復興が進んでない気がするので、ちゃんと進めてほしい。
・大変だと思うけどがんばって下さい
・この震災をわすれないようにしたほうが良いと思うこと。
・何ごとにも前向きに
・今だに震災直後の様子と変わっていない町があると思うので、復興計画をより早く進め、震災前の宮城県をとり戻したいです。
・がんばってはやくしてください
・とにかく、みんなで協力して早く復興できるようにしたいです。
・がんばってください！自分もがんばります。
・復興も大事だと思うけどあんま、被災地被災地ゆってほしくない
・石巻をもっとかっきづけてください
・早く復興してほしい
・今だけじゃなくて先のことをもっと考えてほしい。
・現在の石巻はがれきなどがだいぶなくなり、きれいになってきました。しかし、何もないさら地が多いので、何か店などを増やしてほしいです。
・またかっきのある町がもどってくるように若い人の力をかりてがんばってください
・震災なんでどうでもいいと思ってる人が少しでもいるから復興がすすまない地区が多いんじゃないんですか？私はそう思います。
・被災したのは事実だけど、復興してきて前に進んでるんだから、いつまでも被災地被災地言わないでほしい。
・復興かつどうがんばって
・しっかり子どもや、僕たちのまちのことをもっとよく考えてほしい。
・バクチうってるひまがあんならすこしでぼきんしろ
・もう一度みなと地区に住むことはできるのか。
・仮設住宅で、まだ不自由な生活をしている人がいるから、支援物資などの配布を継続してほしい。
・少しずつ復興してきているから、今まで通りコツコツ復興に向けて活動していけばいいと思う。
・自分たちもがんばっているから色々深くなやまないで
・協力しながらこれからもがんばりましょう。
・募金であつまったお金で、町のふっこうを支えんする！
・新しいたてものをつくるより、元の町にもどすのをゆうせんてきに考えてほしい。よけいなことはしなくていい。今まで、あつめたお金は、何につかったの。ふっこうは？
・頑張ってください。
・頑張ってください。
・もうちょっと石巻市の復興をがんばってほしい
・見た目復興しているとはいえまだ震災前ようにもどっていない所たくさんあるのでそこを早く復興してほしい
・町中でのがれきはあまり見なくなったが、海に近い所ほどひどい状況のような気がする。宮城は水産で有名なのに…
・今ごろふっこう活動しても特に意味ないと思うよ。だって市のやつらとかが金けちってんだもん。おしまずにだせ。
・ちゃんと行動しろ。震災のお金をむだに使うな。あと、復興って言っているわりには、時期が遅すぎるので、今のままでも良いと思う。それと、市長はお金とか、行動をしなさすぎる。
・色々がんばってください
・復興のために一緒に協力し頑張りましょう。
・もう少し道路の整備をしっかりしてほしい
・震災があってもみんな元気に過ごしている。

・早く復興できるように、できるかぎりのことはしていきたいと思います。
・誰にでも優しく！募金
・笑顔でいる！！
・仮設が多くなってきてふつうの家にくらしてほしい。
・だんだん町とかがきれいになってるん
・かせつをこわす。
・何でも良いので役立つ事をしてほしい。
・家をいっぱい建てて欲しいです。
・地震、津波に強い町へ
・復興なら公園にかせつがあるから公園を増してほしい。
・募金活動とかくらいな、私達にもできるから、やれればいいなぁと思ってます。・公園とか、遊ぶ場所をふやしてほしい。
・はやく復興してほしいです。
・つなみがくるとこに木うえて、林つくればいい。
・よりよい町にしていきたい
・少しでも災震前のくらしに戻れるようにがんばってほしい。
・復興寄付金の具体的な使い道を教えてほしい。・仮設のあと地をもとにもどしてほしい（仮設がなくなったら）。・早急な工事作業。・被災者の心の支援。・へびたに住たくが集中しているなどの過疎化対策。
・早く復興してほしい。復興についての話を聞きたい。
・復興復興って言ってるくせに全然進んでないと思います。
・家族が死んだ人の気持ちなんかわかるはずがない。
・石巻市の復興は、少しずつ進んでいると思います。
・がんばれ～
・震災後あそぶ場所がかぎられてしまったから、あそぶ場所をふやしてほしい。
・「復興しているのはごく一部だ」ということ。
・復興にむけて頑張っているところだと思います。子どもの私にできることは少ないと思いますが頑張っていきたいと思います。
・体を働すところ
・もらったお金の使い道を無だにしないで、ちゃんと復興に役立ててください。
・震災できずついている子どもたちだけで人をはげましたい。
・まだまだ仮設校舎で勉強している人たちがいっぱいいます。不安や不満がたくさんたまっていると思うので聞いてあげてください。
・女川を少しでもはやく復興させてほしい
・前の石巻市よりもっといい町にしたいので、これからもよろしくおねがいします。
・協力をして楽しいまちにしたい
・少しずつでいいです。みんなで前を向いて頑張りましょう！！
・あそぶ場所がない。あってもせまい
・子供を大切に。
・子どものことを考え、行動しろ
・もっとがんばってください
・復興目指して頑張ろう日本！！
・一つの視点ではなく、さまざまな視点からもっといろんな石巻を見て
・子供と大人の差別をしないでほしい
・大変だと思いますが、頑張って下さい！！
・どんなときでも笑っていてください。
・東京オリンピックのつくるお金があるなら、まず、復興してほしいと思います。
・貧しい人達のために募金活動をしよう
・道路の整備をちゃんとして下さい
・復興を最優選でやってほしい。
・早く復興してほしい。
・早く復興を進めてほしい。
・桃生はだいぶよくなりました。ありがとうございます。
・地域経済（特に沿岸）の活性化、地区単位での結びつきの強化。
・震災がおこった前より、より良い、住みやすい市をつくってほしいです。
・復興に協力できるような機会があれば協力したと思っている
・「ふっこうをしよう！」と言っていてもなかなかふっこうが進んでいないので、早くふっこうをしてほしい！！！
・これから先の未来を生きる人達に、このような震災があったことを伝えたいと思います。
・まわりの人をはげます
・まだ復興の手がいきとどいてないところが多い
・風化させなければいいと思う。
・頑張れ！
・はやく復興してほしい。
・募金、手伝い
・手伝い
・私達はまだ子供だけど自分にできる事は行いたいです。苦しい思い出もできましたが、前を向いて頑張りましょう。

・募金活動など自分たちにもできることがあると思うのですが、それ以外はどんなことがあるのですか？
・働けニート
・復興といっても、かかわる機会がない。
・募金をよびかける
・復興するまでに何年かかるか分からないけど、絶対諦めないで、活動してほしい。何か手伝えることがあれば、協力したい。
・かせつにいる人達に家 or アパートをかす的な。
・石巻市を、これからもっと良い場所にして、受けついでいきたいです。そのために、復興に向けての活動にしっかり取り組みたいと思います。
・ありがとう。
・過度な復興支援はいらない。
・僕たちもがんばるので大人もがんばってください
・１日を大事にしてください。
・石巻市の復興を災害を受けた人たちのために頑張ってください。
・復興をがんばってください。
・早く復興してください
・復興には時間がかかると思いますが復興作業を頑張ってください。
・苦しいことやつらいことがあっても今を生きよう
・みんなで頑張って復興していきたい。
・より早く復興につとめて下さい
・子どもたちも地域の事を考え、行動したい
・もっと子どもが遊べる公園をつくってほしい。
・仮設住宅はいつまであんですか？
・津波の時は物とかお金より、自分の命を優先して下さい
・震災前まであったお祭りをまたやってほしい
・もっと明るい町にした方が良いと思いました。頑張って下さい。
・もっと私たちに今の復興情報を教えたり、子どもたちの意見も大事にしてほしい。
・がんばってください。
・震災前の石巻に戻したいと思う。
・もっとイオンみたいなところをつくってほしい
・道路を、もっと平にしてほしい。
・自分たちが大人になったら復興のためにがんばります。
・はやく町をなおして
・被害が大きかった石巻でも私が住んでいる地域はそこまで被害が大きくなかったので、大変だった地域の現在のようすがどうなのか、分かりたい。
・もっとボランティアとかふやしてほしい。もっと遊ぶとこをつくってほしい。
・私は、子どもまちづくりクラブの活動に入っているので、その活動を伝えたいです。
・石巻にも、大きなモールとか作ってほしいです！！もっと芸能人呼んでほしいです！もっと東京からのブランドを置いてください。
・子
・もうちょっと大きい図書館が欲しい。
・もっと、あそべる場所を増やしてほしい。
・頑張って下さい。
・いろいろな施設が建ってきて環境が良くなってきていると思う。
・がんばって下さい
・頑張ってください。
・子どもたちは、自分たちで一早く石巻のふっこうをのぞんでいます。自分たちができることはしるので子供たちにも協力させて下さい。
・とくに伝えたいことがありません。
・復興がんばってください。
・頑張って下さい
・ゲーセンふやしてほしい
・二度としんさいがこないよういのる。・あぶないときは、日赤とかに逃げろ。
・震災前と同じ環境にしてほしい。
・ゲームセンターを増やせ！！
・ゲームセンターをふやせ
・天皇陛下や、政治家、野々村議員などが、石巻に金を支援したり、復興の手伝いをすればいいと思うんですけど。
・津波来ない町にはできませんか？
・復興にもっとお金をつかってください。
・頑張ってください。
・もうちょっと役立って下さい
・ボールを使って遊べる場所が欲しい。
・遊ぶ場所がない
・ボランティアについての情報など、私たち中学生にもできることがあると思うので、伝えてもらえれば参加することができると思う。
・今のおとなにできることは、やってほしいと思う。でも、それが本当に今の石巻にしつようなのか深くかんがえてから、行動にあらわしてほしい。

・石巻は復興していないという人は多いけれど、人によるというのもあるんじゃないかなと思います。復興にゴールはないと思うけど、ゴール目前までたどり着いた人はいるはずです。そういう人が、まだ、歩きだせてない人の支えになることが、これからの石巻の復興で大切なことだと思います。石巻の中で助け合い、励まし合うことで、本当の復興へ近づけるのだと思います。
・まだ、そのままの学校や、戻れていない学校があったら、子どものために早く学校を直してほしい。
・仮説でこんなんな生活を送っている人がいるので、１日でも早くこんなんを乗りこえてほしい。
・住むところが無くて、家を建てたりもしているけど、まだかたづいていない店などもあるから、その辺を中心にやってほしい。・道も危ないところもあるので、なおしてほしい。
・これからもがんばってください。
・まだ時間がかかるかもしれないけど頑張ってください。
・子供だっていろいろ悩んでますよ。
・道路をなおすのに力を入れてほしい。
・まだ、道路のほそうがされていないところなど、あぶないところがあるので、そういうところに、お金を使ってほしい。シンボルなどにお金はつかわなくてもよいと思う。
・少しずつでもいいので、復興をささえよう
・通学路を通ったりして、まだまだ危険だなと思う所があるので、ケガを誰かがする前に、補修した方が良いと思います。
・少しずつ前へ。
・なんとかもとの町に戻れば良いと思います。
・石巻市の復興が進んでくれれば、できることも多くなると思います。復興をするためなら、できるかぎりのことをしたいです。
・子供も石巻の復興に少しでも力をかせるよう、そういう機かいをつくってほしい。
・オブジェよりも道路などを直すほうに金を使ってほしい。もったいない。
・早く、復興させるには、日本中の人達の力が必要だから、かかわる機会があったら、やってみたい。
・昔の状態に戻さないで、今からでも町を発展させてほしい。
・これからも復興に向かって町づくりをがんばってほしいです。
・生きているうちにたくさんの子供たちに語り継いでほしい。
・募金をもっと心がけたいと思う。
・復興住宅ができてきているが、応募した人みんな入れるわけじゃないし、なやみを話したくても、話せない人がいる。
・私たちにも手伝えることがあったら、言ってもらいたいです。石巻の復興に協力したいです。
・震災で悲しい思いをしたけども前向きに生きている
・少しでも、前のようにもどってほしい。
・震災前のような生活を送りたい
・「復興、復興」って周りは言っていますけど、実際本当にできているのでしょうか。〈未来のため〉なんてキレイ言いっている場合ではなく、現時点でのひさいちのじょうきょうのかくにんをしてほしいです。
・震災前のような石巻の姿をとりもどせるようにがんばってください！応援しています。私も小さいことでも協力できることがあれば協力したいと思います。機会があれば…。
・どんどん、復興が進んでいて良いと思う。自分たちも、できることをしたい。
・一部だけでなく、石巻の全体を見て復興に取り組んでほしい。
・復興はみんなの協力がないとできないものだから、大人から小人までみんなで助けあうことが必要。
・仕事とかがあって忙がしいと思いますが頑張ってください。
・子供のきもちを考えて行動してほしい
・今は、公園にまだ仮設があるけれど、小さい子のために公園を増やしてほしい
・小さい子供のために公園を作ってほしい。
・子供達だって復興に向けて頑張っている。いろいろ参加している。
・仮設住宅に暮らしている人々がまだ大勢いるので、その人たちのことをもっと考えてほしいです。
・スポルススポーツプラザの復活を…。
・募金をもっとした方がいい。
・はやく、復興させてほしい。
・はやくすべてがもとどおりになればいいと思います。
・もう復興していると思う。
・子供だからって、何も出来ない訳じゃない！！
・都会と復興に使う、お金のバランスを考えてほしい。
・自分達になにができるかを考えたいです。
・はやく復興したい！！なので、がんばるぞー
・もっと頑張ってほしい

・子供は、子供なりに、出来ることはしてがんばっている。
・石巻もこの4年で少しずつですが復興が進んでいます。本当に感謝しています。子どもである私達にも、同じ震災を味わった者として、何かお手伝いできることがあれば、声を掛けて頂きたいと思います。
・もう少し復興に力を入れてほしい
・一人一人が復興について理解するべき
・まだ、あまり復興が進んでいないと思う。
・頑張れ
・今の石巻市の現状がよく分かっていないので教えてほしいです。
・部活とかでいそがしい子どもの分がんばってください
・早くがれきとかをなくして、復元して、また平和なくらしをしたい。いままで通りに。
・もっと子供のことを考える。
・安全に復興活動してほしい
・法律のこととかも大事かもしれないけど復興を優先的にやってほしい
・もう少し共用施設の復興を急いだ方がいいと思う
・すぐではなくともはやく元の石巻にもどってほしい。
・復興がどうのこうの言ってる割に進んでないですよねー。手伝えることがあれば手伝うから言ってほしーです。
・はやくもとにもどるといいです。
・石巻市の復興について、おとなには、もっとひなんするということの大切さを伝えたいと思うし、生きている喜びを知ってほしい。
・震災前とは違って、環境がくるしくなっていること。
・前の石巻の姿にもどるだけでなく、もっと活性化していってほしい。
・自分のすんでいる所は、津波もきていないけど、公園に仮設がずっとあるので、仮設の人が住む家をつくってほしい。
・もっと復興すれば良いと思います。
・震災のことを話したり、復興計画などを工夫したりすることを伝える。
・少しでも震災によって落ちこんでしまった人の心をいやしてあげてほしい。
・がんばって下さい。
・前みたいな生活にもどるにはまだまだ時間がかかります。今は、復興の思いがうすれてきていると思います。
・町のかっせいか盛り上げること
・子どもが何をしたらいいか分からないので、もっとはっきり、子どもにもできることを示してほしい。
・ありがとう！！
・復興にできるだけ、はやく進めてほしいです。
・復興があまり進んでいない
・差別。
・おそすぎる
・頑張ろう！！
・一日、くらやみですごしたこと。
・これからもっと復興していってほしい
・がんばってふっこうしてください
・復興とかいってるけど、全然変わっていない気がする。
・もっと津波の威力を伝える者を残したほうがいいと思う。言葉だけでは語っていくのが難しい。
・首都に新しい建物を建てたりする前に被災地の復興を優先しないと全員が満足した生活ができないと思います。
・もっと活動する
・蛇田地区にテニスコートを作ってほしいです！
・十苦二七四
・復興、復興といっていますが、日本の税金が何に使われているのかもっとはっきりぐたいてきに言ってほしい。本当に復興は進んでいるのか。道路や町の復興だけでなく、被災者へもっとなにかしてほしい。
・早く復興してほしい
・あんまりスムーズにすすんでないきがする。本気出せばもっとできると思う
・みんな応援しているのでがんばってください。
・がんばって。
・小さなことからコツコツと。
・お互いがんばろう！
・地域の行事などをふやし、そのときに募金したりして復興をすすめる。
・復興に向けて仲間といっしょに頑張りたい。
・復興するのは難しいけど今、頑張ってやっています。
・１日でもはやく、仮設住宅に住んでいる人達の住む場所を提供してほしい
・自分達では出来ない事をしてもらったりすることがあったので、とてもありがたいと思う。
・僕たちができないことを、大人たちにしてほしい。
・忘れてはいけないことだと思うので語りついでほしい。
・人間は自然には勝てるわけがない。自分なら大丈夫と思うな。
・今ががんばり時なのでがんばってください。
・もっとはやく復興活動をしてほしい。
・口で言うより先行動するべきだと思う。

・前と同じようにしてほしい
・復興のために頑張ってくれてありがとうございます。
・頑張って下さい
・もっとビルを建てろ
・仮設にいる人達が早く新しい家に住めるようにサポートしてほしい。
・ありがとう
・歩道、車道をでこぼこの所がまだ残っているので平らに直してほしいです。
・ふっこうきんをちゃんとつかってほしい
・石巻の復興すすんでいると思いますが、もっと早くできるはずです。
・もっとぼきんする場を！！
・政府は、震災直後は、復興、復興と言っていたけれど、今となっては、他のことばかりで、全然復興のための話題が全然出ていない。もっと話題に出してもらえれば、風化することもないし、もっと復興に力を入れられると思います。
・がんばってください
・もっとはやくしてほしい
・もんくを言わない
・今、いろいろと大変だけど家を建てることを優先してほしい。
・頑張って！
・はやく前みたいな石巻にもどりたい
・石巻市の復興にはもっとお金をかけるべきだと思います。
・一日でも早く、復興をめざしてください
・がんばってください。
・がんばってください。
・少しずつでもいいので、石巻をいい町にしていってください
・大人には、動ける力と、考える脳が子供よりあるので、大人が動いてくれると助かる。
・復興がんばっぺなどゆったりシールなどがあるけどみんながんばっているのだからゆわなくていいと思う。
・震災があって大変な思いをしている人がまだいる。
・復興があまり進んでいないからもっと進めてほしい。
・一日でも早く石巻市を復興させてください
・いま、「石巻がどのような情況か」というのが、子供には全然わからないので、自分に何ができるかも分からないです。なので、もう少し分かりやすく教えてほしい。
・石巻て復興してるのか
・仮設を広く作っても、住んでいる人たち皆が仲良くしないと1人になってしまうから、皆で地域の交流などを増やしたほうがいい。
・復興頑張って下さい。
・がれきのせいびをもっとがんばってほしい
・みんなで力を合わせてもとの、宮城県にもどろう。
・まだ完全に復興してはいません。石巻などは、ちょっとよくなったけど、じゅうさん浜など、を見てください。荒地のままです。どうにかしてください。
・もっと高い所に家を作るべき
・子どもでも、復興に関わりたいけどできることがあまりない。協力を呼びかけてほしい。
・復興がんばって
・生きれる時間を大切に生きる
・石巻の復興はまだまだなのでこれからも復興に向けてがんばりましょう
・子供だけではできないこともあるので、できれば大人が計画をたててほしい。それを子供が手伝います。
・ちゃんと復興すればいい。
・まだ復興していないところがたくさんありますが、それに負けないで新しい町をつくりましょう。
・支え合って生きていこうということ
・少しずつでも、いい町に近づいて、いきたいです。
・はやい復興を。
・今が大変でも、その今を乗り越えたら、きっと明るい未来がきます。
・私も復興のためにぜひいろいろな活動に取り組んでいきたいと思いました。
・津波があって、砂浜が減り、工事も進んで、人が海にふれることが少なくなっていると感じます。海が好きな私は身じかにあるのに入る場所、美しい砂浜がけずられていくのが残念です。
・困った時はお互い様だから、助けあおう。
・もっと、石巻がどうなってるか伝えてほしい。
・遅くてもいいから、少しずつ復興が進んでいってほしい。
・何もない
・国の予算をもっと復興に使ってほしい。
・海
・笑顔大切
・石巻市は確実に復興の道を進んでいます。これからも、市民全員が協力して、石巻市を震災前よりも活気溢れる町にしていきましょう。
・前の石巻市以上の石巻市に皆、協力してしよう

・復興頑張って下さい
・津波の被害にあっていないのでどこまでが津波の被害をうけてそこからどのぐらい復興してきているのか、復興はぐたいてきに何をしているのかもっと伝えてほしい。
・「復興」と口ばかりで行動していない。もっと、行事などを催すべきだ。
・今でも困っている人はたくさんいると思うので、助けてあげてください。そして、できるかぎりの支援をしてください。
・町の片付けを早くして下さい。
・募金たくさん入れてください
・これからも、募金などをしていき、今回の震災の事を忘れないようにする。
・仮設住宅でのお祭りなどの開さいにより、多くの人が1人で生きなくてもよくなった。今、生きている人があの日のことを忘れず、それでも楽しく生きれれば、自然と石巻は復興すると思う。
・石巻を良い町にしていきたいけど、ひさいした事を忘れない様にせきひを立てたりしてほしいです。
・げんぱつをなくしてください
・復興という意味を私はあまりしらないのですが、石巻市に住んでいる人々が協力していかないと、復興（石巻市の）はできないと思います。私もまだ子どもなので役に立てないとは思いますが、少しでも多く役に立てるようにまわりの人たちをはげます、仮設住宅での手伝いなどやってみたいなと思いました。
・義援金を有効的に使ったらいいと思います。
・色んな所からもらった義援金（その他）をもっと幅広く、有効的に使ったら良いと思います。
・何か行事をやればいいと思う。
・まだ震災から3年半くらいしかたっていないにもかかわらず、同じ日本の中でさえ風化が始まってしまっている。きちんと過去に起こったことを理解しなければまた未来で何かあった時にしっかりとした対応ができないのではないか。当事者以外は関係ないという考え方ではだめだと思う。
・まだまだ街が完ペキになおったわけでは無いので、みんなで協力して、なおしていってほしい。
・復興には、まだ時間がかかると思いますが、またあのきれいな石巻にしてほしいと思っています。
・前にニュースで、復興のために集められた募金が他の所で使われていた。ということを聞きました。募金した人は復興のために募金をしてくれています。色々と政治が大変なんだと思うけれど、やっぱり、早く復興できるようにして下さい。
・一刻でもはやく石巻市が完全に復興できるようにしてください。
・津波のがれきの受け入れをなぜ拒むのかわからない。健康に害はないって証明してんだから受け入れてほしい。そうじゃないと復興なんて始まんないし口だけになる。
・まだ仮設住宅がいっぱいあり、早く普通の一軒家に住めるようにしてほしいです。
・東京オリンピックのことばかりで、石巻市の復興が進んでいない。
・困っている人達を助けて下さい。みんなの意見をたくさん聞いて下さい！！
・頑張ってください。
・分からない
・もう3年半もたったのにまだまだ元にもどっていない所もあるが、じょじょに復興していると思う
・なんでも金がないからできないで済ませちゃいかんよ
・今、がれきをどこにうめるか問題になっていますが、放しゃせんが入っているから、がれきを、こっちにうめるの反対、などと復興に協力してくれない人もいます。なので自分だけでも、協力できることがあれば協力したいと思います
・もっと石巻市の復興の情報を多く伝えてほしいです。
・かせつに住んでる人たちがかわいそう。
・子どもたちにできることは何？
・１日でも早く、石巻市が復興する日を待っています。

中学３年生

・オリンピックをかいさいする前に全て復興しなければならないと思う。
・まだ心配な状況にいる人がいる
・Fight！
・私は海がすぐ見える所に住んでいて不安なので早めに防波ていを作ってもらいたいです…。
・復興は思った以上に進んでいないこと。
・復興する復興するって口だけで、あまり進んでない。
・頑張れ！！
・絶対に大人たちだけが得をしたり不平等なことはなくしてください
・現ざいも復興していない地域がある
・いろいろと大変だと思いますが、頑張って下さい。
・先のことばかりを考えすぎて、目の前の問題を解決していないのは理そうが高すぎるのではないでしょうか

・子供も今の石巻の状きょうを知りたい
・まだまだ町や市の方は復興していない。
・早く復行させてほしい
・できるかぎり、中の濃い事をしてほしい。
・むだつかい
・税金むだに使うな
・復興というよりも、今まで以上の石巻にしてほしい。そのためにも自分でできることがあれば、してみたいと思う。
・頑張って。
・復興を早く進めましょう。
・皆で協力して早く前の石巻にもどりたい！！
・石巻市は序々に復興していっていますが、まだ完全にとは言えません。私達もできる限りの事はしたいと思うので、皆さんも協力お願いします。
・口より手を動かせって大人が言っていました。
・頑張って下さい。
・がんばろう！！
・頑張ってください。
・がんばろう石巻とか言ってる人がいますけど、一応行動してるようですがそれより言ってばっかいるイメージが強いと思うので、中学生のくせにと思うかもしれませんががんばろう石巻ばっか言ってないでもっと具体的にうごいてほしいです。
・復興！！なんて一部が言ってるだけで震災なんかなかったかのような生活の人もいる。もっと何かしてほしい
・大人のことだけではなくて、子供のこともちゃんと考えてほしいです。こわれたたてものをかたずけるのもたしかに大切だと思います。でも、子供の心のケアの方が大切だと思います。
・復興作業おつかれさまです。ありがとうございます。
・早くしてください。お金は大切に。
・お金の使い方を考え直すべきだと思いまっしゅ
・放射線とか気にするのは大事だと思うけど、気にしすぎて悪く言うのはよくないと思う。
・たばこやお酒にかけているお金を少し被災地のためつかう
・堤防をつくるのは良いことだと思いますが、海を見えなくするのはどうなのでしょう？それにお金を使っている割には、あまり復興が進んでないように思います。それと、役に立つのは良いですが、自分のけしきがくずされるのはいやです。（仮設の人が移り住む家について）
・お金で動かせないものがあることを忘れないでください。
・大人だけでなく子供が中心となってできる支援をつくってほしい
・仮設住宅に住んでいる人達の気持ちを考えて歩みよってください。
・被災者面させないでほしい
・もう少し復興に関わる仕事をしてほしい
・あまり復興の状況についてよく知らないので、私たち子どもにもその状況を知る機会があれば、と思います。
・石巻駅前の商店街がもっとにぎやかになったらいいと思います。
・あの東日本大震災のことを忘れず私もできることは積極的に行動していくので大人の人もいろいろと考えて行動してほしい。
・金の使い方をもっと考えてくんねーかなって思う。（特に国・県・市の政治をになっている人達）切に。野々村みてーなやつがいるから国がおかしくなる。あんなんに金使うなら、こっちまわせって思う。
・もう少し子どもの気持ちを考えて行動してほしい。してるつもりかもしれないけどなっていない。そんな表面だけのやさしさはむしろめいわく！
・復興（みんなが納得）するために、頑張ってほしい。
・CG でもいいから映像で残こしていてほしい（できれば本物の映像）陸に乗り上げた船を残こしてほしい
・震災のことお忘れないでほしい。
・東日本大震災をあまく考えないでほしい。・忘れられない日にするための工夫。・原発について馬鹿にするような考えはやめてほしい。
・震災のことを忘れないように次世代に語り継いでほしい
・わすれないように！
・はやく復興してほしい。
・被災の少なかった地域の人は、どんどん忘れていってると思います。実際、私の周りは。話題にすらでていません。忘れないように、何かの日をつくったり、震災の石碑などを建てたら少しはよいと思います。
・忘れないでいてほしい。みんなが思い出せるようなことをしてほしい。
・もう少し石巻市の現状を見てほしい。
・地区ごとに結びつきを強めるために何かをしたい。
・大人はボランティアにもっと取り組んで下さい！・募金に積極的に取り組んで下さい！手本を見せるのが大人ですよね？
・震災のことを忘れないようなとりくみをしてほしいです。
・人任せにするつもりはありませんが今複興をやっている皆さんがんばってください。

・町を元にもどすのも大切だが地域から人が流れているから町をもっと活性化させた方がいいと思う
・どこまで作業が進めば復興と言えるのか。目標を決めないと進み続けないといけないからいつか全部壊れるよ。
・全国のみなさんから支援、本当にうれしかったです。
・大きい町しかほとんど復興していない
・子供の意見をもっと取り入れてほしい。
・被災した人はたしかにかわいそうだけど、命があるだけ、ましなんだから、いつまでも「私たちは被災者なんだから」とか言わずに、その人たちも自分でなんとかした方がいいと思う。
・義援金を自分のモノにしないでほしい。（政治家）
・伝えられるなら、伝えている
・まだ完全には直っていませんが、それでも女川や被害にあった市は直りつつあります。
・避難ルート等の地図、看板を示すなど
・いつまでも「津波だ。」などと言って自分達がひがい者だと思わないでください。それを、女川町などの町に行って言わないでください。
・私達も復興に向かって協力したいです
・子どもにもできる活動を教えてほしいです。
・石巻の中でも、被害が大きい所と少ない所があります。大きい所へ特にかくにんして優先するべきだと思います。
・まずは大人たちがもっと意欲的になるべきだと思う。今、復興に大きく携わるのは大人なんだから、もっと動いてほしい。
・なにもないでござる
・色々つらいことがあることについて。
・復興を早くしてほしい。
・がんばって！
・お金を使うなら、本当に必要としている人に使ってほしい
・あきらめず、ちょっとずつがんばってください。
・ありがとう。これからもがんばって！
・ありがとう
・早く復興を進めて下さい
・偽善者
・今の所は特にない。
・北上にイオンを作って活発にする。コンビニをつくる
・皆で集会所に集まって復興について真剣に考えてほしいです。
・何かにすがっている人が多いので、何か自分の好きなことややりたいことをした方が良いと思う。
・北上にコンビニをつくってほしい
・ちゃんと考えて！！
・家が欲しい。店をふやしてほしい
・特に無し。このまま頑張ってください。
・何がどうなったら復興なんですか。どこまでが復興なんですか
・子供でも力になれること
・お金を下さい
・遊び場
・がんばって下さい
・海水浴場を増やしてほしい
・はやく仮設から出て自分の家に住みたい。・牡鹿にお店を増やしてほしい。
・何も協力しない人などが少しでも復興にかかわり、少しのことを積み重ねて大きな復興に結びつけていきたいということ。
・全てのおとなが手伝ってほしい
・みんなが楽しく過ごせる環境づくり
・震災のことを忘れていられるような気がするのでもっと復興のことについて考えてほしい。
・復旧はしたが、復興まではしていない感じの所がある。安全で活気のある街にしてほしい
・お金がほしい。今だ仮設校舎で生活している学校の校舎の建設
・みんなの意見を聞いて需要のある復興事業をしてほしい。
・国家での復興予産を別の計画などに使われているらしい。
・いいことだらけ
・何か建物を建てるよりも先に、早く家を失った人の家を建ててほしいです。
・大変だと思うけど、震災前のようなキレイな町を取り戻すようにしてほしい。
・早く家を建てる土地を提供してほしい
・復興はおとなだけではなく子どもたちと一緒に活動していけば早く復興すると思う
・無駄使いをしないで、しっかり計画をたててふっこうに役立ててほしい。石巻市の中でも復興が進んでいる地域と進んでいない地域に差が大きいから、１日でも早く被災者全員が安心して生活できるようにしてほしい。
・前の石巻に早くもどしてほしいです。ですが時間がかかると思います。なので地或内で協力していったほうがいいと思います。

・お金を無駄に使わず、慎重に物事に使った方が良いと思う。
・復興計画を子どももわかるように発信するとか、子どもと大人が意見を出し合って考えていくとか大切かなーと思います。
・遊びばがほしい！
・もっとたくさんの被災者と関わって１日でも早く町を元に戻してほしい。
・他人事と思わないでほしい
・復興のために何をしなければならなくて、どのような順序で進めていくかが全然分からないから、教えてほしい。
・早く復興したと感じられることをしてください
・蛇田地区や、石巻地区の中心部は復興したように思われたり、南浜町の周辺が住宅地があったことを伝えたい
・現実から目をはなさずに、前を向こう。
・少しまともな大人になってくれ。
・マークをかえたほうがいい
・石巻市の復興のために子どもでも出来る仕事についての情報をください。
・がんばってください
・１人が動けばみんなが動くと思うので頑張って下さい。
・よけいなことにかねつかうな。と思います。（直さなくてもいーところをなおすなよ。）
・大人の人達は充分がんばったと思いますが石巻をよりよくするため、これからもがんばってくれるとうれしいです。応援しています。
・もっとひどい所を中心に直してほしい
・石巻
・今、日本には、いろいろな問題ありますが石巻のふっこうを１日もはやくふっこうしてほしい
・金をください
・子供たちが主役の祭りを増したら、人がもっと集まると思う。
・震災に合った人が甘えすぎていること。家族を亡くしても頑張っている人がいるのに、いつまでも文句ばっかり言っている人がテレビで流れているから。
・復興がおそい。・石巻にいいところがない
・子どもにも分かりやすく状況を説明してほしい
・被災者だからってなんでもしてもらってあたりまえだと思わないでほしい。「被災者様」になっている。市長とか首相とか「復興をいち早く」と言っているだけでいっこうに復興が進んでいない気がするんですが…？
・仮設住宅や店などの外に、公園などの子供の遊び場を作ってほしい
・海ぞいのていぼうは意味がない、すぐ崩れる。作るんだったらちゃんとしたもの。
・明確な目的を持って政策を進めてもらいたい。子供の意見をはねつけないでほしい。道路や建物の整備、建築をもっと充実したもの、優先順位がしっかりしたものにしてほしい。次の災害に備えての政策や、備蓄などを充実させてほしい。避難所を増やすか、拡張、市、県以外への援助してもらうつながりを広げてもらいたい。
・絆とかどーでもいいから、家の整備や市長とか、町の大人がもっとしっかりしないとだめだと思う。
・ガンバレー！
・がんばれ
・たち町の復興や沿岸地域の復興に力を入れてほしいです。
・あまり伝わってこない
・もっと復興に勤めていきたい。
・もっと頑張ろう
・石巻は、皆が復興に向けてがんばっているから、もっと復興について知ってもらいたい。
・もっと、復興にかかわって、しっかりしてほしい。
・少しずつでもゆっくりでもいいから復興していきたい。広い公園など子どもの遊び場を増やしてほしい。
・もう少ししっかりと復興を進めて下さい！！
・ちゃんとやろう！！！
・しんさいについて、忘れるのではなく、こくふくして、きずあとは少しくらいのこしておいた方が、これからも、みんな気をつけると思う
・子供にもできることを教えてほしい。また、頼ってほしい。
・震災後より石巻は明るくなったと思います
・少しでもふっこうに向けて、がんばりましょう。
・がんばろう石巻
・行方不明者のそうさくを早急にした方が良い
・復興のための募金はちゃんと復興にあてて下さい。（変なことに使わないで）
・一緒に頑張りましょう。
・がんばって
・道路を造るとか言われているが造るだったら造るではっきりさせてほしい。
・ありがとうございます
・ふっこうしよう
・道路を直をしてほしい

・きちんと考えてから物事を行った方がいいと思う。
・がんばってください
・道路がどこにできるのか速くおしえてほしい。
・震災前よりよりよい街にしていけたらいいなと思う。
・門脇に公園をつくることは少しまちがっている
・大人の言い分だけゆーな。はらたつだけ。子供の気持ち考えて。
・頑張ってください
・子供も色々復興について考えたり、なやんでいること。
・この復興で人との助け合いを改めて知ってほしいと思う
・もっと子どもの話しも聞こう
・道路
・阿部総理に言いたい。金の使い方しっかりしろ
・あれからもうかなりたちます。だんだんと関心がなくなり、ほうちされています。なぜやめるのでしょう。かだんなどもほうちされ、今では草だらけ。すいぼつした家もそのまま。少しは良くなりました。ですが、まだまだ目につくつめあとはたくさんあります。今こそ協力していかなければいけないのでは。
・もっと速くすすめんかい
・さっさとしろ
・がんばってください
・これからも、石巻のためにがんばってください
・石巻市をがんばって支えていってください。
・お金のつかい方。今の政治についておかしい。復興住居がおそい
・おもってる程、楽じゃないぜ
・安倍総理イヤです。
・子どもを守れ。
・復興全然していない
・この大きさじゃ書ききれない
・もっとはやくふっこうしてほしい
・はやく仙石線通してくれ
・安全なつり場を作ってほしい。
・前よりも復興しているのでこのまま続けてほしいと思う。
・公園を増やしてほしい
・何かをしたいにしても、方法や場所などがわからないのでできないから、もっとわかるようにしてほしいです。
・本当に元にもどせるのか心配。
・街灯がなくて、まっくらだから、街灯つけてください。
・もう少し子どもの意見もとり入れてほしい。国が関わることなので、大変なのも分かりますが、未来をになっていく私たちの意見も入れてほしい
・復興のため私たち中学生にでもできることがあれば何か言ってください。
・子供たちが安全にあそべる場所をつくってほしい。（公園）
・まちの片付をしてほしい
・公園をもっと大きくして、小学生たちの遊ぶ場所を増してほしい。
・がれきや、へどろはどこにかたづけたんですか。
・復興するためのお金よりも、東京オリンピックの整備のお金の方が高いのはなぜか。復興とは何ですか。色んな政治家が、原発や、被災地を訪れているが、結局何かは変わったか。
・頑張れお。仙石線通してよー。
・震災当時とくらべるとだいぶ町はかたづいてきたし、生活も普段どうりに戻ってきたけど、まだまだ仮設住宅で大変な思いをしていることを分かってください。オリンピックで選手村をごうかにするまえにやるべきことがあるのではないですか。
・公園つくってくれ。
・新しい遊び場をください。
・これからも頑張って下さい。
・がんばってくれてありがとうございます。
・頑張りましょう
・大人が「かわろう！ふっこうさせよう！」と思い行動することで小さい子供や大きい子供までがそれをみて、まねをするのではないかと思います。なので、ぜひ、大人のみなさんは進んで協力おねがいします。
・復興住宅をかんせいさせる
・はやく元どおりにして
・震災がおきて建物がほとんど流され残った建物もけっこう壊れています。残った建物がここまでひどかったんだと見せてあげたいと思いました。
・まぎ山トンネルを自転車 OK にしろ。みんなこまっている
・早く復興するようにがんばってください
・子供達の遊び場がほしい。
・速く町をなおしてほしい
・たくさんの人が協力し合って少しずつでもいいから復興していきましょう
・もっと社会を学べ！！※今の市長（亀山）ではダメだ！！石巻の保険会社の人が 2040 年に石巻という“市”が消えるということを、知らないのでは、話にならない。
・新しい渡中の建設をはやく
・おとなの意見だけでなく子どもやおとしよりの意見を聞く

・ボランティアが来ててもそのボランティアがお金もらってちゃ、ボランティアと言えないと思う。働いているのと同じことだと思う。
・お金をムダにしないで、がんばってください。
・みんなが笑顔でいること
・震災で家族を亡くしてしまった人へのはいりょと思いやり等
・頑張って下さい。
・早く復興できるようにしてほしい。
・いつもありがとうございます！公園がほしいです。
・母校の新校舎を早く建ててほしい。
・優先順序が間違っていると思います。
・子供でも出来ることがあるということ
・震災前の石巻市に復興できるようにしたいです。
・もっと復興を早めてほしい。
・早く復興してほしいという声はありますが、広島のこともあるので大変だと思います。頑張って下さい。
・もっと遊園地やプールなど子どもが楽しめるような場所を作った方がいい。
・少しでも子供の意見を聞いてほしい
・少しずつでいいから、町をきれいにして、前に自分たちが、くらしていた、場所にもどれるように、してほしい。
・震災を知らない人が多くいる。
・はやく、ていぼうをつくってほしい
・子どもの気持ちも考えてあげて～。
・ただ、がんばろうとか言っているだけでは何も解決しない。
・町にごみがたくさんおちているので
・子どもたちができる事は何ですか？
・いつまでも被災地扱いしないでほしい。そういう扱いをするくらいなら、もっと何かしてほしい。
・過去ばかり振り返らないでほしい。いい加減前を向いて、現実受け入れればいい。立て直せばいいじゃん。時間かかんのはしょうがないじゃん
・がんばれ
・むだなことにお金をつかわないでほしい
・行事をふやしてほしい
・町の片付けをしたい。
・少しずつ復興しているのでみんなで助け合い、協力していきたい。
・きっと、まだ復興しきれていない所もあると思うので、これからも頑張ってください。
・ぼうはていをはやくつくってください。
・復興がゆっくりしか進んでいないので、一日も早く復興したい。
・一日でも早く、子供が遊べる場所がほしい
・一緒にがんばろうぜへ～イ
・全然復興していません！
・無だ使いをしない
・もう少し動いてほしい
・だいぶ片づいてはきたけど、前の石巻に戻れてはいないと思った。
・石巻にドームの球場を建てませんか？費用はとてもかかると思うけど。野球をみに来る人やその他コンサートの観客など、たくさんの人が石巻を訪れてくれると思います。
・元にもどればいいと思います。
・ポイ捨てしない
・震災の被害が1番大きかったのは石巻だからもっとテレビで石巻のこと、現状を伝えてほしい
・これからもがんばってほしい。
・ぱぱっと決めてください
・皆が平和にくらせるようになってほしい
・現実をもっと知ってください。
・道路を直して下さい
・公園に仮設を建てるのをやめろ！！・復興するのにお金がかかるばっかり言うな！
・東京オリンピックの競技場を作る前に国が被災地をさっさと復興してほしい。
・建物（市民プールなど）や電車を復旧してほしい
・海がきれいな町にしましょう！！石巻に、ゆうえんちとか、そういうたのしめるやつがほしいです。
・がんばってください。
・がんばろう！！
・はやくふっこーしろ。さっさとしろ。オリンピック4年のばしていいからふっこーしやがれってんだ。オリンピックしてるひまなんてあっかよ。
・もっと自分ら子どものこえをきいてください
・オリンピック事業をしてる暇あったら復興にせんねんしろ。
・あの出来事を後世に伝えることが大切だと思います。
・大人以上に子供は震災があって今まで以上に不安があると思います。中学生、高校生は自分で判断できますが、小学生、幼児はできないので守ってほしい！
・仮設住宅ばかりで、周辺に公園など子供が遊ぶところがない。

・震災前より地震や津波に強くしてほしい
・石巻市は段々と復興していますが、まだ、不自由な生活をしてる方がたくさんいるので、がんばって下さい。
・頑張ってください
・頑張ろう！
・子供は子供なりに、震災や復興について考えています。大人の方々に、そういう考えについて見守って頂けたら嬉しく思います。
・お金を本当に必要な人にわたすとか、もう復興が進んでいる所はあまりしえんしなくて良いと思う。
・復興できてるところはできてるけど、できてないところもある。
・もっと、子供の遊び場をつくってほしい。
・全ての人に対してよりよいまちにしてほしい
・石巻市の復興は他市よりも遅れているのでもっとボランティアの人たちに遅れている現状を知ってもらいたいし、復興していく様子を見ていってほしいです。
・無駄なお金を使うならぼきんした方いい。1ヶ月のたばこ代をぼきんに使えば多くの人が助かる。
・がんばってください
・地域の方々がより良い生活ができれは私はそれでいいです。また、災害でひなん道路の道路のせいび、ほそうなどして下さい
・かせつじゅうたくがたってから年々子供達のあそぶところがへっていると思う。（広場）（公園など）
・おつかれさんです！！
・がんばれ。
・子どもである私は何もできないので頑張ってもらいたい。
・ニュースなどでよく見る大人同士が話し合いでもめている様子が情けないなと思う。
・私は、よく、自分の父親に「震災のこと忘れんなよ」とか「忘れてるよな」とか、いろいろな事を言われます。でも、かんちがいしないでほしい。私は、震災でひいおじいさん、ひいおばあさんを亡くしています。他にもいろんな人が大切な人を亡くしているでしょう。それなのに、「忘れる」なんて、ありえません。小学生でも、こういうでしょう。それほど、私たちの心に、あれは傷をおわせたのです。だから、忘れたりは、ぜったいにしない。
・仮設住宅に住んでる人達に家を造ってあげてほしい
・一生懸命頑張ってください
・復興できていますが、かんぜんに復興できているわけじゃないのでできるだけはやくできるようにしてください
・施設をもっと建てるべきだと思う。
・石巻の復興は、思ったより早く進んでいると思う。周りを見ると風景が変わっていて悲しい気持ちもあるが、さらにみんなが協し、完全に復興できればいいなぁと思います。
・津波で被災した人達のことを優先に考えるべきだと思います。
・がんばろう東北。
・家をもっと早く建ててほしいと思います。
・復興をもう少し進めてほしい。
・もっと復興を進めた方がいいと思います。
・早く復興していく必要があると思う
・復興が進まないよねー
・復興のためにボランティア活動をしてください。
・復興に向けての活動を頑張ってください。
・少しでも早く石巻市を復興させてください
・義援金を無駄に使わないでください
・もう少し、復興に関して、できることを探して、もっともっと活動してほしい！！
・みんなの公園をかえして下さい。
・ひさいした人ともっとたくさん語り合う
・今まで通りに戻すんじゃつまらない！！今まで通りを目指すんじゃなくて、新しい石巻を作るようにしてほしい。そうすれば、いつか絶対、震災からみんな乗りこえられるから！
・もうじゅうぶん
・持になし
・早く復興はしてほしいけど、ゆっくりでいいから新しい大きな未来をつくってほしい
・いくら復興に関わりたいと思っても、子どもだというだけでいろいろ言われます。復興にたずさわりたいと思うのは子どもの方が人一倍強く思っているはずです。それをわかってください。おねがいします。
・くじけず、頑張ってぇー！
・忘れるな
・がんばってください
・がんばってください
・これからもがんばっていただきたい。
・もっといろんな人に知ってもらいたい
・子どもは大人が思うほど子どもではない。
・はやく少しでも復興してもと通りになるのを持つ
・復興復興と言っていつまでかかんのや政府、やんないならやんねでいろ
・がんばって下さい。

・この先も忘れられることなく全てのことを後世に語り継いでほしい。
・人をはげますことは同じ体験をしたことがある人しか分からないと思います。その人達が集まれる場所をつくり環境を整えることを考え話し合いをして下さい。子供は少なからず傷ついていると思います。無料で行ける旅行などの企画をしてほしい。
・がんばる。
・支援金が道路を直すのに使われたり、企業におくったりしますが、個人にはほとんど
・イベントをするのもいいけど、地盤沈下でガタガタの道路を直すなどもっと現実を見るべきだと思う
・市立病院が駅の近くの駐車場に建てると聞いたけど、一m以上も水没したばしょに病院をたてるのは、おかしいと思う。とにかくふっこうをすすめてほしい。
・まだ道路がデコボコしているところが多い
・公園が少ない。道路などの補装工事をはやく終わらせて欲しい
・仮設を徐々に減らすこと。
・地域の行事への参加を盛んにしたいです。
・復興の計画など
・復興に当たって、やはり未来に震災や防災に対して意識を高める活動を行うことが重要だと思いました。
・地域の人たちの話しをもっと、きちんと、聞いてほしい。
・石巻より福島の方が大変だと思う。
・石巻の未来は私たちがじょじょに変えていけるようにがんばります。
・ふっこうまだですか？公園であそびたいです。野球したいです。つりしたい。
・石巻の復興をしてくれてありがとうございます。少しずつでもいいのでお願いします。本当にありがとう。
・復興がんばって
・復興にはとても時間がかかると思います。でも、震災を経験したことによってよりよいまち作りができると思います。
・fight
・頑張ってください
・頑張って下さい
・無し
・たくさんのことを１度に解決しようとしないで
・パチンコをなくしたほうがいいと思う
・原爆があった広島と長崎も復興できたので、石巻もきっと復興できます。
・子供達はもっと色々知りたいです。今どんな状況で復興にはどれぐらいかかって、現状はこうで、原発の影響はこれぐらいあって、もうきっと住むことは不可能で。とか、そういうことをもっと知りたいです。
・新しい物を建てたりするのはいいがそれによって子どもが遊べる自由がない。矢本と石巻の差が大きい。
・いつまでも震災、震災ってうるさい
・もっとこれからについて、話し合うべきだと思う。・私たちも行事にさんかしたい。
・仮設住宅に住んでいられる期間がのびていて、今まで遊んでいた公園で遊べません。遊べたとしても、普通なら楽しく大きな声（小さな子が）を出しても大丈夫だけど、人が住んでいるためできない。
・お金のつかいかた
・実際に石巻にきてほしい
・子どもは、子どもなりにがんばってるんで、見守っといて下さい。
・道路の凹凸をなんとかしてほしい
・私のすんでいる所が道路がでこぼこで、よってしまう。へんなお金にするならそこにつかってくれ！
・もう十分ですよ。
・みんなで復興頑張ろう
・東日本大震災から3年以上たっいて、これから生まれる人たちはこのことを知らないと思うので、語り継いで、忘れないものにしたい。
・お金の使い方を考えたほうがいいと思う。
・頑張れ
・政治家の人やニュースなどの人はほとんど石巻市が復興していないことから目をそむけているような気がします。口でどうこう言っているだけではなくて早く行動してもらいたいと思っています。
・未来を担う子どもたちのために今の現状に目を向け、少しでも学校へ通ったりすることや学舎を安定させてほしい。
・この調子でがんばってください。
・道路整備をしっかりしてほしい
・少しずつ復興しています。
・震災後、がれきだらけだった石巻市が今、ここまできれいになり本校舎に戻って学校生活を送れているのはみなさんのおかげだと思います。本当にありがとうございました。
・たくさんの子どもが遊べる安全で広い公園をつくってほしい。

・まだまだ震災で大変な人がいることを分かってほしい。
・道のでこぼこや、草がはえていて自転車などが通りづらいのでなおしてほしい。
・はやくとはいいませんが、じょじょに復興していけばいいと思います。
・いつもありがとうございます。
・でこぼこしている道路をきれいにしてほしい。曲がっている信号などをなおしてほしい。
・私は、仮設住宅の生活から、震災前の地区に戻って生活することができるようになりましたが、まだ、たくさん仮設に住んでいる人もいるので、復興住宅の計画を早く、進めてほしい。
・少しでも早く石巻市が復興できればと願っています。まだまだ家など建物が少なくてさびしいです。
・もっと行事をふやしてほしい。・道路をちゃんとなおしてほしい。・前の湊の町に戻してほしい。・あそぶ場所をふやしてほしい。
・建物の復興は進んでいるのに、空き地の雑草などはそのまま。“元の姿に戻す”というより、“もっと発展させる”のが大事なのではないかと思う。
・テレビで仮設にすんでいる人の死や苦しみを見ました。１日でも早く仮設からちゃんとした住まいに移れるようにしてほしい。もう少し、中学生、高校生が遊べる・くつろげるような場所がほしい。
・土地関係であいまいなとこをしっかりしてほしい！
・みんながすみやすい町をあんしんしてすごせる町を早く作ってほしい。けど、あんまり町をガラッとかえてほしくないです。
・震災よりきれいなまちを
・もと、家があるいいと思います。
・できることがあるなら、私たちも、関わりたい。
・わかりません。
・ありがとうございました。
・まだまだ完全に直っていないから早急に石巻を中心に東北地方をなおしてほしいです。・色んなとこに大金をかけるならここにかけてほしい。
・ゆっくりでいいので着実に一つずつしっかりと直していってください
・これからも町の復興がんばって下さい。
・子どもも自分なりに考え行動しているということをおとなにもよく分かってほしい。
・仕事だけではなく、子どもたちのこともみてほしい。たしかに仕事もたいせつですが、子どもがなにかなやんでいたりしたら話してほしいです。
・もう少し石巻市を活気あふれる町にしてほしい。
・一日でも早く復興するようがんばってください。
・ある政治家が「7割復興は終わった」と言っていたが、道路や元々あった家が壊れているところがたくさんある。そして雄勝地区なんかは1割程度しか復興が終わっていない。表面上の復興だけでは「7割復活した」とは言えないと思う。
・道路を平らにキレイな道にしてほしい。
・石巻市はとてもきれいなところで魚がおいしいところ
・自己中心てきな考えや行動で街を変えないでほしい
・なくなった人たちを、いちはやく、探してほしい
・早く復興に近づいてほしい
・まだまだ復興なっていないので、もっと早く進めてほしい。
・ちゃんと募金活動とかしてほしい
・一刻も早く石巻を復興させてください
・また津波がきても安心だという町にしてほしい。
・できるのであればもっと速く復興住宅をつくってほしい。
・他国と色々もめてるけど、他国からの支援があって今の石巻市、東北、日本があるからもっと仲良くなってもいいんじゃないかな～。（国交とかよくわかんないけど！！）
・復興早くすすめてほしい。
・これからの未来は、私達１人１人がつくって行く物だと思います。明るい未来を一緒につくりましょう。
・復興するにつれて町もにぎやかになるようにしてほしいです。
・がんばってネ
・はやく、がれきをなくしてほしい。
・お金を大切に！
・まだ、仮設住宅の人たちがたくさんいます。早く、たくさんの復興住宅を建ててほしい。それから、お金の使い道をしっかり考えてほしい。たくさんの人を笑顔にしてほしい。
・色々支援してくださって本当にありがたかったです。まだまだ復興してない部分もあるけど、すごく助かりました。
・１日でも早く腹興しましょう
・私たちも復興に役立てたら嬉しいです。がんばって下さい～！！
・これからも復興を目指して、頑張ってください。
・ん～ない。しいていうなら税が高いわ。
・忘れないようにしよう。
・頑張れ！！応援します！！

・復興がおそすぎる。・税金をこれ以上上げないで！・何かをするにしてもおそすぎる。
・何年かかってるの。
・口ばかりじゃなく行動してほしい。
・完全な復興を目指して、みんなで頑張りましょう。
・働け！！動け！！
・できるだけ早く、効率的に復興を！！
・本当に必要なことから少しずつ再生して本当に皆が充実する仕組みが増えていけばいいと思います。実際に必要なことが復興することで、全員が幸せになるんだと思います。
・以前あった災害での経験や教訓を生かし、できるだけ早く復興させてほしい。
・震災から3年以上たってるのに復興ってゆわれても、もう大丈夫だと思う。いつまでもひ災地扱いはやめてほしい。
・人のことだけじゃなく、犬や猫などの動物に目を向けることは出来ないのか。ぶつだんとかをきふしてあげれないのか。（ちいさいものではなく。）
・もっと細かいところまで目を向けて
・今よりもっとよりよい町を築くためにはどうするか。
・大人の人も色々大変だと思うけど少しでも早く復興できるよう助けて下さい。子供は、子供で復興に向けて考えてます。
・少しずつ復興へと近づいてはいますが、まだまだ完全な復興とは言えないと思います。もっとよく話し合ってほしいです。
・新しいものをつくるより、他にやることがあると思う。
・仮設住たくの人たちをもっと支援してあげてほしい。
・よく分からないことにお金をかけるべきではない。祭りごとや、息抜きも確かに必要だけど、他の事にもっとお金を使ってほしい。
・政府に文句言うなら、自分らで勝手に動けばいいと思う。・工事遅い。
・復興住宅をはやくつくってほしい！！いそいで！！
・もっと小さな子供とか子供の事を気遣いながら、復興していってほしい。
・大人だけ、考えてるワケじゃなーい
・町にあるガラクタを早く片づけて震災を思い出させないようにしてあげてほしい。
・みんなで協力していろいろやって、１日でも早くもとの町に！！
・変なことに金を使わないで下さい！
・日々の生活をとりもどしているから、震災の時に感じたありがたみが忘れかけられていると思います。
・自分は仮設住宅の方々が少しでもはやく自分の家や住める所を見つけられるといいと思っています。なので少しでもはやく復興してほしいです。
・今も、たいへんなじょうきょうなので、もっと多くの人がふっこうにたちさわる。
・大人たちは頑張っているのかもしれないけど、まだまだ復興していないから、もっと頑張ってほしい。
・大人がしっかりすべきだと思います。
・復興をはやく進めてほしい。お金の使い方を見直してほしい。
・まだ完全な復興までは、時間がかかると思います。そこで、大人のみなさんがやっていくだけでなく、自分たちにもできることがあれば行動していきますので頑張りましょう。
・復興に向けてみんなで協力し、助け合いたい。
・自分も復興にかかわりたい
・国は震災の復興にあまり関心がないのではないかと思う。（石巻市に限らず。）
・上にいる人たちが早く復興の手伝いとかしてほしい。・環境を戻してほしい。
・1つ1つの言動にもっと注意したほうが良い人がいたから。気を付けてほしい。
・子どもでもできることはある。やろうと思ってもできない人もたくさんいる。
・あそぶところがない
・公園ない。
・公園ほしい～。
・もっと子供の考えや意見を聞いてほしい。
・10 年後も 20 年後もこ先ずっと石巻市を残してください。
・本当に役立つ事を見極めて予算を使ってほしい。
・自分のことしか考えてない。
・頑張って下さい。
・もっと子どもの自由な意見をきこう
・復興の手つだいができる人からやったらいいと思っています。
・もとの町にもどしてほしい。
・友に頑張っていきましょう。
・がんばって下さい。
・ボランティアにたよりすぎかな。
・復興活動を進めるのに準備がいるのはわかるが、考想だけでなく早く行動してほしい。
・役立たず

・なるべく早く復興してください。
・復興に向けて頑張ってください。
・まず、原発どうにかするべきじゃないですか？！もう3年ですよ！！
・手伝いたい
・ゆっくりでいいから、協力して復興させたい。
・子どもも進んで活動していること。
・石巻の復興状況について、もっと詳しく知ってほしい。
・色々しましょう。
・もっとわかりやすく説明して、子どもから大人までたのしく活動できる方法があってほしい。
・早く復興してほしい
・早く復興を終わらせてほしい。
・今、石巻では、他のことよりも第一に、復興について考えるべきであり、他のことをやっているヒマはないと思います。
・石巻市の復興にはまだまだ時間がかかりますが、経けんが大事
・がれきをてっきょしてほしい。みせをあけてほしい。
・石巻の中でも蛇田地区は比較的軽い被害だったので他の地区に支援をしたい。
・町の方は前と変わらないくらい片付いたけれど、はずれの地域では、なにも進んでないのに、もう、みんなが震災の事を忘れかけていることが、残念です。
・１日でも早く復興してほしい
・失ったものは大きく、取りもどすことは簡単ではないが、少しずつでももどしていこう
・ガンバレ
・石巻の復興を未来につなげてください
・仮設住宅が足りていなく、住む場所がない人がいる。
・子供達を助けてほしい。
・頑張ってね
・少しずつであるが復興してきてるのでこれからもがんばってください。復興と共に震災に負けない町づくりをしてほしい。
・できるだけ早く、少しでも多くの復興をしてほしい
・一部の人だけでなく被災地以外の人の考えも取り入れた方がいいと思う。
・大人の人たちがしっかりと前に出てリーダーシップなどをしっかりする。
・とにかく復興支援お願いします。
・きれいになった場所はあるが、まだなっていない場所もある。
・震災でいろんな所が破壊されているにもかかわらずそこをなおすためではなくそれ以外の所でお金（税金）をつかっていること。（新しいたてものや施設）
・復旧はしたいけど、復興はまだまだだから、みんなで頑張りましょう！！
・遅い。もっと早く計画的に動いてほしい。
・一応きっちり復興はしてきましたが、まだまだたりないと思うのでしえんおねがいします。
・子どもが遊べる場所（体育館、公園）などが使えないので遊べる場所をもっと作ってほしい。田んぼや用水路を工事しないでほしい
・震災について伝えるべきことを伝えてほしい
・原発とかより海をきれいにして欲しい
・しらん
・もっと復興について話し合ってほしい
・津波がきたらにげましょう
・中学生にも少しは頼ってほしい。私たちも協力したい。
・よく分からない所で金を使わないできちんと石巻のために使ってほしい。（市）
・お金のことばかり考えないでほしい。
・頑張っていこう！！
・石巻市の復興をいっしょに頑張ろう。
・復興が遅すぎる。早くしてほしい。
・できれば、震災前のように何もなかったかのような町にしていきたい
・復興できるように頑張る
・けがだけは気をつけて
・早く復興できるようにがんばってください
・けがをしないでがんばってください
・時間が解決してくれる
・がんばってください。
・私達はできることが少ないですが、一生懸命頑張りたいと思います。
・もっと、みんなが協力し合えばいい。子供がもっと過しやすくしてほしい（仮設住宅など）
・後片付けをがんばってください。
・早くもとに戻してほしい。
・少しずつ戻していってほしい。
・みんなで協力してやってほしい。
・昔の石巻市にもどれるようがんばって下さい。
・石巻を取り戻したい。
・震災の前に取り戻す
・がんばって下さい。

・地しんが起きたあとの光景
・笑顔が大事
・おがんばりください
・忘れないこと。
・もっとがんばってください。お金をムダにしないでください。
・石巻には、まだまだ、苦しんでいる人や辛い思いをした人がいると思うのでその方々の、笑顔を取り戻してほしいです。
・大人達の勝手なつごうで裏工作とかしないで下さい。
・必らずしも、津波がきた所だけが大変だと思わないでください。
・ひさいしゃの気持ちになって行動してください。原ぱつどうにかしてください。
・私たちにもできることがあるなら取り組んでみたいと思っています。石巻市の復興がんばってください。
・忘れないこと
・まちの片付け頑張ってください。
・おとなのひとはとても復興にかかわっていてとても感謝しています。
・復興の予算を有効的に使ってほしい。
・よさんを考えて効率よく作業してほしい
・今は大人の方々にいろんな事をしてもらって生きているけど、いつかその恩を返せるよう私たち子供も復興を手伝っていきたい。
・元の町に戻るようにしてほしい。
・震災前と同じように、それ以上に、にぎやかな石巻市にしてほしいと思います。
・もとの石巻にもどれるように、なにか手伝いをしたいです。
・前より復興が進んでいると思います。
・早く震災前の石巻に戻ってほしい。
・地域活動で子ども達にも手伝えることがあれば、是非教えてほしい。
・できるだけはやく、震災前のようになるよう活動していきたいです。
・復興のためにできるだけ地域の行事に参加して頑張ってください。
・元の石巻市にもどってほしい。できることがあれば頑張りたい
・復興に向けて作業をがんばって早く石巻市を再生させるため友にがんばりましょう
・早く復興を進めてほしい
・自分たちも、復興について頑張るので、みなさんも頑張って下さい。
・石巻の復興がどれくらい進んでいるか、教えてほしい。
・前よりもさらにパワーアップ
・自分も実際経験したのですが、自分たちも復興がはやく進むように祈ってるのではやく復興に向けての活動をしてほしいです。
・復興作業をしてくれてありがたい。
・まだ完璧には復興していないので頑張って下さい。

高校１年生

・復興したと完全に言いきれるまで、それぞれの行事に参加しましょう。石巻市を元に戻し、皆さんの笑顔が見たいです。
・とりこわすだけでなくある程度残さないと意味がない。この機会になにもない所に木などをうえるべき。
・はっきりいって全然復興していないと思う
・復興をもっと素早く。
・石巻は、仙台などと比べて安全な土地が少ないのはしょうがないが、復興住宅の建設がどんどん先のばしにされて、いつまでも仮設に住んでいるのが嫌なので、早くつくってほしい。
・復興って実際に何をしてるのかみんな分かってないと思うからもっと頑張ってほしい。「こんなことしたんだ！！」ってなるくらい。
・まだ大変な状況におかれている人がいること。
・資金をどうでもいいことに使わないでほしい。
・計画するだけでなく、実行することが大切。
・被災地の草かりとかだけでもいいからやってほしい
・被害を受けた人たちをちゃんと全員助けてあげてほしい。
・子どもにもどんな復興の活動をしているのかわかりやすく教えてほしい。
・自分らの町は自分らで復興するべき。いつまでもボランティアに頼るな
・国の金でバカンスに行ってるんだったら国のために募金しろ　バカヤロー
・自分たちのことだけでなく大人にしかできない復興に取り組んでほしいと思う
・東京オリンピックよりこっちに金を回してほしい。
・忘れないこと
・少しずつ頑張ってほしい。

・もっと多くの人が復興にかかわってほしい
・思いきって変えて下さい
・国の言うとおりにするんじゃなくて、自分たちが国を動かさなきゃされるがまま！いつまでも復興できない！子どもも頑張る！！
・震災前には戻れないけど、それに近づけるように頑張っていきたい。
・１人１人がこの行動が石巻を助けると思うことを続けていくことが大事だと思う。
・いつまでも被災地被災地言ってないでもっとやるべきことがあると思います。
・復興がどれくらい進んでいるか知りたい。
・もう少し復興するのに協力してもらいたい。
・何年かかってもいいから復興を途中であきらめたりしないで
・周りの大人が中心となって復興のために何をすれば良いのか、みんなで考えるべきだと思う。
・大人の意見だけでなく、子どもの意見ももっと復興に繁栄してほしい。
・まだ、震災前の町並に戻っていない所がたくさんあるので大変かもしれないけど頑張ってほしい
・もっと良いまちになるようにがんばってください
・一本松の工事は、震災を語り継ぐためには必要かもしれないが、他のことに工事費を使えたと思う
・家をなくして仮設に住んでいる人がたくさんいるので、はやく助けてあげてほしい。
・中学校の時に津波対策委員会に所属していて、「いのちの石碑」を建てました。自分たちにできる事を、したいと私は思います。今、高校生になってバラバラになっても、活動は続けていて、「いのちの教科書」を作っています。伝えるために必死でやっています。
・行事活動をもっと行ってほしい。
・まだまだ復興が進んでいないので協力してほしい。
・もっとまわりを見て下さい。先にやった方がいいと思う事が後回しになってるように思います。
・復興に関する情報がだんだんなくなってきていると思う。
・よりよい町にして下さい。
・もっと早く復興してほしいです。
・頑張りましょう。
・本当に震災を経験しないと分からないことが多いし、思っている以上に大変なおもいをしているということ。
・仮設で暮らしている人に家を建ててあげてほしいです。
・目に見える形で復興してほしい
・復興のスピードを上げる
・津波で残った建物はすこしは残すべき
・学校などで、地震のたびにとてもおびえる人がいる。なのにケータイ電源 OFF はおかしいと思った。
・石巻市もそうだけど、ニュースやメディアで取り上げられているのは決まったところだけ。そうでない所は、「復興復興」と言われてるのに手を付けられていなかったり何も進んでいないのが現状だと思う。“そこに手をかけるべきなのか？”と疑問に思うのが多くあるので、手をかけるべきところをよく考えて進めていくべきだと私は思う。
・復興って何ですか？
・見かけだけではダメ全ての人の心が幸せを感じることができてこそ復興したといえる。
・仙石線をはやくなおしてほしい。
・もっと明るく！
・自転車通学のとき道が整備されていないので整備してほしい。
・今、復興に何が必要か、どこまで進んでいるのか教えてほしい
・新しい建物の開発よりも先に被災した建物の解体、修復が先だと思った。
・復興に向かって行動すること
・少しでも早く復興して、前と変わらない地域に戻してほしい。
・まだまだ仮設住宅などに住んでいる人がたくさんいるので、何とかしてもらいたい。
・今がどんな状況か知りたい
・町づくりのために私たちができるようなことがあれば言ってほしい
・全然進んでないですね。笑
・復興のためにお金をもっと使って
・災害公営住宅の完成を急いでほしい。
・そっちこっち、いろんなとこに建物を建設する暇、金があるなら復興を。
・頑張って！！
・頑張ってください
・将来について子供の意見を尊重してほしい。
・私は震災で多くの大切なモノを失いましたが、新しく出来た大切なモノもあります。それもこれも復興の為にいろいろな事を助けてもらったからです。ありがとうございます。
・やってるならがんばってほしい。
・子どもの意見をもっと取り入れてほしい
・ボランティアをもっとふやした方がいい

・もう少し子どもも参加できるようにしてほしい。
・仮設のちかくに運動できる公園をつくってください。
・あの震災の災害からここまでしてくれてありがとうございます。
・前みたいに楽しいところにしたい
・子どもができないことを大人がすすんでやってほしい
・とにかくかせつじゅうたくの人々を早くちゃんとした家にすまわせてあげたい
・今回の大震災でつらいことや悲しいことがたくさんありましたが、復興のために頑張って下さい。
・復興してきたとあまり思わない。
・復興をもう少しはやくしてください。
・Fight！！！
・仮設住宅から早く出たいと思っている人はたくさんいるので、早く公営住宅を建ててほしい
・どんどん良い状況になってきているので、この調子で頑張ってください。辛いこともあると思いますが石巻のために頑張ってください。
・今の石巻市は震災があって少しずつ元の石巻に戻ってきていると思います。これからも石巻の復興を頑張っていきましょう
・ガンバレ！
・昔に震災があったにもかかわらず、逃げない。家にもどってしまう人（老や大の人が多い）がいること←石碑を置く
・お年寄りは意見が多すぎ
・一緒に震災を語り継いでいきたい。
・あまり知らないので特にありません
・この先ずっと忘れない事。
・がれきはかたづいたけど、前みたいにもどっていない
・大変です。
・無駄使いはやめてください。
・支金や片付けなど、ボランティアとして手伝って下さり、ありがとうございます。
・復興といわれてもどこまでいったら復興ということになるのか分からない。
・大人にしかできないことの方が多いと思いますが、私たち高校生にもできることがあれば頼ってほしいです。
・少しでも多く募金して、かたずけられないところなどの役に立ってほしい。
・感謝しているということ
・がんばろう
・がんばってください
・道路がまだでこぼこしているところがおおい。
・たいへんだと思うけどがんばってください。
・しょうひぜいへらしてほしい
・もっとがんばってほしい
・これからもがんばってほしい
・今できることをしてほしい
・仮設住宅で暮らしている人が、１日も早く自分の家へ戻ったり、新しい家などに住めるような環境にしてほしいです。
・違う視点から被災者のことを見たり考えたりすることも大切だと思う。被災者が本当に望んでいるのは大人が思っていることじゃないかもしれないから
・簡単かどうか分からないけど、協力！諦めない！みんなで頑張ろう。
・もっと積極的に復興にむけて活動してほしい。
・頑張って欲しい。
・あまり復興が進んでいるようにはみえない。
・復興にむけてがんばってください
・頑張ってください
・遅いと思う
・以前みたく、発達していなくても、笑顔があふれてる町になればいいと思う。
・みんな心配なことがあるのに自分の意見だけを押しつけるのはやめてとりあえずは自分の中にとどめておいてほしい。混乱する原因になるから。
・仮設住宅の改装に力を入れてほしい。
・しんさいが起きてしょくばがへったからもっとふやした方がいい
・自分たちでもっとよりよい石巻をつくれるように頑張りたい。
・震災で遊ぶ所が少なくなっているので、子供達のために、遊ぶ所を作ってみたらどうですか？そうしたら、子供達か震災でかかえたストレスなどを解しょうできるでわないかな。と思いました。
・もっと自然を大切に。（せっかく田んぼが多かったのに人のためだとしても一気に失くすのはいやだ）
・特になし。私は直接的に大きな影響を受けたわけではないので、現実的な意見は主観でしか語ることができません。
・震災の事を忘れないで欲しい。
・わからない
・高台に色々建てて海岸にはしっかりとした防波堤をつくる。

・国から、お金がでてるんだから、新しい町をつくるとか電車（仙石線）の開通とかをはやくしてほしい。運動しせつとかも、作ったほうがいいと思う。
・バスケができる公園を増やしてほしい（特に矢本）
・がんばってください。
・復興早くしてほしい
・僕にもできることがあればしたいです
・大人だけが大変じゃないこと。子供がいくら元気でいても、どこか悲しいことや辛いことがある。
・石巻市の復興にあたって、今何を優先すべきかということ。
・今は、自分の出来る事をやりましょう。
・言っていることとやっていることを繰り返してるだけ。テレビの会見を見ても台本に書いてあることしか言わない。だから、書いていない質問にたいしても答えられない。
・これからに向けて頑張って下さい。私もなにか手伝えることがあれば、協力していきたいです。もっともっと笑顔になってほしい！
・みんな力を合せて早く復興住宅をつくろう！
・復興活動がんばってください。
・わからない
・たくさん問題はあるけど、早く復興して前の石巻にもどしてほしい。
・少しでも早く復興できるように頑張ってください。こちらもできるかぎりことはしたいと思います。
・復興活動をもっともっと早く…そしてボランティアもつけて、がんばってほしい
・がんばって下さい。
・町は津波で失いましたが、また新しく家を建てれば、震災前の元の町にもどるんではないかと思います。
・一気に復興するのではなく、少しずつ少しずつ時間をかけて復興してほしいです。その時は、自分のやれる範囲で協していきたいです。
・復興、復興って言ってるわりには、何もしてないじゃないか。何に力を入れてるの？私の地域に警察所なくてこまってますけど。
・ゆうえんちがほしい
・頑張れ
・復興と言っているけどなにも変わってないきがする。
・忙しいですが、がんばってください
・鹿妻に TUTAY つくってほしい！
・みんなで石巻市の復興を頑張ろう！
・復興がんばってください
・石巻市が前よりよくなってほしい。
・大人と話し合うだけじゃなくて、しっかりと実行すべき。さいきんは〇〇は復興活動しています。とかのニュースとかも少なくなってきた。かせつに住んでる人をはやく「家」で暮らしてほしい。
・はやく復興してほしい
・あっちこっちに手をつけすぎ
・行事とかどうでも良いから、復興に金かけろよ
・政府はもっと宮城、福島、岩手の三県にもっと関わって欲しい。
・復興がんばる。
・地震の時はすばやく行動する
・復興も進んで震災前と同じ生活できるようになってきました。
・震災でたくさんの子供達がなやんでいること。
・大人ではなく政府にいいたい「復興、復興」と言ってぼ金や税金を復興と言っているがじっさいは、お金は、復興に使ってないじゃないか！
・東北の復興がまだ終わってないのに増税とかすごく困まる。テキトーなことやってないでもっと復興に力を入れてほしい。
・がんばってほしい
・町にゴミのポイ捨てがひどすぎ。
・今こそ協力すべき
・全国の人に震災の悲しさを分かってもらいたい。これからも 3.11 が起こったことを忘れないでいてほしい。
・早く家を建てたい
・復興という言葉をわすれて、3年がたち、落ち着いてきてるので前向きに進んだほうが良い。
・頑張ってください。
・大人に出来ないことでも、子どもには出来たりもする。
・これからも石巻市の復興活動を頑張って下さい。
・何年かかってもいいから復興に力をいれてください
・一歩一歩復興してほしいです。
・国、県、市に文句ばかり言うのはだれでもできます。行動しましょう
・もっと協力した方が良い
・復興を手伝います
・復興しているのが遅い。
・他県の人にすみずみまで見てほしい
・がんばってください。
・子供でもがんばってる
・大変だった

・がんばろう
・復興と、
・自分以外のことは何も知らない。それは皆がそうだから。大丈夫だと思ってもそう決めつけず、様々なことにたくさん関わるべき。
・分からない
・建物など目に見えるものだけでなく心なども明るく前向きになれるような復興をしたい。
・私たちに何ができますか。
・もっと高齢者や子どもなど小さい人への事も考えてほしい。ただの復興でなくよりよいまちづくりにすることを考えてほしい。
・復興の足並みをもっとそろえるべきだと思う。
・町の復興を優先してほしい。
・普通の生活ができてる人が多い中で、仮設で今も住らしている人達を何とかしてあげてほしい
・一緒に頑張りましょう！
・募金されているお金が別な何かの事に使われていると聞きました。きちんと復興のために使って下さい。
・子供をもっとたよってほしい。
・今の復興がどのくらい進んでいて、最終的にどのようになるのが目標なのか知りたい。
・震災直後に比べて、まちの状況は良い方向に動いていると思うけど、実際はまだまだのところの方が多いと思う。
・自分ができることを積極的にしていきたい。
・支援してくださっている方々に、すごく心から感謝しています。
・石巻の今の現状をしっかり見てほしい
・復興がどのくらいすすんでいるのか知りたいです。
・みんなで力を合わせて復興に向かっていきたい。
・感謝してます。
・もっと復興に関わりたいです。
・復興住宅を建てる場所をもう少し考えてください。元の場所に住みたくない人もいると思います。
・なにか残してください
・復興っていうけれども、前にもどすよりも災害に強い町にしてほしい。
・私たちは中学生から高校に上がり、自分たちで地区復興支援の手助すけになれる幅が広がったと思います。みんなで頑張りましょう。
・今の調子でがんばってほしいです。
・復興がんばってください
・たくさんのお金があって贅沢に暮らす余裕があるなら少しでも募金してほしい
・復興するためにたくさんの活動をして頂き、ありがとうございます。
・復興復興っていっているがどこからが復興したっていうメドがあるのか。
・震災のことを忘れようとせず、次の世代、今の子供たちと、語り継いでいってほしい。
・道路の整備や建物の建設も大事だが、まず震災で傷ついた人たちを励ましてあげて、内側から震災からの復興に努めてほしいなと思った。
・私は石巻に住んでいませんが、中学校で震災復興関係のプロジェクトをたくさんしてきました。それらがよりよい町づくりにこう献することを願っています。
・まだまだ時間がかかるとは思いますが、道路を直してほしい（道が悪いところ多い）。以前のような楽しい、マンガの町にしてほしい。
・ボランティアに頼るだけでなく、自分たちでもやらなければならないことをやるべき。
・震災い構
・はやく町が復興してもとの活気がある町にもどってほしい
・これからは自分たちの世代が復興について考えていかないといけないと思います。
・オリンピックに金をつぎこんだり他の国に募金して見栄はってないでこっちに金をまわしてください
・復興へのまちづくりの意見は若い世代にこそ聞くべきだと思う。
・正直言うとテレビやポスターでの「がんばろう〇〇」や「震災」「力を合わせて復興」といった言葉の多さにうんざりする。
・大人同士でケンカしていないで、今何をすべきかを良く考えてほしい。協力、絆と言うなら、人のために考てほしいなと思う。
・復興、復興と口だけでおわるのではなく全国に発信するなど地域の役に立つことをしてほしい。
・復興に績極的に参加していただいて、ありがとうございます
・大人のつごうで色々壊したり奪ったりして欲しくない。
・早く復興できるように頑張ってください。
・行政、政府等に真剣に考えてほしい。
・少しずつでも頑張って復興していきたいです
・ていぼうとかも大事だけど、街中の復興も大事！

・市長にまかせっきりにしないでください。
・頑張ってほしい
・立町の商店街を活気づけてほしい
・遅いと思う。
・情報がないし何をしたらいいかわからないのでやりようがないです。それから1人は心細いけど仲間がいません
・設備とかそういうことも大切だけど、1番はやっぱり人の心のケアだと思う。
・これからも復興頑張っていきたい
・これからも頑張ってください
・この調子でがんばってください。
・震災前、それ以上の町の復興をしてほしい。
・予算面でつらい状況があるのは分かるがもうちょっと素早く動けないでしょうか。
・わからない。
・たくさん復興作業をして頂きありがとうございました。
・思いつきません。
・頑張って下さい
・はやく復興を進めて下さい。
・高校生でも復興の役に立てると思うので、もう少し頼ってほしい
・門脇小の解体・保存についてもっと子ども（当時の門小生）もいっしょに話し合いたいです。
・誰かだけではなく、みんなで復興していくべき
・もっと迅速な対応をしてほしい。
・より楽しい市にしたい
・震災に対して敏感になるのは分からなくもないけど、それが原因でひきこもりやストレス障害になるのは少し違うと思う。他人にあたるのも大人として最低。
・ありがとう。
・市役所の人だけにまかせず、うちらも復興のために何か考えた方がいいと思います。
・家づくりをはやめてほしい。・元の町にもどれるようにがんばってほしいです
・せっかくじょじょにきれいになってきているのにタバコの拾てがらなどをポイ拾てしないでほしい。でも、震災の時、たくさんの人にたすけてもらったから「ありがとう」という感謝の気持ちを伝えたい。
・3年間でここまでキレイになったことがすごいと思います。
・他の物ばかりにお金を使うんだったら、もっと復興のためにお金をつかったほうがいい！！
・もっと復興計画を立ててほしい
・復興、復興って言ってるけど実際にはまだごく一部しか復興してる感じがしないのでこれから私たちも頑張っていきたい。
・早く復興計画を行動にうつしてください。
・一人じゃなくて皆で頑張れば、みんなが幸せになれる。
・余計なものにお金を使いすぎ。パチンコ屋多すぎ。アーケード？商店街？を建て直して、もっと街が活性化するようにしてほしい。
・市のお金の使い道をもっとよく考えてほしい
・あなた方のおかげで復興が着々と進んでいます。ありがとうございます！
・1日でも早く復興できれば良いなと思います。できるなら私も復興の仕事に協力したいです。
・復興は徐々に進んでいるのでより安全な石巻を、実現してほしいと思います（仮設だけでなく、民間のアパートなども建設してほしいです。）
・もっと、道路の重増しを早くしてほしい
・少しずつではありますが、震災前の影を取り戻しつつあります。ですが、まだ一部地域であったり、地区で悩みはあるのではと思います。家をなくした方。であれば、仮設住宅での悩み、家族をなくした方は心の悩みがあると思います。そのところをもう少し改善できるのではないのでしょうか。
・4年前にくらべれば全然復興してきているとは思います。
・向陽町にあるコミュニティセンターをまた自由に使用できるようにしてもらいたい
・100%じゃなくて良いと思う。50%でも直せば良い。
・おとなのみなさんにとって、「復興」とはどんなことですか。おとなのみなさんは、今復興していると思いますか。
・震災前の石巻より良い石巻を作りたいです。
・震災前の石巻に戻したい！
・復興住宅地の建設工事がなかなか始まらない（～から始める）と予定ばかり聞くが始まり進んでいると聞かない。・仮設ももうがたがきている。
・津波にあってない人に津波のえいぞうをみせるのはいいが、津波にあっている人、とくに子どもに、何度もえいぞうを見せると、子どもがパニックになるから、しつこく見せないでほしい。子どもがかわいそうだ。
・1人1人がやっていいことと、だめなことを大人が分かっていないとだめだと思う。
・今復興しているので被災地とは言わせたくないです。
・協力して色々な事をすればいいと思います

・震災によって家が流され、今でも仮設住宅で生活している人が大沢います。震災から逃げるのではなく、向かい合ってほしい。
・子どもの気持ちも尊重して欲しい。正直な子どもの意見を大切にしてください。
・もっと石巻市のことを考えて行動したりしてほしい。
・少しでもいいから子どもの意見もとり入れて、子どもにもできることをやらさせてほしい。
・安全な建物をつくってほしい
・まぐろが食べたいです
・海の幸が食べたい
・震災時の事を思い出すのが辛いからといって震災前の建て物などをすべて壊してしまったら、今はいいかもしれないけど何年後、何十年後と考えた時にまた震災がきてもこの震災の事を知る人は少なくなると思う。
・税金を仮設住宅の延長に使わないで。（本当にひさいしてない人も住んでるから。）
・お金もたくさんかかるだろうけど未来のために頑張りましょう
・おそすぎ
・よりよい町にしてください。
・被災した小さい子たちをもっとはげまして下さい。
・にぎやかな楽しい町にしてほしい
・いつも復興につくしてくれてありがとうございます。
・がんばる。
・心をよく見て下さい
・子どもの意見も取り入れてほしい。
・はやく震災前の状態に復興できるように支援金を工夫して使ってください！！
・分からないけどなんとかしてほしい。かせつの人を助けてほしい。ふっこうじゅうたくをはやく作ってください。でもそれがいいのかも分からない。
・心から応援しています。頑張ってください。
・だんだん震災について風化されてきてると思いますよ！！
・仮設にいる人たちを住宅に入れてあげてほしい。
・一緒に頑張りましょう。
・もう大丈夫だと思います。沿岸部で家の損しょうの激しいところ、家族が亡くなられた方によろしくおねがいします。
・すぐにひなんすること
・皆で復興のためにできることに協力して少しでもはやく前みたいな街に戻していきたい。
・私は実際に津波にあったわけでありませんが大人の人のかつやくはとてもすばらしいと思いました。
・とくにありませんが、石巻がはやく復興することを願っています。
・少しずつ元に戻りつつありますがまず町をなおす事も大切ですが被災にあった人によりそい話しを聞く事が大切だと思います。月に1度でいいのでそういう機会を作るといいと思います。
・支援とかちゃんとされている実感がありません。特に津波のひどかった地域の道が壊れたまんまなので補装して下さい。後、盲目の人が使う、黄色い点字板がはがれているままです。すごく危険だと思います。
・〇年までに復興させるとか言って今だに復興してないから、言っていること、大人の言っていること自体がキレイ事で信用できない。
・自分たち高校生でも何かできることはあると思いますが、何をしたらいいか分からない、というのがいちばんの理由です。なので、復興に関する企画をたててくれるといいと思います。
・震災の事をずっとかたりついでほしい事。
・復興に使うためにあるお金の使い方がおかしい。皆のためとかいって勝手な判断で使わないでほしい。
・現在の石巻市の状きょう。・子供達の思い
・復興してきて、徐々に美化に対する意識がなくなってきたので、環境美化に対する意識を高めてほしい。
・がんばれー！
・前の石巻に戻ってほしい。建物がもっと増やしてほしい
・がんばってるのにがんばってってゆわれるのがいやだ。
・忘れない
・ポイステしないでください。たばことかきたない
・復興住宅が建つのが遅い
・募金はありがたいがきちんと被災地に届けてほしい
・私たちができない事は大人にまかせるから、積極的に行動してほしい
・いつまでも逃げないでほしい。絶対波がきた建物は残したほうがいい。
・復興するのは時間がかかってしまうけど、遅いと思う。少しずつでも早くしてほしい。
・辛いかもしれないけど震災でくずれた建物をシンボルとして残してほしい
・見えない所も復興していったほうがいいと思う。
・がんばってますね！！
・お疲れ様です。

・もっとげいのうじんを呼んでほしいと思います。そしたらもっときょうりょくする人がふえると思います。
・復興のことをもう少し考えてほしい。
・もう少しちゃんと復興について考えてほしい。子供の話も聞いてほしい。
・大人だけじゃなくて子どもの考えも聞いてほしい
・頑張ろう！！
・がんばれ
・頑張って下さい
・しっかり大人達がはげましていってください
・何よりも被災地の復興を優先させるべきだと思う。
・復興をあと回しにしないでほしい。
・復興が遅れているので、市が一時的に人をやといはやく復興作業をすればいい。
・復興のお金を出来れば、石巻にもまわしてください。
・復興の状況はよくわかりませんがあまり進んでいない気がしてならないです。子どもにできることはやっていくので大人ができることをして欲しい。
・大人が思っているよりも子供の心は深刻らしいです。
・ありがとうございますとおつかれさまでした。
・むだな事に金を使わないでもっと必要な事があるかとかを考えて！
・大人だけの事情だけ考えず、子どものことも考えてほしい。
・復興のためにと家だけでなく、子供達のあそぶ公園もつくってほしい。
・復興できるよう頑張りましょう
・頑張れとかしか言えない
・津波の怖さ
・自分の事だけ考えるな。
・変なモニュメントなんてつくってねーで町をつくってほしい。
・ムダに高い防波堤つくるより、港を整備した方が県のため、バカに金つかうなわ。
・もっと早く行動してほしい
・あぶない道路があるので、交通の整備をしっかりしてほしい。
・がんばろう。東北。
・無駄に金を使わない方がいいと思う。
・町の人の気持ちになって復興活動をしてください。
・頑張れ石巻
・金を他の事に無駄に使わない方がいいと思う。
・口だけばっかりだ。政治の人は
・無駄な所にお金をかけてほしくない。
・復興が遅い
・時間がかかりすぎ。
・公園とか施設を作ってほしい
・ちゃんとしろ
・子どもたちをもっと復興にかかわらせる
・震災のことをいつまでもわすれない
・レジャー施設を増やしてほしい。
・復興復興と言うわりに動いている大人は少ない。
・予算がど一のこ一のではなく、出来るか出来ないかを知りたい。また、悟ったふりしてあきらめないでほしい。
・がんばろう石巻
・復興は重要ですが、無理のないようにしてください。
・線路を早く仙台まで通らせてほしい。
・がれきの撤去
・もっと住みやすい町にしてもらいたい。
・今すぐとは言わないが、できるだけ早く復興を進めてほしい。
・復興計画を早く進めてほしい

高校２年生

・頑張って下さい
・まだ困っている人がいると思います。
・仮設住宅でわがままばっかりゆってないで、自分から進もうとした方がいいと思う。
・イベントごとがあるなら言ってほしい
・自分のことを考えるのもいいけどまわりの状況を考えてください。
・復興の作業が遅い
・協力しましょう！
・視野を広げてほしい。
・どうやって復興してくか
・一部だけじゃなくもっと広い範囲で考えてほしい。
・いつもありがとうございます。
・復興をダシに選挙をするな。うさんくさい
・もっといろいろな行事を開催して欲しい。
・共に復興につながる何かを協力したいです
・少しずつでも、元の風景に戻してほしい。
・今、最優先するべきものを考えて行動してほしい。
・復興予算はどこに使用したのですか？
・もっと、震災のことで心をふさいでいる人に耳を傾けてほしい

・現実を知ってほしい。
・石巻はがんばっています。
・防災の状況のこと
・忘れないでほしい
・時間をかけすぎている。
・高校生の発信力をもっと使っていってほしい。
・人のために訳にたちたいが、何をしていいのかわからないので、自分達にでもできる手伝いが何なのか知りたい。
・石巻市の復興に高校生ができることは何か知りい！！
・県外や地域外の人に復興を手伝ってもらうのはよいが、まかせっきりにしない。
・一分でも早いふっこうを。議員は温泉いく前に仕事しろ
・街の外見で復興を決めずに心まで気を遣ってほしい
・義援金などはちゃんと復興につかってください。
・命の大切さ
・頑張って
・復興がちょっと遅い気がする。
・高校れんけいで復興のため商品かいはつをやっています
・がんばってください。
・がんばって下さい
・がんばってほしいと思う
・もう少し市長が動いてほしい。
・頑張ってください
・あんなに沢山の募金はどこにいってるんですか何に使われてるか、しょうこがない。信用できない。
・小さな子どもたちが自由に遊べる公園が減っている。
・心に傷をうけている人などはたくさんいるので話をきいてあげる必要があると思います。
・しっかりお金を使ってほしい。
・石巻の復興は年々進んでいることも多いけど、進んでいないところも多いので、私もだけど、少しでも多くの人に石巻の復興状況を知ってほしいと思います。
・相手の気持ちを考える
・良く分からない
・復興とは関係ないことにお金をつかっていると思う
・他人事にしないで自分から行動をおこす・もう少し復興に使う時間を増やす。・もっと色々話し合う
・頑張って石巻を復興してほしいです
・復興復興とは口で簡単に言ってもその実、簡単には行えないので大変だとは思いますが、私たちにできることがあれば言っていただきたいです。
・少しでも石巻を復興するために簡単にすぐ力になれる募金でもしていくといいと思いました。
・これからも復興についてがんばってくださいそして色々な事をしていただきありがとうございます
・みんなの笑顔をとりもどして石巻を笑顔でいっぱいにして、石巻に元気をとりもどしてほしい。
・復興に関することがあまり分からないし、何をやっているのかあまり分かりませんでした。
・石巻の復興でできることがあったら言ってほしい
・復興復興って言ってるけど、進んでるのかなと思います。
・音楽は心を救う
・あまり復興していない
・普通の家に早く住みたい
・みんなで協力してやってほしい。
・早くしろ
・がんばろう石巻！！！！！！！！
・大変だと思うけど早く復興してくれたら嬉しいです。
・復興住宅の建設場所はなぜ前津波が来た所に建てる必要があったのか。
・いつまで被災者・被災者さわいでいるのかな～ともう別にいいんじゃないのかな～と思う
・人材いなすぎ・オリンピックに金かかりすぎ。
・Fight
・もう少しがんばって欲しい。
・がんばってください。
・私たちの世代につなぐ、活動をしてほしい。
・私も復興のためになることを頑張ってやりたいと思います。
・とにかく頑張りたい。
・お互いに頑張るしかない。互いに手助けする。できることはやる。
・募金をしても国が復興以外に使っているというのを耳にしたことがある。ちゃんと使わなければいみがないのでは？
・がんばって
・がんばれ！
・少しでも早く復興して欲しい。
・今できることを考えること。
・いろいろ大変だった
・がんばって！
・みんなをはげました
・この町をもっとよりよい町にしていってほしい
・がんばって

・石巻の復興といえども、復興が進んでいるのは都市部が多くて、辺境の田舎の方は、正直あまり変わっていないと思うから、これを改善してほしい。
・もうちょっと、復興に心向けて欲しい。
・頑張りましょう
・Don't Forget!
・自分が何すべきか分かってないので、大人に伝えたいことは特に思いあたらない
・みんなでがんばりましょう
・復興についての情報や状況について詳しく知りたい
・むらせずに復興をがんばってほしい
・子供の意見をきいてほしい
・もっと石巻の復興に力を入れてほしい
・がんばりや
・復興は、いつおわる
・あせらずかくじつに。
・復興にかかわっている人がんばってくだ。
・堤防作るより先に道路とかを直してほしい。
・がんばってください
・がんばって下さい。
・早く復興させてください
・がんばって下さい。
・がんばって
・オリンピックなどくだらないことしてないで復興してほしい
・働け
・大人が気づかない小さなことも、子どもは気づいています。子どもたちをかんさつしてみてください。おのずと見えてくるものがあると思います。
・子供をもっとつかってほしい
・震災前よりいい石巻にしてほしい
・石巻は私の地元であり、石巻の人、全員の地元でもあります。私たちの地元を前の活気ある大きな港町にもどしましょう。
・復興とか言っているわりには大人はむだなものにしか金とかを使っていない。それで復興だなんておかしい。
・がんばってください
・どうろが悪すぎる
・まだ完全に復興したわけじゃない。
・早く復興してほしい
・国民から金とる前に自分たちのきゅうりょうさげてください。
・あんまり深刻に考えないこと
・迷わず進めば必ず希望の道は開かれる。
・私も気仙沼からこっちに来ていて、場所は違えど震災の恐怖は分かっています。今できることをやっていきましょう
・津波はこわい
・あきらめなければいつか必ずいいことがあります。
・石巻市の中でも、牡鹿半島の復興がすごく遅れているので、牡鹿半島の復興を早めにしてほしい。
・復興住宅を早くしてほしい。
・復興住宅を早たててほしい
・復興がんばってください。
・仮設のおじいさんがサッカーをしているとうるさいと中意されるので自由に使えるサッカー場を使ってください。
・復興のために様々なことをしてくれ、ありがとう
・何もなくなることが復興ではないと考えています。壊してすめなくなった場所を放置して草村にしてるだけでは復興でもなんでもないです。
・がんばってください
・私達が今出来ることは限られていますが、大人になった時には、今以上の復興を目指していきます。
・ニュースや番組などで見る復興についてなんてほんの一部であって、仮設の建設が先延ばしになっていたり、老人なんかやっぱり自分の住んでいた場所に戻りたくても、計画が中々進まないからどんどん気分も沈んでいって、ほんとに「このまま死んでしまうんだろう」って考えている人もいる。もっと計画状況なんか詳しく公開とかしてほしい。どこでつまづいているのか、とか。
・得に意見することはありませんが、私たちにできることなら何でも言ってほしいです。
・まだまだ変わっていない場所がたくさんあるから、新しくするのもいいと思うけれど、まずは直してない所を直してから新しいものを作ったらいいと思う。（建物、道路等…）
・出来る限り頑張りましょう。
・いつまでもマイナスな考えを持っている人は前向きになってほしい
・大人がしっかりしないと、子どももしっかりしないから、しっかりしてほしい。
・大人が思っているほど子供は落ち付いているし戦力にもなる。
・学校での避難訓練のレベルの低さ（生徒も生徒でふざけすぎだが、先生はうるさい中で指示を通さなければならないと思う。それに避難訓練の事前連絡は必要ないと思う。）
・私達も復興に向けて頑張ります
・対応をもう少し早くお願いします。

・みんなの意見をきちんと考えて復興に役立ててほしい。
・市役所が水没した場合は地区ごとで活動の指揮をとる。
・お金の使うところをもっと考えるべき
・早く復興を進めてほしい
・金の使い道もっとなんとかならないんですか
・記念館のようなものを作る。
・ある地域だけではなくて、高齢者の多い過疎地域の復興も進めてほしい。
・今の復興の現状や震災についての話などもっともっと情報や知識を取り入れられる機会が欲しい。
・役所の意識改革が必要
・オリンピックでお祭りさわぎするのってどうなんでしょうか。
・自分は復興のために、正直何をしていいのか分かりません。
・石巻は、震災があったにもかかわらず、震災前のような景色をとり戻しつつあります。それは、大人のみなさんのおかげだし、私たちも将来その役に立てたらと思います。
・震災前に戻りつつあるが、まだ仮設住宅などに住んでいて大変な思いをしている人たちもいます。でも新しい工事ばかり進んでそういった工事は全くといっていいほど進んでいません。もっとみんなが幸せに暮らしていけるよう、まずは元に戻すことから始めてほしいです。
・例えば、地震や津波により、誰も住まなくなったボロボロの家や建物は今すぐにこわすべきだ。・街灯が少なすぎる。道路の工事でむだに税金使ってほしくない。もっと有効的に活用してほしい
・もっと石巻を活気づけてほしい。できることなら元々あった石巻の風景をとり戻してほしい。日和山から、石巻が活気にあふれていて、色づいた景色が見たい。
・意識改革
・一年前と状況が変わらない気がする。自分も市の役に立ちたい。
・政府と協力して復興計画をすすめましょう
・石巻にはまだせまい空間の仮設住宅で住んでいる人がたくさんいるということ。その人たちができるだけ早い元の普通の生活に戻ることをいのることを伝えたい。
・お金の使い方、復興にきちんと役立っているか。政府は国民の生活についてきちんと考えているか。
・これからの復興には、子どもだけでなくおとなの力も必要なので、たくさんの人が協力しあうべきだと思う。
・復興していると実感できる部分とできない部分がある。
・津波で残った建造物をいくつか残そうという計画がありますが、それを残してしまったら復興は進まず、前に進めないと思います。どうしても残したいのなら、石碑で良いと思います。
・復興状況が分からない。
・自然災害はいつおこるかわからないからいつおきてもいいように準備しておくべきだ
・地域全体で活動していきたい。
・もっと早く復興してほしい
・今は「手伝い」という形が多いけど、私たちが大人になったら主体的に行動して復興からさらに未来へ発展させていきます。
・税金のむだ使いはやめて欲しい
・子供がうまれたら、子供に言ってあげてください。あとはつね日頃から、家族で話し合って下さい。以上です。
・電車の本数と車両数を増やしてほしい。
・順調に復興しつつあると思う。
・復興が遅い。
・前よりもよりよい町にしてほしい。
・子供たちに語り継いでほしい。
・何かするにも対応が遅い
・がんばって下さい。私もできることをがんばります
・これからは、犠牲者が少しでも少なくなるように震災の話を語り継いでほしい。
・がんばってほしい。
・渡波とかの方も、もっと工事とかして早く治してほしい。
・支援金を無駄なものにつかわないでほしい
・電車の本数。・しょうがく金が少ない。・仮設に住んでいる人の対策。
・大人というか国をしきっている人たち、もっとちゃんとしてほしい
・もっと街の人の意見を聞いてほしい。・その意見をできるだけ実行してほしい。
・全然進んでない。議員とか、基本的に、石巻で育った人なのに、震災前の活気の良い石巻にしよう！感がない。
・とくに石巻で変わったことはないけどやっぱり海・川周辺がまだまだ直っていないところが多いなぁと思います。でもボランティアの人達のがんばっている姿は素敵でした。
・みんなで1つ1つ乗り込えていきましょう。
・復興が進んでいない地域もまだまだありますがたしかに前進している地域もあります。そちらにも目を向けてほしいです。
・決めることはさっさと決めて実行できるように進めてほしい

・子どものこともわすれずに復興計画を立ててほしい。
・大人のくせに仕事とか自分はこうだからなんて理由をつけてたら復興になんてならない。自分のことだけじゃなくまわりをもっと見て行動にうつしてほしい
・カメラとかテレビに写ってる姿だけが石巻の授業じゃない。
・はやくふっこうしてほしい。
・復興前と同じぐらいの明るい町にしてほしい。
・早く元の石巻に！！！！
・石巻市の現状等といって報道している場所は、復興している方であって被害がひどい方は全然報道されていない。（門脇など）
・復興という言葉だけが先走りしないでほしい
・復興とは、どこからが復興ですか。被災地とは、地震が起きた場所なのか、だったらひっこした人たちは被災者なの？！
・これからも頑張ってほしい。
・子供の事をもっと考えてほしい。例えば、子供の目線で考えてほしい。
・まだあやふやだから復興についてくわしくはっきりしてほしい。
・早く復興を進めてほしい！！
・暗い道が多くて、夜歩くのが怖いし危ないから、外灯のない道に外灯を立ててほしい。
・もっと道に明かりをつけてほしい。
・頑張ってください。
・震災前の石巻にもどれますように。
・みんな笑って。LOVEandPeace
・元々あった場所、その地域の大切な場所を壊してまで、仮設住宅をつくる必要はあるのか。トラックがふえて、せんたくもロクにできない。わざわざ、私たちの大事な地域にまで入ってこないでほしい。なんで森林を崩してまでつくるのか。他のところもあるのに。ちゃんと考えてほしい
・今は特にない
・早く復興住宅をつくったほうがいいと思います。石巻だけできていないのでどうしたのかなと思いましたが、つくるのにも時間かかるので、どうしようもないかなって思いました。
・早く住みやすい市にしてほしい。仮設じゃなく普通の家にしてほしい。
・つーかなかなか進まないのに復興言ってんじゃねーよ。てか、大体何もしてないじゃん。こんなのやってるひまがあんなら、少し考えなよ。よっぽど子供が考えてがんばってると思います。私のいけんですが。
・大変だと思いますががんばってください。
・あきらめないで、復興に向けてがんばって下さい。
・皆口だけで、何も進んでない。お金お金ってなにがしたいのかよく分からない。
・がんばろう
・頑張ってください。
・こういう事いってるのも、もう、終わりだと思う。いつまでも被災地だと思われたくないし、思いたくもない。何もかも震災だからって言い訳したくない
・いつまでも復興にこだわりすぎてなんか他の県に助けてよみたいなアピールしてるみたい
・門小の校舎を残さないでほしい。・残すならもっと別な方法でやってほしい。
・道路だけでなく歩道もなおしてほしい
・特にない。でも、自分の事でいっぱい、いっぱいの人が多いから、復興活動している人も少ないと思うし、復興するのにも、時間がかかるんだろうなって思います。
・美しい町にしたい。
・前を向け
・がんばってください
・お金、使っちゃいなちゃい。
・自分はあまり復興に興味がなく今の完成度に満足している部分もあるので、その類はやる気のある人だけおこなってくれればいいです。
・復興が進んでいていいと思う。
・一緒に頑張っていきましょう
・頑張って下さい
・金の問題があるので、できる限り支援してほしい。
・震災のことでそんなに気にしていない
・表面的な活動はやめてください。
・仮設住宅以外にも支援を
・復興に手伝ってくれている方々ありがとうございます。
・頑張ろう
・住みやすい町にしてください。
・Fight！
・復興状況・計画が全く分からないのでもっと明確にしてほしい。
・１人１人の意見を聞いてみるのも
・迅速な対応、やりすぎや、やらなすぎをなくしてほしい
・仕事を頑張って下さい
・早く復興！！
・忘れないこと

・震災後、石巻市はほぼ復興できていると思いますが、まだ手の届いていない所があると思うので皆で頑張っていきましょう。
・これからも復興のために頑張ってください。
・国がもはや復興の事を忘れているんじゃないか
・少し早く1日でも復興してほしい
・みんなで頑張っていきましょう
・頑張ってください。
・子供の心について
・後世の人達へ伝えていくために震災のことを表した施設を作るのはどうか？
・市としては復興が進んでいるように思えるが、地区としては復興があまり進んでいないように思える。
・がんばってください
・震災前と同じような町づくりをしてほしい。
・もっと行動に移してほしい
・ちゃんと働いて早く仮設住宅から出てください。
・公園に建設した仮設住宅の撤去を早めに行ってもらいたい。
・共にがんばりましょう。
・石巻やその他の地域の復興は進んでいるとはいえ、まだ完全ではないし、心のケアもできていない人が多いことを理解してほしい。それなのに、復興の活動が少なくなったり忘れかけられるのは間違っていると思う。復興する場所にしても被害状況などをよく考えて活動をしてほしいし、取り組んでいきたいと思う。
・もし自分達がどう考えて、示したとしても、周りに発信せず、形だけのためにやるアンケートはどうかと思う。このような事は、復興の面でも言えることだと思う。
・がんばれ！！
・頑張れ
・活気出せ。金を無駄にしないでほしい。このアンケートがはたして役に立つのか。
・遅い。石巻の市内は全く活気がない。もうそろそろ世代交代。
・復興ぐらいタダでやってやれよ
・道路を整備してもらいたい
・進みが遅い。僕達も被災したが、前を向いて頑張っているのに、いつまでも「被災して悲いそうでしょ」みたいなのはダメということは無いが、どうなのかなと思う。
・進みが遅い。中途半端に仮設を作るより、壊れた建物や道路などを作った方がいいと思う。
・もっとがんばってほしい。
・お互いがんばりましょう
・他県に助けられるのではなく、自分達で動いていく事が大事だと思います。
・スポーツイベントでみんなで汗をかいて地域の団結などをはかる
・子ども達にもっと震災を忘れないように、風化させないようにしてほしい。
・がんばってください

高校３年生

・石巻市だけでなく被災した街の抱える課題が数多く残されています。Save the Children Japa さんのように3年経った今もこうして支援して下さる方々が
・早く復興してほしい。
・早く復興してほしいです。
・実際に行動しなければ何も変わらない
・お年寄りへの支援をもっとしてほしい。
・バカみたいにお金使っても、変わらないものは変わらないと思う
・道のへこんでる所をうめてほしい。
・心が温かくなるような、活動をみんなでしていきたいです。
・緑の多い町にしたい
・オリンピックがあるということで、そっちにばっかりお金をかけて、実際は復興が進んでないと思う。
・だいぶ復興してきている。
・まずは自分で何とかしよう。まず行動！
・今の子どもが考えていることをしっかり理解して欲しい
・子供だからこそできることがあるということ
・優先順位考える
・安心して暮らしたいです
・時間をかけてでも、元の石巻をとりもどしてほしい

・仮設住宅に入っている人達だけでなく、家がある人達にも、もう少し支援をして
・子どもが考えていることを伝えることができる機会が増えればいいと思う。「復興」とは何なのか、何をしているのかもっと知りたい。
・もっと復興のために、やれることをやってほしい。
・復興のためにはおとなだけでなく子どもの力も必要だと思う。これからの未来には子どもたちの経験が生かされると思うから。
・市長さんや、役員のかた達は頑張っているのは充分わかるし、とても嬉しいんですが、もっと町づくりを変えて欲しいです。
・石巻市ばかりじゃなくて東松島市もよろしくお願いします。
・内陸への高台移転などがすすむと小・中学校の義務教育の現場で子供が多いのに場所はせまく、先生が少ない状況になるのではと思う。
・積極的に子どもへ仕事を
・全力で逃げること
・お体に気をつけてがんばってください。
・町の再生だけが復興とはかぎらない
・もっと金の使い道を考えてほしい
・東日本大震災で、避難する際に大人は津波という概念がなく、子供が普段から学校で地震・津波ということを訓練等でおそわっているため、子どものおかげで助かったという話を耳にしました。なので、より多くの大人に災害について知る機会がおとずれてほしいです。
・きちんと現地に視察に来て、復興計画を立ててほしい。
・頑張りましょう。
・やり方へタクソ。全てにおいて。
・がんばってください
・がんばろう。
・いろいろな年代の人と関われるような企画を考えてほしい
・ほんと不自由なくくらすことができていますが、仮設住宅の人たちはまだまだ大変だと思います。
・震災のことを語り継ぐことは大事だと思う。
・もっと頑張ろうよ…。
・よくわからん…。
・復興してきていると思います。
・まだ私生活が不自由な人がいると思うのでそういう人たちをいない生活に早くしてもらいたい
・楽をしないでください。
・多すぎてここでは書ききれない
・一日でも早い復興へ！！
・本当の事を見てほしい
・大人の意見だけでなく子どもの意見も聞いてほしい。
・石巻港の工事はやくおわらせて。
・仙台並の町づくりをしてほしい
・お金を落していってください
・工事するのはいいが、工事が必要な場所と必要じゃない場所の優先順位を考えてほしい。
・復興住宅を増やして下さい。
・町も震災前と同じにぎわいになってきた。
・わからない
・ファイト
・震災で多くのものを失い、暗い気持ちになったりするけど、“被災して～”とか仮設の文句を言わない方がいいと思う。みんな被災してるのだから自分だけがどうのこうのっていうのはおかしい。
・仙台などの道路はもうきれいになっているけど、女川へ行く398号線の道路や他の道路がまだきたない。使い勝手悪い。
・震災で傷を負った子供達のために、祭りなどの子供達が楽しめる行事を増やしてほしい
・私は市内には住んでいませんが、町はほぼ元通りです。なので心の復興、立ち直るための１歩を踏み出す勇気を持ってほしいです。
・忘すれないことも大切だけど、明るい生活のために、忘すれたほうがいいこともあると思う
・もっと震災について話してほしい。
・被災者は、自分のことばかり考えすぎ。
・時間をかけて、つらいこともあるけどやりとおす
・普段使われている道路などは直ってきましたが、普段使われていない場所をもう少し直してほしい
・子供の悩みに目を向けてあげて下さい。

・捨てられてるゴミがあったらひろってゴミバコに捨てましょう。ポイ捨ていけないことなのでやらないようにすることです。
・まだまだ復興への道は遠いですが、自分たちが何か出来る事があれば大人に相談するなどしてイベントとかを開催した方がいいと思いました。
・支援活動ありがとうございます。しかし、まだまだ生活に困っている人もいると思うので変わらない支援をお願いします。
・おつかれさまです。どんなじょうたいにいるかわかりませんががんばってください。
・石巻の水産業のことを知ってもらう
・石巻の良い所について、石巻以外の地区に住んでいる人に知ってもらえばいいと思う。
・誰かがやっているから（くれるから）ではなく、自分達自身で行動して行きましょう。
・大変だと思いますが、頑張って下さい
・街の中心部が復興していても牡鹿など中心から離れている地域はまだ十分に復興していません。
・都市部だけでなくその他のまわりにある小さな地区の復興を早くしてほしい。・危険地域となっている場所を見捨てないでほしい。・大川小学校の事実を無視しないでほしい。
・東日本大震災あってから3年で魚市場などでは 80%回復したと聞いたのでイベントなどで石巻を PR する。
・頑張れ
・仮設住宅で辛い人もいるから、公営住宅、市民住宅をもっと作るべき。
・早く岸壁やその付近を復旧させてほしい
・共に頑張りましょう。
・仙台みたいにはやく、復興してほしかった。
・野球場や公園などが仮設住宅で利用できなくなっている。学校のグランドも同じく。とてもこまっているがしょうがないことだとも思う。
・支援していただいているのもあるけど、少しでも自分達の力で自立して、復興に力を入れよう。
・がんばれ
・もっと復興のことでよく話し合い頑張ってください。
・現在、震災の話があまり出ず、風化しそうになっている。
・わからない。
・テレビとかで報道されている以外の復興の様子をもっと広めて欲しい。まだ復興がなされていない所もあるので少しずつやっていってほしい。
・高台移てんの土地区域整備早くして欲しい
・漁港の整備、岸壁など
・いつまで復興って語ってんのや！
・道路直せ！
・がんばってください
・ともにがんばりましょう
・いつまでも被災者のままではいけないと思う。全国の皆様のあたたかい支援にはとても感謝しているけど、それに甘えてばかりではいけないと思う。
・小さい子どもの遊び場を増やす！！
・各地域の避難所の明確化（ex.地図作成）
・いなか道を直すより大通りの車線を広げるだとかもっと多くの人に役立つことをして下さい。
・復興のお祭りとかもっと増やしてほしい
・頑張ってください。私も何かしようと思います
・復興をいいことに、全国からのボランティアの参加はありがたいが、石巻の治あんが悪くなった気がする。石巻のイメージを悪くしないでほしい。
・クソなメディアのエサになりたくない。
・大人の気づかないところで、傷ついている子どももいる。もっと子どものことも考えてほしい。
・人口流出を止めてほしい
・復興について大人だけで決めないで、子どもにもたくさん意見を求めてほしいです。話し合いの場がほしいです。
・あれから3年たって町は少しずつ復興しているけど、まだまだ仮設とかに残ってる人がいっぱいいるから、そうゆう人が早く出れるようにしないといけない。あと一度津波で何もなくなった場所には新たに何かつくるのはしないほうがいい。
・今の現状をもっと子どもたちに教えてほしい。
・支援金の用途について（各学校での使い道がまちがっている気がする。比較的通常の生活がおくれるようになった学校よりも、まだ完全復旧していない地域へお金をまわす）
・子どもの意見もきいてほしい。

・いつまでも自立できないのは良くないので少しずつ自立する努力をした方がいいと思う。
・道路整備や住宅地の建築が遅い
・復興の意味を忘れるな
・がんばろう石巻！！
・お金を変なところに回さないで下さい。また、変な事に使わないで下さい。赤十字とか本当にやめて下さい。
・石巻の復興に向けてもっと計画を進めてほしい
・石巻だけ、他の地域に比べて、復興が遅い。市が、もっと、色んな人たちからの力を借りればいいと思う。
・ここ住みたいとかここ住みたくないとか文句いわないで1人で早く家とか見つけてふっこうしなさい。いつまでも被災者ぶって甘ったれんじゃないですよ？ということで震災についての資料館と大きな商業施設と大きな公園をつくってください。
・一番被害がひどかった所なのに慰霊碑もなにもないのはおかしいと思う。
・電車を通してほしい。本数を増やしてほしい。
・石巻地区に多く心理カウンセラーを置いてほしい。電車の本数を増やしてほしい
・皆で助け合うことが大切だと思うし、いつまでも支援にたよるのはよくないと思った。自立を早くした方が良い
・段取りよくやってほしい
・早く復興住宅を建てて！電灯を増やしてほしいです。
・まず石巻市民じゃない
・テレビで見るよりも、現地へ実際に来て見てみることがいい。
・石巻が震災前くらいに戻ってほしい
・店を増やす前に歩道などの整備をしてほしい。
・復興のこと頭から消えてませんか？
・もっといろんなことに挑戦する機会がほしい。
・早く仙石線を開通してほしい。早く復興住宅を建ててほしい。
・小さい子どもが遊ぶ場所が少ないので増やして下さい。
・もう風化していく中で町の復興も大切ですが、一番は心のケアを大切にすべきだと思う。
・少しずつでも復興していけたらいいです。
・まだ不便なところがある。確実に一つずつ元に戻してほしい。
・はやく復こうして。あと仮設に住んでいる人わがままますぎ。うるさい。
・仮設校舎などの学校はあまり自由がなく、つまらない。
・早く高台住宅つくってほしい。なかなか復興しない。
・頑張りましょう
・まだ、仮設住宅に住んでいる人のためにも土地を確保し、新しい家を提供してほしいです。
・元の渡波の町並みに元してください。（店とか）
・少しずつ復興してると思う。
・ありがとう。
・自分のことばかり考えんな。周りを見ろ。
・心のケアの面でそういう施設やセミナーなどの場が少なすぎる
・復興は皆が感じてはじめて復興がなされたことになると思います。頑張って復興していってください。
・仮設に住んでいる人が安心して落ちついて暮らせる住宅を造ってほしい。
・まず、住民と話し合うこと
・道路の整備や防波堤など資金のかけ方に問題があると考えられる。
・他県の人の大人たちへ、被災地なめすぎてる。
・絆
・東京のオリンピックの前に3年半経っても変わらない復興状況を見るべき
・本来の石巻市を元通り、それ以上に再生したい
・復興に全力でやるか、やらないかをはっきりさせた方がいい。あいまいにしているせいで、行動に移ることのできない被災者もいるので、復興計画をつくるなら、しっかり計画的に無理のない範囲で決定させる。そしてその計画はしっかり守る。
・大人だけの意見を参考にするのではなくもっと広い年齢で話しあってみんなで復興活動していったほうがいい
・頑張って下さい！
・今何が被災した地域に必要なのかもっとよく考えてほしい。
・全然復興が進んでいると実感できない！！
・頑張ろう！
・野球のグラウンドなどの仮設を移動してほしい。
・被災地の状況をもっと日本中に発信してほしい

・これから石巻で何をするんですか？
・がんばって下さい！！
・ごくろうさまです
・3年も経つのに、復興の様子が見えない。
・もっと人を呼べるものをつくる
・頑張ってください
・前より防災に秀でているものを作るより、いっこくも早く元の状態に戻してほしい。元に戻した後に防災を考えてほしい。
・税金の使い方をもっと見直してほしい
・頑張って。
・キレイな街づくりをしたい。
・がんばってください
・石巻の湊地区に大きな商業施設をつくってほしい。アウトレットやショッピングモールなど、古川まで高速道路をつくってほしい。
・1日でも早く、震災前の町を取り戻したい
・遊ぶ場所が減っているので、公園など増やしてほしい
・一年も早く復興しよう
・被災者意識を持たない。・震災ビジネスはいい加減終わりにする。・他と比べない。・市の役人が先見の明を持つ。
・目が届いてない所が多いと思う
・微力ながらお助けします。
・分からないことをいつまでも「答えられません」じゃなくて、しっかりと話し合って明確な答えを出してほしい。答えが出せない原因を教えてほしい。
・決してくじけることのないよう頑張ってほしい。
・小さい子たちのために公園をつくってほしい
・ほとんど復興したように見えるが、自分の家のまわりなどはまだ震災のなごりがのこってとても道が悪い
・子どもは子どもなりに悩んでいる。
・復興はかなり大変だと思います。頑張ってください。
・手のとどいていない所へも行ってみて、協力してほしい。
・もっとよく見て！！
・いつまでも支援してもらえると思わない方がいいと思う。
・震災後から今まで復興したとは思うが、ゴミがなくなり堤防を作っているだけだと思う。なにに金を使ったかなど今後の予定を知ってみたい。昔と比べかっぱつになっているとは思えない。
・市ではなく、国に問題があると思います。
・子供たちは、ほとんど元気なので安心してほしい。ボランティアなどに積極的にやってもらいたい。

高校４年生

・むずかしいことだけど過去をふりかえらずに前を向いて生活してほしい。
・年下が年上に言うことは何も無いと思いますが…特にない

高校生（学年記入なし）

・市長や国に言いたいのですが、市長はしん災の時、石巻市民を見捨て、自分だけ逃げたそうですが、そんなんだったら市長やめろ。国に言いたいのは、東京など都会の新しい建物を建てる余ゆうがあるなら、石巻の何もないところに建ててください。
・まだ震災のつめ後が残っている場所がけっこうあるからできるだけ早く復興してほしい。
・私たちは、大震災を経験し、いつも笑顔で生きています。でも、なかには家族が亡くなり、悲しい思いをしながら生きている人々もいます。なので、私達にできることがあれば、積極的に活動などに参加し、これから生まれてくる子供たちにも、あの日のことを教えていかなければいけないと思う。
・仮設住宅ですごしている人の手伝いをしてほしいです。
・特にありませんが、復興に向け互いに頑張っていきましょう。
・純粋に復興に尽くせますか。
・みんなで協力すれば復興は速く終わる
・もっと子どもが安心して遊べるところをふやしてほしい（公園・しせつなど

おとなの声

2.あなたは、地域の子どもが復興にむけたまちづくりに参加することをどう思いますか？　※（1）大変良いと思う　（2）良いと思う　（3）あまり良いとは思わない　（4）まったく良いと思わない　から選択

そう思う理由をご自由にお書きください。

（誤字・脱字もそのまま転記。判読できない文字は●で表記。）

＊紙面の都合上、過去の調査と同様に、「特になし」「ありません」以外の回答を掲載しています。

山田町……P.161

陸前高田市……P. 170

石巻市……P. 183

岩手県　山田町

20～29 歳

・(2):大人の視点でのまちづくりは必ずしも正しいと限らないから。
・(1):将来に関わることだから。
・(1):意見などがたくさん出て良いと思う。※県でもっと子供達の復興への取り組みを入れてグラフなどで紹介しても良いと思う。子供達が復興に取り組んでいることを、多くの人に知ってほしい。

30～39 歳

・(1):山田町の復興に関わることで愛着が強くなり、山田町に残って欲しいから。
・(4):子供の考えは現実に基づいていないものが多く、実際はまちづくりの妨げになっているから。
・(1):将来の山田町をつくっていくのは子供達だから。山田町に愛を持ってにぎやかな町にして欲しい。
・(1):子供達にとって復興は経験した人にしか分からないことだと思っています。学んだり成長の役に立ちそうな気がします。
・(1):どういう風に作られていくのか、自分の理想、想像力などが高まって良いと思います。
・(1):これからの時代を担っていく子供達の意見を参考にすることはとても大切だと思います。
・(2):将来を担う子供達だから。
・(2):これからの町を自分達でつくっていくことは必要だと思う。
・(2):将来について考えることは良いと思います。
・(2):子供の考えていること(発想力)は大人にはないものがある。合っているものもあれば的外れなものもあるが…。ただ無理だけは禁物。
・(1):子供達にとっても良い機会であり、将来大人になった時にその経験が役立つと思う。
・(2):自分たちの町を見つめ直す良い機会になると思う。
・(2):積極的に参加できない子供もいるかもしれないが、3.11 を忘れないためにも、またそれが防災へとつながっていけば良いと思います。
・(1):自分達が住んでいる町なので、町を良くするためにも良いと思う。
・(2):子供のそのような意識こそが復興につながる。子供が活躍することで町全体が賑わうと思う。子供が動くことで大人も動かざるを得ず、みんなで取り組むことにつながる。
・(1):地域の人たちと関わることができることと、自然災害の恐ろしさを実感し、まちづくりをして、また次の世代に伝えていって欲しいから。
・(1):大人も子供も一丸となり、まちづくりに参加していくのが良いと思うからです。
・(1):大人の考えだけを押し付けるのではなく、子どもにも考えがあるはず。案外、子どもはきちんとした考えがありますから。
・(1):震災が起きてしまった以上何らかの形で考え、携わるのが当たり前だと考えます。
・(1):将来を担う子供達だから。
・(1):様々な人との交流を持つことで、色々な考え方ができるようになり、多様化した行動ができると思う。
・(1):山田町の復興(沿岸)を内陸部の人々に知ってもらうため、情報誌を作ろうとしているから。
・(1):他の地域の人と意見交換ができるから。※子供達がどんな話し合いをしているか、どんな取り組みをしているか、もっと取材をして欲しい。
・(1):震災を乗り越えるためには、未来を見た方が良いと思う。

40～49 歳

・(2):被災地で生活する上で避けてはいけないと思う。
・(1):将来町を担う人たちだから。
・(1):子供達の自身の力と想像力は未知の能力があると思う。素直なアイデアが出てくるかも。

・(1):東日本大震災を風化させないために、復興に向けて参加することに意義があると思うし、子供達にも良い教訓だと思う。
・(3):仕事をしていてもどういうことをしているのか分からない。
・(3):具体的にどう関わるのか疑問であり、復興の遅れにつながる恐れがある。子供にとっては良い経験にはなると思う。
・(2):子供達には震災前の町も分かっていて、震災後、以前以上の町にするには？を考えながら山田を変えていって欲しいから。
・(2):町では子供の取り組みをしていないから！
・(3):復興以外にも大切なことがあると思うから。
・(2):自分が住んでいる町なので興味を持って欲しい。未来は良い町であって欲しいし、将来も住んでいるかもしれないので。
・(1):今回の震災を後世に伝えるため。
・(1):高校卒業してそのまま山田を出て帰らないことが多いので、まちづくりに参加することで自分が山田の今後を支えると感じると思うからです。
・(1):これからの山田町のためになるし、これから山田町を担う存在だから。
・(2):参加し、復興までの経過を体験、実感することは、その後の人生の糧となり、自信につながると思うので。
・(1):あの災害の当事者となり、いろいろな思いや感情に苛まれ、苦しみ、悲しんだ当事者です。その当事者がその思いや感情を踏まえて自分の町を復旧、復興させることは防災や減災の考え方の面から見ても大切なことだと思います。
・(2):小さい頃そうした取り組みに参加することで町に対する愛着であったり、自分の住む町を良くしていこうという気持ちが生まれると思う。ただ親を亡くしたりしている子供さんもいるので、配慮して欲しい。
・(1):災害のあったことを一生忘れることなく後に伝えられる。
・(2):良いと思いますが、子供と触れ合うことがあまりないので、活動があまり分からない。
・(2):うちの子もそうだけど、町のゴミ拾いをしている子供達を見ると、良いなぁと思います。大人の中には平気で空き缶やゴミが入った袋ごと道の脇に捨てている人がいるからです。
・(1):まわりまで元気になれそうで。
・(1):いろいろな体験が出来ていいと思う。
・(1):人ごとではなく自分自身にも関わることだということを感じて欲しい。
・(1):良いまちづくり、住みたいまちづくりに取り組むことで地元に残ってくれると思うから。
・(1):子供が住みやすい山田町になるように少なからず反映されると思うから。
・(2):何となく。
・(2):これからの人たちだから、大人が一方的に決めつけるのは×。
・(1):これからも住み続ける町で、今の子供達が大人になった時安全で住みやすい町を作っていって欲しいから。
・(2):子どもの意見が反映されれば、その子達は山田への愛情が深くなる気がするから。
・(2):地域が世代間で協力しあって、色々なまちづくりは良いと思う。いまだに心的に癒えていない子どももいるそうなので、配慮しながら考えていけばいいと思う。
・(2):子どもの前向きな気持ちが大人の心の支えになると思うから。
・(3):全ての子ども達が関わっているわけではないから。
・(1):自分たちの町を自分達で作り、大切にしていって欲しい。
・(1):当たり前のことだと思う反面、そうあって欲しいと思うから。
・(2):自分自身も何らかの形で復興に関わりたいという気持ちがあるので(実際は何もできないけど)、子供達が参加することは良いと思います。
・(2):長期戦になる復興に子供達が関わることは将来の目標を考える上でも良いと思うし、町を大切に考えるきっかけになると思う。
・(1):前向きに進むことは良いことだと思います。
・(2):自分が生まれ育っている町のことを考えて、自分達で考えてより良い町にしていくためには、子供達の参加は必要。

・(3):復興が本当にできるなら、子供達も参加しても良いとは思うが、元々の山田町があるので無駄なような気がします。※意見として、山田町がこれから良くなるとは思えず、ここに就職できるのかや低賃金で子供達が大きくなった時、家や家族を持てるのかが不安であります。今現在、我が子(娘、息子)達にも別に山田にいる必要はないから、どんどん出ていって活躍してきた方が良いと言っています。
・(2):自分達の育った町の復興に関わる(変わっていく町に自分達も携わる)ことは、すごく大事だと思う。ボランティアや大人の人任せは良くないと思う。

50～59 歳

・(1):将来を担う子どもの意見を参考にすることは大変良いこと。
・(1):子供が活動するとまわり全体が明るくなるから。
・(1):震災後、子供達が地域の事を考え、行動しているように感じられます。大人も子供も復興に関わっていけたら良いと思います。
・(1):将来地域作りの担い手となるため。
・(3):子供の心は複雑だと思います。復興していく自分たちの町を見て“頑張ろう”と思える子と、津波を思い出して体調を崩したり、精神的な負担になったりする子もたくさんいると思います。親や家族を亡くした子はもちろん、まだまだ精神的に立ち直るには時間が必要だと思います。“温度差”に気を付けながら進めて欲しいです…。
・(1):自分の生まれた土地に愛情を持って生きていって欲しいと思うから。その町の復興に参加することは人生の大きな心の糧となるだろうと思う。
・(1):これからの山田を担っていく子供達です。子供の欲のない素直な考えを訴えて欲しい。
・(1):若い人たちの新しい発想をまちづくりの中にどんどん取り入れた方が良いと思う。
・知識があまりなく成長盛りの子供には負担をかけさせたくない。負担をかけさせるべきではない。
・(1):未来は今の子供達が生きていく場所、生活する場所であるから。
・(2):大人の考えと子供が良いと思う考えには差があるので、子供のことは子供の意見を聞くのが良いと思う。
・(3):理想と現実の差があり過ぎると思う。
・(2):自分たちの町を自分達で作っていくという意識の啓発。
・(1):自分達の山田町の将来について考え、希望するまちづくりに参加することは、自分自身達が山田町に責任等を持ってもらえると思うから。
・(1):これからは自分達が支えていくのだと意識付けをすることができるから。
・(2):これから復興に時間がかかると思うので、将来に向け子供達の考えが必要だと思う。
・(2):大人やたくさんの子供たちがいろいろ協力し合えることがあれば良いと思う。
・(1):将来成長した時、自分達が作った故郷だと感じ、山田と関わったことを感じ、戻ってきてほしいと思うからです。
・(1):今後山田を担う子供達が自分たちの町を良くすることにつながるから。
・(2):これからの時代を担う子供達が、街の復興の一端に自分達が参加して将来のまちづくりをするということは、とても良いことだと思うし、参加させるべきだと思う。
・(2):未来の大人だから。・未来へ希望を持ってもらいたいから。
・(3):大人の意見さえ反映されないのに、子供がまちづくりに参加しても悩むだけである。
・(2):特定の子供だけ参加しているように思う。多くの子供が関わるなら OK。
・(1):子供の意見は理想の形だと思う。しかし予算などの縛りがあるから実現できないのであって…。
・(1):参加することにより山田町を好きになり、大切に思うのでは。
・(1):豊かであろう想像力に期待する。
・(2):自分達が住む町だから当たり前です。
・(1):これからの山田の発展につながると思う。
・(1):将来は山田町をつくっていく子供達だから。
・(2):将来を担う子供達に現状を伝え、自分達が実際に見たり聞いたりすることによって、これからどう生きていくか考える良い機会になるから。

・(1):意識の高揚、地域の輪
・(1):夢を持つこと、夢に向かって挑戦したい気持ちにつながると思うから。
・(1):これからの山田町を作り上げていく子供達なので、少しでも参加していれば住む町に愛着が出るのではないでしょうか。
・(2):復興を待つだけではなく、自らが携わる事で郷土愛が強まると思う。
・(2):行事に参加する事により、山田町民の自覚がより芽生え達成感にも繋がっていくと思うから。これからの山田町の発展に繋がっていくと思う。
・(1):将来を担うために良いと思う。
・(2):山田町に住むからには必要だと思う。
・(1):数年後の災害に備えてと、未来の子供たちのために。
・(2):町に誇りを持てる。自然環境、社会環境がどうあれば良いのかを学習・理解し、より良いまちづくりに参加していって欲しいと思います。
・(1):子ども達に関わらず、大人にも全部の地区に情報を回し参加できるようにすればいいと思う。どういうものがあって、どういう事をしているのかが全然というくらい分からない。被災していないためもあるのかと思っている。税金関係は情報がなくても、これを払えという様に容赦ないのに、いろんな情報は被災者中心のような気がしている。
・(2):子どもの頃から地域の人達(お年寄)と交流をして、色々な話から思いやりや積極的な行動を学んで欲しい。最近は家の中でゲームばかりする子が増え、子どもらしい心を忘れていると思う。
・(1):これからのまちづくりには、子供達の力が大事だと思います。
・(1):若い脳みそを持った子供達の考えがまちづくりに生かされることは素晴らしいと思うから。
・(2):地域が活発になり、人口が増えて欲しい。
・(1):山田町に残ってもらいたい。

60～69 歳

・(1):子供達の柔軟な考えが編み込まれた優しい町になって欲しいと思うから。
・(2):私達は子供に未来を委ねるのではなく、それなりの土台を作ってあげるべきだと思います。今まで経験してきたことで助言ができればと。
・(1):大人の感覚ではない視点で物事に対してくれると思う。思いがけない意見が出るかもしれません。
・(3):大人の方々が前向きになれていないのに、子供達だけ無邪気で元気そうに見えるからとその力を借りようとするのはどうかと思う。子供達の声がすれば元気が出るというのは、大人の元気がないからだと思う。
・(2):自分達の山田町だから。
・(1):大人は子供の考えが理解できそうで理解できないから。
・(2):大人、子供、地域全体でお互いに助け合い、一日も早いむかし町にしたいです。
・(1):子供達にも参加させ、活動、まちづくりに取り組む心がけが欲しい。学童での活動が大人になってからも地域を思いやる心を育てることにもなる。教育の一つとも考えられる。子供らの成長にも良い。一丸となってやる気を出させる方針、方向に。子の教育にぜひ必要と考える。まとまるということもある。
・(2):体験することで地域に密着、ふるさとに愛着、物事に興味を持つようになる。コミュニケートの場になる。
・(2):子供達に考えさせることは良いことだと思うが、結果的には全部無視された状況になった場合、教育的な意味があるのだろうか。
・(3):何歳までなのか。あまり問題視できない。
・(2):自分が生まれ育つところが発展して、大人になった時ふるさとは良いものだと感じて欲しい。
・(1):将来を担うことなので。
・(1):自分達の住んでいる町の未来に思いを担い、夢を持って進んでいける。
・(1):知っている人たちが内陸の方に家を建てたりして子供達も少なくなり、活気が薄くなっているような気がします。
・(1):子供達は意外なアイデアを出してくれると思います。
・(1):経験することにより将来の自分のためになる。
・(2):復興に関わって山田町の未来を子供達と一緒に考えていって欲しい。

・(1):これからも町や地域を大切にして思いやりのある子供達であって欲しいから。
・(2):自分達が住む町だから、若い人、子供達の参加は大変良いと思う。
・(1):自分達が関わってできた町に自信と誇りが持てると思います。
・(1):新しい発想が生まれる。
・(2):未来のある子供達が町の復興の状態をその目で確認しながら、町のあり方、様子を実感したりして町への思いを深めて欲しいです。
・(1):今後まちづくりの主役になるから。
・(1):将来の自分と向き合うことだから。
・(1):郷土愛の育成に良い。
・(1):将来の自分たちの街なので、一緒に考えることにより地域を大事にする、愛着を感じる心が育つと思う。
・(1):子供達が参加することでまわりを和やかにする。楽しくなる。
・(1):自分のまちづくりに参加してできるだけこの町に残って欲しいと思うし、この町で夢を見つけ、その夢を叶えて欲しい。
・(2):これからの山田を考えていく上で必要。
・(1):これからは子供の考え、行動に期待。いろいろなアイデアが豊富だと思う。
・(2):小さな部落で子供の人数が少ないため、先生達に全部一任していることです。もっと各家庭が仮設に訪問して老人達のお話を聞いたり、昔話を聞かせたりなど、交流を持つことは良いと思う。
・(1):数年で復興できることではなく、これから先を担う青年達が今現在子供達であり、今参加することで意識を持ち、将来に継続した高い意識につながると思うから。
・(2):未来の事を考えると良いことだと思います。
・(2):子供の純粋な意見や考えの方が、新しい発想を引き出しそうだから。
・(2):子供達には大人の既成概念がなく、夢を持っていて、将来性を考えると子供達の参加意義はあると思います。
・(2):次世代が主体となるから。
・(1):子供達の行動は大人を元気づける力があると思う。
・(1):将来大人になる責任を自覚させることが大事。
・(1):今後生活していく上で、将来の自分の財産として。
・(1):自分達が大人になった時、こんなことをした、自分達がここは作ったなどとずっと思い出すことができる。
・(4):子供だから。
・(1):大人は年を取って気付くこともいっぱいありますが、子供でなければ分からないこともあると思うので。
・(1):子供は正義感が強いので自分の利害に関係なく物事を決めるから。
・(2):子供達からの気持ちで大人も参加せざるを得ないと思う。
・(1):未来に向けた若い人の考えをまちづくりに反映させることが必要と考える。
・(1):思いやりの心の大切さを知る。
・(2):未来に向け積極的に自分を表現することは必要不可欠です。大人との意見交換に多くの若い人が参加することを望みます。
・(1):次世代を担う子供達なので、大いに参加したら良いと思う。
・(1):子供達には将来の山田町について明るい希望を持って成長して欲しい。
・(1):自分達がこれから生きていくのだから、大切に思い、良い街を考えて欲しいです。
・(1):被災の後、折れそうな気持ちを支え、子供たちは乗りこえているところです。
・(1):大きくなったときのために。
・(1):三陸大津波の記憶を風化させないために。後世まで語り継ぐために。
・(1):未来がある子供の意見を大いに参考にすべきである。
・(2):現在の山田を見てこれからを自分で考え、行動していく未来に向かって欲しい。
・(1):これからの長い人生、一番関わって生きていくのが子供達だからです。明るくいきいきとした自分たちの町を想像して欲しい。創造して欲しい。胸を張って“ここが私の町、私の一番大好きな町”と言えるまちづくりの大きな大きな一翼となってくれることを期待します。
・(1):自分が大人になった時、絶対心に残り、精神的に心のゆったりした思いやりがある大人になっていくと思います。

・(3):自活できて成人としての権利、義務を行使できるようになってから。若い感性での夢、希望を持つこと、話題は大いに歓迎！
・(2):子供達は子供達の考え方があるから。
・(1):未来は子ども達のもの。
・(1):これから山田のまちづくりをするためにも。
・(1):現状での中で子供なりの考え、行動が育つと思う。やがて将来の自分への目標にもつながり、地域、社会への積極的参加、大人にと期待をしています。
・(2):震災のあと復興について子供達がどのように思っているか話し合ってほしい。これからの山田町のため。
・(1):若い人の意見を聞く事が大事。
・(2):子どもの夢や希望を聞いてみると良いと思う。
・(3):何もできない。パパ・ママがちょっとね…だから？
・(2):子ども達が震災を忘れないため。
・(1):子どもの考え、行動を軽視せず、必要な人材である事を早くから理解してもらう事。
・(1):自分達の町だという自覚ができ、故郷を大切にする気持ちができると思う。
・(2):復興のまちづくりは、現状復帰と未来に向けての色々な考え方があるので、未来に向けてのまちづくりは子ども達の考えも参考にすべきと思う。
・(1):津波がいつ来ても被災しない人と街を作るために。
・(1):大人だけの固い考えより夢のある子どもの考えや想像がかなり参考になると思う。
・(1):山田町の昔からの出来事を学び、良いもの、時代にあわないもの等を判断し、考えながらどのようにしたら良いか、自由な発想・意見を述べながらまちづくりに参加していって欲しいと思います。
・(1):復興に向けてまたまちづくりについて参加することは当然だと思う。
・(1):自分たちの町という意識を持つことが必要だと思う。
・(2):自分から希望しての参加だったら良いと思いますが、学校や先生からの勧めは分かりません。
・(1):参加することによって色々なことを学び、喜びや満足も経験できると思います。
・(1):まちづくりをとおして色々な事を学べると思います。
・(1):未来を担う子供達こそ、20 年後 30 年後、地域の要となると思うし、柔軟な発想とアイデアに期待したいと思います。
・(2):自分たちが大人になっている 10 年後のためのまちづくりに関わっていくことは良いことだと思います。
・(1):親戚の子供が復興に向けた活動に参加しているのを見ています。町外でいろんな事をしてすごいと感心しています。
・(1):これから、何年か後にもまた津波が来る。そのためにも、自分達のためにも。
・(1):子供達の将来に向け、子供の頃はこうだったなぁ…と思うでしょう。復興はすぐにできない。長期に渡る。子供達が大人になり、子供ができ(生まれ)、あの頃はこうだったなぁ等と言える時が来るはず。
・(1):未来を担う子供達が自分の意見を自由に言い合い、故郷をいかに生かすのか、将来を見据えて語り合えると思うから。
・(1):子供達の声を聞いているだけで心が明るくなるし、将来性を感じて安心できる。
・(1):ふるさとを大事に思う気持ちが養われる。

70～79 歳

・(1):山田町民としての自覚を育てる。
・(1):みんなと協力してやることにより自分がより良く成長すると思う。
・(2):関わること、ものによっては良いと思う。
・(1):自分たちの町だから。
・(1):自分達も津波の時、皆様に支援を限りなくいただいて今があるといつも思っているから。
・(2):地元の町をよく知ってもらう。
・(1):自分の住みやすいまちづくりに役立つ。
・(1):将来の町は子供達がつくっていくものであるから、その子供達が考える未来の町を今のうちから取り入れていく方が良いから。
・(1):子供達が山田町のまちづくりに関心を持つことが復興を早める要因になると思われます。

・(1):若い発想、意見を参考にすることができると思う。若い時代に色々な体験をすることに意義があると思うから。
・(1):将来の山田を担う子供達が現在置かれている山田を見、聞いてまちづくりに意欲を持った大人に成長してもらいたいから。
・(1):生まれ育った地を希望を持って守ってもらいたいから。
・(1):山田町活性化に向け、大事なことでしょうね。
・(1):子供達の力が新しい山田町をつくると思います。
・(1):郷土を愛し、ふるさとを思う心が育つのではないかと思います。これからの子供達には良い勉強だと思います。
・(1):成長過程にある子供は希望が大きく期待される。
・(2):復興に参加云々とありますが、ほとんど行政に任せ、時々説明会があるのみです。子供参加の問題ではないです。
・(1):山田町のまちづくり完成後は今の子供達が街を利用・活用する年齢になると思う。自分達が参加してつくった街だと、他市町村に行って住まないだろう。
・(1):私達は高齢者なので、これからの若い世代の人たちや地域で成長していく子供達の声も大いに反映され、参加することは大変良いことだと思います。
・(1):地域に対して自身も関わっていると感じることが良いと思う。
・(1):これから未来に向けていろいろ子供達は経験したでしょうし、地元の繁栄、いい事じゃないですか。
・(2):地域の実状が分かってくるから、大人になる時に力になれると思うからです。
・(2):未来の子供だから。
・(2):町の祭りに参加することは良いと思う。
・(2):参加しないより参加することが良い。
・(2):自分の町の現状を見つめ、関心を持つことで新しい自分達の山田の町を生み出す力を付けていくことができると思うから。
・(1):生まれ育った地域の現状を知ることは当然のことだと思う。
・(1):子供達の意見も聞いて取り入れることは大変大事なことだと思うから。
・(2):将来は子供達のものだから。
・(1):我々高齢者より子供達の考えも良いと思う。
・(1):大人達が気付かない子供なりの発想も参考になる点があると思います。
・(2):これから大人になっていく子供達です。ずっと山田町に住み続けて欲しいし、町の復興に参加することはもっと町を知る上で有意義なことだと思います。
・(1):次代を担う人達の育成になる。
・(1):未来の町の発展を期待する一人です。これからの山田町を背負う子供達から復興に参加することは必ず町の発展につながるから。
・(1):今の子供達は兄弟、姉妹が少ない子供が多いと思います。だから団体生活に対しても自分が良ければそれで良いと思い、他人のことには無神経になる。
・(2):子供だけでは無理がある。地域の自治会、婦人会等と一緒になってやればよいと思う。
・(2):これからは子ども達の時代が来る。
・(2):子供達の発想(思い)も参考になると思う。
・(1):子供達がこれから自分達が住む町をどんな風にしたいかと考えて参加することは、山田が新しく生まれ変わるのにとてもありがたく、希望の光だと思う。
・(1):私は老人ですからこれからは若い人たちにお願いします。
・(1):今後の山田町を支えるのはやはり若い力だと思います。老齢になりまして痛いところがあると気持ちと行動が伴いません。
・(2):子供なりの考え方があり、夢もあると思うので、意見は取り入れて良い。
・(2):次期世代を継ぐ子供達に地域の実態を知ってもらいたい。
・(1):子供の時からの心は大人になっても役に立つと思います。
・(1):5～10 年は早い。大人●
・(2):将来のために経験になると思う。
・(2):山田町にいて、これからの山田町を震災前のように栄えさせて欲しいです。
・(1):人のため自分のため町のために役に立つ。将来の自信に繋がる。本人のために大変良い事だと思います。

・(1):地域の子どもの顔もよく知ることができます。歩く所(道路)に仮設があり、声をかけています。地域の事を知る事ができるので良いと思います。
・(1):私は老人クラブで、小学校の運動会、学習発表会、入学・卒業式にも参加しています。いつまでも地域の子ども達を見守ります。
・(1):子ども達の将来のため。
・(1):自分のためになると思うから。
・(1):いろいろな方々と交わることで、地域の大人の方の意見を聞いたり、行動を見たりで覚えてもらいたいと思う。
・(1):次世代のため。
・(2):子供達にも未来志向があると思う。
・(1):子供達が大人になっても住む町だから。
・(2):将来の担い手であるため。
・(2):私は年寄りなので分からないが、まちづくりに参加して町が良くなれば良いと思います。
・(2):まちづくりに参加することが良いと思う。
・(2):直接震災に遭わなくても被災者が集会場、或いは体育館などでしばらくの間避難している姿を直接見て、心を痛めたりボランティアもしたと思います。仮設に入られてからも、中学生は1人暮らしのお年寄りの雪かきなどを自然に手伝って喜ばれたり、話し相手になってやったりした孫達の姿を見ました。こういう小さい行動から山田のまちづくりの参加の準備(知恵)をお願いしたいと思います。
・(1):町に向けた復興のための参加は、子供達にとっても山田町にとっても大変良いことだと思う。早く元の山田町に戻ってくれることを期待できるから。
・(1):大人と子供の絆を深めるため。
・(1):未来を生きる子供達の考えが大切だと思います。
・(2):子供の考え方も良いと思う。
・(2):将来の生活について希望、計画を持つことは重要だから。
・(1):若い●ばいこと参加
・(1):将来自分が住みよい理想のまちづくりができると思う。
・(2):良い経験と思う。
・(1):大人だから子供だからと決めつけないで、自然体に身につけさせていく事を希望します。50 歳前後の女性達は特に、人にきびしく自分に甘い。その意味の深さを存じ上げていない。
・(2):それぞれの年齢層による意見、発想等が考えられると思う。
・(2):皆様と連帯の輪を広げ、山田町のこれからは若い人が何ごとにも参加、協力して頑張ってもらいたいです。大変ですが、年老いてもできる限り協力したいと思います。まずは復興ですね。みんなで頑張るしかないですね。
・(1):自分の生きていく町が復興する現実を見て成長してくれることが、一番の証しだと思うからです。
・(2):自分の将来図を描きながら活動できることは良いことだと思います。

80～89 歳

・(2):ボランティア活動に参加していろいろなことを学んで、大震災を風化させないで後世に伝えて欲しいと思っています。
・(1):災害の様子を見て関心を持たせることが大事だと思います。
・(2):子供なりの考えが浮かぶと思います。
・(2):社会に関心を持つこと。
・(2):急な災害の時、助け合いの精神をもつ考えが勉強になると思う。
・(1):将来は確実に子供の時代となるから。
・(1):子供は将来性があるから。
・(2):大人になっても震災の事を忘れないで生きて欲しいから…。
・(1):私はこの度の震災直後から復興について、昭和8年の津波後の復興のことについて体験した 80 歳後半以上の方々から聞きとりをしたが、答えられた方は0でした。復興やまちづくりを体験させることは後世のために役立つと思う。
・(1):自分達の作った町で自分の思い通りに将来も平穏に暮らせるように。
・(2):町民の1人として見る。

・(1):子供の時から現在の山田町の実状を身近に見、聞き、体験することが、今後のまちづくりにおいて、将来子供達の力が大いに役立つ時が来ると思うから。
・(1):子供達と一緒に遊んだり話をしたい。朝夕の挨拶をしている。
・(1):災害を身を持って体験して、復興のあり方に参加する。
・(2):子供でもいろいろなアイデアがあると思う。
・(3):子供は子供らしく保護者の下に躾をきちんとしたほうが良い。
・(2):テレビ等で、子どもの考えでもかなり上質な考えを持つ子も出てきているので、意見を発表させることは賛成です。実施は成人が考えて実施するべき。
・(1):当事者意識を持つようになって、成人後の活動につながるのではないか。
・(1):これから山田町に住むために。
・(1):山田町のため。子供も災害を認識し、成長と共に忘れないように。
・(1):子供の参加は大いに良いと思う。自分が被災した時に助けられるから。
・(1):山田の未来を背負って立つ子供達に山田の良さ、素晴らしさを理解させ、それでも震災後、故郷山田を離れていくのはなぜなのか。 留まるために何をどう立て直していけば良いのかを各々の年代に応じて考えさせることはとても大事だと思う。
・(1):郷土の未来をどう描いているか、郷土の未来がどうあって欲しいかなど、希望を表現できる。愛着を持てる。
・(2):人生の流れの中でいろいろな人生経験は必要であるので、生きていく世の中の経験とし、良かろうと思っている。人生には色々と体験が必要であるので、良いと思う。

年齢記入なし

・(1):災害を目の当たりにした体験は貴重な経験だと思います。苦しみも悲しさも乗り越え、復興に向けた意志が強いと思う。将来性がある。

岩手県　陸前高田市

20～29 歳

・(1):将来住む可能性のある子供達が考えた方が良いから。
・(1):これからは地域の若者が自主的にまちづくりをしていくべきだと思うから。
・(1):将来自分たちが生活するであろうこの町のために参加するため。
・(2):子供達にもみんなで住んでいる街を変えていって欲しいから。
・(1):同年代の人間が少なく、若い力が足りない。他の地域の事をニュースで見るが、もっと高校生くらいの子たちが参加できるまちづくり会議のような場を持つべき。またそうしたことに関われるように促すべき。
・(1):被災地から離れていく人々が増えていく中、将来に高田を担っていくだろう人材となる存在だと思うから。幼い頃から自分の住んでいる「まち」に関心を持ち、その中で自分に出来ることは何かを考えていくことが、その子ども達のこれからの生きる糧となると思う。
・(1):将来的に高田に残る残らないに関わらず、地元を活気づけることは良い事だと思う。
・(2):子供の意見も必要だと思うから。

30～39 歳

・(1):子供が復興のためにまちづくりをすることによって、地域の方々、周りの大人達も頑張ろうと思うから！
・(1):過疎化が進んでいるので、子供達自身が住みたいまちづくりをしていくことが今後大切だと思うから。
・(1):生まれ育ってお世話になっていく、また大人になるまで住むことになる自分の町だから。
・(1):自分たちが参加することで町を好きになる。大切にしたいと思うようになる。
・(2):私達の後を継いでいくのだから、どんどん参加させるべき。
・(1):大人の固い考えだけでなく、子供の感じたことをまちづくりに生かして欲しいから。
・(1):これからの陸前高田を背負って立つ子供達が参加することに意味があると思います。
・(2):これからの陸前高田市を元気にしてくれるのは子供達だと思うから。
・(1):これからの陸前高田を良くするために、子供達の考えを取り入れることも良いと思う。
・(1):将来の子供達の町になるので良いと思う。但し陸前高田市の子供達は参加しません。理由:学校行事や地区行事に興味がない。また参加しない。親が反対するか親に任せっぱなし。いつかもこういうアンケートが来たかもしれませんが、やめましょう。県や市を通して話し合いましょう。
・(1):自分(子供)が高田市に貢献することで、自分が市のためにこんなことをやったということが後世に伝えられる気がします。
・(1):将来の子供達が住む町にはとても必要なことであると思うし、何らかの形でかならず役立つ日が来ると思うので。
・(1):大人になった時、自分達で作った自分の町を誇りに思えると思う。
・(2):自分たちのことを考える良い機会だから。
・(1):子供達の将来のためになると思うから。
・(1):自分の目や活動を通じて、子ども自身も復興について感じられると思う。
・(1):津波の体験を生かして、これからどういうまちづくりをしていったら良いか、自分達で色々な思いがあると思う。大人とはちがう視点で考えてくれると思う。
・(1):次世代の主役である子ども達が復興の段階から主体的に参加し、自分達の故郷に愛着を持って欲しい。
・(1):自分達の住む町だから。
・(1):将来、陸前高田市を支えるのは今の子ども達だから。
・(2):未来を担う子ども達が住みたい街になるように、自分達で考え参加することは、今後の市の活性化に重要だから。

・(1):これから子ども達が成長していく中で、大人になって住みやすいと思えるような明るく希望に満ちた街になって欲しいからです。色々な案を出し合って、より良い陸前高田市、道路などもきちんと整備され安全な事故のない陸前高田市になって欲しいと心から願います。
・(1):将来を担うのは子供たちだから、子ども達の素直な意見を実現できる社会になれば町はもっと良くなると思う。
・(1):子供達は想像力が豊かだし、自分達の未来、将来に関わる事はいい事だと思う。
・(1):これからの陸前高田を担っていくのは子供たちだから。
・(2):将来は自分達の町になるのだから、他人事にならないように考える機会があった方がいいと思う。
・(1):実際にそのまちに住む人々だから。
・(2):自分達がまちづくりに関わっているという意識付けになるから。
・(1):自分達が地域の一員であるという自覚を持つことができるから。
・(2):復興に向けた自分達の思いを意識できそう。責任を感じたり目をそむけたり感じ方は色々だとしても…。
・(1):将来この町に住み、生活していく子たちだから。また大人の目線だけでなく、多方面の意見は必要だと思う。
・(1):自らの意見を他者と共有し、協働しながらまちづくりを行うこと、形のないものが形になっていくことは、将来の子供達の成長の一助となると考えます。
・(1):これからの陸前高田を生きていく子たちだから。

40～49 歳

・(2):いずれ大人になるから。
・(2):興味を持ち今後まちのために役立つような大人になってほしいから。
・(1):これからを担う子供達が新しい陸前高田市を作り、見守っていく立場だから。
・(1):まちづくりには年月がかかります。今の年代の子供達が大人になる頃に自分達の描いた町になっていれば、とても良いことだと思います。
・(1):市の復興を支えるのに子供達の考えや行動が必要だから。
・(2):子供自身に自信がついてくるのと、成長する過程で大きな「力」になると思う。
・(2):自分たちが暮らす高田に関心を持っていて欲しいから。
・(1):自分のできる範囲で協力することは必要だと思う。
・(1):自分達の郷土を愛する気持ちの育成と、なぜあれほどの被害が出て多くの人命が失われたか、子供達の新しい視点で考え、二度とこのようなことがないまちづくりをして欲しい。
・(1):次世代を担っていく人達だから。
・(1):10 年、20 年後に陸前高田市を担っていかなくてはいけない子どもたちです。いくら街が再生しても人がいなくては街として成り立っていきません。そのためにも子供達には復興に対するまちづくりに参加してもらい、そうするには自分は何をすべきか、と考えてくれれば大人になっても何らかの支えになってくれるのではないでしょうか。
・(2):子供達がこれからの未来を作ると思うので…。
・(1):子供達が安心して住めるまちづくりをみんなで考えて作って欲しい。若い人の力に期待します。
・(2):これからの町を作っていくのは今の子供達で、参加することで自主的な復興に向けた意識が持てるから。
・(2):自分がこれから高田市民でいられるように。好きでいられるように。
・(1):子供達が生まれ育った陸前高田市を大切にして欲しいと思うし、一度高田を出たとしても戻ってきて欲しい。
・(1):参加することで陸前高田市の町を大切に考えると思うから。
・(2):子供の考えなども参考になると思います。
・(1):この街、陸前高田が生まれ変わり、変わりゆく陸前高田を思い、再生していって欲しい。
・(1):色んな体験ができ、町がどのように作られていくか自分の目で見ることができるから。色んな人達と話ができ、色んな話が聞けるから。

・(1):他人事のように思っているので、社会科または生活科の授業みたいなものを利用して、これからの未来を考えても良いのではと思います。
・(2):参加すること、体験することが貴重だと思います。
・(2):未来の陸前高田は素敵な町になって欲しいから、地域の子供達には今から関わっていってほしいです。
・(2):何事においても経験してくれたらと思うから。
・(1):これからの陸前高田市を担う子供達に夢を実現させて欲しい。
・(1):大人の方々の声も大事だと思いますが、キッズの声を聞いてあげるのもとても重要なことではないでしょうか。
・(2):子供達がこれからの陸前高田市の未来を担うと思うので。
・(1):将来の担い手である子供達が住み良い地域にしていくことが大切になっていると思うから。
・(1):これからも自分が生活をしていく基盤だから。
・(1):子供達が元気だと未来が明るい。子供なりにいろんな考え、理想があり、意見はとても大切だと思う。
・(1):地域の子供が地域に愛着を持つことで、地域の未来を築いていって欲しい。
・(1):自分達が住んでいる町がどのように変わっていくのか、変わっていって欲しいのか、見たり考えたりすることで将来進むべき道が分かったり、周囲の人たちへの思いやりなど、気づくことも多いと思うため。
・(2):自分達の故郷への思いが強くなると思うから。必ず帰ってきたいという思いになると思うから。
・(1):子供がまちづくりに参加することによって高田のこと(将来)を考えるきっかけになり、やがては高田のために何か役立つ人間に育つと思うから。
・(2):郷土愛が育つため。次世代を担うため。
・(2):「これから」がある子供達が、自分達の住む街を作っていくべきだと思うので。
・(2):実現できるかどうかは別にして、現実に縛られがちな大人とは違う発想がある。その中からヒントを得て実現できる事もあると思う。また参加する事で自分のまちという意識も育まれると思うし、考えたり想像したりする力も養われると思う。
・(2):まちづくりには老若男女色々な人々から意見を聞いた方がいいし、子どもだって意見や考えがあると思うから。
・(1):地元思い。復興の担い手になってくれることを願う。
・(1):自分が暮らす町について知り、愛着を持てるようになるから。
・(1):将来の陸前高田を担っていく子供を知る事も大切だと思う。
・(1):生まれ育ったふる里をずっと大切にして欲しいと思うから。
・(1):子どもたちが地域に関わるのはとても良いことだと思うから。
・(2):次世代を担う子ども達が自分達で考え、よりよい町を考える事により、町を離れる人が少なくなる。色んなアイデアを出し合える。
・(4):震災後のまちづくりに自分も参加したいと思わないから。
・(1):大人になった時、自分達が暮らす町なので自分達なりに未来に希望を持って欲しいと思うから。
・(2):子ども達が自分の考えを持ってまちづくりに参加しているということを知った大人達が奮起すると思うから。
・(1):自分の住んでいる町や地区に興味を持つのは良いと思う。・復興という形でも、考える、目を向けるのは大変良いと思う。
・(1):大人にできない夢のある発想がたくさんでてくると思う。
・(2):それなりに子供の心の成長に向けて、いいと思う。
・(2):陸前高田市に関心がもてる子供に育つと思う。
・(1):自分達の住む高田の復興には、子ども達の力が必要だと思うから。
・(2):自分が守るべき町。
・(2):社交的になる。
・(1):将来を担う子供達が未来の陸前高田市を考えることは普通のことであり、そうあって欲しいと願うから。
・(1):将来住むのはその子ども達だから。
・(1):今の子どもがこれからの陸前高田市を作るために関わっていく必要があると思うから。
・(1):大人では分からない(見えない)事が、子ども達から発見される可能性があると思います。
・(3):私を含めて、大人が大人として機能していないから！

・(2):地域の復興、まちづくりに良いと思う。
・(1):とてもいいことだと思うから。
・(1):子供の目線を知ったり、大人の考えを教えたり出来るのではないかなと思います。
・(2):子どもたちにいい事だと思うから。
・(2):未来は、子供達がおとなになった時に住みやすい町になればいいと思うから、子供たち、若者達の意見は大切だと思う。
・(2):自分で考えるようになるから。
・(1):子供は自分が住んでいる町の未来について考えている。その考えを発表する場があっても良いと思います。
・(1):若い世代の力も必要だと思うから。復興も2・3年の話じゃないので若い力を貸してほしいと思います。
・(1):一度はこの地域を離れるが、10～20 年後戻ってきて、地域を支える主役となる世代だから。
・(2):自分の故郷になるから。
・(2):子どもが大人になり、高田町に残る子どもが多くなるような気がする。
・(2):これからの将来を担う子供達だから、自分達のまちづくりを考える良い機会だと思う。
・(1):大人も子どもも地域一体となって一緒に参加すれば一層絆も深まるのではないか。
・(2):自分の住んでいる町だし、復興に関心をよせることになると思うから。
・(1):子供の頃から自分の住む町を考える機会を持てる事は、とても将来の役にたつと思うから。
・(2):これからの自分達の将来に関わることだから。
・(1):今後人口が減っていく上で、今の子供達がどうしたら高田市に居住してくれるか。子供達が住みたいと思う気持ちを作るために必要だと思う。
・(1):自分達の郷土を愛して欲しいから。地域の未来は老若男女全ての人によって作られるものだと思うから。
・(2):復興した町に住んでもらいたいから。
・(2):まちづくり参加だから。
・(1):これからの地域を担う子供達が自分の住む町に愛着を持ち、自ら考え、参加し、地域の復興・発展の力になる人材になると思うから。
・(2):自分自身のことだから。

50～59 歳

・(1):復興には長い時がかかる。やがて地域を担う子ども達が自分達が住む街について考えることは、とても良い事だと思う。
・(1):地域への愛着、そして復興の担い手となる基となるから。
・(2):次代の地域を担うのは子供達だから。
・(1):地域の一員であり、何らかの形で復興に携わっていくことは、高田市全体の力となると思うから。
・(1):未来の大人達だから。
・(1):子供達が大人になった時の住みやすい町を考え、意見を出すことは必要だ。
・(1):これからの陸前高田を築いていく人だから。
・(1):次の世代が関わることは未来を作るために重要だから。
・(1):でも小さい子供がいないので、取り組み等も分かりません。
・(1):私の子供時代も夏休み、冬休みの過ごし方、勉強する場所など考えながら意見を出し、笑ったことを思い出します。みんなで集まって行動することが似ていますし、とても良いと思います。
・(2):何もしないで呆然と生きているのと努力をしたのでは違うと思われるので。
・(1):関心を持って欲しいから。
・(2):自分たちの育っていく町だし、自分たちが大人になっても忘れないと思います。
・(1):大人になった時、自慢したくなるようなまちづくりに参加したことを、後に続く子供達に話して欲しい。
・(1):被災地、地元の教師として当然あり方を指導、支援している状況(最中)だから。
・(1):陸前高田市に関わっていくのは、今の子供達だから。
・(1):次世代のために。
・(1):色々な情景を見ているから、これからのまちづくりに役立つ事はいっぱい分かると思う。
・(1):これからは子供達の参加なくしては未来が期待外れになってしまいますので、ぜひ参加させた方が良いと思う。

・(1):大人から子供まで意見を出し合って良い方向に向かうのが良いと思います。
・(1):将来自分が暮らす町のために参加することは良いことだと思う。
・(1):前向き、積極的な姿勢にさせる。
・(1):未来を主導していくべき子供達だから。・今をよく知ることとなるから。・市民としての自覚が生まれると思うから。
・(2):高田市を担う子供達が参加するのは良いと思います。色々な意見を出し合いながら良い陸前高田市を作って欲しいからです。
・(2):これからの陸前高田市を担って行くのは、震災を経験した子供達だと思うから。
・(2):偏った考えでなく、柔軟な素朴な子供の意見を大事にすべきだから。
・(1):自分達が暮らしているまちづくりは、実際に住んでいる人達が行った方が良いから。
・(1):復興後に生活するのは、今の子供達だから自らの希望でまちづくりしてほしい。
・(1):子供は心の目で見て聞いている。ストレートな意見を言うと思うから。
・(1):子供たちが自分の生まれ育った地域に関心を持ち、愛着を持って高田に暮らしてくれる事を望みます。
・(2):あまり復興にばかり関心を持たずに、広く色々な分野に夢や希望をもってほしいです。
・(2):忘れない為。
・(1):この先何年もかかる復興なので、何年先、何十年先の事が大人になったらとても愛着が地元にわくと思うから。
・(1):今の子供達がこれからの陸前高田市を作っていくわけですから、自分達が住みやすい場所にするために、今から参加するべきだと思う。大人だけにまかせると震災前とかわらない高田になると思う。
・(1):将来(復興後)のまちづくりの中心となるのは、今の子ども達であるから。
・(1):子どもたちが大きくなる頃、街ができるから。
・(3):今できることを一生懸命した方が良い。勉強やスポーツ、特に将来に向けた勉強。
・(2):これから自分で未来を考えてみる機会のひとつとなる。
・(2):災害を忘れないため、これから作りあげていかなければならない町に子ども達は必要だと思う。
・(1):将来の陸前高田を支える子ども達が高田の事を考える良い機会になると思う。
・(2):未来を担う子ども達がいなければ、復興はないから。
・(2):良いと思うが具体的な方法が分からないので「大変良い」かどうか分からないから。
・(1):大人になった時に役に立つと思う。・将来、陸前高田市に住んで生活して大人になって、地域で色々活躍出来ると思う。復興に役立つと思う。
・(2):これからの陸前高田を作っていく子ども達なので、自分達が少しでも関わったという自信が持てるのではないでしょうか。初めは大人から指示された事をしていても、成長するにつれて何をすればいいか、自分の頭で考えられるようになると思うので、参加することは良い事です。
・(1):復興の良し悪しの影響を将来最も受けるのは子どもだから。・子どもの受けた非常に厳しい被災体験を生かせるはずだから。
・(2):子ども同士、コミュニケーションがとれて最高にいいと思う。
・(1):10 年後、20 年後の陸前高田の主役として活躍して欲しい。
・(1):高校を卒業すると同時に陸前高田市または県外に出る子どもたちが多いと思います。地域に根付くのは現在の今を見ながら参加することが大切だと思います。
・(1):自分のことだけでなく、他人を思いやるということは大切だと思うから。
・(1):津波にあい、子供達も怖い目にあい、みなさまからあたたかい支援をいただき、子供達も忘れない為に復興に協力し、大きくなっても自分達も協力してここまでがんばれたと思ってもらいたいから。
・(2):意見を話したり聞いたりするのは良いことだと思うが、それを地域の発展につなげていく大人にかかっていると思う。
・(2):何にもなくなってしまった町を再生し、将来に向けて復興に参加してほしいと思う。頑張ってほしい。
・(1):これからの社会は子供達が作っていくから！

・(1):将来、陸前高田市に残って活気のある町にしてもらいたい。震災後の町の変化に目を向けてほしいです。
・(1):郷土を思う心が芽生え、人工減少になるのでは。
・(1):自分たちが住むまちづくりに参加することはとっても良いことだから。
・(2):自由な発想に期待。
・(1):長年に渡っての復興なので、これから子どもたちが主体となって、活動することを願っている。
・(1):高田に住む子ども達が、これから大きくなって高田を背負っていく事になるので！！
・(2):将来に向けて過程を肌で感じることは何らかの役に立つと思うので、ボランティア支援などへの参加は良いと思う。
・(1):子供なり(子供だからこそ)の夢や希望、理想があると思うので、それぞれの意見を述べ実現可能に向けて復興を進められると良いので。
・(1):状況をしっかり教えることで市内からの流出を止められると思う。
・(1):将来のために。
・(2):色々な目線からのまちづくりは大切だと思う。
・(1):未来を担う大切な存在だから。
・(3):大人の話し合いに参加して希望、要望を伝えても、空返事しか来ないでしょうし、草やゴミを拾ってもプロにやり直されたり、復興を進めない大人達にがっかりさせられるだけのような気がする。
・(2):今の子供達がいずれは背負う陸前高田市なので。
・(2):色々な案が出ると思う。
・(1):次代を担う子供達が参加することにより、成人した時に記憶していれば考え方が前向きになると思うから。

60～69 歳

・(1):これからの人達なので色々なことに参加することは良いことだと思います。
・(2):関わることによって「まち」に愛着を感じながら成長していける。
・(1):自身の住むまちづくりを思う。
・(2):希望通りにはいかずとも意見を述べたり活動に参加することが大切だから。
・(2):今は小さくとも高田の復興を見ながら大きくなっていくので、大変良いと思います。
・(2):今から自分達が過ごしていく上で、よりよいまちづくりのヒントになれば良いと思うから。
・(2):子供達の未来像に近づけたら、まちづくりも理想に近づけると思います。
・(1):子どもにとっても環境は同じです。
・(1):未来の方々の考えを伝えて欲しい(希望、思想など)。
・(2):子供達のためになるから。地域に愛が生まれるから。
・(1):子どものうちから「まちづくり」に参加することは、陸前高田を好きになる事につながると思う。そして住み続けてほしい。
・(1):自分たちの町なので。
・(1):子ども達が大人になって住みたいと思うまちづくりにする必要があると思う。
・(1):子供達も一員として参加した方が良い。
・(2):地域のことを知る必要があると思う。
・(1):復興という意味を自分の目で確認することが一番だと思います。大人でも子供でもすべて経験、体験が一番と思います。
・(1):復興が完了するのは何年先かわからないが、10年以上になると思うので、子ども達が成人し家庭を持つ時期になると思うので、今から参加することが必要と思う。
・(2):話を聞くことは良いことだ。
・(1):子供達の意見を聞ける。人材が多くいて欲しいと思う。
・(1):子供達自身が将来を担うため、大いに参加すべきだと思う。
・(2):これからの陸前高田のまちづくりに参加することで、自分達の将来に大きな希望が持てると思います。
・(2):子供達が今後地域を守り育てる必要があるため。
・(1):子供達から意見を聞き、住みたいまちづくりに非常に良い。
・(1):自分たちの町がどのような町になって欲しいか、子供目線で考える町も参考になると思う。大いに子供達の意見も取り入れるべきだと思う。

・(1):次代を担う子供達が参加するのは当然であると考える。
・(2):自分達が住みたいと思うまちづくりをするのは当然のことだと思う。魅力のない町では、一旦町を出たら帰ってこないと思う。交通の便も悪いし、収入も低い。私の子供達が来てくれるのも子供の頃育った環境と友人がいるから。帰りたいと思う町を作って欲しいから。しかし過去の災害、経験のある年配の意見も取り入れて欲しいと思う。
・(2):子供の目線で見るのも良いかと思います。
・(2):地域の一員としての意識がより高まると思うから。
・(3):中高生がまちづくりに意見を出すことは良いと思うが、それも程度の問題。学業優先すべきだと思う。復興は大人が責任を持ってやるべき。
・(1):結局将来を担うのは子供達なので、その子供達が住みやすいと思う町をつくるのが一番重要だと思う。そのためにも子供達がまちづくりに参加することはとても大切だと思う。
・(1):これからの時代の人だから。
・(2):子供の頃から地域の大人達との関わりを持つことは、成長していく上で大事なことだと思う。
・(1):今後の陸前高田市を背負っていくのは子供達、自分達の意見が取り入れられたと思うと、より一層やる気が出てくると思う。
・(1):参加することで愛郷心が身に付くと思う。子供は将来のまちづくりに欠かせない。
・(1):自分の生まれ育った町で、今後どのように作ったらよいか将来に向けて意見を述べて欲しい。
・(2):将来を担う子供達の意見が反映されることが重要だと思う。
・(1):将来を担うのは子ども。大人目線ばかりではなく将来を託す子供の意見にも耳を傾けるべきだ。
・(1):参加する人が多ければ良いと思う。
・(1):これからの陸前高田を担う子供達の意見にも耳を傾けるべきだと思うから。
・(1):「陸前高田市の復興、まちづくりに自分達も参加できた。」という思いを子供達も持つことができるから。
・(1):自分たちがこれから生きていくところだから。
・主催する側の思惑に左右されはしないかと思ってしまいます。方向付けが定まっていない時点での参加は躊躇してしまいます。
・(1):子供の考え方(発想)は素晴らしいと思う。陸前高田市を継ぐ未来の子供たちの意見は聞いてから。
・(1):地元に残るには色んな経験を子供のうちからすることが必要だと思います。
・(2):未来のまちづくりです。思いに向かって参加して欲しい。
・(1):復興が完了し、さあスタートだという時期に今の子供達が成年になり、若きパパ、ママになる頃なので、その人たちがこの高田をリードする人たちになるため。
・(2):将来子供達が活動する柱になるから。
・(1):将来大人になるのだから、今からの社会参加は役に立つと思うから。
・(2):自分の将来のため
・(2):子供がいない。
・(1):震災で傷ついた心がまちづくりに参加することで少しでも前向きになれると思うから。
・(1):これからの世代だから。
・(2):色々な世代から意見を聞くこと。
・(1):自分達が住む町の復興、まちづくりが住み良い町、災害に強い町に作り上げなければ意味がないから。良い大人になるため。でも子供をあまり見かけない。
・(1):津波の事、災害のこと等々、知ってもらい、今後の陸前高田市の変わっていく様子は子供達にぜひ必要だと思います。
・(3):市も関係機関も単なるポーズに過ぎない。
・(1):復興も何年もかかるし、子供達もだんだん大きくなるので、色々な意見もあると思います。少数化●で関わることが楽しいとも思う。
・(2):自分たちが住む町なので、参加して素敵な町にして欲しいです。
・(1):未来は子供達のものなので、助言しながら良い方向に導いていけたら良い。
・(2):10 年、20 年後は大人だよ。
・(2):ふるさとを後々に思う気持ちが生まれるかも。
・(1):次代に生活する子供達の住みやすいところにするために、大いに参考意見を聞いて欲しいと思います。新鮮な考え方が今こそ必要で大事ではと思います。
・(2):大人だけでなくこれからのこの町を次の若い世代に自分たちの町として考えて欲しいから。

・(1):陸前高田市の発展を願い、まちを大切にする気持ちを持ち続けて欲しい。
・(1):未来のある次の世代の夢のまちづくりの意見。
・(1):将来に向けての生活設定が出来る。
・(2):まちづくりを言う前に、地区地域での挨拶、ふれあいがおろそかになっているので、その大切さを身に付けてほしいから。
・(1):子ども達が市外に出て行っても戻って来たいと思えるようなまちづくりをする為にも、子ども達の希望や意見も聞き入れた方が良いと思います。
・(3):未来は自分達の世代。そこに関連する身近な取り組みが必要。【一例】・「食」復旧ではなく新たな復興、食に対する安全安心。・「住」住みやすさ、木とのふれあい、山里。・「環境」住みやすさって？・「農漁」基幹産業。→単発な取り組みで終わらせず、常に意識せずにできることがある。
・(1):大人より長く陸前高田市に住む可能性があるのだから。
・(1):いずれこの子達が陸前高田を作っていくと思うので、今から色々な事を学び、多くの人達の意見を聞くことも必要だと思うし、夢を持つ事は大事だと思います。
・(1):この震災を体験。安全安心な地域を考えて欲しい。
・(2):みんなの町だし、これから町を支えていくのだから。
・(2):今の子ども達が住んでみたいまちづくりに参加することは意義はある。どんな町にしたいか子ども達も十分学んだ上で提言してほしい。
・(2):将来の高田に響くために小さい時から参加させたい。
・(1):人口が減って来ている今、将来に向けて若い子ども達がまちづくりに参加する事は大変素晴らしい事だと思います。
・私達の子どもの頃と違って随分少なくなっているので、これからは子ども達が復興に向けて、色々意見を延べて欲しいと思います。
・(1):自分の生まれた「まち」の復興に参加し、今後に向けて意識づけていくために必要だと思う。
・(2):集まって何かを行うという事が、何かに繋がると思います。
・(1):子どもの視点には、大人にないものがある。
・(1):子ども達の大きな未来があるから。
・(2):子どもは子どもなりの考えがあるので、大人と違った見方をする。
・(2):これからの道は自分達が作るんだという意識を持って歩んで頂きたいと思います。
・(2):小さい時から、そういう行動を起こすことは良い事だと思う。
・(1):子どもには未来があり、夢があり、希望がある。
・(2):これから高田市に住む人が多いのではないか。
・(2):子供から大人までいろんな意見を出し合い、時には外部の意見も取り入れながらまちづくりをしてほしいです。
・(2):市内の様子がわかるから。
・(2):今から大人になる子供たちが自分の町のために目をむけて生きていく、それに協力すること、関われれば一番いいと思う。少しずつでも！
・(2):良いことですが、成績の良い子供達ばかりを代表として送り出し、見え見えの答えしか出ていない。もっと大きい目で見てもらえるのなら大賛成です。
・(1):自分達の町、自分達の市、自分達の県、自分達の国、そして世界へ。人と人とのつながり、関わりがまちづくり、国づくりになっていくことを学び、日本を背負っていく大人になってほしいと思うし、そのための学習の場でもあると考えるので。
・(1):陸前高田市の現状をわかると思うから。
・(2):将来この町で生活していくと思うので、まちづくりに参加することにより何年か先、自分がリーダーになる事になると、順序立ててこの町が出来た話が出来るし行動する事が出来ると思う。
・(2):自分が住んでいるまちを考えるチャンスであり、自分自身の将来への希望を話す機会となる。又、良くも悪しくもふるさとの再発見へとつながると思う。
・(1):まちづくりに参加すると地域にとどまる可能性あり。
・(1):未来を良くする事ができるから。
・(1):自分の生まれた場所(土地)を大切に思う意識を持つという事を高く評価したいと思います。

・(1):現在自分達(子供)が住む町、地域がこういうふうに変化していく事への大切というか、こういう町にと反映すべき。
・(1):生活がわかる。
・(1):復興後の主役は子供達。
・(2):私たちや子供達がそう思っても、上の人達の考え方がちがうのでどうにもならないと思います。
・(1):将来子供達が次世代を担うにあたり、自分達の地域をよく知り、復興に向け協力する事が大切だと思う。
・(1):小さな力でも地域に役立っているんだと思う気持ちを持ってもらいたい。(近所に子供がいない)
・(2):地域を大事にすることが、自分の将来に関わってくることを教えられるから。
・(1):今後の高田市のためになると思う。
・(1):これからを背負っていく若者たちが今回の大震災を体験し、考え方、生き方がいい方向に向かっている事はまちがいないし、そうあってほしいです。
・(2):子どもの発想は大人の考えとちがうから！！
・(2):大いに未来があるので。
・(2):子ども達の現在思っている事が分かるから。
・(1):地域との繋がりが深くなり、長く住みたい…と思えるようになるのでは？どうしたら住みやすく良い町になるのかを、若いうちから考えられる。これから主役。
・(1):自分達の住む町を大切に思う気持ちを持って欲しいから。
・(1):震災後人口の流出が続いていると聞いています。子ども達がまちづくりに参加することにより、地域に居続けてくれる状況になれば非常に歓迎すべきことだと思います。
・(2):将来の陸前高田を作るという意識が育成されると思う。
・(2):大人には分からない発想があるかも知れない。
・(1):大人と同じ体験や考えを持つことは、復興に関わらず大切なことだと思う。
・(1):未来の“まちづくり”はやはり自分達で構想し作りあげていくのが一番！我々の年代は“協力”。楽しみ！
・(1):まちづくりに子ども達が思っている事が一つでも実感できれば、将来大きな自信に繋がると思う。
・(1):子ども達がまちづくりに参加することで、将来の定住に繋がると思います。
・(1):固定観念にとらわれず、独創的な発想が期待できるから。
・(2):自分達の町は自分達が良くする。
・(2):将来に向け新たなまちづくりをする上で、子供達の考えを反映させたい。
・(2):参加することで夢や希望を持って頑張ってもらいたいです。
・(1):これからの陸前高田市をよく見て、自分達の意見や考えを取り入れてまちづくりをしていって欲しいから。
・【備考】4、5、6、7の設問には答えられない。新しいまちづくりについての発想がおかしいと思う。復興ではない。理由:・年齢、世代に関係なく、一市民が陸前高田市のまちづくりについて意見を言う機会を一回も与えられていない。子供だけまちづくりに参加する機会を問うのはおかしい。大人も与えられていない。・市内小学校全体行事で「未来に向けた意見発表会」を行っている。学校で未来の高田のことを考えて各小学校の代表が考えを発表する公的な会だが、市長他市職員は誰も参加していない。あなた方が行っているものには市長や副市長が参加しているのに。教育委員会等が主催し、学校全体で真剣に取り組んでいるものを大切にするのが本当であると思う。外部団体にだけ顔を向ける市長の態度はおかしいし、子供だけでなく大人(市民)の考えにも目を向けない態度が続いている。パフォーマンスだけの取り組みはやめて欲しい。・「復興」という言葉をどういう意味で使っているか分からない。高田で生まれ生活し、これからも生活していく人間の意見を大切にして欲しい。外部団体のつまらない意見や思いに左右されたくない。
・(1):未来を担う子供達にぜひ参加して欲しいので。
・(1):子供達は大人では思いつかないような考えを持っていると思うので、積極的に参加して欲しい。

70～79 歳

・(2):震災という恐ろしい経験を二度と繰り返さないように、皆が将来安心して暮らせるまちづくりを考えて行って欲しい。
・(1):どんなことも自分の身体で体験して欲しい。

・(3)：小学校の校庭に立っている仮設住宅を、早く小・中学生に返して下さい。
・(1)：未来の高田市に役立つ。社会に出て色々と経験した事が役に立つと思います。
・(1)：七夕等の準備に一生懸命頑張って作っている姿は、未来の高田市を明るくする気がする。
・(2)：将来の自分のふるさとを大切にする心を育みたい。
・(1)：今の子供達が住む町だから。
・(2)：常に避難場所の確認、共助の心を育てる事など、話し合う機会を持つ。
・(1)：子供の頃からそのような教育をする事が大切と思うから。
・(1)：将来に希望や責任のある子供に育つ。考える子供になる。家庭でも話題になる。
・(2)：子どもには夢があるので、ヒントがたくさん見つかると思う。
・(2)：将来を担う人達なので。
・(2)：現実を見てこの先の自分の生き方をも考えるきっかけとなると思うから。
・(1)：ない
・(1)：未来に生きる子供達が「あの時自分もまちづくりに参加した。」という意識を持つことが大切だから。
・(1)：将来世の中を支えていく子供達。復興に関わって人々の苦労や頑張っている姿などを体験させるためにも。
・(2)：これからの子供さん方なので、世の中のことを見たり聞いたりして何でも自分で考え、そして力を合わせれば大きなことができるんだなと思えるような、そんな人になって欲しいと思う。
・(2)：子供には子供の知恵、知識で頑張って欲しい。
・(1)：将来のまちは子供にかかっているから。
・(1)：大人になった時、自分たちも参加したと自負する。
・(2)：明るい未来のある子供達の考えは、どんどん受け入れたら良いと思う。
・(2)：子供なりの目線で地域への願望があるだろうし、夢を抱いているから。
・(2)：子供達に大人の考えを伝えたい。
・(1)：将来のまちづくりに夢を持っていると思う。
・(1)：自分たちの未来のまちづくりだから。
・(1)：人口減少をなくすため。
・(1)：参加することによって震災のことを知る。大変さを知る。多くの人々と接して視野が広がる。
・(2)：詳しいことは分からないが良いと思う。
・(1)：生まれた土地は宝だから。
・(1)：地域の将来を担うから。
・(1)：復興と共に子供達も成長し、明るいまちづくりにつながると思います。
・(1)：これからの高田を担う子供達なので、苦しいこと、悲しいこと等を色々体験して住み良いまちづくりに協力して欲しい。
・(1)：近い将来自分たちの住みたいまちづくりのため。
・(1)：２～３年後には大人（成人）になる子供は判断力がある。
・(1)：みんなが助け合いの心を持ち、明るい生活ができるように。
・(1)：これからのまちづくりに出席していないとどんなことが話し合われているのか分からないと思うので、参加することによって勉強になると思う。考えも色々出てくると思う。
・(1)：大人になって新しい陸前高田市、高田松原を作って欲しいから。
・(2)：生来自分たちの住所なので。
・(2)：子供が主体になるべきだから。正しい歴史（伝統文化）を教えなければならない。
・(1)：これから陸前高田を作っていかなければならないから。
・(2)：市のためなら。
・(2)：私たちは年を足していくので、忘れやすい。子供達は若いので覚えが良いと思う。
・(2)：良いことへの参加はその人のためになると思う。
・(1)：皆さん仲良くすること。
・(1)：まちづくりに参加すると長く住みつくと思います。自分がつくった町を大事にし、プライドを持って生活していくと思います。
・(4)：復興があまりに遅すぎた。・親たちの教えがない。・高田はまちづくりしても子供達がいない。
・(1)：将来この町に住むためにも、自分達で参加して作った町だと思えば誇りに思うのではないかと考えます。

・(1):陸前高田市の将来を担ってもらいたいから。
・(1):大人は偏見な考えの人が多い。広い世代の人の考えを聞いた方が…。
・(1):今子どもが少ないので大切に、これからのことを知って欲しいです。
・(1):生まれ育ったところの町だから。
・(1):廃品集め等で挨拶をよくしてくれるようになった。
・(2):地域の状況、現状、社会の仕組みが分かった年齢であれば、参加させて大人や先輩の話を聞くだけでも良いと思う。
・(1):復興後の市の運営に携わるのは子供達であり、子供達の考えを大切にしたいから。
・(2):良いまちを作るため。
・(1):子供達の考え方が進んでいると思うから。
・(1):孫の頑張った姿を見ていて感じました。
・(2):大人とは違った思いもよらない発想があると思う。
・(1):やがてその土地に住みつき、地域を背負う人間として生活するかもしれず、他地域に移り住んでも子供時代に育った土地は決して忘れないから、様々な分野で役立つ事が考えられる。そういう人間になることを期待するから。
・(2):行政任せでは詳細が入りづらい。
・(2):子ども達がそれぞれに住みたい街を夢見ていると思う。子供達の意見を聞いてまちづくりの検討(参考)を行うことはプラスになると思う。
・(1):いろんな体験をして見て、世のため、人のため、高田のためを思う心にと願う。
・(1):大人より未来へ向けての発想が期待出来ます。
・(2):大人も子どももそれぞれの意見があると思うから。
・(2):大人からは出てこない意見を聞く事が大切だと思う。
・(1):子ども自身の大きな教訓になると思います。
・(2):生まれ育っていくふる里は誰にとってもかけがえのない所です。夢のあるまちづくりに子供の意見を反映させて欲しいものです。
・(1):子ども達がどんどん何か活動にも参加して大きくなってほしいです。色んな面でね。
・(2):将来を担う大切な人材だから。
・(2):子供なりの発想に期待したい。
・(1):悲しい出来事であったが千載一遇の機会と捉え、人として人間として確実に学ぶことこそ何よりの●です。正しいリーダーシップを行政は示され、人々は学び、地に足のついた市民をひとりひとり育てていく。
・(1):地域に子ども達の声が聞こえると大変嬉しい。
・(2):自分達で住みよい高田市なり各コミュニティを作ること、行政が先行して街を作ろうとしているので、市民にもっと話しかけ意見を聞いて欲しい。
・(2):意見が大切。
・(2):子ども達は本当の事を話します。未来の事も。子供の意見は半分は取り入れるべき、年寄りの意見も。
・(2):子供は突拍子のないことをいうけれど何かのヒントになると思うから。
・(1):将来を背負う子ども達だから。
・(3):震災後3年以上になるが、復興の様子がさっぱり分からず、答えようがない。何のニュースもなし。
・(2):参加する事によって、地域の思いを深めて、これから先も心に留めておく様になるだろうと思う。
・(1):生きた復興教育そのものであると思う
・(1):これからの陸前高田のまちづくりには、子ども達がどのような意見を持っているか、大人の目線だけでは●(文章途中)
・(1):将来大きくなったら、陸前高田市に残る。
・(2):高田市に留めておくために。
・(1):まちづくりに参加する事によって、復興に我々も参加したと自覚を持ち、協力的になると思う。
・(2):復興に限らず、社会の動きに関心を持つことは良い事です。
・(1):参加することは語り継ぐ事にも繋がると思う。
・(1):これからの将来を作っていく子ども達なので、どのように高田が変わっていくのかを見て、考えていくことは良いことかと思います。
・(2):子どもなりの意見や希望を聞いてみるのも良い。大人と違った目線の考え方が参考になると思う。
・(1):将来の陸前高田市のまちづくりを担う人たちだから。
・(1):年寄りよりも未来のある子どもが色々なことに参加し、経験していくべきだから。
・(1):子ども達も地域の復興に関心を持ってもらいたい。
・(1):町が良くなり、若い人達が多くなることだと思います。

・(1):自分の生まれ育ったまちをより強く大切に思い、成長と共に陸前高田市の大きな力になると思います。
・(2):子供の視点での住み良い街の傾向がわかる。
・(2):将来の陸前高田市で生きていくためには必要ではないか。子供達が大人になった時に良かったと思うために！！
・(1):津波に対しても、今の現状をよく記憶し後世に伝える事が出来るのも、現在の子供、若い人達でなければと思いまして。
・(1):高田市のため、家族のためにも。
・(2):子ども達はいつもあいさつが良い。
・(1):子どもたちは将来の陸前高田を作っていく存在であり、その意味でも、今まちづくりに参加することはとっても大切なことだと思います。いろいろな活動はマスコミの報道で知る事ができ、嬉しく思っております。なにも協力はしておりませんが、心をよせて見守っていきたいと思います。
・(2):高田市の復興のためにとても良い事だと思います。
・(2):色々な事を経験して大人になり、地域のまちづくりに役立ってもらいたい。
・(2):震災を体験した子供達だからこそ、未来のまちづくりに参加したいのではないかと思う。
・(1):他人の事を気遣っていること。何かをしようとする心がけ。
・(1):自分らは先が見えている人間です。子供達はこれから生きるのです。子供らが参加してよりよい復興につなげることが一番でしょう。
・(2):子供達自身も地域の復興やまちづくり、地域の復興の取り組みに参加する事が大切だと思います。
・(2):他県の人達もまちづくりに参加しているので、良いと思います。
・(1):まちづくりには時間と労力を要する。今の子ども達が成長する頃には大きな力となって貢献するであろう。その基礎作りに大変有効である。
・(2):子どもといっても中学生・高校生ですが、大人には感じない発想力があると思う。
・(2):子ども達も将来の事を考え良いと思う。
・(1):子どもの将来のために役立つと思う。
・(2):幅広い意見が必要と思われる。
・(2):大人の考えは固定していますが子供は柔軟性があって、これからの自分達が生きていくまちづくりなので参加することは良いことだと思います。
・(1):子供達の目線、考え方が大人達の考え方と大分違う場合が多い。大人になってまで長期間にわたって復興、まちづくりに参加して頂く。
・(1):いろんな社会勉強になると思う。
・(2):復興に参加しているという意識を持つことが大切。
・(2):自分達の未来の事だから良いのでは。
・(1):子供の視点は大人と違うことが多い。

80～89 歳

・(1):子供の考えを大切に。
・(2):まちづくりに参加するとは何をするのか。良いことだと思います。
・(2):将来を担う子供だから。
・(2):子供がいません。
・(1):子供は陸前高田市の将来を背負って立つ宝物。陸前高田の将来像は子ども達の声を取り上げるべきです。
・(2):良いと思います。
・(1):みんなで1日も早く以前のような生活に戻りたい。
・(2):集団意識があると思う。
・(2):自分の住んでいる町ですから。
・(2):大人と子供の未来を話しあい、新しいまちづくりの参考のため。
・(1):自分たちの作った町に愛情と責任を持って発展させてくれると信じている。
・(2):子供が大きくなってあの復興に手をかけたんだと思うことが大きな心の支えになる。
・(1):ふるさとの伝統行事を守り続けることに若者、子供達が参加することを、私は大変大事なことだと思っています。けんか七夕祭り、動く七夕祭りなど、科学的ではないが伝統ある行事などを守り続けることが大事だと思う。
・(2):大人が見る目線と子供の目線が違い、発想も違う。全て参考にしていろんな見方、考え方があることを知るのは大切です。

・(1):自分ができることに気づき、協力する心を持って欲しい。
・(2):成長してから自分自身の役に立つから。
・(1):子どもの発想は純真無垢であり、周囲や社会にあまり影響を受けることが少ないので良いと思う。
・(1):若い人の発想はすばらしいと思います。
・(1):未来を担うのは子ども達だから。
・(1):自分達の住む町だから。郷土である陸前高田市の将来像に関心を持ってもらうことは大事なことだと思う。
・(2):社会の動きを理解して順応すると共に、自らの住む地域の将来像を描くきっかけとなる。創造性の養成。
・(1):今後のために良い事と思う。人生は色々、どんな事がある。いつか役に立つと思う。
・(1):子供の頃から、地域(まち)に住む者としての自覚と責任感を養う事に有効。
・(2):これから高田市民として頑張っていく為に、子供の頃から見たり聞いたりして勉強もしてもらいたい。
・(2):復興についての自覚が高まると思う。
・(1):子どもが地域の状態や人々の様子等の体験を通して感じとっていくことが、人としての条件を健全にする大切な事だと考えるから。
・(1):将来の市民としての頼もしさを感じるから。
・(2):小さい時から地域の行事に参加するのは良い事だと思います。大人の考え方が早く理解できると思います。
・(2):子ども達の住む地域を作る事や社会を作るためには、子ども達の意見を聞いた方がよい。
・(2):将来のために良い意味での参考になると思う。
・(3):行政に少子対策の将来像、ビジョンが全くみえない。施策が細切れ、場当たりのように見える。
・(1):絆。子供との会話は必要です。
・(1):大人と子供が一緒になって物事を考え、それなりに行動すること。
・(1):将来があるから。夢があるから。
・(1):子どもの時から復興やまちづくりの精神を教えることが、大人になってからも大事なことと思う。

90 歳以上

・(1):子供達の一生に良いことだと思います。

年齢記入なし

・(2):良い機会なので老若男女関係なく、復興に向け町が一体となれば良い。

宮城県　石巻市

19 歳

・(2):少しでも多くの人が復興に意識を向けることが必要だから。
・(2):子供達にこれからの石巻市をどのようにしていきたいか考えてもらう良い機会だと思います。
・(2):子ども達の未来に関わる事です。ある意味「ぼくたちの未来づくり」
・(1):自ら復興に向けて前に進むのは、後に必要になってくるだろう。

20～29 歳

・(1):未来、又大きな震災が起きたときに役に立ちそうだから。3.11 の記憶を忘れさせないためにも大変良いと思う。
・(2):自分の住んでいる「まち」を子ども達自身が関わってつくっていくことが、子ども達が成長した時に、生まれ育った「まち」に対しての思いや見方が変わってくると思うから。
・(2):自分は石巻に来てまだ日が浅いが、子ども達の中で被害にあった方も多いと思うので、その経験を復興に生かしてほしいと思うから。
・(1):未来を担う子ども達がまちづくりに参加することで市が活気づくと思う。
・(1):まちづくりに参加することで石巻が好きになると思う。大きくなって石巻市を担っていくのは子ども達だから。
・(3):子供はもっと他にする事が先。
・(1):明るい未来に向かって大人と共に同じ気持ちで参加する事が大事。
・(2):参考程度には聞くべきだと思う。構成員の１人であるため。
・(2):子供の時から自分の事だけでなく、自分の住む街や周囲の同じ環境に住む人々の事を考えるきっかけになっていいことだと思う。
・(1):関心を持つことは良いことだと思う。
・(2):目的意識を持ち、積極的に参加するのであれば良いと思う。
・(2):子供も市民だから。大人とは違う視点があると思う。
・(1):その土地に根ざした子供がまちづくりに参加して、まちに残ることで長期的な人口維持と発展につながると思うため。
・(2):将来、石巻市を背負っていく世代にとって貴重な経験が出来、石巻の未来の土台となり得るから。
・(3):石巻はダメ、職業がない。
・(2):何かに参加することは悪いことではないから。
・(2):子ども達が語り継いでいかなければ、震災の記憶が風化してしまうので、まちづくりを通して少しずつ知って欲しいから。
・(1):未来を担うのは子ども達だから。
・(1):地域を大切に思う事がいいと思う。
・(2):地元なのだから。
・(2):子どもは次世代を担っていく立場にあるから、自分達が住みよいまちづくりを積極的にやって欲しいと思うから。
・(1):子どもの視点と大人の視点は違うので、活動により復興に向けた“何か”を発見できそうだからです。
・(1):復興を担い、その将来を支えていくのは子ども達世代に繋がっていくと思うので、学校単位で参加する事が必要だと思う。
・(2):子ども達のために大人ができること…子ども達の意見を取り入れたいので。
・(1):復興まちづくりにおいて、大人にはない子どもの視点が入る事で、新しい発見ができたりするので。・子ども達が地域の活気に繋がると思うので。・学校では教えてくれないことを学べると思うので。
・(1):みんなの町だから。
・(2):人との交流もできるので良いと思います。
・(1):大人、子供関係なく復興に向けたまちづくりに参加し、少しでも石巻市の復興が進めばいいなと思います。
・(2):これからの石巻を担う人だから（担い手だから）。
・(1):復興から地域愛が芽生え、将来的に地域貢献に期待。
・(1):これからの未来を背負う大切な人達だから。

・(2):未来を担う子供達に参加して頂くことで、まちづくりに興味・関心を抱き石巻市に長く住んでもらえると思ったから。
・(2):自分たちの生まれ育った場所だから。
・(4):子供が社会の中心になると、地域がバカになる。
・(2):ふるさとのまちづくりに関わることは良いことだと思う。
・(2):震災が風化しつつある様に感じています。実際に体験した子どもたちが、今後震災を伝えていく立場になると思うので参加する事は良いと思います。中には、親や友人を亡くしたりして前向きになれない子どももいると思うので、慎重に活動してほしいです。
・(3):どんな事に対して参加なのか(まちづくりとは？)震災の事を思い出すのでは？
・(1):これからを担う子供たちが積極的に参加するのは、いいことだと思います。
・(1):石巻の将来を生きるのは、今の子どもたちだから。
・(2):地域に根ざした活動が良いと思うから。
・(2):将来を作るのは子どもたちだから。
・(2):これからの地域を担っていくのは子供だから。
・(2):子どもが地域のことを知り、町に役立とうと取り組む機会は、普通の生活の中ではなかなか得られるものではないから。
・(2):自分の育っている町の役に立つことだから。
・(1):将来を担うのは今の子ども達なので。
・(2):楽しんでできれば良い。
・(2):将来を担うのは子供だから、まちづくりへの参加は有意義だと思う。
・(1):未来を担うのは子供達だから。
・(1):子供達も震災を体験し、人は協力しないと生きていけないということを感じたと思うので、復興に向けてみんなで協力し、何かをすることは良いことだと思う。
・(2):地元愛が生まれそう。
・(1):大人だけでは子供の考えや思いが分からないと思うし、子供の声を直接聞けるし、共に行うことでの責任感等が備わると思うから。
・(1):子供達が自分が住みたい町を作ることで、将来その町に定住しやすくなるから。
・(1):子育て世代の大人も一緒に参加することなので、とても良いこと。子供も他の地域の人達とも交流ができるので。
・(2):皆で復興を目指すため。
・(1):子供が復興に関わることで、子供も「自分が地域の一員なんだ」と思えると思うから。より地域が活発になり、元気になると思うから。
・(2):経験の一つとして良いと思うから。
・(1):被害にあった子ども達が、自分自身でまちづくりに参加することは大変良い事だと思うから。
・(1):子供達が復興に向けた石巻市のまちづくりに参加することによって、自分達の住む石巻市(ふるさと)を大切にする心やふるさとを愛する心が育つと思うから。
・(1):これから自分達が住んでいく場所なのだから、子供達が考え、行動していくことは大切だと思う。

30～39 歳

・(1):復興やまちづくりに参加することで自尊心が育つのではないかと感じているため。
・(2):自分の地域を知る事が出来るから。
・(2):自分達が住んでみたい街について実際に考えてみる事は意味のある事だと思う。
・(1):学校では教えてくれない事を自分達から進んで調べたり、周りに流されずに自己意見を持ってほしい。
・(1):これからの将来を担っていく子ども達が震災での恐怖や体験を次の世代にも受け継いでいき、震災の記憶を風化させない為にも良いことだと思ったからです。
・(2):自分達で考えれば少しはキレイにすると思うし大事にすると思うから。
・(1):将来、石巻を離れたとしても故郷があるというのは良いことだと思う。そのためには、子ども達自身で復興に携わることで、よりその思いが強くなるのではと思う。
・(2):自分で出来ることをするのは良いことだし、地域の人のためにしているという意識を持ってするのもいいと思う。
・(2):良い経験になると思うから。
・(1):未来を担う子ども達が自分自身の数年後を考えてまちづくりをすることで理想を形にしていけるから。
・(1):これから大人になる子ども達が住みよいまちづくりを考えるのはとても良いと思う。

・(1):夢ある発想を大事にしたい。
・(1):郷土愛を育むことができそう。
・(2):まちづくりに参加することにより自分の住んでいる町のことを知ることができ、また好きになってくれるのではないかと思うから。
・(1):復興に向かって自分も参加したという経験は大人になって残っていると思う。
・(1):子供は我が家(小さな社会)の宝、大切な存在です。そしてそれは地域にとっても同じことがいえます。社会に大切にされた子は大きくなって社会を大切にする大人になってくれます。
・(2):大人になっていく子ども達が今後のために自分の為にもつながっていくと思うので。
・(1):自分達の街という意識を持つことは大切だから。
・(2):自分の地域だから。
・(1):子供を中心に考え、まちづくりを行うには参加は必要不可欠だと思います。
・(2):自分が住んでいる所を良くする事は良いことなので。
・(1):石巻だけではないと思うが、もっと子供を育てることに力を入れて欲しいと思うから。子供を持ってつくづくそう思う。
・(2):自分の住んでいる町をよくしたいと思うから。これからを担う子ども達が参加することは良いと思います。
・(2):正直、色々な情報ひとつひとつが、仮設住宅と賃貸では差がかなりありすぎる。被災した方々は仮設に住んでいる人達だけではありません。
・(1):子供のための地域だから。
・(2):これからの石巻市民として育っていく人材だから。
・(1):震災を体験した子供故に、出来る事があるのではないかと思う。
・(2):大人の視点だけではアイデアも偏りがちになると思うし、子ども達が将来を考えながら参加してもらうのがベストだと思います。
・(1):仮設住宅に息子と住んでいますが、まだ小学3年の息子は遊び盛りで友達と家で遊ぶ事さえ抵抗があるようで…。少しの声でも隣の壁からドンッとたたかれたり、嫌がらせがあるので…。伸び伸びと元気に大声を出して有り余っているパワーを発散して頂きたいと願う毎日です。子どもが我慢なんて似合わないと思うので、皆元気にひとつになって
・(1):将来、子ども達の自信につながるから。
・(1):実際に復興した町に住むのは今の子ども達だから。
・(1):自分の住む地域を子どもの頃から大切にする気持ちや行動力を育てるのは良いことだと思うから。姪も参加しており充実する様子を見ていたので。
・(2):１人ひとりが協力して生きていく事を学んで欲しい。
・(2):震災を忘れないためにも…。
・(2):自分の育った町の問題を考え、改善策をやわらかい思考で出せる。他の意見を持った人と触れあう事ができる。
・(1):もともと子ども達が利用できる学習施設が石巻は遅れていたと思う。復興していく過程で、元より良くなってくれればいいと思います。
・(1):自分達の町を良くしていこうとする姿勢は人から強制されるものではないので、参加することで自発的に復興を考えられるようになるのは大変良いことだと思います。
・(1):小さい頃からまちづくりに参加すれば、若い人の石巻離れも少なくなると思う。街に関われば大切さも情も湧くと思う。子供の発想力はすごい力があると思う。邪念がない分、シンプルにみんなが幸せになる方法を考えてくれそう。
・(1):現在だけでなく将来のよりよい石巻市を考えたとき、子供のアイデアや夢の実現に向けた取り組みは重要だと思うので。
・(1):将来の石巻を担っていく人達だと思うので、どんどん参加してほしい。
・(1):「石巻市」自体に愛着を持って、将来も石巻の将来を考える子供に育つと思うので。
・(2):子どもならではの発想が期待できる。
・(2):自分の町に対する愛着がうまれる。
・(1):子供の復興に対する考えがよりよい方向に向く良い機会。
・(2):大人では考えもつかない自由な発想力と発言によって頭の固い大人達に一石投じる点では良いと思います。但し、大変良いにしなかったのはお金の問題は、この考えでは別だからです。
・(1):自分達が住んでいる町に協力することはいいことだと思う。

・(1):街の復興へつながりつつ、たくさんの人とのコミュニケーションの場として良いことだと思います。
・(1):たくさんの支援をして頂いた子ども達が感謝の気持ち、様々な人々の思いを忘れず思いやりのある子に育ってほしい。そして、いつか少しでも誰かの助けになれるようなリーダーシップを持つ人になってほしい。その為にも大変よい取り組みだと思うから。
・(1):受け身ではなく自分の地域なので、自ら参加している子供はすごいと思います。
・(1):自分達の住んでいる町に関心を持ち知って欲しい。
・(1):石巻人だから石巻のために出来ることを。
・(2):後世に伝えられる。子供が参加することで活気づく気がするから。
・(2):悪いわけがない。
・(2):自分たちが参加することで、石巻のことを大切に思えるようになるから。
・(1):子が大人になった時、地域愛を持った大人になってほしい。石巻を愛して欲しい。
・(2):今、現在、子ども達は公園など遊ぶ場所がありません。仮設で埋め尽くされています。楽しく活動できる所などあれば良いなぁと思います。
・(1):自分達の町に興味を持つことは良いことだと思うし、まず育った町を好きになってほしいから。
・(1):意識を持ち、考えるようになるから。
・(2):今は仕事や家庭のことをするだけで、いっぱいいっぱいですが、「ふっ」と不安に思うこともある。子ども達のこれからなど。だから、少しでも色んな活動を通して安心したい。
・(1):ふる里を大事にすることが自分自身や他人を大事にすることにつながると思うから。
・(2):子供なりの発想で大人では考えつかない復興アイデアなどが生まれる気がするから。
・(2):これからの町を子供達がどう思っているのか、面白く知ることができると思う。
・(1):次の時代を担うのは今の子供達だから、大いに参加して欲しい。
・(2):地域のために子供だって協力できることはした方が良いと思う。
・(2):自分の住んでいる街を知って学んだり考えたりと、子供ながらの発想が出来たりできるんではないかと思います。
・(1):これからを担う子供達にとって、復興に向けての心構えの構築になると思う。
・(1):子供が自分の住んでいる街に関心を持ち、良くしていこうとすることで自らの役割を考えるきっかけになる。
・(1):地元への愛着が増す。
・(1):ふるさとを大事にすることはとても良いこと。
・(1):地元への愛着の増進
・(1):将来も石巻に住んで欲しい。住まなかったとしても自分の故郷に誇りを持ってほしいから。
・(1):他の地域の人達から力を借りながら「自分達の街」にして行けたらいいなぁと思っている。
・(1):将来に役立つと思う。
・(2):皆で協力し合ってやるのはとても良いことだと思う。
・(2):社会の一員として復興に取り組むのは良いことだと思う。
・(1):未来を担う子ども達が自分達が住んでいる地域のまちづくりに参加することは、愛着が湧いたり単純に街を好きになることにつながると思う。
・(1):今の子供達がこれからの石巻を担っていくと思うから。
・(1):自分が育ってきた町をもう一度復興させる為に今から大人になる子ども達が参加する事は良いと思う。
・(2):次世代を担う子ども達に石巻の街を良く知って欲しいし、愛着を持ってほしいから。
・(1):子供の頃からまちづくりに参加することは、復興を「他人事」や「人にやってもらうこと」と誤解しないためには不可欠だと思います。郷土への愛着を育てないと、成人したときに定着しないと思います。
・(1):自分達のまちを自分達の力でという意識が身に付くと思うので。他力では限界がある。
・(2):将来の自分達の街だから。・子供の発想力は豊か。
・(1):自分達の地域がよりよくなっていく様を目の当たりにすると地域に対する意識が高くなると思う。
・(1):これからの石巻は今の子ども達が背負うことになるので、地域の子供が参加するのは当然のように思った。大人には考えつかない意見が出てきそう。
・(1):自分の住んでいる地域に関心を持ち、将来、石巻を担う世代の子ども達の意見を取り入れたまちづくりを進められると思うから。

・(1):未来のために良いと思う。
・(2):参加すると「復興」を考えることで石巻の事をよりたくさん知る良い機会だと思うから。
・(1):これからの石巻をつくっていくのは子ども達だから。子ども達に地元の石巻への愛着をもって育ってもらいたいと思うから。
・(2):子供目線の意見を聞きたい。
・(1):大人でも子どもでも復興に力を注がなければ本当に人がいない町になると思います。
・(4):子供には無理、子供を巻き込むことはしないでほしい。
・(1):地域づくりには子ども達の意見を大きく取り入れることが必要と思う。
・(2):これから主となって動いていかないといけない人達と思うから。
・(2):将来、「自分のまち」という意識が芽生えそうだから。
・(2):まちづくりをしたことで、より地元愛が出てくると思う。
・(1):未来を担う若者達、そして国の宝である子ども達の目線に立ち、老いも若いも関係なく、皆で力を合わせ支え合っていけたらと思う。
・(1):他人の気持ちを考える良い機会だと思うから。
・(1):良い経験になると思うし自分の生まれた地域の事を考えるのは本人にとっても地域にとってもプラスになると思うから。
・(1):自分の手で何かをするという気持ちを持ってもらいたい。
・(1):未来を担っていくのは子ども達だから。
・(2):子ども達も色々な経験が出来る事も良いことだと思う。
・(2):大人が与えるだけではなくて、子ども達が自分達で意見を出したり、色々な事に参加することは必要だと思うからです。
・(3):医療費を中学3年まで無料にしてほしい。中学1年生から中学3年生で入院だけで、ほとんど使わないので意味がない。
・(1):将来、実際に住み、まちづくりをしていく世代だから。震災の事を含め、色々考えながら作っていけたら良いと思う。
・(1):表面的に元気でも未だに心に大きな傷を抱えている被災者の子供はたくさんいます。その子供達が復興に向け意見を出したり、行動する事は再び輝く機会になるのではと思います。被災していなくても地域活動に参加するにあたって日常では経験のできない事を体験出来るので良いことと思います。
・(2):震災の傷は決して消えないので、少しでも参加してみんなにふれあうことで気持ちを分かち合ってほしい。
・(1):これから成長して大人になり町をつくりあげていく子ども達が現実をよく見て、町のために何をすることが必要なのか、与えられるばかりではなく自分で考えていく場が必要だと思う。
・(1):自分達の体験した事を伝える為にも良いかと思う。絶対に忘れてはなりません。
・(2):自分達のまちづくりなので、自分たちが参加してこそ達成感、大切さ、協力などを学ぶ事が多いと思う。
・(1):自分が住む地域の復興の様を実感するきっかけになるから。
・(1):自分達で地球を活性化させた経験が、今後地元の気持ちを強くして、将来大きくなっても地元を思う気持ちが強くなるのではないかと思った。
・(2):“これから”を考えていくのだから、自分たちの未来へ向けて子どもたちの意見は大切。・子どもの考え、子どもの目線の中に、大人では気付ないことがあると思う。
・(1):自分が住んでいる町について知識も増え、よりいっそう愛着が湧くと思うし、みんなと協力して何かをするという事もとても良いと思う。
・(1):石巻市について、子どもたちも知らなかった事をたくさん知る事ができる良い機会になる。
・(1):参加することで、町に愛着がわく。
・(1):子ども達の笑顔で大人も励まされるから。
・(1):大人だけでのまちづくりよりも、子ども目線での意見も聞けるし、子どもでも意見をすれば受け入れてもらえるという経験は良いと思う。自信にもつながるはず。
・(2):石巻への愛着を持てる。
・(2):子ども会や学区ごとに参加するなら良いと思う。
・(2):なんであれ、地元のことに関心を持つのはいいことだと思うから。
・(1):これから大人になっていく子ども達が関わっていくことにより、大人になった時、より復興が前進する気がするから。

・(1):自分から積極的に物事に取り組む事は良い事だと思うから。
・(2):人のために助け合いの心が大事と思うから。
・(1):子ども達が興味を持ち復興に向けていろいろな事をやって、石巻が元気になってくれれば良いと思ったからです。
・(1):良い経験になると思う。
・(2):母として子どもにそういう経験を通して、自分の命を守るという事、震災について知ってもらいたいと思う。
・(4):責任のない人間は関わるべきではない。
・(2):「まちづくり」という意味では教育にはとても良いと思う。ただ「復興」にこだわる意味はよく分からない。震災前と後で区切る必要はない。
・(2):地域全体が復興に向けて動き出さなければ復興は進まないし、子どもは地域社会の一員として、将来を担う人材としても重要であり、積極的に参加するべきだと思う。
・(2):震災で物や人がなくなっていく経験をしているので、復興していく様子を見て、立ち直っていく過程を分かって欲しいから。
・(3):復興に向けて、我が家自体が全く支援されていないため。
・(1):日本の将来を担う若者の力は、必要不可欠と感じるため。
・(2):その地域の未来を担っていくのは子供達だから。
・(2):役に立つことを学んで欲しい。
・(1):自分の住んでいる町なのだから、大人も子どもも関係なく参加することは当然だと思うから。
・(1):子ども達も住みやすい町になると良いと思うし、大人になり家族を持った時も石巻に住んでいて欲しいから。
・(2):将来的に石巻のみならず、世の中を動かしていく世代となる子ども達が、今のうちから大人の助けや導きのもと社会と関わっていくのはすごく大事なことだと思います。
・(1):たくさんの人と協力し合い色々な事を学べると共に、何かを成し遂げた後の達成感を味わって欲しい。それと参加し色々な体験をする事で、当時の震災の重さなどを、より一層考えられると思うから。
・(1):自らの防災への意識、考える土台作りになると思う。
・(2):全く進まない復興なので、子どもにもっと興味を持ってもらいたいから。
・(2):未来を作るのは子どもだから。
・(2):今の子ども達が大人になるころ(5～10 年後)にようやく復興したと実感できると思うので、石巻の将来を考えることは良いことだと思う。
・(2):子ども達が石巻市の復興を少しでも感じられるというのはいい事だから。
・(2):子供達が大人になった時、魅力のある町になっていたら移住しないと思う。
・(1):これからこの町に住む(住んでほしい)ので、是非今の子供達にとって魅力的な町にして欲しいから。
・(2):震災があった事を忘れてほしくない為。
・(1):復興により子どもが協力して何かをする事で、家でゲームばかりしている子供が人とのふれ合いを感じられるから。
・(2):子どもの目線も必要。これからの子ども達なので。
・(1):未来を生きる子供達がこれから先、生きていく上での糧になると思う。地区の人や物に触れることで得るものは計り知れない。近い将来の災害の際も役に立つと思う。自らを守るためにも。
・(2):子どもたちのほうが新しかったり、大人が思いつかない様なアイデアが出てくると思うので。
・(1):まちづくりに参加し、その意見が反映された実際の街並みがあれば、一生愛着を持つことが出来ると思います。
・(2):積極的に活動することで、見えることがあると思うので。
・(2):どんなに小さくても自分の意見や行動がまちづくりに役立つ事がわかるのはうれしい事だと思うし、将来石巻の事を好きでいてほしいと思うので。
・(1):地域一丸になって復興に取り組むことが、よいまちづくりにつながると思うから。
・(2):震災を忘れないためにも。
・(1):将来、日本を担う子ども達だから。
・(1):自分達が小さい頃は、子どもが大人の活動に参加する機会はなく、まさに大人の世界でした。子供のうちからまちづくりに参加する機会、ましてやそれが復興に関することとなると、子供が自分のまちに興味を持ったりできるのでとてもすばらしいことだと思います。
・(1):街の活性化になると思う。
・(2):自分達が復興にかかわり、どのように復興していくか実感して欲しい。

・(2):同世代のお友達と交流できるので。
・(1):子供自身が復興にたずさわったことで、ますます大きくなったら地元、生まれ故郷を大事にしもっとよりよい場所にしようという気が起こるのではないかなと思うから。
・(2):子供たちに出来ることがあれば参加するのは良いことだと思う。
・(2):良い刺激、経験になり、いつかその経験を生かす事ができたら良いと思うので。
・(2):これからの町を、地域の子どもが中心になって作っていくのは良いと思うから。
・(1):最近のニュースで失踪や行方不明等あるので、まちづくりに参加しながら地域の人とのつながりをもって欲しいので。
・(1):地元愛や自分の生まれ育った町を大切に思ってほしい。大人になった時、帰って来る場所があると思うのは心強い事だと思う。
・(1):これから活躍するのはこどもたち自身だから。
・(2):こうやって立ち上がった！という体験をするのはとても貴重。今後に役立つと思うので。
・(1):周りの方々との交流、触れ合いを大事にしたいので。
・(2):何事も経験が大事だし、聞くだけじゃなく自分の目で見て触れる事が一番だと思うから。
・(2):小さな時から地元について考えて自分が参加することで、地元に愛着がわくような気がする。
・(1):震災の経験を語り継ぐ為にも、今の子ども達が町のために活動する事は良いことだと思います。
・(2):学業の負担にならない程度なら良い経験になると思う。
・(1):自分の地域のために活動することは、今後もそこに居住する認識を持てることに加え、自分達で住み良い地域にしていけると思うから。
・(2):自分が暮らしている地域について知ることになるし、大人との意見交換を通して主張の仕方や社会の仕組みについて学ぶ機会になると思うから。子供達の意見を聞く機会は増えたが、大人がそれを実現させるように真剣に前向きに取り組んでいる場面が少ないのではないかと感じる。聞くだけ聞いて、言わせるだけ言わせて、結局「子供の考えだから…」とないがしろにしていることもあるのではないでしょうか。それでは子供の意見も深まらないし、責任のない発言になっていくと思います。子供に意見を言わせるからには現実味のある内容を考えさせる手立てが必要だし、それを大人が一緒に真剣に練り上げていくことが大切だと思います。この団体が本当に子供達のためにたくさんのことをしてくださっているので、このような意見も他の団体に発信して頂きたいと思います。
・(2):子供達の未来のために、子供達の発想が形になればよいと思う。
・(2):復興と聞くと受け身のイメージで「してもらうこと」ばかりを考えがちになってしまうので、子供達が自分達でまちづくりに参加できるのは良いことだと思うから。
・(1):大人になってから思うが、よっぽどのことじゃないと思い出(記憶)に残らないので、せっかくのチャンスだからどんどん参加していった方が、将来色々な面で役に立つと思うので。
・(1):子供の頃から意識的に自分の住むまちについて考える機会があることで、ふるさとへの愛着を持ち、将来困難に直面した時など何かの役に立つ経験になると思うから。
・(1):自分たちの石巻だから。
・(1):これからはこの子供達が住んでいく町なので、大きくなって自信につながる。
・(1):自分が住んでいる町を大切にして欲しい。好きでいて欲しい。
・(2):子供達の心に町が少しずつでも良くなるようにしたいと思う気持ちを作り上げていって欲しい。
・(1):生まれた町、これから育っていく町を自分達の良い環境に変えていくこともできるため、これからの学びにもなると思います。
・(1):子供達が誇りを持てるような町にしなければ、今後の発展はないと思うから。
・(1):子供達の発想は大人の発想と違うので、良いところを取ったら良いと思った。
・(2):自分達で今の現状を知り、これから大人に向けてずっと住むであろう石巻を好きになってもらうには、そういうのに参加して自分の街をもっと好きになって欲しい。
・(2):自分たちの育った町なので大切にして欲しい。
・(1):自分が住んでいる街だし必要だと思うから。
・(1):将来はその子供達が主役になるから。

・(1):私自身、若い時都会に憧れ、地元を離れたこともあったが、今回の地震で地元のありがたさ、そこに住んで見守ってきてくれた大人達への感謝の気持ちに気づいた。地元を離れるのではなく、その一員として地元を守るためには子供の頃からまちづくりに参加し、愛着を持った街を自分達でつくることは大切だと思う。
・(2):未来の石巻を子供達の力で作っていって欲しいから。
・(2):社会に参加している意義を持つことができるから。
・(1):前向きで意欲的な気持ちに向いてくれるから。
・(2):自分の地域や災害について考える良い機会になると思います。
・(2):復興は長時間かかると思うので運営していくのは今の子供達になると思うし、復興の道のりを一緒に共有するのは良いのでは。
・(2):震災を忘れて欲しくない。
・(2):「被災」という非現実的な経験をした子供達だからできること、その子供達の目線だからこそのまちづくりというのは貴重だと思う。
・(1):これからの石巻を考えるきっかけになるから。単純に色んな経験ができるから。
・(2):絆を大事にする大切さを感じるため。
・(1):子供達はいつも明るくいるだけで和やかになるし、子供の意見も良いものがある。
・(1):復興後の未来を生きていくから。
・(2):石巻のことが分かったり、関わることで将来その子達が地元を好きになり、発展させてくれる気がするからです、
・(1):将来自分たちが住むまちだから。
・(1):参加することにより地域の人との交流になる。
・(2):「地元」「ふるさと」「今、自分のいる場所」「これから自分が生きていく場所」という意識が生まれてくると思うから。
・(2):復興には大人も子供も関係なく共に参加すべきだと思うから。
・(2):まちづくりに参加することは、色んな人とコミュニケーションを取るきっかけになる。人としての関係の大切さを知って欲しい。
・(3):被災者格差があるので。いつまでも被災者のみに支援している。被災しても持ち家(新築した人)の人にもいまも支援しているのはどうかと思う。その人はもう被災者ではない。被災しなかった人だけ普通にお金を払っていて馬鹿らしい。持ち家を持ってお金を払わずブランド品を買いあさっているのはどうなのか…。その家の子はどのように成長してしまうのでしょうか？
・(1):子供が何かに取り組むことは良いことだと思う。
・(1):後世に語り継いでいくため。
・(1):元気をもらえるから。大変微笑ましいから。
・(2):どのような活動を行うのか全く分からないが、地域を視野に入れた活動に興味があり、自分もサポートしていきたいと思うから、期待している。
・(1):何事も協力し、努力をすれば再生できることを実感するため。
・(1):将来自分たちの居住するまちになるから。
・(1):子供が安心できる環境を子供達自身で考え作り上げていくことは、人として成長することに大きな良い影響を与えてくれると思う。
・(2):危険な作業がなく、子供達の出来る範囲内でなら。
・(2):子供達が自ら体験することは良いことだと思うから。
・(2):自分達が今後生活を続けていく地域を、特別な気持ちをもって考えることができると思います。
・(1):将来、自分たちが住み続けたいと思うまちづくりをしてほしいから。
・(1):地域の方と関わりあいながらより良いまちづくりを考えるということは、これからを担っていく子供達にとって、とても良いことだと思います。
・(1):これからの石巻を担うのが今の子供達だから、参加する事はとても意味があると思う。
・(1):このままではなく、以前のように戻ることを実感してほしい。
・(1):子どもの頃から参加し、経験することが大切だと思うから。
・(1):子どもにとっても学べることであり、良いと思う。
・(1):人と人とのつながりを学んだり、自分の住んでいるまちがどんなところなのかなど理解する機会になる。
・(2):地震の後、どのように復興したのか次の世代にも伝えてほしい。
・(1):震災の時は小さかった子供でも、参加することによって理解できるようになると思うから。

・(1):少しずつでも復興して変化していく様子を近くで見たりできるから。その体験が大人になった時にも役立つと思うから。
・(1):ふるさとに誇りを持ち育って欲しい。
・(2):地域の一員だということを意識させることができるから。
・(2):自分の住む地域のことを小さい時から考えることで、大人になってもふるさととして大切に想えるのではないか。また子どもならではのユーモアで、創造性のあるアイデアが出る可能性もある。
・(2):みんなで協力する事によってコミュニケーションもとれるから。
・(1):子どもが地域とのつながりを感じる機会になると思うから。
・(2):子ども達がまちづくりに参加するということは、自分達の将来に希望を持ち、将来を見すえた見方や考え方が育まれると感じるから。
・(2):参加して、自分が生まれ育ってきた町を大切にすることができると思うから。
・(1):震災を語り継ぐことができる。・子供達の助け合う力が育まれる。
・(1):東日本大震災での経験を、親の代から子供の代へとつなぐ為、子供の目線での活動をする事は良い事だと思う為。各学校ごとにまちづくりに参加する場があっても良いのではないでしょうか？※年に1回、各学校ごと、復興に対する意見交換や、まちづくりに対する意見交換などをする…など。
・(1):まちづくりに参加する事で人の役にたっていると身近に感じると共に、1人1人の力を合わせると大きなパワーになるすばらしさを経験できると思うから。
・(1):今後、自分達の町に目を向けないでいては良くない。自分達の町をつくっていってほしい。
・(2):前向きな考えで明るい活動だと思う。
・(1):未来を担っていく役目があるから。
・(1):これからの石巻を担っていく子ども達が、石巻の復興に少しでも関わって関心を持ってくれることは大切なことだと思うし、関わると石巻という町を大切に思う気持ちが育つと思います。
・(2):復興にはまだまだ時間がかかる。今の子どもが大人になるまでかかると思うので、子ども達がまちづくりに参加することは、自分の将来、理想のまちに住む一歩につながっているから。
・(1):子ども達に自分の住む町に興味を持ってもらいたいし、未来について考えたり希望を持ったりしてほしいから。
・(1):娘、息子が通っている児童クラブ建設の支援、児童クラブのイベント、ランドセルの提供等大変ありがたかった。
・(1):人とのかかわり。ボランティア活動で感謝される喜びを学ぶ。
・(1):これから未来のある子供たちの夢や希望をまちづくりに活かしてほしい。まちづくりは人がつくるものであり、子供たちの思いもかたちにできると良い。
・(2):小さい頃から関心を持っていれば、大人になった時社会に無関心という人間が減ると思うから。
・(1):子どもの視点でまちづくりをすることによって、将来大人になっても住み続けたい町にすることが大切だから。
・(2):震災を乗り越えて、この思いを風化させないためにも。
・(1):自分に何が出来るのか考える機会になる。大人になった時、自分達が作った町（市）だと思えば愛着がわき、大人になってからもまちづくりに関心が持てる。また、子どもに伝える事ができる。復興後、町や市を動かしていくのは今の子ども達だと思う。時代に合った意見が聞けると思う。
・(1):自分が育っていく町に関わっていくことは、将来仮に別の町で暮らす事になっても役に立つと思うし、故郷はいつまでも故郷だから、いつでも帰って来たくなるまちづくりをしていって欲しいから。復興する様子も実感して欲しい。
・(2):未来、子ども達が大きくなった時に住み良い町だと良いから。
・(1):自分達の住む町をより良くしていきたいと思うことで、大人の人も一緒に考えていけると思うから。
・(2):未来の担い手が参加する有意義な事だと思う。
・(1):自分達が住むこの町を良くする、変えていく活動に参加しているという自覚を持ち、今以上に自分達の町を好きになって欲しい。誰かがではなく、自分が（も）という意識を身に付けて欲しい。
・(2):これから大人になっていく子どもたちが参加し、自分達が住むまちづくりをしていくことが大切なことだと思う。

・(1):自分達の住む地域が復興していく過程を見たり、より良いまちづくりの手伝いができたらと思います。
・(4):現に復興していると思えない。話題作りで終わりそう。子どものためにと思うなら、子育て世代に何か優遇してほしい。
・(2):子どもが大人になっても復興に対して、意識を持つから。
・(1):大人だけで決めるより、子どものユーモアのある考えが新しい街にしてくれると思う。
・(2):若い意見はとても大事だと思う。
・(2):子ども達も進んで石巻のまちづくりに参加して欲しいので。
・(1):自分の町に愛着を持てると思うから。
・(2):子どもの目線も必要。子どもなりの考えが将来を作る。
・(1):子どもが生き生きと活動をすると、大人も元気をもらう。
・(1):自分の意見が反映されると自信になり、地元への関係も高まると思う。
・(2):良いと思うが全てが良いとは限らないと思います。
・(1):自分達の住んでいるところの現状をよく知ることができるし、良くしていこうという意欲へもつながると思うから。
・(1):ふるさとの未来を考えることで、将来的に地元に残り、人口の過疎化に歯止めがかかると思う。
・(1):成長するのに大切だと思うから。
・(1):自分達(子供達)が大人や他人任せにせず自分達の住む町を良くしようと行動することは、とても良いと思うから。
・(1):子供達の交流の場は少しでも多く開いて欲しいと思っているため。
・(2):子供達にとって良い勉強になるから。
・(2):震災で私たち家族も被災し、大変な思いはしましたが、世界中から様々な支援をいただき、今の生活が成り立っていると感謝しています。石巻市をまた活気づけ再生させるには、これからの子供達にも頑張って欲しいと思うから。
・(1):地域として生活しているのは大人だけではない。子供の意見もぜひ取り入れるべき。
・(1):地域の人々との交流、連携を図る場となる。何年、何十年先の将来を担う今の子供達に、活動を通して復興が進む様子に興味を持ってもらいたい。
・(2):考える力、助け合う力、想像する力が育つと思う。
・(2):少しでも復興して欲しい。
・(2):将来他に住むとしても、自分が生まれ育った街が復興していく姿をきちんと見ていて欲しい。
・(1):自分の地域に関心を持ち積極的に関わることは、子供に限らず大事だと思う。
・(1):自分達が暮らす場所を他人任せにしないことを子供の頃から体験するのは良いことだと思う。
・(1):復興に携わり、自らまちづくりをする大切さを知って欲しい。
・(1):自分達の目で見て触れて参加することは、自分でいろいろと考えて前に進むことができるので良いと思います。
・(1):子供が住みやすい町は明るい未来があると思う。
・(2):自分の住んでいる土地を大切に思って欲しいので。
・(1):自分達の住むまちに愛着を持つことにつながるから。
・(1):子供達の意見が取り入れられると良いと思うので。
・(2):「自分の住む町」感が養われるのではないかと思うから。ただ、参加する子としない子で、差ができてしまってはダメだと思う。
・(2):子どもが生活する地域の事を知ることができると思うから。
・(2):子どもが一番故郷を愛しているのかもしれません。次世代を担う子供達の力なくして、故郷再生はありえません。
・(2):まちづくりを通して色々な人達と交流がもてるから。
・(2):自分達が住んでいる街だし、だからこそ自分達の力を少しでも使って、いつになっても自分達の街を愛しいと思って欲しいから。
・(1):将来石巻の担い手となる世代が復興に関わることは、石巻の活性化のために有益と思われるため。子ども達にとってもとても良い経験になる。
・(1):子ども達が復興する事に興味を持って取り組む事は、震災を知らない子ども達に(これからも起こるかもしれない)伝えていくために必要だから。
・(1):復興を何し遂げた時に、今の子ども達が活躍する時代がやってくるから。
・(1):まちが活性化する。元気になる。

・(2)：自分の考えを意見したり、みんなと話し合って自分たちの町を良くしようとする気持ちが素晴らしいと思う。
・(1)：小さいうちからまちづくりに参加することは大変良いと思うから。
・(2)：自分の住む町を自分で作るのは良いことだと思う、
・(1)：子供達からの目線に立たないと分からないこともあるから。

40～49 歳

・(2)：復興は大人の仕事、又は他人事ではなく自分たちの事、将来のために必要な事と自覚するのには良い機会だと思います。
・(1)：活動する事に意義があると思う。子ども達の力で石巻を盛り上げる。それを見て大人もがんばれると思います。
・(1)：これからまちを動かしていく主人公は子ども達なので。
・(1)：これからの生活に前向きになれると思う。
・(1)：次の世代を担う子ども達の声を聞くことが重要だと思うから。
・(1)：3年半も経つと5歳から下は震災の記憶が薄いため。
・(1)：地域の一員であることを感じ、自分の住む町への愛着が育まれると思うから。
・(1)：これからの未来をしょって行く子ども達です。石巻をいい町にしていってくれると思います。
・(1)：いずれは子ども達がこの石巻をつくっていくと思うので、自分達で考え、どうすれば住みやすく生活していきやすく、石巻に残る人たちが増えるかを考えるいい機会だと思います。
・(2)：子供は様々な経験をして成長していくものだと思いますので、まちづくりに参加するのも一つの経験だと思うので…。
・(2)：自分達で未来の石巻を考えるようになるから。
・(1)：未来を担う子供に色々な情報や体験をさせる事は良いことだと思う。
・(2)：風化させない為にも良いことだと思う。
・(1)：本当に子供の望むまちに近づくと思うし子ども達も楽しいと思うので。
・(1)：経験をすることで学ぶことができる。それが大人になった時に役に立ったり自信になるから。
・(1)：自分達の町を自分達で復興できる喜びを味わってほしいから。
・(2)：何かの形で参加する事が良いと思うから。
・(1)：子ども達が希望を持つことができるから。これからの時代を担う人達の意見も大切。
・(1)：これからの世代の子ども達は、自分達が住み良いまちづくりにするチャンスだと思います。自分達なりの新しい石巻を全国に広げてほしい。
・(2)：今後自分達が住み続ける地域を補う役割として、住みやすい動きやすい地域づくりに参加することは、学校卒業後、他県に行っても戻ってきて住み、動ける場所を作り出すために参加することは良いことだと思う。
・(3)：よくわからないから。
・(2)：被災地、被災者と呼ばれる時期は終わったと思う。皆、学校にも通い、親も働いて生活している。自分達で何とかしていかなければいけないと思うから。ただ具体的にどんな活動なのか分からない。
・(1)：自分の住む町が何もなくなり、若い世代の子ども達が安心し安全に暮らせるまちづくりをしたい。何か自分にもできないか？と思っています。
・(1)：大人だけという視点ではなく、すべての世代がまちづくりに参加していく必要があると考える。与えられる、してもらう段階ではなく、各自が出来ることをやっていく段階になっていると捉えたい。
・(2)：自分達のためのまちづくりを意識し、いまよりも良い町にしていってもらいたい。
・(1)：色々な経験ができると思うので。
・(2)：子供達を元気にしてあげたい。
・(1)：10 年後、20 年後の石巻を支えるのは子ども達だから。
・(1)：例えば苗木を一本植えたとして、子供が自分で自分の手で植えた達成感を味わい樹と共に自分も成長する。
・(1)：地域の子供のうち、将来何割かの子供が石巻で生活するようになるのであれば、一部でも参加のチャンスを作ってあげたい。
・(1)：石巻という土地に愛着を持つようになるため。

・(2):今の現状を理解し今よりいい石巻にしてほしいと思うから。
・(2):自分達の住む町について考えていくことは、良いことだと思うから。
・(1):大人の目線では偏った見方しかできない。子供の自由な、一般的な常識にとらわれない見方ができると思うから。
・(1):地域の特性も学べ社会参加の意義を子供が知ることが重要だと思っているので。
・(1):ふるさとである石巻を市民の一員として将来どのようになっていったらいいか、まちづくりに参加することで、石巻に対する思いも故郷愛も違ってくると思う。
・(1):震災を忘れないようにするため。
・(1):子供が積極的に参加することは、復興だけに限らず良いと思う。
・(1):情報、子供らしさ、年齢にしか出せない事をもっと引き出してあげたい。周りの声も必要。
・(1):これからの石巻をつくっていく子ども達が参加することは、将来にとっても大切なことだと思う。頭の固い大人も柔軟になるかも。
・(1):子供の頃より「人の役に立つ」という徳目を具体的に修得できるというところで感心しておりました。
・(1):将来を担う子ども達に積極的に参加してもらい、石巻をよりよい未来にしてほしい。
・(1):自分の意識に変化が現れる。
・(1):自分達が住むまちづくりなので、出来る範囲での参加は自分も一緒に作っているという自覚がもてて、良いことだと思う。これから大人になっていく上で、良い経験になると思います。自分が大人になり、子供を持った時に素敵な街になっているという夢も持てると思います。
・(1):地元のまちづくりに関わることで、社会性を養うことができるし、自分が住む地域のことを知る良い機会だから。
・(2):子ども達が成人したり就職したりする時期が復興が進行、あるいは終了する時期と重なると思うから。
・(1):復興というより将来自分達が住むことになるであろう街を自分達なりのビジョンを持てば積極的に関われるだろうから。
・(1):子どもの目線から様々な要望が出て来ると思うので。
・(1):子ども達が将来住みたくなる街をつくることにつながるから。子ども達の様々なストレスを仕事を提供することによって解消、又は緩和する可能性がある。子どもが笑顔になれば、大人達も笑顔や活気が出てくる。その為に更なる復興が進む可能性がある。
・(1):大人の励みになる。子供に意識が芽生える。
・(3):大人がどうしてよいか分からない中、子供に参加させる事が良いとは思えない。
・(2):震災のことを忘れないように。
・(2):自分の住む土地を理解するのに、よいきっかけになると思うから。
・(2):震災復興というものを体験することで、将来の道が変わることもあるから。例えば県外に就職希望をしている人が復興のまちづくりに参加して、地元に残って復興に役立ちたいと思う人がいるかもしれない。実際にそういう話を聞いた事がある。
・(2):未来を考えた時、これから大人になる子ども達の意見を取り入れていくのも必要だと思う。
・(2):将来を担う子ども達が自分達の住む街、住んでいる街のことを真剣に考える良い機会だから。
・(1):子供の頃から勉強すると、アイデアが生まれると思う。
・(2):石巻に根づいた大人になると思う。
・(1):地域の未来は子ども達のものだからです。
・(2):子どもも復興に参加出来るんだと思える。
・(1):これからの将来、未来と今後の復興、再建、まちづくりの主になる世代なのと、語り継ぐ世代としての参加や貢献や尽力が大切なので。但し、遊び半分やお祭り行事的な参加では本人達の身にもならないことなので、取り仕切る大人の役割が非常に重要と思われます。
・(2):伝える事が大切だし何事も勉強になり、学校以外の勉強にも学ぶことがあると思う。
・(2):子供の頃から様々な経験をするのは良いと思います。
・(1):子ども達の新鮮な考え方で新しいまちづくりをし、活気ある石巻市になる事を希望している。
・(2):多くの方が復興にむけたまちづくりをした方がより良くなると思うから。

・(1):震災を経験し、自分達若い人達が協力し、何かをする事！！そして自分達が将来、自分の子ども達にきちんと震災について話をすることが大切だからです。風化させてはいけないのです。
・(1):まちづくりのために DVD で PR したり、復興祭りなどのイベントで伝統を守ろうと獅子振りや太鼓、よさこいを踊ったりしているから。
・(2):まちづくりに関わればふる里の事を思う心が育ったり、石巻に定住したり、過疎化が進む何らかの歯止めになると思います。
・(2):これからの街を支えていくのは今の子ども達だと思うから。ただ石巻地区に限りませんが、復興の話し合いに参加すると長老ばかりで、若者世代の意見はなかなか聞き入れられないようです。元気なお年寄りが多く、昭和人の考えに強く意見できないとのことです。20 年後の街を支える 10 代 20 代が長老に遠慮することなく話のできる場があればいいと思います。
・(1):まちづくりは与えられるものではなく、自分達や地域で作るものだと思う。大人が考える常識にしばられる「まち」より、子供の考える「まち」は自由な発想があり、新しい発見もあると思われる。何より自分が住みたい「まち」を考えることは、将来住み続けたいという気持ちが生まれると思う。でも、子ども達だけでは無理なので「きっかけ」を作ってくださることは大変に良いことだと思います。
・(1):大人にはない子供ならではの発想と行動力が今後の石巻の復興には必ず必要になってくると思うから。
・(1):子供の成長のために考えたり学んだりできるから。
・(1):自立心を育てる。
・(2):大人や親任せではなく、自身が関わっていくことで石巻の今の状況がわかるため。しかし、一方で震災を思い出す機会が増えてしまう時もあるのかと少しだけ気になっています。
・(1):自分が地域とつながっていることを体感できるため。
・(1):自分の街がどの様に変化していくかを理解する為にも、またどのような街になってほしいという意見を発表する為にも良いと思います。
・(1):「復興」ということに限らず、自分の住む町と関わり、考える事でふる里を想い愛する心が育まれると思うから。
・(2):子ども達の考え、思っていることをストレートに伝える事が出来るのではと思う。
・(1):地元を考え、地域の活性化。
・(2):参加することによりいろんなことが見えるし、考えることができるから。
・(2):機会があれば参加してほしいし、自分の住んでいる地域に愛情が出ると思います。
・(1):将来の石巻市を担っていくのが、現在の子ども達であり小さな頃から復興に向けて石巻市のまちづくりに参加し、意識を高めていくことは大変重要で意義深いと思うから。
・(1):若い人達がこれからの「市」を作るために頑張る姿を応援したいからです。
・(1):将来は子供達が住み良い場所でなければならないから。
・(3):直接携わることがいいとは思わない。子供は子供らしく大いに遊び、少し勉強し、普通に笑っているだけで十分。行事に参加するのもいいが、普通に公園で遊んだり文化にふれたりする事が大切だと思います。
・(1):子供時代に色々な経験をすることは、子供自身の大きなものになると思うから。
・(2):子供にとって「復興」は漠然とした大きすぎる課題のように思う。色々な活動に参加していく中で、自分の故郷である石巻の町を大切に思う心をもった大人に成長してほしい。
・(1):震災を経験したことで、それを生かしたまちづくりの意見を出してもらえるから。
・(1):成長していくことで今の子供達の住みやすい石巻市を考えて欲しいから。
・(2):大人に任せっぱなしだと子供が成長しないし、石巻市にも興味がなくなる為。どんな形であれ参加する方が良い。
・(1):現実を受け入れ自分の中だけにこもらないように気持ちを表現したり、皆の気持ちを知ったりしながら、少しでも先を見られるようになると良いと願っているから。
・(1):生まれ育った地域を愛し、昔ながらの伝統を残していく事はとても大切だと思います。困った時はお互いに協力しあい、助け合って喜びも幸せも分かち合うことが大切だと思いますので、参加することは良いと思う。
・(1):自分の住む地域をよく知ることのできる良い機会だから。

・(1):復興後の石巻市を守っていくのは今の子ども達。将来、自分達が年を重ねたとき、いかに住みやすい(生活しやすい)町かを考えていって欲しいから。
・(2):震災を知っているからこそ復興に向けて立ち向かう気持ちを持って欲しいから。
・(1):自分のまちづくりに自分たち自身が参加することは自然なことだから。
・(1):生まれ育った場所を大事に守って行きたいという子ども達の思いがたくさんあるので、これからもまちづくりには参加して行くと思います。
・(2):良い石巻のイメージを少しずつ回復させたい。
・(2):子ども達はこれからの人生でまたいつ災害に遭うか分からないので、復興のまちづくりに参加していれば、色々勉強になると思う。
・(1):自分の住んでいる石巻市の復興に関心を持ち、子ども達の目線からまちづくりに参加し形になる事は達成感を味わえ、今後の将来に良い影響を及ぼすと思えるから。
・(1):復興に参加することにより、これから長く石巻に住むだろう子ども達は、その町を大切にしようと思う心が育つと思うから。
・(2):具体的に何をしたら良いかわからないため。学校、家庭、地域では、未来の石巻を考えて文章にしたり、何をしたらよいか考える機会を持たせるが、実際に行動に出ていない。目の前にある勉強や部活、塾に気を取られている。結果は話をする、絵を描かせるなど頭の中での出来事だけとなっている。
・(1):子供の発想は大人と違い、色々な視線から浮かんでくると思うので、たくさん意見が出ると考えました。
・(1):子供の目線で気付ける考えもあると思うから。
・(2):子供には素晴らしい発想があるから。これから生きていく子供が主役だから。
・(2):共働きの家族が増える中、地域(町内や子供会)での活動が減ってきている事も事実であったので、震災で更に活動も減少。まちづくりに参加することで思い出となる活動や経験を積む事ができると思うから。
・(2):大人に笑顔を運んでくれる。
・(2):震災を風化させない為にも、先のある子ども達に協力してもらい、自分が参加したことによって未来へつなげていければ良いと思います。
・(2):石巻の復興に関わることによってまちづくりに貢献できると思うから。
・(2):まちづくりの意識が高くなり、ふるさとを愛する気持ちが育てられる。
・(1):これから生きていく地域のことに関わることはとても大切だと思うから。
・(1):自己中心の考えが多い中、自分が住む地域のことを思い行動することは良いことだと思います。
・(1):プロセスが大切だと思うから。石巻のことや伝統を学べる機会だと思うから。
・(2):元気になっていく過程を感じて欲しい。
・(1):震災を体験した子ども達が復興に向けたまちづくりに参加することは、その体験を生かして震災に強いまちづくりができると思うから。
・(1):未来の為のまちづくりに良いと思う。
・(2):将来、自分の住む街の事を考えるのは当然のこと、自分の住む街への思い入れは大事。地元の復興再生を考えるのは、その地への根付きのきっかけになるのでは？まずは大人が地元への愛情を持っていなければ、何を子供に話しても説得力がないが…。
・(1):自分達が住む街を楽しい事や満足できる状態にすれば、住み続け、更に良くなって復興に繋がると思う為。
・(1):復興後の石巻を作っていくのは今の子ども達だから。
・(1):参加してほしいと思う。震災前を知らない。覚えていないくらい小さかった子もいると思うが、新しい街の作成に携わるのは良いことだと思う。
・(2):子供の目線の意見が良いときがある。・これからのまちづくりには若い人が必要。
・(2):自分のふるさととしての認識が生まれると思う為。
・(1):復興する為には十年単位の時間がかかるわけで、十代の子ども達でも大人になっている。その時自分達がどうなりたいか、どうなっていたいかを考えながら、今を過ごすことは老い行く人間が考えることよりも未来をつくっていけると思うから。
・(1):何事も経験だから。
・(1):今の子ども達が大人になった時に責任感を持ち、今後の災害に対しての意識づけになる為。
・(1):今、我々の世代は復興というよりまだ復旧のために働いている。本当の復興という意味では次の世代の子ども達が担うことになると思っているから。

・(1):次世代の子ども達が住みやすい街であってほしい。
・(1):若い人達の意見を聞いて住みやすい街にしてほしい。
・(2):子ども達も石巻市の一員だから。自分達の未来がどうあってほしいか聞きたいから。
・(3):道路が狭い。公園がない。運動場が少ない。自転車道がない。
・(2):子ども達がまちづくりに参加することで、自分達のまちであるという思いを持ち、大切に思っていけるのではないか。又、その活動の中で子ども達が同じ年頃の子供や家族だけではなく、色々な世代の人と関わり、つながりをつくっていってほしいと思う。
・(2):子供が自分の将来について考えるきっかけにもなると思う。
・(1):あのような辛い経験をしたからこそ、一人ひとりのまちづくりに対する気持ちが強いと思うし、力になると思う。
・(2):東日本大震災を忘れてほしくない。
・(1):若い力や発想で石巻市のより良い復興のためにがんばってほしいと思います。将来、地元に残る若者が増えると思うから。
・(1):将来、その子ども達が暮らしていく場所だから。
・(1):子ども達が自分達の住みやすい町を考えた方がいいと思うので。
・(2):高齢化に伴い自分達の今できる事を自覚してもらう。
・(2):次の世代を担う子ども達も参加することにより、子供自身も復興について考えられるので良いと思う。誰かにあてがわれて何かをするのではなく、自分で考え責任をもって前に進んでいけるのではと思う。
・(1):町の将来を担っていると思います。
・(1):自分達の育った町を自分らで作り上げることは当たり前だと思う。たしかに自立できなければ、多方面からの支援も必要ですが、それを親(家庭)地域や市がどう携わるかで、子供らひとりひとりの認識が変わり、自分らの将来も考える力を身につけさせることは大事なことだと思うからです。
・(2):子供の強い意志づくりに繋がると思います。
・(1):将来、子ども達が長く生活するから。
・(2):地域社会の現状と将来に関心を持ってほしいので。
・(2):一歩一歩前を向いて進んでいく事が大切だと知ることも必要だと思うので。
・(1):これから何が必要なのか考える機会になる。案外、自分の住む町のことを知らないものだから。
・(1):この震災で子ども達が自分達の力で復興に協力していく事は、これからの生き方に良い影響が出ると思います。
・(1):自分達が住む町の現実と状況、そこに関わる人達の意識や考えを知ることで我が町は自分達で復興し守る。そして自分達自分を守るのは他人ではなく、自分自身であることを知るためにも。
・(1):今、参加している子供達がとても生き生きとしているから。
・(1):自分が住む町をよりよくしようと努力することは、素晴らしい取り組みだと思う。
・(2):実際に震災を経験したから。
・(1):自分の住んでいる地域を知ることで郷土愛がはぐくまれると思います。
・(1):子供達が自分の住む町の将来について考えたり、その為にはどうすべきか等、行動することは子供の成長にはプラスと思う。
・(2):たくさん他地域より支援を受けてきているため、自分達で復興を助けることはよいことだと思う。
・(1):どんな事でもチームの一員となり活動する事により、将来人との付き合い方や、その体験で得た達成感は思い出となり、また、地元を思う気持ちにつながる。一つの人格成形のプロセスになっていくと思います。
・(2):復興の様子、まちづくりを通してどの様に変わっていくのか、それを見てどう思うのか、子供のためにも良いと思う。
・(1):自分達が震災で経験した事を元に、これからの未来を築き伝えていって欲しいです。
・(1):未来を担う子供が中心になって取り組むことが大事。自主的、自立した子供を地域で育てていきたい。大人になった時に良い連鎖ができると思うから。
・(1):自分達の手で復興を行うことで市への愛着が生まれ、大切にしたい、住みたいと思うと思う。
・(1):震災を経験し、子供たちも未来に向かって石巻のための郷土愛にもつながるので参加する。
・(1):これからの石巻をどんな風にしたいかを考える機会になると思うので。
・(1):人がまちを作り、まちが人を育てるため。

・(2):あまり良い事になる意味は分からないが、悪い事ではない事は確かだと思うから。
・(1):子どもが大人になって生活していく地域のまちづくりに関わっていくことは大事なことだと思うから。
・(2):自分の住む町に愛着を持つ様になると思うから。
・(1):震災があったということを体で覚え、忘れないように。・自分たちの町を自分たちで取り戻すという意識の醸成。
・(2):起きてしまった「不」を前向きにとらえる事ができる。けれどあまり子どもに頼り過ぎたり、震災を思い出させるようなら好ましくないです。
・(2):大人の事情や議員の都合にとらわれないで、石巻を変えて欲しい。
・(1):自分の住む“まち”に関心を持ち、石巻に定住しようと思ってもらえると思うから。また、大人の目線だけでなく、子どもの目線での“まちづくり”により、子ども達が復興に携われるように！！
・(1):これから先、復興した町に長く住むのは私達より子ども達であるから。
・(2):少しでも子ども達自身が地域のためにできる事の喜びを実感。
・(1):子どもも参加する形なので、子どもの意見も分かると思うから。
・(1):石巻は皆様から大変お世話になっているから、少しでもお返しが出来る様に…。
・(3):参加できる環境の子どもと、できない環境の子どもがいると思うので。
・(1):未来に生きる子どもたちが、未来の石巻について議論するのは当然のことだと思う。
・(1):自分達の町をより良くと思う気持ちが感じられるため。
・(2):自分達の町がどう復興していくか、しっかり感じる事が大切だと思う。
・(1):震災の事を忘れないように、１日も早く前の石巻市にもどるよう、自分らにできることで参加していって欲しい。
・(1):子どもにとってプラスになる。積極的な子どもに育って欲しい。
・(1):大人が描く石巻と、子どもが住み続けたいと思ったり、希望のある未来の石巻を考えたりすることのギャップを埋めながらまちづくりができそうだから。
・(1):これからのまちづくり、町に住んでもらう貴重な財産（子どもたち）なので。
・(2):子どもの目線からまちづくりをすることは、大人では気付く事のないヒントがあると思うので良い事ではないでしょうか。
・(1):大人も子どももこれからの自分の街のために、何かに取り組んだり考えたりする良い機会だと思うので。
・(2):住みよい石巻にするために。
・(2):これからの石巻を担う子供達が、故郷のことを知ったり考えたりすることはとても大切なことだと思うから。
・(1):恐ろしい思いをしただけに、そこから抜け出せる（立ち上がる）きっかけになると良いと思うので！！一人では（家族だけでも）立ち上がれなくとも、周囲のサポートで希望を持てるようになると信じる。
・(2):自分達の住んでいる町なので、自分達の手で少しでも復興に役立てる事ができるのなら素晴らしいと思う。
・(2):これからの石巻には若い方々の力が必要だから。大人はいろんな理由付けをして動きが鈍くなる事もあるけど、若い方々は行動力がある。
・(1):復興について考えるのはいいことだと思う。
・(1):将来のため、自分達の未来に携わる事はとても良いことだと思う。
・(1):今の子ども達の成長と共に復興していくと思うので、子ども達の意見などを、どんどん出して欲しいと思います。
・(1):これから未来のある子ども達なので、震災を経験して石巻を（3月 11 日）前とすっかり変えてしまって、みんな1人１人も変わってしまいました。みんな色んな悩みや大変な思いをして生きています。でも、子ども達の声など笑い声を聞いただけで元気になれそうだと思います。だから参加することはとても良いと思います。
・(1):子ども達も被災していて現状を知っています。自分達の手でこれからの石巻を作っていく。未来を担う子供達が活動する事は子ども達の自信にも繋がります。大人達は希望をもらいます。
・(1):自分達の未来について考える事は、良い事だと思う。
・(2):東日本大震災において、市民が被災した状況は子ども達にも共通認識があるため、このことを後世に伝えるためにも必要と思うから。

・(3):自宅付近の道路整備や避難場所もない中、他の場所を変える(復興)事は考えられないと思うから。まずは大人が真剣に地域の復興を願い、参加していく事が大事だと思います。
・(2):街に活気がでてきて良いと思う。子どもに代々引き継がれていけばいいと思う。
・(2):復興に向けた活動を通して、人と人との繋がり、挨拶を体験できると思う。
・(3):復興が進んでいない。
・(1):自分が住む町の今後を考え、より良くしようとする気持ちになれると思う。
・(2):協力心が養われる。
・(2):将来ずっと同じ地域に住み続けて欲しいので、子どもの頃からまちづくりに参加すれば愛着がわくのでは。
・(2):責任感が育つと思うから。
・(1):自分が実際行っているし、子供はこの町の“将来”“未来”だから。
・(1):自分達の住んでいる町が復興に向けて震災前よりももっと明るい町になれば心が明るくなる。
・(1):参加することにより地域に愛着が生まれ、都市部への流出を防げるから。
・(2):これから石巻に住み、暮らしていくのは子ども達自身なので、未来を想像しながらまちづくりに参加するのが良いと思う。
・(2):まちが元気になると思います。
・(2):大人には忘れてしまっている事などを、思い出すきっかけを作ってくれると思う。
・(1):子供の将来を考えるいい機会だと思う。
・(1):地域の事、社会の事を人ごとではなく、自分もその一員だという事に気づく為。
・(1):自分たちの将来のかたちづけを考える機会になっていくと考える。
・(1):この震災からの復興には十年単位の年月が必要であり、現在「子ども」である世代が自覚をもって取り組まなければ芯のある再生はあり得ないと考えます。
・(2):自分達のまちを自分達で作っていくという意識が生まれるから。
・(1):県外のボランティアさんや大人だけではなく、子供(幼、小、中生)も復興の手伝いをし、将来へ何かを伝えればいいと思う。
・(1):これから大人になっていく時に何をしたらいいか分かると思うし、何よりここ(石巻)で楽しんで過ごしてほしい。
・(1):自分達が住む地域を自分達の手で作り上げていくので、人のつながり、地域のつながりができる。
・(2):未来を担う子供達が復興に興味を持ち、参加することは大変すばらしいことだと思います。
・(1):これからの石巻を支えていくのは今の子供たち。その子供たちが自分の住んでいる所を考えていくのは、とても大切な事だと思う。
・(1):石巻(自分の街)を大切に思う気持ちが出る。
・(2):将来どこに住むにしても、生まれ故郷の現状には目を向けてほしいと願うため。
・(2):参加する事により、子ども達の復興への意欲が高まったり、前向きになれるのであれば良いと思います。
・(2):人と協力し合う気持ちは大事だと思うから。
・(2):子供自身が生まれ育って、今も生活している石巻市を新しく再生していくことに参加するのは、改めて石巻市のことを考える機会になると思うから。
・(1):子供なりの考えが広がり、自分達の住んでいる町に興味を持ち、それが大人になるにつれ大事なものに変わっていけば、その地域は成長すると思うから。
・(1):被災地という冠から早く脱却し、子供達には自立してほしい。
・(2):何となく。
・(1):自分が目の前に見えていることだけが世界の全てではない、ということを気づくチャンスにできると思う。
・(2):今後、自分達が住む町だから。
・(1):子どもが考える事は大変良いから。
・(2):これから石巻を担う子どもが地域に根付くのではないかと考える。
・(2):将来の石巻市を支えるのが子ども達だから。
・(2):今からというか、未来を背負う子供の思いにも耳を傾けた方が良いと思うから！！
・(1):自分達の町は自分達で作るという意識を持つ事で、地元愛が育まれて地域の過疎化を止めることにつながる。
・(1):復興はまだまだ時間がかかります。復興の担い手は大人ではなく子ども達であると考えます。

・(2):大きな震災を経験した子供達にしか分からない、子供達の大切な意見を復興に生かして欲しいし、未来の石巻を担う子供達と復興を取り組みたい。
・(2):何事も経験だと思うから。
・(1):子供達が復興に向けて色々経験しながら成長していくということが様々な場面でプラスに働くと思うから。
・(2):自分の生まれ育った地域に愛情が持てる。
・(2):小さな子供も震災前の景色と何もなくなってしまった景色は忘れることのできないことだと思います。新しい石巻のまちづくりに参加して、自分達にも何かできるということを実感してもらいたいと思います。
・(2):自身の住むまちづくりに参加することで、住みやすさなどを考えられる力がついていくと思う。将来的に復興に役立つ事はもちろん、他の地域のまちづくりに活かせると思うから。
・(3):本人の意志でない場合もある。
・(1):自分たちのまちをより良いものにしようという気持ちを持ち取り組むことで、自立、協力等様々なことを学べる。
・(1):学校や家庭以外のことで多くの人に触れ合い、色々なことを感じ、学ぶことは大変良いと思います。
・(1):自分が住んでいる地域の事だし、将来自分が大人になった時に自分達が創り上げた自分の街だと自信を持って言える大人になれるように、自分の街に対する愛着を持てるように。どんどん参加して欲しいです。
・(1):地域のコミュニティーがなくなりつつある今、未来を担う子供達のためのまちづくりは必要だと思うから。
・(2):自分たちで「忘れない」と情報を発信することは良いことだと思うので。
・(1):大人がするべきものだと思わず、子供の頃から関わっていれば次の世代へ渡していくことができると思う。
・(1):自分たちの住む地域に自信を持って、将来その様子を色々な方々に語り継いで欲しい。
・(2):新しいまちづくりには大切な存在なので。
・(1):この地域の人口、子供達を減らさないため。
・(1):これからの石巻を作っていく子供だから。
・(1):災害を忘れず、後世に伝えていくため。
・(1):自分たちが暮らす石巻をより良い街にするために努力して参加するのは良いことだと思うから。
・(1):これから長く住む子供達の意見を聞くべきだと思います。
・(1):自分たちの置かれている立場を認識するため。
・(2):地元について考えることは大切だから。
・(1):人に対しての思いやりや自分の考え、協調性などが身に付くと思うから。
・(2):近い将来その子達が住みやすいようにすべきだと思う。幅広い意見を取り入れ、生かすべきだと思うから。
・(2):地域の子供達は石巻の復興の担い手だから。
・(1):どの子も多からず少なからず心に傷を負いました。現実と向き合い、自分の心を癒しながら、自分達の手で未来を築き上げて欲しいと思う。
・(2):子供が優先して行うべき学校行事、部活動等を充実させることが本分であると思う。その中で個人が関心を持って取り組むのは良いと思う。
・(2):参加することにより皆さんと協力し合い、少しずつでも不安を取り除いていけたら良いと思う。
・(1):未来
・(1):これから石巻を盛り上げていくのは地域の子供達だから。
・(2):大人だけでなく子供達も一緒に活動をすることによって、明るく楽しいまちづくりができるのではないかと思います。
・(2):次の次代を担うのは今の子供達だから。
・(2):大人にはない子供の「力」があるから。色々な世代が関わるのが良いと思う。
・(1):子供の頃にそうした取り組みに参加することによって、自分の住んでいる地域をより良くしようとする意識が高まるし、いろいろな意見を聴いてまとめるという力がつくと思うから。
・(1):固定的な考えに囚われない素朴な意見。今の大人の時代はすぐ終わる。子供時代が大変なのだから先々のまちづくりが大切。
・(2):これからの世代だから。大人よりアイデアがあるから。
・(1):自分たちの将来に良い。また現状を知ることにより現実的に将来に向き合うことができるため、良い。
・(1):自分たちの住む町の未来のために、できることは自分たちでした方が良いと思うから。
・(2):これからの街を本当に担っていくのは子どもだと思うので。

・(2):みんなで一緒に何かをするということが思い出にもなるし、社会に出た時にも役に立ちそうだから。
・(2):自分の住む地域について関心を持ち、どうしたら良いまちづくりができるかを考えるのに良い機会だと思うから。
・(1):これから石巻、日本を支えてくれる子供達が子供の頃からまちづくりを考えていく事は、今後の石巻、日本の未来にプラスになってくれると思うので。
・(1):何かを決めることに参加することによって、自分が住んでいる地域をより知ることになるのでとても良いと思う。
・(1):子供の目線も大切だと思う。
・(2):自分の住んでいるまちのことを知ることができ、好きになり、残ってくれるようになると思うから。
・(2):参加して知る事や復興について自分で考える良い機会にもなると思うので。
・(1):地域を大事にすると同時に、他者へ興味を持ち関わることで思いやりや優しさも育つと思う。
・(1):自分たちの住む町の復興を子どもたちなりに考え、実行し築き上げていくことで、いつかは子どもたちの世代がこの町をしっかり支えていって欲しいと思う。
・(2):自分達で考えて行動することは、とても意義のあることだと思うから。
・(2):将来の自分たちのため！という意識も育つし、未来のためという目標を持つことは良いことだと思います。
・(2):子供自身の勉強になる。
・(2):自分達の町だからみんなで力をあわせてまちづくり出来たらいい。そして将来を担っていく子供達なので復興まちづくり参加に賛成。
・(2):子供達の意見等いろいろ聞けると思う。
・(1):今、身近に子供達がいませんが、子供達にまちづくりをしてもらう事はこれからの石巻に大変良い事だと思います。
・(1):将来を担う子供達を育てる。
・(1):震災で大変な思いをした子供たちですが、新しい石巻ができていく様子を見たり、力を出すことで元気になれると思うから。
・(1):自分の地域の復興に関心を持って自分の意見が反映されれば、地域に愛着がわき将来を担う子供達に良い経験となると思う。
・(1):経験豊富な大人の意見も大事であるが、子ども達の目線での意見も必要であると思う為。
・(2):もしあの大震災が無ければ、多分地域の事や復興の事など進んで参加していなかったと思う。
・(1):将来の石巻の人々が多くの意見や自分のまちづくりを見る事は良いこと。
・(1):未来を担う子供が参加することで、よりよいまちづくりが出来ると思うから。
・(1):これからの地域を担って行くのは子ども達だし、子ども達の力は大人に負けないものがあると思います。
・(2):過去を受け止めた上で、自分達でできることを実感出来る機会となるから。
・(1):将来を生きていく子供達が、今のうちから復興にむけたまちづくりに参加することで意識づけもでき、自分達（子供達）が住みやすい街にできるよう考え、行動することができる。
・(1):自分が住んでいる地域を知り、これから暮らしていくにあたりどんな街に住みたいか、ここに居住したいと思えるか考えることが、将来町に残り次世代の担い手となる可能性があるから。
・(1):自分の住む町のことはとてもよい勉強になるので。
・(2):これから自分達が生活していくまちを自分達の手や考えで作っていくということは、そのまちに愛着がわいていいのではないかと思う。
・(1):意識が高まる。「自分のまち」という思いが強くなり、将来の石巻の活性化につながると思います。
・(1):未来を担う子供達に石巻市のまちづくりに多く参加してもらい更によい市、町に！！
・(3):まちづくりに参加したいと思う子供は、元々そういう意識が高い子で、普通一般は、交通手段もなく中心部で行われることが多い会議などに参加出来ないと思う。特別なことをやるよりは、どの地域のどの子どもも、当たり前に児童・生徒としての普段の生活ができることが一番だと思う。子どもがまちづくりに参加しても、進学先・就職先がなければ、結局町を出ていくと思う。
・(1):地域活動は復興に関われるか、関われないかに限らず、した方がよいと思う。
・(2):本格的な復興は、今の子ども達が大人になってからだと思うので。

・(1):個人での参加は難しいのですが、学校での参加だと友達と一緒に参加でき、とても良いことだと思います。ぜひ、学校からの参加をしてほしいです。
・(1):子ども達が大人になれば、彼等が自力で支える立場になるので、早い時期から参加するのが長い目で見ても良い事だから。
・(1):自分の住んでいる町、将来自分達が住み続けたいと思うまちづくりを、自分達の手で積極的に参加し作っていくべき。
・(1):自分達が将来、家庭を持つであろう場所だから。
・(1):大震災を経験して、自らも復興のお手伝いをして、町の再生などを実感できると思います。
・(2):自分が生まれ育った地域を好きになってほしいから。
・(2):復興に関わる事で、地域に愛着をもてると思う。(持ってほしい)
・(2):今の子は何事にもやる気がないから。
・(2):これから復興していく上で、学びながら自分達の“ふる里”を作る！！意識が出てくると思います。
・(2):復興し、住みやすい町を作る。
・(1):自分達の事を自分で決める。責任感が芽生える。
・(1):自分達が参加する事で、市政に興味を持つことになるので…。
・(2):復興をきっかけに「地域のあり方」を皆が考えるというのは良いと思う。ただ、大人主導だったり、着地点ありきの話し合いなどはあまり意味がないように思う。
・(2):子どもの方が発想豊かで、アイデアが豊富だから。
・(1):子ども達の「石巻の復興」への意識が高まるので。
・(1):何事もみんなと一緒にするのが良い事だと思います。いざという時はやはり友人だと思います。一人でも多い方がよいから。
・(1):未来を作るのはこれからの子ども達なので。
・(1):自分達が住む街のことを考えるのは、良い事だと思います。
・(2):子ども自身が未来の石巻をイメージできるから。
・(1):子どもの頃からこういう活動に参加する事は、子どもにも自分の事だけでなく、周りの事を考える事ができるので、大変良い事だと思う。
・(3):目立ってオープンな情報がない。保育園などの情報が少ない。
・(1):今の石巻の現状を知り、未来の石巻のことを考え、それに子供達自身が携わり、その中でいろんな人と交流すること。
・(1):若い世代に風化させないように伝えていく事が必要。被災が大きい石巻の復興の遅れを体で感じ、自分達の力も必要だと感じて欲しい。
・(2):子供達が考える復興のアイデアがあるかもしれないし、子供達にとっても復興に関わることで成長に良い影響があると思うため。
・(3):子供には被災状況や生活環境に温度差があり、私のまわりにいる子供は無関心だから。
・(1):震災は大変痛ましいことですが、新しい町、暮らしやすい町を作れることも事実です。これからを担う子供達から意見を聞き、参加してもらえたら、大人が思いつかない発想が出ると思うので。
・(1):復興に向けて子供の参加が多ければ多いほど石巻への子供達の思いが強くなるから。
・(1):子供達は地域に深く関わることで大切なことが学べると思うから。またこれから長く生きていく子供達は、知るべきことがあると思うから。
・(2):次世代を担う子供達の意見を取り入れ、住みやすいまちづくりをしたほうが良いと思う。
・(1):まちづくりに参加した子供達は大人になった時、自分がそのまちづくりをした場所に愛着があり、ずっと住みたいと思うから。
・(1):これからの時代を担う子供たちこそが、この街の復興に向けてまちづくりに積極的に参加するべきだと思うから。
・(1):震災から3年、4年目から PTSD などが問題になります。子供達も一緒です。だからまちづくりなどにぜひ参加して欲しいです。
・(1):石巻を活性化したいと思うのと、将来子供達が自分達もまちを作り上げたと思ってくれるようになって欲しい。
・(4):遅い。
・(1):実際に色々して頂いている活動を見て、肌で感じております。ありがたいと思っています。
・(2):子供達も自分の力が発揮できる。
・(1):自分が住んでいる町を大切に思う気持ちが育つと思うから。
・(2):被災していなくても自分の身近に震災を感じられるように取り組んでほしいと思います。

・(1):復興には時間がかかると思うので、10 年後の石巻を支えていく世代の子供達の意見を聞くことは大切だと思う。
・(1):将来を担う子供達が復興に向けた活動をすることによって、未来が明るく希望が持てるので。
・(1):復興はここ2～3年のことを言うのではなく、果てしなく続きます。現在の大人は老いていきますが、数年後数十年後まちづくりの要になっているのは今の子供達です。今の段階から加えて(関わってもらい)、しっかり見て伝えていって欲しいと思います。
・(1):復興のためだけでなく、地域の中でたくさんの人たちと関わりを持ってそれぞれの役割を考えられる人になって欲しい。
・(1):経験を生かして欲しいから。
・(2):震災を忘れないためにも、色んな形で参加した方がよい。
・(2):子どもがいないので、よく分からない。
・(1):今後子ども達が大きくなり、自分達が育った町や市(故郷)を大切にする気持ちを育むためにも、小さいうちから色々体験をした方がよいと思う。
・(1):地元に愛着を持つようになる。
・(2):将来も住み続けるため、これから育っていく場として考えることは大切だと思うので。
・(3):ある意味、負の遺産だし、今いる大人で復興していけば良いと思っている。
・(1):復興には長い時間がかかる。子ども達が未来の石巻市をつくっていくと思うから。
・(1):自分が住んでいる町に関心を持ってもらいたい。
・(2):子どもがこれからの石巻(地域社会)を担う存在だから。
・(1):いずれは町の一線で活躍する世代になるので、子どものうちからの参加は必要だと思うから。
・(2):未来を作っていくのは子供達だと思うから。
・(2):子供時代の人格形成で大切な時期に、自分達もそこに加わる一員であると意識付けることが何よりも大事だと思う。

50～59 歳

・(2):人と人のつながりを持つことにより地域全体が発展していく様に思われる。・子ども達の心の中が豊かになり、人との関わりをもつことで災害などでも安心して暮らせる様になるのでは…。
・(2):自分も住み続けるので、まちづくりに参加したと自覚できるのでは。
・(2):大人だけが頑張るのではなく、子ども達も一緒に現状を理解し、同じ方向性を持って取り組むことが大切だと思う。
・(2):子ども達はこれからのまちづくりにも、とても大切な存在だと思います。是非、これからも多くの子ども達の考えを役立てて頂き、支援活動に協力して頂きたいと思っております。
・(3):大人が出来ずにいるのに。
・(2):復興はすご～く時間がかかっています。子ども達も含め参加して進んでいければ良いと思います。
・(1):未来のまちづくりは子ども達の力が大切だと思う。
・(1):未来につながるから。
・(2):自分にもお手伝いや何かの役に立てるという自信とか思いやりの心が生まれると思う。
・(2):将来を担っていく子ども達が地域に愛情を持つと思うから。
・(1):社会性が身に付くことや郷土に愛着を持つから。郷土の良い所を見つけられるから。
・(1):現在、問題となっている無感動、無関心、学力だけが重視され、核家族化になり他人と交じらず孤立した生活は殺人すら何の刺激にもならず、人を騙し楽な稼ぎをするようになる。但し、活動と同時に学力対策も地域を上げてすべきだと思う。
・(1):原発の地域にいる子ども達の事が全然問題にならないのは大変おかしい。
・(1):自分達の街を自分達の手で復興させるという気持ちが芽生えると思うし、それが支援した方々への恩返しになると思うから。
・(1):子供の頃から地域のまちづくりに参加することで、「ふる里を思う心」が生まれ、大人になっても活かされると思うから。
・(2):地域の将来につながる。

・(1):経験を生かしていける場所と環境が子ども達の将来に役立つと思う。学校の授業の中でもやってほしい。全員参加ができると思うので、関わって体験してほしい。
・(2):新聞やニュースなどで子ども達の活動を見ています。
・(2):これからの石巻復興のため、大人だけでなく子供も参加し、経験、体験、思考力を育むこと。
・(1):子供の意見も聞いて参考にしているのは良いことだと思う。
・(1):石巻も含め復興が、古い人や年寄りや商店街の老人達が力をもち、あたかも市民の代表のように復興を操作しているから。子ども達は利権がない。将来を作る人間がまちづくりに参加すべし。
・(1):将来、この地域に住み、この地域で生きていく為には、自分達の地域であることを自覚し希望が持てるように参加は必要。
・(1):小さい頃から色々な経験を通していく事で成長すると思います。
・(1):地域をより活発にするためには、子ども達の積極的な参加が必要だと思います。
・(1):地元への愛着が深まる。居住の場を大事にしようと思うようになるかも。
・(1):未来に向けた自分の住んで行くまちづくりに興味と関心を持つということは、とても大事な事だと思います。子供でも！！
・(2):地元の子ども達は地元の事について一番理解していると思うので、形態にあったまちづくりが出来ると思う。
・(1):石巻に対する郷土愛を育てられ、自分達が関わったまちづくりで実現した将来の石巻に強い関わりが出来、若者の定住につながるため。
・(2):自分が成長していくと同時に、同じくまちづくりで復興している事が実感出来れば最高です。
・(1):参加することで愛着が出て、若い人達が石巻に住んでくれたらなあと思います。
・(2):これからの世代の若い意見を取り入れることも必要。
・(1):石巻がこの先発展し続けるには、子ども達がこの地に留まり、地元愛を育む事が大事なので、石巻の事を色々勉強し理解し、子供の目線で希望を持ってほしい。
・(1):これからの未来を自分で決めて進んでいく為に、大人の協力は必要ですが。
・(3):大人達がやるべき事であり、子供世代に負担をかけることになる。
・(2):これから先に起こりうる震災の時にも役立つのではないかと考えられるから。
・(1):子供達が自主的に考え、行動に移しているところ。
・(1):これからの世代が町を良くするために努力することは良いと思います。
・(1):自分で住む街を考えるのは子ども達がふさわしい。
・(3):見える部分が限られている。
・(3):大人が責任を持ってやるべき。
・(1):大人だけより子どもの視点で見た場合に、大人では考えつかない発想があったりすると思うので。
・(1):自分の住む町のこれからについて考えることは、良いことだと思います。
・(1):自分たちの街を自分達でつくったという思いを持って大人になることが、街を愛し自分の生活も大切にする気持ちにつながると思う。
・(2):学業と両立することができるのならば、とても良いことだと思う。
・(2):子ども達の成長につながると思うから。
・(2):震災復興に関わらず、将来を担う子ども達が地元のまちづくりに興味を持つことは良いこと。
・(1):参加することによって1人ひとりが自分が役に立っているということを自覚できると思います。そしてみんなで協力して我が町を良くしていきたいと思うのではないでしょうか。
・(1):子供が少ないので、ふれあう事が少なすぎる。
・(4):仮設に住んでいますが、今の子ども達は外で遊ばない、家で騒いでいる。そんなまちづくりに参加するわけがないと思う。
・(1):将来を担う世代にどんどん参加して頂いて意見を言ってほしい。
・(1):自分達の手でまちづくりに参加しているという意識を持つことが、将来この石巻を大切にし生活していこうという気持ちにつながる。「自分達の暮らす町に関心を持たせたい」という思いから。
・(2):次世代を担う子ども達が石巻市をより良くしたいと復興にむけて取り組むのは良いことだと思います。自分のように年をとり古い考えに凝り固まっていないから。

・(1):地域一帯となり、一つの目標に向かう。良いことだと思う。
・(1):小中高校と各年代で考えを話し合うこと。将来、この子ども達が石巻を背負う者になるから。
・(1):この街の未来を担う子ども達が積極的にまちづくりに関わるのは、精神的な成長に大きく影響すると思う。自分事と思うことが大切だと思う。
・(1):自分自身の人生において、大変有意義であると思うから。
・(1):次の世代を担う子ども達が自分達が生きていく街を自分達で想像してほしい。
・(2):自分達で考える事により、それが実現した時に喜びも大きく、又、参加する人も増えてきて、色々意見も出て、よりよいまちづくりにつながる。
・(1):子供の意見は大人とは違う感覚で考えているから。
・(1):子供ならではの「直感的」なひらめきを大人が聞くことで刺激になるし、子供も人間としての「責任」を自覚し世界が広がると思うから。
・(3):大学出てから。
・(1):将来、自分達が住み良い街にするためには、若いうちから意識的に行動することが必要だと思います。大人になった時、石巻という小さな土地に対しての愛着も違ってくるのではないでしょうか。
・(1):明るい未来の石巻の為に、子ども達に参加してもらい実感してほしい。
・(2):経験したことを元に強くなってくれる。
・(3):スポーツや運動、特に団体行動をどんどん行って、もっともっと活動させて体を動かし鍛錬させ、それに親も参加させる事。スポーツで復興を！
・(1):子供が元気になれば、大人も元気がもらえる。
・(2):現実を目のあたりにした子ども達が自分の住む地域を作っていくことは大変だけれどやりがいがある！早いうちからまちづくり参加は良いことだと思うが、無理強いはしない方が良いと思う。
・(2):未来のために。
・(1):心を閉ざしてしまいがちな子も復興という活動目標があると心を開くことができるから。
・(1):今からが大切です。石巻を背負って立つ人間です。
・(1):あてがわれるのではなく、主体的にまちづくりをしていこうとする意識を育てることが大切だと思う。
・(1):石巻はつまらない市。現実を見てこれからの石巻を変えるチャンスなので、これからの子ども達に頑張ってほしいから。
・(1):子ども達の豊かな考えが未来の石巻のプラスになると思います。そして、参加することによって地域を知ることも良いことだと思います。地元でも知らないことは多いと感じます。
・(1):石巻市の子ども達が大人になった時に役立つようにする事が大切だから。
・(1):興味や関心を持ち意識的に参加することで、主体的にまちづくりに参加する人材が育つと思うため。
・(1):地域は子供が住んでいなければ発展はしません。復興に自分自身が関われば愛着が湧くと思います。
・(1):自分達が育った町のまちづくりを実体験する事で未来を想像し、ふる里に愛情を持って欲しいから。
・(4):良い子が見当たらない。
・(1):子ども達が夢を持てる。大人にはない発想に期待できる。そういう子ども達を見て大人が元気になる。
・(1):身近にまちづくりの機会があまりないので。
・(1):これからの石巻を支えていく子ども達なので、復興に直接関わっていくことで活気のある、若さあふれる石巻のまちづくりができると思うからです。
・(1):地域の為に何かをするという事は、自分の住んでいる町に興味を持ち長く住み続けることを期待する。
・(1):地域の事を考えたり行事などに参加する事で地域に根付いてくれるのではないかと思います。都会に出て行く人が多いので。
・(2):何でも誰でも地域（石巻）のまちづくりに参加する事は良いことだと思う。「人のため」「地域のため」というふうに目標を持つことは素晴らしいことです。
・(1):将来の石巻を担う子供達なので…。
・(1):将来、地域を担う子ども達が自分達のまちづくりを考えること自体にとても意義があると思う。また子ども達は大人が思いつかない発想をし、子供が住みやすいまちになることは大切だと思うから。
・(1):将来は子供の時代だから。
・(3):子供は大いに遊ばせ、勉強し、育っていって欲しいと思う。

・(1):参加することで自分自身のことも分かるし、周りの人達をみて、すごく勉強になると思うから。
・(2):子ども達の考え意見は復興に必要な事だと思うから。大人の考えだけではなく子供の目線でも検討するべき！！
・(2):子供が参加するのはいいと思います。でも一部の子ども達だけが参加していると思います。学校にアンケートを取るとかした方がいいと思います。
・(1):子供は想像力や発想が面白いので参考になるし、将来大人になった時に自分が携わった町であれば愛着が湧くと思う。
・(1):次の世代を担っていく子ども達がまちづくりに参加することは、大変意義のあることで良いことだと思うから。
・(2):今の子ども達は一人っ子が多く、一人では何も出来ない。なぜかというと親が口や手を出しすぎのため、一人ではできない。そのため大勢の人達と仲良くなり石巻市のまちづくりに参加することで、少し大人になるんじゃないかと思います。祖母なども孫を溺愛しすぎているのが見られます。
・(1):自分達の住む街の今後、自分達の役割を考えるために良いことだと思う。
・(1):これからの石巻も今の石巻も子ども達の財産。どこをどうしてどのような石巻にしたいのか、多いに参加すべきと思います。
・(2):子供の発想も意外性な物があり、復興のまちづくりにつながるきっかけになるかもしれないから。
・(2):復興には何年もかかると思うので、その中心になるのは今の子ども達だと思うから。
・(1):将来自分たちが参加した意義を知ることができる。
・(1):自分たちが大人になって石巻市の中心になっていくのだから。
・(1):子ども達の視点を大切にしたい。・教科書以外の「学び」として良い経験となる。・石巻を大切に考える意識が醸成される。
・(1):震災を経験した子ども達が、地域や子ども達の未来や将来を考えていく復興に向けた石巻市のまちづくりは役立つと思う。
・(1):これからは子供達の石巻となるわけだから。
・(1):子供も復興がどの程度進んでいるのか、また色んな経験をした方が良いと思う。
・(1):地域の復興を見極めることで将来の生活に役立てて欲しい。
・(2):体験をした子にしか分からない事がある。
・(3):復興も大切だけど第一に学業に専念して欲しい。
・(2):次代を担う子ども達が将来のまちづくりに参加することは良い事だと思う。
・(2):何となくそう思いました。
・(1):自分で判断し自分の意志で参加する事が大切、人との繋がりも大切。
・(1):自分達の町を少しずつ復興する姿を手伝いながら感じて欲しい。
・(1):次の世代の子ども達が元気じゃなかったら話にならない。
・(1):復興までには長い時間 10～20 年あるいはそれ以上かかるものと思い、これから将来社会の中心になっている子ども達がまちづくりに関わることは、大変有意義と思います。
・(1):大人になったとき、子ども達が理想とした「まち」に一歩でも前進していたら良い。そしてこの「まち」をもっと良くしようと思う気持ちを持ち続けてほしいです。
・(1):復興のまちづくりの参加とありますが、具体的な事が分からないのですが、孫は母親と妹を亡くしているので心配です。
・(1):子ども達の笑顔が大人を元気にしてくれるから。
・(1):子供の目線で見える物がたくさんあると思う。大人とは又違った事。
・(1):子供が住みたい町にしてもらいたい。
・(1):被災の少なかった地域の子供にも震災や復興について、しっかり考えてほしいから。・今後 10 年 20 年とかかる復興の中心にいるのは、今の子ども達だから。
・(2):周りの人間との考えや行動の違いを感じ、色々な発想を展開する力が身につくと思う。また、子供の頃から地域貢献のあり方を教えられる。
・(1):大変な時は助け合う「お互いさま」の気持ちをもって欲しいから。
・(1):子供の頃から地域に関わっていないと大人になっても地域について考えることが出来ないから。
・(1):今後の石巻の未来を担う子ども達なので。
・(2):子供が復興に向けたまちづくりに参加することで、将来、自分が大人になった時に役に立つから。

・(2):子供の意見も聞ける。
・(1):色々な経験をして欲しい。
・(2):これからのまちづくりは子ども達がつくると思う。子どものうちに地域のことを考え、行動する事は将来大人になった時に積極的に行動する力になると思うから。
・(1):将来を担う子ども達が地元の復興に向けた取り組みに参加することは、とても有意義であるから。
・(2):地元に残るかどうかは地元が活気づかないといけないから、将来の地域づくりに関わる方が良いのかな？
・(1):地域の復興や発展には、将来を担う若い人達の力が不可欠だと思うから。
・(2):参加する子供が多いほど良い。子ども達が将来の石巻市を作っていくことになるのだから。
・(1):子供と言えども大人と同様に、いやそれ以上に将来について主体的に自分自身、あるいは周りの人々の為により良い状況や環境について考え、試行錯誤することは当然であり、とても大切なことだと思う。
・(1):経験しなければ本当の所は分からないと思うので。
・(2):自分達の未来は自分達で決めるため。
・(2):地域復興は大人も子供も取り組むべき内容と思うから。
・(1):子供の新鮮な目線で、意見は重視すべし。
・(2):将来の為。
・(3):子供が復興とまちづくりを同時に考えるのは難しい。
・(2):将来の勉強にはなると思うが無理のない様に。
・(2):大人では分からない素晴らしい考えが見つかるかも。
・(1):町内の人達の温かい目が感じられる様な子供時代を過ごして欲しいから。
・(2):自分達が地域のことを考えることで、町に愛着が出てくるのではないかと思うし、実現してみたいという夢や希望も持てるのではないかと思う。
・(1):人の気持ちが分かる。色々な面で成長すると思う。
・(2):今しか出来ない事をすることは良いことだと思うから。
・(2):これからの石巻市を作っていくのは子ども達だと思うから。
・(1):これからの新しい石巻を担っていくのは子ども達です。自分達が復興に関わることで、この石巻を愛し町の未来と自分の未来を真剣に考える大人へと成長してくれるのではないかと期待しています。
・(2):まちづくりに参加する事で復興をより意識する様になると思うし、早く町のみんなが安心して暮らせたらいいと思う。
・(1):現在の現状を把握してもらい、さらに子供の目線から将来のまちづくりを考えてもらい、さらに夢を広げて欲しいです。
・(1):子供がこれからは主体となって行くから。
・(1):子供が大人になっても石巻で暮らしてほしいから。
・(1):１人でも多くの人々が参加することにより復興がより早く進み、明日への石巻の礎になります。
・(2):石巻市に愛着が湧く。自身がどうしていきたいか考えるきっかけにもなる。
・(2):子ども達がどんな町にしたいかが分かるし、子ども達が地元にとどまっていてほしいから。
・(1):地域世帯が減少する中で5年後 10 年後に地元で仕事に従事していくためにも、これからのまちづくりにどんどん参加してもらいたいと思います。
・(1):大人には気付かない、子供の視点で見ることも大切かと思います。
・(1):これからの地域に貢献して頂くためにも大賛成（歓迎）です。
・(2):子供の想像力や考えを聞くことで、凝り固まった固定観念に捕らわれることを防げるのではないかと思います。
・(2):自分達がこれから生活していく上でのまちづくりに参加するということは、現状を見ている環境と未来はこんなまちにしたいという希望ができ、子ども達にとっては勉強になると思う。
・(1):防災教育といっても時間もかかるし効果も疑問、小さいうちから地域で育成できれば理想的。将来の防災を担うのは今の子ども達。
・(1):今後は地域の子供が社会を支えていく必要がある。
・(2):これから先、地域の中心となっていく人材の育成になるとおもうので。
・(1):みんなで参加することで、輪ができていいと思うからです。いろいろな人とコミュニケーションがとれると思うから。
・(1):自主性が育ち、自力で生きていくという意識を持てるのではないかと思うから。

・(1):時々高校生の発案したレシピによる菓子と弁当を買います。地域に目を向けるようにしています。食材や手作りの財布、缶詰、わかめ、昆布などが美味しい。何年後かには、たくましくなっているはずだから。
・(1):これからの時代の子どもなので。
・(2):子供たちの発想は夢があり、素直な考え方を抱くから。
・復興の方向性に疑問を覚える。
・(1):現在の子供たちが復興後の石巻で活動する事になるし、子供達の自由な発想の中には素晴らしい案があると思うから。
・(1):今のやり方ではいつになったら元の石巻のようになるのか分からない。子ども達の事を考えた計画が今の市のスタッフや市長の動きから感じ取れない。子ども達の意見も参考にしてもらいたい。
・(3):大人が仕向けているだけで、子ども本人の意志ではないから。
・(1):参加することにより、子ども自身が成長していくと思います。また、笑顔になり素敵な大人になっていくと思います。
・(2):子ども達が大人になって、地元に根ざして生きていくためには、とても良いと思う。
・(2):自分達が参加して学んだ事や、役に立てた事を大人になってから生かせると思うからです。また、自分の子どもにも教える事になるはずですから。
・(1):どの街であれ、いつかは子ども達が担うものであるから、子どもが主人公になれない街に未来はない。
・(4):復興は特別なものではなく、ちょっと風邪をひいちゃったくらいに考え、たいしたことない！と言わないと〇〇できないのは仕方ない。あんな震災にあったんだから！と自分に甘くなるから、あまり復興などと大げさに言ってはいけない。
・(1):子ども達で何かを(花を植える)成し遂げる事は、思い出になると思う。
・(1):子ども達こそが未来を担う人だから。
・(1):震災に負けず、地域を大切に思いやる気持ちを育てて欲しい。この出来事をしっかり心に留めて欲しいと思います。
・(2):長いスパンでまちづくりに参加できると思うし、子どもの柔軟な発想が良いアイデアを生むから。
・(1):将来この地域に留まって頂くためにも、小さい頃からまちづくりに関わった方がよいと思います。
・(1):石巻の事を考えてくれていると思う。
・(1):前向きに行動することは、自分のためでもあり、地域の人達のためにもプラスになると思います。
・(3):どちらかというと選択肢(3)、子ども自身(子ども達それぞれ)が被災で受けた傷から完全に癒されているかが大切にされなければならないと思うから、大人が無理に復興に関わらせるようではいけない。年齢に応じて子ども達が未来に向けて明るく話し合えることから始めていけば良いと思う。
・(1):将来を担っていく子供達が参加する事により、よりこの地域への愛着が湧くので出ていく人も少なくなり、より大事に地域を育てていってくれると思う。
・(1):いずれ住む町に対して関心を持ち、大人になったとき自分達が子どもの頃考えた事が現実となっていれば、ますます郷土を愛するようになる。
・(1):子ども達が育つ地域の事をよく理解する事にもなると思うので、良いと思います。
・(1):いずれ子世代が中心となるのだから、自分達のこととして考えること、実行することが愛着を育てると思うから。
・(2):大きな災害を体験した子ども達に、社会的にも個人的にも強く成長していって欲しいと思うから。
・(1):新たな石巻を作りあげて欲しいので、地域の子ども達に“石巻”に関心を持って欲しい。
・(1):復興に 20 年以上かかりそうな状況なので、将来的な目線で考えるべき。
・(1):今の時代、繋がりが希薄になっている。「力」を合わせて何かを成し遂げる！今後の人生の力となると思います。
・(1):今後、経験が色々なことに役に立つと思うから。
・(1):子どもさん達の柔らかい頭で、大人には思いつかないアイデアが期待できる。
・(3):大人が考え行動するべき事を、子どもに頼っている気がするから。
・(1):これから大人になる未来の子ども達が、自分達もまちづくりに参加して、良い町になるように意識してもらうためにも良い事だと思います。

・(1):未来の石巻を担うべき人的資源である。現在子どもである皆さんにまちづくりへの参加意識を醸成することに期待。
・(2):子ども達がいろいろな人と触れ合う事が良いと思います。
・(2):市民全員で協力！！
・(2):これからの未来を担う子供がまちづくりに参加するべきだ。
・(1):子どもの活力がでて、元気になる。
・(2):地域の一員だから。
・(1):石巻の将来が元気になると思うから。
・(3):大人が復興に向けて苦労したり努力したりする真の姿を見て、子供は何かを感じ、学んで欲しい。簡単に考えて、イベント的な事や一時的な事に参加してまちづくりをしているような錯覚をおこさないで欲しい。
・(1):大人には思いつかない自由なひらめきや遊び心、また自分の街に愛着や興味を持てるようになると思う。但し、大人が子供に振り回されないように適度な抑えも必要と思う。
・(2):これからの石巻市が希望のある街になっていくように。
・(1):これからの石巻は子供達が作っていくから。
・(2):教育に良い行いだと。
・(1):皆が参加することは良いことだと思うから。
・(1):将来を担う子供達が意見を述べ、話し合い、明日へ向けてまちづくりに携わるのは大変良い事だと思います。それにより学び、考え、自分達の故郷を再生していくという事、そして色々な人達との係わり、個々の意見を尊重し合い前向きに生きていくという事は、子供達にとって貴重な経験かと思います。
・(1):石巻の将来を担う子どもの意見も聞くべき。
・(1):後々必ず自分の財産になると思うから。
・(1):次世代を担う子供達に地域の復興に参加して、自覚を持てる大人に成長してもらいたいと思います。
・(2):震災後、なかなか進まない復興の状況で子供達も成長していくわけですから、いろいろな事に参加してほしいと思います。
・(1):自分のふるさとになる所に関わりを持つのは良いと思います。
・(1):自分の住む地域について考えるのは、大事なことだから。
・(1):大人の思い込みではなく、子供の視点で見た事、考える事を重視するべき。
・(2):震災後、中高年者は気力がかけてしまったと言う人が多く、私もその一人である為、将来を子供達に託したいと思うから。
・(1):震災の事を忘れないと思う。
・(2):自分が住む町の未来を自分が考えて作っていく事は、当然で良いと思う。
・(1):次世代の子供たちに高い意識を持ってもらうことは良いことだ。
・(1):将来、地域を支えてくれる子どもたちなので。
・(2):地域の子供達が石巻市のこれからの復興を担うと思うので、彼らの意見は必要不可欠だと思います。
・(1):子供達が復興を自分の目で確認して成長していける事は、大変良い事だと思います。
・(1):先の事を考えた場合、今の子供達が住みやすい、また県外に進学等で出た場合でも戻ってきたい場所として発展させるには、今から参加させるのが良いと思う。
・(2):石巻を担うのはこれからの子供達だから、子供のうちから石巻に関われることは良い事だと思う。ただし、どこまでの範囲での子供なのかよくわからない？！
・(1):子どもの考えはいいアイデアであることが多い。
・(1):新しい石巻を作るため、夢のある若いアイデアを活かす事は良いと思いますし、子供達にふる里を思う心が芽生えると思います。
・(2):将来を考えることは良いと思う。
・(1):自分達の住む“まち”がより良い形での前進することに参加することは、大人になった時の子供達にとって、とても大きな財産になると思うからです。
・(1):いつまでも忘れてはいけないと思うから。
・(1):後には子供達が住む地域になるから。自分達が住み良い町にすればずっとそこに住みたいと思うはずであるから。
・(1):地域愛が芽生えると思うし、子供が積極的に動くことで大人も力をもらうと思う。
・(2):大人だけでなく子供達の意見も必要だと感じるから。
・(1):これからの石巻市を担っていく子供達がその意識を持って参加してくれたら力強いと思うから。

・(1):今後まちづくりに関心を持って積極的に参加して欲しい。・子供達の視点に立った諸意見が出されるから。
・(2):子供にも意見が色々あるかと思います。
・(2):今しかできない経験なので、少しでも良いから何か人のためになるようなことをして欲しいと思います。
・(2):何事も参加すると自分の身になる。
・(2):今から復興に向けたことに参加していると大人になってもそのような仕事に就いたり、これからのことに頑張ってくれると思うので…。
・(2):毎日の生活が大切なことを子供達にも少しでも分かってもらいたいため。助け合うことの大切さも同じです。
・(2):やはり地域の担い手として子供の頃から復興に向けて様々なことに携わっていくことで、子供の将来性や自尊心が芽生え、人の役に立つことの重要性なども肌で感じることができる貴重な経験だと思います。
・(1):復興どころか復旧すらできていない石巻がどのように変わっていけるか身近に感じて欲しいから。
・(2):我々世代は子供達の笑顔が一番の活力になると思うから、一緒に活動できるように協力していきたいと思います！
・(1):大人になった際に自分達が子孫達に何を残すべきか、参加することで早くから把握できる。自分達も参加することで地域の一員という自覚につながる。
・(1):自分たちの住む場所に自分たちが関わって作っていくことは大変意義がある。
・(1):将来の担い手である子供達がどんな町にすれば住み良いと考えるのか、それに近づけるためには主体となる子供達の思いや考えを尊重していくことが大切。ますます人口が減り、働き手がいなくなり、日本はどうなるのでしょう？
・(1):娘が大学でそのようなボランティアに参加している。
・(1):子供会で廃品回収等を行っていることが、仮設住民のコミュニケーションにつながっています。
・(2):地域の現状を知ることは良いと思う。
・(2):これから先、復興は1～2年単位のスピードではなく、10 年～20 年のスピードで進んでいくと思えるので、現在 10 代の子供でも 20 代～30 代の地域の大人になった時、まちづくりの主役となり得るので良いと思う。
・(1):これから住んで地域のために働けるのは、年寄りではなく子供達であるから。
・(1):これから先は子供達のための町を作ること。
・(1):未来は子供達が作るから
・(1):私達の地区では子供の人数が減少するばかり。少しでも地区に関心を持って欲しいから。
・(1):10 年後、20 年後、石巻を担っていくのは彼ら、彼女らだから。社会(地域)に関心(問題意識)を持って欲しいから。
・(2):老人(65 歳以上)の割合が多くなるにつれ子供達の存在が各地区において貴重な立場になると思うので、参加していたほうが良いと思う。
・(2):子供目線での復興に向けたまちづくりの参加が良いと思うから。ただ大人の助言(現実的なこと等)は必須。
・(2):復興していく石巻で生活しているのだから、参加することは将来この体験が人生の中で必ず生かされると思うので。
・(1):これからの石巻を担っていく子供達が参加し、自分達も参加して創ったまちだと認識してくれることは、将来に向けて大変良いことだと思う。
・(1):地元の暮らしが良くなるように、今の子供達がより積極的に石巻に関わっていけたらと思います。
・(1):子供達が率先して行動すれば、町が盛り上がると思う。
・(1):これからの石巻が前進するために。
・(1):故郷を思う気持ちが育ち、定住につながると思うから。
・(3):参加の方法が分からない。
・(1):地域を担う子供達の意見を尊重してまちづくりなどを進めていって欲しい。
・(2):将来大人になった時、自分たちがまちづくりに参加する方が良いと思う。
・(2):ボランティアに対する考えが育成されると思います。
・(2):将来の子供達のためになるから。
・(1):子どもが未来の日本を支えていくのだから、未来に向けての復興に子ども達の参加は大変良いことだと思います。
・(1):これからの未来を担う子供達の考えが反映されるものがあっても良いと思う。
・(2):未来の石巻の為に、子供達が地域とのかかわりの大切さを学べるから！

・(2):自由な発想が大人のヒントになるかもしれないから。
・(1):今まで以上に、夢のあるにぎやかな町に再生できればと思います。
・(1):子どもであっても復興に対する意識を高く持つ事は、いい事と思う。
・(2):良いと思うが、所詮子供の考える事は甘い。
・(3):期待がもてないから。
・(2):未来があるから。
・(1):将来の石巻の発展にむけて大切な事だと思うから。
・(2):将来自分が住むまちづくりに参加することは、そのまちに愛着を持ち住み続けることが出来るのではと思える。
・(2):子どもたちが地域に関心をもつことは良いことだと思うから。
・(2):地元にこれからも住み、復興の中心となるから。
・(1):石巻市全体という考えでなく、地域単位で参加することを望みます。
・(1):将来があるから。
・(2):これからの地域を担うのは地域に住んでいる子ども達であるので、まちづくりに参加するのは未来の石巻にとって大切なことと考えます。
・(1):参加する事で、・コミュニケーション力が養われる。・故郷への愛着が増す。・家族の会話の増加。…その他多々効果が期待できると思うから。
・(2):自分達の住む町、将来暮らす町のことを色々考えるのは良い事だと思います。
・(1):これからの石巻をつくっていく貴重な人達だから。
・(1):被災地で育つ子ども達は、復興の担い手であり、まさに輝く未来の鍵を握るキーマンであると思うからです。
・(2):地域と子ども達で、復興支援する活動をこれからもがんばって欲しい。
・(2):子どもがいろんな所で復興に関心を持って、これからの人生でいろんな事を学んでいくのはとても良いと思う。
・(1):未来の石巻を担う子供達が、まちづくりに参加する事によって一層石巻に愛着を持つことに繋がるから。
・(1):今暮らしている町を見ていて欲しい。復興に向けて地域、人々、暮らしを、まちづくりに参加することで将来の担い手として育ってもらうため。
・(1):大人になってからの意識が変わってくると思う。
・(1):子ども自身がどのような街で暮らしていきたいのか、希望を聞いてみるべきだと思います。
・(2):強制的、またはそのような雰囲気を持って子どもに参加させるような事はダメで、子どもが自由に望むなら良いと思うし、石巻のためにもなる。
・(1):機会があれば、参加させて頂きたい、自分の為にも…。
・(2):これからは子ども達が将来の石巻を作っていってほしい。
・(1):子どもの目線も大事だと思うから。
・(2):次世代に引き継ぐように。
・(2):石巻、地元を考えるきっかけ作りになる。自分達が考えたことが生かされてまちづくりができていったらすごい。
・(1):大変な経験をした子供達ですが、これから先、生きていく上で忘れず、大変な状況になった時に自分で考えられる子供になって欲しい。参加させて忘れないように～！
・(1):これからの子供達が自分の住んでいる所で働き、定住していってもらいたいから。
・(2):長期的な視野で考えられる。
・(1):子供達の目標もできると思うから。
・(1):子供の発想で新しいまちづくりができるから。
・(2):市への愛着が芽生えるのではと思うので。
・(1):自分達が住む街に関心を持つことができると思う。と同時に自分の将来の生活、社会にも関心が持てるようになると思う。
・(2):未来の石巻を背負う人たちなので。
・(2):石巻の未来は子供達のためにあるべきと考えるから。
・(2):今回の体験を自らの意志で乗りこえて、モデルビジョンを作り上げて欲しい。
・(1):子供自身の成長のため、それを見守る親も関わって復興や成長に広がりができると思う。
・(1):将来地域を支えていくのは子供達だから。
・(1):将来の石巻の発展を担う。
・(1):一生のうちに二度とない経験だと思うから。
・(2):自分たちの街の復興は、自分達で作り上げて欲しい。
・(1):子供が自分の将来を考えて学習や行動することは、とても意義があり、生きる力を伸ばすと思う。社会人としての基礎が培われる。周囲の大人も感化される。

・(1):未来に生きるのは今の子供達だから。まちづくりに参加することで主体者意識が育つから。
・(1):子供の生き方(考え方)に大きな影響を与える。
・(3):子供は子供なりにやるべき事があって忙しいから。
・(3):活動自体の知識がないこともありますが、子供が参加すること＝親の負担にはならないのでしょうか。忙しくてギリギリの状態で働いていると、余裕がありません。
・(2):地域で育っているから。
・(2):子どもの自由な未来
・(1):ひとつでも参加することによって、心が大人になり必ず進ことができると思うからです。
・(1):地域の未来は、子ども達が背負っていくことになるから。
・(1):河北地区の大川小学校は震災で被害が大きかったので、子ども達の参加は町を明るくするニュースだと思う。
・(1):自分の生まれ育った地域を大切にして欲しいという思いと、参加することでたくさんの人達と出会い話すことで、子どもが成長する過程でプラスになると思うからです。
・(1):地域を知るよい機会になること。・自分が地域に貢献できるという意識を持てること。
・(1):これからの時代に生きていくために、色々な経験をして頂きたい。
・(2):自分達で新しい石巻をつくっていく！という意識を持って、未来づくりをしてもらいたいです。
・(2):将来を担う人達が計画に参加できるできるのは良いと思う。
・(1):未来で活躍するのは子ども達であり、石巻市のまちづくりに参加することで積極的な人格形成の一助となり、“ふるさと”を愛する心が育まれることを期待しているため。
・(1):自分は仕事で復興に関わっているが、あまり子どもの姿がみられない。
・(1):将来のある子ども達が自分達が生まれ育った石巻のこれから…を考え、子どもの視点で見て考えた復興への思いをまちづくりに発進させる事はとても必要と考えているので。
・(2):子ども目線のユニークな発想も必要だから。
・(1):将来自分が住む街をどのようにするかを考える事が、地元に定着する事になるし、どのようにすれば住み良くなるのかを考えなければ地元愛にもつながると思う。
・(1):自分が暮らしていく町の将来を考えるとき、自らの将来も考えることになるから。
・(1):子ども達の輪を広げられると思います。
・(2):何ら事も参加して、経験してみる事は良いことだと思う。
・(1):将来を担っていくことになる世代なので、ぜひ今から参加するのがいいと思う。
・(1):未来へ向かって希望を託したいから。
・(2):貴重な(よい)体験になるかと思う。
・(1):自分が生まれ育つ町について理解を深め、愛着を持つことができるのではないかと思う。
・(3):まだ気持ちが不安定な子供もいると思う。
・(1):子供達が自分の育った町を好きになって欲しい。大人になった時、ふるさとを想う人になって欲しい。

60～69 歳

・(1):このような団体があることすら知りませんでした。将来に向けては私たち大人よりも、むしろ子ども達が今のうちから積極的に参加してほしいと思います。
・(1):身近に石巻の現状を知ることは未来の石巻に希望をもたらします。
・(3):現在、みんな同じ気持ちだったら良いのですが、自分の子供でもいじめたり殺したりする世の中です。何とも言えないのです。
・(1):自分の暮らす市の事について考え行動をするきっかけになると思う。
・(1):自分の地域の様々な行事や問題に主体的に関わる事で、個人の問題から周りの人、そして地域の問題と視点が変わり、広い目線で地域を見つめる事になるのでは。
・(2):お互いに顔を知っていると何かあった時に役に立つ。
・(1):子ども達は利益を考えない無限の発想力を持っています。是非、将来の日本の為に続けて頂きたいものです。
・(2):復興に参加することによって大人になり経験になると思います。
・(1):子供の意見は大切。特に私達のような大人は考えが固定しているので、やわらかい発想がなかなか出来ないので。

・(1):子供や孫達を含め、今後石巻のまちづくり、住みよい石巻を皆で努力して、明るい未来に向けて進んでほしい。
・(1):これからの世代の子供達が、しっかり自分達の力で復興できたという自信をつけてほしい。
・(1):これからの石巻を背負う子ども達がどんどん参加して担って欲しいです。
・(1):参加することによって子供ひとりひとりの協調性も生まれ、未来に夢を持つ事につながるのではないでしょうか。
・(1):これからの子ども達で石巻のまちづくりに参加してもらいたいです。
・(1):震災を忘れてほしくない。子ども達は色々勉強してほしいです。
・(1):子供の頃の記憶は意外と覚えているものです。大人になった時にたくさんの人に言い伝えてほしい。
・(2):これからは若人達の時代になるので自分達の身体で感じ取り、一つの意見として聞き入れ活用して欲しい。
・(2):子供は国の宝だから。
・(1):核家族や少子化により綿でくるまれたように大事に育てられすぎ、人の痛みや人との関わりを知らない子ども達が多すぎる傾向にある現代にあって、多くの人々と何かに取り組むというのは、精神上とても勉強になると思います。机の上だけの勉強じゃない。得ることはとても大切な宝となるはずです。
・(1):子供が入ると住民の人達がなごむ。
・(2):参加することで問題を共有し、考える力が生まれる。そこから自分達の未来が可能性が具体化していく。
・(2):被災した子どもだからこそ思うことがあり、未来に希望を持って成長していって欲しいから。
・(1):これから自分が住む街だから当然だと思う。
・(1):復興は未来ある子ども達に参加してもらうことに意義があると思います。
・(2):あまりにも漠然としたアンケートには驚きます。そんな取り組みがどんな形で(例えば、学校や地域に周知されているのか)生かされようとしているのか見えていません。復興に向ける？他の学校の校庭にプレハブ校舎を建て通学(バス)する子ども達にそんな余裕がありますか？
・(1):「自分の街」という意識が高まるし、年を経てからの良い思い出になると思う。「身体を動かさなければ物事が進まないんだ」という経験が大切。
・(1):自分達の街を身近に感じられるから。
・(1):子供が将来のまちづくりに携わることにより、石巻に定着するきっかけになるので。
・(1):色々な所に参加することで自分達で考える事ができると思います。
・(1):まちづくりに住んでいる人も参加できるよう、お願い申し上げます。
・(1):復興までの道のり。まだまだ何十年かかると思います。私も 70 歳近くになり肌に感じる事はとても難しく、若い子ども達に託すことだと思います。
・(2):これからこの地域を担う子ども達に是非参加して、彼らの意見などを発表していってもらいたいから。
・(2):大人とは違う子どもならではの考え方など参考になるかもしれない。
・(1):将来を担う子どもの考え方、生き方が重要だから。
・(1):被災地の未来を担うのは子ども達であるので、将来彼らが住みやすい地域を今からつくり上げてほしいので。
・(1):子供の知識や視野を広げ、将来の様々な困難に立ち向かう力を身につける事ができると思うし、自分に自信をつけ協調性も養えると思う。
・(1):将来自分たちの住む所、感心を持つことは大事であります。
・(2):将来地域に住んで欲しいから。
・(1):色々な経験、体験、思い出作りになると思います。
・(1):その子その子の持っている性格があると思う。人を思う心が大切だと思います。
・(1):将来を担う子ども達が社会に関心を持つことは大切なことだと思う。
・(2):良いアイデアが出るかもしれない。
・(2):地域の子ども達と一緒に復興に向けて話し合い、石巻をよりよくして行きたい。子ども達に幸せになってほしい。
・(1):震災を体験し苦しみや大変さを忘れず、これからの人生に立ち向かっていけるようになると考える為。
・(2):私が住んでいる所は山の手ですが、子ども達の人数も少なく、近所には特に震災の被害もなかったのですが…。今の子ども達は遊び場がないため、家や友達の家でゲームをするだけが遊び方だと思っているので、やはりこれからの石巻のまちづくりに興味を持ってもらって、大勢の子ども達が参加してほしいと思います。

・(1):復興には長い年月がかかります。10 年後 20 年後の未来を担う子供のアイデアや考えが重要になると思います。
・(2):震災を体験した子ども達がまちづくりに参加することは、後々まで伝えていく事が大事だと思う。
・(1):子供の考え方は自由で創造性が豊なので。
・(2):将来的に考えると…。
・(2):新聞などの情報で子ども達の活動、色々な考え、前向きさに明るい気持ちになります。これからの石巻の発展や復興にどんどん取り入れて欲しい。
・(1):将来地元に愛着が持てると思うので。
・(1):石巻の未来を担う子ども達へ、現在石巻の復興に携わっている我々大人が長い年月に渡って復興に努力している姿を見せて、伝えていく事に大切な意味がある。それに復興事業に携わってきた大人が自分達の姿は後に復興を成しえたとき、子ども達が我々大人達に対して頂く感情も大切にすべきことだと思う。
・(2):時代に合った人材を育てる。
・(1):大人になってから役に立つ。
・(2):災害になった時に子供の時から災害復興に参加するという意識を育てる事は良いことだと思う。
・(2):未来の希望
・(2):まちづくりに参加することで色々考えることで将来ためになる。
・(1):子ども達が自分の住んでいる地域をより知るのに役立つかもしれない為。
・(1):子ども達が大人になったときに必ず役立つことがあると思います。
・(1):意識の中に生まれた所をインプットすることは、大人になってからの原体験を思い出すのにとても良いと思う。
・(1):これから先のことを考えて参加した方がいいと思います。大人ではわからない事もあると思うので、いいと思います。
・(2):大人ではできない発想などを検討できると思う。自主的活動が身についていく。
・(2):子供の話を聞いてみることは良いと思う。
・(1):参加することで将来自分達がするべき色々な事に関わりやすくなると思います。
・(1):やはり今からは若い人達が進んで積極的に復興に立ち向かうという姿勢を行動に示してほしい。
・(2):地域で暮らしていく中で、現実に人々と何らかの形で参加できれば、何か一つでも考え身に付けば良いと思う。
・(1):これからの未来につながるので大変良いと思う。
・(4):子供の意見を尊重するのか疑問だ。専門的な知識もなく独創的な考えはあっても知識に基づかないから実現が困難だろうし、形になるとは思えない。専門家が豊富な知識や技能で考えたらいいじゃないか。子供を持ち出すのは偽善とさえ思う。大人が責任を持ってやればいいじゃないか。それにしても復興は進んでいないし、少しも前よりも良くもなっていない。子供は子供がやるべきことやりたいことがあると思う。そのことに協力すればいいんじゃないか。
・(1):視点の違い大人には見えない常識にとらわれない子供らしい発想を見てみたいです。
・(1):年寄りの身の安全。一番最初に助け合い。
・(2):意識向上につながるのと、みんなで力を合わせて成し遂げた時の気持ちなどを味わえる事が大人に向けて生きる「肥やし」になりそうです。
・(1):大人になった時、かつて自身が考え参加したであろうまちづくりの成果が実感として受けとめられれば、自ずと大切に生きると思うから。
・(1):これからの将来を背負うのは子どもだから。
・(1):被災した人もそうでない人も、地域の事を考えるのは当然の事だと思うが、その当然の事を出来ない大人もたくさんいる。小さい時から「地域」を意識して生きる事は大切だと思う。
・(1):市民の多様な考え、意見が地域づくりに反映されるから。
・(1):これからのまちづくりは、これから成長する子どもがまちづくりを考えることは必要であり、参加する事が意識向上になると思います。
・(2):一概には言えないが、子ども達それぞれに環境が異なり、震災後の心の傷が癒えているかどうか。参加するしないの前に意識調査も必要では。
・(2):子ども達に決定権はないようにして、アドバイスしてもらうだけ。一緒にまちづくりを進めてもらうと将来育つ人材になる。
・(1):次世代を担う子ども達が参加することは大変良いことと思う。

・(3):親たちは自信と誇りを持って復興の道標になって活動すべき。子ども達に参加させることは責任逃れの感もする。
・(2):未来を考え行動する事は、将来子供の為になると思う。
・(1):ふる里を大切にする人間に成長するから。
・(2):助け合って何かをすることが欠けていると思うので。
・(1):石巻復興には数十年かかることから、子ども達が参加することに意義がある。
・(2):子ども達にとって勉強になり、未来に向けてどのような「まち」になっていけば良いのか等、色々考えるチャンスになると思う。
・(1):子供の時に体験した事は大人になった時に役立つと思うから。三つ子の魂百まで。
・(2):復興には何十年とかかるので、今の中高生に頑張ってもらいたいので。
・(2):一日も早い復興を願っています。子供達のために！
・(1):ふるさとを考える機会として良いことです。
・(1):前向きに進む事は大変良いと思う。
・(2):発想力があるので、まちづくりに役立つのでとても良いと思います。
・(1):災害を知ること、やるべき事を子供の頃から知ることは大切な事で、地域を愛する心が育つと思うからです。
・(1):これからの石巻について思いがこめられ、自分達がこれからずっと住みたくなるようなまちづくりをしようと、想いがつながると思う。
・(1):これからの石巻に子供の力は欠かせない。若い世代中心に伸びて欲しいです。
・(1):子供は未来の主権者です。子供の権利条約を批准した日本でも、当然子供の意見表明権は保障されなければなりません。子供の発想から大人がヒントを得ることも多いですし、何よりも子供の発想を尊重する必要があります。
・(1):大人目線からだけの復興まちづくりではなく、子供自身が暮らしやすい利用しやすいと思うような居住環境が整備されると思うから。
・(1):今の子供はゲームばかりしていて家の中に閉じこもりがちになっています。色々な面で大いに色んな行事や復興に参加した方が良いと思います。
・(1):子どもも地域の一員。
・(1):石巻市も震災後は人口が減っており、特に石巻、東松島市、女川町の若者の人達は生活のため転居し、残るは老人ばかりです。これからの時代は若者達です。地区の子ども達が転出や転校などがないように、色々な面をサポートする。また、まちづくりに参加する事、将来を背負う意見など参考にした方が良いと考えております。
・(2):自分達の地域や復興に関心を持ち、又育成にもつながると思う。
・(1):未来の宝
・(1):石巻を好きになり住みたいと思うようになる。
・(1):湊、渡波には子ども達が安心して遊べる所がない。
・(1):復興は大人だけの問題ではなく、自分達の問題でもある事を考えてほしいから。
・(2):勉強の方もしっかりしてほしいから。
・(1):復興に向けて子ども達も頑張っている気持ちを今後とも大事にしていきたいと考えています。
・(1):両親が健在で友達も多いほど、人生には良いことですが、いつどんな時でも1人で自立出来る心構えの勉強に少しでもなればと思います。
・(1):これからは子ども達が復興のまちづくりに関心を持ち、参加して頂ければと思います。
・(2):まちづくりには色々な方の発想力が大切だと思います。
・(2):将来子ども達の時代です。
・(2):ボランティアの方々や大人だけではなく、子ども自身がちょっとだけ参加するのは大事だと思うので。
・(2):これからの石巻を今より住みやすくしていく為には、若い世代の子ども達が関わっていくことが大事だと思うから。
・(1):共有することで子供であっても物事は良い方に進むように思うので。・子ども達が復興に参加することで、大人になってもその経験がいかされると思う。
・(1):色々な経験をすることは良いことだと思います。
・(1):町は子ども達の遊ぶ声があっての生活感です。子ども達を見ていると私達も楽しくなります。先日6日間夏休みのラジオ体操をしました。子ども達 40 人くらい、大人 20 人くらい、とても良い汗をかいてきました。
・(1):子供も社会の一員だと思います。子供の目線で物事を考えることが出来ます。

・(2):広い年代から意見を聞いた方が良い。
・(1):子供の気持ちも分かるからです。
・(2):柔軟性のある発想力がまちづくりに生かされると思う。
・(1):これからの世代により多くの考えを聞くことができるから。
・(1):これからの石巻を支えていく人達だから。
・(1):子供の目線で考えて親の考えを押しつけないで、子供自身が責任を持つことを教えていきたいです。
・(2):これからを担う子供達の思いも取り入れて責任ある大人になってもらいたい。
・(2):地域の将来と自分の将来の役に立つと思う。
・(2):色々な経験や体験をする事が大人になる過程で大切で、その体験からその人の形成につながる。
・(1):将来、自分達が住み続ける為にはどうすれば良いのか。自分の意見を出し合うのは良いと思う。
・(1):子ども達の住む環境があまりにもひどく、通学路に電気もなく、道路の整備もまだ整っていない。
・(2):震災後、友達がバラバラになり、家の中にいる子供が多い気がします。何かしら子ども達が喜ぶようなイベント付きで。
・(2):被災したことをいかして復興できたら良いと思うから。助け合いの精神でいけたらいい！
・(1):人との優しさ、人とのコミュニケーション、これから大人になっていく時、地域を大事にすると思います。
・(2):震災を経験して各々の立場も考えも変わったというより変わらされてしまった子ども達が少しでも前に出る機会を作れたら。そして石巻を変えていくのは子ども達だから、参加して新しい石巻を作って行ってほしいと願います。
・(1):将来の石巻を担っていく子ども達がまちづくりに関心を持つことはとても良いことだと思います。
・(1):将来大人になり、その地域で生活するから。
・(1):世代間の物の考え方や違い、発想などを知る機会としても良いと思います。
・(2):考え方、表現の仕方は年齢的なものはあると思いますが、状況に関して想いは大人と同等であると思います。
・(1):将来の地域を背負って立つ人達だから、若い発想をたくさん取り入れた斬新なアイデアを期待したいです。
・(1):社会に参画する意識を育むことができる。
・(1):未来を担う大切かつ重要な人格形成と個々の未来に向かって希望を持たせてあげることを！努力と忍耐、礼と節を大人、又は先輩、知識人は元より日頃の学校生活からだけではなく、地域とのコミュニケーションや子供会、習い事の様々な分野で、心と命の大切さを互いに助け合い分かち合う事の大事さを伝えて、世のため人のためになれるという基本的な事を子ども達に望みたいが、共に伝えていくのが復興になるのではと。あの震災以来、絆ということの中身もです。
・(1):将来の地域を担っていく世代だから。
・(2):将来のため経験を生かして欲しい。
・(2):心のケアを含めて将来の自分の行動や考え方、物づくりが役に立つものと思う。
・(1):１人でも多くの人との関わりで、ひとりひとりの心に少なくとも届く物や事を信じて、共に前向きに生きることにあると思うからです。
・(1):子ども達が実際に経験(東日本大震災)しているので、それを生かして今後の石巻の復興に役立ててもらいたい。
・震災を乗り越え少子化で兄弟姉妹のいない子ども達が、これからの石巻の為に皆で良いまちづくりをしてもらいたいですね。
・(1):被災した子ども達があの辛い記憶を抱きながら、前に進もうと復興の手伝いをすることは、その子ども達の将来の自信にもつながるものだと思う。
・(1):協力する気持ち、今から生きる、生きている自分が自然に行動が取れる子供は素晴らしいと思います。
・(1):これからの世代を担う人達がまちづくりを真剣に考える良い機会になると思う。
・(2):これからを担う子ども達に人生色々と経験し体験し成長をしていくと思いますが、たくさん知り考え実行していただきたい。
・(2):子供達がこれから住む石巻についてどのようにまちづくりをしたらよいか、子供達の発想は必要だと思う。
・(2):どんな小さなことでも子供の意見や希望が反映されれば、彼らがその地域や社会に興味を持ち続けられると思うから。
・(2):意識共用
・(1):子ども達の力は無限です。それぞれ感心を持って、まちづくりに参加する事は故郷を思うこと、それが未来につながることです。期待しています。

・(2):市民であることを子供の時から自覚する(して欲しい)。
・(2):子供達の考えはいろんなことを思うので面白い。
・(1):大人と子供が一体になって取り組むことが基本だと思うから。
・(2):自分達が住む町だから将来はこうなってほしいという意見はありだと思うので。
・(2):自分の住む町の良い所、悪い所などを考える良い機会になると思う。
・(1):自分たちの将来のためになる。
・(1):子供のうちから生きていくため地域や我が国のために何をしないかするべきか考えていく必要があり、地域の復興について参加することは、その基本になる事だと思う。
・(2):私の年齢になると活動行動は限られています。色んな知識は若いときに吸収し、生かしてほしいからです。
・(1):復興という言葉だけが分かるのではなく、身をもって復興とはどんな事かを行動し(アクション)、未来につなげるかを知るためにも参加するのは、特にこれからの未来を作る子ども達に必要だと思います。
・(1):小さいうちから自主的に関わることで学んでいってほしい。大人と早くから関わり、マナーや自覚等々、側面から家庭では得られない事を勉強が出来る。
・(2):子供は時には大人には考えられない発想をすることがあるので！
・(1):将来の町は子供が担うから。
・(2):子ども達の柔軟な発想をヒントにするのも良いと思う。・参加する事によって、まちやそこに住んでいる人達、物、生物などに対する見方が変化するのではないか。まちへの愛着、思いやり、自覚。
・(1):将来自分たちの街だから。子供の発想力は豊か。
・(1):これからの復興に向け地域の子ども達が率先してまちづくりに参加することが望ましいと思います。
・(2):これからの住みやすい石巻をつくっていくため。
・(2):将来地域を担うのは子供達であるから。つまり地域は子供のもの。
・(1):大人だけでなく子ども達の視点を取り入れた復興計画が大事。これからの自然変動環境の変化に適切に対応できる子ども達を育ててゆくために。
・(1):地域のこと、現状を知ることができる。
・(1):子供達のことを考えたまちづくりを、子供達の意見も参考にしては。
・(2):将来の生活において必ず役立つので。
・(2):素敵な見方ができる。
・(1):特に金銭の面ではしっかりとしているので、無駄な物には金をかけないと思うので！
・(1):思いますが、現実は実行されていない。
・(2):子供は地域の一員であり、将来において地域を支える人材である。
・(1):今は孫2人が震災で亡くなっていないけれど、子供がいれば自分達が住む地域なので…地域のために参加することは良いことだと思う。
・(1):共同の精神、養生になる。
・(1):多くの人達と協力する姿を見せる事はとても良いことだと思う。
・(1):地域の子ども達や市民は協力していますが、行政などの動きが遅いです。もう少しスピーディに仕事を進めてもらいたい。切にお願いしたい。
・(1):大人が思いつかない事でも子供が思いついたりする事がある。
・(1):将来大人になり、まちづくりに多いに力を発揮する人材を育てるためになると思うから。
・(1):石巻市の現況を直視した上で、ある程度は大人の説明が必要。将来の石巻を担う子ども達からの目線の将来像は長期的な指針になり参考になると思います。
・(1):あの恐ろしい震災を経験し表には出さないけれど気持ちを考えると協力したい。
・(1):自分の考えている石巻市のまちづくりに参加して意見を出し、よりよい石巻市になるよう願う。
・(1):参加することによって、社会人になった時、私達以上に地域のために働いてくれると思います。
・(2):参加することにより当事者意識を持ってもらい、広い意味で参加することや、復興に関わらず意識をもって社会生活をすることにつながれば良いと思います。積極的に参加することの大切さを学んでほしい。
・(1):これから石巻市のまちづくりは、今の子ども達が主体となって、将来の石巻市のまちづくりを担うから。
・(1):子供の想像は夢があって、発想が大人より優れていると思います。

・(1):これからのまちづくりにあたって、若い人々の意見を入れることがとても大切だと考えています。
・(2):自分達が住んでいる町をもっとよりよく住み、これからの貴方達がどうしたら生きがいのある楽しい地域にするのかをめざして協力する事は微笑ましいです。
・(3):復興やまちづくりは簡単なことではない。中途半端な事はしてもらいたくない。
・(1):お祭りで子ども達が子供神輿を担いで来たのを見て、昔の子ども達と変りのない様子でした。子ども達の声が聞こえる事はとてもよい。火災防止デーに子ども達が拍子木をたたいて、部落内を叫んで歩いていたのを見て感動しました。
・(2):子ども達の発想も取り入れるのも良い事じゃないか。
・(2):今後色々な面で勉強になります。
・(2):大人が気がつかない事があると思いますので。
・(2):将来的に自分の住む地域だし、自身の希望にも繋がるし後々へと後輩へ続くから。
・(1):これから大人へと成長していく子供にとっては、参画することは大変良い事です。
・(1):子供の頃からまちづくりを考える事は大人になっても継続して復興の力になると考えます。
・(1):復興に関わる事で物事も心も再生できるという大切な事を理解できるかも。
・(2):学習のひとつと捉えて学習の一環として取り組んでいくことは良いことだし、全員参加させてほしい。
・(1):自分達の郷土を大切に思う心情を育てるためにも必要。
・(1):子供といえども意志を持っているので、子供の意見を聞くことはとても大切な事だと思う。
・(1):子供の発想は、大人より型にこだわらないで発想ができるかもしれないのでは！
・(2):子ども達に夢を託したい。
・(2):今子供でも 10 年後 20 年後には石巻を背負うべき人々になると思うので、子供の意見は重要です。
・(1):次の社会を築くために必要だから。
・(1):未来を担うのは子ども達である！今大人は将来の希望を見いだせないでいる。
・(3):子供が子供らしくなく、大人に大事にされるのが当たり前で目の前の問題提起も含め、みんな用意された所に入って考えたり発言したりしている姿を見ると、その子らの将来が不安になる。
・(1):子供目線からの発想力は大人にない角度からの未来を見ることが出来ると思う。
・(2):参加することで石巻に住み続けようと思うかもしれないので。
・(1):自己の未来に役立つ。
・(1):大震災を経験した子ども達だからこそ、参加して石巻を大きくしてほしいです。
・(1):私達は笑顔とかエネルギーやパワーをもらう。子ども達は色んな話を聞いて、生きてきた年数、大きくなったら後で頭の片隅に覚えてくれるから。
・(1):生まれ育った土地を愛する心が生まれる。ゲームより楽しい事が発見できるのでは？復興が叶った時には、自信と誇りが持てるのでは？
・(1):地域を未来を担う子ども達が参加することに意義がある。
・(1):郷里を大切にする。
・(1):子供は地域の宝、元気に行動してほしい。
・(2):今の子ども達は人との関わり合いが少ないと思うから。
・(1):将来、私達が年老いた時、石巻に残って頑張って頂いて私達が世話になると思う。
・(1):次の世代を作るのは子ども達だから。
・(1):東日本大震災の風化防止と将来のまちづくりに反映されると思います。
・(2):子供の目線で地域のまちづくり。
・(1):今の状態は子ども達自身が身をもって体験したことなので、これからのまちづくりや生活の事など、いろんな場所に出て欲しい。
・(2):地域の実態を理解する事が出来るしコミュニケーションの良い所を知ることが出来るのでは？
・(1):郷土の再生に関わることで、郷土愛が育つと思うから。
・(2):これからの地域を背負っていく子ども達に、復興に向けたまちづくりに参加してもらった方が今後の為に良いと思う。
・(1):自分達が参加することによって、存在感と自分達の街の様子が見えてくると思う。

・(1):子供は年齢差がある子供同士で切磋琢磨して学ぶことが、心身の成長に第一に必要な事ではないかと思うから。勉強のみでなく。
・(1):今までは大人中心まちづくりだと思います。今後は子供から老人まで広くまちづくりに参画させて、意見を集約すべきと思う。
・(2):参加することにより色々な事を知ることができる。
・(1):子ども達にも大きくなってから他の人に支援出来る人になってもらいたい。
・(3):大人の考えがかしこいと思わない。それで子供に意見はいえないと考える。
・(1):これからの人材ですから、地元に関心を持つ事はいいと思います。
・(1):子供がまちづくりに参加する事で、地域に対する愛着が芽生える。
・(2):忘れたいと思う心と忘れたくないと思う心と精神が不安定に思っている子供が何人かいます。
・(2):私の孫二人は小三と小六年ですが、二人とも震災を経験しています。この震災だけはこれから先も絶対忘れないでほしいと思っています。
・(1):子どもにはすばらしい発想能力がある。
・(1):子どもの自主性を伸ばすため。・子ども自身の希望を叶える事ができる。
・(3):震災後の街で暮らす事の負担の他、まちづくりまで…という思いがある。大人の私でも心のどこかで、この地で暮らすだけでも気分が落ち込むことがある。
・(2):良い経験となる。
・(1):石巻の復興を早く実現したいと思います。
・(2):将来のまちづくりが子どもたちの世代になると思う。
・(2):昔は子どもの頃から家の手伝いを何でもする事が当たり前だったのに、今の子どもは家の手伝いをするのは特別な事のように思っている方が多くて、これを機会に色々と自然に対する事も学んだ方がよいと思います。
・(1):大人任せではなく、自分達の未来に関わることなので大事なことと思う。
・(1):人と人との結び合い。未来に光を。
・(2):子ども達も色々な事で勉強になっていいと思います。
・(2):子供は希望です。
・(1):子どもは希望です。
・(1):未来は子ども達のものだから。
・(2):郷土愛を育み、アイデンティティーの形成にも良い影響を与えると思います。
・(1):復興後石巻を背負って立つのは今の子ども達だから。
・(1):自分達の街は自分達の手で復興する事が一番。子ども達の柔らかい発想で素晴らしいまちづくりをして欲しい。
・(1):子どもの成長を安全に見守ること。
・(2):未来の自分の街を自分達の視点でとらえてまちづくりに参加して欲しいから。
・(1):自分の居住する町をよく考え、ひいては政治にも目を向ける事が出来るのでは。
・(1):子どもも当然地域の一員であり、これからの市政に一番影響を与えていく人達だから、子どもが生きる力を得るためにもなるべく多くの子どもに参加する機会を与えて欲しい。
・(2):あくまでも子どもの視点から見る…大人とは違う見方を参考にして取り入れる事は良い方向性であると思う。
・(1):石巻の未来のために良いと思う。
・(1):子どもたちの成長は早いので、成人してからも石巻市のまちづくりを継続できるよう、子どものうちから意識を持って欲しい。
・(2):自分達の生活していくまちづくりに子ども達なりの意見を取り入れ、住みやすい地域に出来ると思う。
・(1):常に生活する上での縦横の繋がりを目で確かめ、何らかの形で関わって行くことの必要性を高める。
・(1):少子高齢化がどんどん進む中、何十年先に復興ができるのか実感が全くない中、意識を持って子ども達に参加して欲しいと切に願っています。
・(1):子ども達が自分の住んでいる地区の復興を考えるよい機会になるし、参加する事で、お互いの意見を聞き、自分がめざす方向も知る事になると思います。
・(2):体験させる事は良いことですが、子ども自身がそれぞれに休日も塾などで忙しそうです。
・(2):これから社会を担っていくのは子供達だし、考えが無限だし、たくさんのアイデアを持っていると思います。
・(2):大人になってから、自分達が作りあげた事を誇りに。
・(1):自分が住んでいる街が、自分の意識の持ち方によって変わるという基本的考え方ができるようになる団体、集会に参加することによって！

・(1):これからの石巻を支える子ども達に「石巻の未来」を考えて欲しい！！
・(1):復興に携われば、石巻に愛着ができると思う。
・(1):将来の事なので、子どもと大人が一緒に話し合った方がいいし、子どものアイデアはすごいものがある。
・(1):地域の復興は大人だけではいけないと思う。次世代を担う子供達に新しい考えを出してもらう事は有意義だと思います。
・(2):地域の子どもは復興のためだけではなく、地域の大人と常に触れ合うべきなので。
・(3):子どもは勉学に勤しむことが先決。しかも現代の子どもは忙しいし、勉強する絶対時間も少ないせいか、世界レベルでも成績は悪い。復興に対する意見は大人が概ね考えられることと思う。
・(1):子どもの時から地域の活動に参加することは将来の活動に繋がる。
・分からない。具体的な形が見えていない。
・(2):早く以前の生活に戻る事ができるといいから。
・(2):子ども達が大きくなって、自分達の意見が取り入れられたら石巻に暮らすことの喜びを感じられるのではないでしょうか。
・(1):年配の方に聞くと「元のように皆さんと住みたい」…でもそれは不可能であると私は思う。若い人達は元の石巻よりこれからの石巻を作りあげたいと思う。私は年配だがそう思う。チームの中に若手をどんどん入れて、若者が今考えている事を取り入れた方が良いと思う。
・(1):自分達の未来は自分達が参加して作るべき。
・(1):若い人々が希望を持ち続けられる！
・(1):発想がしがらみにとらわれないから。
・(1):将来を担う子ども達なので。
・(1):あの当時もまずは子ども達が元気に遊ぶ声でした。10 年…20 年…先になり、やっと復興して大人に達するから。
・(1):大人が全てお膳立てするのではなく、子ども本人が考え行動する積極的な生き方が大切な事だと思う。大いに活動する事を支援していって欲しい。
・(2):私も家族が亡くなり月日が経つにつれ、ますます心が重くなっている毎日です。周りを見れば3年半前と同じ景色で何一つ進んでいない状況です。まずは地域に人が戻れる状況にする事。
・(1):子ども達の将来が見えるまちづくりがとても良い事だと思います。
・(2):子どもの目線で考える事も必要だと思います。まず大人では考えつかなかった事もあると思います。
・(1):真剣に考えることにより、故郷に留まってくれるかもしれない。
・(3):子どもが忙しい。スポーツ少年団に入っていたら、土日は練習や試合で活動に参加できないのではないでしょうか？子どもだけで参加は無理でしょうし、親も一緒となると難しいかな？
・(2):子ども達の時代になっていくのだから。
・(2):参加する事で視野が広がり、人間的に大いに成長すると思います。
・(1):私は公務員退職後、ボランティア活動から NPO 法人を設立し、障がい者のためにサポートする事業を営んでいるが、寛大な心でみんなの輪＝みんなの絆を大切にし、ボランティア精神を持って石巻市のまちづくりに貢献できる人材を育成できれば…と思っています。
・(2):石巻がどうあって欲しいか…これから育っていく子ども達の意見・考えを聞き進んでいくことは良いと思う。
・(1):思いやりの心が育つから。
・(1):子ども、若い人達が地域（石巻）を活性化させれば将来は明るくなる。
・(3):子どもは、今自分が何をすべきかをまずは知る必要があるような気がします。（知らせるまたは教える）
・(1):地域に愛着を持つようになると思う。
・(2):これからの世の中を良くするため、地域の子どもが復興に大いに参加して、石巻市のまちづくりをしていって欲しいと思います。
・(1):何かにつけて協力する事に気付くようになる。
・(2):復興とは何か、3年6ヶ月が経過し当地域はほとんど何も変わっていない。学校も改善されず、避難場所も要望しているのに市は作ろうとしない。そんな中で子ども達に何をやらせるのか、まずは行政の対応から復興しないとだめだ。
・(2):子どもが少ないので今後のためにも何かできる事に参加してもらい、地域のためになれば良いと思います。私達老人に手伝える事は協力したいです。
・(2):将来その子ども達がどのような町にしたいか、住み良い町にして欲しいから。

・(2):自分の生まれ育った町を愛する心、大切にする心を育む。
・(1):どのように街が復興していったか子供達が自身で見て、感じて将来につなげていってほしい。
・(1):子供達の元気な様子を見ると、こちらも元気をもらう。
・(2):成長して大人になって、石巻近辺で生きていく可能性があれば参加するのは当然！
・(2):市民(国民)全員で助け合うのが一番かと思う。国、県、政府も含めて。
・(1):被災地となり石巻を離れている方も多い。他との交流を深めることは見聞を広めることにつながると思う。
・(1):これから長くこの地に住み続けるので。
・(2):活動内容を子供達の考えを入れながらしてほしい。「子ども」は何歳～何歳位までか、質問がもう少し具体的な方が良い。
・(1):将来を担う子供達がまちづくりについて考える事は、必要欠くべからざる行為と考えられるからです。
・(2):地域の色々な行事に関心を持って、自分のためにまちづくりに参加してほしい。
・(2):未来に向けた子供達の目線で考える位置付けがあると思う。
・(1):子供達に大震災を忘れないでほしい。
・(1):石巻市の一員となる事が実感できると思うので。
・(1):子どもは1人の人格。
・(1):地域の活性化と新しいまちづくりへの意識の関心や向上につながると思う。
・(1):これからの石巻を背負っていく人達ですから。
・(1):近くに子供がいて元気に学校に行く姿を見ると、ホッとします。
・(2):中学生くらいになったら、自分達の置かれている状況など色々と考えられる様になると思うから。
・(1):まだまだ復興(復旧)はままならない現状で、これからの子供達の成長は現実に関わらざるを得ない事です。
・(2):将来、災害があった場合に今回の経験を生かす為にも、ぜひ進んで参加するべきだと思う。
・(2):子供達の発想は、時に大人が考えつかない様なものもあると思う。
・(1):地域全体で同じ方向を向いて復興に向けて行動することにより、次世代と共有しまちづくりに参画していただく。
・(2):経験するだけでもよいのでは。
・(1):石巻の発展のため。
・(3):子どもには何もできない。
・(1):子ども自身が夢を持ち、それに向かって行動を起こすことは、成長の上でも必ずプラスになると思う。又、大人とは違った視点から子ども達自身の良いアイデアも引き出せると思う。低年齢のうちから社会参加は喜ばしいことと思う。
・(1):将来自分達が住むまちづくりに参加することは、大変良い事と思います。
・(2):震災を風化させない一役を果たせると思う。まちづくりに参加することは石巻市に愛着を感じ、将来の定住につながる気がする。
・(2):子供達が先に立って復興に参加することに大人は見て見ぬふりはしないと思います。
・(1):自分で考え行動ができる人間になってもらいたいから。
・(2):子供の夢を大切にして欲しい。しかし現実の課題、状況等を子供に理解してもらうことも必要だと思います。
・(1):昔から子はかすがいと言いますが、町が幸福であれば地域から子供を外に出さない。地域の活性につながる。
・(2):自分達がこれからどのように生活するべきか？肌で直に感じつつ体力、心力、頭力をもち、自殺せず、一生のうちでやれる範囲を決め、枯れていく様子も見ながら強く生きる力を養って欲しいとやまないです。
・(3):まちづくりは大変でしょうが、あまり完全でも長年経ってからまた色々問題が出てくるのでは。また子供の意見を聞くのも良いがあまり大人と一緒にそういうことをするより、子供らしく自由にその年代を生き、成長していった方が子供らしくて良いと思う。
・(2):自分も震災の時みんなに助けて頂いたので。
・(1):将来地域を担っていく自分自身のためにも、どのような地域であって欲しいというビジョンを持っていることは良いと思う。
・(1):子供達が明るい希望を持って育っていくと思います。
・(1):かわいそうだとは思いますが、この大災害の経験を生かし、次世代の人たちのためにも子供達には頑張って頂きたいと思います。ありがとうございます。
・(1):地域住民で参加することで復興に向け良い方向に進むと思います。

・(3):自分のしていることを理解しているのか。
・(2):復興は関係ない。自分の住んでいるところに関心を持ち、将来どうすべきかを考えさせることは、今からますます大事になっていく。
・(1):市民にもっと広報し、もっと活動内容を広めて欲しい。
・(1):人間関係、上下関係、人との付き合い方など…。
・(2):今後の自分に大きな役割を持つと思う。
・(1):社会参加による公共心の育成が期待できる。
・(1):これからの時代を担う子供達の考えは非常に貴重だと思う。
・(2):皆で助け合う心
・(1):今回の体験で復興に協力できれば、将来のためにもなると思います。
・(1):これからの子供達が意見を出し合うべきだと思います。
・(2):色々勉強になると思います。
・(2):将来自分たちが住む街なので、快適なところでずっと住み続けることができれば人口も減少しなくなると思うので。
・(2):一人一人の協力で復興につながると思う。
・(1):フレッシュで純粋な意見は大事。
・(2):良いとは思いますが、どのような方向性なのか？と思います。
・(1):未来を考えると子供は大事である。
・(1):子供達に積極性が生まれる。子供自身のためになる。
・(2):これからどのように地域が変わっていくかを見ていって欲しいと思う。
・(1):大人になった時、石巻市民として誇れると思う。
・(2):石巻の未来を担う子供達の意識を高めていきたい。
・(1):大人よりも子供達の方が自由に考えて進める力を持っていると思います。型にはめ込まず、のびのびと意見を言えるようにしてください。
・(1):未来は子供のものだから。
・(1):自分たちのまちづくりに参画し、将来の定住に結びつける。
・(2):活動を通して地域に対する考え方、見方が変わるかもしれませんし、大人になった時に心の中の“自分のふるさと”に気づくことができるでしょう。参加することを続けることが大事ですね。
・(1):これから長く住むだろうから。
・(1):余命の長い子供が数十年先を見据えた夢を描くことが、本当のまちづくりにつながるから。
・(2):地域の将来のことを考えれば、子供の参画は大変重要なことだと思う。石巻地域は将来人がいなくなる地域が多くあると思うので、地域の文化や伝統をつないでいく人材は必要になる。
・(1):これからを担う子供達に地元のことをよく知ってもらうことと共に、前進する大切さを大人と一緒に体験することが良いと思う。子供の知恵と発想をまちづくりに反映させてほしい。
・(1):将来を担うのは子供達だから。
・(2):子供には大人と違った柔軟な発想が期待できると思う。
・(1):子どもの方が大人よりもより理想的な、かつ具体的なまちづくりについて適切な考え方をしていると思う。既成概念にとらわれることのない発想をもって。
・(2):自分たちが大人になってから住んだり、関わったりする可能性のあることだから。
・(1):自主性が養われる。
・(1):復興のスパンは長い。次代を担う子供が自らのことと主体性を持って考えて欲しいと思う、
・(1):同じ市内に住んでいても被災の大きさが理解できている子ども(大人も)ばかりではない。温度差を少なくするためにも。
・(1):将来この地域を愛し、地域の発展に力を注いで欲しいから。
・(1):この大震災を経験し、未来に向けて大いに復興や地域のまちづくりに参加して欲しい。
・(3):もっと大人が子供のためにまちづくりに参加するべき。
・(1):復興にもまだまだ時間がかかると思うので、今の子供たちが大人になった時に愛着が持てる街、まちづくりに少しでも参加させたいし、ぜひ参加させて欲しいです。
・(2):現在活動されているお子さん達が将来暮らしていくわけですから、自分達が住みやすい環境やルールなど、世界のモデルになるようなことなど、子供達の発想と考え方を取り入れてもらえたら良いと思いますが！
・(1):子供達が将来を担っているから。

・(2):川開きもそうだが、各市町村でもいろんな行事、祭りごとに子供達を参加させているところが多いように思います。
・(1):まちづくりとは、全ての市民が取りかかることで復興へつながると思う。
・(1):子供達が何を必要としているか等は、子供達自身の視点で進めるべきと考える。
・(3):子供に何を求めるか。
・(2):自分たちが住んでいる町について、参加することにより考えたり行動して好きになり、愛着し定住につながると思うから。
・(1):子供達が元気な活動ができること。
・(2):これからの石巻を作っていってくれる人達だから、今のうちから参加をしていった方が良いと思います。
・(1):子供から見たまちづくりも参考にして下さい。
・(1):次世代を担う子供達に復興の力になって欲しいから。
・(2):子供の数が少なくなりとても寂しい。子供の笑顔が何より薬です。
・(1):子供の数が少ない為、地域の行事も少ないので、良いと思う。
・(2):将来子供達が担う石巻市でもあるし、今後災害が発生した場合それを復興の参考に出来る様、子供の時から参加させたほうが良いと思います。
・(1):デスクワークだけより、地域の人達の生の声を聞き、考え方、要望等…いいと思います。
・(2):楽しみに参加しています。
・(1):復興を実感できる世代。自分たちも一緒にかかわったという達成感、喜びを感じてほしいと思います。
・(1):今の子供達は家の中で～が多いので、何かに参加するという事はすごく良い事だと思います。
・(2):将来を見すえたまちづくりの為。
・(1):石巻の事を知るきっかけになると思います。
・(2):子どもがいないから。
・(1):住んでいる地域を知ることが、これからの人生に関わってくるので良いことと思う。
・(2):子供の未来の為、子供自身に参加させる事は良い。
・(1):子どもたちは大人の鏡であると同時に、外部と接すると可能性が広がり、思わぬ力を自己の為、社会の為に発揮できるから。
・(1):自分達の地域だけでなく、石巻市のまちづくり。将来自分達の為に良いと思います。
・(1):これからの地域づくりを担うのは子どもであるから。子ども目線も大事。子どもが地域について考える機会が増えるから。
・(1):少しでも子供達が地域で暮らしやすく、自分達で参加して考えて住み良い町にしてもらいたい。
・(2):将来、地元に残り仕事をしたいという声を聞くから。
・(1):子供には夢があり、大人では考えつかない発想力があると思います。過去にとらわれず、未来に向ける眼があります。
・(1):若い人が復興やまちづくりをしないとますます過疎化が進むと思うから！
・(1):子どもの知恵、アイデア等を取り入れたりして意見を尊重できるから。
・(1):一歩一歩前進するためにすばらしいと思う。
・(2):復興の道のりは遠いと思います。子ども達でもできる範囲で参加する事は良いと思います。
・(1):高齢社会を担う子どもたちの未来はかなりきびしいと思うので、自分たちがしっかりした考えを持たなければならないと自覚してほしい。
・(1):これからを生きる子供達が、復興に向けて未来の石巻を作り上げていって欲しいです。
・(1):これからの石巻の為にも現実をみてほしい。
・(1):自分達の町・自分の町を自分で作ることにより、自分達の自立につながり大変良いことだと思います。
・(1):石巻の町は住んでいる皆の故郷です。大人でも子どもでも地域に抱く夢や理想があるはずなので、話し合い、石巻の歴史や特徴を知り、発見しながら共につくりあげることが大切だと思います。
・(2):将来を担う子ども達の感性豊かな言動・行動が石巻、ひいては日本の行く末に大きな影響をもたらしてくれたら良いと思うから…。
・(1):負けない心、折れない心を養う事は必ず将来各自、自分の宝となる。
・(2):子供達の笑顔・声を聞き、見ると、元気・希望が見える。

・(2):自分で将来を考え、それを実現していく年代です。復興はただ元に戻すのではなく、街を興さないと本当の意味はない。その意味では子どもの発想は役に立つと思います。
・(2):大人に交じって色々な意見を出せる様にして、意外な事を言うかも知れない。
・(1):今からの人達が、自分達がより良い状況・環境にしていくためには大変良い事だと思う。
・(1):あたり前に良いと思う。子どもの精神的面についても成長すると思う。
・(3):基本的に子どもは家族の中においての責任下で育まれるもので、それに学校・環境等は家族中心で行うものなので、特別にまちづくり参加を強化しなくても自然に溶けこませればいいと思います。
・(1):ふつうに遊んでいる子ども達を見ているだけで心が和むので、地域に子どもがたくさんいることが、どんなに力になるか分かりません。宝物です。
・(1):まちづくり活動をする。
・(1):復興に向けた活動に参加することにより、市が行っているまちづくりを理解することができる。
・(2):子どもにも夢があると思うから。
・(2):災害はいつ起きるか分かりません。こういう機会に参加していれば将来的に役立つと思います。
・(1):これからの石巻は(中心部)活気的になると思います。
・(1):子どもの発想は、本当に素直な気持ちで考えを持つもので、意外と石巻の将来の発想を発展するかも。
・(1):定住を目指して欲しいから。
・(1):これからの時代を担う子供達なので、いろんな事を経験して欲しい。
・(1):自分の事だけでなく、多方面に目を向け人の役に立つことをして欲しいと思うから。
・(2):これからの石巻のために。
・(1):色々な人と話し合う。
・(2):世代が違う子ども達の夢や希望を望ませたい。
・(2):参加する事で、悪い事はないし、自分のためになると思うから。
・(2):自分が育っていく町を想像して、夢を語る事ができる。
・(1):今から関わっていれば、大人になるまで、色々勉強になると思う。
・(1):子どもの気持ち(考え)をくみ取り生かすことができる。
・(1):考えることが大切。石巻で生活することも都会で生活することも本来変わりないと思うので。
・(2):これからの時代、人から何かをしてもらうのではなく、自らできる事は何でもするという精神力をもってもらいたい。
・(2):災害を目のあたりにした子ども達です。きっと将来のまちづくりに関わってくるはずです。子どもの発想力は時として群を抜いている時があるからです。
・(1):同じ石巻人として、復興に向けて参加するのはあたりまえだと思います。
・(2):子供の発想は素晴らしいし、自分もまちづくりに参加したことが後々に自信になる。
・(1):柔軟な発想が出来ること。・将来の地域貢献や行政、政治に関わりをもてるようになること。
・(2):まちづくりに参加させるより、マスコミに踊らされている面もあると思う。
・(1):震災から復興へ、大人といっしょに参加して、協調性、忍耐力を育んでもらいたい。
・(2):子供の時から復興のことに携わっていると、大人になっても気持ちは変わらず、きっとみんなのために頑張ってくれるはずです。
・(2):子供は地域で育てるのだと思います。
・(2):子供の視点を取り入れることが良いと思う。
・(2):子供も復興には多少なりとも色々意見があると思います。
・(2):子供達の考えは大人の想像以上だから。
・(1):やっぱり年寄りには考えつかないアイデア等が色々出てくると思う。
・(2):前を向いて進むのも大切ですが、亡くなった方々を忘れないようにこれからの自分達の行動も大切。
・(1):子供達と目標を共有していく。
・(2):災害にあった時の気持ちを忘れずに、後々言い伝えていく必要があるから。
・(1):将来を担うから。
・(1):子供の人数が少なくなってきている中、やはり色々な行事に参加し、広めて欲しい。

・(1):10 年、20 年後の子供達は今の 10 代が中心になって働いて欲しいから。
・(2):型にはまらず自由な発想をするので。
・(1):これからの石巻は、大人達の考えるまちづくりと子供達が考える石巻のまちづくりが違うと思うので、参加して将来の石巻が発展すれば良いと思う。
・(1):大人と異なる感性を持っていると思います。
・(1):次世代の発想は大切にしたい。
・(2):将来のこのまちを担う子供達がまちづくりに参加することは当然だと考える。
・(1):自分の地域の将来に関心を持つことによって、地域への関わりが強くなると思う。
・(1):石巻市の未来は子ども達の手にかかっていると思うので。
・(1):未来を見据えた復興に向け、未来を担う子供達が参加するのは当然のことである。
・(2):進んで参加する気持ちがあればよいと思います。
・(2):未来を担う子供の参加は必要と思われる。子ども達は社会の一員であること、また、社会には障害のある方、お年寄りも住んでいることも含め、誰もが安心して住める町を一緒に考えて欲しい。
・(1):被災した地を切り離し、集団移転を考える親や大人に対して、自分達が生まれ育った故郷への特別な想いを伝える事ができ、一緒に考えていくのが復興と思うから。
・(1):未来に向けて子ども達が地域で生活していくために、復興に向け、大人以上に大切と思います。
・(1):自分が社会の一員であるという自覚を持ってもらうためには良い事だと思う。
・(2):将来を担う人々の目線・意見が必要と思う。
・(1):子どもの視点でのコミュニケーションづくりも重要だから。
・(1):子ども達の発想力は素晴らしいものがある。
・(2):震災の経験がある中、復興の活動に参加し後世に伝えて欲しいです。ただ、河南地区は内陸なので、私をはじめ地域も復興に関して遠目で見ている感じだと思います。
・(1):未来の地域に何を望むか。大人の考えとこれから大人になる子ども達が、居住地域に残る気があるかどうか気持ちを知りたい。
・(1):社会勉強
・(1):最近の政治状況をみて！！
・(1):故郷を愛する気持ちがより一層強くなると思います。
・(2):自分達が住む町に関心を持たせ、より良い地域社会を作っていくための一員であることを自覚させることに繋がると思う。
・(1):希望、期待等を思わせる。
・(2):子どもの自由な発想、考え。
・(2):子供が未来に向かって前に進んでいかないと。生きていく強さを身をもって体験したので良いことだと知ったと思います。
・(1):参加することによって自分達の地域、町について愛着を持てる。
・(2):子供の考え、想いを聞くことも良いと思います。
・(2):大人では考えられない、子供ならではできる良い意見や発想が出ると思う。
・(1):復興は地域住民みんなでつくりあげるもの。
・(2):辛い悲しい思いをたくさんしました。しかし勇気づけられ感激したこともいっぱい経験しました。そして今があります。これから夢を膨らませて未来を築いていくのは子供さん達です。夢を膨らませながら成長するためにも、子供さん自ら復興の一翼を担っていこうとする姿勢はとっても大事だと思います。

70～79 歳

・(1):小さい時から自分達の住んでいる町、人などに溶け込む事が大事だと思うから。
・(1):やがて将来は子ども達の世になる。それには今から子ども達の考えや行いを組み入れてやる必要がある。
・(2):自分の住むまちづくりを考えることは将来自分のため。
・(1):3.11 大震災を経験した当時4歳以上の子どもであれば、記憶にあります。この経験を何れ大人に向かっていく中で絶対に記憶の中から消すことなく、生涯語り継いでいく自覚を持って生きていってもらいたいと思います。そうあるべき、現在の大人達が教える責任があります。
・(2):子供には大人にない考え方があります。純粋なもの、政治家や経済人との結びつきがなく、真心の解答をするのが子ども達です。

・(2):大人も子供も協力をして住みよい地域にしていくことが望ましいと思う。助け合う心が大切だと思います。
・(1):学校教育以外の社会教育に地域の子ども達の参加が必要だと思う。
・(2):中高生ぐらいなら、色々自分の考えを持っていると思うので。
・(2):自立心を養うと思う。
・(1):子ども自身 30 年 50 年先を考え、安心安全なまちづくりに参加することは賛成です。
・(1):これからの石巻の発展は今の子ども達の為だから。
・(1):目的に向かって何かをすることはプロセスも大事ですし、何かをしたという充実感、達成感を経験するので。
・(2):地域の事を考え、発展していく姿を考え、思慮する力を持ってもらいたい。
・(1):人間は1人では生きられない。あらゆる人や物に生かされて生きている事を知ることが出来ると思う。
・(1):未来は子どもがつくる世界だから、自ら関わった方が良い。失望も経験するから。
・(1):地域社会に関わる絆が生まれる。ボランティア精神が芽生えるかも。
・(1):不自由な生活をしていることが自然と伝わり理解できる。
・(1):現状を理解した上で、将来の担い手として育って欲しいと願うため。
・(2):子供の元気な声などを聞くと自分も元気になるようです。
・(1):私は街の中の人間です。ボランティアと一緒にお店を訪れてくれた時は大変嬉しかったです。学外活動でもっとボランティアさんの仕事を見学するようにと思います。
・(1):活性化、にぎやかな地域を期待。
・(1):自分で地域の実態を見て何が必要か、考えることができるから。
・(1):次世代を背負っていく人達がどうしたいか重要です。
・(2):挨拶のできる子供をつくる事。・ありがとうと言う事。
・(3):現在の子ども達は、学校とクラブ活動で出来ないと思います。
・(1):色々な面で成長していくのではないかと思います。
・(2):次の世代が少なくなっているので、石巻を盛り上げていってほしいです。
・(2):震災の時に小さかった子供はちょっと可愛そうですが、少し大きい子供は自分なりに理解していると思うので、親を動かす方が大変。
・(1):孫の活動の送迎をしたり参加したりしています。子供はまっすぐにそしてしっかり震災を見つめています。そしてそういう人達が将来の日本を担っていきます。頑張らせてあげたいし協力も微力ながらしたいです。ありがとうございます。
・(1):少子化時代にあり戦前戦後のような苦労もしていない子ども達は、震災によって色々な面で不自由を感じていると思います。やはり団結、協力の精神を鍛えてもらいたい。
・(1):協働参画の意識づけ、自分達の町は自分達の手で。
・(1):子供の復興に対する参加意識、あるいは●は大事に活かすべき。しかし、大人がそれをどう扱うか。行政側の英知にかかっている。一日も早い復興を期待したい。
・(1):自転車点検、正しい乗り方●。
・(1):子ども達もいずれ自立する年齢になります。その時に子供の時から物事を考え、色んなものを判断し進め実行することにつながる事と思うからです。
・(2):震災を体験した事が、自身の将来に役立たせるのであれば非常に良いと思います。是非参加させたく思います。
・(1):市政や国政をいま動かしているのは大人だが、その結果の恩恵、又は被害を受けるのは子ども達。自分たちの未来に関わる事に参加することは大事だと思う。
・(2):自分達の将来を自分達の手で行うまちづくりは充実したものとなる。自覚。
・(1):復興までまだまだ時間がかかると思います。子ども達の時代、これからの石巻には良い案が浮かぶと思います。多いに良いことです。
・(1):心身共に一年一年成長していく子どもさん達が地域の住民と参加することは非常に良いことと思います。
・(2):若い力と柔軟な頭脳で希望のある地にしてほしい。
・(2):復興に向けみんなで意見を出し合って、住みよいまちづくりにしたい思いで。
・(2):子供目線での思いや夢をあまり入れすぎない。
・(1):地域の活性化のためにもぜひ必要。
・(2):自分達、子ども達の将来の防災意識と他。

・(2):大人達が懸命に努力する姿を目でしっかり見て、子ども達にもできることはやらせてみて、体験させることは成長していく上で大切だと思う。
・(1):復興は地域の人々が参加することが必要条件だから。
・(1):今からの時代だから。
・(2):これから永久の事業だから。
・(2):自分たちの町になるのだから…。
・(1):将来を担う子ども達の意見を聞くこと参加することは、今後の復興に大変大事な事と思う。
・(1):将来、まちづくりに頑張って欲しい。
・(1):これからの自分達が住む地域の計画に参加できることは、今後の自分の生活にプラスになるように持って行って欲しい。
・(1):郷土愛が育つと思う。
・(2):将来に向かって子供の意識やまちづくりが高まる。
・(2):復興は子供にも関係があるので、ある程度子供の意見も聞く必要があると思う。
・(2):事故などの場合、困ると思う。
・(3):学校生活など本来の事に熱中すべきだと思う。
・(1):大人の方に交じって話し合いに入れてもらったり、指導を受けたり協力したりが、大変良いと思います。
・(2):子どもの意見がいい時がある。
・(1):助け合いや思いやり等、人間としての生き方が分かるようになると思う。
・(2):子供の頃の事でまちづくりは一生忘れないと思うから、今後役に立つと思うからです。
・(1):自分達の将来のため、必要だと思う。
・(1):これから子どもが復興の主役になると思います。
・(1):将来は子ども達が背負う時期がきます。復興計画は子ども達には必要です。まちづくりには是非参加し興味を持たせる事が大切です。
・(1):未来の為、世界の為にも是非子ども達に知って頂きたいと思います。
・(1):色んな知識が身に付く。・石巻の様子が分かる。
・(2):自分達の町がどのように変化していくのか、覚えてほしいです。
・(1):大人の常識的な発想から脱皮した子ども達独自の斬新な発想、夢に目を向けた将来像を大いに参考にすべきと思う。子ども達が参画することでその子ども達の将来が非常に楽しみである。
・(2):未来を見る子ども達だから。
・(2):未来のまちの姿が実感できるから。
・(2):郷土愛
・(1):子ども達にも色々な経験をし、少しでも自分や身近な人達への優しさなど理解する力を出来るところからしてみる、してみようとする心。自信や思いやりの心をもってもらいたい。
・(1):将来を担う子ども達には、小さい頃から教えていくことが大切。
・(2):海外の子ども達に比べて日本の子ども達は恵まれているように思います。今回の震災を機に協調性を持つ子ども達が育ってくれたら大変良いことと思います。
・(1):地域への愛着に繋がる。
・(2):既成にしばられない自由な発想や意見。
・(2):地域の復興後は、子ども達が中心となるので。
・(1):自分の住んでいる地域に関心を持つことは大切な事だと思います。
・(1):地域の発展につながると思います。
・(2):大人が気付かない良い意見があるかもしれない。
・(1):子供が成長する素晴らしい経験になる。
・(3):子供の考えや思っている事は限られていると思います。
・(1):感謝の気持ち、人々との絆が強くなると思います。
・(2):将来を担う子ども達が、より地域の実情について理解を深められると思います。
・(1):何事にもとらわれない純粋な発想を持った子ども達の頭脳は、我々大人にない感覚を持っており、どんな意見が出されるか大いに期待するところです。
・(1):広い分野を見通せる眼を担う、考える力、実行する勇気。本当の事を見定められる力を集団の中で学び取る事が出来るから。話し合いが必要であるし、大人の背中を見せる事が出来る人が何人いるかによるのだが…。
・(1):子供はいつまでも子供ではなく、日一日と成長するものです。成長するということは物事も覚えながら体験しながら聞きながら見ながら、何でも自分の目で体で感じて大きくなってほしいです。
・(2):学力向上に大切な時期だから。勉強を主体にしてイベントがあるときに参加する方が良いと思う。

・(2):高齢者はただ思うだけで何も出来ないので、将来石巻市を背負って立つような地域の子ども達が復興に向けた石巻市のまちづくりに参加する事は大変良いことだと思います。
・(1):これから先、石巻を担う子ども達だから。
・(2):これから成人していく子ども達に少しでも色んな事を知ってもらうためには、参加して頂いて自分の目で見て体で感じてもらった方が良いと思います。
・(3):ケガなどをされると親に申し訳なく思う。今の子供は身体的に弱いから。
・(2):将来に夢を持っていて欲しいと願っているから。自分の思い描いている事を発信してほしい。
・(1):これから大人になる子供達にとって大変良いことだと思います。
・(1):子供達が成長できるから、のびのびと遊べます。
・(1):これから自分達が暮らしていくまちづくりなので、子の目線で参加することは大変良い事だと思います。
・(2):将来の町を見すえた教育になると思います。
・(1):大人になっても経験が参考になる。
・(1):自分が体験した事を忘れないで後々まで今まで世話になった人達にいつか恩返しが少しでも出来るような人になってほしいから。
・(1):私は老人でこれまでです。未来のある子供にこの石巻の街を大きく住みやすい町に。
・(1):地域を住み良い環境にするためには、子供達の意見も必要だと思う。
・(2):まわりに子供さんが少ないので、色々な活動をすればまた戻ってくるかなと思います。
・(2):学校に遊具を設置したり、子ども達が遊ぶ場所を作っている。学用品の支援も助かります。
・(1):子供が参加する事で大きくなっていく時に自分が参加した事が良かったと思う時がくる。時間があれば孫も参加させたい。
・(2):次の時代に主役になるので頑張ってほしいから。子供が幸せに暮らせる石巻は大人も住みやすくなると思うので。
・(2):子ども達の将来の夢や希望を知り実践できないまでも、参考になると思う。
・(1):未来は子供の力が必要になるはず。
・(1):子供達の目線で将来のビジョンを描いて欲しい。
・(3):震災に直面している子していない子供さんもいるでしょうが、一生頭から消えない子供さんもいるでしょう。自分でもどうしようもなく、表には出さずとも前向きにと前進をと頑張っている。また、頑張って自分のため石巻のためにと。老人の石巻になっている街を、心から支援活動にあたって自分のためにもと感じて活動してくださるお子さんにはお願いしたいと思います。強制ではなく参加してくだされば、本当に良いと思います。
・(2):孫のような子供との触れ合い。元気な力をもらう。
・(1):未来は子供達が考えていくものだと思う。
・(2):若い人達が参加し、頑張ってもらいたいと心から思います。
・(2):核家族化になりつつある。子ども達が地域の人達と知り合う事で大人になっていってもらいたい。
・(2):自分の住んでいる地域の事を知るのは良いこと。・将来の石巻市の有様に関わる事は他人任せではなく、自分も一役担っている自覚も大切かと。
・(1):これから地域を支えていく人だから。
・(3):復興に子ども達の夢を取り入れたら結果として復興につながらない、公園作りと違うと思う。
・(2):これから成長していく過程として、石巻市の情勢を大人達と共に協力し知っておく事が大切だと思うので。常に携帯ゲームをしているより、人のために行動する事は良いと思う。
・(2):低年齢から世間の常識や良い悪いを考える事の一助になるのでは等。自分も今思えば、幼いときの事が記憶に残っている事が多いと感じる。
・(1):子供自身も自立していけると思う。
・(1):地元のことをよく知り好きになり、成長と共に地域の事を考えるようになってもらえると思います。
・(1):子供の考えていることを参考にしてみることも大切。
・(2):町全体、大人から子供まで復興。大変良いことだと思います。
・(1):現在、孫が3人おりますが、まだ低学年と中学年です。10 年後 20 年後に自分達の住む地域を活性し発展させるにはどのような考えを持っているのか。町内会や子供会などで意見を聞き取る方が良いと思うから。
・(1):元の石巻の町、笑顔で話ができれば良いなと思います。

・(2):昔から町には外遊びの場がありませんでした。日和山公園で遊んでいました。今は公園にも子供はめったにいません。遊びは大切です。子供の時間がとれる所が必要だと思います。
・(1):地域を大切にする心を育てたい。
・(1):人間は一人では生きていけない。人間の世の中ですから、人と人との支え合い助け合いが大切。子供の頃から共に生きることの尊さを身につけさせることを考えるからです。
・(2):絆を大切にしたいと思います。
・(2):役に立つ時があると思います。
・(1):震災の中身を知ってもらうと共に、復興への道が難しいことを知ってもらう必要があるから。
・(1):これから住もうと思う気持ちを持って欲しいから。
・(1):ふるさとを大事にして人生の原点を誇りに思える町にしてもらいたい。
・(2):今、子ども達が少ないので団体行動に対して参加意欲がないようです。その団体の面白みや友達への思いやりなど、人に対しての感謝の気持ちを持てる人になってもらいたい。
・(1):皆さんと復興の話し合いで良い地域づくりをしたいと思います。
・(1):子どもの時に経験したことは一生の宝だと思います。働くようになってからは一部の人しか参加しないので、私は参加をせずに 70 歳を過ぎました。
・(1):サークルに溶け込むことは早いけれど、自分の事だけではなく人に頼られる人、必要とされる人になってもらいたい。
・(2):地区に子供の姿がない。いる子供には参加を願う。
・(2):子ども達と皆さんが一緒に支援活動に参加する事は大変良いと思います。
・(3):週休二日制になり学力低下している現在、伸び伸びと勉強をさせるべきで、財力のある家は予備校に行って勉強している。
・(2):防災、復興、まちづくりを学ぶ事ができるから。
・(2):大人になって社会に出たときに、自分の財産になると思うから。とっても良い経験になるでしょう。
・(2):地域の活性化に繋がる。
・(2):自分だけではなく、他人の為に何かをしてあげるという心遣いを身に持って知ることが大事だと思う。
・(1):皆で心一つになれると思うから。
・(2):子ども達の町に対する今後の希望、意見を取り入れて、それを行政と結びつけること。
・(2):これから石巻を背負う人達なので、良い事だと思います。
・(1):これからの石巻を担っていく人達ですので、実体験が何よりです。石巻について深く知ってほしいです。
・(1):後継者が先に立つことは大変良いと思う。
・(1):力を合わせて働く事。
・(1):将来を背負う地域の子ども達の夢と考えをまちづくりに反映することは非常に良いことである。
・(1):他人のために協力する気持ちを大事にしていきたい。
・(2):全員参加で復興をめざすため。
・(1):子供であろうとその年齢に応じた事をやってお互いに信頼し合い、その子の良いところを見いだして育てる事も良いかもと思います。
・(2):やがては大きくなって石巻市を良くし、希望を持って子供の時から夢を持って成長するために。
・(2):老人化国家に伴い、老人の意見のみでは不安がある。
・(1):これからの石巻市を担う子ども達の若きパワーを多いに期待したい。
・(2):当地区にも多数の仮設住宅が建ち並んでいますので、多少なりとも今後も出来るだけ子助けしていきたいと思います。
・(2):参加することは大変良いことと私自身は思っていますが、現実に家の孫も部活が忙しく難しいと思います。
・(1):昭和 35 年のチリ地震の時、志津川で片付けの手伝いをしましたが、今思い出してみますと、若者に何等か参加させる事は、大変良いことであると思います。
・(2):復興は自分達が優先して行うこと。
・(1):次世代を担うべき子ども達が自ら参加をし、積極的に意見を述べていくことが、将来の良い結果に結びつくと思う。
・(1):困った時はお互い様ですので、体や都合が良い方は参加した方が良いです。
・(2):家にこもりがちな子供の事をよく聞きますので、こういう企画に参加することは、良いことだと思います。

・(1):地域を元気にする。
・(2):子供がこの地域で暮らすために必要な事は何かを行政において知ることができる。大人と違った視点も必要かと思う。
・(2):この大震災を忘れない為にも大人と子供が一緒になり、これからの町をもっと住みよい安心に暮らせる様に、力を合わせて作った方がいいと思います。
・(2):子供は大人より素直だから。
・(1):近い将来自分達が主体になり、生活していくのだから。
・(1):故郷を想う心
・(1):子供なりの創意、発想には復興に対するヒントが多くあると思います。
・(2):考えが純真であるから。
・(1):実態の把握により、今後どうするか子どもながらの素直な発想力を期待したい。
・(1):次の次代を担う子供達の住みよい環境づくり、住みよい安全安心のまちづくりを望みます。
・(3):親の姿勢に問題がある。
・(1):震災のため離ればなれになっている子供達もいると思いますので、仲間ができれば素晴らしい出会いがあると思います。
・(1):復興は長い年月がかかることなので、現在子どもであっても成人に達した頃にかなうと思うので、大人だけの目線ではなく、大いに子どもの意見も尊重し、かつ、その過程を見定めることも必要だと思う。
・(1):地域とは子どもから大人までの集合体であり、住民全員が関係するものである。
・(1):石巻市の今の状態を分かってもらうため。
・(2):大人は経験豊富ですが、子供達の発想の転換に常に感心させられる今日、石巻の未来の発展のために共有出来れば良いと思う。
・(1):子ども達がこれから自分達の住む町を様々な角度から見て、色々な構想や意見を取り入れて向かっていって欲しいから。
・(1):将来のまちづくりは子ども達の意見を取り入れ、住みよい、便利、使い勝手の良い町をつくってほしいため。
・(1):大いに良い事だと思う。これからの石巻を担う子供だから。
・(1):これから石巻に子ども達の笑顔がたくさんあるといいです。子ども達は地域の宝で、石巻の町をこれから大きくする人達ですので。
・(2):未来のまちづくりは子どもの視点で。
・(2):みんなといる事で学ぶ事があるから。
・(2):将来に向かって色々な事が学べると思う。そして希望がでると、自分自身の心に色々な面で力が出て来ると思う。
・(2):子どもの目から見た発想が良いと思う。
・(1):自分達の町を作るという考えを持たせる。
・(1):子どもの意識・意欲なしには未来のまちづくりはあり得ないから。
・(1):現在の子ども達は数年後大人になります。自分達の手で作りあげた町は意味のあることだと思います。
・(2):これからの宮城を石巻を背負っていく子どもです。一人でも多く参加してくれる事を望みます。
・(1):子ども達の成長に、何にでも参加して知る事が大事。
・(1):やがて子ども達の時代が来る。
・(1):これからの石巻を作りあげる力をだしてもらえることは、市民としてありがたいです。
・(1):地域の子どもは、地域から参加を望む。
・(1):子ども達の目線で見ている事がたくさんあると思います。
・(1):3.11 を子どもの目で実際に見た(あまりにも恐ろしい光景で見せないですむなら見せたくない状況)。子どもなりに強く悲しく、辛いものを実に多く学んだと思いますので、きっと将来良い方に生かしてくれると思います。
・(1):皆一緒だから。
・(1):大震災で学校が被害を受け、子ども達がバラバラにされた。・仮設住宅で他県の学校の子ども達と住みながら、一緒に遊ぶこともできない。
・(1):当地区も高齢化が進んでおります。震災時にも困難な状況でした。防災訓練の際、多くの子どもが参加し心強く思っています。
・(1):子ども達が将来住む所だから。
・(1):成長するのに大切な事と思う。
・(2):子ども達が震災後の復興について、自分の地域社会で感じている事、日頃自身で考えている事を大人と一緒に考え、参加すれば子ども達に対する地域住民の理解や見方も変わってきて、同じ方向に進めるので、大変意義があると思う。

・(1):子どもなりの目線で考えた事は、大人になってから色んな事で悩む事があっても決してマイナスばかりではないと思う。
・(2):現状を認識する事が大切。
・(1):復興に向けた石巻の状況を知る事で参加することに意義がある。
・(1):将来自分達の住む町を作ることは素晴らしいことである。安心・安全で住み良い町は地域活性化になる。
・(2):自分の住む町がどの様な状況にあるか理解できる。
・(1):復興にむけてがんばっている親や他地域からのボランティアの方の仕事ぶりを見ているだけでなく、子供達自身も少しでも関われれば、私達の力・協力のもとに今があるんだなあと、親達の苦労もわかるし後の世の子供達にもつなげていけるんじゃないかと。
・(2):子供達が現在のまちに希望している事、施設、街並み、将来大人になったらこんな街、国にしたいを参考にしたまちづくりを進めていくのも OK。
・(1):地域のこれからを担う子供と若者の意見を一番に聞き、現役の大人、住民や著名人はおおいに参考として将来のプランを練るべきだと考えます。
・(3):難しい問題が出てくる。
・(2):交流があります。
・(1):自分たちの未来を考える機会になると思う。ひきこもりやゲームを脱する機会を作る。
・(2):今後のために大変良い事だと思います。
・(2):子ども達の未来に向けて、自分達の考えをまちづくりに生かしていく事が大事と思う。
・(1):子供たちが将来の石巻に関心が深まり、定着率アップにつながると思う。
・(1):子供達の意見が復興に向けて活用される事で、未来に自信と自覚が生まれ前向きになれると思う。
・(1):自分達が住む町、そして自分達が住む市を知る事は大切に思う。それが市民だと思う。それによって子供達に自信が生まれると思う。
・(2):これから先、まちづくりの若い人が必要であるから。
・(1):困った時にどうすれば良いか、自分を守る事を考える事が出来ると思う。
・(2):よく分からないが、良いと思う。
・(1):大人が気づかないような想像力を持っている。
・(1):子供達ならびに釜地区は、運河以外に歩く所は1ヶ所もなく、散歩道と子供達、孫と一緒に遊ぶ所がほしいです。中里地区の様な遊歩道、ぜひぜひ皆で参加したいです。
・(1):将来の石巻の復興文化、経済に携わる人になってもらいたいと思います。
・(2):将来、自分たちが住む地域だから。
・(1):子供の頃からその気になることは大事です。
・(2):子どもの意見も大事だと思うから。
・(1):自分の育つ地域を良くする事なので。
・(1):子供の視線で、震災を現実の事として知っておく必要がある。
・(1):自分の地域の状態を知り、実際の事を知る。
・(1):設問4のまちづくりは、年なのでなかなか出来ない。設問5の復興もなかなか出来ないと思う。
・(1):参加する事で子供達の和がひろがると思う。
・(1):生まれ育った町なので、多くの仲間とどんどん前進して欲しい。この町に生まれて良かったと思えるように。
・(1):今の子供は体を使う体験学習が不足している。
・(1):震災を伝えていく。命の尊さ、助け合い、思いやり。
・(1):まちづくりに子供達が参画することにより、将来多くの子供達が定住し、町の活性化につながると思う。
・(2):子供にもできることをやって欲しい。
・市において子供復興に向けたまちづくりを実施しているか分かりません。一部の人々だけで実施しているのではないか。全体の取り組みはない。宣伝もされていない。
・(2):大人が気付かない点もあるので。
・(1):将来のことを考えた時に、子供の参加が必要だと思う。
・(3):子供本来の生活をすべきであり、復興は大人がやるべき。
・(1):子供自身の夢を実現させられるとても良い機会だから。無から有を生じさせることですから！
・(2):大人の人たちといろいろな行事に参加したりして、広く学習して世の仕組み等を見ていったら良いと思います。
・(3):18 歳未満でも小学生等では本当にまちづくりが考えられるのかが疑問であるため。
・(1):次代を担うからです。
・(1):行動力を示していると思う。
・(1):大人に成長する段階で広い心が育つと思う。

・(1):子供達の自由な発想に期待します。
・(2):地域を知ることはふるさとを知ること。とても大事なことだと思います。
・(1):子供なりの発想があるかも。将来自分たちの住む街を考えているかも？
・(2):子供の新鮮な考え、アイデアが多いと思う。
・(2):生涯忘れることのないように。
・(2):未来のために。自分の生まれ育った所は自分たちの手で。
・(2):将来の石巻の姿をどう考えているか、ある程度の考えを聞いておくのも良いと思う。
・(2):将来自分たちが住むまちだから。
・(1):子供の未来は子供達自身で作り、広げて欲しいから。
・(1):将来石巻を担う子供達だから。
・(1):子供にも経験をしてもらいこれからのまちづくりに役立って…。頼みの綱です。
・(1):部落に子供達が4～5人しかいないので、顔を合わせる機会がない。
・(2):子供の目線で考えるのが良い。
・(1):石巻市の発展のため、良いと思う。
・(2):将来の主役の考え方を反映させられる。
・(2):地域にあまり参加する姿を見ないからです。
・(2):大人が思っている以上にしっかりした考えを持っている。
・(1):子供でも何かしらの手伝いができることを感じていると思います。親(大人)がさせないだけだと思います。中・高生はもっと社会の役に立てるのではないでしょうか。
・(1):毎月決められた日にいつもの交差点に交通指導で立っております。今は年だからあまり育成会等に参加しておりませんが、年寄りのケア、ボランティア等福祉祭り等に参加しています。災害に対する意識は子供のうちから身に付けておかないとだめ。助かることも大事ですが、助かった後をどう生きるか、どう命を伝えていくかをしっかり学ぶ場所が欲しい。サバイバルの生活。
・(1):行動を共にすることに意義があると思う。大いに参加して欲しい。
・(2):将来関係するまちだから。
・(1):子ども達の願いが表に出ると思う。
・(2):地域の全人口に対する高齢者の割合がどんどん多くなる一方の現状の中で、将来をささえる若者や子ども達が、自分たちの住み良いまちづくりのために大いに力を発揮して欲しいと思うから。
・(1):将来の自分達の生活目標となると思う。
・(2):自分の地域の人達が住んでいるのか、どんな生活をしているのか等を知ってもらい、色々な方との交流を深め協力して欲しいと思う。
・(1):震災前は子どもに何もさせなかった。
・(1):親は今の自分のことしか考えていません。なぜ子供や孫の安全、安心を考えないのでしょうか。そのためにも子供の参加は大事です。
・(3):行事があっても定員〇〇とか窓口が小さい。行事が少ない。
・(2):将来を担う子供です。
・(1):復興に向かって、子供達も皆と一緒に前に向かって進めると思います。
・(1):子どもの時から参加することによって、大人になってよりよい活動ができると思います。
・(2):将来子供たちに、後々いろいろな場所で意見がでても困ると思うからです。
・(4):むずかしい事ですよネ。地域的に子供の数が少ないのでなかなか。
・(2):自分の考えが復興の役に立つから。
・(1):子供の視点で進行中の復興に係わってほしい。
・(1):子どもが参加するとまちが明るくなります。
・(2):小学生でもしっかりした考えを持っているから。小さい頃の経験は大人になると役に立つ。
・(1):子供も大人もそして老若男女、みんなで参加することが大事である。特に、子供達にも復興に向けてのまちづくりが大切である。
・(2):家族以外の人と接する機会があるから。
・(2):子どもは次世代を担う大切な存在。地域興しに関心を持たせることは非常に重要であると思う。
・(2):子どもの考え方、希望が年老いた者より素晴らしい。
・(1):地域に関心を持つ、行動的な大人に将来なれるかもしれないと思う。
・(1):未来を担う子ども達の発想が必要。

・(1):ゲーム、携帯をほとんどの子が持って歩いている。他人と関わらずに過ごす時間が多く、コミュニケーションが下手。この方向を変える為に参加行動は絶対必要。
・(1):今の子ども達はゲームばかりしているので、皆さんと触れ合う事、元気いっぱい太陽に触れて欲しい。
・(2):子ども達が地域のまちづくりに参加して良い町を作り上げる。
・(1):私はチリ地震の津波も経験しておりますが、旧北上川河岸に高い堤防がないことについてあたりまえの事として 70 年暮らしてきました。当時(チリの時)は高校生で、川岸に住んでいましたので被害に遭いましたが、将来の防災について等の記憶は全くありません。ですので復興やまちづくりに、子供達の参加は必要だと思います。
・(1):若い人達が自分達の町の将来と自分の将来を考える事。
・(2):若い人の自分の考えによって今後のまちづくりになると思う。
・(2):子供達の参加は大いに結構である。町内会、子ども会、学校教育への参加。子供は貴事業所運営の方法に参画するかどうか分からない。
・(1):未来は子供達にある。
・(2):私たちはもう近々終わりになると思いますので、これからこの町で生きていく人達が町を作っていくと良いと思います。
・(1):将来の本人達のため。
・(1):今からは子供達の時代ですので、大変良いと思います。
・(1):復興に参加することに意味あり。これからの人生の糧になると思います。
・(2):小学6年生になる孫達が女川で笹蒲鉾作りなどの体験を通じ、復興に取り組むことを学んだと思います。
・(1):地域の一員である。
・(2):これからのためにも子供達も参加して、ボランティアの苦労も教えた方がありがたい心も分かると思います。
・(1):斬新な考えが出てくると思われるから。・利害損得が排除されると思われる。
・(2):地域の子供の未来に関わることだから。
・(1):震災を目の当たりにし少しずつ地域が復興しつつある中、自分達(子供達)も何らかの関わりを持ち復興に少しでも役立つ事が、将来に希望が持て、自信がつくことだと思います。困難に立ち向かえる精神力を養う。
・(1):これから生活していく上で子供達にはとても良いことだと思います。
・(3):学校の帰り道に、遊びながら、いたずらしながら帰っている。注意するとくそばばあ呼ばわりする。注意すると怖いと思う。親を見ならっていると思う。
・(2):地域でも協調、道徳の欠如、大衆の中から教えてやる。
・(1):子どもだって地域で今現在生きているのだから、大人だって同じですよネ。
・(1):町の活性化に役立つと思う。参加する子自身の人生に役立つと思いますし、良い思い出になると思います。
・(1):地域の復興に自分の意見を出し、自ら力を出し、形作られていく過程を見て結果を確認できる。
・(1):時として、大人が気付かない様な事を、子どもらしい目線で素晴らしい発想を提案したりする時があります。いろいろ体験する中で地域の子ども達が成長し、共によいまちづくりを進めて欲しいと思います。
・(1):大人の考えだけでは、子どもの考えが反映されない。・未来のある子どもに目標が築かれ、それに向かい努力し、良いまちづくりができる。
・(2):居住している全ての人の考えを聞くべきなので、子供だろうが大人だろうが関係ないと思う。
・(2):自分達も一員として物事に関わったことは、生涯思い出になると思います。明るく、何ごとも大切にすると思います。
・(1):少子化が進んで、どうにも止まらないから。
・(1):参加することにより地域に関心を持ち、また現実を把握し、将来像を考えられていくと思います。
・(2):将来子供が生活をするため、これからの世の中がどのように変化するか分からないので、色々と勉強のために良いことだと思います。
・(1):地域活性化のため。
・(2):参加しながら地域事情を知ることができる。
・(1):現在少子化のため、子供達が多く集まり皆と仲良くするのが一番良いと思います。
・(2):社会勉強にもなるし、災害のことを理解して欲しい。
・(1):危機意識の助長のため。

80～89 歳

・(2):地域の大人と共に考え、ふる里を守る子達になることを願っている。
・(1):私は戦争の時に小学生でした。石巻市の兵隊の部隊に豆腐を届けていました。自分がこの国の人で世の中に色々な国があり、共に生活している人は友であり、お互い助け合って生活することです。今は子ども達は平和の為、何が良いことか善悪を知ることが大切です。良いこと悪いこと自分と家族と色々な国のこと、外国そしてニュースやテレビを見て世界を知ることも大切です。子ども達が復興に関わることは、強制ではなく話し合って出て頂くようにする。参加しない人は大人になっても色々ありますから。正しく教えていくことです。
・(2):石巻を活性化し背負ってもらいたいから。
・(1):参加する事に意義があります。
・(1):やがて自分も大人になるのだから、子供の頃からしっかり話して教える。そして時代に乗って欲しい。見たり聞いたり当たってみる。昔は、3歳児からでした。そうした事も話していきましょう。
・(1):これからの地域の復興を見守っていく責任がある。
・(1):子ども時代にこのような体験をしたことは良いことだ。今後、大人になる子ども、生きて行く上に良いことだと思う。自分は子供時代は太平洋戦争を経験しているけれど、今の子はあまりにも平和で大変そうにと思います。
・(1):子ども達の思想は大事です。何が不正で何が正しいのか、社会を見定める視点を養うよう期待しています。
・(1):子供は日本の宝。多いに復興に参加して頂きたい。
・(2):自分の住む町の事、年齢相応の理解をする事。
・(2):子ども心にも復興心は良いことと思う。
・(2):子供が現在参加するという気持ちが大切。
・(1):将来の事を考えると、これから国を背負っていく事は、子供が成長していくこと。自信を持って進めるからです。自分の事は自分で。自立する考えが身に付きます。
・(1):同居の子どもはおりませんが、近所の子ども達と接し小学高学年の愛想やそして思いやりの心に感心することがあります。子どもは純真だから。
・(1):少子高齢化に伴い子供と大人の交流は非常に大事。その心算でこころがけています。
・(2):将来何があっても落ち着いて行動する。
・(1):子供の視線で大人が気付かないところを自由に発想するので、大変良いと思います。
・(1):石巻市の将来のあり方、教える事が大切である。
・(1):未来社会の担い手としての子どもの意見を反映させることは素晴らしい事と思う。
・(2):石巻市の復興に向けた取り組みが良いと思う。
・(1):人口不足で心配になる。
・(2):学業に差し支えのない程度まで。
・(1):年齢に関係なく各年齢層に相応の「貢献できること」があると思うから。
・(3):難しい部分がある。復興にむけたまちづくりに負担をかけたくない。
・(1):昔と違い現代の子ども達は色々な面で知識が豊富です。その点から地域の事について感じたり知識を持つことは大変良いことだと思います。
・(1):小さい頃から市の行事、その他に参加をして理解を深め、市の発展に寄与してもらいたい。
・(1):将来を担う宝を大事に育てなければならない。
・(2):良いと思うが、どんな活動を望んでいるかを知りたいです。
・(1):子供が復興に向けた石巻のまちづくりに参加すれば、良い町になると思う。
・(1):子供時代から住んでいる町が復興とは何か関心を抱かせることで、将来のまちづくりに直接、間接的に寄与すると思う。
・(2):子供の頃に色々体験することは、将来に良い。
・(1):これからの若い皆さんがまちづくりに頑張っていると思うと本当に有り難く思います。私は 86 歳、子供の頃は戦争で苦労の人生ですので応援します。
・(1):子供は子供なりの自由な発想を持っている。特に被災地の子ども達は厳しい現実を見聞きし、その為に意見や夢を持っていると思う。復興に向けたまちづくりに参加させることは大変良いことだと思います。
・(1):これから生きていく子供達です。
・(1):子供は宝だ。但し、子供支援の内容が不明な点が多いと思う。

・(2):将来、自分の生活する街に対して希望や夢を持って学業や生活に努力していくことの大切さが参加することによって分かると思う。
・(2):経験、体験を後世に伝えるためにも。
・(2):防災の意識の高揚
・(2):地域のために良いと思います。
・(1):人間として当然助け合う義務。
・(1):復興は石巻市の市民として当たり前だと思います。
・(2):子ども達が参加すると大人も負けずに参加する。
・(1):子供の成長を見とどけたい。
・(1):人間形成上、有意義だから。
・(1):自分が住む町を住みよい様にしていくのが当然のこと。子供の時からそのような意識を持って生活していく事が大切だと思う。
・(1):将来、子ども達が住みよい石巻市をつくってくれる事を願っています。
・(2):地区内に子供が少なく積極的な参加は難しいと思う。
・(2):将来に責任を持つことになるから。
・(1):子ども達の町になると思うので、子供には未来があるので。
・(1):これからは小さい人を柱にしていかないと明るい町が出来ないと思います。
・(2):自分達が住んでいる地域なので。
・(2):子ども達はだんだん成長して行きます。復興だけでなく良い教育が身に付くように、しっかり教えて頂きたい。
・(2):将来のために。
・(1):東日本大震災による故郷の崩壊は見たより、思ったよりひどく、復興は非常に困難な仕事だろうと思う。高齢で何の役にもたたない者としては、震災を体験した人(特に子ども)の意見なり行動が何より重要だと思う。
・(1):次世代のまちづくりに行動することは実践力となり、けん引するベースになります。意思の集約を広く公平に市民に知らせ重層的な広がりを期待したい。
・(1):中学生、高校生はしっかりした考えを持っているから、諸会合で自由討論したら将来に向けたアイデアなど出ているようです。
・(2):子どもが近くにいないのでよく分からない。
・(4):声かけしても知らんふり。挨拶しても知らんふり。
・(2):将来の日本の財産が今の子ども達です。一日も早く施設を完備して下さい。(中学校舎など)
・(1):地域まちづくりすべて、これからの子供達の物だからです。
・(1):未来のためにも大賛成！
・(2):子供達も5年6年以上の高学年。小さい子達はまだ少し早いと思うし、危ない事もあるし。
・(2):子ども自身も(が)その住んでいる町の一員であることが自覚できる。石巻市を大事にする気持ち、自分なりの復興の手伝いができることを学ぶ良い機会だと思う。ただし受験生の子どもの参加には配慮が必要。
・(1):これから自分達が育っていく、住みよい町を作ってほしい。
・(2):石巻市が良いから。
・(1):自分たちの町を自分たちで考えながら復興に参加するので。
・(1):これからの世の中に生きていくにおいて、地域のみなさんの指導のもとに子供達をますます元気に計画的にお育てください。
・(1):復興に関心があることが良し。
・(1):子供達の斬新な発想も、ものによっては大いに役に立つ事柄がある。
・(1):子供の意見やその将来像が見えてくる。
・(1):震災、復興を現実(自分)のものと認識しているのが良い。
・(1):子供達は年齢の低い時より社会のことについて体験することが大事で、大人になってから良いことをしてきたと思います。
・(2):活気、元気づけられる。
・(2):子供目線で違う角度から見てもらうことも必要だと思います。
・(1):昔の子供達はよく遊びよく学び、のびのびと育ったと思う。苦しい子供達は先生方がよく面倒を見て下さいました。
・(1):これから大人になって行くので、これからの人だから。
・(2):協同心を高める。

・(1):将来を願う子供達に広く世間を知り、誤っても老人が多すぎるとか終戦後のように貧乏人は芋を食えば良い→現在増税し貧乏人は消えてしまえ的考えは生じさせない。増税して外国支援なんて考えもほしくない。正当な子供に育ってほしい。
・(1):地域に住み、地域復興に大変に良い事です。
・(1):大震災大被害を経験し、大人以上に悲しみ苦しんでいる子供が多くいるので、これからの生き方をいろいろ考え、将来の住む所、仕事の事等心配している子供達が多くいるので、思いを聞いてやる事が大事だと思います。
・(2):将来を見つめ、今から関心をもって行動することは大事。
・(1):将来市を●う子供に今後のまちづくりに夢と希望を持ち、意思の発言をしっかりと聞くことが大切だと思う。
・(2):子供の視点については、大人の考えの及ばない鋭いものがあると思う。
・(1):わざわざ遠方からボランティアで来石してくださる人が大勢いらっしゃる。本当に感謝です。子供でも出来ることがいくらでもあると思う。お互いに助け合う精神を持つことを学ぶ。
・(1):地域の子供達が明るい未来を自分達で考えていくことで、心の安定につながると思います。
・(2):就職難で県外に出たとしても、いずれは石巻に帰ってきて故郷を大事に思う心があると思うから。
・(2):もう少し助けて下さい。
・(1):大変良い心がけと思う。
・(2):震災を忘れない様に。
・(2):昭和6、7年生まれの者は小学4年生から働き通してきましたので、学●などはせぬが社会人として定年まで勤め通してきたのが、子供の頃の食料増産に参加したので、働くことを苦痛に思わず勤務ができたが●なので、現在は過保護すぎるのです。
・(1):モラル、協同の精神の育成に。
・(1):災害にあっても皆様に助けて頂いたことをありがたく思っているようで、返さなければとうちの孫達は皆思っているようです。

90 歳以上

・(3):復興よりももっとやることを考える大人が少ない、進まない。土地～家屋～イエスと言ったりノーと言ったり。●
・(1):自分の若いとき、熟年時代から見ると子ども達が少ないのに淋しさを感じます。それにつけても地域の子ども達の集まり、親しみなどどうなっているかと老いたる自分の近所付き合いの少なさに淋しさを感じます。子供会、青年会などの団らんがなくなり、どうなっているかと時折思い出すことがあります。
・(1):子供の時から地域に関わるのは必要だから。
・(2):子ども達が小さい時から様々な経験をすることは大変良いことである。特に復興に向けたまちづくりへの参加は将来への夢を育て、成しえる自分の力を発展させることになるから。
・(1):石巻市の復興並びに地域全体並びに県・国の発展に寄与いたします。

年齢記入なし

・(2):子供と大人が一緒に参加する行事について意見を聞くのも良いことと思う。
・(1):将来、自分達の住むまちづくりに参加する事は大事な事。
・(3):親の目の届かないところでは余りにも目に余るところがあります。親の教育ができていない。道路にはゴミをぽんぽん投げる。
・(2):復興につながることならば良いと思った。
・(1):子ども達が自分達の住むところ生きるところについて考えることで、地域に対して色々な意見が出るから。
・(1):大人の視点では気づかない事を子供の視点では気づいたり、子供だから気づくこともあると思うから。
・(2):それぞれ又色々と勉強になる事を願っています。
・(1):石巻市の将来は地域の子どもたちが担っていくことになるので、大いに参加してほしいと思います。
・(3):一部の限られた子供しか参加できないからです。
・(2):子どもを中心とした事は、子と親との繋がりが持てるから良いと思います。子どもが少ないので大変良いと思う。

・(1)：子供もやがて大人になるのだから、当然その人たちが住みやすいまちづくりに参加して様々な考えを引き出したら良いと思う。ただこの度の災害で一番心配なのは原発事故のことです。原発事故はとても想定外のこととして片付けられないからです。福島もある意味では自業自得なのです。誘致したのは県民なのですから。女川も事故になっていたら我々県民の責任だと観念しています。

Hear Our Voice 9 ～子ども参加に関する意識調査 2014～
2014 年 12 月発行

【問い合わせ先】
公益社団法人　セーブ･ザ･チルドレン･ジャパン　仙台事務所
〒980-0804　宮城県仙台市青葉区大町 1-3-7　横山ビル 2F
TEL：022-263-4561　FAX：022-263-4562
E-mail：soft@savechildren.or.jp

Save the Children
JAPAN